# 政治学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋大学 | 科目コード | 290101 |
| 担当教員 | 後　房雄（教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　火曜日：2 限（1030～1200） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 東山キャンパス全学教育棟本館Ｓ２Ｘ | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 日本政治や先進諸国の政治を素材にして、いくつかの重要なトピックについて解説することを通じて、政治学の基本的な考え方や概念の手ほどきを行い、市民としての政治的関心と素養を養うことを目的とする。<br>特に、政治改革、行政改革、福祉改革、経済構造改革（規制緩和など）、地方分権改革などの一連の自由主義的改革の動向に注目する。3 年半の民主党政権やその後の第二次安倍内閣の経験などを踏まえて、日本政治の今後の課題についても考える。<br><br>1. イントロダクション：　「政治」とは何か<br>2. 大統領制と議院内閣制<br>3. 選挙制度と民意のタイプ（比例代表制、小選挙区制、住民投票）<br>4. 比例代表制型民主主義ゲームと小選挙区制型民主主義ゲーム<br>5. 戦後日本政治の実態（予算編成過程）<br>6. 官僚内閣制と利益誘導政治<br>7. 政治改革と小沢一郎<br>8. マニフェスト型政権運営と官邸主導<br>9. 「大きな政府」への歴史的傾向とその転換<br>10. 「追い付き型近代化」体制の成功による終焉<br>11. 新自由主義の考え方とバウチャー制度<br>12. 福祉改革の諸潮流とパラダイム転換<br>13. 第二次安倍政権と日本政治の今後 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書<br>なし。必要な資料は適宜配布する。<br>参考書<br>後房雄『政権交代への軌跡』花伝社、2009 年<br>後房雄『NPO は公共サービスを担えるか』法律文化社、2009 年<br>ルグラン（後房雄訳）『準市場　もう一つの見えざる手』法律文化社、2010 年<br>その他、講義において適宜紹介する。 | | |
| 試験・評価方法 | 定期試験（７０％）および課題レポート（３０％）<br>学期末試験を受けなかった者は欠席として扱う。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 特になし | | |

# ことばの不思議

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋大学 | 科目コード | 290102 |
| 担当教員 | 田中　智之（教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　水曜日：3 限（1300～1430） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | 東山キャンパス全学教育棟本館Ｓ１Ｘ | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 言語研究に関するいくつかのトピックを紹介し、日常生活で何気なく使っていることばの特徴や仕組みについて深く考える機会を提供することを目的とする。<br><br>ビデオを見ながら言語研究に関するいくつかのトピックを概観した後で、その内容を踏まえつつ、以下のトピックについて講義する。毎授業後、授業内容のまとめ、あるいはそれに関連するレポートを提出してもらう。<br><br>1. 導入<br>2. ビデオ（1）「なぜ人間は話せるの？」<br>3. ビデオ（2）「いつの間に覚えたの？」<br>4. ビデオ（3）「どうして進化したの？」<br>5. 人間のことば<br>6. 動物のことば（1）<br>7. 動物のことば（2）<br>8. ことばの起源（1）<br>9. ことばの起源（2）<br>10. ことばの起源（3）<br>11. ことばの習得（1）<br>12. ことばの習得（2）<br>13. ことばと脳（1）<br>14. ことばと脳（2）<br>15. まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書<br>プリント教材を配布する。<br>参考書<br>授業時に指定する。 | | |
| 試験・評価方法 | 平常点（出欠、レポート）３０%、定期試験７０%<br>4 回以上欠席した者、定期試験を受験しなかった者は「欠席」とする。<br>履修を取り下げる場合は、履修取り下げ届けを提出すること。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 私語厳禁。 | | |

# 民主主義の歴史と現在

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋大学 | 科目コード | 290103 |
| 担当教員 | 佐藤　史人（准教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　月曜日：1 限（845～1015） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 東山キャンパス全学教育棟本館Ｓ２０ | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 民主主義は、我々の社会の基本原理とされ、一見自明のもののように見えるが、実際には極めて複雑で、多義的な存在である。それは、民主主義が具体的な社会関係の中で、それぞれの時代の課題と格闘しながら、形成されてきたからである。この講義では、そうした民主主義の軌跡をたどり、その可能性と限界を学ぶとともに、現代の民主主義が直面する課題を検討することによって、我々が現代社会にどう向き合うべきかについて考え、議論するための基礎的な知識の習得を目指す。<br><br>本講義の前半期は、民主政と民主主義思想が歴史的にどのように展開したのかを後付け、後半期は、具体的な論点に即して、現代社会における民主主義の可能性と課題について検討する。<br><br>第 1 部<br>1. 民主政の歴史的展開<br>・古代アテナイの民主政、古代ローマの共和制<br>・近代市民革命と民主主義（イギリス、アメリカ、フランス）<br>・大衆社会の到来と近代民主政への批判<br>・現代世界と民主主義<br>第 2 部<br>2. 現代の直接民主政<br>・直接民主政と代表制<br>・民主的意思決定と住民投票<br>・ソーシャルメディアの発達と街頭行動の再生<br>3. グローバル化と民主主義<br>・シティズンシップと民主主義<br>・EU のガヴァナンスと民主主義<br>・ヨーロッパとポピュリズムの台頭 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書<br>講義の際にプリントを配布する。<br>参考書<br>森正稔『変貌する民主主義』ちくま新書（筑摩書房、2008 年）。ISBN:9784480064240<br>笹倉秀夫『法思想史講義』上巻・下巻（東京大学出版会、2007 年）。<br>ISBN:9784130323406、9784130323413<br>その他講義の際に適宜指示する。 | | |
| 試験・評価方法 | 学期末の筆記試験によって評価する（100%）。<br>履修取り下げにあたり，履修取り下げ届は必要としない（期末試験を受験しなかった場合、評価を「欠席」とする）。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 特になし | | |

# 市場経済と社会

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋大学 | 科目コード | 290104 |
| 担当教員 | 中村　さやか（准教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　月曜日：3 限（1300～1430） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 東山キャンパス全学教育棟本館Ｓ３０ | | |
| 履修条件 | 経済学についての知識は前提としない。 | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | ミクロ経済学の一分野である価格理論、ならびにマクロ経済学の基礎を学び、市場経済と社会について理解し分析する力を養う。価格理論では、完全競争市場で各消費者・各企業がそれぞれ合理的に行動した場合の資源配分について分析し、市場の失敗がない場合の完全競争市場の効率性について学ぶ。マクロ経済学では経済全体の経時変化、特に政府の財政・金融政策の効果を分析する。<br><br>イントロダクション：経済学とはどのような学問か？<br>経済学の基礎概念（sunk cost・比較優位）：合理的な意思決定とは？<br>需要曲線と供給曲線（市場均衡・価格弾力性）：市場経済はどのようにモデル化されるか？<br>支払い意思額と消費者余剰：消費者の利益をどう測るか？<br>費用の構造と生産者余剰：生産者の利益をどう測るか？<br>余剰分析（市場取引の利益・価格規制・従量税）：経済学は社会的利益をどう測るか？<br>独占（価格・数量・余剰への影響）：経済学はなぜ独占を嫌うか？<br>パレート効率性と厚生経済学の基本定理（交換モデル）：市場経済は望ましいのか？<br>マクロ経済学の基礎概念と三面等価：国全体の経済活動をどう測るか？<br>総需要と総供給（新古典派とケインジアン）：国全体の経済をどうモデル化するか？<br>乗数メカニズム（乗数効果・４５度線分析）：財政・金融政策の効果は？<br>エコノメトリクス（相関と因果関係）：市場だけでなく社会も分析対象？ | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書<br>特になし<br>参考書<br>伊藤元重「入門経済学」第４版　（日本評論社）ISBN-10: 4535558175<br>ISBN-13: 978-4535558175 | | |
| 試験・評価方法 | 講義時間内に行う２回のテスト７０%、毎回講義初めに行う小テスト３０%<br>履修取り下げ制度は採用しない。２回のテストを受験しない者は欠席とする。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | NUCT に講義資料をアップロードする。 | | |

# 現代社会と教育

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋大学 | 科目コード | 290105 |
| 担当教員 | 南部　初世（教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　火曜日：1 限（845～1015） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 東山キャンパス全学教育棟本館Ｃ４０ | | |
| 履修条件 | 本授業の内容に関心があり、問題意識を持って授業に参加できる人を求めています。 | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | いじめ、「生徒心得」問題、学級崩壊等の様々な学校病理は、学校内の問題として捉えられがちですが、実際には複雑な現代社会のあり方と密接に関わっています。本授業は、こうした「学校病理現象」を手がかりとして、教育と現代社会との関わりについて追究することを目的としています。<br>授業では、今日の教育改革に関する内外のトピックスを多面的に検討するとともに、我が国における公教育システムの枠組みを理解し、社会問題として教育問題を分析する「視点」の形成をめざします。<br><br>1. オリエンテーション〔本授業について、担当者の紹介、教育をみる視点の転換：生徒の視点から教育学を学ぶ者としての視点へ〕<br>2. 学校病理の問題構造：学校病理現象の顕在化<br>3. 学校病理の問題構造：学級崩壊（1）〔学級崩壊の実態〕<br>4. 学校病理の問題構造：学級崩壊（2）〔原因の分析と考察〕<br>5. 学校病理の問題構造：学級崩壊（4）〔解決の方途〕<br>6. 教育経営をめぐる改革（1）〔学校評議員制度、学校運営協議会制度〕<br>7. 教育経営をめぐる改革（2）〔校長・教頭資格要件の緩和、学校評価〕<br>8. 教育経営をめぐる改革（3）〔学校組織運営体制の強化、「チームとしての学校」〕<br>9. 学校組織開発の事例検討〔学校経営助言の実際〕<br>10. 教育経営トピックスの検討<br>授業では、問題を理解しやすくするために適宜、視聴覚教材や具体的な事例を用います。 | | |
| テキスト・参考文献 | テキストは特に指定せず、配布資料により授業を行います。<br>第１回授業時に主要参考文献一覧を配布するとともに、適宜紹介します。 | | |
| 試験・評価方法 | 出席及び授業参加度（５０%）、提出課題（５０%）の総合評価。履修取り下げ制度を採用します。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 授業では、小グループでの意見交換を行うことがあるので、積極的に自分の意見を述べてください。 | | |

# 芸術と人間

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋大学 | 科目コード | 290106 |
| 担当教員 | 秋庭　史典（准教授） | | |
| 学年配当 | ２年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　水曜日：３限（1300～1430） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | 東山キャンパス全学教育棟本館Ｓ１０ | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 優れた科学者（工学研究者）には、芸術作品や芸術家に言及する人が少なくない。それは、芸術作品や芸術家が一理由はさまざまだが一科学者（工学研究者）にとって重要な意味を持つからにほかならない。であるなら、未来の工学研究者を目指す者が、いまの段階で芸術作品や芸術家について知っておくことにも意義はある。この授業では、名だたる科学者を取り上げ、彼らが著作において言及した芸術（芸術作品／芸術家）を紹介する。受講者は、芸術の何が科学者を惹き付けたのかを知り、各自今後の研究の一助とする。<br><br>初回に、授業内容と単位取得要件に関する説明を行った後、第２回から、「科学者：科学者によって言及された芸術史上のジャンル／流派／芸術作品／芸術家」ならびに「芸術家：関連する科学・工学の分野／技術／概念」の組み合わせで、次のような人たちを取り上げます。取り上げる芸術分野が多岐に渡るようにしました。それぞれは、１回の講義で終わらないこともあります。毎回授業おわりに小レポートを提出してもらいます。<br><br>1. 寺田寅彦：自画像（ゴッホ、セザンヌ）<br>2. 中谷宇吉郎：影絵など<br>3. ウィーナー（サイバネティクス）：ルイス・キャロル<br>4. 有田隆也：ロシア構成主義<br>5. 池上高志：フィシュリ＆ヴァイス<br>6. 岩崎秀雄：バイオアート<br>7. 菊池誠：テルミンと電子音楽<br>8. サルバドール・ダリ：物質の不連続性<br>9. マルセル・デュシャン：切断<br>10. 円城塔：自己言及<br>11. 瀬名秀明：ロボット学<br>12. カルステン・ニコライ：可視化技術 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書<br>特になし<br>参考書<br>授業中に適宜指示する。毎回次週の予告をするので、受講者は参考資料を見て課外学習をしておくこと。 | | |
| 試験・評価方法 | 取下げは実施しない。不合格：出席不足で期末受験の場合。欠席：1/3 超の欠席、小レポ内容に問題（氏名のみ、単語のみ、代筆等）、出席と小レポ条件を満たして期末試験不受験の場合。授業妨害（理由なき遅刻、私語、メール等）も不可になる場合がある。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 科学理論の詳説ではなく、芸術作品・芸術家の紹介が主であるため、芸術に関心のない人には向かない。また、芸術作品の鑑賞は鑑賞者の自由に任されるべきだ、との意見を持っている人は受講する必要がない。 | | |

# 宇宙科学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋大学 | 科目コード | 290107 |
| 担当教員 | 伊藤　好孝（教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　火曜日：1 限（845～1015） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 地球・環境・エネルギー | | |
| 教室 | 東山キャンパス全学教育棟Ａ館Ａ３１ | | |
| 履修条件 | 本講義は、特に宇宙科学・天文学・惑星科学・素粒子物理に関連した分野を志望する学生だけでなく、理系学生一般あるいは宇宙や素粒子に興味を持つ文系学生の聴講も歓迎。 | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 太古の昔より宇宙は人間にとって神秘の源泉であり、人間はそこから自然法則を学び今日まで物理学を発展させてきた。近年では宇宙を見る「眼」は飛躍的に進歩し、光だけではなく、X線、赤外線、電波をはじめガンマ線やニュートリノ等の素粒子までも用いて様々な角度から宇宙の解明が進み、現代の宇宙像は大幅に塗り替えられつつある。一方で宇宙空間利用が進み、人類にとって宇宙空間はもはや手の届かない別天地ではなくなりつつある。本講義では宇宙の謎に挑む最前線の研究者が、最新の観測や理論に基づき、宇宙創生から地球のすぐそばの宇宙空間に到るまで、宇宙の全体像を俯瞰する。<br><br>1. イントロダクション　～宇宙科学概観～（伊藤　好孝）<br>2. 最新の天体形成論　（犬塚　修一郎）<br>3. ビッグバンと宇宙背景放射　（杉山　直）<br>4. 星間物質と銀河の進化　（金田　英宏）<br>5. 星の一生と超新星爆発（立原　研悟）<br>6. ブラックホールを見る（未定）<br>7. 宇宙線で探る宇宙（田島　宏康）<br>8. 太陽系外惑星の探索（阿部　文雄）<br>9. 宇宙暗黒物質の正体を探る（伊藤　好孝）<br>10. 爆発する太陽（増田　智）<br>11. 地球近傍の宇宙とオーロラ（平原　聖文）<br>12. 電波で探る地球環境（水野　亮）<br>13. 太陽に影響される地球（増田　公明）<br>14. 対象性の破れと宇宙の始まり・終わり(伊藤　好孝) | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書<br>特になし<br>参考書<br>特になし | | |
| 試験・評価方法 | 毎回、講義の内容に関連して自分の意見を書き、あるいは自分で調べた結果を付したレポート（Ａ４用紙１枚程度）の提出を求める。その成績を集計して最終成績とする。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 特になし | | |

# 物質世界の認識

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋大学 | 科目コード | 290108 |
| 担当教員 | 関　隆広（教授）<br /><br /><br />坂本　渉（准教授）<br /><br /><br />澁谷　正俊（講師） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　木曜日：3 限（1300～1430） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 数学・物理・化学 | | |
| 教室 | 東山キャンパス全学教育棟本館Ｓ２Ｘ | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 私たちの身の周りを取りまくもの、生命組織も含めて、物質の観点からとらえれば、原子や分子の結合体や集合体に他ならない。しかし、化学・材料研究の視点からは、無限ともいえる物質要素の組み合わせと手段あり、その知見と魅力は広がる一方である。そこには自然に学ぶことで得られるヒントも沢山ある。本授業では、有機材料系、薬理と関る分子系、無機材料系の３つの観点から物質を眺め、物質・材料のもつ構造、特性、機能発現に関する理解を深めることにより、物質科学全般に対する興味を深めることを目的とする。<br /><br />1. 材料ナノテクノロジー<br />2. 高分子の世界---柔らかい材料の無限の魅力<br />3. 分子間力と分子認識---分子は自発的に集まる？<br />4. 液晶の世界---ディスプレイだけではない、生命組織も液晶？<br />5. 分子レベルで見るにおい，味，色<br />6. 分子の左右―薬の作用・副作用―<br />7. 身近にある毒物<br />8. なぜ薬で病気は治るのか<br />9. 様々な原子が規則正しく集合！---無機結晶のもつ不思議と魅力<br />10. 硬いだけではない？---とても多才な無機結晶<br />11. 天然にない結晶を人工的につくる<br />12. 身の回りで活躍する先端人工無機結晶 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書<br />特に無し。随時プリントを毎週用意する。<br />参考書<br />特に無し。 | | |
| 試験・評価方法 | 毎回のクイズ（40%）と3回のレポート提出（60%、締切と提出場所は授業中に指示）により評価する。100 点満点で 60 点以上を合格とする。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 5 回以上休むと欠席扱いとする。 | | |

# 環境問題と人間

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋大学 | 科目コード | 290109 |
| 担当教員 | 村瀬　潤（准教授）<br /><br />太田　岳史（教授）<br /><br />竹中　千里（教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　木曜日：１限（845～1015） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 地球・環境・エネルギー | | |
| 教室 | 東山キャンパス全学教育棟本館Ｓ２０ | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | ４月,9 月 |
| 講義概要 | 人間は地球というシステムで日々の生活を営んでいる．環境問題を考える場合，「地球上の自然環境がどの様に形成，維持されているのか？」，「人為的行為が環境にどの様な負荷を与え，どの様に対処すべきなのか？」という２つの視点が必要である．本講義では，地球を構成する気圏、水圏、地圏と人間を含む生物圏の相互作用を通して，この２つの視点から環境問題をとらえ，人間社会のあり方を各自で考察する事を目的とする．それぞれの「視点」でのねらいは，以下の通りである．１）地球上の自然環境がどの様に形成，維持されているのか？２）人間活動は土壌圏にどのような負荷を与えているか？<br /><br />下記は授業を箇条書きで整理したものであり，必ずしも毎回の講義内容と対応はしない．<br />1. 地球大気の成り立ちと二酸化炭素問題<br />2. 水循環と森林<br />3. 北方林と熱帯林<br />4. 大気汚染問題<br />5. 成長の限界を考える<br />6. 原発事故と放射能汚染問題<br />7. 文明と土壌<br />8. 近代史に見る土壌汚染（酸性雨，重金属汚染）<br />9. 地球温暖化と土壌<br />10. 土地利用変化と気候<br />11. 大気循環と越境環境問題（１）<br />12. 大気循環と越境環境問題（２）<br />13. 試験および講評・解説等 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書<br />特になし<br />参考書<br />ジム・ラブロック著　地球生命圏　ガイアの科学　工作舎　ISBN-10: 4875020988<br />ドネラ・Hほか著　成長の限界　人類の選択　　ダイヤモンド社　ISBN-10: 4478871051<br />ヴァーノン・ギル・カーター、トム・デール 著　土と文明　家の光協会　ISBN-10: 4259544683 | | |
| 試験・評価方法 | 期末試験（最終授業時間に実施）８０％<br />レポート（各教員の最終回に課題を指示）２０％<br />授業への取組状況を加味する場合もある．定期試験を受験しない者は，欠席扱いとする． | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 私語は慎む．<br />携帯電話の電源は切って受講のこと． | | |

# 図情報とコンピュータ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋大学 | 科目コード | 290110 |
| 担当教員 | 北　栄輔（教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　月曜日：1 限（845～1015） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 社会・マスコミ・情報 | | |
| 教室 | 東山キャンパス全学教育棟本館情報学部ＳＩＳラボ | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 表計算ソフトウェア Excel と数式処理ソフトウェア Mathematica を用いた実習を行う．データ解析を例に Excel の利用法について学習した後，数式処理ソフトウェアを利用して，グラフィックス，アニメーション，作曲を行う方法について学習する．これらの実習を通して，総合的な判断力と思考力を培う．<br><br>全学教育棟 3 階の SIS ラボに設置されている Windows パソコンを使用して、以下の内容について実習を主にした授業を行う.<br><br>01.ガイダンスとメール設定<br>02.Excel による表および図の作成<br>03.Excel による最小２乗近似<br>04.Excel による移動平均解析<br>05.Excel による相関解析・自己相関解析<br>06.Excel による階差解析<br>07.Excel による気温予測<br>08.Excel による判別分析<br>09.Mathematica の基礎<br>10.Mathematica による数学の基礎<br>11.Mathematica による代数<br>12.Mathematica による微分・積分<br>13.Mathematica によるグラフィックス<br>14.Mathematica によるアニメーション<br>15.Mathematica による作曲 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書<br>使用しない.<br>参考書<br>必要に応じて紹介する. | | |
| 試験・評価方法 | ・講義中に課すレポート 80%，講義への出席 20%として評価する.<br>・レポートには，一般課題と努力課題があり，それらの完成度等により評価する.<br>・履修取り下げ制度を採用する. | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 特になし | | |

# 図情報とコンピュータ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋大学 | 科目コード | 290111 |
| 担当教員 | 北　栄輔（教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　月曜日：1 限（845～1015） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 社会・マスコミ・情報 | | |
| 教室 | 東山キャンパス全学教育棟本館情報学部ＳＩＳラボ | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 数式処理ソフトウェア Mathematica を用いた実習を行う．数式処理ソフトウェアを利用して，代数学，微分積分などの数学の実習を実施した後，グラフィックス，アニメーション，作曲を行う方法について学習する．これらの実習を通して，総合的な判断力と思考力を培う．<br><br>全学教育棟 3 階の SIS ラボに設置されている Windows パソコンを使用して、以下の内容について実習を主にした授業を行う。<br><br>01.ガイダンス<br>02.Mathematica の基礎<br>03.Mathematica による数学の基礎<br>04.Mathematica による代数学<br>05.Mathematica による線形代数<br>06.Mathematica による微分・積分<br>07.Mathematica による幾何学<br>08.演習課題と総括<br>09.Mathematica による 2 次元グラフィックス<br>10.Mathematica による 3 次元グラフィックス<br>11.Mathematica によるアニメーション<br>12.Mathematica による質点系力学の基礎<br>13.Mathematica による作曲<br>14.Mathematica による作曲<br>15.総括 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書<br>使用しない.<br>参考書<br>必要に応じて紹介する. | | |
| 試験・評価方法 | ・講義中に課すレポート 80%，講義への出席 20%として評価する.<br>・レポートには，一般課題と努力課題があり，それらの完成度等により評価する.<br>・履修取り下げ制度を採用する. | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 特になし | | |

# システム工学入門

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋大学 | 科目コード | 290112 |
| 担当教員 | 佐宗　章弘（教授） | | |
| 学年配当 | ２年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　月曜日：１限（845～1015） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | 東山キャンパス全学教育棟本館ＣＡＬＬ２ | | |
| 履修条件 | 自習、レポート試験を行うため、ＥＸＣＥＬを使える環境にあることが必要である。 | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 本講義では、システム工学への入門として多変量解析とよばれるデータ解析のツールを紹介する。この多変量解析は、その大半が線形代数学と解析学の初歩的な部分で理解できるため、文系学生を対象とする本講義で扱うことに適しており、文系学生が将来直面するであろう様々な問題に適用できるツール群である。本講義のねらいは、通常の文系出身者が持たないような、データ解析の科学的方法を修得することである。なお、大学レベルの数学的予備知識は必要に応じて講義中に説明がなされる。<br><br>・多変量解析の準備<br>01. 多変量解析とは<br>02. 平均と分散<br>03. 共分散と相関係数<br>04. 応用例<br>・重回帰分析<br>05. 単回帰分析<br>06. 重回帰分析<br>07. 応用例<br>08. 中間発表(1)<br>09. 中間発表(2)<br>・主成分分析<br>10. 主成分分析とは<br>11. 固有値・固有ベクトル<br>12. 寄与率<br>13. 変量プロット<br>14. 最終発表(1)<br>15. 最終発表(2) | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書<br>特に指定しない。<br>参考書<br>実習　多変量解析入門（涌井良幸、涌井貞美著）技術評論社 | | |
| 試験・評価方法 | レポート試験と報告発表を評価し、１００点満点で６０点以上を合格とする。期末試験は実施しない。履修取り下げ制度を採用する。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 特になし | | |

# 地球惑星の科学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋大学 | 科目コード | 290113 |
| 担当教員 | 鷺谷　威（教授） | | |
| 学年配当 | ２年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　月曜日：１限（845～1015） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 地球・環境・エネルギー | | |
| 教室 | 東山キャンパス全学教育棟本館Ｓ２１ | | |
| 履修条件 | 地球におよび地球の諸現象に関心のあること。 | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 私たちは地球の環境下で資源に依存して生活しており、地球に関する正しい理解は、文系・理系を問わず、必要不可欠です。一方、地球は、その大きさや複雑さゆえに理解の難しい対象でもあります。地球科学は、基本的な考え方が否定されて新しい理論で置き換えられる、いわゆるパラダイム転換を何度か経験してきており、現在でも多くの未解決問題を抱えています。本授業では、現代の地球およびそこで起きる諸現象について講義するとともに、地球科学におけるいくつかの論争についても紹介します。歴史的な視点もまじえながら、受講者それぞれが自分なりの地球観を確立することを目指します。<br><br>1. はじめに：地球と地球惑星科学<br>2. 太陽系の形成：太陽系はどのようにしてできたのか？<br>3. 地球は内部構造：地球の中はどうなっているのか？<br>4. 地球を構成する物質：地球は何でできているのか？<br>5. 地球の運動：地球はどのように変動しているのか？<br>6. 地球の科学：地球についてどんな研究をしているのか？<br>7. 地球の観測：地球をどのように見るのか？<br>8. 自然災害（１）：地震<br>9. 自然災害（２）：火山<br>10. 地球の資源<br>11. 地球に関する論争（１）：恐竜絶滅<br>12. 地球に関する論争（２）：大陸移動説<br>13. 地球に関する論争（３）：地震予知<br>14. 地球に関する論争（４）：地球温暖化 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書は使用せず、必要に応じてプリントを配布します。<br>参考書<br>「地球惑星科学入門」在田一則・他編著、ISBN978-4-8329-8219<br>「地球の教科書」井田喜明著、ISBN978-4-00-006251-0<br>「絵でわかるプレートテクトニクス」是永淳著、ISBN978-4-06-154768-1 | | |
| 試験・評価方法 | 出席を兼ねたアンケート（50%）および期末試験（50%）により評価します。<br>履修取り下げ制度を採用します。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 月曜１限の授業ですが、遅刻せずに来て下さい。 | | |

# 現代数学への流れ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋大学 | 科目コード | 290114 |
| 担当教員 | 吉田　伸生（教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　火曜日：1 限（845～1015） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 数学・物理・化学 | | |
| 教室 | 東山キャンパス全学教育棟本館Ｃ１４ | | |
| 履修条件 | 一年生で習う程度の線形代数，微積分の知識を仮定する. | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 確率論の基礎を踏み固めた上で，統計の基本的手法（推定・検定）を概観する.<br><br>下記の項目から，適宜取捨選択する.<br><br>1. 確率変数とその分布<br>2. 平均と分散<br>3. 独立確率変数<br>4. 独立性を応用した計算例<br>5. 極限定理<br>6. 統計学入門<br>7. $\chi$2-分布による推定と検定<br>8. F-分布・ t-分布による推定と検定<br>9. 回帰分析 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書<br>吉田伸生 著　「確率の基礎から統計へ」（遊星社）<br>参考書<br>特になし | | |
| 試験・評価方法 | レポート提出による. | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | | | |

# 動植物の科学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋大学 | 科目コード | 290115 |
| 担当教員 | 大森　保成（准教授） | | |
| 学年配当 | ２年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　水曜日：３限（1300～1430） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 生物 | | |
| 教室 | 東山キャンパス全学教育棟本館Ｃ１３ | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | ４月,9 月 |
| 講義概要 | 動物と植物は、われわれにとって最も身近な生物界のメンバーであり、様々な場面でわれわれの生活と密接な関係をもって存在している。本講義では、この最も身近な動物と植物を対象として、生物個体のからだの構造と成り立ち、構造と機能との関係、生物同士のかかわりあい、ならびに生物多様性などについて、いくつかのトピックスを挙げて説明することにより、生命と生物の意味を総合的に考えることを目的とする。<br><br>動物形態学、森林生態学をそれぞれ専門とする大学院生命農学研究科所属の２名の教員（大森保成、中川弥智子）により、以下の内容でリレー式に講義を行う。<br><br>1. 消化管の一般的構造（大森）<br>2. 消化管、消化腺および付属器官の構造と消化機能（大森）<br>3. 消化管ホルモンの発見と消化機能の調節（大森）<br>4. 消化吸収の妙 ～胃・腸～（DVD）神経系による消化機能の調節（大森）<br>5. 腸内フローラ ～解明！驚異の細菌パワー～（DVD）神経系による消化機能の調節（大森）<br>6. 草食動物（ウシとウマ）における消化器の特徴（大森）<br>7. 鳥類（ニワトリ）における消化器の特徴（大森）<br>8. 生物多様性とは（中川）<br>9. 多種多様な生物が創出・維持される仕組み（中川）<br>10. 動植物の消失原因（中川）<br>11. 生物多様性の低下がもたらす影響（中川）<br>12. 生物多様性の持続的な利用（中川）<br>13. 生物多様性の保全方法（中川）<br>14. 生物多様性が特に高い熱帯雨林の紹介（DVD）（中川） | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書<br>使用しない。講義中に資料を配布する。<br>参考書<br>必要に応じて講義の中で紹介する。 | | |
| 試験・評価方法 | 履修取り下げ制度を採用する。期末試験と小レポート（６７％）、および出席確認を兼ねて行う小テストあるいはアンケート（３３％）の総合点で成績を判断する。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 特になし | | |

# 都市と環境

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋大学 | 科目コード | 290116 |
| 担当教員 | 齋藤　輝幸（准教授） | | |
| 学年配当 | ２年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　水曜日：３限（1300～1430） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 地球・環境・エネルギー | | |
| 教室 | 東山キャンパス全学教育棟Ａ館Ａ２１ | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | ４月,9 月 |
| 講義概要 | 都市や建築におけるエネルギー消費に支えられた人間の諸活動と、都市および建築内における環境問題との関わりを種々の側面から考え、それらの問題に対する都市・建築設備的な対応や環境工学的な対応、人間の特性を踏まえた対処法などを学び、総合的な思考力を培う。<br><br>1. 都市・建築における活動と環境問題<br>都市・建築空間の拡大と近年の環境問題に対して、省エネルギー的視点の必要性を中心に講義する。また、環境問題を解決する糸口として、建物や建築設備におけるライフサイクル評価の意義、都市環境問題の１つであるヒートアイランド現象に対する都市計画的な解決の可能性、および都市環境の維持・改善のために適用されているいくつかの建築関連法規について講義する。<br><br>2. 都市環境問題に対する都市・建築設備的な対応<br>都市・建築における種々の未利用エネルギー・自然エネルギー利用システムの構成と特徴を示し、それらに期待される効果と活用方法、普及のための課題などについて講義する。また、建築・都市に導入される地域冷暖房システム、燃料電池、雨水・中水利用システムなどの概要と有効性、都市空間において期待されている役割などについて講義する。<br><br>3. 室内空気質問題と対応<br>室内空気質問題が生じてきた背景と現状を示し、それらの問題を解決するために検討・整備されてきた各種基準値や対応策などについて講義する。また、それらをふまえて建築物および冷暖房・換気設備の果たすべき役割について講義する。<br><br>以上のような講義を通して種々の環境問題があることを理解し、省エネルギーに関する考え方や技術的な対応を学ぶとともに、現在および将来の日常生活やそれぞれの仕事に活かせるように考えて欲しい。また、身近なあるいは社会的な環境問題と他の学問分野との関連性についても意識するように心がけてほしい。 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書<br>直接的な教材としては、毎回講義資料を配布する。<br>参考書<br>都市環境学（都市環境学教材編集委員会、森北出版）、地球環境建築のすすめ（日本建築学会編、彰国社）、環境学研究ソースブック（名古屋大学環境学研究科編、藤原書店）、空気調和・設備衛生の環境負荷削減対策マニュアル（空気調和・衛生工学会）、建築・都市エネルギーシステムの新技術（空気調和・衛生工学会編） | | |
| 試験・評価方法 | レポート３０%、期末試験７０%<br>定期試験を受験しない者は「欠席」とする。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 本講義は文系に対する理系教養科目であり、理系の一部の学科には履修を許可しない場合がある。 | | |

# 現代の生命科学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋大学 | 科目コード | 290117 |
| 担当教員 | 井原　邦夫（准教授）<br /><br /><br />岩渕　万里（講師）<br /><br /><br />金岡　雅浩（講師） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　金曜日：1 限（845～1015） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 生物 | | |
| 教室 | 東山キャンパス全学教育棟本館Ｃ３２ | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 今日の「生命科学」の急速な発展は、私たちの実生活にも大きな影響を及ぼしています。この講義では、ゲノム、遺伝子、再生医療、遺伝子組換え生物といった身近な問題について、最新トピックスを含めて学んでいきます。また、現代生命科学において重要性が増すエピジェネティクスについても理解を深めます。エピジェネティクスが生殖、細胞分化、進化などの生命現象にどのように関与するのか、さらにはクローンや疾病との関わりについて学習します。これらの講義を通して、生命の巧妙さや、私たちが向き合っていかなければいけない現代の諸問題について考えていきたいと思います。<br /><br />1. 遺伝子工学とは何か<br />2. ゲノムの配列を決める<br />3. 遺伝子を試験管内で増やす<br />4. 遺伝子の働きを操作する<br />5. 再生医療（1）<br />6. 再生医療（2）<br />7. 生命科学と食糧問題（3）<br />8. 生命科学と食糧問題（4）<br />9. エピジェネティクスとは何か？<br />10. エピジェネティクスと生命現象（1）<br />11. エピジェネティクスと生命現象（2）<br />12. エピジェネティクスと生命現象（3） | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書<br />指定しない。<br />参考書<br />授業中に紹介する。 | | |
| 試験・評価方法 | 出席点（30%）、授業への取り組み(20%)と、各担当教員が行う小テスト（課題またはレポートなど；50%）の合計点により判断する。<br />履修を取り下げる場合は、履修取り下げ届を提出すること。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 特になし | | |

# 特別講義（障害学入門）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋大学 | 科目コード | 290118 |
| 担当教員 | 佐藤　剛介（特任講師） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　月曜日：2 限（1030～1200） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 東山キャンパス全学教育棟本館Ｓ２０ | | |
| 履修条件 | 文系理系を問わず、また、興味関心を問わず、多様な学生の参加を歓迎する。 | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 「障害者差別解消法」が施行され、障害や差別について考えることが、今改めて必要となっている。この課題に取り組んできたのが、1970 年代に欧米諸国で成立した障害学である。障害学は、障害を個人の特性と本人を取り巻く社会環境の相互作用によって生み出されるもの（「障害の社会モデル」）として提示した。障害の社会モデルを踏まえることによって、社会の物理的環境や制度、観念等を問い直すことが可能となる。本講義は、障害について基礎的知識を習得した、多様な人びととの共生の実現に寄与することのできる人材を育成することを目的とする。<br>本講義は、３つのテーマによって構成される。「Ⅰ　障害に関する基礎的知識の習得」においては、障害特性や障害学の展開、障害者に関する施策や思想の展開、動向や人々の行動特性等について学ぶ。「Ⅱ　障害者支援に関する実践」においては、体験型の授業を行う。「Ⅲ　障害者の中の多様性、多様性の中の障害者」においては、性別、国籍、文化背景、婚姻状況等の差異を越えて、人々が共生するための方策を探る。NOTE：授業の進行度や受講学生数によって、授業内容が前後するので、以下の順で授業進行するとは限らない。<br><br>1. 障害に関する基礎的知識の習得<br>・イントロダクション：障害とは何か<br>・障害者の生活<br>・障害に関する施策・思想の歴史的展開<br>・障害における文化的差異<br>2. 障害者支援に関する実践<br>・障害者を支える機器<br>・聴覚障害者支援に関する理解と実践<br>・視覚障害者支援に関する理解と実践<br>・肢体不自由障害者支援に関する理解と実践<br>3. 障害者の中の多様性、多様性の中の障害者<br>・障害とジェンダー・セクシュアリティ<br>・社会的包摂（social inclusion）施策と障害者<br>・支援に関わる制度のジレンマ<br>・バリアフリーからユニバーサルデザインへ | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書<br>特になし<br>参考書<br>Oliver, M., 1990, The Politics of Disablement, London: Macmillan. （三島亜紀子ら訳, 2006 障害の政治―イギリス障害学の原点― 明石書店）<br>小川喜道・杉野昭博編著, 2014, よくわかる障害学（やわらかアカデミズム・わかるシリーズ）ミネルヴァ書房. | | |
| 試験・評価方法 | ・履修取り下げ制度を採用<br>・中間レポート（30%）と期末レポート（70%）により評価<br>・10 回以上授業を欠席した者、期末レポート試験を受験しない者は「欠席」扱いとする | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 特になし | | |

# 技術教育学演習Ⅰ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋大学 | 科目コード | 290119 |
| 担当教員 | 横山　悦生（教授） | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年,5 年,6 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　火曜日：2 限（1030～1200） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 東山キャンパス文系共同館 E 演習室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 数名 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 本演習では、企業内教育、キャリア教育、遊び、手の労働、工作教育、技術科教育、障害児教育における作業学習、女性と職業と教育、家庭科教育史、博物館と教育、技術史と教育、産業遺産と産業観光などの諸問題の中から、参加者が関心を持っている問題についてとりあげる。前期には、キャリア教育や企業内教育の問題に関する文献を共通のテキストとして学習することを予定しているが、スウェーデンから来ている大学院生（ゼミの TA でもある）に日本語でスウェーデンの教育について紹介してもらうことも予定している。参加者の希望があれば、北欧における若者の学校の世界から社会への移行問題を取り上げることも考えている。到達目標は、各自の関心にもとづいて発表すること通じて各自の問題意識を深化させることである。 | | |
| テキスト・参考文献 | テキストは、参加者の関心を最初のゼミで語ってもらい、その上で決定する。 | | |
| 試験・評価方法 | 平常点（ゼミへの参加状況） | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 特になし | | |

# 技術教育学演習Ⅱ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋大学 | 科目コード | 290120 |
| 担当教員 | 横山　悦生（教授） | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年,5 年,6 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　火曜日：2 限（1030～1200） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 東山キャンパス文系共同館 E 演習室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 数名 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 本演習では、企業内教育、キャリア教育、遊び、手の労働、工作教育、技術科教育、障害児教育における作業学習、女性と職業と教育、家庭科教育史、博物館と教育、技術史と教育、産業遺産と産業観光などの諸問題の中から、参加者が関心を持っている問題についてとりあげる。到達目標は、各自の関心にもとづいて発表すること通じて各自の問題意識を深化させることである。 | | |
| テキスト・参考文献 | テキストは、参加者の関心を最初のゼミで語ってもらい、その上で決定する。 | | |
| 試験・評価方法 | 平常点（ゼミへの参加状況） | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 特になし | | |

# 発達援助臨床学講義Ⅱ－キャリアの心理学－

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋大学 | 科目コード | 290121 |
| 担当教員 | 金井　篤子（教授） | | |
| 学年配当 | ３年,4 年,5 年,6 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　火曜日：２限（1030～1200） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 東山キャンパス教育学部棟大講義室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | キャリアとは何か、人はどのようにキャリアをのばすのか、など、特に組織内キャリアに焦点を当てつつ、関連するライフ･キャリアなど生涯にわたるキャリアについて知見を得るとともに、自己のキャリアについて考察する機会を持つ。講義を中心に行うが、参加者に発言を求めたり、グループでの討論を行ったりすることもある。<br>組織内キャリア、ライフ・キャリアについての心理学的知見が理解できること、これらの知見を用いて、自分のキャリアについて考えることができること、キャリア研究について関心を持つこと、の３点を到達目標とする。具体的な内容は以下のとおり。<br>1.キャリアとは<br>2.年齢層別のキャリア発達課題<br>3.キャリア・トランジション<br>4.キャリア発達の理論<br>5.キャリア・ストレス<br>6. 個と組織のキャリア<br>7.ワーク・モチベーション<br>8.リーダーシップ<br>9.人材マネジメントにおけるキャリア発達支援<br>10.キャリア・カウンセリング<br>11.キャリア・アセスメント<br>12.キャリア発達の心理学と人材マネジメント | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書：二村英幸著「改訂増補版個と組織を生かすキャリア発達の心理学」金子書房 | | |
| 試験・評価方法 | 授業への出席および関与度（４０%）、定期試験（６０%）定期試験では、講義で扱われた重要な概念についての理解を問う出題がなされる。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | なし | | |

# 経済政策

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋大学 | 科目コード | 290122 |
| 担当教員 | 西　聡（教授） | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　月曜日：3 限（1300～1430） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 東山キャンパス経済学部第 1 講義室 | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 税、社会保障などの制度設計の基本的考え方を学習することで、政策決定の背景・課題等の深度ある理解を通じて我が国経済の政策課題に関する自主的探求力を育成することを目的とします。<br>1.オリエンテーション・序論<br>2.財政総論<br>3.社会保障政策―医療・介護<br>4.社会保障政策―年金<br>5.租税政策総論<br>6.租税政策各論―所得税<br>7.租税政策各論―法人税<br>8.租税政策各論―消費税<br>9.関税政策等<br>10.国際課税―二重課税の調整<br>11.国際課税―タックスヘイブン税制<br>12.国際課税―移転価格税制<br>13.国際課税―BEPS 等<br>14.外部講師による講演会<br>15.予備 | | |
| テキスト・参考文献 | 窪田修「図説日本の財政〈平成 28 年度版〉」東洋経済新報社 2016 年 9 月<br>田原芳幸「図説日本の税制〈平成 28 年度版〉」財経詳報社 2016 年 8 月 | | |
| 試験・評価方法 | 期末試験の成績を基本としつつ、講義への出席状況・参加姿勢等も踏まえて評価する。履修取り下げ制度を採用しない。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし。 | | |
| その他特記事項 | 特になし。 | | |

# 特殊講義（財務会計実務）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋大学 | 科目コード | 290123 |
| 担当教員 | 野口　晃弘（教授） | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　木曜日：5 限（1630～1800） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 東山キャンパス経済学部演習室 12 | | |
| 履修条件 | 財務会計を修得済みか、それと同等の知識が必要になります。 | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | この講義では、日本公認会計士協会東海会から講師の派遣を受けて，日本の会計及び財務報告の実務について学ぶ機会を提供し、それによって自主的探求力の育成を図ります。<br>1.序論<br>2.会計基準の国際化と収斂<br>3.修正国際基準<br>4.収益認識<br>5.公正価値評価<br>6.金融商品<br>7.キャッシュフローと資金繰り<br>8.統合報告<br>9.IT と会計<br>10.企業結合<br>11.リース<br>12.報酬と年金<br>13.税効果<br>14.ビッグデータ時代の会計<br>15.総括 | | |
| テキスト・参考文献 | 桜井久勝（2016）『財務会計講義』中央経済社. | | |
| 試験・評価方法 | 出席(30%)，講義への参加姿勢(30%)，提出課題(40%). | | |
| 別途必要な経費 | 特になし。 | | |
| その他特記事項 | 講義は日本語で行われます。<br>財務会計を修得済みか、それと同等の知識が必要になります。 | | |

# 特殊講義（財務・金融行政実務）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋大学 | 科目コード | 290124 |
| 担当教員 | 西　聡（教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　木曜日：4 限（1445～1615） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 東山キャンパス経済学部第 3 講義室 | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 財政金融当局の行政官による所管行政についての講義を通じて、我が国経済が抱える政策課題及び行政課題についての自主的探求力を育成することを目的とします。<br>1.オリエンテーション・東海地域の経済の現状　東海財務局<br>2.日本経済・財政の現状と課題　東海財務局<br>3.財政１―日本の財政と私たちの暮らし　東海財務局<br>4.財政２―租税の歴史と現状　財務省<br>5.財政３―税制の概要と社会保障・税の一体改革　財務省<br>6.財政４―関税制度の概要と税関行政の課題　財務省<br>7.財政５―国有財産の概要、国有地と地域との関わり　東海財務局<br>8.国際金融―国際金融政策の現状と課題　財務省<br>9.金融１―金融の役割・重要性と地域との関わり　東海財務局<br>10.金融２―金融機能の安定と預金者保護　東海財務局<br>11.金融３―金融機関の業務の健全性、適切性の確保　東海財務局<br>12.金融４―証券市場等の基礎知識と証券検査の実務　東海財務局<br>13.金融５―金融サービスと利用者保護　東海財務局<br>14.予備　東海財務局<br>15.まとめ　東海財務局 | | |
| テキスト・参考文献 | 毎回、配付するレジュメに基づき講義を行う。 | | |
| 試験・評価方法 | 毎回、提出する講義内容に関するアンケート課題（50%）と期末試験（50%）の成績で評価する。履修取り下げ制度を採用しない。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし。 | | |
| その他特記事項 | 講師の都合により授業の順序・内容等が変更されることがある。 | | |

# 原子核物理学Ⅰ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋大学 | 科目コード | 290125 |
| 担当教員 | 飯島　徹 （教授） | | |
| 学年配当 | ３年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　水曜日：１限（845～1015） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 数学・物理・化学 | | |
| 教室 | 東山キャンパス理学部Ｂ館５０１室 | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 本講義の目的とねらい:<br>人類は古来より「万物の根源は何か？」を問い続け、最も基本的な下部構造として原子核さらには素粒子にたどり着いた。その探求は宇宙の初期の歴史を紐解く道でもある。本講義では、サブアトミック粒子と総称される素粒子･原子核の研究手法、その構造と反応、宇宙物理との関連を学ぶ。<br><br>講義内容:<br>1. 基礎知識（単位、特殊相対論、角運動量、ファインマン図など）<br>2. サブアトミック粒子の構造<br>3. サブアトミック粒子の崩壊<br>4. サブアトミック世界を探る道具ー加速器と放射線検出器ー<br>5. 弱い相互作用とニュートリノ物理<br>6. 強い相互作用とクォーク物理<br>7. サブアトミック物理と宇宙 | | |
| テキスト・参考文献 | 参考文献：1. 永江知文、永宮正治、2.「原子核物理学」裳華房、八木浩輔、その他講義時に適宜指示する。 | | |
| 試験・評価方法 | 日常点（出席およびレポート）と試験結果を総合的に判断する。 | | |
| 別途必要な経費 | なし。 | | |
| その他特記事項 | 担当者の Web ページ：<br>http://www.hepl.phys.nagoya-u.ac.jp/~iijima.nagoya/ | | |

# 量子力学Ⅲ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋大学 | 科目コード | 290126 |
| 担当教員 | 前川　展祐（准教授） | | |
| 学年配当 | ３年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　火曜日：２限（1030～1200） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 数学・物理・化学 | | |
| 教室 | 東山キャンパス理学部Ｃ館 517 室 | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ４月,９月 |
| 講義概要 | 本講義の目的は，量子力学の基礎を既に取得済みの学生を対象に、量子力学を実際の問題に適用する上で重要となる対称性と保存量の考え方の解説を行う。また、束縛状態や散乱問題を計算する際に役立つ様々な近似法について学ぶ。具体的な内容は以下のとおり。<br>1. 量子力学における対称性<br>並進対称性、回転対称性、ユニタリー群、パリティーと時間反転<br>2. 近似法<br>摂動計算の復習、WKB 近似<br>3. 散乱問題<br>S 行列、散乱断面積、ボルン近似、分散関係と光学定理 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書は指定しない。参考書として猪木・川合「量子力学」、サクライ「現代の量子力学」をあげておく。 | | |
| 試験・評価方法 | 学期末に行う筆記試験で成績の判定を行う。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし。 | | |
| その他特記事項 | 特になし。 | | |

# 無機化学特論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋大学 | 科目コード | 290127 |
| 担当教員 | 高木　秀夫（准教授） | | |
| 学年配当 | ３年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　月曜日：1 限（845～1015） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 数学・物理・化学 | | |
| 教室 | 東山キャンパス理学部 A 館 322 室 | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 化学現象は量子力学的原理に支配されていると考えられているが、基礎科目の授業ではその関わりがなかなか見えてこない。この講義では、量子力学的概念を化学現象と結びつけるために必要な群論の基礎を解説することによって、受講者が分子軌道や電子遷移、分子振動の分析法に習熟してもらうことを目的としている。<br>この授業を履修することによって、受講者は「⑴各種の点群とその対称要素（操作）について説明できる、⑵指標表に基づく色々な演算ができる、⑶簡単な分子や金属錯体の分子軌道が自在に描ける、⑷色々な分子の基準振動モードをもとめることができる、⑸電子遷移の禁制と許容が判断できる、⑹振動分光における許容と禁制が判断できる、⑺金属錯体の構造に応じて d?軌道分裂の様子を描き、各軌道を帰属することができる」ようになることが期待される。具体的な内容を以下に記す。<br>1.群論入門１（分子の対称性と点群）<br>2.群論入門２（指標表のなりたち・規約表現・指標表の性質）<br>3.群論入門３（指標表の使い方／群軌道・分子軌道法の概念と指標表）<br>4.群論入門４（分子の振動と指標表～IR・Raman 分光法入門）<br>5.光の吸収と群論　（指標表と電子遷移～遷移ダイポールモーメントに基づく禁制遷移と許容遷移の判定～）<br>6.錯体化学と群論１（電子状態と項：球対称場から弱配位子場?強配位子場）<br>7.錯体化学と群論２（対称性の低下にともなう軌道分裂：Kugel 群と部分群） | | |
| テキスト・参考文献 | テキスト：高木秀夫著「量子論に基づく無機化学」名大出版会（2010）<br>参考書：S.F.A.Kettle 著「Symmetry and Structure-a readable group theory for chemists」Wiley (1995)、高木秀夫著「基礎から学ぶ量子化学」三共出版（2012)など | | |
| 試験・評価方法 | レポートの成績と期末試験の結果から総合的に評価する | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | この授業は数学に深く立ち入らないで、物理学や数学が苦手な人にも群論が理解できるように工夫されているので、数学が苦手な方にも推奨する。この科目を履修するためには、学部基礎過程で無機化学と有機化学の基礎の他、量子化学／量子力学の基礎に関する講義を履修している必要がある。 | | |

# 物理化学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋大学 | 科目コード | 290128 |
| 担当教員 | 篠原　久典（教授） | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ４単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　水曜日,木曜日：１限（845～1015）２限 10301200 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 数学・物理・化学 | | |
| 教室 | 東山キャンパス理学部Ｂ館 212 室 | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 化学全般の理解に必要な、物理化学の基礎を修得する。特に、熱力学の基本概念とその応用の理解に力点をおく。熱力学は古くて新しい学問であり、化学だけでなく自然科学のありとあらゆる分野で必修の学問体系である。特に、エネルギー、エントロピーとギブス関数の理解が再重要課題である。また、熱力学の理解をよりー層深めるために、統計(熱)力学の初歩も学習する。最後に、化学反応速度論の基礎を修得する。ここでは、熱力学と統計(熱)力学が基礎となっている。 | | |
| テキスト・参考文献 | Atkins' Physical Chemistry 10th Ed. Oxford University Press (2014). | | |
| 試験・評価方法 | 問題演習のレポートと中間・期末試験の結果で総合的に評価 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 地球生物学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋大学 | 科目コード | 290129 |
| 担当教員 | 大路　樹生（教授）<br /><br /><br />門脇　誠二（講師） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　月曜日：2 限（1030～1200） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 地球・環境・エネルギー,生物 | | |
| 教室 | 東山キャンパス理学部 E 館 101 教室 | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 地球史における生物の進化の概要と、生物進化と地球環境の変遷との関わりについて講義する.<br><br>1. 生命と地球の「共進化」、化石化作用とタフォノミー、化石から知る生物多様度<br>2. 地球と地層の年代を求める方法：　その歴史、時間層序単位<br>3. 初期地球と生命の誕生、最古の化石記録<br>4. 大酸化イベントと真核生物の進化<br>5. 多細胞動物の進化：　エディアカラ紀の生物と環境<br>6. カンブリア爆発：　左右相称動物の進化<br>7. 生物多様度の変遷と大量絶滅<br>8. 中生代の海洋変革<br>9. 「生きている化石」の古生物学<br>10. 生物地理学：　生物地理区の形成とプレートテクトニクス<br>11. 古環境の推定法、現在と近未来の地球環境<br>12. 人類の進化（1）：　ヒトの生物学的な位置づけ、猿人～原人の進化と気候変化の関係<br>13. 人類の進化（2）：　原人と旧人段階の人類多様性、ホモ・サピエンスの出現と拡散、旧人・新人交替劇<br>14. 試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 「フィールド古生物学」大路樹生著、東京大学出版会、2009　（参考文献） | | |
| 試験・評価方法 | 出席、小レポート、試験によって総合的評価 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 資料集を配布します。 | | |

# 生物圏進化学Ⅰ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋大学 | 科目コード | 290130 |
| 担当教員 | 須藤　斎（准教授）<br /><br />林　誠司（講師） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　水曜日：3 限（1300～1430） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 地球・環境・エネルギー,生物 | | |
| 教室 | 東山キャンパス理学部Ｅ館 101 室 | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 本講義では，地球史における生物進化と環境とのかかわりを考究する上で，必要な基礎知識（古生物学，古生態学，形態学，系統学，古生物地理学等）について詳説する．各単元において，実際の研究事例を概観しつつ，生物圏の変遷過程について多角的に理解を深める．<br><br>1．プレートの移動と大気・海洋循環（1）<br>2．プレートの移動と大気・海洋循環（2）<br>3．様々な微化石と生物地理（1）<br>4．様々な微化石と生物地理（2）<br>5．海洋生態系の基礎ー特にプランクトンに関して<br>6．海水の特性と環境<br>7．生層序学の基礎<br>8．種とは何か<br>9．種分化<br>10．生物の系統を探るー分岐分析<br>11．生物の系統を探るー分子系統学<br>12．成長と形態<br>13．生態系の構造と生態学的地位<br>14．個体群の成長と繁殖戦略<br>(1～7，須藤担当; 8～14，林担当) | | |
| テキスト・参考文献 | 特に無し（講義中に配布・指定する） | | |
| 試験・評価方法 | 出席（30%），レポートおよび試験（70%）の割合で評価する． | | |
| 別途必要な経費 | 特に無し | | |
| その他特記事項 | 特に無し | | |

# 海洋生物学実習及び講義Ⅱ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋大学 | 科目コード | 290131 |
| 担当教員 | 澤田　均（教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　集中講義：集中講義（～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 生物 | | |
| 教室 | 理学研究科附属臨海実験所<br /><br /><br>（三重県鳥羽市菅島４２９-６３） | | |
| 履修条件 | 生物学の基礎知識のある者が望ましい | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | ４月,9 月 |
| 講義概要 | ・目的<br>　磯の生物を採集し観察することにより、どういう生物がどこに棲息しているのか、またどのように分類されるのか、について学習する。さらに、海産無脊椎動物の受精発生観察を通して、有性生殖と個体発生のしくみに関する理解を深める。<br><br>・内容<br>　磯で海産動物を採集し、分類と形態観察を行う。さらに、ウニやホヤの受精と胚発生の観察を行う。また、ホヤにおける自家不稔様式、アポトーシス、生殖細胞分化機構、プロテオーム解析等に関する講義も行う。<br><br>・授業形態<br>　実習 | | |
| テキスト・参考文献 | テキスト：なし。<br>参考文献：実習中に紹介する。 | | |
| 試験・評価方法 | 実習への出席、レポート、口頭発表による。 | | |
| 別途必要な経費 | 合宿研修を行うので、参加者は研修費（約 10,000 円）を別途必要とする。なお、この研修費には食費、宿泊費、懇親会費、クリーニング代金が含まれている。支払いは現金のみ。 | | |
| その他特記事項 | ・当日は、近鉄名古屋駅から近鉄特急で鳥羽駅まで来て、普通列車に乗換えて次駅『中之郷駅』で下車し（または 9:21 分発の急行「五十鈴川行き」に乗り、普通列車に乗換）、直結出口から右手に進み、食堂「ちどり屋」の右手のコンクリート桟橋に午前 11 時 45 分に集合すること。中之郷駅は無人駅であるが、IC カードリーダーはある。ただし、IC カードのチャージはできない。<br>・持ち物として、タオル、洗面具（シャンプー、石鹸、洗剤等）、着替え、パジャマ（またはジャージ）、補助食、水筒（ペットボトルでもよい）、保険証のコピー、ノート型パソコンを持参すること。また必要に応じて、日焼け止めクリーム、薬（酔い止め等）、お菓子、飲物、ラジオ、カメラなどを用意する。室内履きや磯採集のための長靴を貸与するが、自分専用のものを使用したい場合には持参すること。<br>・中之郷駅の近くにはコンビニはありません。実験所の近くにはコンビニも自販機もありません。通常の食事で足りない人は、補助食（おやつ）等を持参すること。<br>・詳細については臨海実験所のホームページ(http://www.bio.nagoya-u.ac.jp/~SugashimaMBL/Marine.html) を参照するように。天候等で延期または中止になる場合があるので、携帯電話番号、メールアドレス等、緊急連絡が可能な連絡先を知らせること。また、延期等の場合には，上記ホームページまたは実験所の Facebook で連絡するので、前日必ずアクセスして確認すること。特に変更がない場合には、ホームページに特記しない。 | | |

# 生物化学２

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋大学 | 科目コード | 290132 |
| 担当教員 | 前島　正義（教授）<br /><br /><br />堀尾　文彦（教授） | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　月曜日：１限（845～1015） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 生命科学 | | |
| 教室 | 東山キャンパス農学部講義棟第１２講義室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 本講義は、生物に共通する細胞での物質代謝とエネルギー獲得の概念，具体的な経路に関する理解，そして代謝に関わる酵素の基本概念に関する理解，そして関連する数値計算にも習熟することを到達目標とする。<br>具体的な内容は以下のとおりとし、分かりやすく解説する。<br>パート１<br>01. はじめに（食物から生体成分の素材とエネルギーを取り出す仕組み）<br>02. 代謝からみた細胞構造の特徴と意味<br>03. タンパク質を調べる（ゲノムサイエンス，分子の精製，機能解析）<br>04. 酵素反応速度論（酵素反応の特徴，反応速度を規定する要因，反応速度の測定，ミカエリス・メンテン式）<br><br>パート２<br>05. 解糖経路<br>06. 糖質の異化代謝の調節<br>07. ペントースリン酸経路（グルコース酸化の第二経路）<br>08. クエン酸回路：代謝経路，役割，調節<br>09. 脂肪酸の酸化<br>10. 尿素サイクル<br><br>パート３<br>11. 酵素反応の阻害様式と解析法<br>12. 補酵素の種類と機能<br>13. 生体エネルギー論：ＡＴＰおよび高エネルギーリン酸化合物<br>14. ミトコンドリアでの酸化的リン酸化反応（ATP 合成の分子機構）<br>15. エネルギー転換効率とエネルギー生産の調節 | | |
| テキスト・参考文献 | レーニンジャーの新生化学　第6版　上・下巻（廣川書店）／詳細プリント配布 | | |
| 試験・評価方法 | ・出欠および理解度確認のためのレポートと定期試験により総合的に成績評価。<br>・履修取り下げ制度を採用する。<br>・履修取り下げの有無に関わらず，定期試験を受験しない者は「欠席」とする。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | | | |

# 学校リスクの社会学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知教育大学 | 科目コード | 290201 |
| 担当教員 | 片山　悠樹 | | |
| 学年配当 | ３年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　水曜：１限（910～1040）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 初回授業時に教務課窓口で連絡 | | |
| 履修条件 | ３年生以上の履修が望ましい。 | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ４月,9 月 |
| 講義概要 | 目標<br>本講義では、逸脱・非行問題を取り上げ、教育におけるリスクの問題について社会学的にアプローチする。逸脱の社会学理論を学び、具体的な現象を扱う。<br>計画・方法<br>基本的には講義形式で行う。<br><br>第１回　ガイダンス<br>第２回　逸脱とは？<br>第３回　「動機」って？<br>第４回　社会学というアプローチ<br>第５回　逸脱の社会学理論①ー逸脱の社会学「誕生」以前ー<br>第６回　逸脱の社会学理論②ー社会解体論ー<br>第７回　逸脱の社会学理論③ー分化的接触理論その１ー<br>第８回　逸脱の社会学理論④ー分化的接触理論その２ー<br>第９回　逸脱の社会学理論⑤ー緊張理論ー<br>第 10 回 逸脱の社会学理論⑥ーボンド理論ー<br>第 11 回 逸脱の社会学理論⑦ーラベリング理論その１ー<br>第 12 回 逸脱の社会学理論⑧ーラベリング理論その２ー<br>第 13 回 逸脱の社会学理論⑨ーラベリング理論を超えてー<br>第 14 回 逸脱・非行問題を考えるーいじめ・不登校ー<br>第 15 回　テスト | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書は使用しない。参考文献は講義中に指示する。 | | |
| 試験・評価方法 | テストにより評価（100%） | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 特になし | | |

# 日本の教育の歴史

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知教育大学 | 科目コード | 290202 |
| 担当教員 | 釜田　史 | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　水曜：1 限（910～1040）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 初回授業時に教務課窓口で連絡 | | |
| 履修条件 | 3 年生以上の履修が望ましい。 | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | この講義では、主に近現代の日本における教育の歴史について理解するとともに、これまで身近な存在であった「子ども」「学校」「教師」などについて歴史的な視点から考えたり、問い直すことを目的とする。また、可能な限り、愛知県の教育の歴史や愛知教育大学の歴史的な変遷についても触れる。講義で取り上げる主な内容は下記の通り。<br>（受講者数や受講者の興味・関心等に応じて取り上げるテーマ等を変更する可能性があります）<br><br>1. オリエンテーション<br>2. 教育を歴史的にみるということ<br>3. 近世における教育機関と学び<br>4. 「学校」の誕生<br>5. 学歴と受験<br>6. 教師と教員養成（1）<br>7. 教師と教員養成（2）<br>8. （中間レポート）<br>9. 戦後教育改革<br>10. 高度経済成長と教育<br>11. 教育の荒廃と学校病理現象（1）<br>12. 教育の荒廃と学校病理現象（2）<br>13. 現代における教育改革<br>14. 愛知県・愛知教育大学の歴史<br>15. 授業のまとめ | | |
| テキスト・参考文献 | 特になし。参考文献については講義中に提示する。 | | |
| 試験・評価方法 | 下記の2つを総合して評価を行う。<br>（1）コメントカードや中間レポートの提出状況と内容（約 40%）<br>（2）レポート課題（約 60%） | | |
| 別途必要な経費 | 特になし。 | | |
| その他特記事項 | 特になし。 | | |

# 世界の教育とキャリア形成

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知教育大学 | 科目コード | 290203 |
| 担当教員 | 京免　徹雄 | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　水曜日：2限（1050～1220） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 初回授業時に教務課窓口で連絡 | | |
| 履修条件 | 3 年生以上の履修が望ましい。 | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 本授業では、諸外国の学校教育について、特に子どものキャリア形成支援（キャリア教育）に着目して検討します。日本に在住していると日本の学校は当たり前のものとして感じがちですが、実際のところ教育の形は国よって大きく異なっており、海外に目を向けると、多様な社会・文化を背景に多様な教育が営まれています。一般化（共通点）と差異化（相違点）を意識して外国と比較することで、日本の教育を相対化して捉えてみましょう。<br>グローバル化が進展する時代において、国際感覚を備えた教員が求められています。世界の中での日本の教育の位置を自覚し、その成果と課題を認識した上で、自分自身が教員としてどのような学校教育をつくっていくか、吟味してみてください。<br>各回の授業は、原則として教員による 70 分程度の講義と、20 分程度のディスカッションを合わせた形で進めていきます。講義でも数カ国を取り上げますが、それ以外にも各グループで興味のある国について調べて発表してもらう予定です。また、総括討論では、それまでの学習をふまえて、日本の教育の可能性とそこへの関わり方について丁寧に議論していきます。具体的な内容は以下の通りです。<br>1. ガイダンス<br>2. 日本における学校教育とキャリア形成<br>3. アメリカにおける学校教育とキャリア形成<br>4. フランスにおける学校教育とキャリア形成<br>5. ドイツにおける学校教育とキャリア形成<br>6. 韓国における学校教育とキャリア形成<br>7. 国際比較のプレゼンテーション<br>8. 総括討論 | | |
| テキスト・参考文献 | テキストはなく、資料を配布します。参考文献として以下を挙げておきます。<br>・二宮 皓編『新版 世界の学校　教育制度から日常の学校風景まで』学事出版、2013 | | |
| 試験・評価方法 | 中間レポート 20%、プレゼンテーション 20%、小レポート 10%、期末レポート 50%で評価します。欠席は 1 回につき 2 点減点します。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | ・3 分の 2（10 回）以上の出席が単位認定の前提となり、遅刻は 2 回で欠席 1 回としてカウントします。<br>・講義とプレゼンテーションの回数は受講者の人数によって変わることがあります（受講者が多い場合、プレゼンが増えて講義が減る、少ない場合はその逆です）。 | | |

# 個人と集団の心理学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知教育大学 | 科目コード | 290204 |
| 担当教員 | 石田　靖彦 | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　水曜日：2限（1050～1220） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 初回授業時に教務課窓口で連絡 | | |
| 履修条件 | 3 年生以上の履修が望ましい。 | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | この授業では，自己と他者、対人関係、集団に関する心理学的知見を紹介し、自分や他者を心理学的な観点から把握し、検討できることを目標とする。講義を主とするが、受講者に課題や皆の前での発表を求めることがある。講義の内容や順序は、受講生の関心等により変更することがある。具体的な主な内容は以下のとおり。<br>1.オリエンテーション<br>2.自己の理解<br>3.自己評価と自尊感情<br>4.他者の理解<br>5.対人魅力<br>6.対人関係の形成<br>7.社会的影響<br>8.学校現場での知見の応用，展開 | | |
| テキスト・参考文献 | テキストは用いない。参考文献などは授業で紹介する。 | | |
| 試験・評価方法 | 授業コメント，中間課題，最終課題（試験）のより総合的に評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | とくになし。 | | |
| その他特記事項 | | | |

# 教育実践の基礎理論
# -教職への夢を育む-

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知教育大学 | 科目コード | 290205 |
| 担当教員 | 倉本　哲男　他 | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　水曜日：2限（1050～1220） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 初回授業時に教務課窓口で連絡 | | |
| 履修条件 | 3 年生以上の履修が望ましい。 | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 将来、学生が教壇に立つ際に直面するカリキュラム・授業論、学級・学校経営論、及び生徒指導論などに関する学校教育実践の価値と重要性、或いはその「豊かさと美しさ、及び感動」について知識を得る。また、事例検討などを方法論としながら講義を進め、現代の学校教育実践の成果と課題について理解を深め、教職への夢を育むことを目的とする。<br>1.子どもを育てる学級経営３つのポイント<br>2.教員の行うコミュニケーション<br>3.学級問題の社会学・入門<br>4.地域を視野に入れた学校教育<br>5.「チーム学校」に向けた専門家連携<br>6.カリキュラム基礎 1:「授業づくり」の第一歩<br>7.カリキュラム基礎 2:具体的な授業場面<br>8.カリキュラム基礎 3:“楽しく深い授業”を創ろう】<br>9.カリキュラム基礎 4:「１時間の授業計画」<br>10.カリキュラム基礎 5:教材開発の方法・教材の活用方法<br>11.学校マネジメントの視点から学級編成 project に取り組む①<br>12.学校マネジメントの視点から学級編成 project に取り組む②<br>13.日米の文化論からみる学校マネジメント・生徒指導<br>14.学校で活かせるリーダーシップ論<br>15.学校カリキュラムの開発と授業・学力論 | | |
| テキスト・参考文献 | 参考文献は、各回の授業で適宜指示する。 | | |
| 試験・評価方法 | 「学級経営（第１回~第５回）」「授業・カリキュラム（第６回～第 10 回）」「学校経営（第 11 回～第 15 回）」の中で、授業内課題や事後の小レポートなどの提出を課します。成績は、これらの提出物をもとに、知識・理解度を総合的に評価します。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 特になし | | |

# 教育の哲学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知教育大学 | 科目コード | 290206 |
| 担当教員 | 山口　匡 | | |
| 学年配当 | ３年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　水曜日：１限（910～1040） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 初回授業時に教務課窓口で連絡 | | |
| 履修条件 | ３年生以上の履修が望ましい。 | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ４月,9 月 |
| 講義概要 | 本講義の目的は、教育事象に関する哲学的反省の歴史、展開、主要テーマ、今日的課題についての理解を深めることとする。<br>おおよそ以下の４つの項目にそって考察を行う。<br>1. 教育というコミュニケーション領域の特性<br>2. 教育にたいする哲学的反省の始まりとその展開<br>3. 論じられてきたテーマ<br>4. 今後取り組まれるべき課題<br><br>具体的な授業内容は以下の通り。<br>1. 「教育思想」をどうとらえるか<br>・「教育」の問われ方<br>・「教育」の二つの意味<br>・近代社会と「教育」の誕生<br>2. 教育思想の成立条件：近代教育の二律背反<br>・近代教育思想の人間像<br>・教育の根本問題：「指導（導く）」と「放任（育つに任せる）」<br>・近代教育思想（教育学）の誕生<br>3. 教育思想の展開：教育の根本問題がどのようにとらえられてきたか<br>・ロックの教育思想<br>・ルソーの教育思想<br>・カントの教育思想<br>4. 教育における根本問題の（拡大）再生産<br>・大人ー子ども関係の変容<br>・近代教育批判の諸相<br>・教育思想の今日的（現代的）課題<br><br>主として講義形式で授業を進めるが、数回小レポートを提出させ、ディスカッションの素材としていきたい。 | | |
| テキスト・参考文献 | プリントを配布する。<br>参考文献については授業のなかで随時提示していく。 | | |
| 試験・評価方法 | 数回の小レポート（３０％）と最終試験（７０％）をもとに総合的に評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし。 | | |
| その他特記事項 | 特になし。 | | |

# 青年の心理学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知教育大学 | 科目コード | 290208 |
| 担当教員 | 中井　大介 | | |
| 学年配当 | ３年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　水曜日：２限（1050～1220） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 初回授業時に教務課窓口で連絡 | | |
| 履修条件 | ３年生以上の履修が望ましい。 | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ４月,9 月 |
| 講義概要 | 青年心理学は，青年期の心理と行動の発達的変化を研究する心理学の一分野である。青年期は人間の生涯発達の中でも，特に著しく変化する時期とされている。本授業では，その青年心理学の基礎的な知識を理解し，複雑な現代社会に生きる青年期の自己理解や他者理解に役立つ知見を獲得することを目的とする。具体的には，①青年期の発達課題・思考など青年期の特徴について，②青年期の自己意識・他者意識など青年期の人間関係について，③青年期の発達障がい・精神障がいなど青年期の問題と援助について，理解を深めることを目指す。各回の内容は以下の通り。<br>１．オリエンテーション<br>２．青年期を理解する（１）：青年期の特徴<br>３．青年期を理解する（２）：発達課題とアイデンティティ<br>４．青年期を理解する（３）：思考と感情<br>５．青年期を理解する（４）：身体とジェンダー<br>６．青年期を理解する（５）：時間的展望とキャリア形成<br>７．青年期の人間関係（１）：青年期の自己意識<br>８．青年期の人間関係（２）：青年期の他者意識<br>９．青年期の人間関係（３）：青年期の親子関係<br>１０．青年期の人間関係（４）：青年期の友人関係<br>１１．青年期の人間関係（５）：青年期の恋愛関係<br>１２．青年期の問題行動（１）：青年期の発達障がい<br>１３．青年期の問題行動（２）：青年期の精神障がい<br>１４．青年期の問題行動（３）：青年期の反社会的行動<br>１５．青年期の問題行動（４）：青年期の非社会的行動 | | |
| テキスト・参考文献 | テキストは特に指定しない。その他については授業内にて適宜紹介する。 | | |
| 試験・評価方法 | 理解度の評価は，授業への取り組み，出席，レポート，テストなどにより総合的に評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 対人行動の心理学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知教育大学 | 科目コード | 290209 |
| 担当教員 | 弓削　洋子 | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　水曜日：2限（1050～1220） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 初回授業時に教務課窓口で連絡 | | |
| 履修条件 | 3 年生以上の履修が望ましい。 | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 日常の学校・学級生活では，教師と児童生徒とのあいだ，児童生徒同士，あるいは教師同士，さらには教師と地域社会の人々のあいだにおいて，様々な対人行動がおこなわれている。本授業の目標は，社会心理学や教育心理学の視点から，学校・学級生活にみられる様々な対人行動に関わる知識を理解・獲得し，児童生徒の対人行動面の支援ができる資質を身につけることにある。<br>1.オリエンテーション　第 2 回以降の授業内容の説明<br>2.子どもの発達に見る対人行動（1）親子関係<br>3.子どもの発達にみる対人行動（2）学習場面<br>4.子どもたちへの支援（1）現代の子どもを取り巻く環境<br>5.子どもたちへの支援（2）子どもの対人行動面の問題：いじめ・不登校<br>6.子どもたちへの支援（3）子どもの対人行動面の問題への支援<br>7.子どもたちへの支援（4）子どもの対人行動面の問題への支援<br>8.学級集団の心理学（1）子どもの社会的態度<br>9.学級集団の心理学（2）子どもの友人関係<br>10.学級集団の心理学（3）学級集団の構造<br>11.教師と子どもの人間関係（1）教師?子どものコミュニケーション<br>12.教師と子どもの人間関係（2）教師の指導行動<br>13.学校組織と教師集団（1）教師の成長<br>14.学校組織と教師集団（2）教師の同僚性<br>15.授業のまとめ<br>16.テスト | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書：森敏昭・青木多寿子・淵上克義編　2010 年　「よくわかる学校教育心理学」　ミネルヴァ書房 | | |
| 試験・評価方法 | テスト（筆記試験，持ち込み不可，穴埋め問題中心）の成績と出席，受講態度などをもとに総合的に評価 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 特になし | | |

# 学校経営と学校図書館

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知教育大学 | 科目コード | 290210 |
| 担当教員 | 冨田　賢史 | | |
| 学年配当 | ３年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　集中：（～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 初回授業時に教務課窓口で連絡 | | |
| 履修条件 | ３年生以上 | | |
| 募集定員 | 20 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 授業目標：現代の学校教育における学校図書館の位置づけを、学校図書館の理念やその教育的意義から、学校図書館が担う役割や教育活動の内容を理解する。教育行政と学校図書館の関わりを歴史的な背景や政策から、学校経営における学校図書館の位置づけや司書教諭の役割と、学校図書館が機能するための資源と活動内容を、学校経営における司書教諭の任務から考える。<br>１．オリエンテーション（対面または e ラーニング）<br>２．学校図書館の存在意義（e ラーニング）<br>３・４．教育行政と学校図書館（e-ラーニング）<br>５．わが国における学校図書館の現状と課題（e ラーニング）<br>６．学校図書館史からみる成立と発展（e ラーニング）<br>７．学校経営と学校図書館（e ラーニング）<br>８．学校図書館の経営（e ラーニング）<br>９．司書教諭の任務と役割（e-ラーニング）<br>１０．学校図書館の施設・整備（e ラーニング）<br>１１．学校図書館メディアの意義と構成（e-ラーニング）<br>１２～１５．学校図書館経営の方針・計画の作成（学校図書館現場の見学も含む，フィールドワーク） | | |
| テキスト・参考文献 | なし | | |
| 試験・評価方法 | 第１回（オリエンテーション）の際に説明する。 | | |
| 別途必要な経費 | システム利用料 2,000 円<br>また，フィールドワーク会場となる学校・施設への交通費等は自費負担となる。 | | |
| その他特記事項 | 本科目は，本学に設置している学校図書館司書教諭科目 e ラーニングサイトにおける e ラーニングとフィールドワークで構成される。<br><br>システム利用料の支払い方法については，受講許可の際に所属大学を通じて納付依頼文書を送付するので，指定された様式を用いてオリエンテーションまでに振り込むこと。<br>受講料の振り込み確認後に，サイトへのログインに必要な ID・パスワードを発行する。<br>また，授業期間開始後の返金はいたしません。<br><br>フィールドワークの日程などの連絡はオリエンテーションで説明する。<br>連絡事項は e ラーニングサイトに掲載し，同時にメール発信するので受信可能なメールアドレスも申込時に申告すること。<br><br>なお受講に際しては，フィールドワークの出席を条件とする。 | | |

# 学校図書館メディアの構成

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知教育大学 | 科目コード | 290211 |
| 担当教員 | 天野　由貴 | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　集中：（～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 初回授業時に教務課窓口で連絡 | | |
| 履修条件 | 3 年生以上 | | |
| 募集定員 | 20 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 授業目標：知識基盤社会において教育課程が変化することにより、学校図書館に求められる役割や機能も変化している。教育の展開に寄与するために学校図書館に必要なメディアとは何か、その種類と特性を理解し、組織化や管理運営の方法を知る。<br>１．オリエンテーション（対面または e ラーニング）<br>２．学校図書館メディアの教育的意義（e ラーニング）<br>３．学校図書館メディアの種類と特性・印刷メディア（e ラーニング）<br>４．学校図書館メディアの種類と特性・視聴覚メディア（e-ラーニング）<br>５．学校図書館メディアの種類と特性・電子メディア（e ラーニング）<br>６．学校図書館メディアの構築（e ラーニング）<br>７．メディアの選択と収集方針（e ラーニング）<br>８．メディアの組織化と蔵書構成（e ラーニング）<br>９．メディアの配架とレイアウト（フィールドワーク）<br>１０．メディアの展示とサイン（フィールドワーク）<br>１１．学校図書館メディアの目録（e-ラーニング）<br>１２．学校図書館メディアの分類と件名（e ラーニング）<br>１３．学校図書館システムの構築とネットワーク（e ラーニング）<br>１４．学校図書館メディアの管理と運用（フィールドワーク）<br>１５．学習活動と学校図書館メディアの活用（フィールドワーク） | | |
| テキスト・参考文献 | なし | | |
| 試験・評価方法 | e ラーニングにおける確認テスト　50%　（出席確認および内容の理解を測ります）<br>フィールドワークにおける提出課題の評価　50% | | |
| 別途必要な経費 | システム利用料 2,000 円<br>また，フィールドワーク会場となる学校・施設への交通費等は自費負担となる。 | | |
| その他特記事項 | 本科目は，本学に設置している学校図書館司書教諭科目 e ラーニングサイトにおける<br>e ラーニングとフィールドワークで構成される。<br><br>システム利用料の支払い方法については，受講許可の際に所属大学を通じて納付依頼文書を送付するので，指定された様式を用いてオリエンテーションまでに振り込むこと。<br>受講料の振り込み確認後に，サイトへのログインに必要な ID・パスワードを発行する。<br>また，授業期間開始後の返金はいたしません。<br><br>フィールドワークの日程などの連絡はオリエンテーションで説明する。<br>連絡事項は e ラーニングサイトに掲載し，同時にメール発信するので受信可能なメールアドレスも申込時に申告すること。<br><br>なお受講に際しては，フィールドワークの出席を条件とする。 | | |

# 読書と豊かな人間性

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知教育大学 | 科目コード | 290212 |
| 担当教員 | 天野　由貴 | | |
| 学年配当 | 4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　集中：（～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 初回授業時に教務課窓口で連絡 | | |
| 履修条件 | 4 年生以上 | | |
| 募集定員 | 20 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 授業目標：子どもの読書離れが問われている現代において、読書は、子どもの心を育むと共に「読む」という行為を習慣づける、重要な学びの基礎である。また、読書指導や読書教育は学校教育の中にきちんと位置づけていく必要性があり、司書教諭は読書環境としての学校図書館を整備し、読書活動を推進する役割を担うことを理解する。<br>１．オリエンテーション（対面または e ラーニング）<br>２．子どもの読書状況と読書の意義（e ラーニング）<br>３．子ども読書活動の推進（e ラーニング）<br>４．読書と豊かな人間性（e-ラーニング）<br>５．多様なメディアと読書（e ラーニング）<br>６．発達段階と読書（e ラーニング）<br>７．読書と学習（e ラーニング）<br>８．読書指導と学校図書館（e ラーニング）<br>９．読書環境の整備と読書指導計画（e ラーニング）<br>１０．読書材の選択と提供（フィールドワーク）<br>１１．読書指導の方法（フィールドワーク）<br>１２．読書センターとしての学校図書館（フィールドワーク）<br>１３．司書教諭の役割と読書活動（フィールドワーク）<br>１４．読書と読解力・思考力の育成（e ラーニング）<br>１５．生涯学習へつなぐ読書（e ラーニング） | | |
| テキスト・参考文献 | なし | | |
| 試験・評価方法 | e ラーニングにおける確認テスト　50%　（出席確認および内容の理解を測ります）<br>フィールドワークにおける提出課題の評価　50% | | |
| 別途必要な経費 | システム利用料 2,000 円<br>また，フィールドワーク会場となる学校・施設への交通費等は自費負担となる。 | | |
| その他特記事項 | 本科目は，本学に設置している学校図書館司書教諭科目 e ラーニングサイトにおける e ラーニングとフィールドワークで構成される。<br><br>システム利用料の支払い方法については，受講許可の際に所属大学を通じて納付依頼文書を送付するので，指定された様式を用いてオリエンテーションまでに振り込むこと。<br>受講料の振り込み確認後に，サイトへのログインに必要な ID・パスワードを発行する。<br>また，授業期間開始後の返金はいたしません。<br><br>フィールドワークの日程などの連絡はオリエンテーションで説明する。<br>連絡事項は e ラーニングサイトに掲載し，同時にメール発信するので受信可能なメールアドレスも申込時に申告すること。<br><br>なお受講に際しては，フィールドワークの出席を条件とする。 | | |

# 学習指導と学校図書館

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知教育大学 | 科目コード | 290213 |
| 担当教員 | 天野　由貴 | | |
| 学年配当 | 4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　集中：（～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 初回授業時に教務課窓口で連絡 | | |
| 履修条件 | 4 年生以上 | | |
| 募集定員 | 20 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 授業目標：教育課程の展開に寄与する学校図書館となるために、司書教諭は学校図書館の体系的な活用と、情報リテラシー教育を指導し、探究的な学習活動を展開する役割を担う。生涯学習において、児童生徒が主体的な学習者になるよう、そのために必要な知識とスキルを身につけるためのプログラムはどのようなものかを学び、受講者自身が演習の中で、探究的な学習活動を創造し理解を深める。<br>１．オリエンテーション（対面または e ラーニング）<br>２．教育課程の展開と学校図書館（e ラーニング）<br>３．学習指導要領と学校図書館（e ラーニング）<br>４．主体的な学習者の育成（e-ラーニング）<br>５．学習・情報センターとしての学校図書館（フィールドワーク）<br>６．学校図書館の活用と司書教諭の役割（フィールドワーク）<br>７．教科学習における学校図書館の活用（e ラーニング）<br>８．総合的な学習の時間における学校図書館の活用（e ラーニング）<br>９．学校図書館における情報リテラシー教育（e ラーニング）<br>１０．情報リテラシー教育の指導計画と方法（フィールドワーク）<br>１１．指導内容の体系化とプログラム（フィールドワーク）<br>１２．課題設定方法と学習プロセスの計画（フィールドワーク）<br>１３．情報メディアの活用（フィールドワーク）<br>１４．探究的な学習活動と新知識の発信（フィールドワーク）<br>１５．学習プロセスの振り返りと評価（フィールドワーク） | | |
| テキスト・参考文献 | なし | | |
| 試験・評価方法 | e ラーニングにおける確認テスト　50%　（出席確認および内容の理解を測ります）<br>フィールドワークにおける提出課題の評価　50% | | |
| 別途必要な経費 | システム利用料 2,000 円<br>また，フィールドワーク会場となる学校・施設への交通費等は自費負担となる。 | | |
| その他特記事項 | 本科目は，本学に設置している学校図書館司書教諭科目 e ラーニングサイトにおける e ラーニングとフィールドワークで構成される。<br><br>システム利用料の支払い方法については，受講許可の際に所属大学を通じて納付依頼文書を送付するので，指定された様式を用いてオリエンテーションまでに振り込むこと。<br>受講料の振り込み確認後に，サイトへのログインに必要な ID・パスワードを発行する。<br>また，授業期間開始後の返金はいたしません。<br><br>フィールドワークの日程などの連絡はオリエンテーションで説明する。<br>連絡事項は e ラーニングサイトに掲載し，同時にメール発信するので受信可能なメールアドレスも申込時に申告すること。<br><br>なお受講に際しては，フィールドワークの出席を条件とする。 | | |

# 情報メディアの活用

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知教育大学 | 科目コード | 290214 |
| 担当教員 | 天野　由貴 | | |
| 学年配当 | ３年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　集中：（～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 初回授業時に教務課窓口で連絡 | | |
| 履修条件 | ３年生以上 | | |
| 募集定員 | 20 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 授業目標：学校図書館における多様な情報メデイアの特性と活用方法の理解を図り、司書教諭の役割と共に考える。また、高度情報社会における基本的なリテラシーである情報リテラシーの育成の重要性と学校における情報メデイアの活用のあり方について、体験を通じて理解を深める。<br>１．オリエンテーション（対面または e ラーニング）<br>２．情報メディアとは何か（e ラーニング）<br>３．情報メディアと高度情報化社会（e ラーニング）<br>４．情報メディアと「知る権利」（e-ラーニング）<br>５．学校図書館と著作権（e ラーニング）<br>６．情報モラルと著作権（e ラーニング）<br>７．インターネットの概要と活用（e ラーニング）<br>８．インターネットとデータベース検索（e ラーニング）<br>９～１０．学校図書館におけるメディア（フィールドワーク）<br>１１．学校図書館と情報リテラシー教育（e ラーニング）<br>１２．探究学習と情報メディアの活用（e ラーニング）<br>１３．教科横断型の情報検索・課題設定と思考力の育成（フィールドワーク）<br>１４．教科横断型の情報検索・表現力の育成と言語活動（フィールドワーク）<br>１５．情報メディアの活用と生涯学習（e ラーニング） | | |
| テキスト・参考文献 | なし | | |
| 試験・評価方法 | e ラーニングにおける確認テスト　50%　（出席確認および内容の理解を測ります）<br>フィールドワークにおける提出課題の評価　50% | | |
| 別途必要な経費 | システム利用料 2,000 円<br>また，フィールドワーク会場となる学校・施設への交通費等は自費負担となる。 | | |
| その他特記事項 | 本科目は，本学に設置している学校図書館司書教諭科目 e ラーニングサイトにおける<br>e ラーニングとフィールドワークで構成される。<br><br>システム利用料の支払い方法については，受講許可の際に所属大学を通じて納付依頼文書を送付するので，指定された様式を用いてオリエンテーションまでに振り込むこと。<br>受講料の振り込み確認後に，サイトへのログインに必要な ID・パスワードを発行する。<br>また，授業期間開始後の返金はいたしません。<br><br>フィールドワークの日程などの連絡はオリエンテーションで説明する。<br>連絡事項は e ラーニングサイトに掲載し，同時にメール発信するので受信可能なメールアドレスも申込時に申告すること。<br><br>なお受講に際しては，フィールドワークの出席を条件とする。 | | |

# 基礎有機化学Ⅰ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋工業大学 | 科目コード | 290301 |
| 担当教員 | 高木　繁（工学研究科教授） | | |
| 学年配当 | １年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　火曜日：３・４時限（1030～1200） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 数学・物理・化学 | | |
| 教室 | 御器所キャンパス５111 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月,９月 |
| 講義概要 | 授業の目的・達成目標<br>ボルハルト・ショアーの現代有機化学（上）の第１章から第５章まで講義する。有機化学は急速に発展しつつある活力に満ちた分野である。有機反応というと暗記ものという意識が強いかもしれないが、実際は明快な理論に基づいている。また、その構造について理解することにより、有機反応の面白さをより実感することができる。この講義では、有機化学の基礎となる結合に関する基礎的な理解、アルカン・シクロアルカンの性質・構造・反応の理解ができるようになることを目的としている。この授業を通して、有機化学への興味が高まり、その明快な理論を様々な反応に自ら応用できるようになることを最終的な目標とする。達成目標：炭素の混成軌道と構造，反応の関係を説明できるようになる。立体化学の概念と光学異性体について説明できるようになる。<br>授業計画<br>1.　有機化学における化学結合の基礎<br>2.　原子軌道の概念<br>3.　炭素の混成軌道<br>4.　官能基（達成目標，炭素の混成軌道と構造について説明できるようになる。）<br>5.　アルカンの命名法<br>6.　アルカンの構造と性質<br>7.　アルカンの立体配座（達成目標，炭化水素の命名（順位則）ができるようになる。立体配座について説明できるようになる。）<br>8.　ラジカル<br>9.　アルカンのラジカル反応<br>10.　アルカンのラジカル的ハロゲン化（達成目標，混成軌道に基づき，炭化水素のラジカル反応を説明できるようになる。）<br>11.　シクロアルカンの構造と性質<br>12.　シクロアルカンの立体化学（達成目標，シクロアルカンの安定性とその立体異性体について理解する。）<br>13.　キラルとアキラル,絶対配置と Fischer 投影式<br>14.　ジアステレオマーとメソ体<br>15.　光学分割（達成目標，光学異性体について理解する。）<br>16.　試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書:ボルハルト・ショアー 「現代有機化学（上）」化学同人<br>参考書:なし | | |
| 試験・評価方法 | 成績評価の方法:試験により行う。<br>成績評価の基準:６０点以上を合格とする。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 高校の化学の知識を必要とする。 | | |

# 物理化学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋工業大学 | 科目コード | 290302 |
| 担当教員 | 小野　克彦（工学研究科准教授） | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　月曜日：１・２時限（850～1020） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 地球・環境・エネルギー,数学・物理・化学 | | |
| 教室 | 御器所キャンパス 2341 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 授業の目的・達成目標<br>基礎化学で学んだ熱力学の基礎概念をいろいろな条件下に適用し、その熱力学的表現法とそこに存在する法則を学ぶ。特にギブズの自由エネルギーについて概観する。<br>授業計画<br>1.～3. 相の安定性と相転移　熱平衡の判定基準<br>達成目標１：代表的な相図と熱力学的相境界を理解する<br>4.～6. 相転移の分類　規則ー不規則転移など<br>達成目標２：クラウジウスークラペイロンの式から蒸気圧の温度変化の求め方を修得する<br>7.～9. 1.から 6.の部分の演習問題＋混合の熱力学<br>達成目標３：ラウールの法則、束一的性質などを理解する<br>10.～12. 相律および自発的な化学反応　熱力学的観点<br>達成目標４：化学平衡の圧力・温度効果を理解する<br>13.～15. ギブズの自由エネルギーの概論＋総復習<br>達成目標５：ギブズの自由エネルギーについて理解する<br>16. 定期試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書:アトキンス　物理化学（上）第８版 | | |
| 試験・評価方法 | 成績評価の方法:定期試験によって評価する<br>成績評価の基準:熱力学に基づく相変化についての修得を必要とする。定期試験を５段階で評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | １．教科書（第４章～第７章）で予習と復習を行うこと<br><br>２．熱力学の基礎を復習し、理解しておくこと | | |

# 物質科学Ⅰ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋工業大学 | 科目コード | 290303 |
| 担当教員 | 安達　信泰（工学研究科教授） | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　水曜日：１・２時限（850～1020） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術,数学・物理・化学 | | |
| 教室 | 御器所キャンパス 2331 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 授業の目的・達成目標<br>【授業の目的】固体中の化学結合や結晶構造について，またそれらと固体の物理的な性質（物性）がどのように関連しているかについて学ぶ。<br>【授業の達成目標】達成目標１：結晶構造の表現方法および結晶構造の決定方法について説明ができ、固体物性を結晶構造的観点から理解できる。達成目標２：物質の光学特性、磁気特性、電気的特性の基本概念を学び、身の回りに使われている電子デバイスの理解を深める。<br>授業計画<br>1.～4.　固体構造化学の基礎とその実際　　ブラベ単位格子やミラー指数といった結晶構造表現の基礎，配位の形，格子エネルギーといった結晶配列の基礎につて学び，これらの決定方法基礎としてのＸ線回折法について説明する。また、結晶転移など結晶の熱変化またこれらを示した状態図の見方について説明する。また，結晶欠陥など不完全結晶について説明し，固体物性との関係についてふれる。<br>5.レポート or 中間試験<br>6.～15. 固体の光学的性質（光の吸収、反射、透過、屈折率について学び、誘導放出によるレーザーの原理）、固体の電気的性質（金属、半導体、絶縁体の電気的特性を決める要因、電子デバイスへの応用例）固体の磁気的性質（常磁性と反磁性、強磁性と反強磁性、磁性材料の基礎）を説明する。<br>16. ：定期試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書：「材料の科学と工学」キャリスター著（培風館）<br>参考書：「入門固体化学」Smart 他著（化学同人）、近角聡信「物性科学入門」 裳華房 | | |
| 試験・評価方法 | 成績評価の方法:各トピックスについて課されるレポートと中間試験および期末試験により総合評価する。ただし、期末試験の受験資格は、中間試験を受けていることとする。６０％以上の理解でＣ判定以上とする。<br>成績評価の基準:100-90 点　秀 89-80 点　優 79-70 点　良 69-60 点　可 59 点以下　不可 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 予習、復習を前提とする。課題問題を自分で解くことによって理解を深める努力をすること。 | | |

# 材料物性基礎

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋工業大学 | 科目コード | 290304 |
| 担当教員 | 西野　洋一 （工学研究科教授）<br /><br /><br />種村　眞幸（工学研究科教授）<br /><br /><br />小野　晋吾（工学研究科准教授） | | |
| 学年配当 | 1 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　火曜日：3・4 時限（1030～1200） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 数学・物理・化学 | | |
| 教室 | 御器所キャンパス 2311 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 授業の目的・達成目標<br>材料の種々の特性は、その結晶構造や構成原子の性質に由来している。したがって、原子的なレベルで材料を見る目を養うことは、これから材料について学ぶうえできわめて大切である。この講義では、材料工学の最も基礎である結晶学、材料の構造と物性、力学物性や電子物性の初歩について平易に解説する。<br>授業計画<br>1. 結晶の定義と分類<br>2. 金属の代表的な結晶構造<br>3. 結晶学的記述とＸ線回折<br>4. 結晶格子欠陥<br>5. 転位の基本的性質<br>6. 弾性，塑性および破壊<br>7. 完全結晶の理論強度<br>8. 総括+中間試験<br>9. エネルギー準位<br>10. キャリア輸送<br>11. 光と固体の相互作用１<br>12. 光と固体の相互作用２<br>13. 材料物性評価の基礎<br>14. 荷電粒子と固体の相互作用１<br>15. 荷電粒子と固体の相互作用２<br>16. 総括+期末試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書:特になし<br>参考書:幸田成康著 「金属物理学序論」 （コロナ社）、佐久間健人・井野博満著 「材料科学概論」 （朝倉書店） | | |
| 試験・評価方法 | 成績評価の方法:中間試験（50 点）及び期末試験（50 点）を行う。<br>成績評価の基準:中間試験及び期末試験の合計が 60 点以上を合格とする。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 制御工学Ⅰ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋工業大学 | 科目コード | 290305 |
| 担当教員 | 山田　学（工学研究科教授） | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　水曜日：３・４時限（1030～1200） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | 御器所キャンパス 0112 教室 | | |
| 履修条件 | 工業力学，微分積分，常微分方程式を習得していること | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月,9 月 |
| 講義概要 | 授業の目的・達成目標<br>制御とは，対象とする物理系が目的に適合した動作をするように，所要の動作を何らかの方法で加えることです．「制御」の中で，装置によって自動的に行われる制御が自動制御であり，現在の機械に不可欠な技術です．ここでは，自動制御系の中で，最も重要な「フィードバック制御系」を取り上げ，その基本を習得させることを目的とします．<br>授業計画<br>制御工学では，フィードバック制御系解析の基礎となる制御系（制御対象や制御装置）の数学的記述を中心に，制御の概念，解析手法，実施上の諸問題を扱います．具体的には以下の予定で講義を行います．（現在検討中の部分もあり，変更する部分もあります．）<br>1.　制御とは　　ー自動制御の方式と機械への適用<br>2.　動的システムと数式モデル　　ー微分方程式<br>3.～4.　数学的準備　ー複素数からラプラス変換へ<br>5.～6.　制御対象の応答　ーラプラス変換による微分方程式の解法<br>7.～8.　制御対象の特性の記述　ー伝達関数とその基本要素<br>9.　中間試験<br>10.～11.　制御システムの解析　ーブロック線図とシステムの結合<br>12.　システムの安定性と安定判別　ー特性方程式と安定性<br>13.～15.　周波数応答とは　ー正弦波でとらえるシステムの特性<br>16.　期末試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書:「システムと制御」早川義一編著（新インターユニバーシティ　オーム社）<br>参考書:「自動制御とは何か」示村悦二郎著（コロナ社） | | |
| 試験・評価方法 | 成績評価の方法:中間試験と期末試験により総合的に評価する．<br>成績評価の基準:中間試験と期末試験の成績が一定基準を満たすこと． | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 微積分，常微分方程式，工業力学を前提とするので，内容を良く理解しておいてください． | | |

# コンピュータアーキテクチャⅠ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋工業大学 | 科目コード | 290306 |
| 担当教員 | 津邑　公暁（工学研究科准教授） | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　月曜：３・４時限（1030～1200）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | 御器所キャンパス 0211 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 授業の目的・達成目標<br>コンピュータのハードウエア的およびソフトウエア的な動作、およびその繋がりについて学習する。本授業は、ユーザからはソフトウエアしか見えないコンピュータを、ハードウエアとハードウエアをコントロールするソフトウエアという観点から解説することにより、情報技術者としての基礎的な知識を習得することを目的とする。<br>授業計画<br>1.　イントロダクション<br>2.　性能と電力<br>3.　命令：演算とオペランド<br>4.　命令：符号付き数と命令表現<br>5.　命令：論理演算と条件判定命令<br>6.　命令：Ｃ言語と手続き呼び出し<br>7.　命令：プログラムの翻訳と起動<br>8.　命令：配列とポインタ<br>9.　算術演算：加減算，乗算<br>10.　算術演算：除算<br>11.　算術演算：浮動小数点演算<br>12.　基本的な算術論理演算ユニット<br>13.　プロセッサ：データパスの構築<br>14.　プロセッサ：単純な実装方式<br>15.　まとめ<br>16.　期末試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書:パターソン＆ヘネシー：”コンピュータの構成と設計（上）”　日経ＢＰ社<br>参考書:パターソン＆ヘネシー：”コンピュータの構成と設計（下）”　日経ＢＰ社 | | |
| 試験・評価方法 | 成績評価の方法:レポートおよび定期試験<br>成績評価の基準:レポート提出２０点、試験８０点とし、６０点以上を合格とする。なお出席率が７０％未満(遅刻は出席 0.5 回とカウント)の場合、もしくは出欠調査で不正を行った場合は、試験の受験資格を失う。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 履修にあたっての注意：論理回路とプログラミングの知識は必須である。また比較的広範囲の授業を行うので、予習復習は必須である。 | | |

# コンピュータアーキテクチャⅠ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋工業大学 | 科目コード | 290307 |
| 担当教員 | 船瀬　新王（工学研究科准教授） | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　火曜：3・4 時限（1030～1200）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | 御器所キャンパス 5238 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 授業の目的・達成目標<br>コンピュータのハードウエア的およびソフトウエア的な動作、およびその繋がりについて学習する。本授業は、ユーザからはソフトウエアしか見えないコンピュータを、ハードウエアとハードウエアをコントロールするソフトウエアという観点から解説することにより、情報技術者としての基礎的な知識を習得することを目的とする。<br>授業計画<br>1.イントロダクション<br>2.性能と電力（～1.8）<br>3.命令：演算とオペランド（～2.3）<br>4.命令：符号付き数と命令表現（～2.5）<br>5.命令：論理演算と条件判定命令（～2.7）<br>6.命令：C言語と手続き呼び出し（2.8＋ $\alpha$（C 言語知識の補足））<br>7.命令：プログラムの翻訳と起動（2.10, 2.12）<br>8.命令：配列とポインタ（2.13, 2.14）<br>9.算術演算：加減算，乗算（～3.3）<br>10.算術演算：除算（3.4）<br>11.算術演算：浮動小数点演算（3.5）<br>12.基本的な算術論理演算ユニット（B.5, B.6?）<br>13.プロセッサ：データパスの構築（4.1～4.3）<br>14.プロセッサ：単純な実装方式（4.4）<br>15.まとめ<br>16.期末試験<br><br>括弧の中身は教科書の章立てに一致します. | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書:パターソン＆ヘネシー：”コンピュータの構成と設計（上）”　日経ＢＰ社<br>参考書:パターソン＆ヘネシー：”コンピュータの構成と設計（下）”　日経ＢＰ社 | | |
| 試験・評価方法 | 成績評価の方法:レポートおよび定期試験<br>成績評価の基準:レポート提出２０点、試験８０点とし、６０点以上を合格とする。なお出席率が７０%未満(遅刻は出席 0.5 回とカウント)の場合、もしくは出欠調査で不正を行った場合は、試験の受験資格を失う。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 履修にあたっての注意：広範囲の授業を行うので、予習復習は”必須”である。 | | |

# コンピュータアーキテクチャⅠ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋工業大学 | 科目コード | 290308 |
| 担当教員 | 中村　剛士（工学研究科准教授） | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　金曜：５・６時限（1300～1430）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | 御器所キャンパ 5222 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 授業の目的・達成目標<br>コンピュータのハードウエア的およびソフトウエア的な動作、およびその繋がりについて学習する。本授業は、ユーザからはソフトウエアしか見えないコンピュータを、ハードウエアとハードウエアをコントロールするソフトウエアという観点から解説することにより、情報技術者としての基礎的な知識を習得することを目的とする。<br>授業計画<br>1.イントロダクション<br>2.性能と電力<br>3.命令：演算とオペランド<br>4.命令：符号付き数と命令表現<br>5.命令：論理演算と条件判定命令<br>6.命令：C言語と手続き呼び出し<br>7.命令：プログラムの翻訳と起動<br>8.命令：配列とポインタ<br>9.算術演算：加減算，乗算<br>10.算術演算：除算<br>11.算術演算：浮動小数点演算<br>12.基本的な算術論理演算ユニット<br>13.プロセッサ：データパスの構築<br>14.プロセッサ：単純な実装方式<br>15.まとめ<br>16.期末試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書:パターソン＆ヘネシー：”コンピュータの構成と設計（上）”　日経ＢＰ社<br>参考書:パターソン＆ヘネシー：”コンピュータの構成と設計（下）”　日経ＢＰ社 | | |
| 試験・評価方法 | 成績評価の方法:定期試験<br>成績評価の基準:試験を 100 点とし、60 点以上を合格とする。なお、出席率が７０％未満(遅刻は出席 0.5 回とカウント)の場合、もしくは出欠調査で不正を行った場合は、試験の受験資格を失う。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 履修にあたっての注意：論理回路とプログラミングの知識は必須である。また比較的広範囲の授業を行うので、予習復習は必須である。 | | |

# 構造デザイン学Ⅰ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋工業大学 | 科目コード | 290309 |
| 担当教員 | 井戸田　秀樹（工学研究科教授） | | |
| 学年配当 | 1 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　火曜日：3・4 時限（1030～1200） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | 御器所キャンパス 5214 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 授業の目的・達成目標<br>構造力学の体系的な学習の前段階として，建築物や工業生産品における構造の意味と役割を具体的事例を通して理解する．力と形を工学的な視点から観察し，それを通して力学への興味を喚起するとともに，安全性や合理性の重要さ，構造とデザインとのかかわり，経済性との関連など，ものづくりに対する最も基本的な姿勢と概念を認識することが目的である．また，力学の基礎については，１級建築士試験で対象となる静定構造物の断面力図が書け、片持梁を基本とした簡単な変形が求められる段階までの習得を目指す．<br>授業計画<br>1.　講義概要，構造デザインとは<br>2.　構造を見つける，建築物・工業生産品に見る構造とデザイン<br>3.　力の３要素，モーメント，力の合成と分解、力のつりあい<br>4.　構造体のモデル化，支点と反力（１）<br>5.　支点と反力（２）<br>6.　断面力の種類，静定と不静定，安定と不安定，軸力<br>7.　せん断力<br>8.　曲げモーメント（１）<br>9.　曲げモーメント（２）＋中間試験<br>10.　トラス構造（１）<br>11.　トラス構造（２）<br>12.　断面の応力度（１）<br>13.　断面の応力度（２）<br>14.　梁・ラーメンの変形<br>15.　構造デザインを断面力で考える<br>16.　期末試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書:特に指定しない<br>参考書:齋藤公男著：「空間・構造・物語」，彰国社、マリオ・サルバドリー著，「建物はどうして建っているか　構造-重力とのたたかい」，鹿島出版会、A. ホルゲイト著：「構造デザインとは何か」，鹿島出版会、渡辺邦夫著：「飛躍する構造デザイン」，学芸出版社 | | |
| 試験・評価方法 | 成績評価の方法:各講義ごとに課すレポートおよび期末試験<br>成績評価の基準:各講義ごとに課すレポート＋中間試験(50%)および期末試験(50%)を総合して評価し、理解度 60%以上に対して C 判定以上とする。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 原則として各講義ごとに演習課題を課す．演習課題を行うための講義外学習時間を必要とする． | | |

# 建築・デザイン史Ⅰ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋工業大学 | 科目コード | 290310 |
| 担当教員 | 麓　和善（工学研究科教授） | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　火曜：５・６時限（1300～1430）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術,文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | 御器所キャンパス 5211 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | ◎授業の目的・達成目標<br>日本建築の形成発展に関する建築史の役割とその学問体系を、建築遺構や文献史料等をとおして具体的に講述し、日本建築の伝統的特質を理解させる。<br>◎授　業　計　画<br>1. 建築学における歴史の意義<br>2. 原始住居<br>3. 神社建築の成立<br>4. 古代建築　飛鳥時代(仏教建築ー伽藍配置の変遷)<br>5. 同　　同　　(　同　　ー六朝・隋様式の伝来)<br>6. 同　　奈良時代(　同　　ー唐様式の伝来)<br>7. 同　　平安時代(　同　　ー日本化の過程)<br>8. 神社建築の展開<br>9. 中世建築　鎌倉時代(仏教建築ー大仏様)<br>10. 同　　同　　(　同　　ー唐様)<br>11. 同　　同　　(　同　　ー和様)<br>12. 同　　室町時代(　同　　ー折衷様)<br>13. 同　　建築技術の発達<br>14. 近世建築　安土桃山時代(城郭建築)<br>15. 同　　江戸時代(仏教建築ー明様式の伝来と様式の多様化)<br>16. 期末試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書「日本建築史図集」（彰国社）<br>参考書「日本建築史序説」（太田博太郎　著）（彰国社）<br>「古建築入門講話」（川勝政太郎　著）（河原書店） | | |
| 試験・評価方法 | 試験による | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 休日等を利用し、日頃から文化財建造物の見学を自主的に行うことが望ましい。 | | |

# 環境生態学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋工業大学 | 科目コード | 290311 |
| 担当教員 | 増田　理子（工学研究科教授） | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　金曜日：５・６時限（1300～1430） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術,生物 | | |
| 教室 | 御器所キャンパス 5211 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 授業の目的・達成目標<br>目的）生態系の仕組みと生物と環境の相互作用を認識するための知識を学ぶ<br>達成目標）<br>１．さまざまな生物界についての知識を理解できる<br>２．生物の進化過程から生物と環境の相互関係を理解できる<br>３．生物と環境の相互関係に関するモデル理論を理解できる<br>４．土木工学と環境の接点を学ぶ<br>授業計画<br>1.～2.　身近な生物やさまざまな生物界について学ぶ<br>「達成目標１」生物界の多様性についての知識を深める<br>3.～6.　地球上の生物の進化から歴史的な背景を通じて生態系の重要性を学ぶ<br>「達成目標２」生態系を動かしている仕組みについて理解する<br>7.～13.　生態系の仕組みを多様な生態系の現状を認識しつつ学ぶ<br>「達成目標３」身近な生態系の保全についても認識する<br>14.～15.　土木工学と生態系の接点について学ぶ<br>16.　期末試験と解説<br>「達成目標４」工学倫理の観点から現在の土木工学が取り組んでいる環境への取り組みを学びつつ、人間社会分野で学んだことを基礎とし、これからの土木技術者に要求される倫理を習得する | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書:そのつど紹介する　生態学入門など<br>参考書:そのつど紹介する　チョウの生物学、生命の進化など | | |
| 試験・評価方法 | 成績評価の方法:レポート２回　建設分野と環境保護の相互関連および技術者倫理についてのレポート<br>期末試験　達成目標１から４までの試験問題で評価する<br>授業参加７割以上の学生を評価対象とする。<br>成績評価の基準:レポート２回　各 10 点　技術者倫理に関するレポートが 10 点未満のものは不可とする。<br>期末試験　80 点とする。60%以上を合格とする なお、授業参加が7割未満の学生は評価対象としない | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 積極的な参加を希望する | | |

# 反応工学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋工業大学 | 科目コード | 290312 |
| 担当教員 | 南雲　亮（工学研究科准教授） | | |
| 学年配当 | ３年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　金曜日：５・６時限（1300～1430） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | 御器所キャンパス 0112 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 授業の目的・達成目標<br>同じ反応物でも、どのような反応器を用いて、どのような操作条件（反応物濃度、温度、圧力）で反応させるかで生成物は違ってくる。これは反応中の反応物濃度と、温度、圧力が異なり、その影響を受ける反応速度が異なるためである。この講義では、いろいろな反応に対する工業的反応装置を与えられた生産条件で設計することを目的として、必要な反応器の設計方程式の導出とその使用方法、与えられた反応に対する最適な反応器・反応プロセス・操作条件の決定方法について講義する。<br>授業計画<br>1.　反応工学とは何か？工業プロセスと反応工学および化学工学との関係<br>2.　反応に関与する相が１つである均一系反応の反応速度式<br>3.　反応物濃度と転化率の関係式（反応物体積が変化しないときと変化するとき）<br>4.　３つの理想反応器の紹介と回分式反応器の設計方程式の導出<br>5.　限定反応物質とは何か？空間時間の定義。撹拌槽型反応器の設計方程式の導出<br>6.　管型反応器の設計方程式の導出。<br>7.　回分式反応器と管型反応器の式の比較<br>8.　空間時間と平均滞留時間とでは反応器設計にはどちらが便利？<br>9.　単一反応に対する撹拌槽型反応器と管型反応器の性能の比較<br>10.　単一反応に対する多段撹拌槽型反応器と多段管型反応器の設計方程式の導出<br>11.　自触媒反応とは？自触媒反応に適した反応器<br>12.　自触媒反応に適したリサイクル管型反応器。最適なリサイクル比<br>13.　複合反応（並列反応と逐次反応）の特徴。並列反応における生成物分布（定性的考察）。<br>14.　並列反応における生成物分布（定量的考察）<br>15.　撹拌槽型反応器と管型反応器での逐次反応における生成物分布。 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書:使用しない。<br>参考書:“Chemical Reaction Engineering”2nd Ed.,　O. Levenspiel (Wiley) | | |
| 試験・評価方法 | 成績評価の方法:授業の進捗に応じた課題と定期試験によって評価する。<br>成績評価の基準:与えられた反応に適した反応器、適している理由、原料転化率、目的生成物濃度、必要な処理時間や反応器体積を説明し、決定できるか等を、課題と定期試験で総合的に評価する。100 点満点で 90 点以上を S、80－89 点を A、70－79 点を B、60－69 点を C、59 点以下を D とする。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 生体関連化学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋工業大学 | 科目コード | 290313 |
| 担当教員 | 柴田　哲男（工学研究科教授） | | |
| 学年配当 | ３年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　水曜日：7・8 時限（1440～1610） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | スポーツ・健康・医療,数学・物理・化学,生物 | | |
| 教室 | 御器所キャンパス 0222 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月,9 月 |
| 講義概要 | 授業の目的・達成目標<br>本講義は自然界に存在する多官能性化合物（炭水化物），ヘテロ環化合物やアミノ酸，ペプチド，タンパク質，核酸など自然界に存在する含窒素高分子を基礎として学び，さらに発展として医薬、生理活性物質の歴史的背景や作用機序などを学ぶことにより 、生命の仕組みを分子レベルで理解することを目的とする。<br>　有機分子は生命の営みに重要な役割を担っている。これらの有機分子と生命との関わり合いについて、基礎的理解を深める。医薬品などの生理活性物質は、生命と関わり合いのある重要な有機分子である。 私たちは病気にかかったときに医薬品のお陰で病状から解放された健康な体を取り戻すことが出来る。こうした医薬品が発明発見されてきた過程は、人間が生命への挑戦してきた歴史であり興味深い。講義後半では、生理活性物質の発見から医薬品開発に到る歴史を知るとともに、生理活性物質の作用機序の基礎を学ぶ。<br>授業計画<br>1.　自然界に存在する多官能性化合物（炭水化物）<br>2.　ヘテロ環化合物<br>3.　アミノ酸，ペプチド，タンパク質，核酸<br>4.　創薬化学の歴史<br>5.　β-ラクタム系抗生物質 1<br>6.　β-ラクタム系抗生物質 2<br>7.　サルファ剤<br>8.　キノロン系抗菌薬<br>9.　ヒスタミン H2-受容体拮抗薬 1<br>10.　ヒスタミン H2-受容体拮抗薬 2<br>11.　DNA を標的とするがんの薬 1<br>12.　DNA を標的とするがんの薬 2<br>13.　抗ウイルス薬 1<br>14.　抗ウイルス薬 2<br>15.　総括<br>16.　試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書:「創薬」山崎恒義・堀江透　編　（丸善）<br>参考書:「現代有機化学」ボルハルト　ショアー　下　（化学同人） | | |
| 試験・評価方法 | 成績評価の方法:期末試験<br>成績評価の基準:試験において 60 点以上を合格とする | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 有機化学の基礎知識を有すること | | |

# エンジン工学Ⅰ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋工業大学 | 科目コード | 290314 |
| 担当教員 | 古谷　正広（工学研究科教授） | | |
| 学年配当 | ３年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　火曜日：９・10 時限（1620～1750） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 地球・環境・エネルギー,工学・建築・技術 | | |
| 教室 | 御器所キャンパス 5211 教室 | | |
| 履修条件 | 熱力学などの基礎知識を有すること | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 授業の目的・達成目標<br>これまでに学んできた熱力学などの基礎科目を援用して，往復ピストン式内燃機関の構成とそこで起こる現象について講義し，主として物理的な側面から，現在この分野の関係者のあいだで一般性があるとされている解釈を説明して，理解の助けとする．それらによって，機械工学に関連する現象が論理的に把握する能力を養成する．<br>授業計画<br>1.～2.：歴史，動作原理<br>3.～6.：熱サイクル論，出力評価，損失<br>7.：発熱量，化学エネルギー，熱解離<br>8.～9.：ガス交換<br>10.～12.：火花点火機関<br>13.～16.：圧縮着火機関，定期試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書:内燃機関 田坂 英紀（森北）<br>参考書:「内燃機関講義　上巻」長尾不二夫（養賢堂） | | |
| 試験・評価方法 | 成績評価の方法:定期試験，レポート<br>成績評価の基準:ピストン式内燃機関の動作原理と燃焼現象を理解し，性能評価ができること． | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 配付する資料を授業開始までに熟読しておく。Web site に資料と演習問題を置くので各自でダウンロードして，予習と復習に利用して下さい． | | |

# 成形プロセス工学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋工業大学 | 科目コード | 290315 |
| 担当教員 | 北村　憲彦（工学研究科教授） | | |
| 学年配当 | ３年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　金曜：３・４時限（1030～1200）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | 御器所キャンパス 1221 教室 | | |
| 履修条件 | 塑性力学の基礎知識を有すること | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月,９月 |
| 講義概要 | 授業の目的・達成目標<br>塑性加工は，型を用いて，金属材料を粘土細工のように変形させて成形する方法です．その特徴は，生産が高く，材料歩留まりがよく，冷間加工では高い精度や加工硬化による強化も期待できます．自動車をはじめ多くの部品を低コストで作ろうとすると，生産加工の行き着く先は塑性加工になります．本講義と例題を解くことを通じて，材料や型の気持ちになって，材料流動や工具面圧を感じられるような洞察力を養い，生産の基盤を支えるエンジニアになってください．<br>授業計画<br>1.　塑性加工の概説，塑性力学（加工の力学）の復習<br>2.　塑性加工用材料と工具材料<br>3.　圧延加工（加工法の特徴）<br>4.　平面ひずみ問題におけるスラブ法<br>5.　押出し加工（加工法の特徴とスラブ法解析）<br>6.　引抜き加工（加工法の特徴とスラブ法解析）<br>7.　せん断加工と曲げ加工（加工法の特徴と簡易計算）<br>8.　絞り加工（加工法の特徴とスラブ法解析）<br>9.　鍛造（加工法の特徴とスラブ法解析）<br>10.　軸対称問題におけるスラブ法<br>11.　すべり線場法の基礎<br>12.　すべり線場解析の例（圧子押込みの平面ひずみ変形）<br>13.　上界定理と上界法接近法の基礎<br>14.　上解法の応用（押出し加工の解析例）<br>15.　塑性力学と成形プロセス工学のまとめ<br>16.　試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書:「塑性加工入門」日本塑性加工学会編（コロナ社）<br>参考書:臼井英治・白樫高洋，「加工の力学入門」東京電機大学出版局<br>「機械工学便覧 B2 加工学・加工機器」日本機械学会（丸善）<br>小坂田宏造・森謙一郎，「塑性加工学」（改訂版）養賢堂 | | |
| 試験・評価方法 | 成績評価の方法:演習問題とレポート（20 点）＋試験（80 点）板書とパワーポイントなどで教科書の図などを説明する．<br>成績評価の基準:演習問題とレポート（20 点）＋試験（80 点）＝合計 100 点のうち，60 点以上で合格 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 講義には，必ず関数電卓を持参のこと．<br><br>作図の時には，できるだけコンパスや定規を使用して下さい． | | |

# 流体シミュレーション基礎

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋工業大学 | 科目コード | 290316 |
| 担当教員 | 森西　洋平（工学研究科教授） | | |
| 学年配当 | ３年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　木曜日：３・４時限（1030～1200） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | 御器所キャンパス 0321 教室 | | |
| 履修条件 | 流体力学と熱力学の基礎を習得していること | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月,９月 |
| 講義概要 | 授業の目的・達成目標<br>流体運動の数値シミュレーション手法の基礎を理解する．流体運動の支配方程式は連続の式（質量保存則）とナビエ・ストークス式（運動量保存則）およびエネルギー保存則等からなり，これらを離散化した後に解いて流れ場を数値的に表現するのが流体の数値シミュレーションである．これに関し，まず流体運動の支配方程式の表現方法を学ぶ．流体運動の支配方程式は空間および時間に関する偏微分方程式で記述されるので，その数値計算には空間および時間に関する離散化が必要となる．そこで本講義ではさらに，差分法による空間離散化手法と時間進行法を学ぶ．<br>授業計画<br>1. 流体シミュレーションの概要<br>2. 流体運動の支配方程式１（圧縮性粘性流）<br>3. 流体運動の支配方程式２（非圧縮性粘性流）<br>4. 流体運動の支配方程式３（流れの支配方程式の無次元化）<br>5. 差分法による空間離散化１（差分の構成方法）<br>6. 差分法による空間離散化２（格子点差分）<br>7. 差分法による空間離散化３（中点差分）<br>8. 差分法による空間離散化４（多次元への拡張）<br>9. 差分法による空間離散化５（不等間隔への拡張）<br>10. 時間進行法１（アダムス・バシュフォース法，アダムス・モルトン法）<br>11. 時間進行法２（後退差分公式）<br>12. 時間進行法３（陽的ルンゲ・クッタ法）<br>13. 時間進行法４（陰的ルンゲ・クッタ法）<br>14. 時間進行法５（時間進行法の安定性解析）<br>15. 全体のまとめ<br>16.期末試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書:使用せず．<br>参考書:適宜紹介する． | | |
| 試験・評価方法 | 成績評価の方法:期末試験と宿題等で評価．<br>成績評価の基準:期末試験９０点＋宿題等１０点． | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 流体力学と熱力学の基礎を理解していること． | | |

# 電磁波工学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋工業大学 | 科目コード | 290317 |
| 担当教員 | 榊原　久二男（工学研究科教授） | | |
| 学年配当 | ３年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　火曜：7・8時限（1440～1610）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | 御器所キャンパス 2321 教室 | | |
| 履修条件 | 電気磁気学の基礎知識を有すること | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 授業の目的・達成目標<br>Maxwell の方程式を基礎とする動電磁気（電磁波）をベクトル場として理解する。また，Maxwell の方程式の最も簡単な場合の解である平面波について学び，電磁波の基本的な考え方と基礎事項を習得する。さらに，演習問題を解くことを通じて現象の理解を深め，応用力を養う。<br>【達成目標】<br>1. Maxwell の方程式を理解し，電磁現象について説明できる。<br>2. Maxwell の方程式から平面波を導き，その性質を理解し説明できる。<br>3. 電磁波の境界条件を理解し，説明できる。<br>4. Maxwell の方程式の複素表現式より平面波の電磁界分布を導出でき，偏波，位相速度・群速度を計算できる。<br>5. 任意の入射角で無限導体板・2 種媒質の境界に入射した平面波の電磁界を計算できる。<br>授業計画<br>1.ガイダンス，基礎知識の確認，　ベクトル解析の基礎<br>2. ガウスの発散定理<br>3. ストークスの定理<br>4. 電磁界を支配する方程式と Maxwell の方程式<br>5. 電磁現象におけるエネルギー保存の法則<br>6. 媒質中の電磁波と境界条件<br>7. 中間試験<br>8. 中間試験の解説と自由空間中の Maxwell の方程式の解（平面波）<br>9. 調和振動電磁界の複素表現<br>10. 平面波の偏波<br>11. 位相速度の群速度の関係<br>12. 完全導体面による平面波の反射<br>13. 2 種媒質の平面境界における反射と屈折<br>14. 期末試験<br>15. 期末試験の解説 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書:「電気・電子学生のための電磁波工学」稲垣直樹(丸善)<br>参考書:特に定めない | | |
| 試験・評価方法 | 成績評価の方法:中間試験(50 点)と期末試験(50 点)により，合わせて 60%以上の理解で C 判定以上とする。但し，期末試験の受験資格は，中間試験を受けていることとする。<br>中間試験で達成目標１，２，３についての理解度を，期末試験で本科目における学習内容全体（１，２，３，４，５）の理解度を評価する。<br>成績評価の基準:■ 中間試験（ 100 点満点，全体の 50 点になるように換算）<br>● ベクトル解析の計算ができる。 【 30%（達成目標１）（授業 １ ） 】<br>● 数式で表された Maxwell の方程式の物理的意味を理解でき，電磁理論（ファラデーの法則，アンペアの法則）から， Maxwell の方程式を導出できる。 【 30 %（達成目標１）（授業２，３，４） 】<br>● 電磁現象におけるエネルギー保存の法則を導出できる。 【 10%（達成目標２）（授業５）】<br>● 2 つの異なる媒質が接する境界における境界条件を導出できる。 【 30%（達成目標３）（授業６） 】 | | |

| | |
|---|---|
| | ■ 期末試験（ 100 点満点，全体の 50 点になるように換算）<br>● Maxwell の方程式の微分表現から複素表現に変換ができる。 【 20%（達成目標２，４）（授業 ８，９）】<br>● Maxwell の方程式から平面波を導き，その性質を理解し説明できる。 【 20%（達成目標２，４）（授業８， ９，１０）】<br>● 円偏波・直線偏波を理解し，右旋・左旋の識別，軸比，交差偏波識別度を計算できる。【 20%（達成目標２，４）（授業 １０）】<br>● 位相速度と群速度の意味を理解し，導出できる 【 20 %（達成目標２，４） （授業１１） 】<br>● 完全導体面における境界条件から、平面波が任意の角度から入射したときの電磁界分布を計算できる【10%（達成目標２，３，５）（授業１２）】<br>● ２種媒質の平面境界における境界条件から、平面波が任意の角度から入射したときの電磁界分布を計算できる【10%（達成目標２，３，５）（授業１３）】 |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | 授業計画、成績評価及び基準の詳細は、第１回目の授業時間のガイダンスにて説明。 |

# 半導体デバイス工学Ⅰ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋工業大学 | 科目コード | 290318 |
| 担当教員 | 曾我　哲夫（工学研究科教授） | | |
| 学年配当 | ３年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　火曜日：7・8時限（1440～1610） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | 御器所キャンパス 0223 教室 | | |
| 履修条件 | 電気磁気学及び電子物性の基礎知識を有すること | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 授業の目的・達成目標<br>現在のエレクトロニクス社会において様々な半導体デバイスが使われている。本授業は①集積回路や光エレクトロニクスを理解するための基礎として、②半導体物性と電子回路を結びつける科目として、及び③将来さらに高度な電子デバイスを学ぶ基礎として、個別の半導体デバイスの構造と動作原理を理解することを目的とする。特に、整流、増幅、スイッチ、エネルギー変換の機能を持った半導体デバイスについて学ぶ。数式を暗記するのではなく、先ず固体中の電子や正孔の動きを物理現象としてとらえて動作原理を理解し、次にそれを数式として表現できるよう努めて欲しい。<br>【達成目標】<br>１．キャリア濃度、電気伝導、再結合、拡散等半導体の基礎物性を説明できる。<br>２．ｐｎ接合をエネルギーバンド図で説明でき、式を用いて表現できる。<br>３．金属－半導体接触をエネルギーバンド図で説明でき、式を用いて表現できる。<br>４．バイポーラトランジスタの動作原理を説明でき、特性を式を用いて表現できる。<br>５．MOS トランジスタの動作原理を説明でき、式を用いて表現できる。<br>６．太陽電池、発光ダイオード等の半導体光デバイスの動作原理を説明できる。<br>授業計画<br>1.　授業計画の説明、半導体デバイスの概要説明<br>2.　半導体のキャリア濃度、電気伝導、キャリアの拡散<br>3.　少数キャリア連続の式、拡散長、キャリアの再結合<br>4.　ｐｎ接合のエネルギーバンド図、電流電圧特性<br>5.　ｐｎ接合の接合容量、トンネルダイオード<br>6.　金属－半導体接触<br>7.　中間試験<br>8.　中間試験の解説、バイポーラトランジスタの動作原理、増幅作用<br>9.　バイポーラトランジスタの周波数特性、スイッチング特性<br>10.　MOS（metal-oxide-semiconductor）構造<br>11.　MOS トランジスタの電流電圧特性<br>12.　金属―半導体電界効果トランジスタ、半導体の光の吸収と放出<br>13.　受光デバイス（導電型セル、太陽電池、ホトダイオード）<br>14.　発光デバイス（発光ダイオード、半導体レーザ）、最近の研究紹介<br>15.　期末試験、解説、全体のまとめ | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書:筒井一生著「よくわかる電子デバイス」オーム社<br>参考書:梅野正義編著「電子デバイス」オーム社、沼居貴陽 著「例題で学ぶ半導体デバイス」森北出版、樋口英世著「例題で学ぶ半導体デバイス入門」森北出版 | | |
| 試験・評価方法 | 成績評価の方法:<br>中間試験と期末試験をそれぞれ４０点満点、レポートを２０点満点とし、合計点（１００点満点）で評価する。 なお、中間試験と期末試験の日は変更する場合がある。詳細は授業中に連絡する。<br>成績評価の基準:以下の目標の達成度で評価する。<br>１．キャリア濃度、電気伝導、再結合、拡散等半導体基礎物性の理解。<br>２．ｐｎ接合のエネルギーバンド図、電流電圧特性、容量電圧特性の理解。<br>３．金属－半導体接触のエネルギーバンド図、電流電圧特性、容量電圧特性の理解。 | | |

| | |
|---|---|
| | ４．バイポーラトランジスタの動作原理に対する理解。<br>５．MOS トランジスタの動作原理に対する理解。<br>６．太陽電池、発光ダイオード等の半導体光デバイスの動作原理に対する理解。 |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | 授業計画や成績評価および基準の詳細は１回目の講義で説明する。復習を兼ねて最初の２回程度で半導体の基礎を講義するが、半導体物性の講義を理解しているものとして講義を進める。 |

# システム制御応用

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋工業大学 | 科目コード | 290319 |
| 担当教員 | 岩崎　誠（工学研究科教授） | | |
| 学年配当 | ３年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　月曜日：３・４時限（1030～1200） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | 御器所キャンパス 2312 教室 | | |
| 履修条件 | 制御工学の基礎知識を有すること | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ４月,９月 |
| 講義概要 | 授業の目的・達成目標<br>制御系の実装と応用の観点から，ディジタル制御の基礎と対象に応じたモデリングと設計論の展開など，電気系の制御応用に関する知識を習得することを目的とする。<br>【達成目標】<br>１．制御応用に際してのモデルと設計論との密接な関係について説明できる。<br>２．制御系実装における問題点について説明できる。<br>３．ディジタル制御の基礎（モデリングと制御）について理解できる。<br>４．モーションコントロールへの応用に関して，モデリング・設計論の展開について説明できる。<br>５．ロボットの運動制御への応用に関して，モデリング・設計論の展開について説明できる。<br>６．モータ制御への応用に関して，モデリング・設計論の展開について説明できる。<br>授業計画<br>1.ガイダンスと制御応用の実際<br>2.-5.ディジタル制御系のモデリングと制御設計<br>6.中間試験<br>7.-9.モーションコントロールへの応用<br>10.-12.ロボット制御への応用<br>13.-15.パワーエレクトロニクス・モータ制御への応用 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書:講義中に資料を配布する<br>参考書:なし | | |
| 試験・評価方法 | 成績評価の方法:レポート成績および試験成績より総合的に評価<br>成績評価の基準:総合評価が６０点以上で合格とする | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 授業計画，成績評価および基準の詳細は１回目の講義時間で説明する。 | | |

# 電気エネルギー工学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋工業大学 | 科目コード | 290320 |
| 担当教員 | 安井　晋示（工学研究科教授） | | |
| 学年配当 | 3 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　火曜：5・6 時限（1300～1430）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | 御器所キャンパス 0232 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 授業の目的・達成目標<br>現代社会は電気エネルギーによって支えられている一方で、膨大なエネルギー消費にともなう環境問題が顕在化している。この講義では、電気エネルギーの発生に関する各種エネルギー変換技術を理解するとともに、エネルギー資源の現状と環境問題との関係を説明できることを目標とする。<br>【達成目標】<br>1．日本のエネルギー需給の現状を説明できる。<br>2．火力、原子力、水力、新エネルギー発電の仕組みを説明できる。<br>3．熱力学の基本的な法則を理解し、エクセルギーの概念を説明できる。<br>4．熱サイクル、蒸気サイクルの仕組みを説明できる。<br>5．エネルギー資源と環境問題の現状について説明できる。<br>授業計画<br>1．ガイダンス、エネルギー資源と環境<br>2．熱力学の基本法則Ⅰ<br>3．熱力学の基本法則Ⅱ<br>4．熱エネルギー変換とカルノーサイクル<br>5．蒸気サイクルによるエネルギー変換<br>6．火力発電の現状と課題<br>7．エネルギー資源の現状と課題<br>8．中間試験<br>9．中間試験解説と核エネルギー<br>10．原子力発電の仕組みと原子力発電設備<br>11．原燃サイクルと放射性廃棄物<br>12．燃料電池の仕組みと効率<br>13．燃料電池発電技術<br>14．その他，発電技術<br>15．講義のまとめと期末試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書:平田哲夫，他著「図解　エネルギー工学」森北出版株式会社 | | |
| 試験・評価方法 | 成績評価の方法:レポート課題を課す。レポート課題に 10 点を配分する。中間試験(45 点）、期末試験（45 点）と合わせ，合計 100 点満点で評価する。期末試験の受験資格は、中間試験を受けていることとする。 60 %以上の理解度で C 判定以上とする。<br>成績評価の基準:●レポート課題（10 点）<br>●中間試験（100 点満点、全体の 45 点になるように換算）<br>1）熱力学の理解度(20 点）　（達成目標 3）<br>2）熱サイクル、蒸気サイクルの理解度（60 点）　（達成目標2，3，4）<br>3）火力発電技術，エネルギー資源の現状と課題(20 点)（達成目標5）<br>●期末試験（100 点満点、全体の 45 点になるように換算）<br>1)原子力発電のしくみの理解（40 点）　（達成目標2）<br>2)新エネルギー（燃料電池）の仕組みの理解（30 点）（達成目標2）<br>3)その他，発電技術(20 点)（達成目標2）<br>4)エネルギー資源と環境問題の理解度（10 点）　（達成目標1，5） | | |

| | |
|---|---|
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | 授業計画，成績評価及び基準の詳細は，第１回目の授業時間のガイダンスにて説明。 |

# 荷重・振動学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋工業大学 | 科目コード | 290321 |
| 担当教員 | 井戸田　秀樹（工学研究科教授）<br /><br /><br />梅村　恒（工学研究科准教授） | | |
| 学年配当 | 3 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　月曜日：3・4 時限（1030～1200） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | 御器所キャンパス 2421 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 授業の目的・達成目標<br>建築構造物に作用する外力をその生起過程から概説し,構造設計上問題となる各外力の特徴を構造物の応答との関係で理解する.さらに,それぞれの外力に対応する構造設計規準等に記述される荷重の諸規定の考え方を講述するとともに,構造設計の基本となる荷重算定の方法の基本，安全性確保の考え方等を習得する.なお,日本国内で構造設計上重要な位置づけである地震荷重の理解には,振動学の基本を習得することが不可欠であるため,振動学の講述に大きなウェイトを置いている.<br>授業計画<br>1. 荷重設定の工学的意味:建築構造設計において，荷重外力のレベルを設定することの工学的意味を理解し，荷重外力論習得の必要性を講述する。<br>2. 地震と地震動: 地震発生のメカニズムと地震波の性質について概説する。また，地震の規模及び地震動の強さに関する各種の指標について解説する。<br>3. 振動(1): 最も基本的な振動モデルである 1 自由度系の自由振動式を誘導し，その解析方法について講述する。<br>4. 振動(2): 1 自由度系が地震動や風を受けた場合の，非定常的な応答の求め方について講述する。<br>5. 振動(3): 耐震設計の基礎となる地震応答スペクトルについて述べ，設計用応答スペクトルの考え方について講述する。<br>6. 振動(4): 多自由度系の自由振動の運動方程式を誘導し，各次固有角振動数及びモードベクトルの導出方法について講述する。<br>7. 振動(5): 減衰の考え方について解説し，多自由度系のランダム地動入力に対する応答について講述する。<br>8. 地震荷重： 応答スペクトル法を用いたモーダルアナリシスの考え方に基づく地震荷重について概説する。<br>9. 建築構造物のリスク評価(1):確率・統計論に基づく安全性の定量的な評価手法の基礎について述べるとともに，限界状態設計法の基本について習得する。<br>10. 建築構造物のリスク評価(2):不確定な外力下にさらされる建築構造物のリスクを定量的に評価する手法を講述し，構造性能の説明責任について理解する。<br>11. 固定荷重，積載荷重:固定荷重と積載荷重の力学的な特徴を述べ，設計荷重への導入過程を講述する。特に，積載荷重が持つ時間的・空間的な変動性について十分理解する<br>12. 雪荷重(1):降雪のメカニズム，雪の持つ物理的性質を述べる。また，地上積雪深の統計データに基づき，再現期待値の考え方を具体的な演習問題を通して理解する。<br>13. 雪荷重(2):地上積雪深を用いた設計荷重の考え方を解説し，屋根上積雪深を評価する上で必要な種々の影響係数を講述する。<br>14. 風荷重:風の発生メカニズム，風による被害例を紹介し，耐風設計の重要性を認識する。また，風の持つ高さ方向分布など，風荷重の持つ基本特性を講述する。<br>15. 総復習<br>16. 期末試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 参考書:日本建築学会：建築物荷重指針・同解説、丸善 | | |
| 試験・評価 | 成績評価の方法:講義時に課すレポートおよび期末試験 | | |

| | |
|---|---|
| 方法 | 成績評価の基準:講義時に課すレポート(30%)および期末試験(70%)を総合し、60%以上、70%以上、80%以上、90%以上の各理解度に対しそれぞれ C、B、A、S 判定とする。 |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | 原則として各講義ごとに演習課題を課す．演習課題を行うための講義外学習時間を必要とする |

# 建築保存修復学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋工業大学 | 科目コード | 290322 |
| 担当教員 | 麓　和善（工学研究科教授）<br /><br /> | | |
| 学年配当 | 3 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　金曜日：5・6 時限（1300～1430） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | 御器所キャンパス 2421 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 授業の目的・達成目標<br>文化財建造物の保存修復に関する具体的な専門知識とその思考法を修得する。計画立案，問題解決，事後評価といった保存修復プロジェクトを遂行するうえでの一連の過程の考察と実践を通じて，文化財保存修復の技術体系，認識論，方法論に対する総合的な理解を深める。<br>授業計画<br>1. 文化財保存とは何か－歴史的建造物の保存と活用－<br>2. 文化財保護の歩み 1　古社寺保存法<br>3. 文化財保護の歩み 2　国宝保存法<br>4. 文化財保護の歩み 3　文化財保護法<br>5. 修理の考え方と技術 1　試行錯誤の時代<br>6. 修理の考え方と技術 2　修理技術の確立<br>7. 修理の考え方と技術 3　科学技術の導入と修理技術の国際化<br>8. 修理に伴う調査 1　実測調査・破損調査<br>9. 修理に伴う調査 2　仕様調査・技法調査<br>10. 修理に伴う調査 3　痕跡調査・史料調査<br>11. 伝統技術の保存 1　屋根葺(本瓦葺・桧皮葺・柿葺)<br>12. 伝統技術の保存 2　木工(規矩・継手仕口)<br>13. 伝統技術の保存 3　左官(土壁・漆喰彫刻)<br>14. 伝統技術の保存 4　装飾技法(漆塗・彩色・飾金具)<br>15. 文化財修理現場見学もしくは修理工事映像記録の上映<br>16. 期末試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書:プリントを配付する。 | | |
| 試験・評価方法 | 成績評価の方法:試験による。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 休日等を利用し､日頃から文化財建造物の見学を自主的に行うことが望ましい | | |

# 都市・地域計画学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋工業大学 | 科目コード | 290323 |
| 担当教員 | 秀島　栄三（工学研究科教授） | | |
| 学年配当 | ３年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　月曜：7・8 時限（1440～1610）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術,法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 御器所キャンパス 0111 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 授業の目的・達成目標<br>現代日本の社会状況は，都市に人口や資本が過度に集積し，国土・地域のバランスが崩れている面がある．このような社会的課題の解決のために様々な法定計画が策定されている．本講義では計画論の見地から，国土・地域・都市のあり方，都市計画および関連する法制度について講述する．<br>【達成目標】<br>計画論，法制度の観点から国土計画，地域計画および都市計画の意義と方法論を説明できる．<br>授業計画<br>1.概説<br>2.都市の定義と都市計画の目的<br>3.都市計画の思想と諸外国の都市計画<br>4.都市計画の法制度<br>5.土地利用とマスタープラン<br>6.地域制<br>7.地区計画<br>8.市街地開発，再開発，都市再生<br>9.緑地，公園，都市景観<br>10.都市防災計画<br>11.都市環境計画<br>12.都市計画の最近<br>13.都市交通計画<br>14.都市交通計画の実際<br>15.アーバンデザイン<br>16.期末試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書:加藤 晃・竹内伝史 編著：新・都市計画概論　改定２版，共立出版．<br>参考書:特に指定しない． | | |
| 試験・評価方法 | 成績評価の方法:レポート課題と期末試験により評価する．<br>成績評価の基準:レポート(30%)と期末試験(70%)により評価する．合計で 60 点以上を合格とする． | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 特段の予習は要求しないが，復習をするとともに日頃から地域の話題，都市計画の話題について関心を高めておくこと． | | |

# プロジェクト・プログラムマネジメント

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋工業大学 | 科目コード | 290324 |
| 担当教員 | 越島　一郎（工学研究科教授） | | |
| 学年配当 | ３年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　木曜日：３・４時限（1030～1200） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | 御器所キャンパス 5218 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 授業の目的・達成目標<br>【授業の目的】<br>プロジェクトとして遂行する上で重要な「人・物・金・時間」の管理方法に関して概説し、ケーススタディを通して具体的に習得することを目的とする。<br>【達成目標】<br>①対象をプロジェクトとして捉えることが出来る。<br>②管理プロセスに従い PM 手法を選択し適用できる。<br>授業計画<br>1. プロジェクトマネジメントとシステム思考<br>対象をシステムとして捉える方法を理解し、システム設計・管理手法を適用出来る。<br>2. プロジェクトマネジメントと組織<br>業務遂行のための組織設計並びにプロジェクト遂行のための組織に関して説明する。<br>3. 要求定義、要求分析<br>要求定義に関して、性能要求並びにシステムエンジニアリングプロセスの各タスクを説明する。<br>4. 要求・作業・成果物<br>5. プロジェクトスケジューリング：PERT・CPM、山積み・山崩し<br>6. ワークパッケージ<br>7. 進捗管理とコスト推参<br>8. 変更管理<br>9. リスクマネジメント<br>10. ケーススタディ（1）<br>ケース SOW の分析と WBS,SBS のプロトタイピング<br>11. ケーススタディ（2）<br>プロトタイプ WBS, SBS の発表とケースとの比較<br>12. ケーススタディ（3）<br>WBS と CBS,OBS,SBS,TBS を組み合わせる。<br>13. ケーススタディ（4）<br>14. ケーススタディ（5）<br>15. ケーススタディ成果発表（成果物提出） | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書:エンジニアリング振興協会. エンジニアリングマネジメント, 2007 | | |
| 試験・評価方法 | 成績評価の方法:成果発表と３つのレポートで評価する。<br>成績評価の基準:成果発表を 50 点満点、レポートを 50 点満点として、合計が 60 点以上を合格とする。なお、欠席が４回以上の者は成績評価を行わない。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | (1)プロジェクトマネジメント手法を短時間のうちに習得するため、復習を必ず行うこと。<br>(2)ケーススタディでは、チームを編成してミニ・プロジェクトを実行するので、欠席はチームに対して重大な効率低下を引き起こすことを了解すること。One for Team, Team for One!<br>なお、原則として再試験は実施しない。ただし例外として実施する場合があるので掲示等に注意すること。 | | |

# サービスマネジメント

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋工業大学 | 科目コード | 290325 |
| 担当教員 | 越島　一郎（工学研究科教授） | | |
| 学年配当 | 3 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　火曜日：5・6 時限（1300～1430） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | 御器所キャンパス 1621 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 授業の目的・達成目標<br>【授業の目的】<br>わが国では、今後ますます”モノつくりのソフト化”が進行するものと考えられる。ここで重要な概念は、モノの提供ではなく”サービス”の組み込みである。このため、本講義では、サービスの特性を理解したうえで、サービス活動に関わるために必要となる基本知識を教授する 。<br>【達成目標】<br>以下の 3 点を目標とする。<br>①サービスの特性を理解し、事例をもって説明できる。<br>②サービスマネジメントについての分析・設計・評価ができる<br>③顧客満足と従業員満足の関係を理解し、サービス経営のための組織を説明することができる。<br>授業計画<br>1. ガイダンス　科目の目的と、サービスマネジメントの全体像を説明する。<br>2. 顧客価値とサービス　顧客がサービスの価値を決めることを中心として、顧客満足・事例について解説する。<br>3. サービスの特徴とサービス価値　商品としてのサービスの特徴を解説する。<br>4. サービスの構成要素　顧客価値の視点から、サービス商品は”サービスの束”として提供することが求められていることを解説する。<br>5. サービスの束と BSC による戦略策定　各人が提出した”サービスの束”を基に BSC を用いて”新しいカフェチェーン”の創業を目指したグループ討議を開始する。<br>6. サービスの束と BSC による戦略策定　各人が提出した”サービスの束”を基に BSC を用いて”新しいカフェチェーン”の創業を目指したグループ討議を行い、次週に発表とする。<br>7. BSC による戦略策定　グループ発表<br>8. サービス・デリバリー・システム<br>9. サービスマネジメント１　３週にわたり、サービスを商品とする企業に求められるサービスマネジメントに関して解説する。 今週は、サービス組織と組織学習について<br>10. サービスマネジメント２　BtoSc(Business to Suported Customer)のコンセプトを説明し、サービス対象の構造化の重要性を説明<br>11. サービスマネジメント３　サービスと人の関係から、真実の瞬間・ホスピタリティ等を解説する。<br>12. サービス・マーケティング　課題の発表と講評。<br>13. サービス品質の測定１　２週にわたり、サービス品質の測定方法に関して解説する。<br>14. サービス品質の測定２<br>15. 授業総括 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書:近藤隆雄，サービスマネジメント入門―ものづくりから価値づくりの視点へ，生産性出版，2007<br>参考書:小山周三，サービス経営戦略, NTT 出版、2005、適宜、コピー等を e-ラーニングを通して配布 | | |
| 試験・評価方法 | 成績評価の方法:レポートで評価する。<br>成績評価の基準:5 回のレポートを 100 点満点として、合計が 60 点以上を合格とする。なお、欠席が 4 回以上の者は成績評価を行わない。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |

| | |
|---|---|
| その他特記事項 | 特になし |

# 工学倫理

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋工業大学 | 科目コード | 290326 |
| 担当教員 | 瀬口　昌久（工学研究科教授） | | |
| 学年配当 | ３年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　金曜日：１・２時限（850～1020） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉,工学・建築・技術 | | |
| 教室 | 御器所キャンパス O111 教室 | | |
| 履修条件 | 「文部科学省戦略的大学連携支援事業」の連携校（愛知工業大学，大同大学）の受講希望者を優先して受け入れる。 | | |
| 募集定員 | ４名程度以下 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 授業の目的・達成目標<br>１．授業の目的：技術者として的確な倫理的判断を下すことができるようになるために、技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、および、技術者が社会に対して負っている責任を理解する。<br>２．到達目標：「倫理規定」、「フェイルセーフ」、「事故の原因追求と責任追及」といったキーワードを理解し、技術に関わる倫理的問題について適切な理解と意見を述べることができる。<br>授業計画<br>1. 工学倫理とは何か、この学が必要とされる社会的背景を理解する。<br>2. 工学倫理の必要性をスペースシャトル・チャレンジャー号爆発事故から学ぶ。<br>3. 工学倫理の必要性をスペースシャトル・コロンビア号事故から学ぶ。<br>［ 到達目標１：工学倫理が必要とされる社会的背景を説明できる ］<br>4. フォード社ピント事故などを通して費用便益計算と設計の安全性について学ぶ。<br>5. 車の安全性とチャイルドシートの問題を通して製造物責任について学ぶ。<br>6.　シュレッダー事故を通し消費生活製品安全法について学ぶ。<br>7. JCO 臨界事故と福島原発事故を通して、リスク評価の問題を考える。<br>8. 石原産業フェロシルト問題を通して環境と技術倫理の問題を理解する。<br>［ 費用便益計算、製造物責任、コンプライアンスについて知識と理解をする ］<br>9. 倫理綱領と企業倫理について学ぶ。<br>10. 線引き問題を学び、グループディスカッションをする。<br>11. ギルベインゴールドを見てディスカッションをする。<br>12. 公益通報者保護法やセブンステップガイド および研究者倫理について学ぶ。<br>［ 線引き法、セブンステップガイド、倫理ホットラインなど倫理的問題の対処法が理解できる ］<br>13. 事例分析のプレゼンテーション（１）<br>14. 事例分析のプレゼンテーション（２）<br>15. 事例分析のプレゼンテーション（３）<br>［ 事故のケーススタディを通して、倫理的な問題点について適切な意見を述べることができる ］ | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書:『はじめての工学倫理』（第三版）（齋藤了文・坂下浩司編）昭和堂<br>参考書:『技術者倫理の世界』（第三版）（藤本温編著）森北出版 | | |
| 試験・評価方法 | 成績評価の方法:毎回のワークシートを 15 点、レポートを 25 点満点で計算し合計 40 点満点とし、期末テストを 60 点、合計１００点満点として評価する。<br>成績評価の基準:それぞれの到達目標に達しているかどうかで成績評価を実施する。小テストはすべての目標への到達度を測ることで成績を評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 新聞、テレビ、インターネットなどを通じて、技術に関わる問題や事故に関わるニュースに関心を広げること。 | | |

# 生体機能科学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋工業大学 | 科目コード | 290327 |
| 担当教員 | 吉村　篤司（工学研究科教授） | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　月曜日：7・8時限（1440～1610） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | スポーツ・健康・医療,生物 | | |
| 教室 | 御器所キャンパス 5212 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月,9 月 |
| 講義概要 | 授業の目的・達成目標<br>生体が示す特有な反応が生命現象であるが、生命現象を科学するためには生体が示すしくみ（機能）を理解する必要がある。ここでは、生体のもつ基本的なしくみを学習し、生命現象を学ぶための基礎を提供するものである。内容は、下記のテーマに従って、複数教官がオムニバス形式で講義する。<br>達成目標<br>１．酸素と栄養素の運搬を理解する。<br>２．神経とホルモンを介しての生体の調節を理解する。<br>３．栄養分をエネルギーに変換するしくみを理解する。<br>４．外部と内部情報の獲得を理解する。<br>５．物質の生成過程と工学的利用法を理解する。<br>授業計画<br>1.血液（血液成分、循環と移動、尿生成と腎臓、血液凝固、免疫と解毒）<br>2.体液（組織液およびリンパ、酸と塩基平衡、生理反応と酸と塩基平衡）<br>3.呼吸（肺と換気調節、ガス交換、呼吸困難、生理反応と呼吸）<br>4.循環系（心臓と神経支配、循環の神経調節、生理反応と循環調節）<br>5.消化、吸収（消化、吸収過程と作用、栄養素）<br>6.代謝（エネルギー代謝、抗酸化物質、生理反応とエネルギー代謝）、<br>7.体温と発汗調節（体温調節、環境と体温調節、発汗調節、体温調節の異常）<br>8.内分泌とホルモン（内分泌の概念、ホルモンの合成、分泌、生理反応とホルモン、ストレスとホルモン）<br>9.骨格筋（骨格筋の収縮特性、筋のエネルギー、筋と神経支配、疲労）<br>10.骨（骨構造、骨代謝、骨粗鬆症、生理反応と骨代謝）<br>11.神経系（神経細胞とシナプス、末梢神経系、中枢神経系、生理反応と神経系の影響<br>12.感覚器（平衡感覚と視覚、感覚情報処理、生理反応と感覚器の影響）<br>13.生体材料・分子機能Ⅰ<br>14.生体材料・分子機能Ⅱ<br>15.麻酔作用（脳、全身麻酔、局所麻酔、研究法の実際）<br>16.試験・授業評価 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書:講義の中で必要な資料を配布する。<br>参考書:なし。 | | |
| 試験・評価方法 | 成績評価の方法:担当教官のテストまたはレポート等で評価する。<br>成績評価の基準:担当教官のテストまたはレポート等の得点を合計して評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 履修にあたっての注意事項：第一回目の授業で２クラスに分けるので、必ず出席すること。 | | |

# 生体機能科学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋工業大学 | 科目コード | 290328 |
| 担当教員 | 小笠原　理紀（工学研究科准教授） | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　金曜日：7・8 時限（1440～1610） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | スポーツ・健康・医療,生物 | | |
| 教室 | 御器所キャンパス 5111 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月,9 月 |
| 講義概要 | 授業の目的・達成目標<br>生体が示す特有な反応が生命現象であるが、生命現象を科学するためには生体が示すしくみ（機能）を理解する必要がある。本講義は、生体のもつ基本的なしくみを学習し、生命現象を学ぶための基礎を提供するものである。内容は、下記のテーマに従って、複数教官がオムニバス形式で講義する。<br>１．酸素と栄養素の運搬を理解する。<br>２．神経とホルモンを介しての生体の調節を理解する。<br>３．栄養分をエネルギーに変換するしくみを理解する。<br>４．外部と内部情報の獲得を理解する。<br>５．物質の生成過程と工学的利用法を理解する。<br>授業計画<br>1.血液（血液成分、循環と移動、尿生成と腎臓、血液凝固、免疫と解毒）<br>2.体液（組織液およびリンパ、酸と塩基平衡、生理反応と酸と塩基平衡）<br>3.呼吸（肺と換気調節、ガス交換、呼吸困難、生理反応と呼吸）<br>4.循環系（心臓と血管、心臓と神経支配、循環の神経調節）<br>5.消化、吸収（消化、吸収過程と作用、栄養素）<br>6.代謝（エネルギー代謝、抗酸化物質、生理反応とエネルギー代謝）<br>7.体温と発汗調節（体温調節、環境と体温調節、発汗調節、体温調節の異常）<br>8.内分泌とホルモン（内分泌の概念、ホルモンの合成、分泌、生理反応とホルモン）<br>9.骨格筋（骨格筋の収縮特性、筋のエネルギー、筋と神経支配、疲労）<br>10.骨（骨構造、骨代謝、骨粗鬆症、生理反応と骨代謝）<br>11.神経系（神経細胞とシナプス、末梢神経系、中枢神経系、生理反応と神経系の影響）<br>12.感覚器（平衡感覚,視覚、嗅覚、聴覚、味覚）<br>13.アミノ酸とタンパク質の構造および構造解析<br>14.生体高分子（核酸、タンパク質など）の工学的利用法<br>15.総括＋試験・授業評価 | | |
| テキスト・参考文献 | | | |
| 試験・評価方法 | 成績評価の方法:試験により評価する。本講義は３（４）人の教員によるオムニバス形式であるので各教員は 100 点満点で採点し、平均値が 60 点以上で合格とする。<br>成績評価の基準:60~69 点：可、70~79 点：良、80~89 点：優、90~100 点：秀 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 講義中に指示する。 | | |

# 管理工学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋工業大学 | 科目コード | 290329 |
| 担当教員 | 神田　幸治（工学研究科准教授） | | |
| 学年配当 | ３年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　金曜日：１・２時限（850～1020） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | 御器所キャンパス 1222 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ４月,９月 |
| 講義概要 | 授業の目的・達成目標<br>【授業の目的】<br>　最近の経済をはじめとする様々な環境の急激な変化にともない，工学技術者は専門とする工学分野だけでなく，経営の点からものごとを見ることが非常に重要となってきている。本講義では，経営学，経営工学等の視点から，ひと，もの，かね，情報といった要素をもとに，企業経営からものづくり，組織や人の管理にいたるまで，さまざまな対象への解決のためのアプローチ手法や考え方を紹介する。<br>【達成目標】<br>・工学技術者として知っておくべき経営学，経営工学の考え方を説明できる。<br>・経営システム上の種々の問題に対して，適切なアプローチ方法を選択できる。<br>・自らの専門分野を，生産システム，経営システムの広い視点から位置づけることができる。<br>授業計画<br>経営システム工学に関するひと，もの，かね，情報の各要素より，以下のテーマについて都市社会工学科教員による１コマ完結のオムニバス授業を行なう。順不同。<br>1. 待ち時間の科学<br>2. 変化をつかまえるとは<br>3. 現場改善起点の経営戦略<br>4. 組織と集団の社会学<br>5. 企業を取り巻く環境変化<br>6. 品質を管理するとは<br>7. 生産管理システム<br>8. マネジメントとこころの科学<br>9. 不安全行動を管理する前に<br>10. 問題解決とシステムづくり<br>11. プロジェクトマネジメント<br>12. 想定外事象とリスクマネジメント<br>13. マーケティング<br>14. 統計的データ解析<br>15. ERP で学ぶ企業情報プロセス | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書:授業中に指示する<br>参考書:授業中に指示する | | |
| 試験・評価方法 | 成績評価の方法:各回に実施される小レポートあるいは試験で評価する。<br>成績評価の基準:14 回の授業で毎回実施されるレポートあるいは試験の得点ウェイトは均等であり，その平均（合計）が 60%以上の得点率を合格とする。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 授業内容と受講生自身の専門分野とを関係づけながら受講すること。 | | |

# 工学概論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 豊橋技術科学大学 | 科目コード | 290401 |
| 担当教員 | 本学各教員 | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　月曜日：2 限（1030～1200） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | A-114 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 各課程における学問の内容・研究テーマ等に加え関連科学技術の最前線を，課程ごとに3回の講義で紹介する。<br><br>1. 4 月 10 日（月）情報・知能工学課程：青野 雅樹<br>データサイエンスのすすめ<br>2. 4 月 17 日（月）情報・知能工学課程：金澤 靖<br>身近にある画像処理技術について講義する。<br>3. 4 月 24 日（月）情報・知能工学課程：岡田 美智男<br>HRI(Human-Robot Interaction)に関する研究動向について講義する。<br>4. 5 月 1 日（月）環境・生命工学課程：浴 俊彦<br>生命工学と遺伝子科学について講義する。<br>5. 5 月 8 日（月）環境・生命工学課程：伊津野 真一<br>合成高分子触媒は酵素を超えられるか－立体選択的有機化学反応の魅力－<br>6. 5 月 15 日（月）環境・生命工学課程：環境・生命工学課程教授<br>一分子操作を用いた生体高分子の解析<br>7. 5 月 22 日（月）建築・都市システム学課程：齊藤 大樹<br>基礎から学ぶ地震と防災<br>8. 5 月 29 日（月）建築・都市システム学課程：松島 史朗<br>最先端建築デザインを可能とする技術とその波及効果について講義する。<br>9. 6 月 5 日（月）建築・都市システム学課程：井上 隆信<br>土木・建築で取り扱う環境分野の概要と解決すべき環境問題<br>10. 6 月 12 日（月）機械工学課程：河村 庄造<br>身の回りの振動について講義する。<br>11. 6 月 19 日（月）機械工学課程：三浦 博己<br>みな材料で出来ているについて講義する。<br>12. 6 月 26 日（月）機械工学課程：足立 忠晴<br>安全な機械とは何かについて講義する。<br>13. 7 月 3 日（月）電気・電子情報工学課程：滝川 浩史<br>現代社会，そして未来社会を支える電気エネルギーについて講義する。<br>14. 7 月 10 日（月）電気・電子情報工学課程：上原 秀幸<br>ワイヤレス通信の今とこれから<br>15. 7 月 24 日（月）電気・電子情報工学課程：1．福田 光男　2．澤田 和明<br>2つのテーマについて講義する。<br>1．私たちの生活を支える光技術，<br>2．みえないものを　みる　技術　－イメージセンサー | | |
| テキスト・参考文献 | | | |
| 試験・評価方法 | 各課程担当の講義終了後，レポートや試験等で講義の理解度の評価をする。それらを総合して成績とする。本講義には全て出席するとともに，レポートは必ず提出すること。出席は毎回，必ず取る。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記 | | | |

| 事項 | |
| --- | --- |

# 電気計測

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 豊橋技術科学大学 | 科目コード | 290402 |
| 担当教員 | 岡田　浩 | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　水曜日：4 限（1440～1610） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | A-303 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 9 月 |
| 講義概要 | 1-4 週目　電子計測の基礎<br>5-7 週目　センサ<br>8-9 週目　データ変換<br>10 週目　電子計測器<br>11-12 週目　ディジタル計測制御システム<br>13-14 週目　測定値と制御信号の伝送<br>15 週目　応用計測<br>16 週目 試験<br><br>【予習・復習内容】<br>予め教科書の講義内容該当範囲を一読しておく。受講内容を簡潔にノートにまとめるとともに、テキストの章末問題などを解き、学習内容、疑問点をクリアーにし、問題解決能力を高める。<br><br>【レポート課題】<br>随時、各講義内容に関連した課題を出す。 | | |
| テキスト・参考文献 | ・「電気・電子計測」田所嘉昭編著（オーム社） | | |
| 試験・評価方法 | レポート 20%，期末試験 80%とし，これらの合計で評価する.<br><br>評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する.<br>S：達成目標をすべて達成しており，かつ試験・補習・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上<br>A：達成目標を 80%達成しており，かつ試験・補習・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上<br>B：達成目標を 70%達成しており，かつ試験・補習・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上<br>C：達成目標を 60%達成しており，かつ試験・補習・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上<br><br>レポート，試験の結果のみで評価する．講義中の演習は理解を深めるために行うのであり，評価には全く関係しない. | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 達成目標:<br>A.基礎的な事項<br>(1) 測定の方法，測定値の評価，単位について理解する.<br>B.センサ<br>(1) 各種センサの機能，原理，使用法を理解する.<br>C.データ変換<br>(1) 演算増幅器の理解，特に仮想接地を用いた回路の原理を理解する.<br>(2) 演算増幅器を用いた各種演算回路の構成を理解し，特徴を把握する.<br>(3) 電圧と周波数の変換法，周波数変換法，電圧と時間の変換法を理解する. | | |

| | |
|---|---|
| | (4) アナログ-ディジタル変換，及びディジタルーアナログ変換の原理を理解する.<br>D.電子計測器<br>(1) 基本的な電子計測器の原理と特徴，そして使用法について理解する.<br>E. ディジタル計測制御システム<br>(1) 計算機の基本構成を理解し，計測器との接続法と駆動法を理解する.<br>F. 測定値と制御信号の伝送<br>(1) 信号の遠隔伝送手段であるテレメータの原理を理解する.<br>G. 応用計測<br>(1) 各種センサを組み合わせた応用的な計測技術の基本となる技術を理解する.<br>(2) 実際の測定系を構成する上で必要な知識や、測定データの取り扱いで留意すべき基本事項など、実際の場面で必要な基礎事項を理解する。 |

# 離散数学基礎

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 豊橋技術科学大学 | 科目コード | 290403 |
| 担当教員 | 増山　繁 | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　月曜：4 限（1440～1610）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 数学・物理・化学 | | |
| 教室 | F1-103 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 9 月 |
| 講義概要 | 計算機を用いた問題解決の対象となるシステムの多くは、グラフ・ネットワークなどの離散構造をしている。そこで、離散構造を持つシステムをモデル化し、分析するツールとして、グラフ・ネットワーク理論を取り上げる。<br><br>1-3 週目　数学的準備と離散数学の基礎概念（集合，　写像，　関数，数学的帰納法，　背理法，鳩の巣原理(ディリクレの抽出し論法)）<br>4-6 週目　グラフの基礎概念<br>・路，閉路，連結性<br>・木、カットセット<br>・オイラー路、オイラー閉路とハミルトン路、ハミルトン閉路<br>7-8 週目　平面グラフと双対グラフ<br>9-10 週目　ネットワーク設計とグラフの連結性<br>11-12 週目　最短路問題入門<br>・動的計画法と最短路問題<br>・閉路がない場合<br>・ダイクストラ法<br>13-15 週目　2 部グラフのマッチング<br>・2 部グラフのマッチングとは<br>・完全マッチング<br>・最大マッチング<br>16 週目　定期試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書: 講義内容を記したプリントを配布します。 | | |
| 試験・評価方法 | 期末試験・レポート(80%+20%)で評価する。<br><br>評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。<br>S：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上<br>　A：達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上<br>　B：達成目標を 70%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上<br>　C：達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 達成目標:<br>1. グラフ・ネットワーク理論の基本的な知識・理解を有すること<br>2. 最小木問題、最短路問題、最大流問題を解くアルゴリズムを使いこなせること<br>3. 離散構造を持つシステムのグラフ・ネットワークによるモデル化への理解を深めること | | |

# 知能情報学概論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 豊橋技術科学大学 | 科目コード | 290404 |
| 担当教員 | 梅村　恭司 | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　火曜：5 限（1620～1750）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 1. 鯉田 講義の概要、神経生理学の基礎<br>2. 鯉田 視覚神経科学の研究手法<br>3. 鯉田 論文の輪読<br>4. 北崎 バーチャルリアリティ序論<br>5. 中内 視覚の科学と技術<br>6. 石田 人工知能技術とその展開<br>7. 村越 知能情報学概論<br>8. 福村 ヒトの随意運動の制御メカニズム<br>9. 大村 ユビキタス技術による日常生活・作業支援<br>10. 井佐原 日本語と言語情報処理<br>11. 後藤 分子シミュレーションと深層ニューラルネットを用いたケモインフォマティクスの応用<br>12. 栗田 計算機シミュレーションを用いた新薬の提案<br>13. 高橋 化学と人工知能<br>14. 岡田 ヒューマン・ロボットインタラクションの研究とその応用<br>15. 渡辺 統計的機械学習の概観 | | |
| テキスト・参考文献 | 講義資料の提供方法については、各担当教員より連絡。参考図書、参考文献は講義内で紹介する。 | | |
| 試験・評価方法 | 成績の評価法：１３名の担当者それぞれが出す課題レポート（各１００点満点の平均）により評価する。<br>評価基準：<br>S：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上<br>A：達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上<br>B：達成目標を 70%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上<br>C：達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 達成目標:<br>1. 知能情報学とは何かについて理解する<br>2. 知能情報学に関係する分野（視聴覚、神経認知、計算機化学、人工知能、人工生命、ヒューマン・ロボット・インタラクション）について理解する<br>3. 知能情報学の様々な研究分野の最先端技術の一部と分野間の関連性の概要について理解する | | |

# 情報工学概論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 豊橋技術科学大学 | 科目コード | 290405 |
| 担当教員 | 梅村　恭司 | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　月曜日：4 限（1440～1610） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 1. 南　　ガイダンス(情報工学とは?)<br>2. 南　　報工学と脳<br>3. 南　　認知神経工学研究<br>4. 青野 マルチメディアからの特徴量抽出とデータサイエンスへの応用<br>5. 栗山 CG 技術の基礎と変遷<br>6. 菅谷 コンピュータビジョン<br>7. 増山 意味の世界に迫るテキストマイニングの拓く未来<br>8. 小林 最先端の並列処理システム<br>9. 秋葉 機械翻訳のしくみ<br>10. 三浦 知能ロボットのための情報処理技術<br>11. 金澤 3 次元表示技術と3次元計測技術<br>12. 土屋 情報システムおよびネットワークのセキュリティ概論<br>13. 河合 東三河サイエンスカフェ―生涯学習としての情報教育―<br>14. 藤戸 アルゴリズム入門<br>15. 梅村 ノンパラメトリック統計検定の基礎 | | |
| テキスト・参考文献 | 参考図書、参考文献は講義内で紹介する。 | | |
| 試験・評価方法 | 成績の評価法：13 名の担当者それぞれが出す課題レポート（各 100 点満点の平均）により評価する。<br>評価基準：<br>S：達成目標をすべて達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上<br>A：達成目標を 80%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上<br>B：達成目標を 70%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上<br>C：達成目標を 60%達成しており，かつテスト・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 達成目標:<br>1. 情報工学とは何かについて理解する<br>2. 情報工学に関係する分野（情報メディア、知能ロボット、アルゴリズム、ネットワーク、計算機アーキテクチャ）の概要について理解する<br>3. 情報工学の様々な研究分野の最先端技術の一部と分野間の関連性の概要を理解する | | |

# 分子生物学Ⅰ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 豊橋技術科学大学 | 科目コード | 290406 |
| 担当教員 | 梅影　創 | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期 1＞　水曜,木曜：1 限（850～1020）5 限 16201750 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 生物 | | |
| 教室 | A-106 | | |
| 履修条件 | 前期1（月:4/10～5/29，火:4/11～6/6，水:4/12～6/7，木:4/13～6/8，金:4/14～6/9)水・木の2限出席しないと単位は与えられない。 | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 1. オリエンテーション<br>2. 3 章　タンパク質（1）<br>3. 3 章　タンパク質（1）<br>4. 4 章　DNA、染色体、ゲノム（1）<br>5. 4 章　DNA、染色体、ゲノム（1）<br>6. 5 章　DNA の複製、修復、組換え（1）<br>7. 5 章　DNA の複製、修復、組換え（2）<br>8. 6 章　ゲノム情報の読み取り（1）<br>9. 6 章　ゲノム情報の読み取り（2）<br>10. 6 章　ゲノム情報の読み取り（3）<br>11. 7 章　遺伝子発現の調節（1）<br>12. 7 章　遺伝子発現の調節（1）<br>13. 7 章　遺伝子発現の調節（1）<br>14. 8 章　タンパク質、DNA、RNA の操作（1）<br>15. 8 章　タンパク質、DNA、RNA の操作（2）（動物細胞は含まない） | | |
| テキスト・参考文献 | Molecular biology of the cell, 6th edition, Bruce Alberts et al. | | |
| 試験・評価方法 | 評価基準：下記のように成績を評価する。<br>A：テストの得点（100 点満点）が 80 点以上<br>B：テストの得点（100 点満点）が 65 点以上<br>C：テストの得点（100 点満点）が 55 点以上 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 達成目標:<br>1. 分子生物学の基礎を理解する。<br>2. 最新の分子生物学の知見を理解する。 | | |

# 遺伝子工学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 豊橋技術科学大学 | 科目コード | 290407 |
| 担当教員 | 田中　照通 | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　水曜：1 限（850～1020）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 生物 | | |
| 教室 | A-202 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 9 月 |
| 講義概要 | 1. 基本生体分子の復習<br>2. 生命の3界と代表生物種<br>3. 遺伝暗号<br>4. ゲノム・遺伝子の定義<br>5. 遺伝情報の流れとセントラルドグマ<br>6. 生命現象の基本法則<br>7. タンパク質の生合成の詳細<br>8. 遺伝子の転写調節<br>9. 宿主-ベクター系<br>10. 遺伝子操作の道具たち<br>11. 制限酵素<br>12. 遺伝子発現制御<br>13. 遺伝子組み換え体の作り方（方法論と具体例）<br>14. DNA の解析（PAGE, DNA seq., PCR）<br>15. RNA の解析（RT, hybridization）<br>16. タンパク質の解析（SDS-PAGE, Edman 分解, 質量分析）<br>17. タンパク質工学<br>18. 最近の話題から（ゲノムプロジェクト、クローン動物、遺伝子治療、遺伝子発現制御の実際） | | |
| テキスト・参考文献 | 1. 生化学（第 5 版），ホートン（東京化学同人）<br>2. 生化学（第 5 版），コーン・スタンプ（東京化学同人） | | |
| 試験・評価方法 | 各授業時におけるミニテスト（2 割）と 2 回の定期試験（8 割）の結果によって成績を評価する。各ミニテストでの成績が 50%に満たない回はその授業は「欠席」とみなす。「欠席」が 4 回以上ある場合は履修放棄として扱う。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 達成目標:<br>1. 生命の基本分子を分子構造から正しく覚え、タンパク質の生合成・遺伝子発現制御・ベクターの概念等を正しく理解すること。 | | |

# 計測制御工学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 豊橋技術科学大学 | 科目コード | 290408 |
| 担当教員 | 田中　三郎 | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　金曜日：5 限（1620～1750） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | A2-301 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 9 月 |
| 講義概要 | 講義前半では計測法、回路設計について講述し、後半では制御工学の基礎を学ぶ。<br><br>1-2 週目.　計測の基礎、誤差、単位<br>3-5 週目.　電気計器、　電圧計、電流計の原理、デジタル計器の動作<br>6-7 週目.　電圧、電流、抵抗、電界、波形、磁界の計測<br>8-9 週目.　力、歪み、圧力、温度の計測<br>10-11 週目.　演算増幅器（OP アンプの基礎）及び設計法<br>12-13 週目.　制御の基礎　ラプラス変換<br>14-15 週目.　伝達関数、フィードバック理論 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書等: 講義進度に応じて参考資料を配布する。 | | |
| 試験・評価方法 | レポートおよび演習(20%)と期末試験(80%)の結果により評価する。<br>評価基準：原則的にすべての講義に出席したものにつき、下記のように成績を評価する。<br>　A：達成目標の 80%を達成しており，かつ試験・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上<br>　B：達成目標の 70%を達成しており，かつ試験・レポートの合計点（100 点満点）が 65 点以上<br>　C：達成目標の 60%を達成しており，かつ試験・レポートの合計点（100 点満点）が 55 点以上 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 達成目標:<br>A. 計測の基礎<br>（1） 誤差の意味が理解できる。<br>（2） 誤差を考慮した単位変換ができる。<br>（3） 分解能、ダイナミックレンジなどの意味が理解できる。<br>B. 計測器<br>（1） 電圧計、電流計のレンジ拡大法が理解できる。<br>（2） デジタル電圧計の原理が理解できる。<br>（3） オシロスコープの原理が理解できる。<br>C. 演算増幅器<br>（1） 仮想設置、ゲイン、負帰還の意味が理解できる。<br>（2） 反転増幅、非反転増幅、差動増幅、加算器などの設計ができる。<br>D.様々な物理量の計測<br>（1）抵抗、温度、波形　磁界、電界などの計測方法が理解できる。<br>（2）力、歪み、圧力などの計測方法が理解できる。<br>E. 制御の基礎<br>（1） 基本的なラプラス変換、逆変換ができる。<br>（2） フィードバック理論が理解でき、伝達関数の計算ができ。<br>（3） 基本的は回路のステップ応答が計算できる。 | | |

# 英語連続セミナー

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知県立大学 | 科目コード | 290501 |
| 担当教員 | カールソン、ロジャー | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　月曜：4 限（1430～1600）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | 長久手キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 21 世紀の社会は、様々な人的・物的交流が世界的規模で行われています。一方、私達を取り巻く課題は複雑化し、その対応・解決にはグローバルな視点が求められています。そのような状況下で、英語は国際的な共通語として実質的に中心的な役割を果たしており、この社会で活躍していく皆さんには、多様な背景をもつ人たちと英語でコミュニケーションをとる能力の向上が求められています。本講義では、仕事や生活の場で英語をコミュニケーション・ツールとして使っている方々から、体験や研究などに基づいた講演を聞きます。その後、質疑応答と受講生による英語エッセイへの取り組みにより、講演内容に対する理解を深めていきます。このような取り組みを通して、グローバルな視野と英語によるコミュニケーションへの積極的態度を養います。<br><br>第 1 回：イントロダクション<br>第 2 回：学外講師(1)による英語講演、質疑応答、受講生による英文エッセイ提出<br>第 3 回：学外講師(2)による英語講演、質疑応答、受講生による英文エッセイ提出<br>第 4 回：学外講師(3)による英語講演、質疑応答、受講生による英文エッセイ提出<br>第 5 回：学外講師(4)による英語講演、質疑応答、受講生による英文エッセイ提出<br>第 6 回：学外講師(5)による英語講演、質疑応答、受講生による英文エッセイ提出<br>第 7 回：学外講師(6)による英語講演、質疑応答、受講生による英文エッセイ提出<br>第 8 回：受講生によるグループディスカッション<br>第 9 回：学外講師(7)による英語講演、質疑応答、受講生による英文エッセイ提出<br>第 10 回：学外講師(8)による英語講演、質疑応答、受講生による英文エッセイ提出<br>第 11 回：学外講師(9)による英語講演、質疑応答、受講生による英文エッセイ提出<br>第 12 回：学外講師(10)による英語講演、質疑応答、受講生による英文エッセイ提出<br>第 13 回：学外講師(11)による英語講演、質疑応答、受講生による英文エッセイ提出<br>第 14 回：学外講師(12)による英語講演、質疑応答、受講生による英文エッセイ提出<br>第 15 回：まとめ及び最終レポート課題についての解説<br><br>毎回の授業は次のような内容で構成されます。<br>Introduction: 5 minutes<br>Warm-up question(s): 5 minutes<br>Presentation by the guest speaker: 50 minutes<br>Questions and answers: 20 minutes<br>Essay writing: 10 minutes<br><br>外部講師と講演タイトルについては後日 UNIPA 等で発表します。 | | |
| テキスト・参考文献 | 講師によるハンドアウト等。 | | |
| 試験・評価方法 | 提出された英文エッセイ：40%、期末レポート：30%、授業中の質問回数とベストエッセイに選ばれた回数：30% | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 提出された英文エッセイの中からベストエッセイを 10 編程度教養教育センターのホームページにアップするので、毎回、それらを読んで授業に臨んで下さい。<br>http://www.bur.aichi-pu.ac.jp/kyoyokyoiku/subject/seminar.html<br>(愛知県立大学ホームページ⇒センター・研究所⇒教養教育センター⇒特色ある科目（英語連続セ | | |

| | |
|---|---|
| | ミナー）⇒　回をクリックすると見ることができます） |

# 研究各論（イギリスの文学・文化）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知県立大学 | 科目コード | 290502 |
| 担当教員 | 松本　三枝子（外国語学部教授） | | |
| 学年配当 | ２年,3 年 | 単位数 | ４単位 |
| 開講日程 | ＜通年＞　金曜：２限（1030～1200）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | 長久手キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | イギリスにおいて、小説というジャンルの誕生（１７世紀）から１９世紀にいたるまで、女性作家と家父長制の関係について論じる。女性作家の家父長制社会に対する闘い、妥協、補強など様々な側面を、女性作家自身の人生と、彼女たちの書いた小説のテキスト分析を中心に授業を進める。<br><br>前期<br>１．導入。<br>２．小説の誕生<br>３．アフラ・ベーン　『オルノーコ』<br>４．アフラ・ベーン　『美しき浮気女』<br>５　イライザ・ヘイウッド　総論<br>６．イライザ・ヘイウッド　小説分析<br>７．セアラ・スコット　総論<br>８．セアラ・スコット　『ミレニアム・ホール』<br>９．メアリ・ウルストンクラフト　総論<br>10．メアリ・ウルストンクラフト　『女性の権利の擁護』<br>11．ハリエット・マーティノー　総論<br>12．ハリエット・マーティノー　『ディアブルック』における医者とガヴァネス<br>13．ハリエット・マーティノー　『経済学例解』と救貧法<br>14．ハリエット・マーティノー　『経済学例解』と社会小説<br>15．まとめ　参考文献のアドヴァイス<br><br>後期<br>１．導入<br>２. 前期で学んだことをまとめと確認<br>3. ジェーン・オースティン　総論<br>4．ジェーン・オースティン　『高慢と偏見』<br>5．ジェーン・オースティン　『分別と多感』<br>6．19 世紀の女性作家へのオースティンの影響<br>７．ブロンテ姉妹　　総論<br>８．シャーロット・ブロンテ<br>9．エミリ・ブロンテ<br>１０．マーガレット・オリファント　総論<br>１１．マーガレット・オリファントと大衆小説<br>12．ジョージ・エリオット　総論<br>13．ジョージ・エリオット　『ミドルマーチ』<br>１４.ジョージ・エリオット　『ダニエル・デロンダ』<br>１５．まとめ　　イギリス小説と女性作家 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書は授業内で指示<br>前期：松本三枝子共著『恋愛・結婚・友情――アフラ・ベーンからハリエットマーティノーまで』<br>後期：松本三枝子著『闘うヴィクトリア朝女性作家たち――エリオット、マーティノー、オリファント』彩流社 | | |

| | |
|---|---|
| 試験・評価方法 | 授業への出席とレポート（５０%）<br>期末試験（５０%） |
| 別途必要な経費 | 特になし |
| その他特記事項 | 毎回の授業進度を予め示すので、それに従い授業準備のための予習をし、授業内で新たに学習した知見について復習することでイギリス小説の新たな視点を獲得できる.<br>通年受講が望ましい．英語資料を用いるので、十分な英語力を必要とする. |

# 研究各論（英語史）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知県立大学 | 科目コード | 290503 |
| 担当教員 | 中村　不二夫（外国語学部教授） | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ４単位 |
| 開講日程 | ＜通年＞　水曜：２限（1030～1200）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | 長久手キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | ＜前期＞なぜ woman と women の-o-の発音が異るのか。breath と breathe の th の発音が異なるのはなぜか。watch, clerk, either の発音がイギリスとアメリカで違っているのはなぜか。every other day は、なぜ「すべてのその他の日」でなく「一日おきに」の意味であるのか。これらの疑問の多くはこの授業が謎を解き明かしてくれる。授業では、上のような素朴な「なぜ」を足がかりに、その謎解きのために英語の歴史を探る。英語史の知識を蓄積させ、現代英語を深く理解させる。<br><br>第１回　導入　履修上の注意<br>第２回　インド・ヨーロッパ語族における英語の位置<br>第３回　外面史と時期区分<br>第４回　英語史研究の意義と変化の４領域<br>第５回　文字と発音<br>第６回　子音変化：古代･中世<br>第７回　子音変化：近代･現代<br>第８回　母音変化：古代･中世<br>第９回　母音変化：近代･現代（前半）<br>第１０回　母音変化：近代･現代（後半）<br>第１１回　語彙発達：古代･中世<br>第１２回　語彙発達：近代･現代<br>第１３回　意味変化：意味の拡大、一般化、意味の縮小、特殊化<br>第１４回　意味変化：意味の良化、悪化<br>第１５回　まとめ<br>定期試験<br><br>＜後期＞動詞 be, have の疑問文や否定文は、なぜ do の助けが要らないのか。be afraid of はもともと受身形であったが、どのように証明できるのか。Look you. / Mind you.は命令文のようで、命令文ではない。何者か。book - books なのに、なぜ１頭でも８頭でも deer か、gooth - geeth なのになぜ roof - reef でないのか。old - older - oldest の一方で elder/eldest (brother)が存在する。なぜか。go - went - gone の活用の中で異質な綴り字の went が過去形に収まっている理由はなぜか。my/your+self, our/your+selves の一方でなぜ him+self, them+selves か。上のような現代英語の素朴な疑問を出発点とし、その謎解きのために英語の歴史を探る。英語史の知識を蓄積させ、現代英語を深く理解させる。<br><br>第１回　導入　履修上の注意　教授者の本年度国際会議発表から―Diachrony of Participial Progressive _being going_<br>第２回　古英語演習（_Language Laboratory Course in Old English_, Lessons 1 & 2）<br>第３回　古英語演習（_Language Laboratory Course in Old English_, Lessons 3 & 4）<br>第４回　古英語演習（_Language Laboratory Course in Old English_, Lessons 5 & 6）<br>第５回　中英語演習　（The Canterbury Tales の一節を読む 1）<br>第６回　中英語演習　（The Canterbury Tales の一節を読む 2） | | |

| | |
|---|---|
| | 第７回　中英語演習 （The Canterbury Tales の一節を読む 3）<br>第８回　形態変化： 名詞、代名詞、形容詞<br>第９回　形態変化： 副詞、弱変化動詞、強変化動詞<br>第 10 回　文法変化： 名詞、代名詞、形容詞<br>第 11 回　文法変化： 副詞、前置詞、接続詞、間投詞<br>第 12 回　文法変化： 動詞の時制・相<br>第 13 回　文法変化： 動詞の態、助動詞<br>第 14 回　文法化・イディオム化・構文化<br>第 15 回　まとめ<br>定期試験 |
| テキスト・参考文献 | (1) プリント配布。 (2) 辞書は、_Merriam-Webster's Collegiate Dictionary_, 12th edition のように、語源や歴史的説明が書かれている辞書の最新版を持参すること。 |
| 試験・評価方法 | 期末試験 (70%)、授業への積極さ・学習態度 (30%)の合計による。講義科目ではあるが、双方向的な授業を目指すため、受講生からの質問を高く評価する。 |
| 別途必要な経費 | 特になし |
| その他特記事項 | 次時に学ぶ単元を予告するので、初見の単語の意味を調べるなど必ず予習したうえで授業に臨むこと。<br>(1) 細部は初回の授業で指示する。 (2) 実用のための科目ではないが、英語を深く知るための重要な授業である。 (3) 前期に学ぶ知識なしに後期のみ受講することは、多くの困難を伴うため、前期授業にも出席すること。 |

# 研究各論（イギリスの政治・外交）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知県立大学 | 科目コード | 290504 |
| 担当教員 | 奥田　泰広（外国語学部准教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年 | 単位数 | 4 単位 |
| 開講日程 | ＜通年＞　火曜：4 限（1430～1600）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | 長久手キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | ＜前期＞イギリス外交について歴史的な観点から講義していく。とくに「国家戦略とインテリジェンスの相互作用」に着目し、第一次世界大戦から第二次世界大戦にいたる時代を中心に取り上げる。この激動の時代にイギリスはその民主主義体制を強化していき、緊急事態を乗り越える柔軟さを身につけることになった。そうした時代を学ぶため、取り上げる事例は楽しいものとは言えないが、現実を見つめるリアリズムを養うには最適のテーマである。<br>第１回　ガイダンス<br>第２回　外交とインテリジェンス<br>第３回　イギリス近代史のなかで<br>第４回　世界初の「ＮＳＣ」・帝国防衛委員会の成立<br>第５回　現代イギリス情報部の始まり―ＭＩ５とＳＩＳの成立―<br>第６回　第一次世界大戦とイギリス情報部<br>第７回　アメリカ情報部への影響<br>第８回　第一次世界大戦と大英帝国<br>第９回　ヴェルサイユ体制とイギリス外交<br>第１０回　宥和政策の時代<br>第１１回　第二次世界大戦と英米関係<br>第１２回　第二次世界大戦と戦後構想<br>第１３回　現代的インテリジェンスと９・１１<br>第１４回　イラク戦争と戦後調査委員会<br>第１５回　まとめ<br><br>＜後期＞イギリスの政治と外交について歴史的な観点から講義していく。後期では、サッチャリズムがイギリス政治にどのような影響を及ぼしたのかという観点から、第二次世界大戦後のイギリス政治史を再検討する。第二次世界大戦後のイギリスは、その国力の低下によって国際政治における発言力も低下したように見える。しかし、詳細に検討していくと、イギリスは相変わらず、現代の国際社会において多方面で存在感を示してきており、決定的な役割を果たしたこともあった。そのイギリスについて研究することによって、国際問題におけるさまざまな側面について知見を深めることができる。<br>第１回　ガイダンス　サッチャリズムの再検討<br>第２回　アトリー政権と福祉国家<br>第３回　戦後コンセンサス（１）：チャーチルからヒュームまで<br>第４回　戦後コンセンサス（２）：第一次ウィルソン・第一次ヒース内閣<br>第５回　サッチャリズム<br>第６回　サッチャー外交（１）：フォークランド戦争<br>第７回　サッチャー外交（２）：香港返還交渉<br>第８回　サッチャー外交（３）：対欧米政策（前半）<br>第９回　サッチャー外交（４）：対欧米政策（後半）<br>第１０回　ニュー・レイバーの時代<br>第１１回　キャメロン内閣の政治と外交<br>第１２回　事例研究（１）：冷戦初期イギリスとインド・ビルマ<br>第１３回　事例研究（２）：冷戦初期イギリスと東南アジア<br>第１４回　事例研究（３）：冷戦初期イギリスと日本<br>第１５回　まとめ | | |

| | |
|---|---|
| | |
| テキスト・参考文献 | 奥田泰広『国家戦略とインテリジェンス』（ＰＨＰ研究所、2016 年、オンデマンド版［ASIN コード：B01EYDRQ1E］） |
| 試験・評価方法 | 小テストを４回実施する（各 25%）。 |
| 別途必要な経費 | 特になし |
| その他特記事項 | 小テストを４回実施するので、授業についてよく復習しておくこと。<br>授業開始後 10 分以上遅刻した場合は欠席扱いとする。 |

# 研究各論（イギリスの歴史）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知県立大学 | 科目コード | 290505 |
| 担当教員 | 大野　誠（外国語学部教授） | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ４単位 |
| 開講日程 | ＜通年＞　金曜：２限（1030～1200）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | 長久手キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | ＜前期＞「イギリス」の概念を確認したのち、先史時代からピューリタン革命までの歴史を概観する。前期のハイライトは、ノルマン・コンクェストと宗教改革である。<br>第１回　ガイダンス・序 「イギリスとは」<br>第２回　先史時代のブリタニア<br>第３回　ローマン・ブリテン<br>第４回　民族の大移動とイングランドの成立<br>第５回　ウェールズとスコットランドの成立<br>第６回　ヴァイキングの来襲<br>第７回　ノルマン・コンクェスト<br>第８回　諸侯の反乱と議会の萌芽<br>第９回　百年戦争とバラ戦争<br>第１０回　宗教改革⑴　ヘンリ８世の時代<br>第１１回　宗教改革⑵　エリザベス１世以前の時代<br>第１２回　国教会体制の確立<br>第１３回　ピューリタン革命⑴　国王裁判まで<br>第１４回　ピューリタン革命⑵　クロムウェルの時代<br>第１５回　まとめ<br><br>＜後期＞　王政復古、名誉革命、産業革命から大英帝国の成立と崩壊、第二次大戦後の社会福祉国家など、近代以降のイギリスの歩みを幅広く学ぶ。<br>第１回　王政復古<br>第２回　名誉革命<br>第３回　近代イギリスの社会構成<br>第４回　「第二の百年戦争」の時代<br>第５回　第一次帝国形成<br>第６回　産業革命<br>第７回　改革の時代<br>第８回　中産階級の文化と生活<br>第９回　第１回万国博覧会<br>第１０回　パクス・ブリタニカの時代<br>第１１回　二つの世界大戦<br>第１２回　現代イギリス史⑴　合意の政治<br>第１３回　現代イギリス史⑵　サッチャー政権とその後<br>第１４回　特別講義「インドとイギリス」（仮題）<br>第１５回　まとめ<br><br>＊第１４回の授業は、名古屋市立大学の木谷名都子准教授が担当する予定。<br>この授業は、県大・名市大連携事業の一つとして実施される。 | | |
| テキスト・ | 近藤和彦『イギリス史１０講』（岩波新書、2013 年） 適宜指示する。 | | |

| | |
|---|---|
| 参考文献 | |
| 試験・評価方法 | ＜前期＞<br>期末試験（100 点)の成績による。<br>＜後期＞<br>1) 期末試験（90%、何を持ち込んでもよい）。<br>2) 第 14 回目の特別講義についてのレポート（10%）<br>3) 外務省セミナー（10 月 25 日（水）午後、南山大学）に参加した場合は最大 10 点まで加点する。<br>1)～3)の合計で評価する。 |
| 別途必要な経費 | 特になし |
| その他特記事項 | この授業は、予習よりは復習に重点を置いた方がいい。毎回行ってほしいのは、授業の前日までに、前回の授業中に配布されたプリントに必ず目を通すことである。前期、後期　通年で履修することが望ましい。 |

# 研究各論（アメリカの歴史）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知県立大学 | 科目コード | 290506 |
| 担当教員 | 久田　由佳子（外国語学部准教授） | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ４単位 |
| 開講日程 | ＜通年＞　火曜：４限（1430～1600）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | 長久手キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 前期は、植民地時代から建国初期の時代までの歴史を概観する。植民地時代については、ポカホンタスやピルグリムなど後世に神話化された人々の実像にも迫る。独立革命から建国初期の時代については、連合規約から合衆国憲法へといった国家機構の整備の問題に加えて、近年の社会史研究の成果も紹介する。<br>第１回：はじめに―「コロンブスの交換」<br>第２回：英領北米植民地の形成―南部・ニューイングランド<br>第３回：英領北米植民地の形成―ニューイングランド・中部<br>第４回：イギリスの北米植民地政策―航海法体制と「有益なる怠慢」<br>第５回：七年戦争後におけるイギリスの植民地政策転換―「有益なる怠慢」の終焉<br>第６回：反英闘争から独立革命へ<br>第７回：独立宣言<br>第８回：連合規約から合衆国憲法制定へ<br>第９回：ワシントン政権の誕生<br>第 10 回：フランス・イギリスとの外交問題と内政<br>第 11 回：ジェファソン政権の誕生―「1800 年の革命」<br>第 12 回：1812 年戦争<br>第 13 回：市場革命―北部の場合<br>第 14 回：市場革命―南部の場合<br>第 15 回：まとめ<br>定期試験<br><br>後期は、19 世紀前半から 1950 年代までを概観する。今日のアメリカ社会のありようにも影響を与えている様々な問題を明らかにする。19 世紀初頭にはじまった工業化が人々の生活にどのような影響を与えたか、南北戦争と南部再建、19 世紀後半から 20 世紀にかけての移民の大量流入とその影響、革新主義時代、ニューディール、1950 年代、公民権運動といった問題を扱う。<br>第１回：南部奴隷制社会<br>第２回：セクション間の対立<br>第３回：奴隷制廃止運動と婦人参政権運動<br>第４回：リンカン政権誕生から南北戦争の勃発<br>第５回：南北戦争<br>第６回：南部再建<br>第７回：「ジムクロウ」と「分離すれども平等」の原則<br>第８回：金ぴか時代―移民・労働者の場合<br>第９回：金ぴか時代―農民・先住民の場合<br>第 10 回：革新主義時代<br>第 11 回：大恐慌とニューディール<br>第 12 回：マッカーシーイズム<br>第 13 回：ブラウン事件判決<br>第 14 回：公民権運動<br>第 15 回：まとめ<br>定期試験 | | |
| テキスト・ | 和田光弘編著『大学で学ぶアメリカ史』（ミネルヴァ書房、2014 年） | | |

| | |
|---|---|
| 参考文献 | 参考書については、授業中に適宜指示する。また資料等を配布する。 |
| 試験・評価方法 | 出席状況(リアクションペーパー）20%、筆記試験 80%で評価する。<br>授業回数 15 回のうちの３分の１以上を欠席した者は、筆記試験受験資格を失う。ただし病気などのやむを得ない事情がある場合は、教員に相談すること。 |
| 別途必要な経費 | 特になし |
| その他特記事項 | 授業の前後に、教科書の該当する箇所を読んで、理解を深めておくこと。<br>授業は講義形式ですすめるが、ビデオ教材（英語音声のみで、日本語字幕のないものもある）やオリジナルの英語の資料等も適宜用いるため、ある程度の英語のリスニング能力と読解能力が要求される。<br>毎回授業の終わりに、受講者には質問や感想等をリアクションペーパーに記入してもらう。その内容に対する回答や補足説明は、次回の授業の最初におこなう。<br>授業内容は連続しているので、通年で履修することが望ましい。 |

# 研究概論（フランス語圏社会）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知県立大学 | 科目コード | 290507 |
| 担当教員 | 天野　知恵子（外国語学部教授） | | |
| 学年配当 | １年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　火曜：４限（1430～1600）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | 長久手キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | ４月,９月 |
| 講義概要 | 古代・中世については、「フランス語」や「ワイン」や「カトリック」など、フランスを作ったと言えるキーワードを軸に簡潔に概観していく。17 世紀以降については、少し詳しく説明する。具体的には、「絶対主義」とは何だったのか、革命とナポレオンはフランスに何をもたらしたのか、政変が多発する 19 世紀とはどんな時代だったのか、第一次世界大戦はどのように戦われたのか、第二次世界大戦期のフランス社会はいかなる状況だったのか、ということである。<br>第１回　フランスの成り立ち<br>第２回　ガリアからフランスへ<br>第３回　中世のフランス王国<br>第４回　主権国家体制の成立<br>第５回　アンシャン・レジームの国家<br>第６回　アンシャン・レジームの社会<br>第７回　フランス革命のはじまり<br>第８回　フランス革命がもたらしたもの<br>第９回　ナポレオンとヨーロッパ<br>第 10 回　19 世紀前半の国家と社会<br>第 11 回　19 世紀後半の国家と社会<br>第 12 回　第三共和政と国民国家の成立<br>第 13 回　第一次世界大戦とフランス<br>第 14 回　第二次世界大戦とフランス<br>第 15 回　まとめ<br>定期試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 福井憲彦編『フランス史』（山川出版社） | | |
| 試験・評価方法 | 定期試験の結果（80%）に、毎時間出席確認を兼ねて提出してもらう質問・復習カードの結果（20%）を加味する。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 授業後、配られたプリントをもう一度読み、復習しておくこと。また、参考文献として用いる福井憲彦編『フランス史』の該当部分にしばしば目を通し、理解を確実なものにしておくこと。<br>教科書を用いないで授業を行うため、授業中十分に注意を払っていないと、話の流れがわからなくなる。そんなことのないよう、心して臨むこと。 | | |

# 研究概論（フランス語学）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知県立大学 | 科目コード | 290508 |
| 担当教員 | 長沼　圭一（外国語学部教授） | | |
| 学年配当 | 1 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　水曜：2 限（1030～1200）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | 長久手キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | フランス語という言語について、その成立、歴史、音、語彙、文法など、さまざまな面から考察する。考察は、ときに英語や日本語など他言語との比較に及ぶ。<br>第 1 回：ガイダンス<br>第 2 回：世界の中のフランス語 (1)ー「サボる」はフランス語？<br>第 3 回：世界の中のフランス語 (2)ーフランス語はフランスの公用語？<br>第 4 回：フランス語史 (1)ー80 はなぜ quatre-vingts (4×20)？<br>第 5 回：フランス語史 (2)ーフランス語は明晰か？<br>第 6 回：音声学・音韻論 (1)ーfemme と書いてなぜ「ファム」と読む？<br>第 7 回：音声学・音韻論 (2)ーaime-t-il になぜ t が入る？<br>第 8 回：形態論 (1)ーgrand-m?re の grand はなぜ男性形？<br>第 9 回：形態論 (2)ーchapeau の複数形はなぜ chapeaux？<br>第 10 回：形態論 (3)ー命令法の chante はなぜ s が落ちる？<br>第 11 回：統辞論 (1)ーje t'aime はなぜ SOV？<br>第 12 回：統辞論 (2)ーhomme grand と grand homme は違う？<br>第 13 回：意味論 (1)ーd?jeuner は元々「朝食」？<br>第 14 回：意味論 (2)ーtemps は「時間」か「天気」か？<br>第 15 回：まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | 朝日出版社『フランス語を知る、ことばを考える』（石野好一著）<br>駿河台出版社『フランス語学概論』（髭郁彦、川島浩一郎、渡邊淳也著）<br>駿河台出版社『フランス語学小事典』（髭郁彦、川島浩一郎、渡邊淳也編著） | | |
| 試験・評価方法 | 授業への参加度（30%）およびレポート（70%）をもとに総合的に評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 講義形式であるため、特に予習の必要はないが、こまめに復習して、自分なりに関心のあることがらを整理しておくことが望ましい。<br>内容については多少変動があり得る。 | | |

# 研究概論（フランス語圏文学・文化）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知県立大学 | 科目コード | 290509 |
| 担当教員 | 原　潮巳（外国語学部准教授） | | |
| 学年配当 | １年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　火曜：４限（1430～1600）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | 長久手キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 中世から現代までのフランス語で書かれた代表的な文学作品、及びその他の文化的事象（絵画、建築及び装飾芸術、映画、音楽等）について学ぶ。さらに、非ヨーロッパ地域のフランス語圏（旧インドシナ、カリブ海、アフリカ）の文学・文化についても概観する。<br>第１回：全体の導入、及びフランス語・フランス文明の成立過程（古代・中世）<br>第２回：フランス語圏の文学・文化（中世）<br>第３回：フランス語圏の文学・文化（ルネサンス）哲学・小説・詩<br>第４回：フランス語圏の文学・文化（ルネサンス）演劇・絵画・音楽<br>第５回：フランス語圏の文学・文化（17 世紀）哲学・小説・詩<br>第６回：フランス語圏の文学・文化（17 世紀）演劇・絵画・音楽<br>第７回：フランス語圏の文学・文化（18 世紀）哲学・小説・詩<br>第８回：フランス語圏の文学・文化（18 世紀）演劇・絵画・音楽<br>第９回：フランス語圏の文学・文化（19 世紀）ロマン主義<br>第 10 回：フランス語圏の文学・文化（19 世紀）写実主義・自然主義<br>第 11 回：フランス語圏の文学・文化（19 世紀）象徴主義<br>第 12 回：フランス語圏の文学・文化（20 世紀前半）前衛<br>第 13 回：フランス語圏の文学・文化（20 世紀後半）前衛以降<br>第 14 回：フランス語圏の文学・文化（現代）哲学・小説・詩<br>第 15 回：フランス語圏の文学・文化（現代）演劇・絵画・音楽、及び全体のまとめ<br>定期試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 随時プリントして配布する。授業中に随時指示する。 | | |
| 試験・評価方法 | 授業態度（40%）と筆記試験の成績（60%）から、総合的に評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 授業中に取ったノートを基にして、復習をしっかり行うこと。<br>自分の興味に合せて、授業中に紹介した本や CD・DVD を鑑賞することが望ましい。<br>欠席、遅刻をしないこと。ノートを綿密に取ること。 | | |

# スペイン語圏研究概論
# （スペイン）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知県立大学 | 科目コード | 290510 |
| 担当教員 | 奥野　良知（外国語学部教授） | | |
| 学年配当 | １年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　火曜：５限（1610～1740） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | 長久手キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | ４月 |

**講義概要**

第Ⅰ部：　スペインの概要を扱います。
第Ⅱ部：　スペインの言語文化・政治・経済・社会などの点でのスペインの地域的多様性について考察します。
第Ⅲ部：　その地域的多様性がどのような経路に依存して現在の姿になっているのかを考察していきます。
第１回：ガイダンス、導入スライド（スペインの地域的多様性）、ビデオ（カタルーニャ）

第Ⅰ部　スペインの概要
第２回：人口、GNP、地域、県、自治州、言語分布、気候、教育制度、etc.
第３回：国政と政党、カタルーニャ議会と政党、バスク議会と政党、スペイン・ナショナリズムと地域ナショナリズム（総説）、右と左（総説）
第４回：王家の変遷、歴代首相、政治体制の変遷

第Ⅱ部　スペインの地域的多様性
第５回：　言語の多様性（ヨーロッパの言語的多様性）
第６回：　言語の多様性（イベリア半島の言語的多様性）
第７回：　自治州の多様性
第８回：　経済の多様性
第９回：　ナショナリズムの多様性
第１０回：　国民国家、ネイション、エスニシティー

第Ⅲ部　多様性の要因
第１１回：　アンダルスの多様性と「キリスト教諸国」の多様性
第１２回：　キリスト教諸国から複合王政としてのスペイン王国へ
第１３回：　刈取り人戦争（カタルーニャの反乱）とスペイン継承戦争
第１４回：　第二共和制、内戦、フランコ独裁

第１５回：まとめ（総復習）

試験

**テキスト・参考文献**

◆教科書◆
立石博高『スペイン歴史散歩』行路社、2004 年。
この本に書いてある内容がすべて正しい訳ではありません。高校までの社会科の教科書も同じです。
そもそも、書いてある内容がすべて正しいという意味での教科書など存在しません。書いてある内容がすべて正しいというのは、学問的な態度ではありません。それは宗教です。
また、毎回必ず使う訳でもありません。ですが、何か教科書をしておかないと、皆さんは本を買いません。そして、何かしら本がないと、自分で進んでさらに深く学ぼうという時に不便です。
また、基本的事項が書いてある本が手元に１冊あると何かと便利です。
そういう意味で上記の本を教科書に指定しておきます。皆さんは以上の点を承知したうえで、各自この本を購入しておいてください。

| | |
|---|---|
| | ◆参考書◆<br>立石博高編『スペイン・ポルトガル史』山川出版社、2000 年。<br>立石博高他編『スペインの歴史』昭和堂、1998 年。<br>立石博高・奥野良知『カタルーニャを知るための 50 章』明石書店、2013 年。<br>萩尾生『現代バスクを知るための 50 章』明石書店、2012 年。<br>関哲行・立石博高・中塚次郎編『世界歴史大系スペイン史　1　古代～近代』山川出版社、2008 年。<br>関哲行・立石博高・中塚次郎編『世界歴史大系スペイン史　2　近現代・地域からの視座』山川出版社、2008 年。 |
| 試験・評価方法 | 筆記試験 70%、授業への積極さ（質問や学習態度等）15%、課題（manaba への質問・コメント等）15% |
| 別途必要な経費 | 特になし |
| その他特記事項 | 義務教育ではありません。興味もやる気もない人の受講はお断りします。<br>予習： 指定した文献の指定箇所について、manaba に質問・コメントを記入する。 |

# スペイン語圏研究概論
# （ラテンアメリカ）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知県立大学 | 科目コード | 290511 |
| 担当教員 | 小池　康弘（外国語学部教授） | | |
| 学年配当 | １年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　木曜：１限（850～1020） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | 長久手キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 本学で中南米を専門とする５名の教授陣がこの授業を担当し、それぞれの専門分野に関する最も基礎的な入門講義を行う。概ね１名の教員が３回の講義を担当する形となる。<br>時間的広がりとしては、１万年以上昔の先史時代から現代に至るまで扱われ、空間的広がりとしてはブラジルを含めた中南米全体（場合によってはそれ以外の地域も）が対象であり、学問領域的には、地理学、考古学、歴史学、文化人類学、宗教学、文学、文化学、社会学、政治学など様々な専門分野に触れることになる。この授業を一通り受け終わる頃には、受講者全員が中南米に関して基本的かつ幅広い知識を身につけているはずである。ほぼ毎回、授業の最後に５～10分程度の確認テストを行うので、できるだけ休まずに出席することが望ましい。<br>正式なプログラムは初回の授業で配布される。ほぼ毎回、授業の最後に５～10分程度の確認テスト（小テスト）を行うが、実施方法や配点などは教授者ごとに多少異なるので初回の授業に参加すること。担当教授者は以下の通り。<br>・小池康弘（第１回、２回、３回、15回）　・杉山三郎（第４回、５回）　・谷口智子（第６回、７回、８回）<br>・田中敬一（第９回、10回、11回）　・渡会　環（第12回、13回、14回）<br>第１回：イントロダクション<br>・この授業で何を学ぶか、有意義な授業にする準備、心構え。ラテンアメリカとはどのような地域か？（大まかなイメージをつかむ）<br>第２回：ラテンアメリカの地理と歴史の全体像<br>・地理に関する基礎知識。先史時代から現代にいたるまでの歴史の大まかな流れを、世界史とも関連づけながら把握する。<br>第３回：ラテンアメリカの政治・経済・国際関係の基礎知識<br>第４回：古代文明の形成～スペイン人による征服まで<br>・新大陸に人類が初めて足を踏み入れた１万５千年前から、独自の古代文明形成史、スペイン人の征服までの人類史をつかむ。<br>第５回：メソアメリカ古代文明の紹介<br>・現在のメキシコ・中米に栄えたマヤ、テオティワカン、アステカなどメソアメリカ古代文明の紹介<br>第６回：アメリカ原産の食べ物の歴史（カカオ、トマト、唐辛子、ジャガイモなど）<br>第７回：先スペイン期のアンデス文明<br>第８回：植民地時代以降のアンデスの近代史<br>第９回：イスパノアメリカの文化と文学⑴<br>・先スペイン期から征服期?（ネサワルコヨトルの詩と『ヌエバ・エスパニャ征服正史』）<br>第１０回：イスパノアメリカの文化と文学⑵<br>・植民地社会と独立?（植民地バロックの建築と文学）<br>第１１回：イスパノアメリカの文化と文学⑶<br>・国民芸術の模索?（「メキシコ近代壁画運動」を通して）<br>第１２回：ブラジル入門<br>・スペイン語圏専攻の学生がブラジルについて学ぶ必要性　・ブラジルの基礎知識<br>第１３回：ブラジル研究の可能性<br>・講師の研究テーマと手法<br>第１４回：ブラジル研究・まとめ<br>・２週にわたり学んだブラジルに関する質問を講師がするので、その場で各グループに回答して | | |

| | |
|---|---|
| | もらう。社会に出た時にブラジルについていろいろときかれるはずであり、その訓練も兼ねている。<br>第１５回：まとめ（特別企画授業） |
| テキスト・参考文献 | ◆教科書◆<br>・世界地理がわかる地図帳（高校で使用したものでもよい）を各自用意すること。<br>・以下の事典は価格が高い（7500 円程度）ため、必ずしも全員購入を強制するものはないが、中南米を詳しく勉強したい人には購入することを勧める。大学４年間、さらに卒業後もずっと役立つものである。<br>大貫良夫ほか監修　『新版　ラテンアメリカを知る事典』　平凡社<br>◆参考書◆<br>菊池努、畑恵子編著『ラテンアメリカ・オセアニア』ミネルヴァ書房<br>国本伊代『概説ラテンアメリカ史』新評論<br>杉山三郎、嘉幡茂、渡部森哉　『古代メソアメリカ・アンデス文明への誘い』　風媒社<br>染谷秀藤編『ラテンアメリカ　自立への道』世界思想社<br>高橋均、網野徹哉『世界の歴史１８　ラテンアメリカ文明の興亡』中央公論社<br>ピコンニサーラス『イスパノアメリカ文化史』サイマル出版<br>アンリ・ファーヴル『インディヘニスモ』文庫クセジュ<br>堀坂浩太郎『ブラジル跳躍の軌跡』岩波新書<br><br>そのほか、明石書店から出ている「〇〇を知るための〇章」という本のシリーズが役立つ。 |
| 試験・評価方法 | ・5 人の担当教員が 20 点ずつの配点で確認テスト（小テスト）を実施する。<br>実施方法は、①毎回の授業の最後 5～10 分程度で小テストを行う方式、②それぞれの教員の最終担当日に 15～20 分程度で「まとめの小テスト」を行う方式、のいずれかである。詳しくは授業初日に説明する。難問ではなく、「授業をしっかり聴いて理解できているか」「必要な基礎知識が身についたか」を確認するテストである。<br>・以上に加え、「ラテンアメリカノート」の作成、提出を義務づける。提出がない場合は上記の得点から５点が減点される。 |
| 別途必要な経費 | 特になし |
| その他特記事項 | この授業で学ぶことは基本中の基本であるので、全員がしっかり学んでほしい。そのため、毎回授業ノートを取り、きちんと振り返り、知識の抜け、漏れがないように復習すること。参考文献として紹介された本は、あらかじめ読んでおくことを強くすすめる。<br>ほぼ毎回確認テスト（小テスト）があるので、できるだけ欠席しないこと。欠席回数が４回以上になると単位取得はかなり難しい。なお、特別な事情で欠席せざるを得ない場合には必ず教授者に連絡すること。 |

# 研究各論
# （ラテンアメリカの政治・経済）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知県立大学 | 科目コード | 290512 |
| 担当教員 | 小池　康弘（外国語学部教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　金曜：1 限（850～1020） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | 長久手キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 本授業は、平成 29 年度は前期で完結する（後期は同一の曜日・時限で「南北アメリカ国際関係」が新規に開講される）。<br>ラテンアメリカ政治史の大きな流れをつかみ、過去の歴史がその後のラテンアメリカ政治、社会の形成や国際関係にどう影響しているかという視点を持ってもらうため、独立運動が本格化する 1800 年頃から約 200 年間のラテンアメリカにおける政治、社会、経済、国際関係の主な出来事とその影響を理解する。<br>これをふまえて、後期は同一曜日・時限で「南北アメリカ国際関係」という科目が新規に開講されるので、そちらもあわせて履修することをすすめたい。<br>取り上げるテーマは以下の通り。若干変更される可能性もある（初回授業でプログラム配布予定）。<br>（1）ラテンアメリカ政治・経済の特徴と研究の視点<br>（2）ラテンアメリカの独立～カウディーリョ政治～近代化思想<br>（3）ラテンアメリカにおける国際紛争と外国干渉<br>（4）第二次産業革命と一次産品輸出経済体制の発展<br>（5）対米関係とラテンアメリカのナショナリズム<br>（6）近代化の進展にともなう政治社会の変動<br>（7）メキシコ革命と PRI 体制<br>（8）世界恐慌はラテンアメリカの政治・経済体制へどう影響したか<br>（9）ラテンアメリカの革命運動（キューバ革命を中心に）<br>（１０）権威主義体制とは。軍事政権の成立過程<br>（１１）1980 年代ラテンアメリカの経済危機と民主化<br>（１２）ラテンアメリカにおけるネオリベラリズム政策とそのインパクト<br>（１３）冷戦終結後のラテンアメリカ政治の潮流変化(1990 年代～2000 年代初頭）<br>（１４）近年のラテンアメリカ政治・経済動向<br>（１５）まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | ◆教科書◆<br>１．基礎知識として、国本伊代『概説ラテンアメリカ史』（新評論）。<br>２．専門知識として、松下洋、乗浩子編『ラテンアメリカ　政治と社会』（新評論）。<br>上記のうち１．は必ず５月連休明けまでに読んでおくこと。２．は授業に関連する部分を４月～７月上旬の間に各自で読むこと。授業の中でこれらの教科書を読むことはない（プリントを配布して進める）。<br>◆参考書◆<br>国本伊代『メキシコの歴史』（新評論）<br>小池康弘編『現代中米・カリブを読む』（山川出版社）<br>ロバート・パスター著、鈴木康久訳『アメリカの中南米政策』（明石書店）<br>松下洋、乗浩子編『ラテンアメリカ　政治と社会（全面改訂版）』（新評論）<br>Okabe,Taku　y Carrillo Regalado Salvador (coord.), Relaciones M?xico-Jap?n en el contexto del Acuerdo de Asociaci?n Econ?mica., Imprenta Juan Pablos S.A, 2014<br><br>他にも参考書を適宜紹介していく（後期授業においても参考文献となる）。 | | |
| 試験・評価 | ①小テストおよび課題提出 50% | | |

| | |
|---|---|
| 方法 | ②最終試験 50%（事前に問題を公表するので、それについて試験時間内でショートレポートを作成する） |
| 別途必要な経費 | 特になし |
| その他特記事項 | 授業の復習を兼ねて、各自がラテンアメリカ政治史ノートを作成する。授業は高校世界史レベルの知識があった方が理解しやすいので、特に大航海時代以降の世界史（1500 年頃～）のおおまかな流れを各自で勉強してほしい。　高校教科書レベルの世界史（近現代史）の知識があることが前提であるが、苦手な人でも理解できるように適宜解説をくわえる。ただし受講者も事前準備として、毎回の授業で取り上げる時代の世界史知識の整理、確認をしてくること。 |

# 研究各論（スペイン・ラテンアメリカ文化）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知県立大学 | 科目コード | 290513 |
| 担当教員 | 渡会　環（外国語学部准教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　火曜：2 限（1030～1200）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | 長久手キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | この授業は平易な英語で、演習形式で行います。教科書として Brazilian Food: Race, Class and Identity in Regional Cuisines を設定します。2 週間に 1 チャプターのペースで読み進めます。第一週目にチャプターの内容理解を確認した後、第二週目に全体でディスカッションをします。<br>第 1 回(04/11) 授業の目的と概要、評価方法の説明／主要輪読文献等の紹介／ブラジルに関するまた食に関する知識の確認<br>第 2 回(04/18) イントロダクション：chapter 1 の内容確認とディスカッション<br>第 3 回(04/25) ローカル・アイデンティティを形成する食①：chapter2 の内容確認<br>第 4 回(05/09) ローカル・アイデンティティを形成する食①：chapter2 の内容にもとづくディスカッション<br>第 5 回(05/16) ローカル・アイデンティティを形成する食②：chapter3 の内容確認<br>第 6 回(05/23) ローカル・アイデンティティを形成する食②：chapter3 の内容にもとづくディスカッション<br>第 7 回(05/30) グローバルな健康食ブームの中のブラジル食：chapter4 の内容確認<br>第 8 回(06/06) グローバルな健康食ブームの中のブラジル食：chapter4 の内容にもとづくディスカッション<br>第 9 回(06/13) ブラジルの「家庭料理」の概念：chapter5 の内容確認<br>第 10 回(06/20) ブラジルの「家庭料理」の概念：chapter5 の内容にもとづくディスカッション<br>第 11 回(06/27) ブラジルの国民食の誕生：chapter6 の内容確認<br>第 12 回(07/04) ブラジルの国民食の誕生：chapter6 の内容にもとづくディスカッション<br>第 13 回(07/11) ブラジルの食文化をとりまく新潮流：chapter7 の内容確認<br>第 14 回(07/18) ブラジルの食文化をとりまく新潮流：chapter7 の内容にもとづくディスカッション<br>第 15 回(07/25) まとめ：chapter 8 の内容確認とディスカッション | | |
| テキスト・参考文献 | ◆教科書◆<br>Fajans, Jane.2012. Brazilian Food: Race, Class and Identity in Regional Cuisines. London: BERG<br>★洋書のため、Amazon.co.jp 等で各自購入をしてください。購入に際して問題がある場合は担当教員に相談をしてください。<br>◆参考書◆<br>麻生雅人.2016.『おいしいブラジル』スペースシャワーブックス<br>イシ、アンジェロ．2010.『ブラジルを知るための 56 章【第 2 版】』明石書店<br>山本紀夫編.2007.『世界の食文化 13　中南米』農文協<br>原田信男ほか.2009.『食文化から社会がわかる！』青弓社 | | |
| 試験・評価方法 | 内容理解をたずねる課題への取り組みと提出（40%）、考察の提出（40%）、授業への貢献（20%）<br>★毎週課題が出るのと、授業内でディスカッションを行いますので、授業に積極的に取り組む姿勢を評価します。発言数は数えて記録します。やむなく授業を欠席する場合でも課題は提出すること。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記 | ★教員が指定した教科書のチャプターを事前に読みそれに関する課題を UNIPA で提出してか | | |

| | |
|---|---|
| 事項 | ら、授業に臨むことになります。<br>★課題は二種類あります。<br>①授業計画の中でチャプターの「内容確認」とある回は、その授業の二日前までに UNIPA にあがっている内容確認の課題にこたえ UNIPA で提出します。<br>②チャプターの内容にもとづいてディスカッションをする回は、その授業の 2 日前までに読んで考えたことを A4 一枚程度にまとめて UNIPA で提出します。<br>★この講義はすべて平易な英語で行われます。<br>★英語に自信がない学生でも、毎回の課題をしっかりと取り組めば、英語力を高めることができます。逆に英語に自信があっても毎回の課題を怠ると、英語で研究する力を伸ばすことはできません。 |

# 研究各論
# （スペイン史）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知県立大学 | 科目コード | 290514 |
| 担当教員 | 奥野　良知（外国語学部教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 4 単位 |
| 開講日程 | ＜通年＞　木曜：5 限（1610～1740） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | 長久手キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 時代順にイベリア半島の歴史を考察していきますが、できるだけ毎回、「問い」を提示しながら進めていきます。「問い」がない歴史は「歴史学」ではありません。<br><br>問いの例<br>◎ この科目名は「スペインの歴史」となってはいるものの、この科目名は本当にこれで良いのだろうか？<br>◎ そもそも、いつからスペインという国家は存在していたのか？<br>◎ いわゆるスペイン帝国はなぜ繁栄し衰退したのか？<br>◎ なぜ、スペインには様々な点での驚くほどの地域的多様性があるのか？<br>◎ スペインでは、なぜカタルーニャだけに産業革命を生じたのか？<br>◎ なぜ内戦が生じてしまったのか？等々です。<br>「問い」は無数にあります。<br>＜前期＞<br>第１回：　ガイダンス、「第１章　イントロダクション：　現在のスペイン」<br>第２回：「第２章　711 年までのイベリア半島」（先住民～ローマ支配下）<br>第３回：「第２章　711 年までのイベリア半島」（西ゴート期）<br>第４回：「第３章　第一次ターイファ時代までのアンダルス（３宗教の共存）」<br>第５回：「第４章　後退期のアンダルス」<br>第６回：「第５章　『キリスト教諸国』の成立」（アストゥリアス王国、他）<br>第７回：「第５章　『キリスト教諸国』の成立」（ナバーラ王国、カタルーニャ諸伯領、他）<br>第８回：「第６章　『キリスト教諸国』と『スペイン王国』」（前半）<br>第９回：「第６章　『キリスト教諸国』と『スペイン王国』」（後半）<br>第１０回：「第７章　カトリック両王と二つの Corona」（総論）<br>第１１回：「第７章　カトリック両王と二つの Corona」（経済構造の違い）<br>第１２回：「第７章　カトリック両王と二つの Corona」（統治構造の違い）<br>第１３回：「第８章 『スペイン帝国』の繁栄とは？」（統治構造、他）<br>第１４回：「第８章 『スペイン帝国』の繁栄とは？ 」（宗教政策、他）<br>第１５回：まとめ（前期のまとめ）<br>前期試験<br>＜後期＞<br>第１回：ガイダンス、「第９章『スペイン帝国』の衰退」（その要因）<br>第２回：「第９章『スペイン帝国』の衰退」（カタルーニャの反乱、他）<br>第３回：「第１０章　スペイン継承戦争とその結果」（２つの顔：内戦と国際戦争）<br>第４回：「第１０章　スペイン継承戦争とその結果」（その結果）<br>第５回：「第１１章　18 世紀のスペイン 啓蒙的諸改革の実態」<br>第６回：「第１２章　スペイン独立戦争とカディス議会」<br>第７回：「第１３章　自由主義国家体制の模索」<br>第８回：「第１４章　第一共和制」<br>第９回：「第１５章　王政復古体制」<br>第１０回：「第１６章　プリモ・デ・リベーラ独裁」<br>第１１回：「第１７章　第二共和制」<br>第１２回：「第１８章　内戦」 | | |

| | |
|---|---|
| | 第１３回：「第１９章　フランコ独裁体制」<br>第１４回：「第２０章　民主化」<br>第１５回：後期のまとめ<br>後期試験 |
| テキスト・参考文献 | ◆教科書◆<br>立石博高編『スペイン・ポルトガル史』山川出版社（2000 年）。<br>各自、入手しておいて下さい。<br>ただし、この本に書いてある内容がすべて正しいという訳ではありません。<br>内容がすべて正しい本などというものは、学問ではあり得ません。すべては仮説です。<br>◆参考書◆<br>立石博高『スペイン歴史散歩 多文化多言語社会の明日に向けて』行路社、2004 年。<br>立石博高他編『スペインの歴史』昭和堂、1998 年。<br>立石博高・中塚次郎編『スペインにおける国家と地域』国際書院、2002 年。<br>立石博高・奥野良知編『カタルーニャを知るための 50 章』明石書店、2013 年。<br>萩尾生・吉田浩美『現代バスクを知るための 50 章』明石書店、2012 年。<br>関哲行・立石博高・中塚次郎編『世界歴史大系スペイン史１　古代～近代』山川出版社、2008 年。<br>関哲行・立石博高・中塚次郎編『世界歴史大系スペイン史２　近現代・地域からの視座』山川出版社、2008 年。 |
| 試験・評価方法 | 筆記試験 70%、授業への積極さ（質問や学習態度等）15%、課題（manaba への質問・コメント<br>等）15% |
| 別途必要な経費 | 特になし |
| その他特記事項 | 留学等の特別の事情がない限り、原則として半期のみの受講は認めません。留学等の事情により前期のみの履修となる人は、次の年度に必ず後期分を履修して下さい。<br>義務教育ではありません。興味もやる気もない人は受講の受講はお断りします。<br>大学受験の時の受験科目が世界史でなかった人も特に問題なく受講できます。ご心配なく。<br><br>予習：毎回、『スペイン・ポルトガル史』の指定部分を読んで、その部分の質問・コメントを提出する。 |

# 研究各論
# （ラテンアメリカ史）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知県立大学 | 科目コード | 290515 |
| 担当教員 | 谷口　智子（外国語学部准教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 4 単位 |
| 開講日程 | ＜通年＞　金曜：1 限（850～1020） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | 長久手キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | スペイン語やスペイン語圏の地域研究に関わる教科の一貫として、ラテンアメリカの歴史についての受講者の知識と理解力を深める。<br>第１回：ラテンアメリカとは何か(定義の説明、研究史の流れ、地域区分)<br>第２回：古代人の世界（１）モンゴロイドの移動とアメリカ大陸への入植<br>第３回：各民族分布地図<br>第４回：メソアメリカの先スペイン期（１）：古代メソアメリカの世界<br>第５回：メソアメリカの先スペイン期（２）：メキシコ中央高原の都市国家の盛衰<br>第６回：メソアメリカの先スペイン期（３）：ユカタン半島におけるマヤの都市国家の盛衰<br>第７回：アンデスにおける先スペイン期（１）：古代アンデスの世界<br>第８回：アンデスにおける先スペイン期（２）：プレ・インカ時代の都市国家の盛衰<br>第９回：アンデスにおける先スペイン期（３）：インカ帝国<br>第１０回：旧世界と新世界の出会い<br>第１１回：イベリア国家による植民地統治と開発<br>第１２回：１６世紀の変動<br>第１３回：成熟する植民地社会<br>第１４回：反乱の世紀１７世紀<br>第１５回：まとめ<br><br>後期はラテンアメリカ史概説の後、トピックを「宗教と社会」に絞る。ミニゼミ方式に受講生にも発表する機会を与え、評価する。<br>第１回：ラテンアメリカ諸国の独立<br>第２回：輸出主導の経済成長<br>第３回：対米関係<br>第４回：ラテンアメリカの歴史と文化におけるキリスト教<br>第５回：ブラジル社会とカトリック教会<br>第６回：映画「ミッション」<br>第７回：ラテンアメリカのプロテスタント<br>第８回：ブラジルのアフロ・カトリック宗教<br>第９回：ラテンアメリカにおけるカトリック教会と国家<br>第１０回：グアダルーペの聖母信仰<br>第１１回：グアダラハラを征服した日本人<br>第１２回：侍たちのメキシコ―メキシコ榎本植民史<br>第１３回：新世界に伝播した日本宗教<br>第１４回：トピック<br>第１５回：まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | ＜前期＞<br>１、杉山三郎ほか編、『古代メソアメリカ・アンデス文明への誘い』、風媒社、2011 年。<br>２、増田義郎他著、『物語ラテンアメリカの歴史』、中公新書、1998 年。<br>テキストは事前購入のこと。その他、配付資料やＡＶ教材も用いる。<br>＜後期＞<br>高橋均著、『ラテンアメリカの歴史』（世界史リブレット）、山川出版社、2001 年。アンドラーデ著、『ラテンアメリカ　宗教と社会』、新評論、1994 年。 | | |

| | |
|---|---|
| | ◆参考書◆国本伊代著、『ラテンアメリカ史』、新評論、1992 年。増田義郎著、『物語　ラテン・アメリカの歴史』、中公新書、1998 年。 |
| 試験・評価方法 | ＜前期＞出席及び授業中の態度(15%)、期末試験(85%)で成績評価する。<br>＜後期＞出席(15%)、発表（45%）、授業中に行うミニテスト(40%)で成績評価する。 |
| 別途必要な経費 | 特になし |
| その他特記事項 | 教科書を事前に読んで授業に出席すること。授業中に前回習ったことなど質問する場合があるので、教科書や関連文献を読んでおく方が望ましい。<br>テキストの他に、配付資料やＡＶ教材も用いる。ミニテストも行うし、発表も割り当て、評価する。 |

# 研究各論（地域・都市再生論）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知県立大学 | 科目コード | 290516 |
| 担当教員 | 竹中　克行（外国語学部教授） | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　金曜：2 限（1030～1200）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | 長久手キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | ■グローバル化が進む今日，われわれが生活する都市や地域は，画一化して個性を失いつつあるのでしょうか。それとも，競争的な環境に置かれることで，個性を強めることもあるのでしょうか。地理学の重要な仕事の一つに，場所に固有の文脈を読み解き，可視化することにより，都市や地域の「らしさ」を伝達・共有することがあります。地理学は，建築や都市計画学とは違って，将来像を直接描くことはあまりありませんが，望ましい将来像を導き出すために必要な人々のコミュニケーションを促進し，人と場所のかかわりの活性化に貢献することはできます。本科目では，そうしたコミュニケーション深化の方法論として，教授者が名古屋・中川運河の研究実践のなかで開発した「空間コード」の考え方を説明します。併せて，空間コードを着想するヒントとなった外国の実践について，教授者がフィールド調査を積んできた地中海ヨーロッパ，とりわけカタルーニャの場合に即して検討します。<br>■授業は，下記教科書の流れに即して進めます。受講生には全員，学期途中で名古屋・中川運河でのフィールドリサーチに出かけてもらいます。そのさいには，教科書に示されている 12 の空間コードから 1 つを担当し，現場に出かけて，空間コードの意味を自分の言葉で説明するための具体的な素材を見つけ出すことを目標とします。小さな発見でもよいので，自分の感性を働かせて現場を歩き，観察して何かを掴んでください。リサーチ結果は，授業中にプロジェクタを使って口頭発表します。<br>第 1 回　授業ガイダンス<br>第 2 回　グローバル化時代の俗都市化<br>第 3 回　都市の「らしさ」を読み解く視点<br>第 4 回　名古屋・中川運河の空間コード<br>第 5 回　外国の実践から学ぶ（1）―景観カタログの作成と応用<br>第 6 回　空間コードを発見する技：<br>インタビュー調査／景観の定点観測／建築空間の復原／植生調査<br>第 7 回　外国の実践から学ぶ（2）―都市政策のカスタマイズ<br>第 8 回　空間コードの探求（1）―ランドスケープとしての都市空間<br>第 9 回　空間コードの探求（2）―関係性を映し出す景観<br>第 10 回　空間コードの探求（3）―新しい公共圏の可能性<br>第 11 回　外国の実践から学ぶ（3）―場所の文脈との対話<br>第 12 回　空間コードの応用（1）―コミュニケーションの深化<br>第 13 回　空間コードの応用（2）―共創のための条件<br>第 14 回　外国の実践から学ぶ（4）―バルセロナモデル<br>第 15 回　まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | ■下記教科書を初回授業で特価販売しますので，受講希望者は必ず購入してください（コピー不可）代金 2,200 円をお釣りが出ないように用意してきてください。<br>竹中克行編著『空間コードから共創する中川運河―「らしさ」のある都市づくり』鹿島出版会，2016 年。<br>■教科書に掲載されているもの以外は，授業中に紹介します。 | | |
| 試験・評価方法 | ■期末試験の成績とフィールドリサーチへの取組みを合わせて評価します。目安としては，期末試験 6 割，フィールドリサーチ 4 割です。詳しくは，必要に応じて授業中に説明します。<br>■期末試験では，授業をしっかりと聞いて，記憶が新鮮なうちにノートを整理し，?分の知識として消化・吸収できているかどうかを確かめる問題を数多く出題します。出席しているという事実（教室に来て座っていること）そのものは成績とは無関係です。毎回の授業でどれだけ?のある勉強を積み重ねているかを試験を通じて確認し，これを評価の中?とします。 | | |

| | |
|---|---|
| 別途必要な経費 | 初回に教科書を特価販売しますので，代金 2,200 円をお釣りが出ないように用意してきてください。 |
| その他特記事項 | ■原則的に座席指定制をとります。初回の授業で座席を決めますので，受講希望者は必ず初回に来てください。<br><br>【予習】<br>■各回の授業に先?って，プロジェクタ投影する資料が授業? Web サイト（http://takenaka.html.xdomain.jp/）にアップされる予定ですので，これを各?参照してノートに書き取ります（?分な余?を残しておいて，授業中に講義内容をメモします）。<br>■教科書の当該部分を精読します。<br><br>【復習】<br>■記憶が鮮明なうちに講義中に取ったメモを整理し，?分の授業ノートとして完成させます。<br>■講義で重点的に取り上げた部分を中?に教科書を読み返します。<br><br>【フィールドリサーチ】<br>「授業概要」にあるように，名古屋・中川運河でのフィールドリサーチに受講者各自で出かけます。リサーチ結果は，第 8 回～第 10 回の「空間コードの探求」で発表してもらう予定です。 |

# 研究各論（ドイツ史）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知県立大学 | 科目コード | 290517 |
| 担当教員 | 池田　利昭（外国語学部准教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 4 単位 |
| 開講日程 | ＜通年＞　火曜：4 限（1430～1600）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | 長久手キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 神聖ローマ帝国の歴史を国制、政治、社会、文化の各面から検討する。<br>講義形式で行う。<br>毎回授業プリントを配布する。<br>授業の終了前に、授業に関する質問・感想票を提出してもらい、それをもって出席とみなす。<br>質問には、次の授業の冒頭で答える。<br>＜前期＞<br>第１回　オリエンテーション、中世初期のヨーロッパ<br>第２回　神聖ローマ帝国(以下、帝国）の成立と中世初期の皇帝支配<br>第３回　11 世紀の社会<br>第４回　叙任権闘争からシュタウフェン時代へ<br>第５回　中世後期のヨーロッパ<br>第６回　領邦国家の形成―ランデスヘルシャフトと領邦等族―<br>第７回　自治都市の興隆と都市同盟<br>第８回　ハプスブルク家の登場―ルドルフの国王即位とオーストリアの獲得―<br>第９回　カール４世と「金印勅書」―選帝侯と帝国国制―<br>第 10 回　中世後期ドイツの都市社会<br>第 11 回　ハプスブルク帝国の出現―フリードリヒ３世からカール５世まで―<br>第 12 回　マクシミリアン１世時代の帝国改造―帝国の制度化―<br>第 13 回　ルターの宗教改革理念とその展開<br>第 14 回　宗教改革と皇帝、諸侯、民衆の対応<br>第 15 回　まとめ<br><br>＜後期＞<br>第１回　ドイツとオスマン帝国<br>第２回　対抗宗教改革と「宗派化」の時代<br>第３回　三十年戦争の勃発と展開<br>第４回　三十年戦争の終結<br>第５回　三十年戦争後の帝国<br>第６回　絶対主義時代のヨーロッパ<br>第７回　領邦絶対主義と「社会的規律化」―「善きポリツァイ」の理念と現実―<br>第８回　絶対主義的統治下の貴族と民衆―ドイツの「臣民」考―<br>第９回　オーストリアの台頭―バロック・カトリシズム、対トルコ戦争の勝利―<br>第 10 回　プロイセンの台頭―カルヴィニズム、グーツヘルシャフト、軍国主義―<br>第 11 回　オーストリアとプロイセンの対立<br>第 12 回　帝国の「縮小」と第三のドイツ―中小帝国等族と「ドイツ的自由」―<br>第 13 回　18 世紀ドイツの文化と社会<br>第 14 回　ナポレオン支配と帝国の終焉<br>第 15 回　まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | なし。適宜紹介する。 | | |
| 試験・評価方法 | 質問・感想票(15%）と学期末レポート（85%）によって評価する。 | | |

| | |
|---|---|
| 別途必要な経費 | 特になし |
| その他特記事項 | 配布された授業プリントに基づいて、次回の授業までに前回の授業内容を復習すること。 |

# 研究各論（ドイツ文化）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知県立大学 | 科目コード | 290518 |
| 担当教員 | 山本　順子（外国語学部教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 4 単位 |
| 開講日程 | ＜通年＞　水曜：2 限（1030～1200）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | 長久手キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 第一次と第二次世界大戦に挟まれたワイマール期は現代芸術がその発端を持つ時代である。戦争の傷跡、大恐慌の不安、大量生産品の流通、など社会的な背景を踏まえながら、前衛芸術の手法や目的、大衆文化の興隆、メディアの刷新といった、その後の 20 世紀文化の土台となった現象をたどる。<br>＜前期＞<br>第 1 回：表現主義とは　定義<br>第 2 回：現代美術の展開<br>第 3 回：表現主義の諸相<br>第 4 回:ダダの誕生<br>第 5 回：映画技術史<br>第 6 回：映画初期作品<br>第 7 回：映画理論「大衆の装飾」「カリガリからヒトラーへ」　「視覚的人間」<br>第 8 回：映画理論「複製技術時代の芸術」<br>第 9 回：ヴォリンガー『抽象と感情移入』<br>第 10 回：カンディンスキー『青騎士』<br>第 11 回：パウル・クレーの天使<br>第 12 回：ルットマン『ベルリン、大都市交響楽』<br>第 13 回：ヴィーゼ『カリガリ博士』<br>第 14 回：ムルナウ『デュバリー夫人』『ノスフェラトゥ』<br>第 15 回：筆記試験<br><br>＜後期＞<br>第 1 回：試験講評　問題点指摘<br>第 2 回：群衆演出<br>第 3 回：歴史的意識と革命『ニーベルンゲン』<br>第 4 回：『ポチョムキン』<br>第 5 回：戦争と映画<br>第 6 回："Westfront 1918""Kameradschaft"<br>第 7 回：光と影 権力、支配の原理<br>第 8 回：無意識と夢　"Nerven""Geheimnisse einer Seele"<br>第 9 回：ピュグマリオン効果 ロッテ・ライニガー<br>第 10 回：大都市と犯罪<br>第 11 回：犯罪パプスト『パンドラの箱』<br>第 12 回：犯罪フリッツ・ラング『ドクトル・マブゼ』<br>第 13 回：フリッツ・ラング『M』<br>第 14 回：まとめ<br>第 15 回：筆記試験 | | |
| テキスト・参考文献 | プリントを配布する。 適宜紹介する | | |
| 試験・評価方法 | 筆記試験(80%)及び平常点(20%) | | |

| | |
|---|---|
| 別途必要な経費 | 特になし |
| その他特記事項 | 具体的な作品の鑑賞 |

# 研究概論
# （中国政治・経済）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知県立大学 | 科目コード | 290519 |
| 担当教員 | 西野　真由（外国語学部准教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　火曜：3 限（1250～1420） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | 長久手キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 1978 年の改革・開放以来、中国は急成長を遂げているが、その一方で、所得格差の拡大、環境汚染の広がりなど、様々な問題が発生している。本講義では、目覚ましい成長を遂げた中国経済の軌跡について改革・開放政策実施以降に焦点をあて講義する。また、経済成長の過程で発生した様々な問題についても考察する。授業内容をより深く理解するために、ビデオ教材や新聞記事などを使用し、講義を進める予定である。<br>第１回：イントロダクション<br>第２回：基礎データから見る中国<br>第３回：計画経済から市場経済の導入へ<br>第４回：改革・開放以降の中国農村の変容<br>第５回：農業と食料問題<br>第６回：地域間格差と貧困問題<br>第７回：西部大開発と移民政策<br>第８回：地域間の人口移動（戸籍制度と出稼ぎ現象）<br>第９回：産業発展と企業改革<br>第 10 回：日中貿易<br>第 11 回：グローバル化の中の中国企業<br>第 12 回：日系企業の中国展開<br>第 13 回：日系企業の中国進出の課題<br>第 14 回：環境問題<br>第 15 回：まとめ<br>定期試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 工藤貴正・樋泉克夫編『現代中国への道案内Ⅱ』白帝社<br>◆参考書◆<br>加藤弘之・上原一慶編著（2004）『中国経済論』ミネルヴァ書房<br>その他、適宜授業中に紹介する。 | | |
| 試験・評価方法 | 期末テストもしくはレポートの提出（７０%）、授業中の課題、小テスト（３０%） | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 次回の授業範囲について、事前に教科書を読んでおくこと。<br>日頃から関連書籍、新聞、インターネットなどを利用して情報収集に努めること。 | | |

# 研究概論（中国歴史・社会）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知県立大学 | 科目コード | 290520 |
| 担当教員 | 黄　東蘭（外国語学部教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　火曜：2 限（1030～1200）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | 長久手キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 多民族国家中国の歴史、現在、および日中関係の歴史と現在を概説する。<br>第一回　空間としての中国<br>第二回　多民族国家中国の形成<br>第三回　多民族国家中国の現在<br>第四回　中国の「家」と日本の「イエ」<br>第五回　遺産相続慣行の日中比較<br>第六回　中国女性の社会的地位<br>第七回　美意識の変化にみる中国の女性<br>第八回　人口問題からみる中国――「一人っ子政策」の功罪<br>第九回　都市と農村の狭間――深?「富士康」事件を通して<br>第十回　なぜ大学生の就職が難しいか――グローバル化のなかの中国<br>第十一回　日中関係の歴史①――戦争の時代<br>第十二回　日中関係の歴史②――日中友好とその問題点<br>第十三回　日中関係の現在①――靖国問題と領土問題<br>第十四回　日中関係の現在②――過去を乗り越えるため<br>第十五回　まとめおよび質疑応答 | | |
| テキスト・参考文献 | 使用しない。プリントを配布し、参考書を指定する。 | | |
| 試験・評価方法 | レポート(100%) | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 授業の内容に関連する書物を読むこと。<br>授業で取り上げられた問題について思索し、自分なりの意見を持つように心がけ、指定された文献・資料を読み、理解を深めてほしい。講義の内容について積極的に質問することが望まれる。<br>出席回数が三分の二に満たない場合、成績は「不可」となる。 | | |

# 研究概論
# （中国語・言語民族）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知県立大学 | 科目コード | 290521 |
| 担当教員 | 中西　千香（外国語学部准教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　木曜：3 限（1250～1420） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | 長久手キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 現代中国語の各側面について概説するとともに、現代中国語を学ぶ上での前提となる標準語、簡体字、ピンインといった概念が如何にして生まれ、どのような変遷を経て現在の形となったかを概観する。<br>多少回がずれることがあるが、以下のように授業を進めていく予定である。<br><br>第１回　イントロダクション　中国語とは。<br>第２回　発音とローマ字（１）声調、母音<br>第３回　発音とローマ字（２）有気音と無気音、鼻音<br>第４回　発音とローマ字（３）ローマ字綴りの規則、音変化<br>第５回　発音とローマ字（４）外来語について、まとめ<br>第６回　漢字と文字改革（１）漢字の成立<br>第７回　漢字と文字改革（２）漢字の字体の形の変遷、字様書、字書について<br>第８回　漢字と文字改革（３）義書、韻書、漢字の伝播、少数民族の文字について<br>第９回　現代漢語概説（１）民族共通語の形成、現代漢語の規範化<br>第１０回　現代漢語概説（２）方言や民族言語について　まとめ<br>第１１回　現代漢語の語彙（１）口頭語と書面語<br>第１２回　現代漢語の語彙（２）外来語について、日中同形語<br>第１３回　現代漢語の文法（１）中国語の実詞と虚詞について<br>第１４回　現代漢語の文法（２）中国語の品詞、文成分について<br>第１５回　まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | 『近くて遠い中国語』 阿辻哲次 著　中公新書<br>教材はプリント配布する。参考書は適宜指示する。 | | |
| 試験・評価方法 | レポート(50%)、授業内に行う数回の試験(50%)により総合評価する。レポート提出が遅れる場合はペナルティをつける。詳細は授業の際に説明する。 なお、出席時間数が 2/3 に満たない場合、評価資格を失う、また 3 回の遅刻で 1 回の欠席の扱いとなる。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 5 回以上の欠席は評価を受ける資格を失う（D になります）。<br>授業の中で数回行う小テストは必ず受けること。<br>レポート提出は必ず提出すること、レポート未提出は評価を受ける資格を失う（D になります）。<br>詳しい指示は授業内で説明する。<br>発音を学んでいるときは中国語Ⅰ（基礎）での学習、iCoToBa での学習とリンクさせて、早くピンインを読めるようにする、聞き取って書けるようにする努力をしてください。わからないときは遠慮なく質問して問題解決に努めること。<br>その後は中国語の漢字、方言や語彙、文法に関する初歩的な勉強をする。授業を通して、問題意識を常に持って、授業ないで紹介された本を手にとって読んでいただきたい。<br>授業と書籍からの学びを合わせて、より強固な中国語基礎力をつけていただきたい。 | | |

# 研究概論（東アジア社会）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知県立大学 | 科目コード | 290522 |
| 担当教員 | 小座野　八光（外国語学部准教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　火曜：4 限（1430～1600）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | 長久手キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 以下の手順で通常の講義形式をとる。<br>1 インドネシアの各エスニックグループについての考察。<br>2 マレーシア・シンガポールの各エスニックグループについての考察。<br>3 外来系エスニックグループ(アラブ･インド･中国系の各サブグループ)の考察。<br>第 1 回： オリエンテーション<br>第 2 回： 総論：ナショナリティとエスニシティ<br>第 3 回： インドネシアにおけるエスニシティの問題<br>第 4 回： ジャワ人の社会・文化・言語（1）<br>第 5 回： ジャワ人の社会・文化・言語（2）<br>第 6 回： スンダ人・マドゥラ人<br>第 7 回： スマトラ系諸エスニシティ<br>第 8 回： その他のエスニシティ<br>第 9 回： ムラユ人と多民族国家マレーシア<br>第10回： 中国系・インド系・アラブ系<br>第11回： ナショナル・インテグレーションとシンガポールの分離<br>第12回： 東マレーシアとブルネイ<br>第13回： シンガポーリアン概念と英語<br>第14回： イギリス・オランダの植民地支配とエスニシティ<br>第15回： まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | 毎回講義に際してプリントを配布する。講義に際して適宜指示する。 | | |
| 試験・評価方法 | 期末テストを評価の中心とする。 期末テスト(95%)、宿題、課題等提出物(5%)。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 高校の世界史(欧米、アジアともに)の近現代史部分の知識が必要となる。よく復習しておくこと。 | | |

# 研究各論
# （世界経済論）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知県立大学 | 科目コード | 290523 |
| 担当教員 | 草野　昭一（外国語学部教授） | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ４単位 |
| 開講日程 | ＜通年＞　木曜：３限（1250～1420） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | 長久手キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 現代経済の大きなテーマを時系列的に扱うこととする。その方法が一番整理しやすく混乱が避けられるからである。<br>したがって湾岸戦争の記憶もない学生諸君には、長期にわたる経済事象を考察するのは少々苦痛を伴うかもしれない。しかしそこは我慢。今日の複雑で動きの速い国際経済を「わかる」ためには耐えるしかない。<br>範囲は、１９８０年代以降今日まで。本格的な変動相場制のもと、グローバル資本と多国籍企業の時代となっていった。世界第２位の実力をつけた日本と米国の相克がひとつの世界的関心となる。やがてアジアと中国の興隆をみる。<br>一方で、冷戦終結後、米国経済は著しい復活を見せたが、２１世紀に入って住宅と金融バブルを膨張させてしまった。金融危機の発生とともにバブルによる需要が蒸発し世界不況が発生してしまった。ＥＵの創設も当初大きな成果が上がったように見えたが金融危機の発生によってそのほころびが表面化した。<br>そのほかにも話には事欠かない。大きく流れをつかんでいきたい<br>第１回　レーガノミックスと「双子の赤字」<br>第２回　プラザ合意とマクロ政策協調<br>第３回　日米貿易・経済摩擦<br>第４回　ジャパン・マネーとＢＩＳ規制<br>第５回　冷戦の終結：バブルの膨張と崩壊<br>第６回　スーパー301 条と日米経済１協議<br>第７回　米国の競争力復活とドル体制の回復<br>第８回　ＥＵの創設とユーロの誕生<br>第９回　ＧＡＴＴウルグアイ・ラウンドとＷＴＯの誕生<br>第１０回　日本の対外直接投資と生産ネットワーク<br>第１１回　アジア通貨金融危機<br>第１２回　中国の台頭とＷＴＯ加盟<br>第１３回　ＩＴバブルの崩壊と同時多発テロ後の米国経済<br>第１４回　金融危機と世界同時不況<br>第１５回　まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | ほぼ毎回資料を提供する。 | | |
| 試験・評価方法 | 授業への貢献度、期末テストで評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 履修上の注意 単位としては「国際経済学総論」（前期）と別ではあるが、内容的には、前期の内容を前提としているので 、それを学修しておくことが望ましい。<br>したがって、後期は詳しいイントロダクションはしない。<br>また「政治・経済研究入門」を履修しておくことが望ましい。もちろん並行して履修してもよい。<br>新聞の政治経済面を読む習慣を持って欲しい。また必要に応じて経済の雑誌、書籍に親しむよう | | |

| | |
|---|---|
| | にして欲しい。<br>配布した資料と作成したノートをもとに全体をまとめてみる。 |

# 研究各論
# （グローバル金融）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知県立大学 | 科目コード | 290524 |
| 担当教員 | 草野　昭一（外国語学部教授） | | |
| 学年配当 | ３年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　火曜：３限（1250～1420） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | 長久手キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 金融の規制緩和と欧州統合をメガ・トレンドとするグローバルな金融覇権競争の展開を考察の対象とする。そしてそれがいかに２００８年の世界金融危機に 収斂していったかをみる。そしてその後世界は危機にどのように対応してきて今日に至っているか。<br>第１回　イントロダクション<br>第２回　金融肥大化と暴走の時代、その大きな流れをつかむ<br>第３回　金融規制緩和と金融機関の大統合（Ⅰ）<br>第４回　金融規制緩和と金融機関の大統合（Ⅱ）<br>第５回　欧州統合とグローバルな金融覇権競争<br>第６回　金融規制緩和の文脈<br>第７回　デリバティブ（金融派生商品）取引の発展<br>第８回　資産の証券化（Ⅰ）<br>第９回　資産の証券化（Ⅱ）<br>第１０回　金融取引の重層的拡大とリスクの重層的累積<br>第１１回　危機の発現の仕方とサブプライムローン問題<br>第１２回　米国を中心とする国家と国際協調による対策<br>第１３回　欧州迷走：欧州統合の失敗<br>第１４回　金融危機への対応と近況<br>第１５回　まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | 参考書、教材等 ほぼ毎回資料を提供する | | |
| 試験・評価方法 | 授業への貢献度、 期末テストで評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 新聞の政治経済面を読む習慣を持って欲しい。また必要に応じて経済の雑誌、文献に親しむようにして欲しい。<br>また「政治・経済研究入門」「国際経済学総論」を履修しておくことが望ましい。もちろん並行して履修してもよい。<br>新聞の経済欄を毎週確認する。<br>配布した資料と作成したノートをもとに全体をまとめてみる。 | | |

# 研究各論
# （民族言語研究）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知県立大学 | 科目コード | 290525 |
| 担当教員 | 高橋　慶治（外国語学部教授） | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　火曜：5 限（1610～1740） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | 長久手キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 世界にはさまざまな民族がさまざまな地域に居住している。現代社会において英語が世界共通語となっている現状はあるものの、それぞれの民族が日常的に用いている言語は、きわめて多様なものであり、我々の予想をはるかに越える音声や文法を持っている。前期はさまざまな言語現象と文化について考える。<br>第 1 回 イントロダクション<br>第 2 回 世界の言語<br>第 3 回 危機言語<br>第 4 回 言語と状況<br>第 5 回 親族名称<br>第 6 回 色彩語彙<br>第 7 回 意味分析<br>第 8 回 言葉遊び（なぞなぞ、Pig Latin など）<br>第 9 回 言葉遊び（回文、いろは歌など）<br>第 10 回 言語と社会<br>第 11 回 言語接触<br>第 12 回 さまざまな文法<br>第 13 回 類型論<br>第 14 回 多様化する言語、統一化される言語<br>第 15 回 後期の総括 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書は使用しない。授業中に参考図書を指示する。また、必要に応じてプリントを配布する。 | | |
| 試験・評価方法 | 学期末のレポート（50%）および後期中に随時課す課題（全体で 50%）によって評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 言語学についての基礎的な知識が必要である。なお、上記の授業計画は進度の目安であり、変更もありうる。<br>授業での討論に参加できるよう、授業中に指定する書籍を読む。また、レポートを書く上で授業の各回に行われた議論について復習が必要である。 | | |

# 研究各論（宗教学）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知県立大学 | 科目コード | 290526 |
| 担当教員 | 谷口　智子（外国語学部准教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　木曜：4 限（1430～1600）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | 長久手キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 世界の多様な宗教について宗教の意味や役割を把握するための導入教育を行う。宗教学入門として、宗教学のキーワードを通して世界の多様な宗教を学ぶ。講義（12 回）とゼミ発表（2 回）、試験（レポート３２００－４０００字）の三つを行う。<br>第一回　オリエンテーション（宗教とは何だろう）<br>第二回　なぜ人は祈るのか（祈り）<br>第三回　なぜ儀礼はあるのか（儀礼）<br>第四回　なぜ祭りに熱中するのか（祭り）<br>第五回　なぜ修行がブームになるのか（修行）<br>第六回　現代に生きる神話的世界（神話と宗教）<br>第七回　人は死んだらどこへ行くのか（死後の世界）<br>第八回　神がかりと憑物の世界（シャマニズム）<br>第九回　聖なる旅の目的は何だろう（聖地と巡礼）<br>第十回　宗教現象を研究する（宗教学の諸領域）<br>第十一回　宗教団体は善か悪か（多様な教団）<br>第十二回　日本人は無宗教か（現代日本の宗教）<br>第十三回　発表<br>第十四回　発表<br>第十五回　まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | ◆教科書◆石井研士著、『プレステップ宗教学』、弘文堂、2010 年。<br>◆参考書◆棚次正和・山中弘編著、『宗教学入門』、ミネルヴァ書房、2005 年。 | | |
| 試験・評価方法 | 出席（10%）、授業中の態度及び発表やコメントに対する評価（20%）、期末レポート（70%） | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 毎回異なる章の異なるテーマで授業を進めるので、事前に教科書を読んでくること。授業時に指示する課題は毎回調べて提出すること。発表やレポート（試験）の準備は入念に行うこと。<br>発表では、講義中に派生した様々な課題について各自調べ、発表すること。 | | |

# 研究各論（民族音楽学）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知県立大学 | 科目コード | 290527 |
| 担当教員 | エドガー・ライト・ポープ（外国語学部教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　木曜：2 限（1030～1200）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | 長久手キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | Through lectures, recorded music examples, videos, photographs, reading, and live demonstrations, students will learn about music and its cultural context, including the relationships between music and language, history, ritual, dance, and drama. The course content will include not only "traditional" music styles, but also "popular" music styles that have emerged in modern times in response to colonialism, technological change, and the spread of consumer cultures. The concepts and history of the academic discipline of ethnomusicology will be introduced in the context of research on specific music cultures of Africa, Europe, the Americas, and Asia.<br>第 1 回　Introduction to Ethnomusicology<br>第 2 回　Introduction to African music<br>第 3 回　Music of West Africa (Ghana)<br>第 4 回　Music of West Africa (Nigeria)<br>第 5 回　Music of Southern Africa<br>第 6 回　Music of the Black Atlantic: from Africa to the Americas<br>第 7 回　African American Music of the U.S.A. (Jazz)<br>第 8 回　African American Music of the U.S.A. (Blues)<br>第 9 回　Introduction to Southeast Asian Music<br>第 10 回　Music of Vietnam<br>第 11 回　Music of Thailand<br>第 12 回　Music of Indonesia (Javanese gamelan)<br>第 13 回　Music of Indonesia (Balinese gamelan)<br>第 14 回　Music of Indonesia (Kecak and Jegog)<br>第 15 回　Summary | | |
| テキスト・参考文献 | Copies of readings will be distributed in class, and links to online readings will be posted on UNIPA.<br>Other reference materials will be announced in class. | | |
| 試験・評価方法 | Class participation (20%), weekly quizzes (40%), final exam (40%) | | |
| 別途必要な経費 | Nothing special | | |
| その他特記事項 | Course-related materials will be distributed in class or made available on UNIPA. Students should review this material in preparation for weekly quizzes and for the final exam.<br>Lectures, readings, quizzes, and final exam will be in English. Students may ask questions in either English or Japanese. | | |

# 研究各論（南アジア文化研究）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知県立大学 | 科目コード | 290528 |
| 担当教員 | エドガー・ライト・ポープ（外国語学部教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　木曜：2 限（1030～1200）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | 長久手キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | Through lectures, recorded music examples, videos, photographs, reading, and live demonstrations, students will learn about the musical performing arts of South Asia and their cultural context, including the relationships between music and language, history, ritual, dance, and drama. The course content will include not only "traditional" music styles, but also "popular" music styles that have emerged in modern times in response to colonialism, technological change, and the spread of consumer cultures.<br>第 1 回　Introduction to South Asian music<br>第 2 回　Indian classical music: history and culture<br>第 3 回　Indian classical music: rhythmic structure (tala)<br>第 4 回　Indian classical music: melodic structure (raga)<br>第 5 回　Indian classical music in the modern world<br>第 6 回　Islamic music of South Asia (1)<br>第 7 回　Islamic music of South Asia (2)<br>第 8 回　Music and dance of Sri Lanka (1)<br>第 9 回　Music and dance of Sri Lanka (2)<br>第 10 回　South Asian classical dance and musical theater<br>第 11 回　Regional traditions of dance and musical theater<br>第 12 回　South Asian popular music: film music<br>第 13 回　South Asian popular music: non-film genres<br>第 14 回　South Asian popular music and globalization<br>第 15 回　Summary | | |
| テキスト・参考文献 | Copies of readings will be distributed in class, and links to online readings will be posted on UNIPA.<br>Other reference materials will be announced in class. | | |
| 試験・評価方法 | Class participation (20%), weekly quizzes (40%), final exam (40%) | | |
| 別途必要な経費 | Nothing special | | |
| その他特記事項 | Course-related materials will be distributed in class or made available on UNIPA. Students should review this material in preparation for weekly quizzes and for the final exam.<br>Lectures, readings, quizzes, and final exam will be in English. Students may ask questions in either English or Japanese. | | |

# 研究各論
# （日本経済と新興国）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知県立大学 | 科目コード | 290529 |
| 担当教員 | 草野　昭一（外国語学部教授） | | |
| 学年配当 | ２年,3 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　火曜：３限（1250～1420） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | 長久手キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | ４月,9 月 |
| 講義概要 | ２００７年のサブプライム危機、２００８年のリーマンショックを契機とする世界金融危機と世界同時不況は、世界経済のパラダイム転換をもたらしつつある。<br>経済規模からみると、アメリカ「一極時代」は終わり、「多極」化時代に入りつつあると見られている。世界的協調体制がＧ７からＧ２０になったのはその表れである。<br>米・日・欧の先進国が苦戦するなかで、ＢＲＩCS と呼ばれる諸国をはじめとする新興国の経済発展が目覚ましい。そのような中で、資源やエネルギーの著しい高騰が見られる。<br>文明的な点においても転換が見られる。石油などの化石燃料から、CO2 を排出しないエネルギー体系へと移行しつつある。化石燃料の中でも、CO2 排出率の少ない天然ガスへのシフトが見られる。その途上で３・１１震災と原発事故が起こり、大きく軌道修正を余儀なくされてもいる。<br>世界人口増加の爆発的増加の一方で、日本を先頭に人口高齢化の傾向も目立ってきた。<br>このようにかつてない困難な状況下で、世界や日本はどこに向かおうとしているのだろうか。<br>グローバル金融危機後の世界秩序の模索を概観し、「失われた２０年」をたどった日本の立ち位置を十分に確認して、ＢＲＩＣｓそして新興アジアおよびアジア・太平洋を展望したい。<br>第１回　イントロダクション<br>第２回　世界経済の同時不況と世界需要の蒸発<br>第３回　Ｇ２０：金融危機克服への国際政策協調の枠組み<br>第４回　日本の「失われた２０年」（Ⅰ）<br>第５回　日本の「失われた２０年」（Ⅱ）<br>第６回　日本の「失われた２０年」（Ⅲ）<br>第７回　ＢＲＩＣｓ（Ⅰ）：中国<br>第8回　ＢＲＩＣｓ（Ⅱ）：ブラジル<br>第9回　ＢＲＩＣｓ（Ⅲ）：ロシア<br>第１０回　ＢＲＩＣｓ（Ⅳ）：インド<br>第１１回　ＢＲＩＣＳ（Ⅴ）：チャイナ・リスクおよびその他のリスク<br>第１１回　新興アジア（Ⅰ）<br>第１２回　新興アジア（Ⅱ）<br>第１３回　ＡＰＥＣとＴＰＰ<br>第１４回　グレーター・ナゴヤとアジア・太平洋<br>第１５回　まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | ほぼ毎回資料を提供する。 | | |
| 試験・評価方法 | 授業への貢献度、期末テストで評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 授業時間外の学習（予習・復習）　新聞の経済欄を毎週確認する。<br>新聞の政治経済面を読む習慣を持って欲しい。また必要に応じて経済の雑誌、書籍に親しむようにして欲しい。<br>また「政治・経済研究入門」を履修しておくことが望ましい。もちろん並行して履修してもよ | | |

| | |
|---|---|
| | ١١. |

# 国語学概説

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知県立大学 | 科目コード | 290530 |
| 担当教員 | 福沢　将樹<br /><br /><br />（日本文化学部教授） | | |
| 学年配当 | １年 | 単位数 | ４単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　木曜：３限（1250～1420） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | 長久手キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | ４月,９月 |
| 講義概要 | この科目では、日本語の語彙・文法の基本的な概念を整理し、更に言語全体の見方を再整理する。<br>第１回：イントロダクション<br>第２回：言語の単位１/語彙１　語と単語・意味<br>第３回：語彙２　語種と語彙量<br>第４回：語彙３/文法１　語構成と単語<br>第５回：文法２　活用とその諸問題<br>第６回：文法３　品詞とその諸問題<br>第７回：文法４/語彙４　複合語とその諸問題<br>第８回：文法５/言語の単位２　文節・文の成分とその諸問題<br>第９回：文法６　自他　ボイス<br>第１０回：文法７　アスペクトとテンス<br>第１１回：文法８　命題とモダリティ、人称　敬語<br>第１２回：文法９　連体節<br>第１３回：文法１０　主語<br>第１４回：言語の単位３/文章・談話　文と文章<br>第１５回：まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | プリントを配布する。適宜紹介する。 | | |
| 試験・評価方法 | 試験による（100%）。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 参考書の該当しそうな部分に目を通しておくことが望ましい。 | | |

# 歴史文化学概論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知県立大学 | 科目コード | 290531 |
| 担当教員 | 大塚　英二（日本文化学部教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　木曜：3 限（1250～1420）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | 長久手キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 歴史学の方法論について概説した後、日本列島上で人が用いる道具や技術がその時代の文化としてどのように立ち現れていたかを段階論的に扱い、歴史文化の進展について考察する。と同時に、そうした技術が必ずしも進歩の側面だけで分析できないことを、抗争や戦争の歴史から振り返る。<br>第１回：授業ガイダンスと歴史学の方法について解説。<br>第２回：政治史の領域について解説。<br>第３回：経済史の領域について解説。<br>第４回：文化史や法制史など、他の個別分野史について解説。<br>第５回：生産用具・技術と歴史段階の関連性について解説。<br>第６回：技術史を文化史として考察することについて解説。<br>第７回：日本列島の原始・古代の技術について解説。<br>第８回：日本中世の技術について解説。<br>第９回：日本近世の技術について解説。（１）<br>第 10 回：日本近世の技術について解説。（２）<br>第 11 回：日本近代の産業技術について解説。（１）<br>第 12 回：日本近代の産業技術について解説。（２）<br>第 13 回：抗争・戦争における技術の問題について解説。<br>第 14 回：科学者の社会的責任について歴史的に検討。<br>第 15 回：まとめ。 | | |
| テキスト・参考文献 | テキストは特にない。毎回の授業時に適宜プリントを配布する。<br>参考文献については授業中に適宜紹介する。 | | |
| 試験・評価方法 | テキストは特にない。毎回の授業時に適宜プリントを配布する。<br>参考文献については授業中に適宜紹介する。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 毎回配布するレジュメのプリントを必ずその日のうちに復習すること。また、予習として指定した文献の読みを求めることがある。　授業は原則として講義形式であるが、時に史料の読みなどについて発問し、解答を求めることもある。 | | |

# 生涯教育

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知県立大学 | 科目コード | 290532 |
| 担当教員 | 田村　佳子（教育福祉学部教授） | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　木曜：２限（1030～1200）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 長久手キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | ４月,9 月 |
| 講義概要 | ラングランが「生涯教育」を提唱し、約 50 年が経過した。この間、日本では「生涯教育」ならびに「生涯学習」という言葉が定着してきた。「生涯教育」は人が生涯にわたり学び続けるために広く社会における教育を統合する新しい教育システムのあり方を求める理念であった。本講義では、地域と教育の関連を検討し、「生涯教育」の土台のひとつである「社会教育」について学び、学校教育以外にも様々な学びの場があることを紹介する。街づくりや子育て支援の視点から、教育と福祉の連携、学校と社会教育の連携のあり方を探り、生涯教育とは何かを考える。また「生涯教育」「生涯学習」という言葉が、国際的にどのように成立・発展してきたかを学ぶ。<br>第１回：はじめに－生涯教育と社会教育<br>第２回：生涯教育と社会教育<br>第３回：コミュニティとノンフォーマル教育<br>第４回：現代社会と教育<br>第５回：雇用・労働・福祉と教育<br>第６回：外国におけるコミュニティ・エデュケーション<br>第７回：日本におけるコミュニティ・エデュケーション<br>第８回：生涯学習社会における教育の場－戦前日本における社会教育<br>第９回：生涯学習社会における教育の場－社会教育法と公民館<br>第１０回：生涯学習社会における教育の場－公民館の成立<br>第１１回：生涯学習社会における教育の場－地域と公民館の活動<br>第１２回：生涯学習社会における教育の場－図書館<br>第１３回：生涯学習社会における教育の場－博物館<br>第１４回：生涯教育と生涯学習－ユネスコ生涯教育論と OECD リカレント教育論<br>第１５回：まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | ◆テキスト◆<br>なし、必要な資料については講義中に適宜配布。<br>◆参考書◆<br>・ 社会教育推進全国協議会編『社会教育・生涯学習ハンドブック』（エイデル、2005 年）<br>・ 佐藤一子『生涯学習と社会参加?おとなが学ぶことの意味』（東京大学出版会、1998 年）<br>・ 新海英行・牧野篤編『現代世界の生涯学習』（大学教育出版）<br>・ 大串隆吉『社会教育入門』（有信堂、2008 年）<br>・ 島田修一『社会教育?自治と協同的創造の教育学』（国土社、2006 年） | | |
| 試験・評価方法 | 学期末でのレポートに対する評価 70%。講義中に指示したレポートに対する評価 30%。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 講義中に配布した資料を予習・復習として精読すること。 | | |

# 公的扶助論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知県立大学 | 科目コード | 290533 |
| 担当教員 | 野田　博也（教育福祉学部准教授） | | |
| 学年配当 | 1 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　木曜：5 限（1610～1740） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 長久手キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 公的扶助は貧困問題の事後的な解決策であり、社会保障のなかでも最終的なセーフティネットとして位置づけられている。この授業では、公的扶助が対象とする貧困の考え方やその実態について踏まえたうえで、公的扶助という制度の仕組み、関連する社会福祉政策などとの関係について考察を進める。特定の事業について解説をするのではなく、給付条件（コンディショナリティ）などのように、各事業に共通する視点から議論を進める。また、公的扶助関連の課題に関する履修者のプレゼンテーションを行い、学生の積極的な参加を求める。なお、現実の動向を知るために、新聞やネット記事、ﾄﾞｷｭﾒﾝﾀﾘｰ映像なども可能な限り扱う。<br>1.ガイダンス<br>2.公的扶助の史的展開<br>3.生活保護の概要<br>4.貧困と社会的排除<br>5.貧困証明<br>6.給付の量と基準<br>7.給付の期間と形態<br>8.求められる行為<br>9.第三者による私的生活への介入<br>10.給付を受ける場<br>11.プレゼンテーション①：稼働年齢層の公的扶助<br>12.プレゼンテーション②：非稼働年齢層の公的扶助<br>13.プレゼンテーション③：排除されやすい集団の公的扶助<br>14.公的扶助の展望<br>15.まとめ<br>定期試験 | | |
| テキスト・参考文献 | ◆テキスト◆<br>特に指定しない（毎回レジメを配布して進める）<br>◆参考書◆<br>・岩田正美（2007）『現代の貧困　ワーキングプア／ホームレス／生活保護』ちくま新書.<br>・湯浅誠（2008）『反貧困』 岩波書店.<br>・稲葉剛（2013）『生活保護から考える』岩波書店.<br>・R.Lister（2004）Poverty. Polity Press.（＝2011. 松本監訳『貧困とは何か』明石書店） | | |
| 試験・評価方法 | 授業態度　10%程度<br>プレゼンテーション　40%程度<br>期末テスト　50% | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 参考書に挙げている新書（岩田、湯浅、稲葉）のいずれかは予め読んでおくことが望ましい。<br>・授業開始 30 分以降は遅刻とし、3 回の遅刻で 1 回の欠席とみなす。<br>・出欠管理のため、学生証は毎回持参すること。 | | |

# ロボットビジョン

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知県立大学 | 科目コード | 290534 |
| 担当教員 | 村上　和人（情報科学部教授） | | |
| 学年配当 | | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　木曜日：１限（850～1020） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 社会・マスコミ・情報 | | |
| 教室 | 長久手キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | ４月,９月 |
| 講義概要 | 画像をコンピュータで扱うためには，連続的な値を離散的な値に変換して扱う必要がある．講義では，まず，画像処理の応用事例を概観し，画像処理とはどのようなことを行うことか概念的な点を学ぶ．次いで，標本化・量子化など画像の表現方法について学び，ディジタル画像処理を行う上での基礎事項を学ぶ．さらに，雑音除去，２値化処理，エッジ検出など，基礎的な処理手法について，数学や物理などの理論的な背景と合わせて処理手順や処理手法を学び，なぜそのような手法で処理できるのか理解を深める．最後に，ロボットの視覚機能の創発へと結び付ける．<br>第１回 ディジタル画像<br>第２回 濃度値の統計量<br>第３回 画像の鮮鋭化<br>第４回 平滑化<br>第５回 雑音の除去<br>第６回 画像の復元<br>第７回 画像再構成<br>第８回 幾何学的変換<br>第９回 画像処理のモデル<br>第 10 回 領域分割手法ー2 値化ー<br>第 11 回 領域分割手法ーエッジ検出ー<br>第 12 回 線の検出と面の検出<br>第 13 回 ２値画像処理・形状特徴計測<br>第 14 回 ロボットの視覚機能<br>第 15 回 まとめ・ロボットビジョンの課題<br>定期試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 田村 秀行　編著：“コンピュータ画像処理”，オーム社<br>鳥脇 純一郎　著：“画像理解のためのディジタル画像処理[I]”，昭晃堂<br>FEST Project 編集委員会　編：“新実践画像処理”，リンクス<br>谷口慶治 編，「画像処理工学」（基礎編），共立出版 | | |
| 試験・評価方法 | 評価基準： 画像処理の基礎的な処理手順と処理手法が理解できていること．<br>評価方法：定期試験（80%））および授業の最後に行うまとめの提出状況・受講態度（20%）を総合して評価する． | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 授業で出てきた専門用語の意味を深く調べるなど，復習をしておくこと．<br>広い範囲におよぶ分野のため，応用事例についてはインターネット等を利用して広く調べておくこと．<br>関連科目： 画像情報処理論Ⅱ，情報科学応用実験（メディア・ロボティクス），ヒューマンインターフェース論<br>受講要件： ヒューマンインターフェース論を履修していること． | | |

# 総合講義：死と看護

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知県立大学 | 科目コード | 290535 |
| 担当教員 | 片岡　純、片平　正人ほか | | |
| 学年配当 | | 単位数 | １単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　シラバス参照：同右（～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | スポーツ・健康・医療 | | |
| 教室 | 守山キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | ４月,９月 |
| 講義概要 | 保健医療福祉における現代的課題の一つである「死と看護」について、より広い視野で総合講義を行い理解を深める。講義や討議を通して、看護活動のために必要な多角的な視点を養う。<br>　授業はオムニバス形式で行う。<br>第１回　安楽死と尊厳死：日本と世界各国の動向　（片平）<br>第２回　認知症とリビングウィル（片平）<br>第３回　日本の終末期医療の現状（片岡）<br>第４回　高齢者の終末期の特徴とケア：日本人の価値感・文化を踏まえた、老衰といわれる高齢期の終末期とそのケア　（下園）<br>第５回　"終末期高齢者の家族に対する看護：高齢者の死を受け止めるプロセスにおける家族看護と死後のグリーフケア　（下園）<br>第６回　終末期がん患者の全人的苦痛とケア（片岡）<br>第７回　終末期がん患者の家族のケア（片岡）<br>第８回　まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | テキストは特に使用しない。　参考書は授業で紹介する。 | | |
| 試験・評価方法 | 各講師が提示した課題から関心があるテーマを一つ選択してレポートを提出する。提出されたレポートで評価する（100%）。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 授業時間の３分の２以上の出席がなければ成績評価を受けられないので注意する。<br>講義や討議を通して、「死と看護」について広い視野で考え理解を深めるためには、オムニバス形式の各授業に主体的に参加し思考することが大切である。授業内容で関心のあるテーマについて、予習・復習をして参加する。 | | |

# 総合講義：家族と看護

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知県立大学 | 科目コード | 290536 |
| 担当教員 | 片平　正人ほか | | |
| 学年配当 | | 単位数 | １単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　シラバス参照：同上（～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | スポーツ・健康・医療 | | |
| 教室 | 守山キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | ４月,９月 |
| 講義概要 | 授業目的を達成するために、それぞれの領域の専門的立場からオムニバス形式で授業する。授業の内容は授業計画に示すが、学生自身がこれまでに看護学実習などを通して学んできた経験を生かし、より深い理解につながるように、グループワークなども取り入れながら授業を進める。<br>第１回　システムとしての家族（牛島）<br>第２回　家族が埋め込まれている環境（Social embeddedness）（牛島）<br>第３回　家族看護学の視点から捉える小児とその家族への看護（柴）<br>第４回　入院児の家族への支援（柴）<br>第５回　精神疾患を持つ家族が求めるリカバリー支援（山田）<br>第６回　精神科における家族看護とチーム連携（山田）<br>第７回　糖尿病患者と家族へのケア（患者のライフコースと家族）（片平）<br>第８回　糖尿病患者と家族へのケア（家族のコミュニケーションパターン）（片平） | | |
| テキスト・参考文献 | テキストは使用しない。参考書は授業内で紹介する。 | | |
| 試験・評価方法 | 各担当教員から出題されたレポート課題のうち、２つを選択し、レポートを提出する。<br>※レポートの様式等については、担当教員が授業の中で説明する。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | （予習・復習）<br>各看護分野の実習などで受け持った事例の家族の役割について振り返り、本授業との関連について分析・考察する。 | | |

# 日本美術史概説Ａ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知県立芸術大学 | 科目コード | 290601 |
| 担当教員 | 本田　光子 | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　火曜日：4限（1430～1600） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | 新講義棟大講義室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【授業の目的】<br>日本の風土・社会の中で生み出されてきた美術の歴史について、各時代における代表的作品の制作背景や技法的特徴、作品に見出されてきた意味や位置付けを考察し理解を深める。<br>【到達目標】<br>・日本の美術について通史的理解をもち、基本的な知識を習得する。<br>・日本と東アジア地域・世界の関わりに関心をもつ。<br>・自身の制作活動を、より歴史的・社会的に広い視点から省察する姿勢を身につける。<br>・作品に感じた魅力を他者へと伝える文章力をつける。<br>【授業内容・スケジュール】<br>概説Ａ（前期）では先史時代から江戸時代初期までを、主に時代様式・ジャンル別に概観する。第一回目の授業で詳細なシラバスを配布し、授業の進め方と成績評価について説明するので必ず出席すること。<br>1. イントロダクション<br>2. 縄文・弥生・古墳時代<br>3. 飛鳥・白鳳時代<br>4. 法隆寺金堂壁画模写館見学<br>5. 奈良時代（1）<br>6. 奈良時代（2）<br>7. 平安時代（1）<br>8. 平安時代（2）<br>9. 平安時代（3）<br>10. 平安時代（4）<br>11. 鎌倉時代<br>12. 室町時代（1）<br>13. 室町時代（2）<br>14. 洛中洛外図<br>15. まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】山下裕二・高岸輝監修『日本美術史』（美術出版社、2014 年）2,940 円<br>【参考書】授業内で参考文献一覧を配布する。 | | |
| 試験・評価方法 | レポート 100%＋α（特別加点）<br>※特別加点の内容：（1）展覧会レポートの提出。1 件につき 5 点満点で採点のうえ加点。<br>（2）出席が 8 割以上の場合、＋5 点。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | ・授業でプロジェクターを用いるため、携帯電話・IT 機器の使用は自粛すること。<br>・毎回コメント欄付きの出席票を配布、回収する。<br>・授業外学習として、美術館・博物館や寺社等へ足を運び実際に作品を見ること。<br>・配布資料および関連資料は授業専用ウェブサイトに保管する。欠席者は各自でダウンロード・印刷すること。URL は授業内で提示する。 | | |

# 日本美術史概説Ｂ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知県立芸術大学 | 科目コード | 290602 |
| 担当教員 | 本田　光子 | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　火曜日：4限（1430～1600） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | 新講義棟大講義室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【授業の目的】<br>日本の風土・社会の中で生み出されてきた美術の歴史について、各時代における代表的作品の制作背景や技法的特徴、作品に見出されてきた意味や位置付けを考察し理解を深める。<br>【到達目標】<br>・日本の美術について通史的理解をもち、基本的な知識を覚える。<br>・日本と東アジア地域・世界の関わりに関心をもつ。<br>・自身の制作活動を、より歴史的・社会的に広い視点から省察する姿勢を身につける。<br>・作品に感じた魅力を他者へと伝える文章力をつける。<br>【授業内容・スケジュール】<br>概説Ｂ（後期）では江戸時代から近代までを、主に流派別・ジャンル別に概観する。第一回目の授業で詳細なシラバスを配布し、授業の進め方と成績評価について説明するので必ず出席すること。<br>1.イントロダクション<br>2.狩野派（1）元信・永徳・探幽<br>3.狩野派（2）京狩野、久隅守景・英一蝶<br>4.桃山の漢と和?長谷川等伯・海北友松、かぶきの造形<br>5.浮世を描く?岩佐又兵衛と風俗画<br>6.美意識の系譜?琳派<br>7.海外との出会い?南蛮美術と洋風画<br>8.やまと絵の系譜?土佐派と住吉派<br>9.江戸時代の宗教美術?円空・白隠・木喰・仙厓<br>10.心と形?南画と写生画<br>11.京の実り?「奇想」の絵師<br>12.江戸時代の工芸?陶磁器・漆器・染色・金工<br>13.江戸の実り?浮世絵<br>14.断絶か継承か?幕末・明治の美術<br>15.まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】山下裕二・高岸輝監修『日本美術史』（美術出版社、2014 年）2,940 円<br>【参考書】授業内で参考文献一覧を配布する。 | | |
| 試験・評価方法 | レポート 100%＋α（特別加点）<br>※特別加点の内容：（1）展覧会レポートの提出。1 件につき 5 点満点で採点のうえ加点。<br>（2）出席が 8 割以上の場合、＋5 点。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | ・授業でプロジェクターを用いるため、携帯電話・IT 機器の使用は自粛すること。<br>・毎回コメント欄付きの出席票を配布、回収する。<br>・授業外学習として、美術館・博物館や寺社等へ足を運び実際に作品を見ること。<br>・配布資料および関連資料は授業専用ウェブサイトに保管する。欠席者は各自でダウンロード・印刷すること。URL は授業内で提示する。 | | |

# 西洋美術史概説Ａ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知県立芸術大学 | 科目コード | 290603 |
| 担当教員 | 高梨　光正 | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　水曜日：４限（1430～1600） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | 新講義棟大講義室 | | |
| 履修条件 | 西洋美術史概説Ｂと合わせて履修すること。 | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 【授業の目的】<br>古代からバロックまでの西洋美術（建築･彫刻・絵画）の歴史的展開をたどる。<br>【到達目標】<br>・西洋美術の展開について作品イメージを通して全体的な理解を得ることができる。<br>・西洋美術史に登場するキーワードと重要な芸術家についての知識を得ることができる。<br>・美術の背景にある都市や社会の歴史についての知識を得ることができる。<br>【授業内容・スケジュール】<br>1. 問い：過去の美術を学ぶことは君たちにとっていかなる意義を持ちうるか？美術と美術史<br>2. 古い美術を知るために必要なこと<br>3. 先史美術、古代エジプトの美術、美術の起源<br>4. 古代ギリシアの美術<br>5. 古代ローマの美術<br>6. 初期キリスト教美術：ビザンティンと初期中世<br>7. 中世都市と大聖堂の創造：ロマネスク<br>8.中世都市と大聖堂の創造：ゴシック<br>9.キリスト教図像<br>10. ルネサンスの起源：ジョット<br>11. ルネサンスの成熟期：マザッチョと初期ルネサンス<br>12.フランドル絵画<br>13. ボッティチェッリとその時代<br>14. 彫刻の革新：ドナテッロと初期ルネサンス彫刻<br>15.レポートの書き方 | | |
| テキスト・参考文献 | ・教科書：H.W.ジャンソン＋A.F.ジャンソン『西洋美術の歴史』（創元社）3570 円<br>・参考書：『世界美術大全集』全 28 巻（小学館）　〔図書館開架にあり〕 | | |
| 試験・評価方法 | レポート（50%）、出席と質問カードおよびディスカッション（50%） | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | ･上記の教科書『西洋美術の歴史』は学期初めに必ず購入すること。<br>･授業には必ず教科書とノートを持参すること。また、画像投影中にノートをとるために各自ペンライトを持参すること。「西洋美術史概説Ｂ」も合わせて受講すること。 | | |

# 西洋美術史概説Ｂ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知県立芸術大学 | 科目コード | 290604 |
| 担当教員 | 高梨　光正 | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　水曜日：4限（1430～1600） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | 新講義棟大講義室 | | |
| 履修条件 | 西洋美術史概説 A と合わせて履修すること。 | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【授業の目的】<br>バロックから 20 世紀までの西洋美術（建築・彫刻・絵画）の歴史的展開をたどる。<br>【到達目標】<br>・西洋美術の展開について作品イメージを通して全体的な理解を得ることができる。<br>・西洋美術史に登場するキーワードと重要な芸術家についての知識を得ることができる。<br>・美術の背景にある都市や社会の歴史についての知識を得ることができる。<br>【授業内容・スケジュール 】<br>1.盛期ルネサンス：レオナルド<br>2.盛期ルネサンス：ミケランジェロ<br>3.盛期ルネサンス：ラファエッロ<br>4.マニエリスムの美術<br>5.ティツィアーノとヴェネツィア派<br>6.北方ルネサンス：デューラー、クラーナハ、ブリューゲル<br>7.イタリア・バロック<br>8.北方バロック：ルーベンス、レンブラント、フェルメール<br>9.フランス・アカデミズム<br>10.スペイン・バロックとイギリス：ベラスケス、ヴァン・ダイク<br>11.18 世紀の美術：イタリア<br>12.18 世紀の美術：フランス<br>13. 新古典主義<br>14.19 世紀美術と美的判断（まとめ） | | |
| テキスト・参考文献 | ・教科書：H.W.ジャンソン＋A.F.ジャンソン『西洋美術の歴史』（創元社）3570 円<br>・参考書：『世界美術大全集』全 28 巻（小学館）〔図書館開架にあり〕 | | |
| 試験・評価方法 | レポート（70%）、出席と質問カードとディスカッション（30%） | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | ・上記の教科書『西洋美術の歴史』は必ず購入すること。<br>・授業中は必ず教科書とノートを持参すること。「西洋美術史概説 A」と合わせて受講すること。 | | |

# 現代アート概説Ａ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知県立芸術大学 | 科目コード | 290605 |
| 担当教員 | 小西　信之 | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　水曜日：5限（1610～1740） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | 新講義棟大講義室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【授業の目的】<br>19 世紀末から 20 世紀中葉に至る欧米の近現代美術の歴史を概観する。<br>【到達目標】<br>19 世紀中葉から 20 世紀中葉までの欧米の近現代アートの歴史的流れを把握し、主要なアーティストと動向の歴史的意味を理解する。<br>【授業内容・スケジュール】<br>1～2. 導入：現代アートとは何か？（その 1）<br>3～4. 写真の発明と印象派・後期印象派<br>5～7. フォーヴィスム、キュビスム、表現主義<br>8～10. 構成主義、バウハウス<br>11～13. ダダとシュルレアリスム<br>14～15. アメリカン・シーンと抽象表現主義 | | |
| テキスト・参考文献 | 【参考書】『カラー版 20 世紀の美術』（美術出版社）等。他は講義中に随時指示する | | |
| 試験・評価方法 | レポート（50%）、出席（50%） | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | この概説は A と B を通して取ることが望ましい。 | | |

# 現代アート概説Ｂ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知県立芸術大学 | 科目コード | 290606 |
| 担当教員 | 小西　信之 | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　水曜日：5限（1610～1740） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | 新講義棟大講義室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【授業の目的】<br>20 世紀中葉から現在に至る現代アートの歴史を概観する。<br>【到達目標】<br>20 世紀中葉から現在までの現代アートの歴史的展開を知り、主要な動向とアーティストの活動の歴史的意味を理解する。<br>【授業内容・スケジュール】<br>1. 導入：現代アートとは何か？（その 2）<br>2～5. ネオ＝ダダ、ポップ・アート、ミニマル・アート、ランド・アート<br>6～9. ニュー・ペインティング、シミュレーショニズム<br>10～12. マルチカルチュラリズム、ポスト・コロニアリズム、リレーショナル・アート<br>13～14. 戦後日本のアートの動向<br>15. 21 世紀におけるアートの可能性 | | |
| テキスト・参考文献 | 【参考書】『カラー版 20 世紀の美術』（美術出版社）等。他は講義中に随時指示する。 | | |
| 試験・評価方法 | レポート（50%）、出席（50%） | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | この概説は A と B を通して取ることが望ましい。 | | |

# デザイン・工芸論Ａ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知県立芸術大学 | 科目コード | 290607 |
| 担当教員 | デザイン・工芸科教員 | | |
| 学年配当 | １年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　金曜日：３限（1250～1420） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | 芸術資料館演習室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 【授業の目標・テーマ】<br>デザイン･工芸全般と、他の領域にまで及ぶ広い視野で、デザイン･工芸の社会的役割を理解し、プロフェッショナルとしての見識を養うため、デザイン・陶磁、各教員が自己の専門分野を中心に講義する。<br>【授業計画･内容】<br>デザイン・工芸論Ａは、デザイン・工芸学を含む総合的な講座であり、デザイン専攻、陶磁専攻の全員が分担して講義を行う。幅広いデザイン・工芸分野におけるプロフェッショナルとしての見識を養うこと、その歴史を理解すること。またデザイン・工芸科教員スタッフの制作活動や理念、教育方針などに触れることができる。 | | |
| テキスト・参考文献 | 適宜指示する | | |
| 試験・評価方法 | 評価割合　出席点５０％　　レポート点５０％ | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 講義への出席を前提に各期末にレポート提出を課す。 | | |

# デザイン・工芸論B

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知県立芸術大学 | 科目コード | 290608 |
| 担当教員 | デザイン・工芸科教員 | | |
| 学年配当 | 1 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　金曜日：3限（1250～1420） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | 芸術資料館演習室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【授業の目標・テーマ】<br>デザイン･工芸全般と、他の領域にまで及ぶ広い視野で、デザイン･工芸の社会的役割を理解し、プロフェッショナルとしての見識を養うため、デザイン・陶磁、各教員が自己の専門分野を中心に講義する。<br>【授業計画･内容】<br>デザイン・工芸論Bは、デザイン・工芸学を含む総合的な講座であり、デザイン専攻、陶磁専攻の全員が分担して講義を行う。幅広いデザイン・工芸分野におけるプロフェッショナルとしての見識を養うこと、その歴史を理解すること。またデザイン・工芸科教員スタッフの制作活動や理念、教育方針などに触れることができる。 | | |
| テキスト・参考文献 | 適宜指示する | | |
| 試験・評価方法 | 評価割合　出席点５０％　　レポート点５０％ | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 講義への出席を前提に各期末にレポート提出を課す。 | | |

# デザイン史Ａ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知県立芸術大学 | 科目コード | 290609 |
| 担当教員 | 森　仁史 | | |
| 学年配当 | １年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　金曜日：４/５限（隔週）（1430～1740） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | 新講義棟大講義室 | | |
| 履修条件 | デザイン史Ｂと合わせて履修すること。 | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 【授業目的・到達目標】<br>日本のデザインの成り立ちと力量の根源を探り、この習得を通じてデザインを理解、把握する力を養う。なお、デザイン史Ｂと合わせて履修すること。二つの講義は全体でデザインの流れ全体を構成している。<br>【授業内容・スケジュール】<br>　近代日本デザインのうち、「もの」のデザインの歩みを概観し、日本のデザインが身につけた特性と魅力を探り、そこからあるべきデザインの姿、方向について考える。このために、日本のデザインが背負った様々な条件、伝統、外圧がどんなものであったかを具体的に検証分析し、これらの歴史的パースペクティブに基づくことで、デザインを鑑賞し、理解する能力を身につける。<br><br>　とくに近代日本においては、「美術」や「工芸」など隣接概念と関わりながら、デザインが成り立ってきた過程を理解する必要がある。このことは日本デザインの特性であり、魅力の源泉となっているからだ。 | | |
| テキスト・参考文献 | ・近代日本デザイン史（美学出版）2005 年<br>・講義資料（当日配布） | | |
| 試験・評価方法 | 評価割合　出席点 15%　レポート点 15%　期末テスト 70%<br>※講義への出席を前提としてレポート提出を求める。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 特になし | | |

# デザイン史B

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知県立芸術大学 | 科目コード | 290610 |
| 担当教員 | 森　仁史 | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　土曜日：4/5限（隔週）（1430～1740） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | 新講義棟大講義室 | | |
| 履修条件 | デザイン史Aと合わせて履修すること。 | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【授業の目的】<br>日本のデザインの成り立ちと力量の根源を探り、この習得を通じてデザインを理解、把握する力を養う。なお、デザイン史 A と合わせて履修すること。二つの講義は全体でデザインの流れ全体を構成している。<br>【授業内容・スケジュール】<br>庭園と住まいを中心に古代以来の空間デザインの歴史におけるエポックを探る。たんなる通史ではなく、デザインの発生、展開の機縁を明らかにするような方法を求めたい。当然、他文化との接触の問題や近代の底流に潜むこの風土特有の感覚や思想、さらには近代における変容にも言及することになる。できるだけ、具体的な図像を提示して理解を深めるようにする。 | | |
| テキスト・参考文献 | 適宜指示する。講義資料（当日配布）。 | | |
| 試験・評価方法 | 評価割合　出席点 15%　レポート点 15%　期末テスト 70%<br>※講義への出席を前提としてレポート提出を求める。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 特になし | | |

# 音楽学概説

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知県立芸術大学 | 科目コード | 290611 |
| 担当教員 | 安原　雅之 | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　火曜日：5限（1610～1740） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | 新講義棟大講義室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【授業の目的】<br>音楽学のさまざまな方法論を学び、音楽学に対する理解を深める。<br>【到達目標】<br>授業で学んだ方法論を参考に、音楽を考察できるようになる。<br>各自が設定したテーマに基づき、音楽学的なアプローチでレポートをまとめる。<br>【授業内容・スケジュール】<br>1. ガイダンス（イントロダクション）<br>2. 音楽史（1）:音楽における歴史意識<br>3. 音楽史（2）：音楽史の歴史<br>4. 音楽史（3）：音楽事典の歴史<br>5. 作曲家研究（1）： J. S. バッハ<br>6. 作曲家研究（2）： P. I. チャイコフスキー<br>7. 作曲家研究（3）：　D. D ショスタコーヴィチ<br>8. 音楽美学（1）：音楽的時間について<br>9. 音楽美学（2）：新ドイツ楽派 vs ハンスリック<br>10. 音楽社会学：ベンヤミンとアドルノ<br>11. 環境と音楽<br>12. ポピュラー音楽研究<br>13. ジェンダーと音楽<br>14. 音楽とメディア<br>15. まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布する。 | | |
| 試験・評価方法 | 平常点 60%　レポート 40% | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 毎回異なるテーマの講義となるので、出席を重視する。 | | |

# 西洋音楽史概説Ａ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知県立芸術大学 | 科目コード | 290612 |
| 担当教員 | 音楽学コース教員 | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　火曜日：3限（1250～1420） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | 新講義棟大講義室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【授業の目的】<br>1750 年までの西洋音楽史の基礎を把握し、それらの時代の音楽を理解する。<br><br>【到達目標】<br>音楽史の基礎を知識として身につける。<br>実際の音楽を聴いて、様式的特徴を識別できるようになる。<br><br>【授業内容・スケジュール】<br>1. ガイダンス<br>2. 古代ギリシャ、古代ローマの音楽<br>3～5. 中世の音楽（1）？（3）<br>6～8. ルネサンスの音楽（1）？（3）<br>9. 中間テスト<br>10～14. バロックの音楽（1）？（5）<br>15. まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書：Norton Anthology of Western Music Vol. 1 および『はじめての音楽史』（音楽之友社）<br>参考書等については、授業で紹介する。 | | |
| 試験・評価方法 | 出席（30%）、中間・期末テスト（70%）。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 毎回出席をとる。3 分の 1 以上欠席した場合は失格とする。<br>テストでは、リスニング・テストを重視するため、各自でリスニングを自習すること。 | | |

# 西洋音楽史概説B

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知県立芸術大学 | 科目コード | 290613 |
| 担当教員 | 音楽学コース教員 | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　火曜日：3限（1250～1420） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | 新講義棟大講義室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【授業の目的】<br>1750 年までの西洋音楽史の基礎を把握し、それらの時代の音楽を理解する。<br><br>【到達目標】<br>西洋音楽史の基本を知識として身につける。<br>実際の楽曲を聴いて、その作品の様式的特徴を認識できるようになる。<br><br>【授業内容・スケジュール】<br>1. ガイダンス<br>2. 古代ギリシャ、古代ローマの音楽<br>3～5. 中世の音楽（1）？（3）<br>6～8. ルネサンスの音楽（1）？（3）<br>9.中間テスト<br>10～14. バロックの音楽（1）？（5）<br>15. まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書：Norton Anthology of Western Music Vol. 2 および Vol. 3<br>『はじめての音楽史』（音楽之友社）<br>参考書等については、授業で紹介する。 | | |
| 試験・評価方法 | 出席（30%）と中間・期末テスト（70%）。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 毎回出席をとる。3 分の 1 以上欠席した場合は失格とする。<br>テストでは、リスニング・テストを重視するため、各自でリスニングを自習すること。 | | |

# 日本国憲法(基礎から学ぶ日本国憲法)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290701 |
| 担当教員 | 小林　直三（人文社会学部教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　金曜：3 限（1300～1430）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 滝子C2-209 | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 下記の内容の順番で、講義を進めていく予定です。<br><br>（1）イントロダクション：法とは何か？憲法とは何か？<br>（2）法の支配の正当性：立憲主義と民主主義との緊張関係を踏まえて<br>（3）日本国憲法の制定過程<br>（4）日本国憲法の平和主義<br>（5）国民主権について<br>（6）国会と財政<br>（7）内閣と裁判所<br>（8）地方自治<br>（9）人権総論<br>（１０）精神的自由<br>（１１）経済的自由と人身の自由<br>（１２）社会権<br>（１３）参政権<br>（１４）その他の人権について<br>（１５）全体のまとめ<br>（１６）定期試験<br><br>＊テキストの対応する箇所に関して、毎回、予習および復習をするようにしてください。 | | |
| テキスト・参考文献 | 澤野義一・小林直三編『テキストブック憲法（第2版）』（法律文化社、2017 年）<br>＊講義で直接的に用いるわけではありませんが、予習・復習の際に利用して下さい。講義は、このテキストで予習・復習をきちんとしていることを前提に行います。 | | |
| 試験・評価方法 | 定期試験の筆記試験 100% | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | | | |

# 法学１(公権力と法)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290702 |
| 担当教員 | 小林　直三（人文社会学部教授） | | |
| 学年配当 | １年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　木曜日：２限（1040～1210） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 滝子C2-305 | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 下記の順番で講義を行う予定です。<br><br>（１）イントロダクション<br>（２）議院内閣制と国民内閣制論<br>（３）法の支配と法治主義<br>（４）行政裁量<br>（５）行政組織法の基礎<br>（６）行政国家化と行政立法・行政計画<br>（７）行政行為の類型<br>（８）行政上の強制執行と即時執行<br>（９）行政罰<br>（１０）行政手続法と情報法<br>（１１）国家賠償法１条について<br>（１２）国家賠償法２条について<br>（１３）損失補償<br>（１４）行政争訟法<br>（１５）全体のまとめ<br>（１６）定期試験<br><br>＊毎回、講義内容に関連する新聞記事や書籍等を利用して予習を行い、また、事後には講義内容をきちんと復習をするようにしてください。特に復習は十分に心がけてください。 | | |
| テキスト・参考文献 | 芝池義一『行政法読本（第４版）』（有斐閣、2016 年）。<br>＊ 行政法分野では比較的定評のあるテキストです。予習や復習に最適だと思います。ただし、講義そのものはレジュメに基づいて行い、この教科書に沿って行うわけではありませんので、購入は必須ではありません。 | | |
| 試験・評価方法 | 定期試験（100%）で評価します。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | | | |

# 経済学１(経済と社会)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290703 |
| 担当教員 | 山田　恵里（経済学部講師） | | |
| 学年配当 | １年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　月曜：４限（1440～1610）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 滝子C2-402 | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | ４月,9 月 |
| 講義概要 | 第１回　経済学的な考え方と基礎的知識<br>第２回　需要・供給・価格<br>第３回　需要・供給分析の応用<br>第４回　市場取引と資源配分（1）<br>第５回　市場取引と資源配分（2）<br>第６回　消費者行動の理論<br>第７回　企業の費用構造と供給行動<br>第８回　不完全市場<br>第９回　市場の失敗と補正<br>第 10 回マクロ経済学と完全雇用<br>第 11 回有効需要と乗数メカニズム（1）<br>第 12 回有効需要と乗数メカニズム（2）<br>第 13 回経済成長<br>第 14 回貨幣の機能<br>第 15 回マクロ経済政策<br><br>授業時間外の学習:講義ノートを読み返し，講義内容について考察を深めること。 | | |
| テキスト・参考文献 | 指定しない。 | | |
| 試験・評価方法 | 定期試験（100%）。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | | | |

# 経済学２(経済のしくみ)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290704 |
| 担当教員 | 濱口　泰代（経済学部准教授） | | |
| 学年配当 | １年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　木曜：２限（1040～1210）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 滝子C2-301 | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 第１回　授業内容ガイダンス，経済学の十大原理<br>第２回　経済学者らしく考える<br>第３回　消費者と需要：需要曲線<br>第４回　生産者と供給：供給曲線<br>第５回　需給均衡：市場<br>第６回　弾力性とその応用（1）：需要の弾力性<br>第７回　弾力性とその応用（2）：供給の弾力性<br>第８回　市場と効率性（1）：消費者余剰<br>第９回　市場と効率性（2）：生産者余剰，パレート最適<br>第 10 回　市場支配力：完全競争市場と独占・寡占市場<br>第 11 回　市場の失敗（1）：情報の非対称性とその弊害<br>第 12 回　市場の失敗（2）：外部性，公共財<br>第 13 回　政府の役割（1）：効率性と公平性のトレード・オフ<br>第 14 回　政府の役割（2）：市場の監視，市場の失敗の是正<br>第 15 回　総括 | | |
| テキスト・参考文献 | マンキュー経済学Ⅰ ミクロ編(第３版)，ISBN 978-4492314371，東洋経済新報社,2013 年，N.グレゴリー マンキュー（著)，足立英之，柳川隆，石川城太，小川英治，地主敏樹，中馬宏之（翻訳)，4000 円(＋税)． | | |
| 試験・評価方法 | ● 小テスト：計 4～5 回予定（40%）<br>● 期末テスト（60%） | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | ● 試験の日程や受験要領など成績評価に関する詳細は，初回ガイダンス時に説明します．<br>● 授業中の私語や携帯電話の私的な利用は厳禁です．ルールを破った者に対しては，厳しく対処します（テスト受験資格の剥奪，成績評価の減点等）．<br>● 試験におけるカンニング等の不正を行ったことが発覚した場合は，即刻「不可」をつけることになります．<br>● 履修者が少人数の場合は，ディスカッション形式で講義を進めることがあります． | | |

# 経済学３(経済学の考え方)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290705 |
| 担当教員 | 森田　雄一（経済学部教授） | | |
| 学年配当 | １年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　木曜日：１限（900～1030） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 滝子C2-305 | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | １．　なぜ経済学を学ぶのか<br>２．　経済学の考え方<br>３．　需要と供給（１）消費者の行動・・・消費・貯蓄の決定<br>４．　需要と供給（２）生産者の行動・・・生産量の決定<br>５．　需要と供給（３）市場均衡・・・均衡価格・取引量の決定<br>６．　需要と供給（４）市場の効率性<br>７．　需要と供給分析の応用<br>８．　価格機構とその補正（１）・・・市場均衡と安定性<br>９．　価格機構とその補正（２）・・・市場の問題と政府の役割<br>１０．金融（１）・・・貨幣と金融市場<br>１１．金融（２）・・・金融の機能<br>１２．ＧＤＰとは（１）・・・ＧＤＰの概念<br>１３．ＧＤＰとは（２）・・・ＧＤＰの決定<br>１４．経済成長のとらえ方（１）<br>１５．経済成長のとらえ方（２）<br>１６．学期末試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 使用しない | | |
| 試験・評価方法 | 小テスト（30%）、学期末試験（70%）で評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | | | |

# 経営学１(企業と社会、個人の関係)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290706 |
| 担当教員 | 大神　正道（経済学部講師） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　木曜：2 限（1040～1210）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 滝子C2-302 | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 1. ガイダンス<br>2. 近代企業の誕生と経営学<br>3. 経営学の領域<br>4-7. モチベーションとリーダーシップ<br>8. 現場の管理<br>9-10. 組織のデザインと組織文化<br>11-13. 経営戦略とマーケティング<br>14. 組織間関係・国際関係<br>15. まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | 高松朋史・具承桓(2009)『コア・テキスト　経営管理』新世社. | | |
| 試験・評価方法 | 受講者数が多い場合は定期試験のみで評価する。受講者数が少ない（30 名未満）場合は、中間テスト（あるいは中間レポート）と定期試験（あるいは最終レポート）で総合的に判断する。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | | | |

# 経営学２(企業活動の諸相)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290707 |
| 担当教員 | 臼杵　政治（経済学部教授）他 | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　木曜：1 限（900～1030）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 滝子C2-202 | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | ［会計］奥田<br>1．会計の意義<br>2．企業とは<br>3．資本市場<br>4．財務諸表<br>5．まとめと試験<br>［ファイナンス］臼杵<br>6．日本企業(株式会社)の企業統治についての講義（海外との比較）<br>7．ブルドックソースのケースを考える<br>8．映画「ハゲタカ」を見る準備として用語解説と問題呈示<br>9．映画「ハゲタカ」を見て、グループワークとディスカッション<br>10．日本企業のコーポレートガバナンスに関するディスカッションとレポート執筆<br>［情報］茨木（3 号館情報処理教室利用予定）<br>11．最適化理論の基礎<br>12．例題１：連続変数最適化<br>13．例題２：整数変数最適化<br>14．課題作成への準備<br>15．課題作成 | | |
| テキスト・参考文献 | | | |
| 試験・評価方法 | ［会計］試験(100%)により評価します。<br>［ファイナンス］授業（グループワーク）などへの参加度と 1200 字程度のレポートにより評価します。<br>［情報］授業への参加度と最終課題により評価します。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | ［会計］特にありません。<br>［ファイナンス］30 分を超える遅刻は欠席とみなします。<br>［情報］毎回実習を行いますので、遅刻をしないように気をつけてください。<br>会計・ファイナンス・情報とも特に復習をしっかりしてください。 | | |

# 経営学３(組織を取り巻く諸環境について)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290708 |
| 担当教員 | 爲近　英恵（経済学部講師）他 | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　木曜日：2 限（1040～1210） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 滝子C2-301 | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | ［ファイナンス］（渡辺）<br>1．イントロダクション：本講義の構成<br>2. ファイナンスの意義<br>3．企業とファイナンス<br>4．財務諸表の基礎(1)<br>5．財務諸表の基礎(2)<br>6. 財務諸表分析(1)<br>7. 財務諸表分析(2)<br>8. まとめと試験<br>＊履修者の人数次第で、3 号館においてデータの使い方などを解説する時間を設ける可能性がある。授業の進度や受講生の理解などによって変更される場合がある。<br><br>［環境情報］（爲近）※毎回、講義の内容について復習すること。<br>9．イントロダクション<br>10．環境問題とは(1)<br>11．環境問題とは(2)<br>12．二酸化炭素税と排出権取引（1)<br>13．二酸化炭素税と排出権取引（2)<br>14　市場の失敗と環境政策.<br>15．まとめと試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 講義中に配付するレジュメおよび板書などですすめる。 | | |
| 試験・評価方法 | 筆記または課題（100%）（各担当者の最終回の講義時間中にテスト等を行います(計 2 回)） | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 講義時間中または時間外での意見や質問も歓迎する。 | | |

# 社会学１(英国の貧困と福祉国家への道)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290709 |
| 担当教員 | 吉村　公夫（人文社会学部教授） | | |
| 学年配当 | １年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　金曜日：３限（1300～1430） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 社会・マスコミ・情報 | | |
| 教室 | 滝子C2-209 | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | １　近代社会ー資本制社会<br>２　マルサスの貧困観<br>３　スマイルズの「自助論」<br>４　メイヒュウのルポ<br>５　エンゲルスの「労働者階級の状態」、トリスタンのルポ<br>６　チャドウィックの「公衆衛生についての報告書」<br>７　ディケンズの小説に見る貧しい人々<br>８　１８７０年代の大恐慌と社会主義思想の「復活」<br>９　慈善組織協会の思想、救世軍の活動<br>10　ブースの貧困調査<br>11　ロウントリーの貧困調査<br>12　セツルメント活動<br>13　自由党政権による改革<br>14　ベヴァリッジ報告<br>15　福祉国家への施策 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書は使用しない。適宜、プリントを配布予定。 | | |
| 試験・評価方法 | レポート試験で評価する（100%） | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 私語がやまない場合は、退席を求める。 | | |

# 社会学３(ライフコースと家族)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290710 |
| 担当教員 | 安藤　究（人文社会学部准教授） | | |
| 学年配当 | １年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　金曜日：３限（1300～1430） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 社会・マスコミ・情報 | | |
| 教室 | 滝子C2-404 | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ４月,9 月 |
| 講義概要 | ※第２回以降は、各回、予め配布される資料に目を通しておくこと。また、毎回データに基づいてまとめてもらった内容について復習しておくこと。<br><br>第１回　イントロダクション：「ライフコース」と「家族」<br>第２回　大人になるプロセスの変化（２）：離家（１）― 若年層の親子関係<br>第３回　大人になるプロセスの変化（３）：離家（２）― 若年成人子の親との同居<br>第４回　大人になるプロセスの変化（１）：家族形成（結婚）のパターンの変化―「婚活」の背景をさぐる<br>第５回　大人になるプロセスの変化（４）：「戦後日本型青年期」の確立<br>第６回　大人になるプロセスの変化（５）：「戦後日本型青年期」の変容ー「教育から職業」への移行の変化<br>第７回　大人になるプロセスの変化（６）：リスク社会における自立をめぐる問題<br>第８回　「少子化」の背景 ― 女性のライフコース・パターンと福祉レジュームの国際比較<br>第９回　ライフコースを選択する（１） ― 年齢規範意識について<br>第１０回　ライフコースを選択する（２） ― 名古屋市データにみる若年層の年齢規範意識<br>第１１回　歴史的事件の影響―家族を媒介としたライフコースへの影響<br>第１２回　ライフコース分析の戦略（１）：年齢とコーホート<br>第１３回　ライフコース分析の戦略（２）：他者のライフコースの影響・歴史的時間<br>第１４回　ライフコース分析の戦略（３）：Agency<br>第１５回　まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | パワーポイントと配布資料を中心に授業を進める | | |
| 試験・評価方法 | 毎回、データに基づいて講義中に書いてもらう小レポート文 70%<br>試験 30% | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | | | |

# 現代社会１(社会環境論)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290711 |
| 担当教員 | 勝又　正直（看護学部教授） | | |
| 学年配当 | １年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　金曜日：４限（1440～1610） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 社会・マスコミ・情報 | | |
| 教室 | 滝子C2-401 | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ４月,9 月 |
| 講義概要 | １．映画分析１　『パリ・ジュテーム』<br>２．映画分析２　『ラ・ジェタ』<br>３．フィルムを回せ１　『めまい』<br>４．フィルムを回せ２『ローラ・ラン・ローラ』<br>５．　『サイコ』<br>６．『アメリ』<br>７．　カメラを回せ１『羅生門』<br>８．　カメラを回せ２『明日は来たらず』<br>９．　カメラを回せ３『東京物語』<br>１０．　まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | 『ハリウッド白熱教室』（大和書房）ISBN-10: 4479794492<br>講義の動画（リンクに飛んでから１分ほど待つと始まります）：<br>http://v.youku.com/v_show/id_XNTc0NTQ3OTA0.html<br>http://v.youku.com/v_show/id_XNTc0NTQ2MDI4.html<br>http://v.youku.com/v_show/id_XNTc5ODg5MTI0.html<br>http://v.youku.com/v_show/id_XNTc5ODg5NTk2.html<br>http://v.youku.com/v_show/id_XNTgyNDQ3MjUy.html | | |
| 試験・評価方法 | 平常点 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 講義中のメール・スマホは禁止します。目に余る人は学籍番号を聞いて退室してもらいます。二度、退室処分を受けた人は自動的に落第となります。 | | |

# 現代社会２(メディア環境論)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290712 |
| 担当教員 | 勝又　正直（看護学部教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　集中講義：1 限～4 限（900～1610）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 社会・マスコミ・情報 | | |
| 教室 | 滝子C（未定） | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 1.近代とはなんだろうか<br>2.マルクス　資本主義としての近代<br>3.テンニース　ゲゼルシャフト化としての近代<br>4.逆説としての近代　ヴェーバー（1）<br>5.貨幣支配の時代としての近代　漱石とジンメル<br>6.ジンメルからヴェーバーへ　形式合理性の支配する時代<br>7.欲望の喚起装置としての近代---デュルケームとゾラ---<br>8.（悪）夢工場としての現代<br>9.規律化と臣民化としての近代 --- フーコー・アルチュセール ---<br>10.ナショナリズムとしての近代<br>11.世界システムの形成としての近代<br>12.ショック・ドクトリンの時代としての現代<br>13.フロンティアの喪失　アメリカ社会学史への一視角<br>14.強制収容所の時代としての現代<br>15.リスク社会としての現代　まとめ・小テスト | | |
| テキスト・参考文献 | ブログ「社会学しよう！」<br>http://shakaigaku.exblog.jp/i29/5/<br>http://shakaigaku.exblog.jp/i29/4/<br>http://shakaigaku.exblog.jp/i29/3/ | | |
| 試験・評価方法 | 平常点による評価。なお 15 回目の講義の後に小テストをおこないます。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 私語・飲食・私用メール・私用スマホは禁止します。目に余る人は学籍番号を聞いて退室してもらいます。二度、退室処分を受けた人は自動的に落第となります。 | | |

# 現代社会４(自然の保護・保全と経済発展を考える)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290713 |
| 担当教員 | 奥田　郁夫（芸術工学部教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　木曜日：2 限（1040～1210） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 社会・マスコミ・情報 | | |
| 教室 | 滝子C2-404 | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 1. ジョン・ミューアと自然保護 preservation<br>2. 西部開拓；原生林開発とギフォード・ピンショの保全 conservation<br>3. 西部開拓と公有放牧地の管理<br>4. 西部開拓と残された「自然」の保護；ジョン・ミューアの「神」<br>5. ウィルダネス協会 Wilderness Society とロードレス・エリア roadless area の保全<br>6. アラスカ小史；ロシアからアメリカ合衆国へ<br>7. アラスカ先住民のひとびとのくらし<br>8. ANCSA；アラスカ先住民のひとびとの土地所有権・確立過程<br>9. 先住民のひとびとの経済的自立のためのコーポレーション corporation 方式による土地所有<br>10. 1980 年代 先住民企業 native corporations による森林開発とその終焉<br>11. 1990 年代 トンガス国有林の保全政策<br>12. 2000 年代 南東アラスカ木材生産の縮小と持続可能な森林管理<br>13. 1970 年代 自然保護をめぐる対立の 10 年<br>14. グレイシャー・ベイにおけるフーナ・トーテム・コーポレーションの観光開発について<br>15. グレイシャー・ベイ国立公園と先住民のひとびとの自給経済<br><br>授業時間外の学習について；<br>　毎回の授業の内容に関して復習しながら、自分自身の考え方（判断）を形作っていってほしい。また、日々、新聞やオンラインニュースなどによって、本科目関連の記事などを読むよう、心がけてください。 | | |
| テキスト・参考文献 | ありません（授業に必要な資料は、プリントして配布します）。 | | |
| 試験・評価方法 | 筆記試験またはレポートの内容が、上記「学習到達目標」に叶っていること。<br>筆記試験またはレポート 100%。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | これまで、環境をめぐる諸問題にあまり興味をもてなかった、という人に受講してほしい。ただし、板書の分量が少なくないので、その作業が苦にならない人が望ましい。 | | |

# 現代社会５(平和論)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290714 |
| 担当教員 | 平田　雅己（人文社会学部准教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　木曜：2 限（1040～1210）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 社会・マスコミ・情報 | | |
| 教室 | 滝子C2-401 | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 第 1 回:授業概要説明（平田雅己）<br>第 2 回:個からつながる平和（平田雅己）<br>第 3 回:戦争と平和の資料館ピースあいちとは何か（ピースあいち事務局長・宮原大輔）<br>第 4 回:ピンポン外交と日中関係（名古屋テレビディレクター・村瀬史憲）<br>第 5 回:『はだしのゲン』が中国を駆け巡りたい理由（フリーアナウンサー・坂東弘美）<br>第 6 回:名古屋と沖縄・名古屋の沖縄（阪井芳貴）<br>第 7 回:戦後沖縄の歩みと沖縄差別（「命どぅ宝あいち」の会・新城正男）<br>第 8 回:平和を演じる―平演会の 30 年（劇作家・なかとしお）<br>第 9 回:戦時下の朝鮮人連行（山本明代）<br>第 10 回:朝鮮女子勤労挺身隊への取り組みと支援活動について（挺身隊訴訟を支援する会・高橋信）<br>第 11 回:「慰安婦」問題を理解する（菊地夏野）<br>第 12 回:ハルモニを撮り続けて（写真家・アンセホン）<br>第 13 回:射能汚染からの避難体験（あゆみ R.P.Net 代表・井川景子）<br>第 14 回:服部夫妻と銃社会アメリカ（YOSHI の会・服部美恵子）<br>第 15 回:全体の振り返り（平田・阪井・菊地・山本） | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書として平田雅己・菊地夏野編『ナゴヤ・ピース・ストーリーズ―ほんとうの平和を地域から』（風媒社、2015 年）を使用します。山の畑キャンパス生協書籍部にて販売します。事前に購入の上、毎回の授業に持参してください。 | | |
| 試験・評価方法 | 出欠（30%）と中間レポート 1 本（30%）と期末レポート 1 本（40%）の総合評価によって成績を判定します。具体的な課題については第 1 回目の授業で触れます。受講生には出欠確認用にリアクションペーパーを書いてもらいますが、内容はあくまで授業担当者へのメッセージ用で評価対象にはなりません。思ったことを自由に書いてください。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 受講生は毎回、予習としてテキスト『ナゴヤ・ピース・ストーリーズ』の該当箇所をしっかり読み、意見や質問事項を準備し、本持参で授業に臨んでください。 | | |

# 現代社会と政治(私たちの暮らしと政治・行政・地方自治)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290715 |
| 担当教員 | 三浦　哲司（人文社会学部准教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　木曜日：2 限（1040～1210） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 社会・マスコミ・情報 | | |
| 教室 | 滝子C2-208 | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | １　オリエンテーション<br>２　政治とは何だろう？<br>３　民主主義について考えよう<br>４　政治家は何をしているの？<br>５　政治家にとって選挙は何を意味するの？<br>６　有権者から選ばれるということ<br>７　政治にとって議会は何を意味するの？<br>８　私のまちの議会は何をしているの？<br>９　グループワークその１－名市大生の投票率を向上させよう！<br>１０　グループワークその２－名市大生の投票率を向上させよう！<br>１１　模擬投票の実施と講評<br>１２　はじめての選挙にむけて<br>１３　あらためて考えるーなぜ若者が政治参加する必要があるの？<br>１４　若者政策はじめましたーある自治体の挑戦<br>１５　これまでの授業のまとめ | | |
| テキスト・参考文献 | レジュメを使用しながら授業を進めます。 | | |
| 試験・評価方法 | ・授業ごとのフィードバックシート　30%<br>・中間レポート　30%<br>・定期試験期間中の筆記試験　40% | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 提出期限を過ぎたレポートは、一切受け付けませんので注意してください。 | | |

# 国際社会と政治(歴史と文化)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290716 |
| 担当教員 | 平田　雅己（人文社会学部准教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　木曜：2 限（1040～1210）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 滝子C2-402 | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 1.講義概要説明<br>2.1960 年代という時代<br>3.平和革命(1)ベトナム戦争とは何か<br>4.平和革命(2)ベトナム反戦運動<br>5.第 1 回読書会（対象文献）アレン・ネルソン『ネルソンさん、あなたは人を殺しましたか』<br>6.黒人革命(1)キングと公民権運動<br>7.黒人革命(2)「ブラック・パワー」再考<br>8.第 2 回読書会（対象文献）ジェームス・バーダマン『黒人差別とアメリカ公民権運動―名もなき人々の戦いの記録』<br>9.性革命(1)女性解放運動の成果と課題<br>10.性革命(2)同性愛者解放運動の台頭<br>11.第 3 回読書会（対象文献）ハーヴェイ・ミルク『ミルク』上下巻<br>12.文化革命(1)ロック・ミュージックと反戦―ジョン・レノンの活動を中心に<br>13.文化革命(2)「ニューシネマ」に投影される時代精神―『卒業』と『イージーライダー』<br>14.文化革命(3)アートとしてのアメリカ―アンディ・ウォーホルの作品と思想<br>15.まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書は使用しない。毎回プリントを配布する。なお授業計画に記された読書会対象文献 3 冊は各自早めに購入すること。 | | |
| 試験・評価方法 | 3 冊の読書感想文（30%）、期末筆記試験（60%）、リアクションペーパー（10%） | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 数年前、大学生の 4 割が 1 日の読書時間ゼロと回答したあるアンケート調査の結果に驚愕した。若者に限らず、近年、本を買って一人でじっくり読む、という行為が軽視される社会風潮にあるように感じられる。講義担当者は知の原点として読書を重視している。読書を敬遠したい学生は本科目の受講をご遠慮願いたい。 | | |

# 文化の理解１(日本語のしくみと文章表現)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290717 |
| 担当教員 | 成田　徹男（人文社会学部教授） | | |
| 学年配当 | １年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　金曜日：４限（1440～1610） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | 滝子C2-207 | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 第１回　ことばは変なもの<br>第２回　「うそ」とは何だろう？<br>第３回　ことばはことばについて語ることができる<br>第４回　ことばは変わる<br>第５回　ことばの変異<br>第６回　言語はなぜ通じ、そして時に通じないのか？<br>第７回　ことばは要素に分けられる<br>第８回　ことばの要素<br>第９回　ことばの分節性<br>第１０回　ことばのきまりを発見しよう―複合語の語構成<br>第１１回　ことばのきまりを発見しよう―複合語の連濁<br>第１２回　「お」と「を」の発音は違うか？<br>第１３回　「もとずく」か「もとづく」か、「うなずく」か「うなづく」か<br>第１４回　「Ono」さんは、「小野」さんか「大野」さんか？<br>第１５回　「さかさ」の逆は「さかさ」、「秋」の反対は「烏賊」<br>課された「小課題」について調べたり考えたりしておき、回答を「小課題・質問等記入用紙」に書くこと。また、返却した提出課題について、必ず、見直すこと。 | | |
| テキスト・参考文献 | テキストは使用しない。随時、説明プリントを配布する。 | | |
| 試験・評価方法 | 毎回の提出物（小課題・質問等記入用紙）の提出状況とその内容 30%（２%×１５）、および課題提出物（ワークシート・課題）の提出状況とその内容 70%（５%×１４）による。試験は実施しない。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | | | |

# 文化の理解５(東ヨーロッパの文化と歴史)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290718 |
| 担当教員 | 山本　明代（人文社会学部教授） | | |
| 学年配当 | １年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　木曜：1 限（900～1030）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | 滝子C2-209 | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | ４月,9 月 |
| 講義概要 | 第１回概要説明<br>第２回 1950 年代のハンガリー社会<br>第３回 1956 年ポーランドとハンガリー<br>第４回 1956 年ハンガリー革命の発端<br>第５回ハンガリー革命の動向（1）学生たち<br>第６回ハンガリー革命の動向（2）中立化<br>第７回ハンガリー革命と国際情勢<br>第８回革命崩壊と難民の発生<br>第９回アメリカ合衆国のハンガリー難民受入れ（1）アイゼンハワー政権の政策<br>第 10 回アメリカ合衆国のハンガリー難民受入れ（2）フィランソロピストと科学者たち<br>第 11 回アメリカ合衆国のハンガリー難民受入れ（3）ボランティアをする市民たち<br>第 12 回アメリカの大学でのハンガリー学生の活動<br>第 13 回ハンガリー学生のアジア諸国と日本への訪問<br>第 14 回日本と 1956 年ハンガリー革命<br>第 15 回まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書・テキストは使用しない。毎回プリントを配布する。 | | |
| 試験・評価方法 | 毎回の授業のリアクションペーパー(40%)とレポート(60%)で評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | ・想像力を発揮して過去の社会を考え、現在と未来にいかせる視点やアイディアを得よう。<br>・受け身ではなく、自分の考えをまとめ、積極的に発言をしよう。 | | |

# 歴史の認識１(文化に見る歴史)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290719 |
| 担当教員 | 奥田　伸子（人文社会学部教授） | | |
| 学年配当 | １年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　金曜：３限（1300～1430）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | 滝子C2-402 | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 第　１回（　４月 14 日）講義概要と今後の進め方の説明、報告課題とレポートについて<br>第　２回（　４月 21 日）シャーロック・ホームズの「孤独な自転車乗り」についてー作品の説明・<br>報告グループ分け<br>第　３回（　４月 28 日）19 世紀イギリスにおける女性<br>第　４回（　５月 12 日）ジェンダー史とは何か<br>第　５回（　５月 19 日）「母を訪ねて 3000 里」についてー作品の説明<br>第　６回（　５月 26 日）19 世紀における移民<br>第　７回（　６月２日）移民と歴史<br>第　８回（　６月９日）「吸血鬼ドラキュラ」-作品の説明<br>第　９回（　６月 16 日）世紀末イギリスと排外主義<br>第１０回（　６月 23 日）表象研究とは何か<br>第１１回（　６月 30 日）「ポカホンタス」について-作品の説明<br>第１２回（　７月７日）オリエンタリズムとは何か<br>第１３回（　７月 13 日）植民地主義とオリエンタリズム<br>第１４回（　７月 20 日）学生報告１<br>第１５回（　７月 27 日）学生報告２<br><br>学生報告は、第１回目に課題を指示し、第２回目に希望を住してグループ分けを行う。<br>報告についてグループの全員がそれぞれ貢献をすること。自身が貢献したことをもとにレポートを提出するること。<br><br>予習復習だが、報告の準備とレポートを作成することが予習復習になる。 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書は利用しないが、以下の本は、報告および課題の選択、調査のスターティングポイントである<br><br>藤川隆男編『アニメで読む世界史』　山川出版社　2011 年<br>藤川隆男・後藤敦史編『アニメで読む世界史　２』山川出版社　2015 年 | | |
| 試験・評価方法 | 毎回の講義後の感想文 10 点、報告 30 点、レポート 60 点で採点する。<br><br>なお、課題は参考書（下記参考)にある題材から選択することになるが、単なる参考書の要約は不可である。必ず自分なりの疑問、調査を行うこと。そのためには、自分が選択した作品を読む、あるいは映像を見ること、疑問を持ち、調査をすることが求められる。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 履修登録者数によるが、数名でグループを組み、一つの作品をさまざまな観点(歴史的・文化研究的など）から検討し、成果をまとめ、報告することが単位取得の要件の一つである。講義を受身で聞いているだけでは不十分である。自ら、作品にあたり、疑問を持ち、調査をすることを心がけて欲しい。 | | |

# 人間性の探求１(音楽と文化)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290720 |
| 担当教員 | 古賀　弘之（人文社会学部准教授） | | |
| 学年配当 | １年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　金曜日：３限（1300～1430） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | 滝子C2-207 | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 毎回、様々な時代・作曲家の音楽を鑑賞しますが、１回限り聴いただけでは忘れてしまいます。授業で紹介された楽曲について、CD や DVD、YouTube 等で再度聴いておいてください。<br><br>第１回　オリエンテーション<br>第２回　中世・ルネッサンス<br>　　宗教音楽と世俗音楽<br>第３回　バロック１<br>　　オペラ・バレエの誕生　モンテヴェルディ『オルフェオ』<br>第４回　バロック２<br>　　バッハとヘンデル　バッハの世俗曲『コーヒー・カンタータ』<br>第５回　バロック３<br>　　バッハとヘンデル　カストラート（去勢歌手）の音楽：ヘンデル『セルセ』<br>第６回　古典派１<br>　　ハイドンとモーツァルト　交響曲・弦楽四重奏曲の誕生<br>第７回　古典派２<br>　　ハイドンとモーツァルト　謎だらけのオペラ：モーツァルト『魔笛』<br>第８回　古典派３<br>　　ベートーヴェン　救出オペラ：ベートーヴェン『フィデリオ』<br>第９回　ロマン派１<br>　　ドイツ・ロマン主義オペラ　30 年戦争後の奇妙なおとぎ話：ウェーバー『魔弾の射手』<br>第 10 回　ロマン派２<br>　　イタリア・オペラ　実際の事件が原作：ベッリーニ『清教徒』<br>第 11 回　ロマン派３<br>　　ドイツ・リート：シューベルトとシューマン　シューベルト：『魔王』<br>第 12 回　ロマン派４<br>　　超絶技巧の音楽：ショパン、リスト、パガニーニ<br>第 13 回　ロマン派５<br>　　イタリア・オペラ：ヴェルディ『椿姫』<br>第 14 回　ロマン派６<br>　　ベルリオーズ、ブラームス、ドヴォルザーク<br>　　国民楽派のオペラ　ボロディン『イーゴリ公』から「だったん人の踊り」<br>第 15 回　ロマン派７<br>　　バレエと音楽：チャイコフスキーの３大バレエ　『くるみ割り人形』『白鳥の湖』『眠れる森の美女』 | | |
| テキスト・参考文献 | テキストは使用しません。授業時に資料を配布します。 | | |
| 試験・評価方法 | 出席 20%、試験 80%により評価します。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記 | | | |

| 事項 | |
| --- | --- |

# 人間性の探求２(デザインと情報)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290721 |
| 担当教員 | 松本　貴裕（芸術工学部准教授）他 | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　金曜：3 限（1300～1430）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | 滝子C2-401 | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 1. 環境情報学の概要+芸術工学部の紹介（草間教授）<br>2. コンピューターグラフィックスの概要（高橋教授）<br>3. 映像と映像制作の概要（栗原教授）<br>4. 情報通信工学：人工現実感（塙准教授）<br>5. 知能メディア・バーチャルリアリティの概要　（小鷹准教授）<br>6. メディア表現・映像デザインの概要（中川准教授）<br>7. テキスタイルワークおよびデザイン（藤井准教授）<br>8. 現代音楽：コンピューターミュージック（水野教授）<br>9. ロボティクスとメディカルデザイン（加藤准教授）<br>10. インタラクションデザインの概要（大坪准教授）<br>11. デザインの本質（國本教授）<br>12. 人間工学：生体情報処理（横山教授）<br>13. グラフィックデザイン：視覚環境デザインの観点から（Firfova 講師）<br>14. グラフィックデザイン：コミュニケーションデザインの観点から（森教授）<br>15. 全体まとめ（松本教授）<br><br>＊毎回，異なる内容の授業が展開されるので，復習しておくこと。<br>＊教養ある人間となるために，各授業で使われる専門用語の理解に努めること。<br>＊授業内容および担当講師の順番は，講師の都合により変更となる場合があります。 | | |
| テキスト・参考文献 | 適宜折に触れて講義内で紹介する。 | | |
| 試験・評価方法 | 授業参加の積極性で評価する。また，最終回に課題を課し，これにより評価をおこなう。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 【履修者上限数　１４０名】 | | |

# 哲学と倫理１(自分とみんなで考える哲学)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290722 |
| 担当教員 | 伊藤　恭彦（人文社会学部教授） | | |
| 学年配当 | １年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　木曜：２限（1040～1210）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | 滝子C2-401 | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | １．イントロダクション―「哲」を学ぶとは？授業の進め方の説明<br>２．グループをつくる（配布資料による予習・復習）<br>３．テーマ１「この世は夢か幻か」―認識論：グループワーク（配布資料による予習・復習）<br>４．テーマ１「この世は夢か幻か」―認識論：グループ発表（配布資料による予習・復習）<br>５．テーマ１「この世は夢か幻か」－認識論：哲学書読解のグループワーク（配布資料による予習・復習）<br>６．テーマ１「この世は夢か幻か」－講義<br>７．テーマ２「幸福の薬飲みますか？」―人生論:グループワーク（配付資料による予習・復習）<br>８．テーマ２「幸福の薬飲みますか？」―人生論:グループ発表（配付資料による予習・復習）<br>９．テーマ２「幸福の薬飲みますか？」－人生論：哲学書読解グループワーク（配布資料による予習・復習）<br>１０．テーマ２「幸福の薬飲みますか？」－講義<br>１１．テーマ３「なぜカンニングをしてはいけないのか」―正義論：グループワーク（配布資料による予習・復習）<br>１２．テーマ３「なぜカンニングをしてはいけないのか」―正義論：グループ発表（配布資料による予習・復習）<br>１３．テーマ４「恋人を助けるか、他人を助けるか」－正義論：グループワーク（配布資料による予習・復習）<br>１４．テーマ４「恋人を助けるか、他人を助けるか」－正義論：グループ発表（配布資料による予習・復習）<br>１５．講義のまとめ | | |
| テキスト・参考文献 | ありません | | |
| 試験・評価方法 | グループ活動での活動 60%　期末レポート 40% | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 毎回、出席して楽しくグループワークをすることが受講条件です。 | | |

# 哲学と倫理２(討論の中で問題を発見する哲学)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290723 |
| 担当教員 | 別所　良美（人文社会学部教授） | | |
| 学年配当 | １年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　金曜日：５限（1620～1750） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | 滝子C2-208 | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ４月,9 月 |
| 講義概要 | １．導入：「討論の中で問題を発見する哲学」について説明。次回の討論の問題を決める。<br>２．人格（１）<br>●「私」が存在していることに意味はあるの？　●なぜ他者（ひと）を殺してはいけないのか？／なぜいじめはいけないの？　●自殺は罪ですか？　●なぜ動物を虐待してはいけないのか？の中から１・２問につて肯定・否定グループの報告と討論。次回の問題選択。担当グループ以外のひとも自分なりに考えておくのが予習。復習は次回の最初に発表する追加コメント。（この手順は以下同じです。）<br>３．人格（２）<br>上記の残りの問題について、同様の手順で議論。<br>４．平等（１）<br>●人間は平等なのか？平等にすべきなのか？　●セクシュアル・ハラスメントは犯罪なのか？●アファーマティブ・アクションは差別を増大させないか？　●多数者の幸福のために一人を犠牲にしてもよいのか？<br>５．平等（２）<br>上記の残りの問題について、同様の手順で議論。<br>６．生命倫理（１）<br>●着床前診断で異常があれば中絶しますか？　●臓器移植で生き延びて幸福になれるのか？●その他（学生の皆さんが提案するもの：以下同様）<br>７．生命倫理（２）<br>上記の残りの問題について、同様の手順で議論。<br>８．国家と共同体（１）<br>●あなたは日本を愛していますか？それはなぜ？　●選挙で投票することに何の意味があるのか？　●民族の罪を私は引き受けるべきか？　●その他<br>９．国家と共同体（２）<br>上記の残りの問題について、同様の手順で議論。<br>10．労働と経済（１）<br>●「正当な」賃金はどのように決められるのか？　●商品にはなぜ値段がついているのか？●ゴッホの「ひまわり」は何十億円の価値があるの？　●人はなぜ働かなければならないのか？<br>11．労働と経済（２）<br>上記の残りの問題について、同様の手順で議論。<br>12.自然・環境（１）<br>●なぜ自然を保護しなければならないのか？　●経済発展と自然保護とどちらが大事か判断できますか？　●原子力発電所は必要か？<br>13.自然・環境（２）<br>上記の残りの問題について、同様の手順で議論。<br>14.まとめ討論（１）<br>学生の皆さんの提案した問題について討論する。<br>15.まとめ討論（２）<br>学生の皆さんの提案した問題について討論する。 | | |
| テキスト・参考文献 | なし | | |
| 試験・評価方法 | 平常点（出席点と報告・議論参加点と設問回答点）：５０％<br>発表点：３０％ | | |

| | |
|---|---|
| | 期末レポート試験：２０％ |
| 別途必要な経費 | なし |
| その他特記事項 | |

# 心理学１

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290724 |
| 担当教員 | 天谷　祐子（人文社会学部准教授） | | |
| 学年配当 | １年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　木曜日：１限（900～1030） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 滝子C2-207 | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ４月,9 月 |
| 講義概要 | 第１回　1.人の心理学的理解　1)基礎理論　歴史的経緯・心理学の研究方法<br>第２回　1.人の心理学的理解　2)知覚と記憶<br>第３回　1.人の心理学的理解　3)測定と診断　パーソナリティ<br>第４回　1.人の心理学的理解　4)測定と診断　心理統計<br>第５回　1.人の心理学的理解　5)欲求と行動<br>第６回　1.人の心理学的理解　6)学習心理学とその応用<br>第７回　2.人間の生涯発達　1)発達の基礎<br>第８回　2.人間の生涯発達　2)乳幼児期から児童期の発達と臨床的問題<br>第９回　2.人間の生涯発達　3)青年期の発達課題と臨床的問題<br>第１０回　3.日常生活と心の健康　職業生活と心の健康<br>第１１回　4.心理的支援の方法と実際　1)精神分析的心理療法<br>第１２回　4.心理的支援の方法と実際　2)来談者中心療法<br>第１３回　4.心理的支援の方法と実際　3)行動療法<br>第１４回　対人認知<br>第１５回　まとめ<br><br>毎回、授業のレジュメ以外に、その日の授業または次回の授業に関連した内容の資料を配布するので、<br>読んで予習・復習をしてくること | | |
| テキスト・参考文献 | 使用しない<br>毎回授業のレジュメを配布する | | |
| 試験・評価方法 | 出席点(15%)、授業内小レポート(5%)、筆記試験(80%)で評価する | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | | | |

# 心理学２(こころ・身体・環境のダイナミックス)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290725 |
| 担当教員 | 久保田　健市（人文社会学部教授） | | |
| 学年配当 | １年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　月曜日：４限（1440～1610） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 滝子C2-405 | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | ４月,9 月 |
| 講義概要 | おおむね,以下のスケジュールに従い,講義を行う.<br>受講生は，授業の予復習のために，授業の各回ごとにウェブ上にて授業内容に関連した小テストに必ず回答すること（小テストの回答も授業考査の一部とする）.<br><br>第１週 オリエンテーション，心理学とはどんな学問か?<br>第２週 「科学」と「神話」　～オオカミ少女はいなかった!?<br>第３週 脳と「こころ」　～認知障害者の内界を探る<br>第４週 人格　～「私らしさ」をどうとらえるのか<br>第５週 学習理論とその応用<br>第６週 子どもの「こころ」　～子どもは世界をどのように見ているか<br>第７週 なぜ犯罪者は悪人なのか　～原因帰属<br>第８週 見え方・感じ方のふしぎ　～立体視と情動二要因説<br>第９週 意識と記憶　～認知的反応で探る「こころ」<br>第 10 週 生活環境と心理<br>第 11 週 リスク　～不確実な世界の認知<br>第 12 週 組織の失敗　～ヒューマン・エラーと大事故<br>第 13 週 ストレスに強いこころ<br>第 14 週 「他者」とは何者か　～社会的動物としての人間<br>第 15 週 「わたし」のキャリア・デザイン | | |
| テキスト・参考文献 | 【テキスト】<br>指定せず | | |
| 試験・評価方法 | 期末定期試験(50%)・平常点(20%)・授業回ごとの小テスト(25%)・学生自己評価(5%)を総合して行う. | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 特別な理由で履修に支障が生じた者(病気で長期にわたり欠席するなど)は,早めに申し出ること.<br>「心理学２」では，受講生の出席状況を評価の一部に考慮する方針のために，授業開始時に出席カードを配布しています．出席の不正も期末試験時のカンニングと同じレベルの行為です．不正をしていることには変わりなく，決して軽々しいことではありません．代返をした者，および，その手助けをした者は，この授業における出席点分の考査は０になると考えてください.<br>授業の各回ごとにウェブ上にて小テストを実施します．必ず解くようにしてください(授業への参加度の考査に利用します）．詳しい url などは学務情報システムを通じて連絡します．締め切りは授業日の翌日 23:59 です. | | |

# 人間と教育１(現代教育の諸相)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290726 |
| 担当教員 | 原田　信之（人文社会学部教授）他 | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　月曜日：４限（1440～1610） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 滝子C2-209 | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | １　科目ガイダンス：グループワークへの取り組み方<br>２　「いじめ」の実態から見た現代の子どもを取り巻く環境<br>３　「いじめ」の映像資料、音声資料から実態に迫る<br>４　経験を交流し、広い視野から問題性を認識する<br>５　４つの当事者性から問題の所在を考察する<br>６　４つの当事者性から、問題解決のむずかしさを紐解く<br>７　問題解決の方途を考察する。<br>８　グループでの成果発表<br>９　自己と「他者」との関わり<br>10 「わたし」をとりまく「他者」のまなざし（１）生徒<br>11 「わたし」をとりまく「他者」のまなざし（２）子<br>12 「わたし」をとりまく「他者」のまなざし（３）友達<br>13 「わたし」をとりまく「他者」のまなざし（４）外国にルーツのある者<br>14 「わたし」をとりまく「他者」のまなざし（５）異なるセクシュアリティ<br>15 他者と「いる」場づくりにむけて | | |
| テキスト・参考文献 | | | |
| 試験・評価方法 | 担当教員ごとに課す授業中の小レポートにより平均点を出し評価する。積極的な参加状況（20%）を評価の総点に加える。第８回目のグループでの成果発表に欠席した者、及び３分の１以上授業を欠席した者（遅刻は 0.5 回の欠席とみなす）は評定の対象としない。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | | | |

# 人間と教育２(次世代育成と地域の課題)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290727 |
| 担当教員 | 上田　敏丈（人文社会学部准教授）他 | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　木曜日：2 限（1040～1210） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 滝子C2-403 | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 1.オリエンテーション、次世代育成とは何か、理論・歴史・課題<br>2.母親と子育て（乳幼児期の子育ての大変さ）<br>3.乳幼児期と学齢期の子どもの子育ての違い<br>4.子育て本と雑誌、テレビと小学生、中学生、高校生の子育て<br>5.地域で小学生、中学生、高校生を育てる<br>6.小学生を教育すること<br>7.中学生を教育すること<br>8.高校生を教育すること<br>9.「教える／教えられる」とは何か<br>10. 子どもをどのようにみるか<br>11. 子どもをどのように教えるのか<br>12. 地域で子育てを行うこと(1)　幼稚園・保育所の役割<br>13. 地域で子育てを行うこと(2)　子育てサロン<br>14. 地域で子育てを行うこと(3)　自分に何ができるのか<br>15. 総括：次世代育成の課題と未来 | | |
| テキスト・参考文献 | 柏女霊峰『子ども家庭福祉論』 誠信書房、2009 年 1 月<br>杉山千佳『はじめよう！子育て支援・次世代育成支援』日本評論社、2009 年 01 月<br>授業中、適宜、資料を配付する。 | | |
| 試験・評価方法 | 出席点 30%と前半・後半の授業でそれぞれ１回提出するレポートの成績 70%の総合点。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | | | |

# 人間と自然５(動物とヒトとの進化多様性)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290728 |
| 担当教員 | 熊澤　慶伯（自然科学研究教育センター教授）他 | | |
| 学年配当 | １年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　金曜日：３限（1300～1430） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 生物 | | |
| 教室 | 滝子C2-201 | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | １、生態学入門（村瀬）：生活史、適応戦略<br>２、生態系のなりたち（村瀬）： 食物連鎖、総合防除<br>３、生物多様性（村瀬）：保全生物学、持続可能な生物資源利用<br>４、分子進化学の基礎Ⅰ（鈴木）：DNA・タンパク質の構造と機能、ヒトゲノム<br>５、分子進化学の基礎Ⅱ（鈴木）：分子進化、集団遺伝学<br>６、ヒトの病気とウィルス（鈴木）：ヒト疾患とウィルス進化<br>７、進化学入門（熊澤）：生命の誕生と動物への進化<br>８、系統分類の基礎（熊澤）：種の定義、二名法、系統分類<br>９、脊椎動物の多様化（熊澤）：主要分類群の特徴の概観<br>１０、水族館とは（春日井）：水生生物の飼育、展示、繁殖、保全<br>１１、水族館実習Ⅰ（春日井）：水生動物の機能構造、水界への適応<br>１２、水族館実習Ⅱ（春日井）：水生動物の適応放散と収斂、生物保全活動<br>１３、動物園とは（橋川）：多様な動物の飼育、展示、繁殖、保全と環境教育<br>１４、動物園実習Ⅰ（橋川）：陸生動物の機能構造とその進化<br>１５、動物園実習Ⅱ（橋川）：陸生動物の飼育、繁殖、保全の取組み<br><br>１－１０までは、４－６月の毎週金曜日３限目に名市大滝子キャンパスで講義を行う。１１－１２は、９月上旬のある平日において、半日をかけて名古屋港水族館において集中形式で行う。１３－１５は、９月上旬の別の平日において、東山動物園において集中形式で行う。集中形式で行う授業の詳細（集合時刻や集合場所、携帯品など）は、教室で行う授業のなかで指示する。<br><br>授業への予習は特に求めないが、講義や実習の後には、授業中に紹介した書籍や関連するウェブサイトなどを参考にして、授業内容の復習をしっかり行うこと。 | | |
| テキスト・参考文献 | 参考図書は授業中に紹介する。プリントは授業中に配布する。 | | |
| 試験・評価方法 | 出席状況及び講義への参加態度（50%）と教員ごとに課されるレポート（50%）で総合評価する。<br>講義中や実習中などに質問や意見を述べるなど、積極的な授業参加態度を示す者の評価を上げることがある。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 名古屋港水族館及び東山動物園で行われる実習へのフルタイムでの参加は必須条件である。それらに参加できない可能性がある者は履修登録しないこと。両所への交通費及び入館料・入園料は各自の負担となる。また、定員を４０名までとする。 | | |

# 人間と自然６(社会と医学)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290729 |
| 担当教員 | 青木　康博（医学部教授）他 | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　金曜日：4 限（1440～1610） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 数学・物理・化学 | | |
| 教室 | 滝子C2-401 | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 第 1 回(4/14) 日本の死因究明制度（青木康博）<br>第 2 回(4/21) 日本人の寿命と健康（永谷照男）<br>第 3 回(4/28) 日常生活に潜む健康障害リスク要因（伊藤由起）<br>第 4 回(5/12) 医療安全文化とマネジメントシステム（榎原　毅）<br>第 5 回(5/19) 結核になったらどうなるの？（細野晃弘）<br>第 6 回(5/26) 統計，因果関係とエビデンス-1（鈴木貞夫）<br>第 7 回(6/2) 統計，因果関係とエビデンス-2（鈴木貞夫）<br>第 8 回(6/9) 化学物質と健康（上島通浩）<br>第 9 回(6/16) 情報化社会と医学（片野広之）<br>第 10 回(6/23) 働く人の健康（佐藤博貴）<br>第 11 回(6/30) 新しい薬はどのように生まれるか（神谷　武）<br>第 12 回(7/7) 薬物乱用と依存（菅野さな枝）<br>第 13 回(7/14) スポーツにおけるアンチ・ドーピング・コントロール（青木康博）<br>第 14 回(7/21) オープンデータとオープンサイエンス（玉井裕也）<br>第 15 回(7/28) 児童虐待（加藤秀章） | | |
| テキスト・参考文献 | 医療情報（日本医療情報学会編全 3 巻）（篠原出版新社）、テキスト健康科学（南江堂） | | |
| 試験・評価方法 | 7 割以上の出席と筆記試験 100% | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | | | |

# 人間と自然7(くすりと社会)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290730 |
| 担当教員 | 松永　民秀（薬学部教授）他 | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　金曜日：4 限（1440～1610） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 数学・物理・化学 | | |
| 教室 | 滝子C2-404 | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 1. 講義の概要と注意事項・薬の種類と飲み方（松永）<br>2. 遺伝子を標的とする医薬品（築地）<br>3. 脳疾患の原因解明研究と治療法（築地）<br>4. どうしたら子供は薬を飲んでくれる？（青山）<br>5. 現代社会における薬用植物の利用（牧野）<br>6. ダイナマイトと薬（山村）<br>7. 薬物動態学入門：薬の体内での動きを考える（湯浅）<br>8. 薬を作るために必要なこと（肥田）<br>9. 生活改善薬とサプリメント（服部）<br>10. 再生医療と移植医療（服部）<br>11. 医療用麻薬と乱用麻薬（大澤）<br>12. 薬の相互作用（前田）<br>13. 薬による副作用（頭金）<br>14. 糖尿病患者を支える医療（菊池）<br>15. 薬と保険制度（鈴木） | | |
| テキスト・参考文献 | 毎回プリント配布 | | |
| 試験・評価方法 | ・全 15 回の講義のうち、10 回以上の出席（小レポートの提出）が必要である。それに満たない場合は失格となる。<br>・評価は、毎回講義後に課す小レポート（約 25%）と、期末レポート（約 75%）で行う。試験は行わない。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | | | |

# 人間と自然９(人間の成長と発達)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290731 |
| 担当教員 | 樅野　香苗（看護学部講師）他 | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　木曜：1 限（900～1030）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 数学・物理・化学 | | |
| 教室 | 滝子C2-305 | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | ４月,9 月 |
| 講義概要 | 9/28 【1 回目　樅野】：日本社会における疾病構造の変化と緩和ケアの歴史的変遷<br>10/5 【2 回目　樅野】：病気になることがその人に与える影響を考える「ハンセン氏病」<br>10/12【3 回目　樅野】：病気になることがその人に与える影響を考える「がん」1<br>10/19【4 回目　樅野】：病気になることがその人に与える影響を考える「がん」2<br>10/26【5 回目　樅野】：病気になることとインフォームドコンセント 1<br>11/2 【6 回目　樅野】：病気になることとインフォームドコンセント 2<br>11/9 【7 回目　樅野】：「よい死 Good Death」について考える 1<br>11/16【8 回目　樅野】：「よい死 Good Death」について考える 2<br>11/30【9 回目　宮内】：看護情報とはどのようなものか<br>12/7 【10 回目　宮内】：看護と情報リテラシー<br>12/14【11 回目　宮内】：情報から見た看護 1<br>12/21【12 回目　宮内】：情報から見た看護 2<br>1/11 【13 回目　宮内】：電子カルテと看護<br>1/18 【14 回目　宮内】：看護情報のシステム化<br>1/25 【15 回目　宮内】：看護情報と倫理 | | |
| テキスト・参考文献 | 特に定めない。授業資料は適宜配布する。 | | |
| 試験・評価方法 | 出席、レポートの総合点で評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | | | |

# 人間と自然１０(科学と統計のリテラシー)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290732 |
| 担当教員 | 片山　詔久（自然科学研究教育センター准教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　月曜日：4 限（1440～1610） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 数学・物理・化学 | | |
| 教室 | 滝子C2-402 | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | １．科学リテラシーの必要性、講義の概要とクイズ<br>２．地球温暖化のウソホント、悪魔の証明<br>３．水とマイナスイオンのウソホント<br>４．光の色<br>５．電子レンジのウソホント<br>６．緊急地震速報と津波<br>７．物理量と単位、化学式と化合物名<br>８．ホメオパシーとプラセボのウソホント<br>９．中間テストとその解説<br>10．アクティブラーニングとＰＢＬ、プレゼンとディベートについて<br>11．グラフ表現のウソホント<br>12．科学的なプレゼンのポイント<br>13．宝くじと統計解析のウソホント<br>14．プレゼンとディベートの実施<br>15．プレゼンとディベートの振り返り | | |
| テキスト・参考文献 | 特に指定しない | | |
| 試験・評価方法 | 授業第 14 週のプレゼンまたはディベート：５０%、<br>中間テスト：２５%、<br>授業への参加度（出席・討論）：２５% | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 中間テストの日程は、授業時間中および掲示板で発表する。 | | |

# 人間と自然１１(行動生態学)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290733 |
| 担当教員 | 村瀬　香（自然科学研究教育センター准教授） | | |
| 学年配当 | １年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　木曜日：１限（900～1030） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 生物 | | |
| 教室 | 滝子C2-301 | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | ４月,9 月 |
| 講義概要 | １．どうして生物は進化出来るのか<br>２．進化の道筋をどのように推定しているのか<br>３．動物の行動生態学<br>４．ヒトの行動生態学<br>５．データを集める、とはどういう事か<br>６．統計学入門１<br>７．統計学入門２<br>８．仮説検定１<br>９．仮説検定２<br>１０．パソコン実習<br>１１．野外実習<br>１２．野外実習<br>１３．野外実習<br>１４．パソコン実習<br>１５．総括<br>１６．筆記試験 ＋　課題 | | |
| テキスト・参考文献 | 特になし。 | | |
| 試験・評価方法 | 実習課題（70%），筆記試験（30%） | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 15 回分の授業計画は、この学問分野の性質上、前後したりオーバーラップする事があります。<br>生態学は、数学、統計学、情報処理などの数理情報系分野と深く関連している学祭的な学問分野です。これまでに統計学の基礎を学習済みの学生を歓迎いたします。この事を十分に理解されて履修して下さい。<br>履修者上限数　35 名 | | |

# 自然と数理１(教養として知っておきたい様々な病気の実態)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290734 |
| 担当教員 | 早野　順一郎（医学部教授）他 | | |
| 学年配当 | １年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　金曜日：４限（1440～1610） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 数学・物理・化学 | | |
| 教室 | 滝子C2-405 | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | ４月 14 日金　ストレスと健康　（早野　順一郎）<br>４月 21 日金　うつ病　（久保田　陽介）<br>４月 28 日金　アルツハイマーと認知症　（松川　則之）<br>５月 12 日金　骨粗鬆症　（鈴木　伸幸）<br>５月 19 日金　痛み、ペインクリニック　（草間　宣好）<br>５月 26 日金　薬の正しい理解と使い方　（木村　和哲）<br>６月 ２日金　歯・口・顎の疾患　（渋谷　恭之）<br>６月 ９日金　一次救命処置　（松嶋　麻子）<br>６月 16 日金　頻尿・尿失禁　（窪田　泰江）<br>６月 23 日金　加齢と眼?白内障・緑内障・加齢黄斑変性　（野崎　美穂）<br>６月 30 日金　胃腸の病気とピロリ菌　（片岡　洋望）<br>７月 ７日金　感染症と予防　（中村　敦）<br>７月 14 日金　生活習慣病とその成り立ち　（福田　道雄）<br>７月 21 日金　生殖医療の光と影　（杉浦　真弓）<br>７月 28 日金　緩和医療　（内田　恵） | | |
| テキスト・参考文献 | なし | | |
| 試験・評価方法 | 出席率の規準を満たした人を対象に客観試験を行う・正答率６割<br>期末試験時は、資料等の持込不可 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 医学部は自由科目 | | |

# 自然と数理１(教養として知っておきたい様々な病気の実態)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290735 |
| 担当教員 | 酒々井　眞澄（医学部教授）他 | | |
| 学年配当 | １年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　金曜：３限（1300～1430）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 数学・物理・化学 | | |
| 教室 | 滝子C2-405 | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | ４月,9 月 |
| 講義概要 | 第１回（9/29）がんとその予防　酒々井眞澄<br>第２回（10/6）病気にならないための食に関する知識　酒々井眞澄<br>第３回（10/13）再生医療とはなにか　澤本和延<br>第４回（10/20）膠原病とはなにか　難波大夫<br>第５回（10/27）実際のエボラ熱診療にもとづいた隔離医療　岡本尚<br>第６回（11/10）虚血性心臓病の病態と治療　大手信之<br>第７回（11/17）外傷を含む骨関節疾患の基本　大石久史<br>第８回（11/24）院内感染症　長谷川忠男<br>第９回（12/1）肝炎ウイルスと肝がん 田中靖人<br>第１０回（12/8）がんの転移　二口充<br>第１１回（12/15）職業病とその予防　上島通浩<br>第１２回（12/22）治療不可能な脳の病気は治るか　飛田秀樹<br>第１３回（1/5）皮膚疾患と光　森田明理<br>第１４回（1/19）小児のけいれんとてんかんを理解する　齋藤伸治<br>第１５回（1/26）栄養と脳代謝　浅井清文 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書は指定しない。講師が講義資料（プリント等）を使用する場合がある。 | | |
| 試験・評価方法 | 出席回数（30%）と自筆リポート（70%）を点数化し６割以上の得点で合格とする。リポートでは受講した講義のうちから一つを選び、講義内容を正しく要約し自己の見解を理論的に述べること。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | | | |

# 自然と数理２(創薬と生命)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290736 |
| 担当教員 | 青山　峰芳（薬学部教授）他 | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　金曜日：4 限（1440～1610） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 数学・物理・化学 | | |
| 教室 | 滝子C2-404 | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 下記の順に講義を行う予定<br>1.　創薬科学入門，こどもとくすり（青山）<br>2.　精神科の薬（桒）<br>3.　血管とくすり（今泉/山村）<br>4.　心臓とくすり（今泉/山村）<br>5.　ゲノムからタンパク質へ（加藤（晃））<br>6.　新しいくすり RNA 医薬（星野）<br>7.　免疫とくすり（肥田）<br>8.　生活習慣病と分子生物学（長田）<br>9.　エイズ研究と創薬（藤井（陽））<br>10.　薬物血中濃度モニタリング（前田）<br>11.　ヒト iPS 細胞の創薬研究への応用（松永）<br>12.　光イメージングを利用した神経疾患の原因究明（田中）<br>13.　医薬品開発と製剤化プロセス（尾関）<br>14.　活性酸素と抗酸化剤の話（中川）<br>15.　制がん剤開発の話（中川）<br>次回授業のテーマについて、テーマに関連する専門用語および最近の話題について理解しておくこと。<br>毎回の授業で行う小テストの内容を復習しておくこと。 | | |
| テキスト・参考文献 | 毎回プリント配布 | | |
| 試験・評価方法 | 小テスト、期末レポートによる総合評価<br>小テスト（毎回）:毎講義の最後に理解度を確かめる小テストを行う（60%）<br>期末レポート（1 回）:全講義から 1 つの課題を選択してレポート作成・提出（40%）<br>全 15 回の講義のうち，10 回以上の出席（小テストの提出）が必要．満たない場合は失格とする. | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | | | |

# 自然と数理４(植物とバイオテクノロジー)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290737 |
| 担当教員 | 木藤　新一郎（自然科学研究教育センター教授） | | |
| 学年配当 | １年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　木曜：２限（1040～1210）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 生物 | | |
| 教室 | 滝子C2-209 | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | １．植物の進化と分類<br>２．植物の器官と組織（１）<br>３．植物の器官と組織（２）<br>４．植物細胞と細胞内小器官（１）<br>５．植物細胞と細胞内小器官（２）<br>６．物質代謝と輸送（１）<br>７．物質代謝と輸送（２）<br>８．植物ホルモン（１）<br>９．植物ホルモン（２）<br>１０．環境応答と形態形成（１）<br>１１．環境応答と形態形成（２）<br>１２．環境ストレスと適応機構<br>１３．植物とバイオテクノロジー（１）<br>１４．植物とバイオテクノロジー（２）<br>１５．遺伝子組換え作物の現状と問題点<br>１６．期末試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書やテキストは使用しない。講義は主にプロジェクターと配布プリントを用いて進める。 | | |
| 試験・評価方法 | ミニテスト・レポート(50%)、定期試験中の筆記試験(50%) | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 毎回、講義内容についてのミニテストを行う。 | | |

# 自然と数理６(エネルギーのサイエンス)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290738 |
| 担当教員 | 櫻井　宣彦（自然科学研究教育センター准教授）他 | | |
| 学年配当 | １年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　金曜日：４限（1440～1610） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 数学・物理・化学 | | |
| 教室 | 滝子C2-208 | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ４月,9 月 |
| 講義概要 | ・化石燃料（片山）<br>（１）授業ガイダンス、化石燃料のエネルギー<br>（２）化石燃料の科学的概要と各種化石燃料の詳細<br>（３）化石燃料の総論・問題点と新しい化石燃料<br><br>・省エネルギーと物質（藤田 渉）<br>（４）発光ダイオード<br>（５）物質の電気抵抗<br>（６）超伝導<br><br>・天体のエネルギーとその利用法（三浦）<br>（７）惑星の形成史・惑星内部の熱源<br>（８）地熱エネルギー：地熱発電と地中熱利用<br>（９）海洋エネルギー：潮汐，潮流，海流，波力<br><br>・原子力発電と関連問題（藤田 美保）<br>（１０）放射性元素（同位体）と放射線（放射能）について<br>（１１）核分裂、核燃料、および原子炉の構造について<br>（１２）原子力発電の実際と、核燃料の処分（再処理）について<br><br>・バイオマス エネルギー変換（櫻井）<br>（１３）バイオマス資源と利用システム<br>（１４）バイオ液体燃料<br>（１５）アルコール発酵とオイル産生微細藻類 | | |
| テキスト・参考文献 | テキストは使用しないが、適宜プリントを配布する。 | | |
| 試験・評価方法 | 各先生方のテストあるいはレポートの成績合計（５０%）＋ 出席点（４０%）＋ 受講態度（１０%），ただし最低７割の出席が無いと出席点を加算しない。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 座席表に従って着席してもらう事がある。その指示に従うこと。 | | |

# 自然と数理７(バイオサイエンス入門)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290739 |
| 担当教員 | 湯川　泰（自然科学研究教育センター教授）他 | | |
| 学年配当 | １年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　金曜日：５限（1620～1750） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 生物 | | |
| 教室 | 滝子C2-209 | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ４月,9 月 |
| 講義概要 | （湯川）<br>１．　イントロダクション　バイオサイエンスとは何か？<br>２．　情報高分子：発見の歴史と発展<br>３．　セントラルドグマ：遺伝子発現の仕組み<br>４．　RNA ワールド：新たな遺伝子制御の発見<br>５．　分子生物学の研究手法<br>６．　ゲノム研究の現状と未来<br>７．　最新バイオテクノロジー事情<br><br>（田上）<br>８．　「鳶が鷹を生む」vs「蛙の子は蛙」：遺伝の不思議<br>９．　双子は同一人物?: ゲノムとエピゲノム<br>１０．万能細胞とは？：　クローンと再生医療<br>１１．蛋白質の社会とは？：　ゆりかごから墓場まで<br>１２．ストレスとは？：シグナル伝達と生体応答<br>１３．小麦色の肌に憧れますか？：DNA 損傷と修復<br>１４．死とは何か？：老化とがん化<br>１５．生物多様性とは？：生命機構の共通性と多様性、そして進化 | | |
| テキスト・参考文献 | 毎時間資料を配布 | | |
| 試験・評価方法 | 教員毎の成績を総合して判定する。したがって、期末試験は行わない。<br>（湯川）出席 50%、毎回の小テスト 50%<br>（田上）出席 50%、毎回の小テスト 50% | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 単に講義を聴くだけでなく、積極的な参加を希望する。 | | |

# 自然と数理８(情報と数理の世界)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290740 |
| 担当教員 | 河田　成人（自然科学研究教育センター教授）他 | | |
| 学年配当 | １年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　木曜日：２限（1040～1210） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 数学・物理・化学 | | |
| 教室 | 滝子C2-209 | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ４月,9 月 |
| 講義概要 | 第１回　　オリエンテーション・ネットワークセキュリティと自己防衛 1(宮原)<br>第２回　　ネットワークセキュリティと自己防衛 2(宮原)<br>第３回　　演算の数理 1(河田)<br>第４回　　演算の数理 2(河田)<br>第５回　　演算の数理 3(河田)<br>第６回　　形の数理 1(鎌田)<br>第７回　　形の数理 2(鎌田)<br>第８回　　形の数理 3(鎌田)<br>第９回　　確率統計 1(影山)<br>第１０回　確率統計 2(影山)<br>第１１回　音声科学序論 1(中村)<br>第１２回　音声科学序論 2(中村)<br>第１３回　音声科学序論 3(中村)<br>第１４回　ヒトの色覚(田中)<br>第１５回　ディジタル画像処理(田中)<br><br>予習について:<br>別途提示する関連書籍等を読んで、関連する分野の造詣を各自深めておくこと 事前に資料等が配布される場合は、目を通しておくこと<br>復習について:<br>配布された資料に再度目を通し、練習問題等にも再度取り組んでおくこと | | |
| テキスト・参考文献 | 各担当者から講義の中で指示する。 | | |
| 試験・評価方法 | ６人の担当教員がそれぞれ課すテストあるいはレポートの成績の合計で評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 各教員の担当講義の順番は入れ替わることがある。 | | |

# 薬剤学Ⅰ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290741 |
| 担当教員 | 湯浅 博昭（薬学部教授） | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　月曜日：３限（1300～1430） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 数学・物理・化学 | | |
| 教室 | 田辺C大講義室 | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 1 薬物動態の基礎（E1-1-1-6）<br>2 薬動学：線形 1-コンパートメントモデル/静注（E4-2-1-1,E4-2-1-2）<br>3 薬動学：線形 1-コンパートメントモデル/定速静注（E4-2-1-1,E4-2-1-2）<br>4 薬動学：線形 1-コンパートメントモデル/反復静注（E4-2-1-1,E4-2-1-2）<br>5 薬動学：線形 1-コンパートメントモデル/1 次吸収（E4-2-1-1,E4-2-1-2）<br>6 薬動学：線形 1-コンパートメントモデル/消失経路（静注）（E4-2-1-1,E4-2-1-2）<br>7 薬動学：線形 2-コンパートメントモデル/静注（E4-2-1-1）<br>8 薬動学：非線形 1-コンパートメントモデル/静注（E4-2-1-3）<br>9 薬動学：生理学的理解/腸管吸収（E4-1-2-5,E5-2-3-1）<br>10 薬動学：生理学的理解/分布容積（E4-1-3-2,E4-1-3-3）<br>11 薬動学：生理学的理解/臓器クリアランス（E4-2-1-5）<br>12 薬動学：生理学的理解/腎クリアランス（E4-1-5-1,E4-1-5-2）<br>13-1 薬動学：生理学的理解/非結合形薬物の挙動（E4-1-3-2,E4-2-1-5）<br>13-2 薬動学：生理学的理解/生理学的薬物速度論モデル（E4-2-1-5）<br>13-3 薬動学：モデル非依存的解析/モーメント解析（E4-2-1-4）<br>14-1 薬動学/薬力学：PK/PD モデル（E4-2-1-6）<br>14-2 薬物治療管理：治療薬物モニタリング（E4-2-2-1,E4-2-2-4）<br>15 総括：演習（E1-1-1-6,E4-1-2-5,E4-1-3-2,E4-1-3-3,E4-1-5-1,E4-1-5-2,E4-2-1-1,E4-2-1-2,E4-2-1-3,E4-2-1-4,E4-2-1-5,E4-2-1-6,E4-2-2-1,E4-2-2-4,E5-2-3-1）<br>（授業時間外の学習：初回の授業で資料を配布・指示） | | |
| テキスト・参考文献 | 配付資料 | | |
| 試験・評価方法 | 期末試験（筆記試験）：　100% | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | なし | | |

# 微生物薬品学Ⅰ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290742 |
| 担当教員 | 長田 茂宏（薬学部准教授） | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　金曜日：２限（1040～1210） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 数学・物理・化学 | | |
| 教室 | 田辺Ｃ大講義室 | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | ４月,9 月 |
| 講義概要 | 1　微生物学の基礎(1)　微生物学概論(1)　微生物の位置づけ、分類法<br>2　微生物学の基礎(2)　微生物学概論(2)　原核生物と真核生物の相違点<br>3　微生物学の基礎(3)　細菌(1)　細菌の形態<br>4　微生物学の基礎(4)　細菌(2)　細菌の構造と分類<br>5　微生物学の基礎(5)　細菌(3)　細菌の構成成分<br>6　微生物学の基礎(6)　細菌(4)　細菌の栄養と増殖<br>7　微生物学の基礎(7)　細菌(5)　芽胞の特徴と生活環<br>8　微生物学の基礎(8)　真菌(1)　真菌の基礎的構造と分類、生活環<br>9　微生物学の基礎(9)　原虫(1)　原虫の構造、形態と分類および原虫症、感染<br>10　微生物学の基礎(10)　ウイルス(1)　ウイルスの形態と分類<br>11　微生物学の基礎(11)　ウイルス(2)　ウイルスの構成成分<br>12　微生物学の基礎(12)　ウイルス(3)　ウイルスの培養と増殖<br>13　微生物学の基礎(13)　滅菌と消毒(1)　滅菌の定義およびその具体例<br>14　微生物学の基礎(14)　滅菌と消毒(2)　消毒の定義およびその具体例<br>15　微生物学の基礎(15)　滅菌と消毒(3)　院内感染対策と消毒 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書：「21 世紀の考える薬学微生物学」第３版　池澤宏郎編集（廣川書店）本体 5,800 円 | | |
| 試験・評価方法 | 筆記試験（期末試験 100%） | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | | | |

# 経済史Ⅱ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290743 |
| 担当教員 | 木谷　名都子（経済学部准教授） | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　水曜日：３限（1300～1430） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 滝子C（未定） | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | ４月,9 月 |
| 講義概要 | 第１回：授業の目的と概要／プロローグ―グローバル・ヒストリーのなかのアジア<br>第２回：アジア域内交易と大航海時代<br>第３回：近世東アジアの国際環境―中国と日本<br>第４回：インドの植民地化とイギリス（1）<br>第５回：インドの植民地化とイギリス（2）／「産業革命」から「パクス・ブリタニカ」へ（1）<br>第６回：「産業革命」から「パクス・ブリタニカ」へ（2）（DVD 学習を予定）<br>第７回：「産業革命」から「パクス・ブリタニカ」へ（3）<br>第８回：中間試験<br>第９回：アジアの近代化―中国・日本・タイ<br>第 10 回：アジア経済のモノカルチャー化と再編<br>第 11 回：両大戦間期の世界経済とアジア（1）<br>第 12 回：両大戦間期の世界経済とアジア（2）／戦後世界経済の再建と動揺（1）<br>第 13 回：戦後世界経済の再建と動揺（2）（DVD 学習を予定）<br>第 14 回：戦後世界経済の再建と動揺（3）<br>第 15 回：エピローグ―ふたたびアジアの時代へ<br>第 16 回：期末試験<br>指定した教科書の範囲を事前に読んでおいてください。また講義後、教科書を読みなおして復習しておいてください。<br>講義後に、その日の講義内容について、自分なりに考えたこと、疑問に思ったこと、新たに得た知見などについて、リアクション・ペーパーとして書いて提出してもらいます。リアクション・ペーパーを書くことは、復習の一環として位置づけられます。 | | |
| テキスト・参考文献 | 1. 杉山伸也（2014）『グローバル経済史入門』、岩波書店。<br>2. 『最新世界史図説　タペストリー　十五訂版』、帝国書院。<br>上記２冊とも第２回授業日までに必ず購入してください。<br>『グローバル経済史入門』は教科書として、『世界史図説　タペストリー』は参考資料として用います。２冊とも授業中に適宜参照しますが、予習・復習にも積極的に活用してください。 | | |
| 試験・評価方法 | 中間試験（第８回授業で実施予定）：30%<br>期末試験（定期試験中の筆記試験）：30%<br>授業後のリアクション・ペーパー：40% | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 1. 授業中の私語は厳禁です。そのような行為は、真面目に講義を聴いている他の受講生に対して大変迷惑であることをよく自覚してください。注意しても私語が止まない場合は、授業妨害をしているものとみなして退室してもらいます。<br>2. 授業中、携帯電話の使用は禁じます。電源を切るかマナーモードにするかして、鞄の中に入れておいてください。<br>3. やむをえず遅刻した場合は、後ろのドアから静かに入室してください。<br>4. やむをえない事情（体調不良、忌引き等）で欠席した場合の代替措置ついては、第１回の授業で説明します。<br>5. 期限後の課題（リアクション・ペーパー含む）提出は、いかなる理由があっても受けつけません。<br>6. 成績や単位に関する要望・相談は、一切受けつけません。不正行為となります。 | | |

| | |
|---|---|
| | その他の注意事項については、第１回の授業で説明します。 |

# 経営史Ⅰ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290744 |
| 担当教員 | 木谷　名都子（経済学部准教授） | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　月曜日：1 限（900～1030） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 滝子C（未定） | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 第 1 回：イントロダクション（授業の概要と計画、なぜ経営史を学ぶのか）<br>第 2 回：工業化と多元的発展／市場経済とビジネスの発展方向<br>第 3 回：19 世紀の金融・サービス／19 世紀の労働と雇用<br>第 4 回：大量生産体制への途／垂直統合とアメリカの現代企業<br>第 5 回：アメリカ企業と経営階層組織／アメリカにおける経営者企業の成立<br>第 6 回：ヨーロッパにおける現代企業の登場／ヨーロッパ大企業の組織と管理<br>第 7 回：アメリカの大企業体制／戦後ヨーロッパの大企業<br>第 8 回：金融センターの興亡／中小企業、産業地域、クラフト<br>第 9 回：経営者企業の動揺／アメリカ企業の復活<br>第 10 回：金融・サービスの復活／産業地域の再生<br>第 11 回：グループディスカッション（1）<br>第 12 回：改革開放後の中国における企業体制<br>第 13 回：インドにおける財閥の形成と発展（1）<br>第 14 回：インドにおける財閥の形成と発展（2）<br>第 15 回：グループディスカッション（2）<br><br>第 2 回から第 10 回までの講義はテキストの内容に基づいて行います。<br>講義後、各自テキストを読みなおして復習しておいてください。<br>講義後に、その日の講義内容について、自分なりに考えたこと、疑問に思ったこと、新たに得た知見などについて、リアクション・ペーパーとして書いて提出してもらいます。リアクション・ペーパーを書くことは、講義内容の復習の一環として位置づけられます。 | | |
| テキスト・参考文献 | 鈴木良隆・大東英祐・武田晴人（2004）『ビジネスの歴史』、有斐閣。<br>テキストは第 2 回授業日までに必ず購入してください。 | | |
| 試験・評価方法 | グループディスカッション：60%（ディスカッション 2 回：30%、小レポート 2 本：30%）<br>講義後のリアクション・ペーパー：40% | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 1. 授業中の私語は厳禁です。そのような行為は、真面目に講義を聴いている他の受講生に対して大変迷惑であることをよく自覚してください。注意しても私語が止まない場合は、授業妨害をしているものとみなして退室してもらいます。<br>2. 授業中、携帯電話の使用は禁じます。電源を切るかマナーモードにするかして、鞄の中に入れておいてください。<br>3. やむをえず遅刻した場合は、後ろのドアから静かに入室してください。<br>4. やむをえない事情（体調不良、忌引き等）で欠席した場合の代替措置については、第 1 回の授業で説明します。<br>5. 指定した期限後の課題（リアクション・ペーパー含む）提出は、いかなる理由があっても受けつけません。<br>6. 成績や単位に関する要望・相談は一切受けつけません。不正行為となります。<br>その他注意事項については、第 1 回の授業で説明します。 | | |

# 金融論Ⅰ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290745 |
| 担当教員 | 横山　和輝（経済学部准教授） | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　金曜日：２限（1040～1210） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 滝子C（未定） | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | Topic-1　貨幣<br>01 貨幣と社会的分業<br>__サーチ理論と呼ばれる切り口での貨幣の理論を学習します<br>02 貨幣経済の進展<br>__鎌倉・室町時代に貨幣が普及した要因と影響について学習します<br>03 Work-1<br>__詳細は授業で説明します<br><br>Topic-2　決済<br>04 流動性供給機能<br>__決済手段の面から金融システムを学習します<br>05 徳川政権下の決済システム<br>__両替商ビジネスを通じて決済システムの機能について学習します<br>06 Work-2<br>__詳細は授業で説明します<br><br>Topic-3　資金市場<br>07 資金仲介機能<br>__資金仲介の面から金融システムを学習します<br>08 殖産興業と産業化<br>__明治維新における金融制度改革を通じて資金市場の役割について学習します<br>09 Work-3<br>__詳細は授業で説明します<br><br>Topic-4　銀行パニック<br>10 銀行システムの不安定性<br>__決済手段および資金仲介の両側面から銀行システムの不安定性について学習します<br>11 昭和金融恐慌<br>__銀行パニックの発生メカニズムについて学習します<br>12 Work-4<br>__詳細は授業で説明します<br><br>Topic-5　中央銀行<br>13 中央銀行<br>__中央銀行の目的と役割について学習します<br>14 井上と高橋<br>__昭和の恐慌に対する日本銀行の対応について学習します<br>15 Work-5<br>__詳細は授業で説明します | | |
| テキスト・参考文献 | 指定教科書はありません。 | | |
| 試験・評価方法 | ・５回のワーク（Work）をすべてクリア（合格）し，なおかつ，<br>(a)授業中の演習問題で正答率 90%以上の場合は，秀（100 点） | | |

| | |
|---|---|
| | ⑹授業中の演習問題で 80%以上 90%未満の場合は，優（80 点）<br><br>・ワークで優もしくは秀を逃したことで挽回したい場合，<br>__試験期間内に実施される 100 点満点の期末試験の点数により成績を評価します。<br>__ワークでの成績に関わりなく期末試験の点数で成績評価します<br>（90 点以上が秀，80-89 点で優，70-79 点で良，60-69 点で可，59 点以下で不可）<br>__学部 e-learning のアクセス頻度が著しく低い場合，期末試験の点数を減点します |
| 別途必要な経費 | なし |
| その他特記事項 | スマートフォン，タブレット，あるいはノートパソコンを持参しない場合，e-learning に回答できません。 |

# 金融論Ⅱ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290746 |
| 担当教員 | 横山　和輝（経済学部准教授） | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　木曜日：２限（1040～1210） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 滝子Ｃ（未定） | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | ４月,９月 |
| 講義概要 | Topic-1??所有と経営の分離<br>01 株式会社<br>__企業組織として株式会社という形態にどんな特徴（長所・短所）があるのかを学習します<br>02?所有と経営の分離<br>__残余コントロール権とはどういうものか，そしてそれを開放するとはどういうことかについて学習します<br>03?Work-1<br>__詳細は授業で説明します<br><br>Topic-2??経営者への規律<br>04?非対称情報<br>__企業金融の阻害要因として，非対称情報の問題とその解決策について学びます<br>05?不完備契約<br>__企業金融の阻害要因として，不完備契約の問題とその解決策について学びます<br>06?Work-2<br>__詳細は授業で説明します<br><br>Topic-3??企業システム<br>07?市場中心のシステム<br>__株式市場における評価を軸とした企業システムについて学習します<br>08?銀行中心のシステム<br>__銀行による監視を軸とした企業システムについて学習します<br>09?Work-3<br>__詳細は授業で説明します<br><br>Topic-4??株価とバブル<br>10?株価形成の理論<br>__株価がどのようにして決まるのかについて理論面から学習します<br>11?バブル<br>__株価がなぜ理論値から乖離し続ける現象が起こるのかについて学習します<br>12?Work-4<br>__詳細は授業で説明します<br><br>Topic-5??M&A<br>13 M&A の経済学<br>__M&A の意義，あるいは M&A をめぐる企業の攻防戦について学習します<br>14?日本企業の M&A<br>__2001 年以降，日本で M&A が急増した背後事情を学習します<br>15?Work-5<br>__詳細は授業で説明します ？ | | |
| テキスト・参考文献 | テキストはありません。 | | |
| 試験・評価 | ・５つのワークをすべてクリア（合格）した場合，期末試験免除で秀もしくは優となります。 | | |

| | |
|---|---|
| 方法 | （各トピック１回目および２回目の授業で行なわれる演習問題に全問正解した場合は秀となります）。<br><br>・試験期間内に実施される 100 点満点の期末試験の点数により成績を評価します。<br>__ワークで優もしくは秀を逃したことで挽回したいという学生さんが受験できます<br>__受験した場合，ワークでの成績に関わりなく期末試験の点数で成績評価します<br>（90 点以上が秀，80-89 点で優，70-79 点で良，60-69 点で可，59 点以下で不可）<br>__学部 e-learning のアクセス頻度が著しく低い場合，期末試験の点数が減点されることもあります ？ |
| 別途必要な経費 | なし |
| その他特記事項 | スマートフォン，タブレット，あるいはノートパソコンを持参しない場合，e-learning に回答できません。 |

# 企業ファイナンス

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290747 |
| 担当教員 | 臼杵　政治（経済学部教授） | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　月曜日：４限（1440～1610） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 滝子C（未定） | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | １．コーポレートファイナンスとは：日本企業の財務<br>２．資金コストと資本コスト<br>３．単利と複利、リスクとリターン<br>４．割引現在価値と資本コスト、$\beta$<br>５．投資の意思決定（正味現在価値法）<br>６．リアルオプション<br>７．負債のある場合の企業価値（MM理論）<br>８．負債のある場合の企業価値（税のある場合）<br>９．負債のある企業の企業評価（資金調達に関する意思決定）<br>10．配当と企業価値<br><br>各項目を１．２回ずつ説明していきます（中間試験・期末試験前は復習をすることがあります）。<br>中間試験前以外でも復習にある程度の時間をかけることを勧めます。 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書は使わず、資料ファイルを各自でダウンロード・印刷して持参して貰います（1 回目のみ配布します）。 | | |
| 試験・評価方法 | 中間試験（45%、資料の持込不可）期末試験（45%）、授業への参加点（10%）。ただし、履修者数などにより比率を変更することがあります。普通の名市大生がきちんと勉強すれば単位を取れる科目ですが、いわゆるチョンボ科目にするつもりはありません。毎年、履修登録者のうち単位をとれない割合は 10%～15%程度です。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 意見・質問を歓迎します。毎回ある程度復習することで、次回以降の理解が容易になります | | |

# 企業論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290748 |
| 担当教員 | 角田　隆太郎（経済学部教授） | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　夏季集中：１限～4 限（900～1610） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 滝子C（未定） | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 第１日<br>（1）オリエンテーション、さまざまな事業主体<br>（2）企業家と事業の創造　小テスト(1)<br>（3）企業と地域<br>(4) 経営理念、１日目のまとめと小テスト(2)<br>第２日<br>（1）企業の社会的責任<br>(2) 企業統治　小テスト(3)<br>（3）トップマネジメント<br>(4)　産業と企業　２日目のまとめと小テスト(4)<br>第３日<br>（1）財の取引(1)（アパレル企業）<br>（2）財の取引(2)(自動車メーカー）　小テスト(5)<br>（3）資本の取引<br>(4) 労働の取引　３日目のまとめと小テスト(6)<br>第４日<br>（1）情報の取引<br>（2）企業の成長　小テスト(7)<br>（3）まとめ（日本と名古屋の企業の現状と課題）<br>（4）期末試験<br>集中講義ですので事前の予習は難しいかもわかりませんが、配布するレジュメや資料を見て、その企業について調べたり、第３日(1)～(4)、第４日(1)では、教科書も目を通しておいてもらうと講義の内容や事例がよくわかります。 | | |
| テキスト・参考文献 | テキスト（第３日(1)～(4)、第４日(1)で使用）　加護野忠男他編著『取引制度から読みとく現代企業』〔有斐閣〕 | | |
| 試験・評価方法 | 小テスト（１日２回、計７回）70%、期末試験 30%、レポートなどでの質問、自主提出のレポートなどはプラスアルファの加点。期末試験では、ある企業を取り上げて、それを講義で説明した考え方を使って、複数の側面から分析評価してもらいます。どの側面から分析するかも自分で判断してください。例えば、トヨタ自動車について、財の取引の側面と社会的責任の側面から分析し評価する。講義で説明した考え方を理解し使いこなせるかどうかが評価のポイントです。講義で配布した資料や教科書、その他必要な資料や書籍なども持ち込み可能です。スマホなどの機器の持ち込みは不可です。講義中に取り上げる企業を考え、資料を集めておくと、試験の準備になります。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 企業論というのは、「企業とは何か」という本質的な問題についての講義で、法律や経済学などの分野とも関連しています。知識を一方的に提供するだけでなく、考え、参加してもらう講義を目標にしています。例えば、なぜ日本では、電気の発電と送電を同じ会社がやっているのでしょう？なぜ名古屋には、中部電力しかないのでしょう？そういったことを、この講義をヒントに、自分で考えてみましょう。講義に直接関係のない新聞記事や資料も配布しますが、後日読んでほしいからです。この講義をきっかけに、企業やその行動に興味を持っていただければと考えています。 | | |

# 保育原理

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290749 |
| 担当教員 | 上田　敏丈（人文社会学部准教授） | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　水曜日：２限（1040～1210） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | （未定） | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | １ オリエンテーション：なぜ「教育」が必要なのか？<br>２ 保育の基本的概念<br>３ 保育の定義<br>４ 要領・指針の基本的考え方<br>５ 子どもの遊びの中での学びと発達１：制作活動を中心として<br>６ 子どもの遊びの中での学びと発達２：好きな遊びの中で<br>７ 閑話休題：実際に保育を受けてみる<br>８ 保育実践における環境構成<br>９ 保育実践の様々な形態と内容<br>10 幼児教育の歴史と思想１：なぜフレーベルは幼稚園を作ったのか？<br>11 幼児教育の歴史と思想２：なぜ倉橋惣三は恩物をまぜたのか？<br>12 閑話休題：実際に保育を受けてみる<br>13 幼稚園教諭の役割<br>14 幼児期の教育の現状と課題<br>15 まとめ：着目される幼児教育 | | |
| テキスト・参考文献 | 厚生労働省　『保育所保育指針』及び『保育所保育指針解説』<br>文部科学省　『幼稚園教育要領』及び『幼稚園教育要領解説』 | | |
| 試験・評価方法 | 出席状況（40%）、レポート（20%）、期末試験（40%）で評価します。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 学生のみなさんの講義に対する積極的姿勢を望みます。 | | |

# 集団社会心理学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290750 |
| 担当教員 | 久保田　健市（人文社会学部教授） | | |
| 学年配当 | ３年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　金曜日：３限（1300～1430） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | （未定） | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 以下のスケジュールに従い,講義を行う．講義の中で関連するワークショップを適宜行い,学習理解の助けとする．<br><br>第１週 オリエンテーション・授業のキーワード説明<br>第２週 社会的心理学の人間観<br>第３週 社会的影響(1)　～集団の影響過程，社会的促進・社会的抑制<br>第４週 社会的影響(2)　～多数派・少数派の影響過程<br>第５週 社会的交換(1)　～2 者間のジレンマ<br>第６週 社会的交換(2)　～社会的ジレンマ<br>第７週 ワークショップ 1: 異文化理解ゲーム　Barnga<br>第８週 集団意思決定(1)　～集団意思決定の効率性について<br>第９週 集団意思決定(2)　～集団意思決定の民主性について<br>第 10 週 集団意思決定(3)　～コンピュータを媒介した集団意思決定<br>第 11 週 ワークショップ 2: 異文化交流ゲーム前半<br>第 12 週 ワークショップ 2: 異文化交流ゲーム後半<br>第 13 週 文化と適応(1)　～集団間関係の心理学<br>第 14 週 文化と適応(2)　～文化心理学・個人主義と集団主義<br>第 15 週 講義のまとめ<br><br>受講生は，授業の予復習のために，各テーマごとに出されるワークシートに回答し，期日までに提出すること．<br>ワークショップ実施した後には，ウェブ上にてふりかえりのレポートを作成します．必ず回答してください（ふりかえりの内容も授業への参加度を考査する材料の一部とします）．詳しい url などは学務情報システムを通じて連絡します． | | |
| テキスト・参考文献 | 『複雑さに挑む社会心理学−適応エージェントとしての人間(改訂版)』　亀田達也・村田光二(著)　有斐閣　2010 年　ISBN:978-4-641-12418-9 | | |
| 試験・評価方法 | 期末定期試験(選択問題 60%,論述問題 40%,資料持込不可)の成績(67.5%)・平常点(10%)・授業中に課したレポートの成績(22.5%)を勘案して評価する(主に期末定期試験の成績を重視する)． | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 特別な理由で履修に支障が生じた者(病気で長期にわたり欠席するなど)は,早めに申し出ること．<br>※単発の欠席には届出は必要ありまえせん．特別欠席届は受け付けません． | | |

# 心理検査法１

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290751 |
| 担当教員 | 鋤柄　増根（人文社会学部教授） | | |
| 学年配当 | ３年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　木曜日：２限（1040～1210） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | （未定） | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | １回 心理検査の歴史<br>２回 心理検査に必要な心理測定理論<br>３回 心理検査の分類とそれぞれの考え方<br>４回 信頼性の概説<br>５回 信頼性と古典的な測定誤差論<br>６回 様々な信頼性の計算法とその実習<br>７回 構成概念と妥当性<br>８回 妥当性の検討方法<br>９回 心理検査の標準化（項目の選択）<br>10回 心理検査の標準化（標準化集団の選択）<br>11回 心理検査の標準化（規準の作成）<br>12回 新しい測定理論（項目特性理論）<br>13回 新しい測定理論の応用<br>14回 心理検査の使用に関する法的・倫理的な問題<br>15回 まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | テキストはありません．講義の時に文献リストを配付。 | | |
| 試験・評価方法 | 試験(50%)とレポート(50%)による。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 心理検査法１は出席して実習することに意味があるので、必ず出席すること。また、心理テストに関する倫理規定を遵守すること。 | | |

# 教育学概論２

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290752 |
| 担当教員 | 原田　信之（人文社会学部教授） | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　月曜日：５限（1620～1750） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | （未定） | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | １　科目ガイダンス：子どもの存在<br>２　インターアクションによる授業の成立：「バスの運転手」<br>３　教育の原理（教授＝学習の相互作用論）<br>４　教育の思想・理念：コメニウス<br>５　教育の思想・理念：感覚主義的認識論<br>６　教育の思想・理念：ルソー<br>７　課題「ルソーの注入教育批判論」<br>８　教育の思想・理念：ケイ、デューイ<br>９　学校環境論：オープンスクールの実践と児童中心主義<br>10　子どもとの関係論⑴：まなざし、指導的評価活動（リレーション論）<br>11　同　⑵：傾聴の技術<br>12　同　⑶：生徒理解を基盤とする教授行為<br>13　同　⑷：間主観性<br>14　同　⑸：浜之郷小学校の授業<br>15　授業内総括レポート<br><br>※４・６・８の教育者について、あらかじめインターネット等で検索し、調べておくこと。授業中に提示した基本用語等については別途文献等で理解できるまで調べ復習しておくこと。 | | |
| テキスト・参考文献 | 特になし | | |
| 試験・評価方法 | 授業中の小レポート（2～3 回程度：30%）、授業内総括レポート（50%)、日ごろの参加状況（20%）。３分の１以上授業を欠席した場合及び授業内総括レポートを欠席した場合は評定の対象としない。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | | | |

# 比較教育学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290753 |
| 担当教員 | 山田　美香（人文社会学部教授） | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　水曜日：１限（900～1030） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | （未定） | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | １比較教育学の理論・思想・歴史<br>２中国における幼児教育<br>３中国における小学校<br>４中国における中学校<br>５中国における高校<br>６台湾における子育て<br>７台湾における幼児教育<br>８台湾における小学校<br>９台湾における中学校<br>10 台湾における高校<br>11 香港における子育て<br>12 香港における幼児教育<br>13 香港における小学校<br>14 香港における中学校<br>15 まとめ<br>16 定期試験<br>指示された範囲の予習は必ず行うこと | | |
| テキスト・参考文献 | 山田美香『公教育と子どもの生活をつなぐ香港・台湾の教育改革』風媒社、2012 年 | | |
| 試験・評価方法 | 授業の参加度・リアクションペーパー30%、試験 70% | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 他国に関心を持ち、多くの知識が得られるよう努力して欲しい。 | | |

# 政治学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290754 |
| 担当教員 | 伊藤　恭彦（人文社会学部教授） | | |
| 学年配当 | ２年,3 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　火曜日：２限（1040～1210） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | （未定） | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | １回　　１．イントロダクション－政治の意義を考える(予習・復習＝テキスト第 10 章）<br>２回　　２．政治と政治学（予習・復習＝テキスト序章）<br>３回　　３．政治とは何か<br>（１）理論的考察―丸山眞男の「政治の世界」を手がかりに（予習・復習＝配布資料）<br>（２）歴史的考察－国家、政府、主権（予習・復習＝テキスト第１章）<br>４回　　（３）政治権力とは何か（予習・復習＝配布資料）<br>５回　　４．政治体制<br>（１）政治体制とは何か（予習・復習＝テキスト第２章 1）<br>（２）自由民主主義体制と権威主義体制（予習・復習＝テキスト第２章 2･3）<br>６回　　（３）現代福祉国家の諸問題（予習・復習＝テキスト第３章）<br>７回　　５．政治制度と政治過程<br>（１）政治過程とは何か（予習・復習＝テキスト第４章 1）<br>（２）国民代表の政治過程－議会、政党、選挙（予習・復習＝テキスト第４章 2）<br>８回　　（３）利益代表の政治過程－多元的民主主義と利益集団（予習・復習＝テキスト第４章 3）<br>（４）現代政治過程の新しい特徴－マスメディア、新しい社会運動（予習・復習＝テキスト第４章 4）<br>９回　　６．公共政策と行政<br>（１）政策と政策決定過程（予習・復習＝テキスト第５章 1）<br>（２）政策決定論－合理的モデル、インクリメンタリズム（予習・復習＝テキスト第５章 2）<br>１０回　　（３）現代行政の特質（予習・復習＝テキスト第５章 3）<br>１１回　７．政治意識と政治文化<br>（１）政治意識と政治心理（予習・復習＝テキスト第７章 1）<br>（２）大衆社会の出現と政治意識の変化（予習・復習＝テキスト第７章 2）<br>１２回　　（３）政治文化とその比較（予習・復習＝テキスト第７章 3）<br>（４）社会関係資本（ソーシャル・キャピタル）（予習・復習＝テキスト第７章 3）<br>１３回　８．現代国際政治の特徴<br>（１）近代国際政治（ウェストファリア・システム）の特徴（予習・復習＝テキスト第９章 1）<br>（２）現代国際政治の特徴－ウェストファリア・システムの動揺（予習・復習＝テキスト第９章 2）<br>１４回　　（３）冷戦からグローバリゼーションへ（予習・復習＝テキスト第９章 3･4）<br>１５回　９．まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書　加茂利男・大西仁・石田徹・伊藤恭彦『現代政治学　第４版』（有斐閣アルマ） | | |
| 試験・評価方法 | 平常点 20%　期末試験 80% | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | | | |

# 環境社会学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290755 |
| 担当教員 | 浜本　篤史（人文社会学部准教授） | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　水曜：3 限（1300～1430） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 社会・マスコミ・情報 | | |
| 教室 | （未定） | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 1．環境社会学とはどのような学問分野か<br>2．加害ー被害構造論（1）：飯島伸子と公害・労災・薬害<br>3．加害ー被害構造論（2）：四日市公害問題の分析<br>4．加害ー加害構造論（3）：地球環境問題・東日本大震災への応用<br>5．受益圏・受苦圏（1）：70 年代～80 年代の大規模開発問題と社会紛争<br>6．受益圏・受苦圏（2）：名古屋新幹線公害問題の分析<br>7．受益圏・受苦圏（3）：開発事業全般への政策論的応用<br>8．中間まとめ<br>9．社会運動論（1）：資源動員・政治的機会構造・フレーミング<br>10．社会運動論（2）：吉野川可動堰反対運動の分析<br>11．社会運動論（3）：社会運動全般への応用<br>12．環境政策と環境社会学（1）：マルクスとウェーバーの呪縛<br>13．環境政策と環境社会学（2）：名古屋市におけるごみ減量の取り組み<br>14．環境政策と環境社会学（3）：経済的手法・合意的手法としての「レジ袋有料化」再検討<br>15．総まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | 『よくわかる環境社会学』（ミネルヴァ書房, 2009）を用意すること。そのほかの文献については適宜指示する。 | | |
| 試験・評価方法 | ミニレポート１回（30%）、最終レポート（70%）による。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | | | |

# 社会福祉援助技術総論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290756 |
| 担当教員 | 樋澤　吉彦（人文社会学部准教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年 | 単位数 | 4 単位 |
| 開講日程 | ＜通年＞　水曜日：1 限（900～1030） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 家政・生活 | | |
| 教室 | （未定） | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 1　オリエンテーション（授業の進め方、評価方法の説明、学びの内容）<br>2　相談援助専門職の役割と意義<br>3　ソーシャルワークの概念―国際ソーシャルワーカー連盟によるソーシャルワークの定義解説その1<br>4　ソーシャルワークの概念―国際ソーシャルワーカー連盟によるソーシャルワークの定義解説その2<br>5　ソーシャルワークの構成要素1　クライエントシステム<br>6　ソーシャルワークの構成要素2　ニーズその1<br>7　ソーシャルワークの構成要素3　ニーズその2<br>8　ソーシャルワークの構成要素4　ソーシャルワーカー・社会資源<br>9　ソーシャルワークの構成要素5　問題・援助関係<br>10　相談援助における専門性1　専門職の成立条件<br>11　相談援助における専門性2　専門的援助関係とコミュニケーション<br>12　相談援助技術の発展経緯1　ＣＯＳ、セツルメント活動について<br>13　相談援助技術の発展経緯2　リッチモンドらによる方法論確立の時期<br>14　相談援助の発展経緯3　ケースワーク批判から再生へ<br>15　相談援助の発展経緯4　日本におけるソーシャルワークの発展経緯と近年の動向<br>16　前半定期試験の答え合わせと解説<br>17　相談援助の理念1　個人的価値と専門職の価値<br>18　相談援助の理念2　専門職倫理とは何か<br>19　相談援助の理念3　権利擁護その1　権利擁護が必要とされる背景と定義<br>20　相談援助の理念4　権利擁護その2　権利擁護を具現化する制度とソーシャルワーカーの役割<br>21　相談援助の理念5　自己決定概念<br>22　相談援助の理念6　ノーマライゼーションとソーシャルインクルージョン<br>23　相談援助の理念7　エンパワメントとストレングス視点<br>24　専門職倫理と倫理的ジレンマ1　専門職倫理の必要性<br>25　専門職倫理と倫理的ジレンマ2　倫理綱領の意義と内容その1<br>26　専門職倫理と倫理的ジレンマ3　倫理綱領の意義と内容その2<br>27　専門職倫理と倫理的ジレンマ4　倫理的ジレンマの構造と解法プロセス<br>28　相談援助技術の構成内容1　「総合的かつ包括的な相談援助」とは何か？<br>29　相談援助技術の構成内容2　ソーシャルワークのレパートリー<br>30　全体のまとめ | | |
| テキスト・参考文献 | テキストは特に定めず、そのつど配布する「穴埋め式レジュメ」を中心に展開される。<br>社会福祉士受験を検討している学生は、参考文献を購入することをつよくすすめる。 | | |
| 試験・評価方法 | 試験：100（前半 15 回終了後前半試験（50 点）、後半 15 回終了後後半試験（50 点））<br>上記に平常点（出席状況・受講態度等）を反映させ、加減する。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | ・私語を慎むこと。<br>・講義内容は随時わたしのホームページに掲載される。URL は初日に提示。<br>・出席確認はほぼ毎回実施。 | | |

# 現代思想

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290757 |
| 担当教員 | 別所　良美（人文社会学部教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　月曜日：4 限（1440～1610） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | （未定） | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 1. 導入：世界を問題として捉えるための枠組みとしての思想・哲学<br>2. 近代理性とは何か？：戦後日本の課題としての近代的主体の確立、デカルト<br>3. 近代理性とは何か？：社会契約論における個人と国家（ホッブス、ロック、ルソー）<br>4. 近代理性とは何か？：啓蒙の哲学。理性の自律と理性による支配（カントとヘーゲル）<br>5. 近代理性批判：神の死（ニーチェ）と疎外（マルクス）<br>6. 近代理性批判：人間の脱理性化（フロイトとマルクーゼ）<br>7. 近代理性批判：啓蒙の弁証法：理性と野蛮の内的関係（フランクフルト学派）<br>8. エコロジー思想：コミュニケーション的理性（ハーバーマス）と自然との共生（イリッチ）<br>9. エコロジー思想：環境問題の表面化と「持続可能な発展」という考え（ハーマン・デイリー）<br>10. エコロジー思想：エコロジーと労働の問題（ゴルツ）<br>11. 労働観の変容：労働と収入との分離、すなわち市場メカニズムの外部<br>12. 労働観の変容：ベーシック・インカム（無条件基本所得）とは何か。<br>13. 個人／グループでの研究発表（1）<br>14. 個人／グループでの研究発表（2）<br>15. 個人／グループでの研究発表（3） | | |
| テキスト・参考文献 | 特に指定しない | | |
| 試験・評価方法 | 平常点（出席点と議論参加点と設問回答点）：４０％<br>研究発表点：３０％<br>期末レポート試験：３０％ | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 特になし | | |

# 社会福祉原論１

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290758 |
| 担当教員 | 吉村　公夫（人文社会学部教授） | | |
| 学年配当 | １年,2 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　火曜日：１限（900～1030） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 家政・生活 | | |
| 教室 | （未定） | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | ４月,9 月 |
| 講義概要 | 1.現代社会における生活問題<br>2.解決を図る人：ソーシャルワーカー<br>3.ソーシャルワーカーのいる場所：病院<br>4.同上　：学校<br>5.同上　：司法福祉<br>6.同上　：福祉事務所<br>7.同上　：児童相談所<br>8.同上　：社会福祉協議会<br>9.同上　：社会福祉施設<br>10.同上　：ビデオ教材で、病院、<br>11.同上　：ビデオ教材で、児童相談所<br>12.社会福祉を捉えていく視点：生存権保障<br>13.同上　：ノーマライゼーション<br>14.同上　：インクルージョン他<br>15 まとめ<br>16：試験 | | |
| テキスト・参考文献 | プリントを配布する。<br>資料集を作成した場合はそれを使用する。 | | |
| 試験・評価方法 | 定期試験期間中の試験で評価する。試験は暗記による解答形式。配点 100 点の試験。<br>評価方法は定期試験で１００％評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | | | |

# 沖縄学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290759 |
| 担当教員 | 阪井　芳貴（人文社会学部教授） | | |
| 学年配当 | １年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　火曜：３限（1300～1430）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | （未定） | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | １．「沖縄学」とは ー「沖縄学」という術語ー<br>２．伊波普猷の人と学問 ー「沖縄学の父」という言説ー<br>３．『古琉球』の世界 ー琉球史入門ー<br>４．沖縄学と日本民俗学 ー柳田國男・折口信夫と伊波普猷ー<br>５．琉球・沖縄の歴史 ー日本史・アジア史の中の琉球・沖縄ー<br>６．沖縄の文化１ ー琉球王朝文化以前ー<br>７．沖縄の文化２ ー琉球王朝文化の形成ー<br>８．沖縄の文化３ ー冊封体制ー<br>９．沖縄の文化４ ー江戸上りー<br>10．沖縄の文化５ ー近代沖縄ー<br>11．沖縄と中国との関わり ー琉球国から沖縄県へー<br>12．沖縄とヤマトとの関わり ー琉球国から沖縄県へー<br>13．沖縄人のアイデンティティ ーウチナーンチュとヤマトゥンチューー<br>14．沖縄から日本を見る ー日本の縮図としての沖縄ー<br>15．沖縄学の未来 ー現代沖縄の位置付けー<br>16．定期試験<br><br>授業中に配布する資料は、あらかじめ授業内容を把握するためのものでもあるので、事前に目を通しておくこと。また、授業中に紹介する文献・映像資料などを講読・視聴すること。沖縄県内で発行されている新聞（「琉球新報」「沖縄タイムス」）の Web サイトを授業前日と当日に確認すること。 | | |
| テキスト・参考文献 | テキストは使わない。プリントを多数配布する。 | | |
| 試験・評価方法 | 出席カードへのコメントの内容（30%）と期末試験（70%）で評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 映像資料を多く視聴するので、よく注意して観ること。 | | |

# 社会言語学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290760 |
| 担当教員 | 佐野　直子（人文社会学部准教授） | | |
| 学年配当 | 1 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　火曜：2 限（1040～1210）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | （未定） | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 1　はじめに：「ことば」とは何か、「話すという事実」とは何か<br>2　社会言語学のまなざし1：　実際に使われている、ことばの「多様さ」に目を向ける<br>3　社会言語学のまなざし2：　ことばの「変化」に目を向ける<br>4　社会言語学のまなざし3：　自ら選択する人びとという「話者モデル」<br>5　社会言語学のまなざし4：　「多言語社会」という「社会モデル」<br>6　社会言語学の知の枠組み1：　言語と方言<br>7　社会言語学の知の枠組み2：　「社会方言(sociolect)」「変種」：さまざまなことばの「変異」<br>8　社会言語学の知の枠組み3：　ポライトネス、「談話」：相手、場面ごとに異なる話し方<br>9　社会言語学の知の枠組み4：　ダイグロシアとバイリンガリズム：「多言語社会」におけることばの多様性<br>10　社会言語学の知の枠組み5：　言語市場、言語の階層化<br>11　社会言語学の「知の回路」1：　言語と国家、言語政策<br>12　社会言語学の「知の回路」2：　言語接触とクレオール<br>13　社会言語学の「知の回路」3：　言語シフト、少数言語、危機に瀕する言語<br>14　社会言語学の「知の回路」4：　言語的人権<br>15　社会言語学の「知の回路」5：　英語帝国主義、言語エコロジー | | |
| テキスト・参考文献 | 佐野直子『社会言語学のまなざし』三元社 | | |
| 試験・評価方法 | 毎回、講義の際にリアクションペーパーを配布。キーワードと講義についての意見、質問を書いて講義の終わりに提出。一回につき 4 点満点、合計 60 点程度。<br>学期末試験　35 点<br>記名式・記述式授業評価アンケート　5 点 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 積極的な講義への参加を望みます。 | | |

# 英文法各論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290761 |
| 担当教員 | 日木　満（人文社会学部教授） | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　木曜日：1 限（900～1030） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | （未定） | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | ４月,9 月 |
| 講義概要 | ＊最終計画案は、初回の授業で提示する。<br>1.　授業の説明<br>2.　第 15 章：　冠詞<br>3.　第 14 章：　名詞（1）<br>4.　第 14 章：　名詞（2）<br>5.　第 13 章：　前置詞（1）<br>6.　第 13 章：　前置詞（2）<br>7.　教科書まとめ<br>8　 教科書テスト（第 13～15 章）<br>9.　名詞形講義（1）：なぜ名詞形はむずかしいのか<br>10.　名詞形講義（2）：名詞的名詞（nN）と動詞的名詞（vN）<br>11.　名詞形講義（3）：前置詞と動詞的名詞（その1）<br>12.　名詞形講義（4）：前置詞と動詞的名詞（その2）<br>13.　名詞形講義（5）：名詞的名詞の諸相<br>14.　名詞形テスト、名詞形レポート相談<br>15.　名詞形レポート発表・提出 | | |
| テキスト・参考文献 | 綿貫陽・マーク・ピーターセン(2006)『表現のための実践ロイヤル英文法』旺文社<br>そのほか、適宜、授業中に指示する。 | | |
| 試験・評価方法 | 「教科書テスト」(40%)、「名詞形テスト」(40%)、「名詞形レポート」（20%）で 100%としたものに、授業参加度（出欠席、発言、課題）を加味（プラスかマイナス）して、総合判断する。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | | | |

# 国際関係論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290762 |
| 担当教員 | 平田　雅己（人文社会学部准教授）他 | | |
| 学年配当 | １年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　火曜日：３限（1300～1430） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | （未定） | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 第１回　講義概要説明（平田、松本）<br>第２回　国際関係を学ぶ意味、国際関係を捉える視角（平田）<br>第３回　アメリカと現代国際関係⑴（）ナショナリズム（平田）<br>第４回　アメリカと現代国際関係⑵　外交の性格（平田）<br>第５回　アメリカと現代国際関係⑶）戦争の闇その１ 民間人虐殺<br>第６回　アメリカと現代国際関係⑷）戦争の闇その２ 兵士の苦悩<br>第７回　アメリカと現代国際関係⑸日米関係―沖縄問題再考（平田）<br>第８回　アメリカと現代国際関係⑹ 映像による学習会（平田）<br>第９回　宗教から国際関係を読み解く⑴宗教とテロリズム（イスラム国など）（松本）<br>第10回　宗教から国際関係を読み解く⑵宗教・民族紛争と帝国主義：キリスト教、イスラム教、ユダヤ教（松本）<br>第11回　宗教から国際関係を読み解く⑶宗教は紛争解決の手段になり得るか？キリスト教と仏教（松本）<br>第12回：国際情勢に点在するリスク⑴欧州：EU、NATO、難民（松本）<br>第13回：国際情勢に点在するリスク⑵中東とアフリカ（松本）<br>第14回：国際情勢に点在するリスク⑶アジア（松本）<br>第15回：　総括（松本） | | |
| テキスト・参考文献 | 特になし。 | | |
| 試験・評価方法 | 各担当教員が課すレポート内容の総合的評価（100%）期末試験は実施しない。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 特になし。 | | |

# 日本の歴史（日本社会史）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290763 |
| 担当教員 | 吉田　一彦（人文社会学部教授） | | |
| 学年配当 | 1 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　月曜日：1 限（900～1030） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | （未定） | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 1　「日本国」の成立<br>2　天皇制度の成立<br>3　日本の天皇制度の政治思想的特色<br>4　〈聖徳太子〉をめぐる近年の学説<br>5　聖徳太子の真偽<br>6　倭国の法と慣習<br>7　日本律令の成立<br>8　日本律令の成立と特色<br>9　律令法と実態<br>10　「国風文化論」の問題点と文化の日本化<br>11　中世の国家をめぐる学説<br>12　中世の宗教と社会<br>13　新仏教の流布と特色<br>14　中世の罪と刑<br>15　まとめ<br><br>〈予習・復習〉<br>・学生は専用のノートを作り、各回の授業内容のポイントを、毎回 200 字～300 字で、あるいは箇条書きでまとめておくようにしてください。あわせて、キーワードを 3～5 語書き出してください。<br>・各回の授業で参考文献として紹介されたものをできる限り読んでください。 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書は特に指定しない。 | | |
| 試験・評価方法 | 定期試験による（100%） | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | | | |

# デザインと持続可能な未来社会

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290764 |
| 担当教員 | 志田　弘二（芸術工学部准教授）<br /><br /><br>名古屋商工会議所 | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　夏季集中：1 限～4 限（900～1610） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | （未定） | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | 100 | 募集時期 | 4 月,5 月,6 月,7 月 |
| 講義概要 | テーマ：「建築･まちづくり系」構成<br><br>9 月 4 日(月)名古屋の魅力を高めるまちづくり<br>1 限)リニア中央新幹線とまちづくり<br>2 限)名古屋の景観まちづくり<br>3 限)名古屋の歴史まちづくり<br><br>9 月 5 日(火)持続可能な社会を支える環境設備デザイン<br>1 限)サステナブルな建築のデザイン<br>2 限)都市の温暖化を解決する環境デザイン<br>3 限)ドライミストを利用した温熱環境デザイン<br><br>9 月 6 日(水)建築とまちなみの魅力あるデザイン<br>1 限)蔵前の家などの作品のデザイン<br>2 限)ぎふメディアコスモスのデザイン<br>3 限)歴史的な建築やまちなみのデザイン<br><br>9 月 7 日(木)魅力ある建築を実現する構造デザイン<br>1 限)長周期地震動に対応した構造デザイン<br>2 限)空間構造のデザイン<br>3 限)都市木造のデザイン<br><br>9 月 8 日(金)減災を実現するまちづくり<br>1 限)南海トラフ地震への減災まちづくり<br>2 限)陸前高田市の復興まちづくり<br>3 限)津波減災とまちづくり<br><br>※1 限(10:30～12:00)、2 限(13:00～14:30)、3 限(14:45～16:15)<br>※講師の都合により、日程・内容が変更される可能性もあります。 | | |
| テキスト・参考文献 | テキスト：必要に応じて講義当日に資料を配布する。<br>参考文献：特になし | | |
| 試験・評価方法 | 出席 70%、レポート 30% | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 名古屋商工会議所冠講座として実施<br>期間　　　：9 月 4 日(月)から 9 月 8 日(金)の集中講義<br>講義会場：名古屋市立大学北千種キャンパス<br>評価　　　：出席を重視：レポート(1 課題：最終日に出題:提出が必須) | | |

# プロダクトデザイン論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290765 |
| 担当教員 | 國本 桂史（芸術工学部教授） | | |
| 学年配当 | ３年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　木曜日：２限（1040～1210） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | 北千種CM101 | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | １　プロダクトデザインの領域論のオリエンテーリング<br>２　制作、製作、製造、生産の概説<br>３　製品企画、開発から商品化計画までの感性価値創造プロセス<br>４　マーケティング、マーチャンダイジングデザイン<br>５　プロダクト・ポートフォリオ<br>６　プロダクトプロセス開発<br>７　プロダクト・アイデンティフィケーションデザイン<br>８　ユニバーサルデザイン<br>９　ヘルスケア・デザイン<br>10　メディカル・デザイン１<br>11　メディカル・デザイン２<br>12　デザインランゲージ<br>13　メディアインテグレーションとデザイン情報化<br>14　アドバンステクノロジーへのデザインアプローチ<br>15　インダストリアル・ストラテジーとしてのデザインディレクション | | |
| テキスト・参考文献 | テキスト：<br>講義内容に応じて、文献を紹介する。製品デザイン学をベースに、デザイン工学的スタイリングデザイン、実習時などに紹介<br>参考文献:<br>・「かたち・機能のデザイン事典」（丸善 株式会社）<br>・「製品開発とデザイン その優れた１００選」：OneHundredGreatProductDesigns（丸善株式会社） | | |
| 試験・評価方法 | ・レポート、考査、ポートフォリオの評価。<br>・講義出席率を考慮する。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 商品カタログの収集、ショールームの見学を各自日常的に積極性をもって、デザイン情報の収集する姿勢をもつこと。<br>講義ノートづくりは必須である。また、スケール感を養うためにコンベックスを必ずもって参加すること。<br>プロダクトデザイン系の書籍およびデザイン領域の歴史・文化関連の学習をしておくこと。<br>雑誌 EB に連載された「想像する創造」を事前に読んでおくように。<br>インダストリアルデザイン、プロダクトデザインの美しい製品の情報を収集しておくこと。<br>各自でインダストリアルデザイン、プロダクトデザイン、メディカルデザイン、ヘルスケアデザインの情報を収集しておくこと。<br>関連 URL:http://www.kunimoto-design.jp | | |

# 知的財産関連法規

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290766 |
| 担当教員 | 横山 清子（芸術工学部教授）<br /><br />日本弁理士会 | | |
| 学年配当 | ３年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　火曜日：３限（1300～1430） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 北千種Ｃ大講義室 | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | １回 知的財産権入門<br>２回 特許法１　発明とは何か<br>３回 特許法２　権利取得手続<br>４回 特許法３　特許権の活用<br>５回 特許法４　演習<br>６回 意匠法１<br>７回 意匠法２　検索実習<br>８回 商標法<br>９回 J-PlatPat 実習<br>10回 不正競争防止法<br>11回 著作権法１<br>12回 著作権法２<br>13回 外国特許<br>14回 知的財産関連法規まとめ<br>15回 特許紛争劇<br>16回 試験<br><br>※講師の都合で順番・内容が変わる場合があります。 | | |
| テキスト・参考文献 | テキスト：必要に応じて資料を配布する。 | | |
| 試験・評価方法 | 期末の筆記試験 100% | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 日本弁理士会東海支部の協力により実施する。<br><br>毎回、講義の冒頭で上映内容のプリントアウト資料を配布するので遅刻禁止とする。 | | |

# 建築家の仕事

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋市立大学 | 科目コード | 290767 |
| 担当教員 | 鈴木　賢一（芸術工学部教授）<br /><br /><br>日本建築家協会 | | |
| 学年配当 | ３年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　金曜日：２限（1040～1210） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | 北千種CM101 | | |
| 履修条件 | - | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | ４月,９月 |
| 講義概要 | １回　建築家の活躍する職場（講師１）<br>２回　建築家の学歴と資格（講師２）<br>３回　住宅設計の仕事（講師３）<br>４回　住宅設計の仕事（講師４）<br>５回　住宅設計の仕事（講師５）<br>６回　まちづくりの仕事（講師６）<br>７回　まちづくりの仕事（講師７）<br>８回　組織事務所の仕事（講師８）<br>９回　組織事務所の仕事（講師９）<br>10回　組織事務所の仕事（講師 10）<br>11回　アトリエ事務所の仕事（講師 11）<br>12回　アトリエ事務所の仕事（講師 12）<br>13回　インテリアの仕事（講師 13）<br>14回　インテリアの仕事（講師 14）<br>15回　将来の仕事（受講生による発表）<br><br>※講師の都合で順番・内容が変わる場合があります。 | | |
| テキスト・参考文献 | | | |
| 試験・評価方法 | 出席率 50%、レポート課題 50% | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 日本建築家協会（JIA）東海支部による開講科目 | | |

# キャリア発達論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知大学 | 科目コード | 290801 |
| 担当教員 | 武田　圭太（文学部教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　月曜：4 限（1500～1630）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 社会・マスコミ・情報 | | |
| 教室 | 豊橋キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | テーマ：組織社会化の諸問題<br>概要：働くことに焦点を合わせ，経営組織の構成員として，職場集団のなかで与えられた職務を遂行しながら，加齢とともに人が発達・成長・社会化・個性化していく過程について学ぶ。学校から仕事の世界へ移行する直前の発達段階にある大学在学中に，経営組織の構成員として，働くことにかかわる主な出来事を事前に理解すること，つまり，予期的社会化を経験したい。具体的には，職業興味，職業選択，採用選考，組織コミットメント，仕事の動機づけ，現実ショック，早期離職，職務満足，職場のストレス状態，過労死・過労自殺，女性の就業問題，仕事と家庭との調和など，キャリアの生涯発達に関する個別主題を取り上げて，新規学卒者の採用と定着，共働き夫婦の仕事と家庭との調和をはじめ，職業生活にかかわる身近な問題について考える。<br>この授業の目標は，自身のキャリアを創造するための基本的な考え方を理解することであり，それによって，卒業後の職業生活への適応力を習得することが期待できる。<br>青年後期から成人前期にかけてのキャリアの発達について，主な論点を取り上げて解説する。<br>講義形態：原則として，講義形式で行う。できるかぎり具体的な事例や研究例を供覧しながら展開していく。<br>スケジュール：<br>1.組織社会化とキャリア開発計画<br>2.キャリア展望と生涯生活計画<br>3.職業興味とパーソナリティ<br>4.職業選択と採用選考<br>5.組織コミットメント<br>6.仕事の動機づけ<br>7.現実ショックへの対処<br>8.フリーターと早期離・転職<br>9.職務満足<br>10.長時間労働と過労死・過労自殺<br>11.職場のストレス状態と健康<br>12.女性が働く現状<br>13.共働き夫婦のキャリア<br>14.仕事と家庭との調和<br>15.まとめ: キャリア発達初期の課題 | | |
| テキスト・参考文献 | テキストは特に指定しない。<br>以下の文献を参考書にし、授業中に適宜紹介する。<br>・F. E. フィードラー（山田雄一 訳）　1970　『新しい管理者像の探求』　産業能率大学出版部<br>・M. フリードマン・R. H. ローゼンマン（河野友信　監修・新里里春　訳）1993　『タイプA－性格と心臓病－』　創元社<br>・J. L. ホランド（渡辺三枝子・松本純平・道谷里英　共訳）　2013　『ホランドの職業選択理論－パーソナリティと働く環境－』　雇用問題研究会<br>・K. E. クラム（渡辺直登・伊藤知子　訳）2003　『メンタリング－会社の中の発達支援関係－』　白桃書房<br>・D. J. レヴィンソン（南　博　訳）　1992　『ライフサイクルの心理学（上）（下）』　講談社<br>・B. M. ニューマン・P. R. ニューマン（福富　護　訳）　1988　『新版生涯発達心理学－エリ | | |

| | |
|---|---|
| | クソンによる人間の一生とその可能性ー』　川島書店<br>・斎藤耕二・菊池章夫　編著　1990　『社会化の心理学ハンドブックー人間形成と社会と文化ー』　川島書店<br>・J. W. サントロック（今泉信人・南　博文　編訳）　1992　『成人発達とエイジング』　北大路書房<br>・佐野勝男･槇田 仁･関本昌秀　1987　『新・管理能力の発見と評価ーパーソナリティからの新しいアプローチー』　金子書房<br>・E. H. シャイン（二村敏子・三善勝代　訳）　1991　『キャリア・ダイナミクス』　白桃書房<br>・N. K. シュロスバーグ（武田圭太・立野了嗣　監訳）　2000　『「選職社会」転機を活かせ』　日本マンパワー出版<br>・H. セリエ（杉靖三郎ほか　訳）1988　『現代社会とストレス』　法政大学出版局<br>・白樫三四郎　編著　2009　『産業・組織心理学への招待』　有斐閣<br>・武田圭太　1993　『生涯キャリア発達ー職業生涯の転機と移行の連鎖ー』　日本労働研究機構<br>・武田圭太　2008　『ふるさとの誘因』　学文社<br>・武田圭太　2010　『採用と定着ー日本企業の選抜・採用の実態と新入社員の職場適応ー』　白桃書房<br>・武田圭太　2015　『かかわりを求める女性心理』　ナカニシヤ出版<br>・武田圭太　2016　『“私”を選択する女性心理』　学文社<br>・上畑鉄之丞　1993　『過労死の研究』　日本プランニングセンター |
| 試験・評価方法 | ①随時行う小テストと②定期試験期間中に提出する単位レポートをもとに評価する。<br>①を 40%，②を 60%として総合評価する。 |
| 別途必要な経費 | 特になし |
| その他特記事項 | 関連する科目として，社会心理学を履修することが望ましい。 |

# ドイツ事情

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知大学 | 科目コード | 290802 |
| 担当教員 | 鈴木　康志（文学部教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　水曜：4 限（1500～1630）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | 豊橋キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 9 月 |
| 講義概要 | テーマ：ドイツ語圏の文化<br>概要：21 世紀の「壮大な実験」と言われる EU（ヨーロッパ連合），その EU の中心の一つとなるドイツ語圏の「文化」の一端に触れることを目標にします。<br>講義は体系的なものではなく，様々なジャンルから、いくつかの作品やトピックスを選び，その作品，トピックスを鑑賞ないし概説したあと，みなさんと一緒に考えることによってドイツ語圏の文化に対する理解を深めていきます。以下は講義予定です。　（項目は立てていませんが，ドイツ語圏であるオーストリアやスイスについても講義する予定です。また、言葉の理解なしに文化の理解はむずかしいと思いますので、発音や簡単な文法などドイツ語そのものについても基礎を少し学びます。）<br>講義形態：授業は講義形式で行います。<br>スケジュール：<br>1.ドイツのイメージ―Introduction をかねて―<br>2.ドイツの近代史（第 2 次世界大戦くらいまで）<br>3.ドイツの現代史（戦後のドイツ，ベルリンの壁やドイツ統一など）<br>4.ドイツの音楽（教養あるいは趣味としてのクラシック音楽）<br>5.ドイツの現代音楽Ⅰ（70，80 年代のジャーマンロック(ノイエ・ドイチェ・ベレ)）<br>6.ドイツの現代音楽Ⅱ（現代のジャーマンロック・ジャーマンポップス）<br>7.ドイツの現代音楽Ⅲ（ドイツのハードロック（ジャーマンメタル）など）<br>8.ドイツの現代文学・文化（マンガに受容されたドイツ文化，ドイツサッカーなど）<br>9.ドイツの現代映画Ⅰ（戦前と 60～70 年代と現代のドイツ映画について）<br>10.ドイツの現代映画Ⅱ（現代のドイツ映画を鑑賞します。）<br>11.ドイツの美術と街並み（ビデオ・スライドで美しいドイツの美術や街並みを見ます）<br>12.ナチスをめぐる問題（ナチスのユダヤ人虐殺とその現代への影響について）<br>13.ドイツの環境政策（環境先進国ドイツの環境政策を紹介します）<br>14.ドイツの食文化（ビール、パン、ソーセージ、スイーツなど）<br>15.まとめと簡単な試験 | | |
| テキスト・参考文献 | テキスト：プリントを使用する予定です。<br>参考文献：<br>①鈴木・保坂著 『ドイチュ　アインブリック！（みんなで学ぼう、ドイツとドイツ語）』 大学書林<br>②村上　敦著　　『キロワットアワ・イズ・マネー』いしづえ （最初の授業の際に参考図書の説明をします。） | | |
| 試験・評価方法 | 出席(毎回小レポート提出)、授業への参加態度（30%）及び授業時中に実施する臨時試験（70%）により評価する。出席重視で４回以上の欠席は認めない。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | プリントが多くなりますので、ファイルを用意してください。<br>また授業中の私語を厳禁します。 | | |

# 地域学概論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知大学 | 科目コード | 290803 |
| 担当教員 | 岩崎　正弥（地域政策学部教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　水曜：3 限（1320～1450）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 豊橋キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 9 月 |
| 講義概要 | テーマ：地域の学びのもつ意味や特徴，地域学の現状と地域政策（地域づくり）との関連，課題と展望などを学ぶ<br>概要：「地域学」と呼ばれる住民自身による地域の学びが全国各地で行われるようになってきました。自地域の名称を頭に付ける「●●学」という言葉を聞いたことがあるかもしれません。地域学は，決して自地域だけを考え，自地域のみの繁栄を求める試みではありません。暮らしの場を見つめ，自分たちの根っこを掘り下げていくことで世界につながる，そんな志向性をもった地域の学びです。<br>この授業では，いわゆる「地域科学」ではなく，地域づくり現場で注目を集めている上記の「地域学」を中心に据えて講義を進めます。地域学とは何か，から始まって，地域学の実態，特色，手法，意義，課題を順次考察する予定です。また地域政策分野では「市民協働」が強調されますが，この担い手育成とも関わり，また地域の持続可能性（サステナビリティ）への展望も視野に入れています。<br>講義形態：　講義形式。履修人数にもよりますが，受講生が可能な限り参加できるような工夫をします。<br>スケジュール：<br>1.地域学って何？<br>2.地域学の背景<br>3.地域学の考え方<br>4.水俣学～絶望から立ち上げる希望～<br>5.東北学～「辺境」からの挑戦～<br>6.愛知県の地域事情～愛知県に地域学はありえるのか～<br>7.地域学を疑似体験してみよう<br>8.地域学の特色～気づきから行動へ～<br>9.様々な地域学と課題～レポート 1 の共有(1)～<br>10.「小さな自治」を育てる地域学<br>11.地域政策（地域づくり）の担い手育成<br>12.住み続けるに値する地域とは～地域の持続可能性論(1)～<br>13.地域のサステナビリティとは～地域の持続可能性論(2)～<br>14.広域圏で構想する地域学～地域の持続可能性論(3)～<br>15.総括～レポートの共有(2)～ | | |
| テキスト・参考文献 | テキスト：テキストは使用しません。毎回プリントを配布します。<br>参考文献：　授業時に適時紹介します。 | | |
| 試験・評価方法 | 総合評価。出席表（毎回の感想等）20 点。レポート（2 回提出予定）30 点（15 点×2 回）。期末試験 50 点。ただし第 1 回授業時に「授業の約束事」を配布するので，それをよく確認すること。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 言うまでもないことですが「私語厳禁」。この点は非常に厳しい態度で臨みます。<br>詳細は，第 1 回授業時に配布する「授業の約束事」をよく確認すること。 | | |

# 西洋法制史Ⅰ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知大学 | 科目コード | 290804 |
| 担当教員 | 大川　四郎（法学部教授） | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　月曜：1 限（900～1030）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史,法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | テーマ：西洋法の根幹を歴史的に理解する<br>概要：古代から１８世紀末までの西洋法史を概観する。<br>講義形態：講義形式による。法制史は、歴史学の一部門でもあるから、史料に基づきながら、講義を進める。なお、適宜ビデオやスライド等の映像資料をも提示する。<br>スケジュール：<br>1.緒論・古代ギリシア・ローマにおける訴訟の萌芽<br>2.「ローマ的なもの」とは何か　ー統治の天才、ローマ人<br>3.「ローマ帝国」と法律家　ー　権力と法律家との悩ましい関係<br>4.「ローマ法大全」の編纂　ー　法典編纂の陰に「女」あり<br>5.ローマ法と現代法　ー　ローマ法と日本法の関係<br>6.中世ヨーロッパにおける大学の成立　ー　キリスト教教会に由来する大学<br>7.スコラ学と法解釈学　ー　史上最古のボローニャ大学法学部<br>8.キリスト教と法（1）　ー　教会あるところ、法あり<br>9.キリスト教と法（2）　ー　人はなぜ教会の法を遵守したか？<br>10.キリスト教と法（2）　ー　人はなぜ教会の法を遵守したのか？<br>11.「教会法大全」の編纂　ー　司祭様は法律家？<br>12.教会法と現代法　ー　教会法と日本法の関係<br>13.教会法をめぐる裁判　ー　英国大法官トマス・モアの悲劇<br>14.ローマ・カノン法学識の伝播（1）　ー　バルトリストにあらずんば法学徒にあらず<br>15.ローマ・カノン法学識の伝播（2）　ー　『ガルガンチュア物語』で罵倒される法学部・まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | テキスト：<br>・ピーター・スタイン著，屋敷二郎監訳，関根徳・藤本幸二訳『ローマ法とヨーロッパ』（ミネルヴァ書房，2013 年）<br>なお、あらかじめ指示したときには、各自の六法を持参してほしい。<br><br>参考文献：<br>授業の進度に応じて適宜指示する。通史的なものとしては以下のものを挙げておく。<br>・碧海純一・伊藤正巳・村上淳一編『法学史』（東京大学出版会，1976 年）<br>・クヌート・N・ネル著村上淳一訳『ヨーロッパ法史入門』（東京大学出版会、1999 年）<br>・勝田有恒・森征一・山内進編『概説　西洋法制史』（ミネルヴァ書房，2004 年）<br>・笹倉秀夫著『法思想史講義（上）（下）』（東京大学出版会、2007 年）<br>授業への興味を喚起する読物として、以下のものを挙げておく。<br>・エドワード・ギボン著中野好之訳『ローマ帝国衰亡史（全 11 巻）』（ちくま文芸文庫、1997 年）<br>・塩野七生著『ローマ人の物語（全 15 巻）』（新潮文庫、1992－2006 年）<br>・佐藤賢一著『カルチェ・ラタン』（集英社文庫、2003 年）<br>・ウンベルト・エーコ著河島英昭訳『薔薇の名前（上・下）』（東京創元社、1990 年）<br>・佐藤賢一著『王妃の離婚』（集英社文庫、2002 年）<br>・グイド・ザッカニーニ著児玉義仁訳『中世イタリアの大学生活』（平凡社、1990 年） | | |
| 試験・評価方法 | 総合的に評価する。<br>・学期末定期試験期間中に筆記試験を実施する（80%）。<br>筆記試験における評価基準は、（1）歴史的背景が理解できているか、（2）対象となっている時 | | |

| | |
|---|---|
| | 代の法制度と現行法とを関連づけることができているか、である。<br>・平常評価（20%：授業時間中にリアクションペーパー又はリアクションペーパー）。<br>以上により評価する。 |
| 別途必要な経費 | 特になし |
| その他特記事項 | 「西洋法制史Ⅱ」をも継続履修してほしい。「到達目標」で掲げているように、「六法に掲載されている（日本）現行法の重要な規定の背後」に「ヨーロッパ法文化の蓄積があることを理解する」ためには、19 世紀までの西洋法史を学習することが必要だからである。法および法律学の歴史に関わる講義であるから、法律学専門科目（特に民法、刑法）を並行して履修してほしい。 |

# 西洋法制史Ⅱ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知大学 | 科目コード | 290805 |
| 担当教員 | 大川　四郎（法学部教授） | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　月曜：1 限（900～1030）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史,法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス | | |
| 履修条件 | 「西洋法制史Ⅰ」からの継続履修を前提とする | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 9 月 |
| 講義概要 | テーマ：西洋における法典編纂史および法学史<br>概要：近世から１９世紀末までの西洋法史を概観する。ちょうどこの期間に、西洋諸国では、法治国家としての諸基盤（司法制度、法典、法曹養成機関）が確立される。換言するならば、19世紀末より日本が継受していくであろう西洋法文化の形成史をたどることになる。<br>講義形態：講義形式による。法制史は、歴史学の一部門でもあるから、史料に基づきながら、講義を進める。なお、適宜、ビデオやスライド等の映像資料をも提示する。<br>スケジュール：<br>1.近世理性主義的自然法論（1）　－　「国際法の父」にとどまらないグロチウス<br>2.近世理性主義的自然法論（2）　－　パンデクテン体系の先駆け？<br>3.フランスにおける法源統一の試み　－　実はフランス革命以前にさかのぼるフランス民法典<br>4.フランス民法典の編纂　－　法典編纂の陰にまたも「女」あり<br>5.エスカレートする宗教裁判　－　ジャンヌ・ダルクの涙<br>6.啓蒙主義と刑法改革運動（1）　－　ことの発端はシャトーの書斎から<br>7.啓蒙主義と刑法改革運動（2）　－　カフェーでの談論から生まれた名著『犯罪と刑罰』<br>8.啓蒙主義と刑法改革運動（3）　－　ギロチンと共に生まれたフランス刑法典<br>9.古典学派刑法学　－　血筋は争えないフォイエルバッハ家？<br>10.ドイツ歴史法学派の萌芽（1）　－　食い物の恨みと法律学<br>11.ドイツ歴史法学派の成立（2）　－　グリム童話と法律学<br>12.パンデクテン法学とドイツ民法典（1）　－　ドイツ人法律家はローマ法がお好き？<br>13.パンデクテン法学とドイツ民法典（2）　－　パンデクテン体系の成立<br>14.近代学派刑法学　－　古典派刑法学の修正<br>15.まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | テキスト：<br>・ピーター・スタイン著屋敷二郎監訳『ローマ法とヨーロッパ』（ミネルヴァ書房、2003年）<br>授業中に指示した時には、各自の六法を持参してきてほしい。<br><br>参考文献：<br>授業の進度に応じて適宜指示する。通史的なものとしては以下の文献を挙げておく。<br>・碧海純一・伊藤正巳・村上淳一編『法学史』（東京大学出版会、1976 年）<br>・クヌート・ネル著村上淳一訳『ヨーロッパ法史入門』（東京大学出版会、1999 年）<br>・勝田有恒・山内進編『近世・近代ヨーロッパの法学者たち』（ミネルヴァ書房、2008 年）<br>・勝田有恒・森征一・山内進編『概説　西洋法制史』（ミネルヴァ書房、2004 年）<br>・笹倉秀夫著『法思想史講義（上）（下）』（東京大学出版会、2007 年）<br>・チェザーレ・ベッカリーア著小谷眞男訳『犯罪と刑罰』（東京大学出版会、2011 年）<br>講義への興味を喚起する読物として、以下のものを読まれるとよい。<br>・柳原正治著『グロティウス』（清水新書、2000 年）<br>・エミール・ルードヴィヒ著北澤真木訳『ナポレオン（上）（下）』（講談社学術文庫、2004年）<br>・高山一彦編訳『ジャンヌ・ダルク処刑裁判』（白水社、2000 年）<br>・ドストエフスキー著亀山郁夫訳『罪と罰（1）（2）（3）』（光文社古典新訳文庫、2009年）<br>・バーバラ・レヴィ著喜多迅鷹 ・喜多元子共訳『パリの断頭台　－　七代にわたる死刑執行人サ | | |

| | |
|---|---|
| | ンソン家年代記』（法政大学出版会、1987 年）<br>・野村?訳『完訳グリム童話集（1）―（7）』（ちくま学芸文庫、2005 年）<br>・上山安敏著『法社会史』（みすず書房、1966 年）<br>・西村稔著『知の社会史　近代ドイツの法学と知識社会』（木鐸社、1987 年） |
| 試験・評価方法 | 総合評価で評価する。<br>・学期末定期試験期間中に筆記試験を実施する（80%）。筆記試験における評価基準は、（1）歴史的背景が理解できているか、（2）対象となっている時代の法制度と現行法とを関連づけることができるか、である。<br>・平常評価（20%：授業時間中にレポート又はリアクションペーパーを課すことがある）<br>以上により評価する。 |
| 別途必要な経費 | 特になし |
| その他特記事項 | この講義は「西洋法制史Ⅰ」からの継続履修が前提となっている。春学期の「西洋法制史Ⅰ」で講じたローマ法が、秋学期の「西洋法制史Ⅱ」の中でも頻繁に出てくるからである。「西洋法制史Ⅰ」を受講済みの学生諸君は、できるだけ「西洋法制史Ⅱ」をも継続して履修してほしい。なお、法および法律学の歴史に関わる講義であるから、受講者は法律学専門科目（特に憲法、民法、刑法）をも並行して履修してほしい。本講で概観した 19 世紀末までの西洋法文化が明治日本で継受されていく過程については、本講担当者が別途開講している「日本法制史Ⅱ」をも聴講されたい。 |

# 中小企業論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知大学 | 科目コード | 290806 |
| 担当教員 | 辻　隆司（経済学部教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　月曜：3 限（1300～1430）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 9 月 |
| 講義概要 | テーマ：　中小企業の行動と実態<br>概要：本講義では、わが国中小企業の発展経緯と中小企業を巡る様々な問題を整理することで、社会経済における中小企業の位置づけを明らかにする。また、社会構造の変化の潮流を捉えながら、中小企業が直面する今日的課題を取り上げ、その実態を明らかにするとともに課題克服に向けた政策のあり方を示す。<br>講義形態：　口述による講義。板書、PowerPoint 等を用いるとともに必要に応じて参考資料を配布する。理論的解説を進める一方で、適宜、映像教材等を利用して現実の中小企業の姿を紹介する。<br>スケジュール：<br>1.オリエンテーション<br>2.中小企業の概念と定義①<br>3.中小企業の概念と定義②<br>4.存立条件と存立形態①<br>5.存立条件と存立形態②<br>6.地位と役割①<br>7.地位と役割②<br>8.中小企業研究の展開①<br>9.中小企業研究の展開②<br>10.中小企業研究の展開③<br>11.中小企業と資金調達<br>12.公的金融と地域金融機関<br>13.中小企業の課題①<br>14.中小企業の課題②<br>15.まとめ<br>ただし、受講者の関心や受講状況、講義の進捗状況等に応じて予定を変更することがある | | |
| テキスト・参考文献 | ＜テキスト＞<br>特定のものは使用しない<br>＜参考文献＞<br>・高田亮爾ほか『現代中小企業論』増補版、同友館、2011 年<br>・植田浩史ほか『中小企業・ベンチャー企業論』新版、有斐閣コンパクト、2014 年<br>・松井敏邇『中小企業論』増補版、晃洋書房、2009 年<br>・中小企業庁編『中小企業白書』ぎょうせい<br>その他、必要に応じて参考図書を紹介する | | |
| 試験・評価方法 | 講義期間中に実施する中間レポート（あるいはリアクションペーパー）（50%）と期末レポート（50%）をもとに総合評価する。ただし、履修者多数の場合は、筆記試験（100%）による評価に変更する場合がある | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 講義に関するコメントを講義中あるいはメール等にて受付け、講義でフィードバックします。不明な点がある場合は、積極的に質問してください。 | | |

# 都市経済論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知大学 | 科目コード | 290807 |
| 担当教員 | 國崎　稔（経済学部教授） | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　金曜：2 限（1045～1215）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 9 月 |
| 講義概要 | テーマ： 都市の形成と空間利用に関する都市問題の原因とその対応策<br>概要：都市に働きそして居住するのはなぜだろうか。そして、どのようにして都市の規模が決まるのだろうか。さらに、都市の機能は何か。多様な経済問題を抱える都市の形成とその多様性を理解する。<br>講義形態：講義形式で行う。必要な資料は授業中適宜配布する。<br>スケジュールについては変更の可能性があります。<br>1.オリエンテーション<br>2.都市の形成<br>3.集積の利益<br>4.輸送費問題と都市形成<br>5.都市内土地利用と地代１<br>6.都市内土地利用と地代２<br>7.企業立地<br>8.土地利用の規制<br>9.市場都市と中心地理論<br>10.都市交通問題１<br>11.都市交通問題２<br>12.都市の公共サービス<br>13.地方分権と地域競争<br>14.都市の経済活動<br>15.まとめとレポート提出 | | |
| テキスト・参考文献 | テキスト：<br>佐々木公明・文世一『都市経済学の基礎』有斐閣<br>参考文献：<br>授業中に指示する。 | | |
| 試験・評価方法 | 総合評価（100%）<br>期末試験期間中に実施する筆記試験 70%で評価する。<br>授業期間内レポート 1 回（30%）で評価する。<br>試験評価の基準：都市の形成メカニズムと空間利用の基礎理論を理解できているかによって評価する。<br>レポート評価の基準：都市の諸問題の発生原因と解消策の関連性を中心に評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 経済学の応用分野に関心を持ってもらいたい。 | | |

# 立地分析論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知大学 | 科目コード | 290808 |
| 担当教員 | 神頭　広好（経営学部教授） | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　火曜：5 限（1630～1800）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営,社会・マスコミ・情報 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス | | |
| 履修条件 | ミクロ経済学及び統計学の基礎知識があることが望ましい | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 9 月 |
| 講義概要 | テーマ：立地とまちづくり<br>概要：立地分析手法の理論と応用<br>講義形態：授業については講義形式を採る。受講者からの質問等については講義の後で受ける。<br>スケジュール：<br>1.観光と都市<br>2.観光都市の性格<br>3.観光都市の立地<br>4.観光資源の立地<br>5.ホテルの立地と都市の特徴<br>6.レジャー施設の立地<br>7.アウトレットモールの立地<br>8.観光都市のコンビニエンスストア<br>9.道の駅<br>10.都市と交通と観光資源<br>11.駅の立地<br>12.空港の立地と観光旅行者<br>13.観光資源と旅行者<br>14.まちづくりの事例<br>15.総括 | | |
| テキスト・参考文献 | テキスト：なし<br>参考文献：神頭広好『都市の空間経済立地論』古今書院，2009 年 | | |
| 試験・評価方法 | レポートの内容および秋学期期末試験で評価する。<br>最後の授業で、持ち込みなしか参考図書、自筆ノートのみ持ち込み可を指示する | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | ミクロ経済学及び統計学の基礎知識があることが望ましい。 | | |

# 金融機関論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知大学 | 科目コード | 290809 |
| 担当教員 | 冨村　圭（経営学部准教授） | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　月曜：3 限（1300～1430）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス | | |
| 履修条件 | 「金融論」を履修していることが望ましい | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | テーマ：現代経済における金融機関の機能の理解<br>概要：現在の経済活動において、金融機関が果たす役割や、実体経済に及ぼす影響は益々大きなものになっている。例えば、米国のサブプライム問題によって、投資銀行リーマン・ブラザーズが破綻し、その影響が他の金融機関にも波及することで、世界経済に大きな混乱をもたらした。金融機関の機能を理解することで、経済の流れを読む力を養うことができるようになる。また、金融機関より実務家を外部講師として招く予定である。<br>スケジュール：<br>1.イントロダクション<br>2.金融仲介の理論①<br>3.金融仲介の理論②<br>4.銀行①<br>5.銀行②<br>6.証券会社と投資信託会社<br>7.格付け機関と証券市場<br>8.損害保険会社<br>9.生命保険会社<br>10.中小企業金融機関①<br>11.中小企業金融機関②<br>12.公的機関と信用保証制度<br>13.金融機関のガバナンス問題①<br>14.金融機関のガバナンス問題②<br>15.まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | テキスト：教科書は特に指定しませんが、参考書として紹介したテキストなど、金融を総合的に扱った本を準備することが望ましい。<br>参考文献：呉文二・島村高嘉・中島真志（著）　『金融読本（第 26 版）』（東洋経済新報社） | | |
| 試験・評価方法 | 試験評価（期末試験期間中に実施する筆記試験 100%）で評価する。<br>金融機関の機能を理解できているかを評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 講義形式で行う。<br>「金融論」を履修していることが望ましい。<br>板書は行わず PowerPoint を使用する。<br>各自でノートをとって下さい。 | | |

# 異文化間コミュニケーション

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知大学 | 科目コード | 290810 |
| 担当教員 | 塚本　鋭司（国際コミュニケーション学部教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　火曜：6 限（1810～1940）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学,社会・マスコミ・情報 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | テーマ：異文化理解<br>概要：グローバル化する現代社会において，異なる文化を持つ人々と接触する機会が増えています。そして，お互いの文他背景を知らなければ，意思の疎通が上手くいかなかったり，思わぬトラブルを生じることがあります。<br>この授業では，日本人とほかの国の人々（中国，ドイツ，タイ，アメリカ，イギリス，フランス，ロシア，韓国）との文化の共通性や差異，コミュニケーションの仕方の違いなどについて学びます。<br>講義形態：中国語，ドイツ語，タイ語，英語，フランス語，ロシア語，韓国朝鮮語の教員がリレーで授業を担当します。<br>・1 回目と 14 回目は全担当者による各文化，言語についての紹介，討論を行います。<br>・2 回目から 13 回目は各担当者がリレーで各国の文化，言語について講義形式で話をします。<br>・14 回目と 15 回目はまとめを行います。<br>（詳細は以下の「授業の内容・スケジュール」を参照すること。）<br>1.各文化，言語について　（全担当者）<br>2.アメリカ人とのコミュニケーション　　（塚本鋭）<br>3.アメリカ人とのコミュニケーション　（塚本鋭）<br>4.ドイツ人とのコミュニケーション　（島田）<br>5.イギリス人とのコミュニケーション1　（塚本倫）<br>6.イギリス人とのコミュニケーション2　（塚本倫）<br>7.ロシア人とのコミュニケーション　（清水）<br>8.フランス人とのコミュニケーション　（中尾浩）<br>9.中国人とのコミュニケーション　（塩山）<br>10.中国人とのコミュニケーション　（塩山）<br>11.韓国人とのコミュニケーション（金）<br>12.タイ人とのコミュニケーション（加納）<br>13.タイ人とのコミュニケーション（加納）<br>14.全体討論、講義のまとめ、異文化間コミュニケーションのあり方　（全担当者）<br>15.まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | テキスト：<br>・各担当者が必要な場合にプリントを配布します。<br>・原則として講義内容を自分のノートに筆記すること。<br>参考文献：<br>各担当者が授業中に紹介します。 | | |
| 試験・評価方法 | ＜評価方法＞<br>筆記形式のまとめ（講義 15 回目に実施　80%）と出席状況（20%）を総合して評価します。<br>＜試験実施方法＞<br>定期試験は実施しませんが，授業のなかでまとめの筆記を実施します。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 授業におけるコミュニケーションのあり方を心得て参加すること。（私語，マナーに反する行為は厳禁します。）<br>授業の前に、携帯電話、スマートフォンの電源を切って、カバンの中にしまうこと。授業中にそれらを操作しているところを注意されたら、平常点から5点減点、授業中に着信音を鳴らした | | |

| | |
|---|---|
| | ら、３点減点します。 |

# Popular Culture

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知大学 | 科目コード | 290811 |
| 担当教員 | 山田　美智子（国際コミュニケーション学部准教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　水曜：3 限（1300～1430）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | テーマ：Analysis of American pop culture<br>概要：Analyze various pop culture in the US (mainly ads and movies)<br>講義形態：Lecture MOSTLY in English. Discussion ONLY in English. Materials are provided during class if necessary.<br>スケジュール：<br>1.Music videos<br>2.Advertisements with celebrities<br>3.Superbowl ads<br>4.Subliminal messages<br>5.Fantasy movies (e.g., Lord of the rings, Harry Potter)<br>6.ethics (controversial topics)<br>7.Japanese culture (e.g., maid caf?) seen in American media<br>8.Heroes depicted in the US mass media<br>9.Popularity of manga, animation in America<br>10.Clothes, burger ? from overseas to Japan<br>11.Effective ways of creating ads<br>12.Presentation<br>13.Presentation<br>14.Presentation<br>15.Summary | | |
| テキスト・参考文献 | None | | |
| 試験・評価方法 | Paper & presentation (70%), and attendance & class participation (30 %)<br><br>(I) Paper ? Around 5 pages, single-spaced with at least 3 supporting materials. They should be mentioned in text and bibliography. Use Times New Roman 11 font.<br>-- (a) It affects your grade if you didn’t mention supporting materials in either place or use sources that are not credible such as blog or tabloid articles.<br>-? (b) You get an F for plagiarism. Explanation will be offered in class.<br>-- (c) Late submission of a final paper is NOT acceptable.<br><br>(II) Attendance & participation<br>-- (a) Attendance: A doctor's note and/or some other OFFICIAL document is/are necessary for missing class. Upon submission of such a document, your absence is excused<br>-- (b) class participation　You could fail even if you attended all classes when you don’t pay attention to class, as it indicates that your mind is not in class. | | |
| 別途必要な経費 | None | | |
| その他特記事項 | This syllabus is subject to change | | |

# 日中戦争史

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知大学 | 科目コード | 290812 |
| 担当教員 | 三好　章（現代中国学部教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　月曜：2 限（1045～1215）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 9 月 |
| 講義概要 | テーマ：「日中戦争」の意味を考える<br>概要：「日中戦争」ということばの意味するところを、歴史の文脈の中で考える。東アジア近代史の中で日中両国が互いに関わり合い、そのなかに「日中戦争」があることの意味を、21 世紀の現在から考えたい。日中双方の理解に、それぞれ問題はないのか、特に現地プログラムに参加する学生を対象に考えたい。<br>講義形態：講義が中心となる。<br>スケジュール：<br>1.なぜ、「反日」運動が起こるのか<br>2.～3.近代史における日中関係<br>4.～5.日中戦争の原因……経済・社会・文化<br>6.～7.日中戦争の国際的要因……外交・国際環境<br>8.映画『戦ふ兵隊』……亀井文夫は戦争をどう見たのか<br>9.～11.戦争の終わらせ方、終わり方<br>12.～13.戦後の日中関係<br>14.現在から見た日中戦争<br>15.まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | テキスト：Moodle によって，必要なレジュメを配布する。<br>参考図書：<br>・吉田裕『アジア・太平洋戦争』（岩波新書）<br>・小林英夫『日本のアジア侵略』山川出版社<br>・石島紀之『中国抗日戦争史』青木書店<br>・江口圭一『十五年戦争小史』青木書店 | | |
| 試験・評価方法 | 期末試験により評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 講義への遅刻、途中退出、および講義中の飲食などは厳禁する。<br>なお、配布物の再配布はおこなわないので、十分に注意すること。 | | |

# 日中関係論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知大学 | 科目コード | 290813 |
| 担当教員 | 砂山　幸雄（現代中国学部教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　水曜：1 限（900～1030）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 9 月 |
| 講義概要 | テーマ：日中関係の基本問題とその背景<br>概要：近年、日中関係は「国交正常化以来、最悪の状態」といわれるようになった。一時ほど険悪ではなくなったとはいえ、改善したというにはほど遠い状態が続いている。両国の間には、尖閣諸島（中国名：釣魚島）をめぐる領土問題や、首相の靖国神社参拝に象徴される歴史認識問題など、容易には解決が難しい問題が横たわっている。しかし、日中双方にとって日中関係がきわめて重要な二国間関係であることに変わりはない。しかも、両国は世界第2位と第3位の経済大国である。日中関係の今後のあり方は、両国だけでなく東アジア、さらに世界全体の平和と発展にとっても大きな影響をあたえることは間違いない。<br>この講義では、1972 年に実現した「日中国交正常化」のプロセスを検証してから、日中関係の現状と今日直面している諸問題（領土問題、経済問題、世界戦略問題など）について考察する。履修者のなかには学習背景が異なる留学生が含まれることを考慮して、まず日本と中国（場合によっては韓国）の初中等教育で日中関係がどのように教えられてきたかも紹介し、両国間の認識ギャップについてともに考える機会を提供したい。日中関係が良好ではない原因として、両国民ともに日中関係の現実に対する正確な理解を欠いたまま、マスコミの流す一方的な情報に流されていることも大きい。現実を正しく知ることは、問題解決のための大切な手がかりとなる。なお、この授業は日本理解・発信力育成をめざす「さくら 21」科目の一つである。<br>講義形態：講義形式を基本とし、ビデオ映像も利用する。リアクションペーパーを通じて、受講者も能動的に授業に参加するアクティブラーニングを追求する。日中関係の現場に携わる外部講師を招いて講演してもらうことも予定している。<br>スケジュール：<br>1.イントロダクション－日中関係の現状<br>2.歴史的背景（1）―アジアの近代のなかの日本と中国<br>3.歴史的背景（2）―日本の侵略と中国<br>4.歴史的背景（3）―日中戦争と戦後処理<br>5.歴史的背景（4）－中華人民共和国の成立とその後<br>6.日中国交正常化（1）―国交正常化まで<br>7.日中国交正常化（2）―田中訪中と「日中共同声明」<br>8.日中国交正常化（3）?日中平和友好条約と「日中友好」の時代<br>9.日中友好時代の終焉<br>10.日中関係の現状と問題（1）―歴史認識をめぐる問題<br>11.日中関係の現状と問題（2）―経済関係をめぐる問題<br>12.日中関係の現状と問題（3）―領土・領海をめぐる問題<br>13.日中関係の現状と問題（4）―排他的経済水域をめぐる問題<br>14.日中関係の現状と問題（5）―国民間の相互イメージの問題<br>15.外部講師による講演 | | |
| テキスト・参考文献 | テキスト：テキストは用いない。授業中にプリントを配布する。<br>参考文献：<br>基本的なものとして<br>・国分良成・添谷芳秀・高原明生『日中関係史』有斐閣、2013 年<br>・毛里和子『日中関係』岩波新書(新赤版 1021)，2006 年<br>・岡部達味『日中関係の過去と将来』岩波現代文庫，2006 年<br>・服部龍二『日中国交正常化―田中角栄、大平正芳、官僚たちの挑戦』中公新書［2110］、2011 年 | | |

| | |
|---|---|
| | ・梶谷懐『日本と中国経済―相互交流と衝突の 100 年』ちくま新書、2016 年<br>・高原明生ほか編『日中関係史　1972-2012』全 4 巻、東京大学出版会、2012 年 |
| 試験・評価方法 | ・授業参加度（受講回数 10 回未満のものは評価対象としない）30%、期末試験の成績 70%の加重で評価する。<br>・日中関係の基本的事項を中心とした授業の理解度を成績評価の基準とする。 |
| 別途必要な経費 | 特になし |
| その他特記事項 | ・高校時代に使った「日本史」「世界史」（留学生はそれぞれの国の「国史」や「世界史」）の教科書を捨てないで、参考にしてください。 |

# 仏教学入門Ⅰ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知学院大学 | 科目コード | 291001 |
| 担当教員 | 石田　尚敬（文学部講師） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　金曜日：1 限（930～1100） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 日進キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【授業の概要】<br>仏教学とは、仏教を対象とした学門ということに間違いはないが、その研究対象は、地域的に見ても、その研究方法（方法論）においても、極めて多様性に富むものである。本講義では、仏教を専門的に研究したい学生だけでなく、他の分野に関心のある受講生も対象として、仏教研究のさまざまなアプローチを幅広く紹介し、その魅力を感じてもらうことを目的とする。適時、映像資料も用いて授業を行う。<br>【授業の到達目標】<br>１．インドに始まる仏教の伝統とその展開を概観し、おおよその全体像を把握できる。<br>２．歴史学、文献学に基づく思想史研究だけでなく、美術史なども含めた仏教研究の多様な方法論について理解できる。<br>【授業計画】<br>1．イントロダクション―「仏教学」とは<br>2．インダス文明とアーリア人のインド侵入<br>　身分（カースト）制の成立<br>3．ヴェーダの宗教・バラモン教<br>4．ウパニシャッドの思想ー輪廻の思想<br>5．インド仏教１　仏教誕生とその社会背景<br>6．インド仏教２　歴史的ブッダをめぐって―考古学的資料<br>7．インド仏教３　ブッダの伝記となる資料<br>8．インド仏教４　ブッダの生涯（１）<br>9．インド仏教５　ブッダの生涯（２）<br>10．インド仏教６　ブッダの思想（１）―縁起と四諦八正道<br>11．インド仏教７　ブッダの思想（２）―仏教思想と倫理<br>12．インド仏教８　経典の編纂―三蔵の成立<br>13．インド仏教９　アショーカ王の業績<br>14．インド仏教 10 インドとギリシアの交流<br>15．インド仏教 11 仏教教理の体系化―アビダルマの伝統<br>16．定期試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 参考書『仏教入門』 高崎直道 東京大学出版会 2592 円　 978-4130130110（ISBN） | | |
| 試験・評価方法 | 学期末のテスト。授業への参加態度を考慮する。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 質問は、授業中、授業後に随時受け付けます。授業時間外は、メール等での質問も受け付けます。<br>比較的大人数の入門講義になるかと思いますので、なにより私語は厳禁です。 | | |

# 仏教学入門Ⅱ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知学院大学 | 科目コード | 291002 |
| 担当教員 | 石田　尚敬（文学部講師） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　金曜日：1 限（930～1100） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 日進キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 【授業の概要】<br>仏教学の研究対象は、地域的に見ても、その研究方法（方法論）においても、極めて多様性に富むものである。本講義では、仏教を専門的に研究したい学生だけでなく、他の分野に関心のある受講生も対象として、仏教研究のさまざまなアプローチを幅広く紹介し、その魅力を感じてもらうことを目的とする。適時、映像資料も用いて授業を行う。<br>【授業の到達目標】<br>1．仏教の他地域への伝播を概観し、仏教の地域的特性について理解できる。<br>2．歴史学、文献学に基づく思想史研究だけでなく、美術史なども含めた仏教研究の多様な方法論について理解できる。<br>【授業計画】<br>1．イントロダクション―大乗仏教とは何か<br>2．インド仏教 12 大乗経典の起源とその目指すもの<br>3．インド仏教 13 ナーガールジュナ（龍樹）の哲学―空の思想<br>4．インド仏教 14 唯識思想―仏教の心理学<br>5．インド仏教 15 インド仏教と他宗教の交流<br>6．インド仏教 16 密教とは何か<br>7．チベットへの仏教の伝播<br>8．東南アジアの仏教<br>9．中国仏教１ 中国への仏教の伝播と特色<br>10．中国仏教２ 仏典漢訳の歴史と特色<br>11．中国仏教３ 中国における仏教思想の変容と展開<br>12．日本仏教１ 日本への仏教の伝播と特色<br>13．日本仏教２ 最澄と空海<br>14．日本仏教３ 鎌倉新仏教とその後の展開<br>15．現代社会と仏教<br>16．定期試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 参考書 『仏教入門』 高崎直道 東京大学出版会 2592 円　 978-4130130110（ISBN） | | |
| 試験・評価方法 | 学期末のテスト。授業への参加態度を考慮する。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 質問は、授業中、授業後に随時受け付けます。授業時間外は、メール等での質問も受け付けます。<br>比較的大人数の入門講義になるかと思いますので、なにより私語は厳禁です。 | | |

# 仏教の歴史Ⅰ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知学院大学 | 科目コード | 291003 |
| 担当教員 | 石田　尚敬（文学部講師） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　金曜日：2 限（1110～1240） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 日進キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【授業の概要】<br>インドは「歴史のない国」といわれるほど、歴史書の形をとる資料はあまり残されていません。そのような中、中国からインドへ旅した留学僧たちの記録は、歴史的にも大きな意味を持っています。本講義では、法顕の『仏国記』や玄奘の『大唐西域記』などの旅行記を参照し、そこに見られるインド社会およびインド仏教の姿を考察します。<br>【授業の到達目標】<br>1．中国からインドへ旅した留学僧の記録を通して、インド仏教の歴史を多角的に考察できる。<br>2．インド仏教および中国仏教の基本的な用語を理解できる。<br>【授業計画】<br>1．イントロダクション<br>2．インド仏教の成立と展開<br>・本講義に先立ち、インド仏教の基本的事項を解説します<br>3．インド仏教の各地域への広がり<br>・インド仏教が世界各地に広がり、変容していく過程を説明します<br>4．中国への仏教の伝播<br>・インドから中央アジアを経て、中国へ仏教が伝わる過程を説明します<br>5．初期の中国仏教と経典の翻訳<br>・中国仏教の最初期の状況と経典の翻訳について解説します<br>6．中国からの留学僧<br>・中国からインドへ留学した僧たちの目的と経路について解説します<br>7．法顕『仏国記』を読む（1）<br>・法顕の『仏国記』を読み、そこに見られるインドの宗教文化について考察します<br>8．法顕『仏国記』を読む（2）<br>・法顕の『仏国記』を読み、そこに見られるインドの宗教文化について考察します<br>9．法顕『仏国記』を読む（3）<br>・法顕の『仏国記』を読み、そこに見られるインドの宗教文化について考察します<br>10．法顕『仏国記』を読む（4）<br>・法顕の『仏国記』を読み、そこに見られるインドの宗教文化について考察します<br>11．法顕『仏国記』を読む（5）<br>・法顕の『仏国記』を読み、そこに見られるインドの宗教文化について考察します<br>12．中国仏教史における玄奘の位置づけ<br>・中国仏教史における玄奘の重要性とインドへ留学した目的について考察します<br>13．玄奘『大唐西域記』を読む（1）<br>・玄奘の『大唐西域記』を読み、当時の中央アジアの情勢について考察する<br>14．玄奘『大唐西域記』を読む（2）<br>・玄奘の『大唐西域記』を読み、当時の中央アジアの情勢について考察する<br>15．まとめ<br>16．定期試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 参考書　『法顕伝・宋雲行紀』 長沢和俊 平凡社 2592 円 978-4582801941 (ISBN) 東洋文庫 194 | | |

| | |
|---|---|
| | 『大唐西域記１』 水谷真成 平凡社 2707円 978-4582806533 (ISBN) 東洋文庫 653 |
| 試験・評価方法 | 学期末のテスト。授業への参加態度を考慮する。 |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | 質問は、授業中、授業後に随時受け付けます。授業時間外は、メール等での質問も受け付けます。<br>比較的大人数の入門講義になるかと思いますので、なにより私語は厳禁です。 |

# 仏教の歴史Ⅱ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知学院大学 | 科目コード | 291004 |
| 担当教員 | 石田　尚敬（文学部講師） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　金曜日：2 限（1110～1240） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 日進キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 【授業の概要】<br>インドは「歴史のない国」といわれるほど、歴史書の形をとる資料はあまり残されていません。そのような中、中国からインドへ旅した留学僧たちの記録は、歴史的にも大きな意味を持っています。本講義では、玄奘の『大唐西域記』や義浄の『南海寄帰内法伝』などの旅行記を参照し、そこに見られるインド社会およびインド仏教の姿を考察します。<br>【授業の到達目標】<br>1．中国からインドへ旅した留学僧の記録を通して、インド仏教の歴史を多角的に考察できる。<br>2．インド仏教および中国仏教の基本的な用語を理解できる。<br>【授業計画】<br>1．イントロダクション<br>2．玄奘と『大唐西域記』<br>・玄奘による『大唐西域記』の成立について解説します<br>3．玄奘『大唐西域記』を読む（3）<br>・玄奘の『大唐西域記』を読み、当時の北西インドの情勢について考察する<br>4．玄奘『大唐西域記』を読む（4）<br>・玄奘の『大唐西域記』を読み、当時の北インドの情勢について考察する<br>5．玄奘『大唐西域記』を読む（5）<br>・玄奘の『大唐西域記』を読み、当時の北インドの情勢について考察する<br>6．玄奘『大唐西域記』を読む（6）<br>・玄奘の『大唐西域記』を読み、ナーランダー僧院における玄奘の学習内容について考察する<br>7．玄奘『大唐西域記』を読む（7）<br>・玄奘の『大唐西域記』を読み、当時の大乗仏教の情勢について考察する<br>8．玄奘『大唐西域記』を読む（8）<br>・玄奘の『大唐西域記』を読み、当時の大乗仏教の隆盛について考察する<br>9．玄奘『大唐西域記』を読む（9）<br>・玄奘の『大唐西域記』を読み、当時の南インドの情勢について考察する<br>10．義浄と『南海寄帰内法伝』<br>・中国仏教史における義浄の位置づけと義浄のインド渡航の目的について考察します<br>11．義浄『南海寄帰内法伝』を読む（1）<br>・義浄の『南海寄帰内法伝』を読み、そこに見られる東南アジアの宗教文化について考察します<br>12．義浄『南海寄帰内法伝』を読む（2）<br>・義浄の『南海寄帰内法伝』を読み、そこに見られるインドの宗教文化について考察します<br>13．義浄『南海寄帰内法伝』を読む（3）<br>・義浄の『南海寄帰内法伝』を読み、そこに見られるインドの宗教文化について考察します<br>14．義浄『南海寄帰内法伝』を読む（4）<br>・義浄の『南海寄帰内法伝』を読み、そこに見られるインドの宗教文化について考察します<br>15．まとめ<br>16．定期試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 参考書　『大唐西域記２』 水谷真成 平凡社 3024 円 978-4582801941 （ISBN）東洋文庫 655 | | |

| | |
|---|---|
| | 『大唐西域記３』 水谷真成 平凡社 3456 円 978-4582806533 （ISBN）<br>東洋文庫 657 |
| 試験・評価方法 | 学期末のテスト。授業への参加態度を考慮する。 |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | 質問は、授業中、授業後に随時受け付けます。授業時間外は、メール等での質問も受け付けます。<br>比較的大人数の入門講義になるかと思いますので、なにより私語は厳禁です。 |

# 現代社会と宗教Ⅰ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知学院大学 | 科目コード | 291005 |
| 担当教員 | 小林　奈央子（文学部准教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　金曜日：2 限（1110～1240） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 日進キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【授業の概要】<br>泥沼化しているシリア内戦やアフリカ各地の紛争、西欧諸国の移民問題、アメリカ大統領選挙など、現代社会で起こっている出来事の背景には、政治や民族、経済問題はもちろんのこと、宗教にかかわる問題も多く含まれています。本授業では、現在、世界各地で起こっている諸問題について、宗教を切り口として考察していきます。各宗教の分布や教義内容、歴史や特色などを学んだ上で、現在の世界情勢を理解していきます。<br>【授業の到達目標】<br>世界の宗教について基礎的な知識をもつことができる。現代世界で起こっている時事問題を、宗教の視座から考察できるようになる。ディスカッションを通じて、自分の意見をまとめ、他者に伝えるための訓練ができるようになる。<br>【授業計画】<br>1．「ガイダンスとクイズ」：授業方針の説明とクイズ<br>・本授業の概要について説明します<br>・宗教と現代社会に関わるクイズをします<br>2.　「ユダヤ教」：ユダヤ教の概要と社会問題<br>・ユダヤ教の概要を学びます<br>・ユダヤ教にかかわる時事問題について考察します<br>3.「キリスト教（1）」：キリスト教の概要と特色<br>・キリスト教の概要を学びます<br>・キリスト教の諸教派について把握します<br>4．「キリスト教（2）」：キリスト教に関わる時事問題<br>・キリスト教の現況を把握します<br>・キリスト教に関わる時事問題について考察します<br>5.「イスラーム（1）」：イスラームの概要と特色<br>・イスラームの概要を学びます<br>・イスラームの諸分派について把握します<br>6.「イスラーム（2）」：イスラームに関わる時事問題<br>・イスラームの現況を把握します<br>・イスラームに関わる時事問題について考察します<br>7.「アブラハムの宗教」：「アブラハムの宗教」と現代社会<br>・「アブラハムの宗教」について学びます<br>・「アブラハムの宗教」と現代社会をめぐる問題について考察します<br>8.「アジアの宗教（1）」：アジアの宗教の概要と特色<br>・アジア世界の宗教分布について把握します<br>・アジアの宗教史を学びます<br>・宿題のレポートを回収する<br>9.「アジアの宗教（2）」：アジアの宗教に関わる時事問題<br>・アジアの宗教の現況を把握します<br>・アジアの宗教に関わる時事問題を考察します<br>10.「アフリカの宗教」：アフリカの宗教と時事問題<br>・アフリカの宗教に関する現状を把握します<br>・アフリカ社会における宗教の問題について考察します<br>11.「移民問題と宗教」：移民問題を宗教 | | |

| | |
|---|---|
| | ・移民問題の現況を把握します<br>・移民問題を宗教とのかかわりから考察します<br>12. 「国家と宗教」：国家と宗教のかかわり<br>・国家のあり方と宗教のかかわりについて学びます<br>・政教分離、政教一致について学びます<br>13. 「世界経済と宗教」：世界経済と宗教のかかわり<br>・世界経済と宗教のかかわりについて学びます<br>14. 「宗教とジェンダー」：宗教とジェンダーをめぐる問題<br>・宗教をジェンダーの視点から把握する<br>・ジェンダーの視点をもつことの意義を学ぶ<br>15. 「生命倫理と宗教」：生命倫理と宗教をめぐる問題<br>・生命倫理に関わる問題を把握します<br>・生命倫理について宗教の視点から考察します<br>・レポートの回収と本授業のまとめ<br>16. 定期試験 |
| テキスト・参考文献 | テキストは使用しません。<br>毎回の授業テーマに合わせて、参考文献は適宜紹介します。 |
| 試験・評価方法 | 平常点（授業参加状況＋授業内小レポート＋宿題レポート）５０％<br>定期試験５０％ |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | 授業中の私語、携帯電話・スマートフォンの使用は禁止します。 |

# 現代社会と宗教Ⅱ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知学院大学 | 科目コード | 291006 |
| 担当教員 | 小林　奈央子（文学部准教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　金曜日：2 限（1110～1240） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 日進キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 【授業の概要】<br>近年、世代や性別を超えて多くの人びとが山登りを愉しんでいます。そんないわゆるスポーツ登山をしているときも、山中で石仏や祠を目にしたり、白衣の修行者と出くわすことがあります。なぜならば、日本の山岳は、それ自体が御神体、あるいは、神仏や死者（ひいては祖霊）の鎮まる霊域と考えられ、古くから信仰の対象となってきたからです。本授業では、日本各地の霊山を紹介し、各霊山の歴史や信仰、文化について詳しく学んでいきます。<br>【授業の到達目標】<br>山岳信仰のもつ特色を理解し、山岳信仰に関する基礎知識を得ることができる。日本の霊山に関する見識を深めることで、日本の宗教習俗の一端を理解することができる。<br>【授業計画】<br>1.「ガイダンスと霊山に関するクイズ」：授業方針の説明とクイズ<br>・本授業の概要を説明します<br>・霊山に関するクイズをします<br>2.「山岳信仰とは何か」：山岳信仰研究の概要<br>・山岳信仰の定義や特色について概説します<br>3.「近畿地方の霊山（1）」<br>・大峰山など近畿地方を代表する霊山の歴史と現況について解説します<br>・大峰奥駈修行について学びます<br>・大峰奥駈修行の DVD を鑑賞し感想をまとめてもらいます<br>4.「近畿地方の霊山（2）」<br>・葛城二十八経塚について概説します<br>・大峰山と葛城山を比較します<br>・女人禁制の問題を考察します<br>5.「中部地方の霊山（1）」<br>・レポートを回収します<br>・中部地域の霊山について学びます<br>・愛知県の山岳霊場について学びます<br>6.「中部地方の霊山（2）」<br>・三禅定の1つ、白山信仰について学びます<br>・延年など山伏による宗教儀礼について学びます<br>7.「中部地方の霊山（3）」<br>・三禅定の1つ、立山信仰について学びます<br>・山中他界観について考察します<br>・布橋灌頂会の DVD を鑑賞し感想をまとめてもらいます<br>8.「中部地方の霊山（4）」<br>・木曽御嶽信仰について学びます<br>・御嶽信仰の世界観を理解します<br>・御座儀礼の DVD を鑑賞して感想をまとめてもらいます<br>9.「富士山をめぐる信仰」<br>・富士山の信仰について学びます<br>・御師の習俗について学びます<br>・富士塚の習俗について理解します<br>10.「関東地方の霊山（1）」 | | |

| | |
|---|---|
| | ・日光山・筑波山などの山岳信仰を概観し、その特色を学びます<br>11. 「関東地方の霊山（2）」<br>・高尾山など都心から近い山岳霊場の特色について学びます<br>・近年の登山ブームについて検証します<br>12. 「東北地方の霊山（１）」<br>・ハヤマ信仰など東北の特色ある信仰について学びます<br>・東北地方の死者供養の特徴について理解します<br>・マタギの文化について考察します<br>13. 「東北地方の霊山（２）」<br>・羽黒修験について学びます<br>・羽黒修験の DVD を鑑賞して感想をまとめてもらいます<br>14. 「中国・四国地方の霊山」<br>・羽黒修験のプリント（感想文）を回収します<br>・石鎚山の信仰について学びます<br>・大山、三徳山などの山陰の山岳霊場について学びます<br>15. 「九州地方の霊山」<br>・英彦山の信仰について学びます<br>・本授業のまとめをします<br>16. 定期試験 |
| テキスト・参考文献 | テキストは使用しません。<br>毎回の授業テーマに合わせて、参考文献は適宜紹介します。 |
| 試験・評価方法 | 平常点（授業参加状況＋授業内小レポート＋宿題など）５０％<br>定期試験５０％ |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | 授業中の私語、携帯電話・スマートフォンの使用を禁止します。<br>霊山でおこなわれていることは、解説だけではなかなか想像できません。そのため、写真やＤＶＤなどさまざまな視聴覚資料を交えながら授業を進めていきます。 |

# 禅の思想Ⅰ－Ⅰ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知学院大学 | 科目コード | 291007 |
| 担当教員 | 伊藤　秀憲（文学部教授） | | |
| 学年配当 | ２年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　金曜日：１限（930～1100） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 日進キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 【授業の概要】<br>道元研究の回顧と現況を知り、また『三大尊行状記』（道元伝）を読むことによって道元の生涯を学びます。<br>【授業の到達目標】<br>道元研究において現在問題となっている点を理解し、伝記を読むことにより、文献研究の方法を理解する。道元研究の基礎力を付けることを目的とする。<br>【授業計画】<br>1.「ガイダンス」「道元研究の回顧と現況ー伝記研究?伝記史料」<br>・伝記史料としてどのようなものがあるかを学びます<br>2.「道元研究の回顧と現況ー伝記研究?伝記研究」<br>・これまでの伝記研究における問題点について学びます<br>3.「道元研究の回顧と現況ー伝記研究?略伝」<br>・道元の略年譜によって伝記を学びます<br>4.「道元研究の回顧と現況ー著作研究?正法眼蔵」<br>・『正法眼蔵』の成立について学びます<br>5.「道元研究の回顧と現況ー著作研究?その他の著作」<br>・『正法眼蔵』以外の著作について学びます<br>6.「道元研究の回顧と現況ー思想研究」<br>・道元の思想について学びます<br>7.「『三大尊行状記』道元伝?誕生」<br>・誕生から出家の前までを学びます<br>8.「『三大尊行状記』道元伝?入宋」<br>・出家から入宋の前までを学びます<br>9.「『三大尊行状記』道元伝?入宋」<br>・入宋と諸山歴遊を学びます<br>10.「『三大尊行状記』道元伝?新到列位問題」<br>・新到列位問題について学びます<br>11.「『三大尊行状記』道元伝?如浄との相見」<br>・如浄との相見について学びます<br>12.「『三大尊行状記』道元伝?身心脱落」<br>・如浄の下であったとされる身心脱落について学びます<br>13.「『三大尊行状記』道元伝?遺嘱」<br>・帰国に際しての如浄の遺嘱について学びます<br>14.「『三大尊行状記』道元伝?帰国」<br>・帰国から興聖寺時代までを学びます<br>15.「『三大尊行状記』道元伝?北山入越」「まとめ」<br>・北山入越から示寂までを学びます<br>16. 定期試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 参考書　『道元禅師の人間像』　水野弥穂子　岩波書店<br>『諸本対校永平開山道元禅師行状建撕記』　河村孝道　大修館書店<br>『道元禅研究』　伊藤秀憲　大蔵出版 | | |
| 試験・評価 | ３分の２（１０回）以上の出席者に対して評価を行う。 | | |

| | |
|---|---|
| 方法 | 評価の配分は、平常点（授業参加度＋授業態度）４０%、試験６０%。 |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | 座席は指定する。<br>授業中の教室の出入りと、携帯電話等の操作、私語は禁止する。 |

# 禅の思想Ⅰ-Ⅱ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知学院大学 | 科目コード | 291008 |
| 担当教員 | 伊藤　秀憲（文学部教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　金曜日：1 限（930～1100） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 日進キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 【授業の概要】<br>『普勧坐禅儀』『正法眼蔵行持』の講読を通して道元の思想を考え、思想の特徴が理解できるようになることを目的としています。<br>【授業の到達目標】<br>道元の特徴ある公案解釈方法をも理解し、道元の著作を読み解く力を養うことができる。<br>【授業計画】<br>1. 「ガイダンス」「『普勧坐禅儀』講読?」<br>・「原夫道本円通」から「急務恁麼事」でを学びます<br>2. 「『普勧坐禅儀』講読?」<br>・「夫参禅者」から「不応卒暴」までを学びます<br>3. 「『普勧坐禅儀』講読?」<br>・「嘗観、超凡越聖」から終りまでを学びます<br>4. 「『正法眼蔵行持』講読?行持道環」<br>・注釈書や『正法眼蔵』の他の巻での説示を手掛かりとして、「行持道環」について学びます<br>5. 「『正法眼蔵行持』講読?不曾の染汚の行持」<br>・注釈書や『正法眼蔵』の他の巻での説示を手掛かりとして、「不曾の染汚の行持」について学びます<br>6. 「『正法眼蔵行持』講読?行持の功徳と現成」<br>・注釈書や『正法眼蔵』の他の巻での説示を手掛かりとして、「行持の功徳と現成」について学びます<br>7. 「『正法眼蔵行持』講読?釈迦牟尼仏の段」<br>・釈迦牟尼仏の行持について学びます<br>8. 「『正法眼蔵行持』講読?摩訶迦葉の段」<br>・摩訶迦葉の行持について学びます<br>9. 「『正法眼蔵行持』講読?波栗湿縛の段」<br>・波栗湿縛の行持について学びます<br>10. 「『正法眼蔵行持』講読?大鑑慧能の段<br>・大鑑慧能の行持について学びます<br>11. 「『正法眼蔵行持』講読?馬祖道一・雲巌曇成・雲居道膺・鏡清道?・三平義忠の段」<br>・馬祖道一・雲巌曇成・雲居道膺・鏡清道?・三平義忠の行持について学びます<br>12. 「『正法眼蔵行持』講読?百丈懐海・長慶大安の段」<br>・百丈懐海・長慶大安の行持について学びます<br>13. 「『正法眼蔵行持』講読?趙州従?の段」<br>・趙州従?の行持について学びます<br>14. 「『正法眼蔵行持』講読?大梅法常の段」<br>・大梅法常の行持について学びます<br>15. 「『正法眼蔵行持』講読?宏智正覚の段」<br>・大梅法常の行持について学びます<br>16. 定期試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 参考書『原文対照現代語訳道元禅師全集　巻2』 水野弥穂子 春秋社<br>『道元禅師　正法眼蔵・行持に学ぶ』 石井修道 禅文化研究所<br>『正法眼蔵・行持（上）』 安良岡康作 講談社（学術文庫） | | |

| | |
|---|---|
| 試験・評価方法 | ３分の２（１０回）以上の出席者に対して評価を行う。<br>評価の配分は、平常点（授業参加度＋授業態度）４０％、試験６０％。 |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | 道元の思想を理解しようとすることは容易いことではないので、真剣に授業に臨んでもらいたい。<br>授業中の教室の出入りと、携帯電話等の操作、私語は禁止する。 |

# 国際会計論Ⅰ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知学院大学 | 科目コード | 291009 |
| 担当教員 | 向　伊知郎（経営学部教授） | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　火曜日：4 限（1450～1620） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 名城公園キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【授業の概要】<br>現在、会計基準を世界で 1 つにしていこうという動きがあります。本講義では、会計基準が世界で 1 つになることが、良いことなのかどうかについて、賛成と反対のそれぞれの立場から検討します。その過程では、現在特に注目を集めている会計問題を取り上げて、世界的に採用されている会計基準と日本の会計基準との相違とその原因について明らかにします。授業は、学生が理解しやすいようにケーススタディーを用いながら進めます。授業で学習した内容を、講義時間中または自宅学習によってリポート作成を行うことでより一層理解を深めます。<br>【授業の到達目標】<br>本講義では、国際会計の動向および国際会計基準に関する知識と、グローバリゼーションとナショナリズムを題材に考える力を身につけることが目標です。世界的に会計基準が　1 つになることの目的や方法等について理解したうえで、国際財務報告基準の内容について、日本の会計基準と比較しながら理解し、世界のグローバル化とナショナリズムについて考えます。<br>【授業計画】<br>1．授業の進め方・多国籍企業の出現と国際会計<br>2．会計基準の国際的調和と限界<br>3．会計基準の交際的収斂の動向(1)<br>4．会計基準の交際的収斂の動向(2)<br>5．IFRS の基礎的特徴（1）<br>6．IFRS の基礎的特徴（2）<br>7．財務諸表の表示<br>8．収益認識の会計(1)<br>9．収益認識の会計(2)<br>10．金融商品の会計(1)<br>11．金融商品の会計(2)<br>12．棚卸資産の会計<br>13．有形固定資産の会計(1)<br>14．有形固定資産の会計(2)<br>15．まとめ<br>16．定期試験 | | |
| テキスト・参考文献 | テキスト　『ベーシック国際会計』向伊知郎 中央経済社 2900 円 978-4-502-18011-8（ISBN） | | |
| 試験・評価方法 | 定期試験 70%　小テスト・リポート等 30% | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 毎回、授業の最後に質疑応答の時間を設けます。<br>「会計学入門」、「初級簿記」、「中級簿記」、「原価計算」、「管理会計」、「財務会計」等の会計関連科目を既に受講しているか、同時に受講することをおすすめします | | |

# 国際会計論Ⅱ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知学院大学 | 科目コード | 291010 |
| 担当教員 | 向　伊知郎（経営学部教授） | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　火曜日：4 限（1450～1620） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 名城公園キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 【授業の概要】<br>現在、会計基準を世界で 1 つにしていこうという動きがあります。本講義では、会計基準が世界で 1 つになることが、良いことなのかどうかについて、賛成と反対のそれぞれの立場から検討します。その過程では、現在特に注目を集めている会計問題を取り上げて、世界的に採用されている会計基準と日本の会計基準との相違とその原因について明らかにします。授業は、学生が理解しやすいようにケーススタディーを用いながら進めます。授業で学習した内容を、講義時間中または自宅学習によってリポート作成を行うことでより一層理解を深めます。<br>【授業の到達目標】<br>本講義では、国際会計の動向および国際会計基準に関する知識と、グローバリゼーションとナショナリズムを題材に考える力を身につけることが目標です。世界的に会計基準が　1 つになることの目的や方法等について理解したうえで、国際財務報告基準の内容について、日本の会計基準と比較しながら理解し、世界のグローバル化とナショナリズムについて考えます。<br>【授業計画】<br>1．授業の進め方・リース資産の会計(1)<br>2．リース資産の会計(2)<br>3．無形資産の会計<br>4．減損の会計<br>5．退職給付の会計(1)<br>6．退職給付の会計(2)<br>7．引当金の会計<br>8．法人所得税の会計(1)<br>9．法人所得税の会計(2)<br>10．企業結合の会計<br>11．連結財務諸表の会計(1)<br>12．連結財務諸表の会計(2)<br>13．外貨換算の会計<br>14．セグメント報告の会計<br>15．まとめ<br>16．定期試験 | | |
| テキスト・参考文献 | テキスト　『ベーシック国際会計』向伊知郎 中央経済社 2900 円 978-4-502-18011-8（ISBN） | | |
| 試験・評価方法 | 定期試験 70%　小テスト・リポート等 30% | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 毎回、授業の最後に質疑応答の時間を設けます。<br>「会計学入門」、「初級簿記」、「中級簿記」、「原価計算」、「管理会計」、「財務会計」等の会計関連科目を既に受講しているか、同時に受講することをおすすめします | | |

# 企画論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知学院大学 | 科目コード | 291011 |
| 担当教員 | 鵜飼　宏成（経営学部教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　金曜日：5 限（1630～1800） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 名城公園キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【授業の概要】<br>◆今、ビジネスの世界では「従来のやり方にとらわれない発想」が求められている。これは事実であろう。しかし、今だからではなくいつの時代にもこの考え方は欠かせない基本姿勢である。ところが、この言葉をそのままに受け取ると大きな間違いを犯す。つまり、従来のやり方や情報を忘れ、無（ゼロ）から出発することをしてはいけない。なぜなら、独創的なアイデアは、様々な情報の連鎖の中から生まれるからだ。鍵は、「意味」の拡張の仕方にあり、それを理解しなければ独創的な発想はありえない。<br>◆本講義「企画論」は、意味の拡張の仕方を中心に各人の編集力を高め、今まで気がつかなかった観点から情報を組み替え、そして読み替え新しいアイデアを創発するプログラムである。<br>◆授業時間は、ペアインタビューによる全員での発表が中心となる。春セメスターを通じ、やり切る経験をしてほしい。<br>【到達目標】<br>■本講義では、発想法、思考プロセスの特製ワークシートに基づき、ペアインタビューを繰り返す方式で自分だけの企画を作り上げる中から、次の 2 種類の知識・資質・能力を修得することを目指す。<br>（1）社会の種々の課題を発見し、関連する情報の収集・分析・思考を通じて、解決を模索できる。<br>（2）自ら新たな事業を企画し運営できる。<br>【授業計画】<br>1.「ガイダンス」：授業方針の説明<br>本科目の概要と基本的な用語を理解します。<br>・企画論の全体像について<br>「思考ステップと情報の編集（1）」：アイデア創造の説明<br>2.創造的なアイデアを生む発想法を理解します。<br>・発想法の種類と原理について<br>「思考ステップと情報の編集（2）」：アイデア創造の説明<br>3.創造的なアイデアを生む思考のステップを理解します。<br>・未来デザイン考程について<br>「企画の領域を考える」：出発のテーマを設定<br>4.企画のスタートを受講生自らが、自分なりのテーマ・領域をそれぞれ決定します。<br>・自分の好きなこと、得意なことを通じて、社会を変革することを考える<br>「理念設定局面（1）」：40～50 年先の未来を描くステップ<br>5.自分の設定したテーマ・領域で、あって欲しい未来像を宿願として書き出します。<br>・「～したい」「～でありたい」を情報だしする中からみつける<br>「理念設定局面（2）」：40～50 年先の未来を描くステップ<br>6.ペアインタビューを複数行う中で、自分に欠けている視点を他者より学びます。<br>・情報を集約、統合、構造化する中から、自らの宿願＝理念をハッキリさせる<br>「素材抽出局面（1）」：バックキャスティングで今を分析するステップ<br>7.自らの宿願＝理念に近づくために活用できる事実（知識、事例、理論等）を徹底的に調査します。<br>・媒体、専門家、実験・観察、自分の経験より素材となる情報を収集<br>「素材抽出局面（2）」：バックキャスティングで今を分析するステップ<br>8.ペアインタビューを複数行う中で、自分に欠けている視点を他者より学びます。 | | |

| | |
|---|---|
| | ・情報を集約、統合、構造化する中から、自らの置かれている現状を明確にする<br>「コンセプト抽出局面（１）」：2～3 年後に到達できる改善の未来からやるべきことを設定するステップ<br>9.良い素材を活かした結果の最善の近未来を実現するため、コンセプトとグランドデザインを抽出します。<br>・キーワード抽出法で、自ら行う事業コンセプトと社会全体で取り組む事業群を考える<br>「コンセプト抽出局面（２）」：2～3 年後に到達できる改善の未来からやるべきことを設定するステップ<br>10.ペアインタビューを複数行う中で、自分に欠けている視点を他者より学びます。<br>・自ら行う事業コンセプトと社会全体で取り組む事業群を再設計する<br>「要所解明（１）」：（ここが変われば）成り行きを変える手の打ち所を探るステップ<br>11.予測された２つの未来のギャップから、最善の未来の実現を妨げている要因（成り行きに影響力を持つ現在未達成の事項）を明らかにします。<br>・やりたいことを実現するために変えなければならない制度的なことに注目<br>「要所解明（２）」：（ここが変われば）成り行きを変える手の打ち所を探るステップ<br>12.ペアインタビューを複数行う中で、自分に欠けている視点を他者より学びます。<br>・他者の意見を取り入れ、当然と思って考えなくなっている領域も探る<br>「方法立案局面（１）」：実現への具体的な方法を考えるステップ<br>13.大局的な方向性を定め（方針設定）、方針を実現する具体策を考えます（方策立案）。<br>・優先順位をつけながら、成さねばならないことを考える<br>「方法立案局面（２）」：実現への具体的な方法を考えるステップ<br>14.ペアインタビューを複数行う中で、自分に欠けている視点を他者より学びます。<br>・他者の意見を取り入れ、優先順位を見直す<br>「実施計画」：具体的な作業手順を編成するステップ<br>15.試行的に、スケジュール表作成、組織づくり、予算書づくりをします。<br>・事業推進の個々のタスクを明らかにし、誰が、いつまでに、何を実現するかを設計する<br>16.レポート試験 |
| テキスト・参考文献 | 『未来デザイン考程ワークシート（初回に配布）』 |
| 試験・評価方法 | ■平常点(50%)、定期試験の結果（50%）で評価する。平常点は、課題の提出内容により評価する。<br>■なお、然るべき理由無く、出席が３分の２に達しない者には単位を与えないので、注意のこと。 |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | ■課題提出 E-Mail アドレス　bizp.mkc@gmail.com<br>■ワークシート作業の事前準備、講義での気づきを改善に活かす復習が欠かせない。この連続といってもいい。自宅学習の比重が大きい。<br>■企画やプランニングはいかなる職業に就こうが必要になる基本的な能力用件である。プレゼンテーション技術をいかに極めようとも、報告する内容が陳腐であればクライアント等の評価を得ることはできない。本講義で身に付けた企画力をより発展させるためにも「事業計画論」（秋セメスター）を受講することを推奨する。 |

# 事業計画論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知学院大学 | 科目コード | 291012 |
| 担当教員 | 鵜飼　宏成（経営学部教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　金曜：5 限（1630～1800）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 名城公園キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 【授業の概要】<br>◆「起業予行練習」これが、事業計画論の基本的なテーマである。自分たちの事業アイデアを実現に向けブラッシュアップすることに基本を置いたワークショップ（工房）を本講義の特色とする。春セメスターの企画論の学習内容が前提になるので、受講者は注意してほしい。<br>◆ワークショップと表現したが、次のような特徴がある。<br>① 思い込みを一旦捨て出発点に戻ったつもりで、今の自分を知り、試行錯誤の中から「社会的に求められていること」、「やりたいこと」そして「できること」をみつける。<br>② 予行練習は、「個人での振り返り（＝内省取材）」と「担当教員によるカウンセリング（気づくことを支援するスタイル）」の２つのアプローチの相互作用で進む。<br>③ 「ワークシート（＝思考プロセス）」を用いて練習問題を解くように、自問自答の問答を自分で作りながら自分だけの答えを抽出し、事業計画書を作り上げる。<br>【到達目標】<br>■起業予行練習とは、プロトタイプ商品を潜在顧客にテストマーケティングし、その分析結果に基づき PDCA サイクルをまわすことを意味している。最終的には、マーケティング戦略、資金計画を含む事業計画書を作成することを到達目標とする。<br>■加えて、このプロセスを通じ、次の 2 種類の知識・資質・能力を修得することを目指す。<br>（1）社会の種々の課題を発見し、関連する情報の収集・分析・思考を通じて、解決を模索できる。<br>（2）自ら新たな事業を企画し運営できる。<br>【授業計画】<br>1.本科目の概要と基本的な用語を理解します。事業計画論の全体像について<br>「中核事業領域の検討」：企画論で設定した理念・事業コンセプト・グランドデザインのレビュー<br>2.事業計画論で扱う中核事業を選択します。・グランドデザイン 6 つの事業領域、要所解明を踏まえた方法立案より、成さねばならないことを設定<br>「ビジネスモデルの構築」：中核事業の事業構想づくり<br>3.ビジネスモデル・キャンバスに従い 9 つの事業要素を計画します。<br>・主力商品、自社の強み、実現に向けてのキーパートナー、商品価値、顧客、流通チャネル、顧客との関係構築、事業収入、事業経費について具体化<br>「商品のプランニング（1）」：事業の中核となる主力商品を考案<br>4.商品の機能、使用シーン、得られる価値について、顧客の視点に立って考えます。<br>・プロシューマーとしての立場で「求められていること・やりたいこと・できること」の3つの視点から商品を具体的に考え直す<br>「商品のプランニング（2）」：事業の中核となる主力商品を考案<br>5.顧客への効果を同じくする類似商品、競合商品をベンチマークし、自身考案商品との違いをはっきりさせます。<br>・主力商品の差別化要因をはっきりさせ、第 1 次テストマーケティングを準備<br>「商品のプランニング（3）」：事業の中核となる主力商品を考案<br>6.アイデア検証のため、商品チラシを作成し、想定顧客へインタビュー調査します。<br>・クラス内練習を踏まえ、学外でのインタビュー調査を実施<br>「商品のプランニング（4）」：事業の中核となる主力商品を考案<br>7.インタビュー調査の結果を分析し、主力商品をバージョンアップします。<br>・顧客分析を踏まえ、ターゲットの絞り込み、商品の機能面、使用シーン、顧客が得る価値の視 | | |

| | |
|---|---|
| | 点から徹底的に見直す<br>「ビジネスモデルの確立（１）」：事業の循環を考案<br>8.主力商品を作り上げ、市場へ投入するためのキーパートナーを特定します。<br>・自社でできること、できないことをはっきりさせ、自社の弱点を補える協力相手を探す<br>「ビジネスモデルの確立（２）」：事業の循環を考案<br>9.顧客へ届ける流通チャネル、販売方針、販売計画をプランニングします。<br>・どのような考えで、いかなるチャネルを選択し、販売方法も選択するかを考える<br>「ビジネスモデルの確立（３）」：事業の循環を考案<br>10.顧客との長期的な関係性を構築するための方法をプランニングします。<br>・事業の継続性は顧客が固定客となること。その仕掛けを考える<br>「ビジネスモデルの確立（４）」：事業の循環を考案<br>11.事業の収入と支出を仮説設定します。<br>・事業の継続性の可能性をカネの流れから考える。<br>「第２次テストマーケティング（１）」：事業と主力商品への共感を測る<br>12.テストマーケティング用の事業及び商品概要を示すチラシと試作品を準備し、同時にインタビュー候補の想定顧客を 20 名リストアップします。<br>・実際のインタビュー前に、クラス内でのトライアルでチラシと試作品の見直しを行う<br>「第２次テストマーケティング（２）」：事業と主力商品への共感を測る<br>13.想定顧客へのインタビュー調査を実施します。<br>・値頃価格、購入頻度、類似商品と満足度、顧客属性、回答信頼性等を測る調査<br>「第２次テストマーケティング（３）」：事業と主力商品への共感を測る<br>14.想定顧客へのインタビュー調査を実施します。<br>・値頃価格、購入頻度、類似商品と満足度、顧客属性、回答信頼性等を測る調査<br>「テストマーケティング結果分析と事業計画」：事業計画書の作成<br>15.テストマーケティング結果に基づき、顧客一人当たりの年間売上高を算出し、同時に市場規模を見込み、事業戦略、マーケティング戦略、資金計画を作ります。<br>・企画論から始まった社会を変革するプランの総まとめ<br>16.レポート試験 |
| テキスト・参考文献 | 『起業予行練習ワークシート（初回講義にて配布）』 |
| 試験・評価方法 | ■平常点(50%)、定期試験の結果（50%）で評価する。平常点は、課題の提出内容により評価する。<br>■なお、然るべき理由無く、出席が３分の２に達しない者には単位を与えないので、注意のこと。 |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | ■課題提出 E-Mail アドレス　bizp.mkc@gmail.com<br>■本講義を受講する学生は、企画論を「必ず」履修していることを条件とする。<br>■受講生の皆さんの商品企画をパンフレットにし、授業以外の時間を使い友人・知人・家族以外の人 20 人を対象にテストマーケティングを実践してもらう。最終的に提出することになるビジネス・プラン（事業計画書）には、必ずこのテストマーケティングの分析結果を盛り込むことを求める。 |

# 保険法Ａ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知学院大学 | 科目コード | 291013 |
| 担当教員 | 山野　嘉朗（法学部教授） | | |
| 学年配当 | ３年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　木曜日：３限（1330～1500） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 日進キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 【授業の概要】<br>この講義では、2010 年４月１日施行の保険法（単行法）の総則規定と損害保険の規定を中心に解説する。保険制度および損害保険契約の基礎理論および約款論を踏まえつつ、現実に生じている諸問題にいかに対処すべきかを、判例等を紹介しつつ具体的に検討する。<br>【授業の到達目標】<br>火災保険や自動車保険の仕組み・契約内容を理解した上で、それらに関する法的諸問題を解決することができる。<br>【授業計画】<br>1.ガイダンス<br>2.保険の意義・保険法の意義<br>3.保険契約と当事者・関係者<br>4.保険約款の拘束力・解釈原則<br>5.保険約款の解釈手法<br>6.保険契約の成立・終了<br>7.保険契約の内容・効果<br>8.損害保険契約法の意義・内容<br>9.損害保険関係の変動<br>10.損害保険契約と免責事由<br>11.保険代位・損害防止義務<br>12.保険給付と損益相殺<br>13.責任保険・直接請求権<br>14.自動車保険（出張講義）<br>15.総括および質疑応答<br>16.定期試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 『現代保険・海商法 30 講』 山野嘉朗他 中央経済社 3800 円 978-335-30458-3 (ISBN) | | |
| 試験・評価方法 | 定期試験（100 点満点）。なお、学期中に１回以上小テストを実施し（不定期）、成績優秀者にボーナスポイントを与える。このポイントは、定期試験の成績に加算される。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 六法（携帯版でよい）は必携。講義中は受講生に質問し、知識を確認する。その際に十分な回答ができなくても成績には影響しない。授業中の私語、教室の出入り、スマートフォン等の使用を禁止する。教科書の購入は強制しないが、配布資料との連携により体系的な知識を身につけることが可能となる。第１４回目の講義は、日本損害保険協会（東京）担当者による出張講義とする。 | | |

# 保険法B

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知学院大学 | 科目コード | 291014 |
| 担当教員 | 山野　嘉朗（法学部教授） | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　木曜日：3 限（1330～1500） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 日進キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 【授業の概要】<br>この講義は、生命保険契約法と傷害疾病保険法を対象とする。2010 年 4 月施行の保険法（単行法）の規定を中心に、現実に生起している法的諸問題にいかに対処すべきかを、判例等を素材にして具体的に検討する。なお、生命保険契約法を理解する前提として、民法（総則・債権法・相続法等）の基礎知識が必要であるが、その点については復習もかねて改めて解説する。<br>【授業の到達目標】<br>生命保険や傷害保険の仕組み・契約内容を解明した上で、それらに関連する法的諸問題を解決することができる。<br>【授業計画】<br>1.ガイダンス<br>2.生命保険の意義・種類　（出張講義）<br>3.生命保険契約の意義・要素<br>4.告知義務<br>5.他人の生命の保険契約<br>6.生命保険関係の変動（1）保険金受取人の指定<br>7.生命保険関係の変動（2）保険金受取人の変更<br>8.死亡保険金請求権と特別受益の持戻し<br>9.生命保険の免責事由（1）自殺の意義<br>10.生命保険の免責事由（2）免責期間経過後の自殺<br>11.生命保険の免責事由（3）保険契約者等による被保険者の殺害<br>12.生命保険契約の重大事由解除・暴力団排除条項<br>13.傷害疾病定額保険・傷害事故の要件（急激性・偶然性）<br>14.傷害事故の要件（外来性）<br>15.まとめ・質疑応答<br>16.定期試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 『現代保険・海商法 30 講』　山野嘉朗他　中央経済社　3800 円　978-4-502-06880-5<br>(ISBN) | | |
| 試験・評価方法 | 定期試験（100 点満点）。なお、学期中に 1 回以上小テストを実施し（不定期）、成績優秀者にボーナスポイントを与える。このポイントは、定期試験の成績に加算される。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 六法（携帯版でよい）は必携。講義中は受講生に質問し、知識を確認する。その際に十分な回答ができなくても成績には影響しない。授業中の私語、教室の出入り、スマートフォン等の使用を禁止する。教科書の購入は強制しないが、配布資料との連携により体系的な知識を身につけることが可能となる。第 2 回目の講義は生命保険文化センター（東京）担当者による出張講義である。 | | |

# 財政学Ⅱ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知学院大学 | 科目コード | 291015 |
| 担当教員 | 竹内　信仁（総合政策学部客員教授） | | |
| 学年配当 | ２年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　木曜日：３限（1330～1500） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 日進キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月,9 月 |
| 講義概要 | 【授業の概要】<br>財政の役割の１つとして所得分配の公平がある。所得分配の公平が図られず、貧富の格差が大きいと、経済・社会の発展を妨げられ、人々は安心・安定した生活を送ることができない。貧富の格差は、社会の治安を悪くするだけではなく、極端な思想を流布させ社会の安定を脅かす。<br>財政学Ⅱの授業では、経済学的に見て、格差の存在がなぜ望ましくないのかを考える。その上で格差を是正するにはどのような政策手段があるのかを検討する。そして現在の日本において政府による格差是正策が有効に機能しているかを検証する。<br>そして、政府による格差是正策がうまくいっていない場合に我々はどのような自衛策をとる必要があるかを考えることを狙いとする。<br>【授業の到達目標】<br>・所得分配のあり方、不平等の現状を説明できる。<br>・所得分配の制度的問題点を説明できる。<br>・所得分配の公平がどの様には図られるべきかを説明できる。<br>【授業計画】<br>1.第１章　財政と所得再分配<br>１－１　なぜ社会に格差は生まれるのか<br>１－２　貧困は個人の責任か社会の責任か<br>2.１－３　貧困から誰が救いの手をさしのべるのか<br>3.第２章　市場経済と所得分配<br>２－１　市場経済が果たす所得分配と所得格差<br>4.第３章　公平概念と分配の公平<br>３－１　公平と公正<br>３－２　分配決定のプロセス<br>３－３　公平概念<br>5.３－３－１　権利における公平<br>３－３－２　分配における公平<br>３－３－３　負担における公平<br>6.第４章　均等分配論<br>４－１　ピグーの均等分配論<br>４－２ラーナーの蓋然値の理論<br>7.第５章　所得分配の不平等の測定<br>５－１　平均値、中位値、最頻値<br>8.５－２　ローレンツ曲線<br>５－３　ジニ係数<br>9.第６章　貧困基準<br>６－１　相対的貧困<br>６－２　絶対的貧困<br>10.第７章　格差是正手段としての所得税<br>７－１　所得税の仕組み<br>11.７－２　超過累進課税<br>12.第８章　日本の社会保障制度<br>８－１　社会保障制度の理念・範囲・構造<br>13.８－２　公的扶助制度の仕組みと問題点 | | |

| | |
|---|---|
| | 14.8－3　社会保険制度仕組みと問題点<br>15.授業の復習と課題の解説<br>16.試験 |
| テキスト・参考文献 | テキスト『スタンダード財政学』 竹内信仁 中央経済社 2800 円<br>参考書『現代経済学』 水野正一・河合宣孝・竹内信仁 中央経済社 3400 円 |
| 試験・評価方法 | 試験５０%、受講態度５０%<br>両方合わせて６０%を合格とする。<br>受講態度とは、授業中の居眠り、携帯使用、私語、授業中の出入りをいう。 |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | (1)　社会の出来事に大きな関心を持っている事が望ましい。<br>(2) 授業中の、私語、携帯利用、教室の出入り等授業を妨害する行為は厳禁とする。行為者を確認の上、期末試験受験資格を剥奪する。 |

# 国際開発論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知学院大学 | 科目コード | 291016 |
| 担当教員 | 山旗　張星允（総合政策学部教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　木曜：3 限（1330～1500）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 日進キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【授業の概要】<br>This course introduces fundamental concepts of development studies and its relations to other related disciplines. Major contents of the lecture are organised around three key areas, namely, development, aid and public policy with the role of international cooperation as a central pillar.<br>【授業の到達目標】<br>(1) Learn important theories, practices, principles and concepts, terms and analytical thinking<br>(2) Understand various case studies through educational DVDs<br>(3) Build a new knowledge-base<br>(4) Have an applied sense of using acquired knowledge<br>【授業計画】<br>1.Thinking about the future<br>2.Global trends<br>3.Regional choices<br>4.Local challenges<br>5.Summary; Tutorial 1<br>6.Competing definitions of development<br>7.Development decades<br>8.Common problems and causes<br>9.The MDGs, the 3Es and the 3Gs<br>10.Summary; Tutorial 2<br>11.Aid and international development<br>12.Development projects, country-led approaches and donor coordination<br>13.. The NGDOs<br>14.Development policy at a crossroads<br>15.Development visions ahead<br>16.Term test | | |
| テキスト・参考文献 | テキスト『Not applicable』<br>参考書『Development and Underdevelopment: A Profile of the Third World』 Cole, John Routledge 1570 円 978-0415059206（ISBN） | | |
| 試験・評価方法 | Weekly assignment (10%)<br>Tutorial 1 and 2 (30%)<br>Reflection on case studies (10%)<br>Term test (50%) | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | This lecture is delivered in English but Japanese (summarized explanation) will also be added. | | |

# 宗教学Ⅰ（宗教と人間）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知学院大学 | 科目コード | 291017 |
| 担当教員 | 岡島　秀隆（教養部教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　木曜：2 限（1110～1240）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 日進キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【授業の概要】<br>　私たちが宗教とまったく関わりなく一生を送ることはできません。自分が無宗教者でも、強い信仰心を持った他者と出会うこともあるからです。まして現代はインターネット網の普及などで情報化が進み、国際社会と日常生活の距離は急激に短縮されています。宗教についても、海外の事情を含めて、過去には見られなかった程の多様な情報が簡単迅速に獲得できるようになっているのです。<br>この講義では、広く片寄らない宗教的教養を身につけてもらうことに力点を置こうと思います。長い歴史の中で、人類が「生きる意味」や「究極的な価値」について考えぬいた深い洞察の結晶とも言われる宗教の諸相についていっしょに勉強してみましょう。<br>また、春学期は坐禅堂で坐禅の体験授業も行ないます。<br>＊「宗教学」の授業は「建学の精神」に基づく、宗教人間教育の一環として実施される、本学独自の必修科目です。<br>【授業の到達目標】<br>1.宗教の見方・捉え方を学ぶ。<br>2.宗教の多様性を学ぶ。<br>3.宗教の蓄積してきた生きるための智慧を学ぶ。<br>【授業計画】<br>1.はじめに（建学の精神）<br>2.宗教の原初形態（アニミズム、シャマニスムなど）<br>3.宗教分類の試み（種々の分類基準）<br>4.宗教体験（瞑想体験ー坐禅）<br>5.多神教（神道など）<br>6.ユダヤ教（旧約聖書の世界）<br>7.イエスの生涯（新約聖書の世界①）<br>8.イエスの教え（新約聖書の世界②）<br>9.ムハンマドの生涯（クルアーンの世界①）<br>10.ムハンマドの教え（クルアーンの世界②）<br>11.宗教の多様性（世界の諸宗教）<br>12.日本人の宗教意識（宗教データを読む）<br>13.科学時代の宗教（宗教と科学の接点）<br>14.現代社会と宗教（格差と宗教など）<br>15.まとめ（再び宗教とは何か）<br>16.定期テスト | | |
| テキスト・参考文献 | 『宗教と人間ー真の生き方を求めて』 愛知学院大学宗教研究会編 大東出版社 1,000 円 | | |
| 試験・評価方法 | 1.期末テスト 80%<br>2.学期途中のレポート・小テスト 20% | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 1.質問はいつでも受け付けます。<br>2.毎回授業終了時に５分程質問を受け付けます。<br>【備考】<br>1.坐禅の体験授業は、会場の都合で講義スケジュールの変わることがあります。 | | |

| | |
|---|---|
| | 2.講義中は私語厳禁、携帯電話の使用は禁止です。 |

# 宗教学Ⅱ（禅・仏教と人間）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知学院大学 | 科目コード | 291018 |
| 担当教員 | 岡島　秀隆（教養部教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　水曜日：2 限（1110～1240） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 日進キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 【授業の概要】<br>この講義では、広く片寄らない宗教的教養を身につけることに力点を置いていますが、今学期は日本の歴史や文化に大きな影響を与え続けてきた仏教に焦点を当てます。<br>前半は、開祖釈尊の生涯とその教えや大乗仏教の基本教説を学び、さらにはインド・中国・日本など、アジア全域にわたる仏教伝播の様子やさまざまな仏教の展開を紹介します。後半は、禅の根本教義の解説やその日本文化への関わりなどを講じます。特に道元禅や茶の湯など、日本的風土の中に生まれた個性的な思想・文化への関心も喚起しようと思います。<br>＊「宗教学」の授業は「建学の精神」に基づく、宗教人間教育の一環として実施される、本学独自の必修科目です。<br>【授業の到達目標】<br>1．仏教・禅の歴史と地域的多様性を学ぶ。<br>2．仏教・禅の世界観を学ぶ。<br>3．仏教・禅の教えを通して人生の意味を考える。<br>【授業計画】<br>1.はじめに（仏教という宗教）<br>2.釈尊の生きた時代（ヴェーダの宗教、六師外道）<br>3.釈尊の生涯１（生誕から成道まで）<br>4.釈尊の生涯２（初転法輪から入滅まで）<br>5.釈尊の教え１（捨置記、四諦八正道）<br>6.釈尊の教え２（十二支縁起、四法印）<br>7.部派仏教の潮流（仏滅後の分裂と釈尊の遺産）<br>8.大乗仏教の潮流（菩薩の教えー慈悲）<br>9.仏教の伝播経路（北伝と南伝）<br>10.東アジア仏教の特徴（中国、日本など）<br>11.禅の潮流と根本教義（釈尊成道の妙法、三学さど）<br>12.中国の禅（禅宗の成立とその旗印）<br>13.日本の禅者（道元の教え）<br>14.禅文化と日本（禅文化の七つの性格）<br>15.まとめ（禅・仏教と現代社会）<br>16.定期テスト | | |
| テキスト・参考文献 | 『宗教と人間ー真の生き方を求めて』 愛知学院大学宗教研究会編 大東出版社 1,000 円 | | |
| 試験・評価方法 | 1. 期末テスト 80%<br>2. 学期途中のレポート・小テスト 20% | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 授業終了時に５分程質問時間を設けるので、自主的に質問すること。<br>＊講義中は私語厳禁、携帯電話の使用は禁止です。 | | |

# 生命に関する諸問題Ⅰ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知学院大学 | 科目コード | 291019 |
| 担当教員 | 有馬　義康（教養部准教授）<br /><br /><br />伊藤　雅彦（教養部非常勤講師）<br /><br /><br />小出　龍郎（短期大学部教授）<br /><br /><br />溝口　明（教養部教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　木曜日：3 限（1330～1500） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 数学・物理・化学,生物 | | |
| 教室 | 日進キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【授業の概要】<br>私たちの日常生活には、「生と死」に関連するさまざまな事象があります。「生と死」というテーマは、古来よりいろいろな立場や観点から探求されてきました。それだけ、このテーマを解決していくことは難しいことだと思われます。<br>　本講義では、「物理学」、「化学」、「生物学」、「医学」の自然科学分野の各担当者が、それぞれの観点からそのテーマに関する問題を提起します。そこから種々の知的発見や喜びが味わえることを期待します。<br>　この授業において随時、質疑するなど積極的な参加を歓迎します。<br>【授業の到達目標】<br>1 つのテーマに対する様々な視点・観点からのアプローチを学ぶことで、ただ知識を得るだけでなく、統合的に問題を捉えて解決したり、創造性を持って新たな課題を見い出したりする力をつけます。<br>それにより、より多面的に深く考える機会となり、自分なりの「生命観」・「人生観」・「死生観」を築き、積極的かつ充実した生き方を見い出してください。<br>【授業計画】<br>1.〔ガイダンス〕<br>4 名の教員それぞれの講義内容、成績評価の方法・基準、注意事項などの説明を行います。<br>2.「物理学より見た生と死」（1）物質とは何か<br>3.「物理学より見た生と死」（2）エネルギーとは何か<br>4.「物理学より見た生と死」（3）原子力とは何か<br>5.「化学より見た生と死」（1）生命観の歴史<br>6.「化学より見た生と死」（2）化学進化と生命の起源<br>7.「化学より見た生と死」（3）宇宙における生命<br>8.「生物学より見た生と死」（1）地球上生命 36 億年の歴史とわれわれ<br>9.「生物学より見た生と死」（2）無限の命の生殖細胞と有限の命の体細胞<br>10.「生物学より見た生と死」（3）細胞の寿命を決めるもの<br>11.「生物学より見た生と死」（4）生物の適応戦略と死<br>12.「医学より見た生と死」（1）人間の生と死<br>・人の死の判定をめぐって<br>・悪性新生物（主要死因）の現状と推移<br>13.「医学より見た生と死」（2）終末期の医療とは<br>・臓器移植、脳死問題をめぐって<br>・ＩＣと患者の自己決定権とは<br>14.「医学より見た生と死」（3）ＱＯＤ（死の質）とは<br>・尊厳死、安楽死をめぐって<br>・エンド・オブ・ライフ ケア<br>15.〔全体討論〕<br>4 名の教員全員が集まり、学生との議論も通じて、質疑応答を行いつつ、「生と死」を見つめ直してもらいます。 | | |

| | |
|---|---|
| テキスト・参考文献 | 使用しません |
| 試験・評価方法 | ４人の教員それぞれが評価点を決め、それらの平均点が最終評価となります。<br>各担当者の評価内容は以下の通りです。<br>有馬：担当分終了後、レポート提出を課します。また、毎回提出物を課します。<br>伊藤：担当分終了後、レポート提出を課します。また、毎回小文を提出してもらいます。<br>溝口：担当分終了後、レポート提出を課します。また、毎回復習テストを行います。<br>小出：担当分終了後、レポート提出を課します。また、講義終了時に次回課題を課します。<br>４レポート中、２つ以上の未提出がある場合は、E 評価となります。<br>また、初回ガイダンスと最終回の全体討論の最後にも提出物を課し、最終評価への加点要素とします。 |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | 秋学期開講の「生命に関する諸問題Ⅱ」も合わせて受講することを推奨します。より多角的に問題を捉え、応用できる力が身につきます。<br>なお、教員の学会出張や病気等で講義の順番が変更される場合があります。その場合は、事前に通知します。したがって休講は原則としてありません。 |

# 生命に関する諸問題Ⅱ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知学院大学 | 科目コード | 291020 |
| 担当教員 | 菅　さやか（教養部講師）<br /><br /><br />岡島　秀隆（教養部教授）<br /><br /><br />菅原　研州（教養部講師）<br /><br /><br />三浦　雅彦（文学部非常勤講師） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　木曜日：3 限（1330～1500） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 日進キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 【授業の概要】<br>「生と死」というテーマは古来からいろいろな立場や視点から探求されてきました。現代では、脳死や尊厳死、再生医療、出生前診断など、生と死をめぐる様々な社会問題が起きています。生命に関する諸問題Ⅱでは、生と死をめぐる問題について、仏教学・思想史・宗教学・哲学・心理学などの人文・社会科学系分野の多様な観点から考察し、生きるということおよび死ぬということの意味を見出していきます。<br>【授業の到達目標】<br>人文・社会科学系分野の観点から、人間について多面的により深く考えられるようになること。また、自分なりの「生命観」・「人生観」・「死生観」を築き、積極的かつ充実した生き方を発見すること。<br>【授業計画】<br>1.ガイダンス（菅原・三浦・岡島・菅）<br>授業のスケージュールや評価方法、各担当教員が扱うテーマなどについて説明をします。<br>2.仏教の生命観・死生観１（菅原）<br>仏教を開いたゴータマ＝ブッダの生命観・死生観を学びます。<br>特に、縁起思想を基本に、三法印の１つである諸行無常などの思想から、我々の生命や生死についてどのように考えられるのか、学びます。<br>3.仏教の生命観・死生観２（菅原）<br>大乗仏教思想の１つである「唯識」から生命観・死生観を学びます。特に、唯識で主張されている、我々の自己存在に基底的に関わる「阿頼耶識」を学び、唯識で説かれる輪廻観から我々の生命や生死をどのように考察できるのかを学びます。<br>4.仏教の生命観・死生観３（菅原）<br>大乗仏教思想の１つである浄土思想から生命観・死生観を学びます。<br>特に、浄土思想は現在の終末医療に関わるビハーラ活動などの実践に活用されますので、現代の問題に繋げて考えます。<br>5.江戸時代の日本人の生と死１（三浦）<br>「鈴木正三の思想―死生観を中心にして―」<br>戦国末期の三河に生まれ、幕府の旗本となりながらも仏門に入り、自らの戦場体験や臨死体験を死生観に盛り込みながら「仁王禅」を確立した鈴木正三（すずき・しょうさん）を取り上げます。<br>6.江戸時代の日本人の生と死２（三浦）<br>鈴木正三についての講義の２時間目。正三の言葉を追いながら、仁王禅の形成と死生観の確立との因果関係を中心に扱っていきます。<br>7.江戸時代の日本人の生と死３（三浦）<br>「信覚恵中と鈴木正三―死生観の視点から―」<br>鈴木正三の弟子として仁王禅を継承した信覚恵中（しんがく・えちゅう）に関する講義。正三の教えを受け継いだ弟子の死生観の特色について扱います。<br>8.江戸時代の日本人の生と死４（三浦）<br>「『葉隠』と鈴木正三―死生観の視点から―」 | | |

| | |
|---|---|
| | 鈴木正三の直弟子らがいた佐賀藩で読み継がれた『葉隠』（はがくれ）を取り上げます。「武士道とは死ぬことと見つけたり」という有名な言葉から始まるこの書の死生観を読み解きます。<br>9.宗教・哲学における生と死１（岡島）<br>「哲学は死をどのように考えてきたか―ソクラテス・ハイデガー・ジャンケレヴィッチなど」<br>西洋哲学の賢者たちが死をどのように捉えて来たかを考察する。<br>10.宗教・哲学における生と死２（岡島）<br>「絵本の中の死生観―谷山俊太郎・佐野洋子など」　絵本界の巨匠たちが死をどのように伝えたかったかを考察する。<br>11.宗教・哲学における生と死３（岡島）<br>「現代人の死生観ーロボット・サイボーグ・アンドロイドなど」　現代科学技術の進歩と現代人の死生観の変移を考察する。<br>12.「死への恐怖に対処する存在としての人間」<br>３回の講義を通して扱う存在脅威管理理論の基本概念について説明します。<br>13.心理学における生と死２（菅）<br>「死への恐怖が心の働きに与える影響」<br>存在脅威管理理論に基づき、人が死に関する情報に接触したり、想起したりした場合に、どのような心の働きによって、どのような行動をとるのかについて説明します。<br>14.心理学における生と死３（菅）<br>「死への恐怖を乗り越えてよりよく生きるために」<br>死の恐怖から逃れるために人間が身につけた心の働きが、社会にどのような問題をもたらすかについて説明し、それを乗り越えるための方法を提案します。<br>15.4 名の教員が、いくつかの共通したテーマに基づいて、それぞれの立場から生と死について議論します。受講生の皆さんにも、議論に加わっていただき、自分なりの生命観や死生観を見出していただきます |
| テキスト・参考文献 | テキスト：特に指定するものはありません。各担当者が随時、提示します。<br>参考文献：『存在脅威管理理論への誘い』 脇本竜太郎 サイエンス社 1,600 円+税 978-4-7819-1309-4 菅担当回分<br>『仏教の思想（全 12 巻）』 梅原猛　他 角川ソフィア文庫 1,000 円+税　他 978-4-0419-8501-4 菅原担当回分　その他、各担当者が随時、提示します 。 |
| 試験・評価方法 | 各教員が、毎回の講義中または担当講義終了時にレポートを課します。４名の教員それぞれがレポートを評価し、それらの合計または平均点を最終評価とします。<br>各教員の講義は 3～4 回と短いため、毎回出席していなければ、内容を理解することが難しくなります。また、４名の教員の講義を全て受講することによってはじめて、多面的に生と死について考える機会となるため、以下の条件に当てはまる場合は、失格とします。<br>1. 各教員の講義を２回以上欠席した場合<br>2. 各教員が課すレポートのうち、１名以上のレポート課題を全く提出しなかった場合 |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | 春学期開講の「生命に関する諸問題Ⅰ」も合わせて受講することを推奨します。<br>欠席をするやむを得ない事情がある場合には、その事情が説明できる資料を持って、各教員に申し出てください。<br>講義中の私語や、許可なくスマートフォン・携帯電話を操作することは厳に禁止します。<br>教員の学会出張や病気等で講義の順番が変更される場合は、他の教員が授業します。変更の場合、事前に通知します。しがたって休講は原則としてありません。 |

# 産業と科学Ⅰ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知学院大学 | 科目コード | 291021 |
| 担当教員 | 遠藤　哲也（教養部准教授）<br /><br />岩佐　宣明（教養部准教授）<br /><br />菅　さやか（教養部講師）<br /><br />鷲嶽　正道（教養部准教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　水曜日：1 限（930～1100） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉,文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | 日進キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 本講義は、4 名の教員(哲学・生物学・言語学・心理学)が自分の得意な切り口から「ボールペン」について語っていく講義です。ボールペンを学術的に分析する回もあれば、ボールペンを起点にして多角的に話が拡がっていく回もあります。これを通して、物事を様々な角度から見ていくための手法や考え方を学びます。<br />次の 4 テーマに分けて進めていきます。<br />1. そもそもボールペンとは何か？<br />　哲学 ①　ボールペンって何？<br />　生物学①　顕微鏡で見るボールペン<br />　哲学 ②　自分でボールペンを定義してみよう！<br />2. 良いボールペンとは何か？<br />　言語学①　言葉を通して見える「良いボールペン」：なめらか・長持ち・安い<br />　言語学②　「良いボールペン」とは何か？：商品レビューを分析する<br />　心理学①　「使いやすい」ボールペンとは？：人間工学に基づく評価<br />3. ボールペンをたくさん売るには？<br />　言語学③　ボールペンを売る言葉：なめらか指数・クセになる・重量感<br />　心理学②　メディアの影響：広告・口コミに隠された秘密<br />　心理学③　売り場の影響：値札・ディスプレイ・BGM に隠された秘密<br />4. 付加価値から考えるボールペン<br />　生物学②　ボールペンの付加価値としての DNA インク<br />　生物学③　DNA インクで生体認証をする仕組み<br />　哲学 ③　無色ボールペンはボールペンの新しい付加価値と言えるか？<br />また第 14,15 回目を利用して、自分で一つのテーマを選び、それを自分が得意な分野、好きな方向から学術的・多角的に分析した最終レポートを作成します。 | | |
| テキスト・参考文献 | 毎回、資料プリントを配布します。 | | |
| 試験・評価方法 | 各テーマごとの小レポート 4 回分と最終レポート(各 20 点)の合計点で評価します。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | なし | | |

# 産業と科学Ⅰ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知学院大学 | 科目コード | 291022 |
| 担当教員 | 遠藤　哲也（教養部准教授）<br /><br />岩佐　宣明（教養部准教授）<br /><br />菅　さやか（教養部講師）<br /><br />鷲嶽　正道（教養部准教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　水曜日：1 限（930～1100） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉,文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | 日進キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 本講義は、4 名の教員(哲学・生物学・言語学・心理学)が自分の得意な切り口から「ボールペン」について語っていく講義です。ボールペンを学術的に分析する回もあれば、ボールペンを起点にして多角的に話が拡がっていく回もあります。これを通して、物事を様々な角度から見ていくための手法や考え方を学びます。<br />次の 4 テーマに分けて進めていきます。<br />1. そもそもボールペンとは何か？<br />　哲学 ①　ボールペンって何？<br />　生物学①　顕微鏡で見るボールペン<br />　哲学 ②　自分でボールペンを定義してみよう！<br />2. 良いボールペンとは何か？<br />　言語学①　言葉を通して見える「良いボールペン」：なめらか・長持ち・安い<br />　言語学②　「良いボールペン」とは何か？：商品レビューを分析する<br />　心理学①　「使いやすい」ボールペンとは？：人間工学に基づく評価<br />3. ボールペンをたくさん売るには？<br />　言語学③　ボールペンを売る言葉：なめらか指数・クセになる・重量感<br />　心理学②　メディアの影響：広告・口コミに隠された秘密<br />　心理学③　売り場の影響：値札・ディスプレイ・BGM に隠された秘密<br />4. 付加価値から考えるボールペン<br />　生物学②　ボールペンの付加価値としての DNA インク<br />　生物学③　DNA インクで生体認証をする仕組み<br />　哲学 ③　無色ボールペンはボールペンの新しい付加価値と言えるか？<br />また第 14,15 回目を利用して、自分で一つのテーマを選び、それを自分が得意な分野、好きな方向から学術的・多角的に分析した最終レポートを作成します。 | | |
| テキスト・参考文献 | 毎回、資料プリントを配布します。 | | |
| 試験・評価方法 | 各テーマごとの小レポート 4 回分と最終レポート(各 20 点)の合計点で評価します。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | なし | | |

# まちづくり論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知学泉大学 | 科目コード | 291101 |
| 担当教員 | 田中　人<br /><br /><br />（現代マネジメント学部講師） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春期＞　火曜日：1 限（930～1100） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 社会・マスコミ・情報 | | |
| 教室 | 豊田キャンパス 8 号館 103 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 「まちづくり」とは、地域コミュニティの成員やNPO・ボランティア（コミュニティセクター：共）、行政（パブリックセクター：公）、地元企業・商店会（プライベートセクター：私）をはじめとする当該地域に関わる無数の主体が相互にコミュニケーションと協働の回路によって連携・協働しながら自分たちの地域の暮らしの向上を目指す活動全般のことをいう。<br>従来、地域生活の向上には国家や大企業などによる「開発」を通じた「発展」が不可欠とされてきたが、今日では地域コミュニティを基盤とした住民参加のまちづくり活動が広く支持されるようになってきた。地域生活の向上の鍵がハードからソフトへ、経済合理性から文化価値へと変容しつつあるといえよう。<br>本科目では以上のような見地から、地域住民（共）を主体とした「公・共・私」の連携による新しい地域再生やコミュニティの活性化のあり方について様々な事例を精査しながら検討し、現代社会における「まちづくり」の位置づけとその意義を明らかにする。<br>講義の展開は概ね以下のとおりである。<br>1. はじめにまちづくりの基本的な意義や課題から説き起こし、関連する統計データの見方や専門用語などについて学んでいく。<br>2. 次に日本のまちづくりを中心として具体的な事例を多く取り上げ、それらの事例について検討する。この作業には必要に応じてグループを構成して取り組んでもらう。<br>3. 最終段階では受講生各自が特定の地域でのまちづくりを実践することを想定して具体的なフィールドを設定し、自分なりのまちづくりプロジェクトのアイデアを構想、提案する。 | | |
| テキスト・参考文献 | テキスト：講義プリントや資料を配布する。<br>参考文献：田中ほか共著『ボランティア論　共生の理念と実践』（ミネルヴァ書房）<br>他、適宜紹介する。 | | |
| 試験・評価方法 | 筆記試験、中間レポート、授業態度の総合点で評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | 不要 | | |
| その他特記事項 | まちづくりは日々の暮らしの質の向上に関わる身近な課題である。自分自身の身に引きつけて「自分ならこう考える」「自分ならこうする」という積極的な姿勢を持って授業に臨んで欲しい。 | | |

# 現代マネジメント論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知学泉大学 | 科目コード | 291102 |
| 担当教員 | 藤田　幸敏<br /><br /><br />（現代マネジメント学部教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋期＞　火曜日：1 限（930～1100） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 社会・マスコミ・情報 | | |
| 教室 | 豊田キャンパス 3 号館 102 | | |
| 履修条件 | 2年生以上の履修が望ましい。 | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 本講義の目的は、ドラッカーと、ドラッカー以外のマネジメント理論を比較することで、ドラッカーがマネジメントの発明者と言われていることの意味を再評価することで、とりわけ従来型管理とは異なるマネジメントの総合理解を深めることする。具体的な内容は以下の通り。<br>1.ドラッカーのマネジメントの基礎的理解。<br>2.テイラーとドラッカーの比較。<br>3.ファヨールとドラッカーの比較。<br>4.バーナードとドラッカーの比較。<br>5.ドラッカーのマネジメント。<br>6.ミンツバーグとドラッカー。<br>7.ドラッカーの評価とマネジメント。 | | |
| テキスト・参考文献 | ドラッカー『マネジメント』を参考書とします（どの翻訳でも構いませんが、講義で使用するのはダイヤモンド社のエッセンシャル版です）。 | | |
| 試験・評価方法 | 出席点を 40 点、定期試験を 60 点として評価しますが、出席点は単なる出欠ではなく、毎回簡単な質問をし、その答えの内容で評価します。 | | |
| 別途必要な経費 | ありません。 | | |
| その他特記事項 | 必ずしも必須ではありませんが、ドラッカーに関する基礎知識のあることが望ましいと思います。 | | |

# 地域スポーツ論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知学泉大学 | 科目コード | 291103 |
| 担当教員 | 高橋　憲司(現代マネジメント学部講師) | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋期＞　火曜：4 限（1500～1630）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | スポーツ・健康・医療 | | |
| 教室 | 豊田キャンパス 8 号館 104 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 本講義の目的は，文部科学省が示した具体的行動目標を達成するための方策をもとに，地域におけるスポーツ振興を推進するための具体的方策とマネジメントの方法について学びます。また，発展途上国でスポーツを普及させるための方策や，日本独自のスポーツを他の国に普及させるための方策について学びます。<br>具体的な内容は以下のとおり。<br>1.国のスポーツ振興に関する基本理念を理解し，地域におけるスポーツ振興の基本姿勢を学習する<br>2.個人事業、NPO 法人、会社形態等の組織について学習する<br>3.地域スポーツ振興における課題を抽出し，解決策を提案する<br>4.補助金制度の理解と，申請方法について理解する<br>5.総合型地域スポーツクラブの特徴について理解する<br>6.総合型地域スポーツクラブの運営について理解する<br>7.総合型地域スポーツクラブの事例を調査する<br>8.発展途上国のスポーツ事情を理解し、普及のための方法を提案する<br>9.日本独自のスポーツを、海外に普及させるための方法を提案する | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書は特に指定しません。主に、プリントを用いてワーク型の授業を展開していきます。必ず筆記用具を持参してください。 | | |
| 試験・評価方法 | 筆記試験：75%、社会人基礎力（授業態度）：10%、小テスト・レポート）15%<br>毎回出席をとり、出席が 2/3 に満たない場合は無資格になります。 | | |
| 別途必要な経費 | ありません | | |
| その他特記事項 | 資料検索が必要となる場合があるため、可能であれば次の物を持参してください。<br>・スマートフォン　　・高機能携帯電話（ネット接続可能なもの）<br>・PC（ネット接続可能なもの）・タブレット端末（ネット接続可能なもの）<br>・授業に関する資料（本、論文、文部科学省・厚生労働省のデータ、自分で実際に取得したデータ） | | |

# 自動車工学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知工科大学 | 科目コード | 291201 |
| 担当教員 | 井藤　良温（工学部准教授） | | |
| 学年配当 | 4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　木曜：4 限（1510～1640） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | 7 号館 2 階 7207 室 | | |
| 履修条件 | 熱力学,流体力学の基礎を有することが望ましい | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【授業の概要】<br>「走る・曲がる・止まる」という自動車の基本をなす走行抵抗、動力性能、制動性能、旋回性能などについて、機械力学によった知識をより深めていく。また、各性能試験において具体的な例を取り上げ、実際の自動車と常に対比しつつ自動車全般にわたる基本的な理解を深めていくことを狙いとする。<br>【到達目標】<br>作動原理、構造開設にとどまらず、基本的な理論を説明できることができること。<br>【講義計画】<br>1. 自動車の技術的歴史<br>2. 駆動力<br>3. 走行抵抗<br>4. 動力性能<br>5. 燃料消費性能<br>6. 自動車性能のまとめ<br>7. 制動<br>8. 旋回<br>9. タイヤ<br>10. 制動・旋回性能の試験法<br>11. 操縦性・安定性<br>12. 制動・旋回のまとめ<br>13. 振動乗り心地、騒音性能<br>14. 振動・騒音性能のまとめ<br>15. 衝突・安全 | | |
| テキスト・参考文献 | テキスト「自動車の走行性能と試験法」東京電機大学出版局<br>参考文献「自動車力学」理工図書 | | |
| 試験・評価方法 | 定期試験、レポートや小テストの結果を基準として総合的に評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | 熱力学,流体力学の基礎を有することが望ましい | | |
| その他特記事項 | 単位認定には、授業回数の 4/5 以上の出席が必要です。 | | |

# ＣＡＤ／ＣＡＭ演習Ⅱ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知工科大学 | 科目コード | 291202 |
| 担当教員 | 田宮　直（工学部准教授） | | |
| 学年配当 | ３年 | 単位数 | １単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　未定：未定（～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | 製図の基礎と３次元 CAD の経験を有することが望ましい。 | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ９月 |
| 講義概要 | 【授業の概要】<br>３次元 CAD のスケッチ操作の基本をもとに３次元 CAD（CATIA V5）のソリッドの操作実習をする。ものづくりの設計に不可欠な設計図面作成の知識・技能を修得する。作成したものをアセンブリして組み立てる。また３次元 CAD から３D プロッタによる加工技術を習得する。<br>本授業では、講義と演習をセットにして実施していく。学んだことを実際に実践してその知識を確かなものとする。<br>【到達目標】<br>３次元 CAD 図面の基本的な線分・曲線の描き方からなどの基礎からソリッド図形の基本的な作り方から応用までを学ぶ。<br>【講義計画】<br>1. ３次元 CAD 基本図形（ソリッド）の操作１<br>2. ３次元 CAD 基本図形（ソリッド）の作図演習１<br>3. ３次元 CAD 基本図形（ソリッド）の操作２<br>4. ３次元 CAD 基本図形（ソリッド）の作図演習２<br>5. ３次元 CAD 基本図形（ソリッド）の作図演習３<br>6. ３次元 CAD 基本図形（サーフェス）の操作１<br>7. ３次元 CAD 基本図形（サーフェス）の操作２<br>8. ３次元 CAD 基本図形（サーフェス）の作図演習１<br>9. ３次元 CAD 基本図形（サーフェス）の作図演習２<br>10. ３次元 CAD アセンブリ操作および演習<br>11. 実製品モデリング演習１<br>12. 実製品モデリング演習２<br>13. 実製品モデリング演習３<br>14. 実製品アセンブリおよび設計変更<br>15. ＣＡＭ演習 | | |
| テキスト・参考文献 | テキスト<br>「Introduction for CATIA V5」（アビスト） | | |
| 試験・評価方法 | 課題を中心に授業態度、発言・質問により総合的に成績評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | 製図の基礎と３次元 CAD の経験を有することが望ましい。 | | |
| その他特記事項 | 単位認定には、授業回数の 4/5 以上の出席が必要です。 | | |

# オブジェクト指向とＪＡＶＡ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知工科大学 | 科目コード | 291203 |
| 担当教員 | 吉田　茂（工学部教授） | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　月曜：３限（1310～1500） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | ６号館３階 6301 室 | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 【授業の概要】<br>大規模で複雑なプログラムを作るために、プログラミング技術は、構造化プログラミングを経て、オブジェクト指向プログラミングへと発展してきた。今や、オブジェクト指向プログラミング技術は、ほとんどのプログラム言語に取り入れられている。この授業では、オブジェクト指向プログラミングと、プログラム構造の設計に用いるＵＭＬ（Universal Modeling Language）やデザインパターンについて、Java のプログラムを通して、基本概念と手法を習得する。<br>【到達目標】<br>オブジェクト指向の概念を理解し，オブジェクト指向の考え方をソフトウェア作成に積極的に利用できるようになる。<br>【講義計画】<br>1. オブジェクト指向プログラミングの概念<br>2. システム開発と Java の使い方<br>3. オブジェクトとクラス<br>4. Java と GUI<br>5. オブジェクトの関係<br>6. オブジェクトの継承１<br>7. オブジェクトの継承２　特化と汎化<br>8. オブジェクトの委譲１<br>9. オブジェクトの委譲２　インタフェース<br>10. 復習・練習問題<br>11. オブジェクトのよるシステムの表現<br>12. 機能の表現１ Adapter<br>13. 機能の表現２ Factory<br>14. 分析・設計・実装<br>15. まとめ、総合演習 | | |
| テキスト・参考文献 | テキスト<br>「やさしい Java オブジェクト指向編」（ソフトバンク・クリエイティブ）<br>参考文献<br>「やさしい Java　第４版」（ソフトバンク・クリエイティブ）<br>「なぜ，あなたは Java でオブジェクト指向開発ができないのか」（エスエムジー社）<br>「Java の絵本」（ソフトバンク・クリエイティブ） | | |
| 試験・評価方法 | 定期試験，課題提出，授業態度で総合的に評価する | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 単位認定には、授業回数の 4/5 以上の出席が必要です。 | | |

# 音声情報処理

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知工科大学 | 科目コード | 291204 |
| 担当教員 | 實廣　貴敏（工学部准教授） | | |
| 学年配当 | ３年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　木曜：３限（1310～1500） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | ７号館３階 7303 室 | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 【授業の概要】<br>音声・音響に関する情報処理技術はコンピュータの発展により、多くの分野で利用されている。本講義では、音波・音声の基本的性質から、音響信号処理、音声分析、音声符号化、音声合成、音声認識、および音声対話などの技術について、具体的な応用例とともに学ぶ。<br>【到達目標】<br>音波・音声の基本的性質の理解、および、音響信号処理、音声分析、音声符号化、音声合成、音声認識、音声対話などの基本的な技術を習得する。<br>【講義計画】<br>1. ガイダンス／音波の基本的性質<br>2. 聴覚の基本的性質<br>3. 音場の音響信号処理<br>4. 音響信号処理（実習）<br>5. 音声の基本的性質<br>6. 音声分析法<br>7. 音声分析法（実習）<br>8. 音声の線形予測分析<br>9. 音声符号化<br>10. 音声合成<br>11. 歌声合成（実習）<br>12. 音声認識１<br>13. 音声認識２<br>14. 音声認識３<br>15. 音声対話システム（実習） | | |
| テキスト・参考文献 | テキスト<br>「新音響・音声工学」（近代科学社）<br>参考文献<br>「音声工学」（森北出版）<br>「IT Text 音声認識システム」（オーム社） | | |
| 試験・評価方法 | 定期試験、演習、平常点で評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 単位認定には、授業回数の 4/5 以上の出席が必要です。 | | |

# 超分子化学概論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知工業大学 | 科目コード | 291301 |
| 担当教員 | 釘宮　愼一（工学部教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　金曜：2 時限（1040～1210）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術,数学・物理・化学 | | |
| 教室 | 八草キャンパス　情報教育センター情教実習室Ｂ | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 超分子はフランスの J.-M. Lehn が提唱した「分子が非共有結合により秩序をもって組織化することにより新たな機能が産生する」という概念により広く認知されるようになった。現在は生化学における超分子システム論、工学のナノテクノロジー、物理学におけるソフトマターなど様々な領域に使われるようになった。講義では、具体例を使って、超分子を理解する。<br><br>1. 高校の教科書にある超分子<br>2. 共有結合をどのように考えるか<br>3. 共有結合の理解の仕方<br>4. 非共有結合とは<br>5. 非共有結合１：水素結合１<br>6. 非共有結合２：水素結合２<br>7. 非共有結合３：配位結合１<br>8. 非共有結合４：配位結合２<br>9. 非共有結合５：配位結合３<br>10. 非共有結合６：疎水結合１<br>11. 非共有結合７：疎水結合２<br>12. 非共有結合８：静電相互作用　1<br>13. 非共有結合９：静電相互作用　2<br>14. 超分子と高分子<br>15. 超分子と材料 | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】超分子の化学（化学の指針シリーズ）（裳華房：菅原 正,木村 榮一編著）<br>【参考書】生化学、物理化学、無機化学、有機化学、分析化学、高分子化学のテキストの該当するところを参照すること。 | | |
| 試験・評価方法 | 課題、レポート及び期末試験を総合して評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | Introduction of Supermolecular Chemistry | | |

# 超分子化学概論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知工業大学 | 科目コード | 291302 |
| 担当教員 | 釘宮　愼一（工学部教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　木曜日：1 時限（900～1030） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術,数学・物理・化学 | | |
| 教室 | 八草キャンパス　計算センター実習室１ | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 超分子はフランスの J.-M. Lehn が提唱した「分子が非共有結合により秩序をもって組織化することにより新たな機能が産生する」という概念により広く認知されるようになった。現在は生化学における超分子システム論、工学のナノテクノロジー、物理学におけるソフトマターなど様々な領域に使われるようになった。講義では、具体例を使って、超分子を理解する。<br><br>1. 高校の教科書にある超分子<br>2. 共有結合をどのように考えるか<br>3. 共有結合の理解の仕方<br>4. 非共有結合とは<br>5. 非共有結合１：水素結合１<br>6. 非共有結合２：水素結合２<br>7. 非共有結合３：配位結合１<br>8. 非共有結合４：配位結合２<br>9. 非共有結合５：疎水結合１<br>10. 非共有結合６：疎水結合２<br>11. 非共有結合７：静電相互作用<br>12. 酵素<br>13. 酵素反応<br>14. 生体超分子１　情報伝達システム<br>15. 生体超分子２　光合成システム | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】実況出版「生体高分子の基礎」　執筆：長谷川慎、石水毅、有馬一成、前田衣織<br>【参考書】生化学、物理化学、無機化学、有機化学、分析化学、高分子化学のテキストの該当するところを参照すること。 | | |
| 試験・評価方法 | 課題、レポート及び期末試験を総合して評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 履修には、一年次に分子生物学１，２、有機化学１、無機化学１を修得済みが望ましい。また、物理化学、高分子化学、分析化学とも密接な関係にある科目なので、各科目の予習復習も超分子とともに励んでほしい。 | | |

# 環境工学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知工業大学 | 科目コード | 291303 |
| 担当教員 | 城戸　由能（工学部教授） | | |
| 学年配当 | ２年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　月曜日：2 時限（1040～1210） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 地球・環境・エネルギー,工学・建築・技術 | | |
| 教室 | 八草キャンパス　７号館２０３ | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 地域環境から地球環境までの多様な環境問題の構造とその対策手法の理解を図るため，①問題の発生構造，特に発生源から伝播・受容，問題発現構造，②現象解明のため観測やデータの収集・解析，③自然現象および人工的プロセスと，その評価手法や管理手法について講述する．特に，身近な水環境・廃棄物問題を対象として，問題の発見・課題の設定，データ収集と解析手法の選択，評価基準の作成および評価基準の選定，対策の立案と評価の一連の流れについて学修する．（学習時間：23.5 時間）<br><br>1. 環境工学の基礎①：環境とは何か？環境と人間の関係性，環境の有限性に関する基礎概念について講述する．<br>2. 環境工学の基礎②：地域環境問題から地球環境問題，1970 年代の公害時代から地球温暖化現象までを歴史的に整理しながら今後の問題点について講述する．<br>3. 水環境管理①：水質汚染の特徴と水利用および水環境保全のための上下水道システムについて講述する．<br>4. 水環境管理②：地域水環境を解析・評価するための水および物質の流れを解析する手法について講述する．<br>5. 水環境管理③：雨天時の汚濁負荷流出過程，その原理および解析手法について講述する．<br>6. 水環境管理④：浸水防止と汚濁負荷削減のための制御方策手法について講述する．<br>7. 水環境管理⑤：広域水利用および水環境管理における今後の課題を明らかにし，その対応策について講述する．<br>8. 中間試験<br>9. 廃棄物管理①：廃棄物の定義，廃棄物処理・処分に関わる歴史的経緯および近年の状況について講述する．<br>10. 廃棄物管理②：廃棄物の収集・処理・処分のための手法と課題，新しい処理・処分技術について講述する．<br>11. 廃棄物管理③：循環型社会形成の中核となる廃棄物リサイクルについて講述する．<br>12. 廃棄物管理④：廃棄物に関わる今後の課題について講述する．<br>13. 環境管理の手法①：さまざまな環境質を測る指標とそのモニタリング技法・評価技法について講述する．<br>14. 環境管理の手法②：環境を管理・制御するための規制的な手法，経済的手法の特徴・適応性について講述する．<br>15. 環境管理の手法③：環境アセスメント制度の内容，地域環境管理計画の内容，適用される解析・評価手法等について講述する．<br>16. 定期試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】特に教科書は指定しない．講義プリントを配布する．<br>【参考書】(1)環境保全工学，浮田正夫他編著，技報堂出版，(2)河川汚濁のモデル解析，國松孝男他編著，技報堂出版，(3)地球環境キーワード事典４訂，地球環境研究会，中央法規． | | |
| 試験・評価方法 | 小テスト・レポート・中間試験・定期試験により総合的に評価する．小テスト 10%，レポート 20%，試験 70%の配分とする．欠席 20%以上，レポート未提出，試験不受験は失格とする． | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 環境問題は見えるモノと見えないモノ(Visible & Invisible)，定義しやすいモノと定義しにくいモノ(Well-defined & Ill-defined)，制御可能なモノと制御不可能なモノ(Controllable & Uncontrollable)，といった側面をもつ．そのため，複数の仮定・条 | | |

| | |
|---|---|
| | 件に基づいて観測や定式化・モデル化が行われるので，得られたデータや解析結果で表現できない物事について常に気をつける姿勢を学んでほしい.<br>＞この科目と学修・教育目標との関係⑷社会奉仕と国際貢献を思考する技術者の育成，（B)技術者としての責任・倫理観の育成，(C)実践的応用能力を目指した土木専門知識と技術の育成【30%】，(D)環境・生態系・情報技術等ソフト面の知識と技術の育成【30%】，(E)柔軟な発想と想像力に基づく問題発見・解決能力の育成【20%】，(F)倫理的思考を礎とするコミュニケーション能力の育成，(G)技術者としての自主性と継続学習能力の育成【20%】.<br>＞学修. ・教育目標の達成度評価法：科目評価点を目標Ｃ・Ｄ・Ｆ・Ｇの達成度とする. |

# 防災工学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知工業大学 | 科目コード | 291304 |
| 担当教員 | 倉橋　奨（工学部講師） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　木曜日：1 時限（900～1030） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | 八草キャンパス　１０号館Ｇ２１１０ | | |
| 履修条件 | 特にありません | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 自然災害による構造物等の被害の軽減はわが国の重点課題であり、防災・減災技術の開発が進められてきた。その一方で都市化が急速に進行し、我々の生活が高密度化、高度化するにつれて災害に対する脆弱性は益々高くなっている。本講義では、都市災害を中心に、災害のメカニズム、災害に関する法律、防災技術、防災計画、防災行政、安全安心街づくりについて、事例を取り上げながら学ぶ（学習時間 22.5 時間）<br><br>1. 「自然災害の仕組みと対策」日本の災害の仕組み、変遷、災害対策の変遷<br>2. 「地形と地質」地形・地質と水害・地震災害・土砂災害の関係<br>3. 「地震のメカニズム」地震発生のタイプ・メカニズム・マグニチュード・震度<br>4. 「プレート境界型地震による被害」メカニズム・被害の特徴・津波・長周期地震動<br>5. 「内陸地震による被害」メカニズム・活断層分布・活動周期・見つけ方・被害<br>6. 「地震および地震動の予測・被害予測」予測手法の概略・断層モデル・被害関数<br>7. 「強震動特徴」地震動の特徴、フーリエスペクトル、応答スペクトル<br>8. 中間試験<br>9. 「地盤に関連する災害」液状化・被害実態<br>10. 「地盤に関連する災害」土砂災害（土石流、地すべり、斜面崩壊）のメカニズム・被害実態<br>11. 「水に関連する災害」内水・外内災害のメカニズム・高潮災害・被害実態<br>12. 「都市災害」市街地火災・ライフライン災害・住民対策の被害実態<br>13. 「災害に関する規則・規制」災害対策基本法など災害に関する法律<br>14. 「地域防災」地域防災の目的・進め方・課題<br>15. 「復旧復興」<br>16. 定期試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】毎回ノートと資料を配布し、講義はパワーポイントなどを用いて行う。<br>【参考書】<br>1.『自然災害と防災の辞典』京都大学防災研究所（丸善出版）<br>2.『自然災害の予測と対策』水谷武司（朝倉書店） | | |
| 試験・評価方法 | レポート、中間試験、定期試験により評価する。成績評価の配分はレポート 20%、中間試験 40%、定期試験 40%とする。欠席が 30%以上の場合は不合格とする。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | ⑴配布するプリントには空白が設けられている。この空白を利用して、授業内容を記入し、自分の講義ノートを作成するため、講義内容が理解ができたかどうかを自分で確認すること。<br>⑵毎回確認テストを実施する。これは、その日の講義の復習と理解度のチェックのためである。途中であきらめることなく最後まで提出して欲しい。<br>⑶モチベーションを高く持ち、問題を理解し、解決策を見出すことのできるスキルを身につけて欲しい。<br>⑷教員の研究室は７号館３階３２１号室である。気軽にノックしてください。<br><br>◎自己学習<br>自作した講義ノートおよび確認テストにより自己学習し、理解を深めると同時に理解度の確認を行う。また自己学習により、配布した資料を利用して、ノートを仕上げる事。 | | |

# 経営データ解析Ⅰ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知工業大学 | 科目コード | 291305 |
| 担当教員 | 藤井　勝紀（経営学部教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　木曜日：4 時限（1440～1610） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | 八草キャンパス　4号館K４０４ | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | スポーツ科学において、身体情報を解析する方法を理解することは必要であり、そのためにデータ解析の各種方法の原理を知ることは重要である。本講義では、形態情報科学という新たな研究分野の内容を理解するとともに、その内容の前半に含まれる科学との関わり、計量化の問題、形態情報データとしての解析手法等について説明していく。<br><br>1. 受講者に対してデータ解析の講義概要説明と学習の進め方、テスト方法について説明する。<br>2. スポーツ科学における、形態情報科学とデータ解析についての接点とは何かを述べる。<br>3. 形態情報と科学について、先ず、形態とは何かを形態学という学問を例にとって説明する。<br>4. 形態情報の意味について説明し、身体情報との関係をスポーツ事象を絡めて述べていく。<br>5. 小テスト実施、科学とは何かについて説明し、形態情報と科学との関わりを述べる。<br>6. 形態情報の計量化において、先ず、計量化という意味について情報のデータ化を例にとって説明する。<br>7. 身体情報として形態各部位や運動機能等の測定についての本質的な意味を説明する。<br>8. 身体情報として形態各部位や運動機能等の測定結果の情報化についてその方法を説明する。<br>9. 測定結果の情報化によって導かれた形態情報と健康との関わりの重要性を説明する。<br>10. 小テスト実施、形態情報データの解析手法について、先ず、データの正規性とは何か把握させる。<br>11. 形態情報データの解析手法として平均、標準偏差、相関分析、回帰分析の要点を理解させる。<br>12. データのグラフ化として折れ線グラフ、棒グラフ、円グラフ、帯グラフ等、使用目的、応用例を紹介する。<br>13. 態情報データを評価する方法として、平均値評価法、回帰評価法について基本を理解させる。<br>14. 形態情報科学における評価とは何か、評価法の種類と方法について説明し、講義の纏めをする。<br>15. 定期試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】『発育発達への科学的アプローチ』藤井勝紀（三恵社）<br>【参考書】『体育学・スポーツ科学事典』（平凡社） | | |
| 試験・評価方法 | レポート(3回)、小テスト(2回)、及び定期試験（総合レポート）による総合評価を行う。成績評価の配分は出席 30%、レポート 10%、小テスト 20%、定期試験 40%とする。レポート未提出や小テストを受けない場合は不合格の対象になる。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 1 授業では理解を早めるためにパソコンプロジェクター等を使用するため、それらを見ながらポイント<br>になる点を配布プリントやノートにメモすること。その内容を講義の板書ノートに加える形で自分<br>なりにまとめて復習してほしい。<br>2 試験のレポート課題は特に重要であるため、自分で充分に調査して、図を加えて文章にまとめて<br>ほしい。これにより、文章表現力やプレゼンテーション能力も身につく。 | | |

# ユーザインタフェース

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知工業大学 | 科目コード | 291306 |
| 担当教員 | 小林　正（情報科学部特任教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　火曜日：3 時限（1300～1430） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉,芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | 八草キャンパス　1号館３０３ | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 世の中の技術の進歩に伴い、人々が利用しているデジタル製品の機能は複雑になる一方である。この科目では人間とデジタル製品との間に存在するユーザ・インタフェースとはどのようなものか？について考え、ユーザ・インタフェースを構成する要素やインタフェース・デザインの評価方法などについて網羅的に学習する。<br><br>1. インタラクティブ・システムのユーザビリティ<br>2. ガイドライン、原則、理論<br>3. 設計プロセス<br>4. ユーザ・インタフェースの評価<br>5. 直接操作と仮想環境<br>6. 中間試験<br>7. メニュー選択、フォーム記入、ダイアログ・ボックス<br>8. コマンド言語と自然言語<br>9. インタラクション装置<br>10. 共同作業とソーシャル・メディアへの参加<br>11. サービス品質（QOS）<br>12. 機能とファッションのバランス<br>13. ドキュメンテーションとオンライン・ヘルプ<br>14. 情報検索<br>15. 情報の可視化 | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】Moodle 経由で配布するテキストを使用する。Moodle には、co-net の「授業サポート」メニューからアクセスする。<br>【参考書】 Ben Shneiderman, Catherine Plaisant "Designing the User Interface" Fifth Edition | | |
| 試験・評価方法 | 中間試験と期末試験を総合して評価を行う。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | ユーザ・インタフェースとは何か、どのようにして評価するのかを原理・原則から網羅的に学ぶ科目である。ユーザ・インタフェースについて更に深く学ぶ意志がある学生あるいは大学院への進学を希望している学生は原書を購入して授業に参加していただきたい。 | | |

# 高電圧工学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知工業大学 | 科目コード | 291307 |
| 担当教員 | 大久保　仁（工学部教授） | | |
| 学年配当 | ３年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　月曜日：３時限（1300～1430） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | 八草キャンパス　５号館実験棟ＥＲ２２１ | | |
| 履修条件 | 電気磁気学を学んでいることが望ましい。 | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ９月 |
| 講義概要 | 高電圧工学は電気磁気学や電気・電子回路論，そして材料・物性論などの基礎科目の上に位置する応用工学である。電力システム・機器に直接関係するだけではなく，産業応用機器やあらゆる電気・電子技術にかかわる重要な工学である。具体的にはまず，電界のふるまいを理解したのち，気体・液体・固体・真空などの誘電材料中における電界下の挙動，誘電現象，放電現象・メカニズムなどを学ぶ。次に機器やデバイスにおける電気絶縁技術を学び，システムとして絶縁協調を理解する。さらには，高電圧・高電界の発生および測定技術について習得する。<br><br>1. 高電圧工学の学び方，高電圧工学・高電界工学の意味を理解する。<br>2. 高電圧の基礎として，交流・直流，放電現象などを学ぶ。<br>3. 電位と電界の基礎を理解し，電界のふるまいと解析手法の基礎を学ぶ。<br>4. 電界解析法の適用と基本形状や実際の機器などにおける挙動・分布を理解する。<br>5. 気体中における放電特性を理解し，放電メカニズムを学ぶ。<br>6. 長ギャップ放電，雷現象，部分放電現象などについて理解する。<br>7. 真空中における放電特性を理解し，放電メカニズムを学ぶ。<br>8. 液体中および固体中における放電特性を理解し，放電メカニズムを学ぶ。<br>9. 中間試験<br>10. 高電圧機器・装置における電気絶縁技術について学ぶ。<br>11. サージ高電圧の発生・伝搬と絶縁協調技術について理解する。<br>12. 機器・システムの絶縁設計と絶縁協調について習得する。<br>13. 直流・交流インパルスなどの高電圧・高電界の発生技術について学ぶ。<br>14. 直流・交流インパルスなどの高電圧・高電界の測定技術について学ぶ。<br>15. 高電圧・高電界の新技術について学ぶ。 | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】教科書に相当するものは授業中に適宜紹介する。その主な内容は，PPT で表示，説明する。<br>【参考書】 授業中に適宜紹介する。 | | |
| 試験・評価方法 | 講義出席率，レポート，中間試験，定期試験による総合評価を行う。<br>成績評価は，課題提出・レポート 20%，中間試験 30%，定期試験 50%を目安とし，総合評価する。<br>評価対象学生は原則として出席回数 2/3 以上とする。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 高電圧工学は，電気磁気学や電気・電子回路論，材料・物性工学などの基礎科目に立脚する応用工学である。したがって，基礎学問をいかに実機器やデバイスなどに，工学として応用あるいは実施されているかについて，常に深く考察する目を養ってほしい。そのためには授業に積極的にかかわり，問題提起や質問をする習慣を持ってほしい。 | | |

# 組込機器工学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知工業大学 | 科目コード | 291308 |
| 担当教員 | 小西　たつ美（工学部教授） | | |
| 学年配当 | ２年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　月曜日：２時限（1040～1210） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | 八草キャンパス　５号館実験棟ＥＲ３２２ | | |
| 履修条件 | C 言語の基礎知識が必要 | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ９月 |
| 講義概要 | 組込機器とは、内部に組み込まれたマイクロコンピュータにより、特定の機能を実現する機器のことで、自動車や情報家電、各種ロボットなど、身の回りのいたるところに存在する。本講義では、これら組込機器の基本的な仕組みを、ハードウェアとソフトウェアの両面から学習する。<br><br>1. 組込機器と組込システム<br>2. マイコンの基本機能<br>3. マイコンの入出力機能<br>4. マイコンのリセット機能とメモリ<br>5. C 言語を用いたマイコンプログラム（1）<br>6. C 言語を用いたマイコンプログラム（2）<br>7. C 言語を用いたマイコンプログラム（3）<br>8. ダイナミック点灯<br>9. PWM 制御<br>10. 割込みとは何か<br>11. 外部割込み<br>12. タイマー割込み（1）<br>13. タイマー割込み（2）<br>14. リアルタイム OS とは何か<br>15. リアルタイム OS を利用したプログラミング | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】講義内で指示<br>【参考書】講義内で指示 | | |
| 試験・評価方法 | 成績は、小テストや課題が２０%、中間テスト・期末テストが８０%の総合点で評価し、５５点以上を合格とする。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 本講義は、C 言語と電気回路の知識を必要とするので、他学部・他学科からの受講者は、特に気を付けること。<br>また本講義では、実際の物作りはしないが、引き続き履修する電子情報工学実験３で、マイコンを搭載したライントレースカーを製作するので、そのための基礎を身に付けるためにも、しっかり取り組むことが望まれる。 | | |

# 固体構造化学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知工業大学 | 科目コード | 291309 |
| 担当教員 | 小林　雄一（工学部教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　月曜日：3 時限（1300～1430） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術,数学・物理・化学 | | |
| 教室 | 八草キャンパス　1号別館G151 | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 9月 |
| 講義概要 | 工業材料の高度化とともに，無機固体材料についての化学が大きく展開を見せている。これには化学のほか，物理学，電子工学など，他の学問領域からの寄与も少なくない。単結晶，多結晶及び非晶質固体材料の化学の基礎として，結晶構造に関する初歩的理論を解説する。<br><br>1. 無機固体材料の特徴について概説し，結晶の持つ外形の多様性について説明する。<br>2. 結晶構造の基本単位である単位格子の考え方と原子位置の記述方法について概説する。<br>3. 単位格子のパラメーターや対称性による分類方法について説明する。<br>4. 球の密充填構造を基本として実際の結晶構造を理解する。<br>5. 金属の代表的結晶構造である面心立方最密充填構造，六方最密充填構造，体心密充填構造を理解する。<br>6. 球の密充填構造にできる隙間の種類，大きさ，数について理解する。<br>7. 結晶の密充填構造についてのまとめと演習問題、解説。<br>8. 六配位位置にイオンを持つイオン結合性結晶の構造について説明する。<br>9. 四配位位置にイオンを持つイオン結合性結晶の構造について説明する。<br>10. 二つの配位位置にイオンを持つイオン結合性結晶の構造について説明する。<br>11. 配位多面体による結晶構造の記述方法について説明する。<br>12. 珪酸塩結晶の構造とその分類<br>13. 結晶中に存在する様々な構造欠陥の種類と性質について説明する。<br>14. 結晶構造の決定法（粉末X線回折）<br>15. 複雑なイオン結合性結晶の構造についてのまとめと演習問題、解説。 | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】なし<br>【参考書】『セラミックス材料科学入門：基礎編』（内田老鶴圃）、『ウエスト　固体化学入門』著者：A.R.WEST（講談社） | | |
| 試験・評価方法 | 成績評価は主として中間試験および定期試験により行うが，提出した演習問題の正答率や課題レポートなどを含めた総合評価により行う。<br>授業後の課題 10%、中間テスト 45%、定期試験 45% | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 1. 板書やプロジェクター画面を必ずノートに書き写すこと。配布プリントや資料、ノートを見直し、復習してください。<br>2. 小テストの問題を毎回再度復習し、疑問な部分をなくしておくこと。結晶の立体的な構造を理解するために，自ら結晶の幾何学的モデル図を何度も書いてみるとよい。<br>3. 質問や講義に対する意見等は、講義終了後や研究室にていつでも対応しますので分からないことは遠慮なく。 | | |

# 自動車工学概論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知工業大学 | 科目コード | 291310 |
| 担当教員 | 谷本　隆一（工学部教授） | | |
| 学年配当 | ２年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　月曜日：２時限（1040～1210） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | 八草キャンパス　１０号館Ｇ２２１０ | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ９月 |
| 講義概要 | 自動車工学の概要を，教科書にそって解説する．自動車の説明は，時代背景，機械工学の４力学など織り交ぜて，ゆっくりとわかりやすく説明する．また，企業におけるものづくりの精神についても説明する．<br><br>1. 自動車工学，自動車の定義，歴史，構成（ボデー，シャシー，原動機）<br>2. 自動車用エンジン，エンジンの分類，基本原理<br>3. ガソリンエンジン，ディーゼルエンジン<br>4. ロータリーエンジン<br>5. シリンダーヘッド<br>6. バルブメカニズム<br>7. ピストン，ピストンリング，コネクチングロッド<br>8. サイレントシャフト，トーショナルダンパ，ガスタービンエンジン<br>9. 電気自動車，アルコール燃料車<br>10. 水素エンジン車，スターリングエンジン<br>11. 燃料電池車（ＦＣＨＶ），ハイブリッド自動車<br>１３. 燃料（ガソリン、軽油），ノッキング，混合気<br>14. キャブレター，ＥＦＩ<br>15. ディーゼルエンジンの燃料噴射装置，コモンレール，過給機 | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】　『自動車工学入門』　齋 輝夫　著（理工学社）<br>【参考書】自動車工学[第２版]　自動車工学編集委員会編著（東京電気大学出版局） | | |
| 試験・評価方法 | 自動車の概要を教科書にそって解説する．できるだけ丁寧に，わかりやすく解説する．<br>小テストを３回程度実施し，習熟度合いを確認する． | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 自動車工学概論で，自動車の構造・機能・動きを理解するなかで，機械工学を学んで欲しい。自動車の部品がなぜそのような形になっているのか，機械工学の立場から学ぶと楽しくなるものである． | | |

# 航空宇宙工学概論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知工業大学 | 科目コード | 291311 |
| 担当教員 | 三宅　慶明（工学部教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　火曜日：2 時限（1040～1210） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | 八草キャンパス　１３号館２０１ | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ９月 |
| 講義概要 | 航空宇宙機器は、高度且つ広範な技術の結集であり、規模の大きいシステムの代表的なものと言える。<br>講義ではまず、航空宇宙技術の発展経緯について時代順に概説する。<br>次に、航空機の基礎知識、その性能、安定性、構造、推進システム、等について解説する。<br><br>1. 導入<br>１章　航空宇宙技術の歴史　航空１９世紀以前<br>2. 航空宇宙技術の歴史　航空１９世紀前半<br>3. 航空宇宙技術の歴史　航空１９後半～２０世紀<br>4. 航空宇宙技術の歴史　ロケット<br>5. ２章　大気及び宇宙環境<br>6. ３章　航空機、宇宙機器の形態<br>7. ミニテスト①<br>8. ４章　揚力と抗力（１）<br>9. 揚力と抗力（２）<br>10. 揚力と抗力（３）<br>11. 揚力と抗力（４）<br>12. ミニテスト②<br>13. ７章　飛行機の安定性と操縦性(1)<br>14. 飛行機の安定性と操縦性(2)<br>15. ５章　推進　航空・宇宙における推進システム | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】「航空宇宙工学入門」室津義定編著（森北出版）<br>【参考書】航空宇宙工学便覧（日本航空宇宙学会） | | |
| 試験・評価方法 | 1. 定期試験 50%、ミニ試験 25%×2 回の結果及び 2.項め総合で評価する。<br>2. 出席は基本であり、初回を含む毎回出席をとり平常点として評価する。<br>３回を超える欠席（公欠を除く）は評価対象外。<br>3. ミニ試験欠席の時の追試験はない。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 1. 授業ではビジュアル機器や実際の部品を使用するため、ポイントをしっかりメモすること<br>2. 講義は教科書に沿い実施する。講義項目を自分なりにノートにまとめることで復習し、試験に備えること<br>3. 試験では 教科書の持ち込み不可、一冊のノート（資料添付ＯＫ）のみ可。 | | |

# ロボット工学概論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知工業大学 | 科目コード | 291312 |
| 担当教員 | 奥川　雅之（工学部教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　木曜日：3 時限（1300～1430） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | 八草キャンパス　１０号館Ｇ２２０８ | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | ９月 |
| 講義概要 | ロボットは，近い将来，人間との共生が期待されている．本講義では，ロボットとは何か？その定義，分類や種類，基本構成要素について説明するとともに，ロボットの機構および制御方法について述べる．人間の生活との関係性を考えるとともに，ロボットの将来について検討する．<br><br>1. ロボットとは<br>2. ロボットの歴史<br>3. ロボットの種類<br>4. ロボットの構成<br>5. ロボットの基本要素：アクチュエータ<br>6. DC モータの制御<br>7. ロボットの基本要素：センサ<br>8. ロボットの基本要素：コンピュータ<br>9. オペレーションシステムと組込みシステム<br>10. ロボットの機構（マニピュレーション）<br>11. ロボットの機構（移動ロボット）<br>12. ロボットの運動学<br>13. ロボットと人間<br>14. ロボットの今後<br>15. まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】ロボット入門，渡辺，小俣，オーム社<br>【参考書】図解雑学 ロボット，ナツメ社 | | |
| 試験・評価方法 | 定期試験（もしくは課題レポート）および演習レポートの総得点率によって総合評価を行う．成績評価の配分は，期末試験（課題レポート）60%，演習レポート 40%である．合格点は 60%である．提出物が未提出の場合は，不合格となる場合もある． | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 各自学習ノートを充実させること．興味を持った事項については，適宜調べ，ノートに記載すること． | | |

# 都市計画

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知工業大学 | 科目コード | 291313 |
| 担当教員 | 小池　則満（工学部教授） | | |
| 学年配当 | ３年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　金曜日：２時限（1040～1210） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術,文化・地理・歴史,社会・マスコミ・情報 | | |
| 教室 | 八草キャンパス　７号館２０３ | | |
| 履修条件 | 特記無し | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ９月 |
| 講義概要 | 都市計画は、その上位計画である国土計画から、地域・地区の計画までさまざまな段階があり、それぞれの段階でさまざまな分析手法や法制度が存在する。都市計画の基本的な理念と実現化の手法や法制度について学ぶ。（学習時間：23.5 時間）<br><br>1. ガイダンス・国土・都市計画の変遷１<br>2. 国土・都市計画の変遷２<br>3. 都市計画概論・概念<br>4. 地域地区１<br>5. 地域地区２<br>6. 土地区画整理事業・市街地再開発事業<br>7. 土地区画整理事業演習<br>8. 公園緑地計画<br>9. 景観法・まちなみ保存<br>10. 都市交通計画１<br>11. 都市交通計画２<br>12. 口頭試問<br>13. 住民参加とまちづくり<br>14. 住民参加（AHP による演習）/テストガイダンス<br>15. 理解度確認テスト<br>16. 総復習と解説　最終理解度確認テスト | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】特に指定しない<br>【参考書】特に指定しない | | |
| 試験・評価方法 | ＞口頭試問(１０%)レポート（２０%）および理解度確認テスト（７０%）で成績評価を行い、６０点以上を合格とする。理解度確認テストで合格点に達していても出席が極端に少ない場合には、不可とすることがあるが、出席を点数化することはない。最終理解度テストによる合格者には、「可」のみをつける。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | ＞公務員やコンサルタント会社への就職を目指す学生にとっては重要科目と考えて欲しい。<br><br>＞講義で紹介された制度や手法を理解するのは、実際の場所を見るのが非常に重要である。自己学習（予習および復習）として、自分が住んでいる街のホームページ等をみて、どのような都市計画がなされているか調べるとともに、講義で配布された演習問題等を独力で解いてみるよう、努めることが望まれる。<br><br>（A）社会奉仕と国際貢献を思考する技術者の育成：【5%】<br>（B）技術者としての責任・倫理観の育成：【5%】<br>（C）実践的応用能力を目指した土木専門知識と技術の育成：【60%】<br>（D）環境・生態系・情報技術等ソフト面の知識と技術の育成：【0%】<br>（E）柔軟な発想と創造力に基づく問題発見・解決能力の育成：【15%】<br>（F）論理的思考を礎とするコミュニケーション能力の育成：【15%】<br>（G）技術者としての自主性と継続学習能力の育成：【0%】 | | |

| | |
|---|---|
| | ●学習・教育目標の達成度評価<br>学習・教育目標の達成度は、上記の関与度による評価に加えて、「学習到達目標」に記載した目標の理解度を総合して評価する。具体的には、成績評価において総合点が 60%の合格ラインに達することで、目標（C）：【専門知識の習得】は達成されたと考える。また、レポートに真面目に取り組み、一定の水準を満たすことで、目標(A)(B)(E)(F)が達成されたと考える。 |

# 建築計画学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知工業大学 | 科目コード | 291314 |
| 担当教員 | 中井　孝幸（工学部教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　水曜日：2 時限（1040～1210） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | 八草キャンパス　7号館２０１ | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ９月 |
| 講義概要 | 建築空間を構想し計画・設計するに当たって必要な人間の生活環境への要求と建築空間との関わりの基礎的な理解を養うことを目的とする。このため、建築計画・設計の基本的な考え方、人間の空間知覚・行動・認知、生活機能と空間性能の関係などを学び、空間を構成するための手法を修得する。<br><br>1. ガイダンス、建築と生活<br>2. 地理的環境と形態<br>3. 人間と空間<br>4. 人間と建築<br>5. 紙の建築<br>6. 災害と建築<br>7. 身体と人間行動<br>8. 人間と空間のイメージ<br>9. 計画と設計の過程(1)<br>10. 計画と設計の過程(2)<br>11. 空間構成の手法<br>12. 計画と設計<br>13. 建築空間の性能（転用と再生）<br>14. 住まいの計画<br>15. 建築空間のイメージを固める | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】　「建築計画学」松本直司編著（理工図書）<br>【参考書】「コンパクト建築設計資料集成」第３版日本建築学会編（丸善） | | |
| 試験・評価方法 | レポート(数回)、小テスト(数回)、及び定期試験による総合評価を行う。成績評価の配分はレポート 20%、小テスト 20%、定期試験 60%とする。レポート未提出や小テストを受けない場合は不合格の対象になる。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 1. 授業では理解を助けるためにビデオ等を多用するため、それらを見ながらポイントになる点を配布プリントやノートにメモすること。その内容を講義の板書ノートに加える形で自分なりにまとめて復習してほしい。<br>2. レポートの課題は特に重要なテーマであるため、自分で充分に調査して、図や写真を加えて分かりやすい文章にまとめてほしい。これにより、文章表現力やプレゼンテーション能力も身につく。 | | |

# 環境工学Ⅱ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知工業大学 | 科目コード | 291315 |
| 担当教員 | 佐野　泰之（工学部准教授）　細淵　勇人（工学部講師） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　金曜：2 時限（1040～1210）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 地球・環境・エネルギー,工学・建築・技術 | | |
| 教室 | 八草キャンパス　7号館２０１ | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ９月 |
| 講義概要 | 建築環境学のうち、光環境と音・振動環境について説明する。前半７回で日射を含む光環境について講義し８回目にその理解度を問う中間テストを実施する。建物建設による日影の問題や自然採光を効果的な利用、照明計画の基本について解説する。後半は、音・振動環境について説明する。まず公害や苦情の予測・防止に関わる基礎知識を中心に解説する。14 回目にはコンサートホールなどの心地よい音響計画などについて説明する。また、顧客満足度向上に関わる取り組みについても紹介する<br><br>1. 環境工学２全般の概説 光、色、音、振動の表し方と特徴<br>2. 光の性質・視覚<br>3. 人口光源による環境（照明計画）<br>4. 太陽の動きと日射<br>5. 建物によりできる日陰（日影）<br>6. 自然採光（窓からの光を中心に）<br>7. 光環境計画（光環境を考慮した設計のために）<br>8. 中間テスト<br>9. 音・振動の感覚、心地よい音と望ましくない音（騒音）<br>10. 騒音・振動の表し方(デシベル計算)と評価方法<br>11. 遮音、吸音、塀による回折<br>12. 建設工事騒音・振動の予測と対策<br>13. 建築物の遮音、床衝撃音<br>14. 快適音環境（オーデトリアム・サウンドスケープ）<br>15. 音・振動環境計画（顧客満足度の向上） | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】最新建築環境工学：田中俊六他（井上出版）又は現代建築環境計画:小島武男、中村洋、比嘉俊太郎、成瀬治興 他（オーム社）<br>【参考書】公害防止の技術と法規（騒音・振動編）:産業環境管理協会 | | |
| 試験・評価方法 | 成績評価は、定期試験 30%、中間テスト 30%、レポート・小テスト 40%で判定する。授業を数回欠席した者は、単位認定しない | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 建築環境学は、日常生活の身の周りに関わる事柄を取り扱う。まず、自分をとりまく環境に目を向け、意識して接することが大切である。授業の内容と、生活を結びつけて考えるためのレポートも課す。<br>建築士を目指ために必要な知識も含まれる。受験を考えている人は受講するように。 | | |

# 生活デザイン

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知工業大学 | 科目コード | 291316 |
| 担当教員 | 武田　美恵（工学部准教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　水曜日：2 時限（1040～1210） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 家政・生活 | | |
| 教室 | 八草キャンパス　１２号館２０１ | | |
| 履修条件 | 特にないが建築との関わりから講義する | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ９月 |
| 講義概要 | 私達をとりまく芸術やデザインを科学的に捉え、豊かな発想をもって生活をデザインしていくための知識を修得する。<br><br>1. ガイダンス　人を惹き付けるデザイン<br>2. 自然共生と建築デザイン<br>3. 気候と建築（1）<br>4. 気候と建築（2）<br>5. 林業再生と建築（1）<br>6. 林業再生と建築（2）<br>7. かたち、模様（紋様）に隠された文化と自然（1）<br>8. かたち、模様（紋様）に隠された文化と自然（2）<br>9. 観察力とデザインへの活用（1）<br>10. 観察力とデザインへの活用（2）<br>11. つきあい空間の工夫<br>12. 伝統的景観・コミュニティ（1）<br>13. 伝統的景観・コミュニティ（2）<br>14. 風土と色彩<br>15. 子どもの発達と住まい | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】なし<br>【参考書】配布資料 | | |
| 試験・評価方法 | 成績評価は定期試験の結果で決定します。毎授業出席を確認し、欠席回数が多い場合は不合格の対象になります。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | Power point によるスライドを使用した講義とし、映像を見るなど視覚を通して理解を助けるビジュアルな授業を行います。<br>講義をきっかけとして鋭い観察力を養って欲しい。 | | |

# 建築計画学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知工業大学 | 科目コード | 291317 |
| 担当教員 | 中井　孝幸（工学部教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　金曜日：2 時限（1040～1210） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | 八草キャンパス　7号館２０５ | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ９月 |
| 講義概要 | 建築空間を構想し計画・設計するに当たって必要な人間の生活環境への要求と建築空間との関わりの基礎的な理解を養うことを目的とする。このため、建築計画・設計の基本的な考え方、人間の空間知覚・行動・認知、生活機能と空間性能の関係などを学び、空間を構成するための手法を修得する。<br><br>1. ガイダンス、建築と生活<br>2. 地理的環境と形態<br>3. 人間と空間<br>4. 人間と建築<br>5. 紙の建築<br>6. 災害と建築<br>7. 身体と人間行動<br>8. 人間と空間のイメージ<br>9. 計画と設計の過程(1)<br>10. 計画と設計の過程(2)<br>11. 空間構成の手法<br>12. 計画と設計<br>13. 建築空間の性能（転用と再生）<br>14. 住まいの計画<br>15. 建築空間のイメージを固める | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】「建築計画学」松本直司編著（理工図書）<br>【参考書】　「コンパクト建築設計資料集成」第３版日本建築学会編（丸善） | | |
| 試験・評価方法 | レポート(数回)、小テスト(数回)、及び定期試験による総合評価を行う。成績評価の配分はレポート 20%、小テスト 20%、定期試験 60%とする。レポート未提出や小テストを受けない場合は不合格の対象になる。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 1. 授業では理解を助けるためにビデオ等を多用するため、それらを見ながらポイントになる点を配布プリントやノートにメモすること。その内容を講義の板書ノートに加える形で自分なりにまとめて復習してほしい。<br>2. レポートの課題は特に重要なテーマであるため、自分で充分に調査して、図や写真を加えて分かりやすい文章にまとめてほしい。これにより、文章表現力やプレゼンテーション能力も身につく。 | | |

# 経営データ解析Ⅱ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知工業大学 | 科目コード | 291318 |
| 担当教員 | 藤井　勝紀（経営学部教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　木曜日：4 時限（1440～1610） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | 八草キャンパス　１１号館２０１ | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ９月 |
| 講義概要 | 本講義では、スポーツ・マネジメントに必要なマーケティングの分野で幅広く使われ、重要視されている多変量解析の基礎を身につけるともに、形態情報科学という新たな研究分野の内容の後半に含まれる時系列解析の基本を理解すると共に、その解析手法として多項式、logistic 関数、Gompertz 関数、spline 関数、さらにはウェーブレット解析についての基本的知識を身につける。<br><br>1. 受講者に対してデータ解析 2 の講義概要説明と学習の進め方、テスト方法について説明する。<br>2. 多変量解析の基礎的な知識を理解させ、単相関と重相関の算出方法についてエクセルを使用して解説する。<br>3. 最小二乗近似多項式の基礎を理解し、最適な次数決定の妥当性を検討する方法を解説する。<br>4. 形態情報と時系列解析について、関数適用の背景とその経緯について述べる。<br>5. 小テスト実施、時系列解析の方法にはどのような手法が適用されるのか説明する。<br>6. 具体的な方法として形態発育情報を取り上げて、Linear モデルを設定する。<br>7. 形態発育情報として身長と体重、運動能力との間でアロメトリー解析を適用する。<br>8. 曲線モデルの設定として 2 次以上の多項式適用の方法についてエクセルを使用して解説する。<br>9. 曲線モデルの設定として Logistic 関数および Gompertz 関数についてエクセルを使用して解説する。<br>10. 小テスト実施、spline 関数、spline 平滑化法についての基礎的な知識を理解する。<br>11. ウェーブレット解析についての基礎的な知識を理解する。Part１<br>12. ウェーブレット解析についての基礎的な知識を理解する。Part2<br>13. 形態情報科学の応用 Part１として、女子スポーツ選手の初経遅延について基礎的な理解をする。<br>14. 形態情報科学の応用 Part2 として、女子スポーツ選手の初経遅延とその後の月経異常について述べる。<br>15. 定期試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】『発育発達への科学的アプローチ』藤井勝紀（三恵社）<br>【参考書】『体育学・スポーツ科学事典』（平凡社） | | |
| 試験・評価方法 | レポート(3回)、小テスト(2回)、及び定期試験（総合レポート）による総合評価を行う。成績評価の配分は出席 30%、レポート 10%、小テスト 20%、定期試験 40%とする。レポート未提出や小テストを受けない場合は不合格の対象になる。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 1. 授業では理解を早めるためにパソコンプロジェクター等を使用するため、それらを見ながらポイントになる点を配布プリントやノートにメモすること。その内容を講義の板書ノートに加える形で自分なりにまとめて復習してほしい。<br>2. 試験のレポート課題は特に重要であるため、自分で充分に調査して、図を加えて文章にまとめてほしい。これにより、文章表現力やプレゼンテーション能力も身につく。 | | |

# 技術経営論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知工業大学 | 科目コード | 291319 |
| 担当教員 | 後藤　時政（経営学部教授） | | |
| 学年配当 | ３年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　木曜日：2 時限（1040～1210） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術,法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 自由ヶ丘キャンパス　２０３ | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ９月 |
| 講義概要 | 技術経営（MOT；Management of Technology）の最大の目的は，技術・製品に関するマネジメントの視点から，製造企業における長期的な付加価値創造の最大化を実現することである。日本の製造業は，20 世紀の後半に主要産業として国際的な競争力を高めていった。しかしながら，近年，新しい市場・競争環境の中で，きちんとした利益をあげるためには，ものづくりにも，高度に戦略的な考え方やマネジメントが必要になってきた。日本では，ものづくりをうまくマネジメントできる人材は少なくないが，それを企業経営に結びつけることができる人材はそれほど育っていない。そこで本講義では，製造業の経営学である MOT（Management of Technology）を教育し，ものづくり立国日本で必要不可欠な製造企業でものづくりをうまくマネジメントできる人材を育てる。<br><br>1.　Introduction: 技術経営(MOT;Management of Tecnology)の全体像と講義の進め方などを説明する。受講を予定する者は第１回の講義に出席することを必須とする(原則として，第１回欠席者は受講を認めない）。<br>2. MOT の役割と視点について講述する。<br>3. 組織能力の役割を講述する。<br>4. 製品アーキテクチャについて講述する。<br>5. コア技術戦略について講述する。<br>6. プラットフォーム戦略について講述する。<br>7. イノベーションの理論と本質について講述する。<br>8. 中間試験(80 分)<br>9. 組織構造のデザインついて講述する。<br>10. 組織プロセスのマネジメントについて講述する。<br>11. プロジェクト知識のマネジメントについて講述する。<br>12.　顧客価値創造の事業システムについて講述する。<br>13. 事業システムのデザインとマネジメントを講述する。<br>14. 企業間ネットワークとマネジメントおよび付加価値創造のための組織能力構築に向けた MOT の実践を講述する。<br>15. まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】　『MOT[技術経営入門]』延岡健太郎（日本経済新聞出版社）<br>【参考書】特になし | | |
| 試験・評価方法 | 成績は，定期試験の結果に，出席率および課題提出率を加味して算出した総合得点で決定される。成績評価は S:100～90%，A:89～80%，B:79～70%，C:69～60%，F：59%～（不可，再試験は行わない）を目安とする。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 1. 出席は当たり前のことである。学習には予習・復習は必須なことで，予習・復習をしてこないとクラス討議に参加できなくなる。<br>2. この科目専用のノートを用意し，教科書とノートを持参し，質疑・応答・討論に積極的に参加すること。講義ノートに加え，予習・復習・自分やクラスメートの意見もノートする。 | | |

# コンピュータ会計

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知工業大学 | 科目コード | 291320 |
| 担当教員 | 岡崎　一浩（経営学部教授） | | |
| 学年配当 | ３年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　水曜日：３時限（1300～1430） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 自由ヶ丘キャンパス　２０２ | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ９月 |
| 講義概要 | コンピュータ会計の原理を、伝統的なマニュアル式簿記や伝票式簿記と比較して、その特色を理解し、その特色に従って、弥生会計ソフトに即した処理方法を学ぶ。さらに情報処理言語としての会計について概要を知り、データベースの取り扱いに慣れる。<br><br>1. コンピュータ会計の基本・設定<br>2. コンピュータ会計の仕訳（1）<br>3. コンピュータ会計の仕訳（2）<br>4. コンピュータ会計の簡易操作（１）<br>5. コンピュータ会計の簡易操作（2）<br>6. 特殊仕訳帳からの入力<br>7. 消費税の計算・申告<br>8. 仕訳辞書登録（1）<br>9. 仕訳辞書登録（2）<br>10. 資金繰り<br>11. 元帳との照合・損益分岐点分析<br>12. キャッシュ・フロー計算書の操作<br>13. 固定資産台帳の操作<br>14. 月次と年次の決算<br>15. その他の機能の習得 | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】 実教出版「28 年度コンピュータ会計・基本・問題集」<br>【参考書】特になし | | |
| 試験・評価方法 | 期末試験 100% | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 1. 実習の要素が大きい講義になる。パソコンを持参。<br>2. コンピュータ会計の方が伝統的なマニュアル会計よりは分かり易いので、むしろ会計嫌いだった学生にチャレンジして欲しい。<br>3. 1 回目までにＤＶＤが読めることなどを確認しておく。<br>4. 欠席すると分からなくなります。必ず友人などに聞いて、フォローアップしておくこと<br>5. デモの補助が当たった場合は、必ず引き受けること | | |

# ソフトコンピューティング

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知工業大学 | 科目コード | 291321 |
| 担当教員 | 塚田　敏彦（情報科学部教授） | | |
| 学年配当 | ３年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　金曜：４時限（1440～1610）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | 八草キャンパス　４号館Ｋ４０４ | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ９月 |
| 講義概要 | 世の中の不確実性がある事象を対象としたシステム設計の手法として、生物に学ぶ最適化技法の概念と基本原理を学習する。具体的には、ニューラルネットワーク、遺伝的アルゴリズム、強化学習、ファジイ集合を取り上げ、プログラム演習を交えてそれらの原理を深く学習する。<br><br>1. 手続き型情報処理と非手続き型情報処理<br>2. 知識ベースシステムとその例<br>3. ニューラルネットワーク<br>4. 形式ニューロンと基本論理回路<br>5. 線形分離不可能な問題とその処理<br>6. 多層パーセプトロンの仕組みと動作<br>7. 多層パーセプトロンの応用<br>8. その他のニューラルネットワーク<br>9. 遺伝的アルゴリズム（GA)と遺伝的操作<br>10. 遺伝的アルゴリズム（GA）の動作例<br>11. 強化学習の基本概念<br>12. 強化学習の応用<br>13. ファジイ集合の基礎<br>14. ファジイ集合の応用<br>15. 補遺 | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】教科書は特に使用しない。<br>【参考書】　① 吉田紀彦：「やわらかい情報処理」、サイエンス社（2003）　【本書は絶版につき図書館等で参照】　② 馬場則夫ほか：「ソフトコンピューティングの基礎と応用」、共立出版（2012）【入手可能】 | | |
| 試験・評価方法 | 出席日数の条件および課題提出の条件を満たした者に対し、試験により評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 新しく急速な進歩を遂げた学問分野であり、今後さらなる発展も期待される。将来にまで通用する知識とすべく本質の理解に努めてもらいたい。 | | |

# 美学芸術論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知産業大学 | 科目コード | 291401 |
| 担当教員 | 杉山　奈生子（造形学研究科准教授） | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　月曜日：2 限（1110～1240） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | 2501 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 芸術作品や製品を取り巻くさまざまな存在（制作者、生産者、注文主、鑑賞者、消費者、批評家など）に着目しながら、美術に関わるいくつかの問題を提起します。先人たちが「芸術」や「美」について思考し、いかなる状況で制作し、それらの作品をいかに享受したのか？　これらの問いに耳を傾け、自らの感性的な考察につながるような、興味深いテーマを毎回取り上げていきます。<br>具体的な内容は以下の通りです。<br>1. 授業の概要<br>2. テクストとイメージ①<br>3. テクストとイメージ②<br>4. イメージの中のイメージ①<br>5. イメージの中のイメージ②<br>6. パラゴーネ<br>7. 詩画比較論<br>8. パレルゴン<br>9. 注文主と制作者<br>10. 美術愛好家とコレクション<br>11. 美術館と展覧会<br>12. 芸術の公衆化<br>13. オリジナルとコピー<br>14. イコノクラスム<br>15. 定期試験<br>16. まとめ、振り返り | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書：レジュメ配布。<br>参考文献：『西洋美学史』小田部胤久、東京大学出版会<br>『西洋美術研究』『西洋美術研究』編集委員会（編）、三元社 | | |
| 試験・評価方法 | 学習過程評価と学習成果評価（レポート）によって評価します。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 特になし | | |

# ファイナンシャル・プランニングⅠ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知産業大学 | 科目コード | 291402 |
| 担当教員 | 奥田真之（経営学部教授） | | |
| 学年配当 | ３年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　月曜日：３限（1340～1510） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 1201 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 生涯を通じて、「お金を自分の味方につけられる」ようにしましょう。<br>そのために、自らのライフプランに応じた最適な選択を行うのに必要なパーソナル・ファイナンスの知識を習得し、他の人にもアドバイスできる基本的な知識を身につけることを目的とします。<br>この科目では特にライフプランニング、社会保険、リスク管理の分野を学習します。<br>具体的な内容は、以下の通りです。<br>1.ガイダンス、ライフプランニングとは何か<br>2.教育資金プランニング、ローンとカード<br>3.住宅取得プランニング<br>4.リタイアメントプランニング<br>5.社会保険：医療保険、介護保険、労働保険<br>6.公的年金<br>7.企業年金<br>8.個人事業主や中小法人の資金計画<br>9.リスクマネジメントの基礎と保険制度<br>10.生命保険<br>11.損害保険<br>12.第３分野の保険<br>13.法人の生命保険と損害保険<br>14.保険と税金<br>15.定期試験<br>16.まとめ、振り返り | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書:『ファイナンシャル・プランニング入門（第４版）』<br>日本ファイナンシャル・プランナー協会編、日本 FP 協会 | | |
| 試験・評価方法 | 学習過程評価（５割）と学習成果評価（筆記試験、５割）で評価します。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 特になし | | |

# 建築構法学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知産業大学 | 科目コード | 291403 |
| 担当教員 | 小椋　紀行（造形学部准教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　木曜日：1 限（930～1100） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | 4401 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 建築構法とは、建築物の各部位の構成方法、つまり建築物の各部がどのようになっているのかを示すものです。本講義では、「建築構法とは何か」をスタートとして、建築物の各種構造（木質構造・鋼構造・鉄筋コンクリート造構造・その他の構造）の「ことば（専門用語）」を知り、作図を通じて各種の建築構法の基礎を学び、「建築物のありよう」についての理解を深めます。<br>具体的な内容は以下の通りです。<br>1. 科目ガイダンス、建築構法の概要<br>2. 基礎構造<br>3. 木質構造の構法（1）　木材の特性、接合（仕口、継ぎ手）<br>4. 木質構造の構法（2）　軸組構法のしくみ<br>5. 木質構造の構法（3）　壁式構法のしくみ<br>6. 木質構造の構法（4）　その他の木質構法のしくみ<br>7. 鋼構造の構法（1）　鋼構造の分類と材料の特性<br>8. 鋼構造の構法（2）　軸組式構法のしくみ<br>9. 鋼構造の構法（3）　トラス構法のしくみ<br>10. 鉄筋コンクリート構造の構法（1）　鉄筋コンクリートの原理およびコンクリートと鉄筋の特性<br>11. 鉄筋コンクリート構造の構法（2）　ラーメン構法のしくみ<br>12. 鉄筋コンクリート構造の構法（3）　その他の構法のしくみ<br>13. その他の構造の構法<br>14. 各部の構造、建具<br>15. 定期試験<br>16. まとめ、振り返り | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書：『世界で一番やさしい　建築構法』大野隆司、エクスナレッジ | | |
| 試験・評価方法 | 学習過程評価と学習成果評価（筆記）で評価します。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 特になし | | |

# 建築意匠学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知産業大学 | 科目コード | 291404 |
| 担当教員 | 新井　勇治（造形学部教授） | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　水曜日：2 限（1110～1240） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | 3101 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 9 月 |
| 講義概要 | 西欧や日本での有名建築家が手掛けた建築作品において、建築のプロポーション、構成、配置、バランス、そしてインテリアなどを理解しながら、実践的な設計や計画への手がかりを示していきます。また、建築単体の理解ばかりでなく、建築が集まってできる都市や集落が造り出すまち並みや、都市のデザインなどについても学んでいきます。<br>特に、近世・近代・現代を中心に、建築家が設計した作品の中から、その形態やデザイン性、意匠などについて勉強していきます。また、それらに関連する宗教建築や都市施設などについてプロポーションやデザイン性を学んでいきます。<br>具体的な内容は以下のとおりです。<br>1. 寸法、構成について<br>2. ル・コルビュジェの意匠<br>3. フランク・ロイド・ライトの意匠<br>4. アントニオ・ガウディの建築意匠<br>5. ジョサイア・コンドルの意匠<br>6. アントニン・レーモンドの意匠<br>7. 吉村順三の意匠<br>8. 谷口吉郎と谷口吉生の意匠<br>9. 丹下健三の意匠<br>10. 安藤忠雄の意匠<br>11. 伊東豊雄の意匠<br>12. 隈研吾の意匠<br>13. 妹島和世と西沢立衛の意匠<br>14. 宮崎駿の作品にみる建築・都市の意匠<br>15. 定期試験（レポート）<br>16. まとめ、振り返り | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書：適宜プリント配布<br>参考書：『コンパクト版建築の歴史（日本・西洋）』「建築史」編集委員会編著、彰国社<br>『イスラーム世界の生活空間』新井勇治他、法政大学出版局<br>『日本建築みどころ事典』中川武、東京堂出版 | | |
| 試験・評価方法 | 学習過程評価と学習成果評価（レポート）で評価します。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 特になし | | |

# ファイナンシャル・プランニングⅡ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知産業大学 | 科目コード | 291405 |
| 担当教員 | 奥田真之（経営学部教授） | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　火曜：1 限（930～1100）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 1201 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 9 月 |
| 講義概要 | 生涯を通じて、「お金を自分の味方につけられる」ようにしましょう。<br>そのために、自らのライフプランに応じた最適な選択を行うのに必要なパーソナル・ファイナンスの知識を習得し、他の人にもアドバイスできる基本的な知識を身につけることを目的とします。<br>この科目では特に金融資産運用、タックスプランニングの分野を学習します。<br>具体的な内容は、以下の通りです。<br>1.ガイダンス、経済・金融の基礎知識<br>2.預貯金<br>3.債券<br>4.株式<br>5.投資信託<br>6.外貨建て金融商品、その他の金融商品<br>7.金融商品と法律<br>8.所得税の基礎知識<br>9.各種所得の計算：利子所得、配当所得、不動産所得、事業所得<br>10.各種所得の計算：給与所得、退職所得、山林所得、譲渡所得その他<br>11.課税標準の計算<br>12.課税所得金額の計算<br>13.税額算出と税額控除、源泉徴収制度、個人住民税<br>14.消費税、法人税<br>15.定期試験<br>16.まとめ、振り返り | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書:『ファイナンシャル・プランニング入門（第４版）』<br>日本ファイナンシャル・プランナー協会編、日本 FP 協会 | | |
| 試験・評価方法 | 学習過程評価（５割）と学習成果評価（筆記試験、５割）で評価します。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 特になし | | |

# 環境工学Ⅱ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知産業大学 | 科目コード | 291406 |
| 担当教員 | 宇野　勇治（造形学部准教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　金曜日：1 限（930～1100） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | 4401 教室、3304 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 9 月 |
| 講義概要 | 快適な生活空間を形成する上で日照の確保は欠かせません。冬季の日射活用や夏季の日射遮蔽はサスティナブルデザインにつながる手法でもあります。また、音響や騒音防止に関する基礎知識や安全な空気質を確保するための換気計算手法なども修得します。さらに、ここまでに学んだ環境を表現したりコントロールするための知識をふまえ、地球環境や都市環境に配慮した建築を考えてゆく上で求められるデザイン手法についても講述します。<br>具体的な内容は以下の通りです。<br>1. 日射と日影（1）日差しと日影<br>2. 日射と日影（2）太陽位置と日影<br>3. 日射と日影（3）日影曲線<br>4. 日射と日影（4）日射のコントロール・日影規制<br>5. 音環境（1）音の伝わり方/表現方法<br>6. 音環境（2）騒音とは / 騒音対策<br>7. 音環境（3）音響計画<br>8. 換気と通風（1）空気質<br>9. 換気と通風（2）必要換気量<br>10. 環境デザイン（1）地球環境問題<br>11. 環境デザイン（2）都市における環境問題<br>12. 環境デザイン（3）気候風土とサスティナブルデザイン<br>13. 環境デザイン（4）環境性能の評価手法<br>14. 環境デザイン（5）パッシブデザインとアクティブデザイン<br>15. 定期試験<br>16. まとめ、振り返り | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書：『やさしい建築環境』辻原万規彦監修、（学芸出版社）<br>参考書：『建築環境工学 -環境のとらえ方とつくり方を学ぶ』堀越哲美ほか、（学芸出版社）<br>『省エネ・エコ住宅設計究極マニュアル 増補改訂版』野池政宏、（エクスナレッジ） | | |
| 試験・評価方法 | 学習過程評価と学習成果評価（レポート）で評価します。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 特になし | | |

# 東アジアの生活と文化

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知淑徳大学 | 科目コード | 291501 |
| 担当教員 | 楊　衛平 | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　月曜：1 限（930～1100）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | 長久手キャンパス 7 号棟 2 階 721 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【授業の概要】<br>日本は東アジアに位置し、歴史的・文化的にも東アジアの影響を強く受けている。中では日本と一番関係の深い中国を中心にその生活や文化について講義する。<br><br>【授業の目標】<br>中国の多民族の構成からそれぞれの生活・民俗・風習を中心に取り上げ、中国の歴史・宗教・食・医学・音楽などについての認識を深め、伝統的な中国文化を理解していくことを目標とする。<br><br>【授業計画】<br>第 1 回　中国の行政概況<br>第 2 回　少数民族の構成<br>第 3 回　漢字の歴史変遷<br>第 4 回　儒道仏教の接点<br>第 5 回　古来の暦と節分<br>第 6 回　伝統の年中行事<br>第 7 回　多元的な食文化<br>第 8 回　東西医学の相違<br>第 9 回　気文化と気功術<br>第 10 回　酒茶の歴史文化<br>第 11 回　伝統武術と雑技<br>第 12 回　少数民族の音楽<br>第 13 回　中国人の百家姓<br>第 14 回　中国人の考え方<br>第 15 回　中国の名勝古跡<br><br>【授業外学習の指示】<br>中国の歴史知識と現代社会の関連情報に関心を持って調べてみましょう。 | | |
| テキスト・参考文献 | 【テキスト】<br>関連資料の配布を行う予定です。<br><br>【参考文献・資料】<br>中国人・文字・暮らし（李順然　東方書店）<br>中国仏・道・儒教史話（劉克蘇　河北大学出版社）<br>中国伝統文化導論　（劉栄興　河北大学出版社）<br>中国視聴数字図書館　（北京芸術科学電子出版社）<br>符号中国(中医学)　(楽林著 当代中国出版社) | | |
| 試験・評価方法 | 授業の参加態度 40%、討論の質疑応答 20%、指定の各レポートの提出 40%を総合的に評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 映像文化

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知淑徳大学 | 科目コード | 291502 |
| 担当教員 | 伏木　啓 | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　月曜：5 限（1650～1820）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | 長久手キャンパス 8 号棟 1 階 815 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【授業の概要】<br>現代芸術としての映画の意味と意義を概説し、映画の歴史についてもふれ、名作を鑑賞する。<br>本講義では、撮影技術や演出方法、作品の背景といった映画に関する基本的な知識について解説し、それらを指標としながら実際に映画を鑑賞する。また、受講生に毎回書いてもらうミニ・レポートとともに、作品を分析し、読み解いていく。<br>多くの受講生にとっては「古い」映画、「見慣れない」映画にも数多く触れることになるため、様々な映画と積極的に関わろうとする意欲的な学生の受講を歓迎する。<br><br>【授業の目標】<br>19 世紀から現在までの映像文化の変遷と多様化を背景に、映画が、それぞれの時代の何を表象し、どのような役割を担ってきたのか、実際の鑑賞体験を通して考える機会とする。そのうえで、映画・映像を、多様な視点で観る方法を知り、豊かに感受する力を身につける。<br><br>【授業計画】<br>第 1回　イントロダクション　?映像の魅力とは<br>第 2回　絵画／写真／映画　?視覚文化としての映画<br>第 3回　映像理論1：記号論<br>第 4回　実践①　映像を読むことの楽しさを知る<br>第 5回　実践②　映像を読むことの楽しさを知る<br>第 6回　実践③　映像を読むことの楽しさを知る<br>第 7回　実践④　映像を読むことの楽しさを知る<br>第 8回　映像理論2：第三の意味, 痕跡としての映像（インデックス）<br>第 9回　実践①　映像を豊かに観ることを試みる<br>第 10回　実践②　映像を豊かに観ることを試みる<br>第 11回　実践③　映像を豊かに観ることを試みる<br>第 12回　実践④　映像を豊かに観ることを試みる<br>第 13回　多様化する映像文化1<br>第 14回　多様化する映像文化2<br>第 15回　総括<br><br>【授業外学習の指示】<br>授業内では、様々な映像作品を視聴する。なかには「わからない」「難しい」と感じる作品もあるかもしれない。しかし、そのような作品との出会いは、他者との出会い同様、自身の世界を広げる機会にもなる。「わからない」「難しい」と切り捨ててしまうのではなく、より深く知るために、映画館、マルチメディアリソース室、ビデオレンタルショップ、インターネットなどを活用し、授業内で紹介した作家や作品に関連する作品を、鑑賞する機会を持つようにして欲しい。 | | |
| テキスト・参考文献 | 【テキスト】<br>使用しない。必要に応じプリントの配布や参考文献を紹介する。<br><br>【参考文献・資料】<br>「第三の意味」ロラン・バルト著・沢崎浩平訳（みすず書房）<br>「アンチ・スペクタクル-沸騰する映像文化の考古学」トム・ガニング,ジョナサン・クレイリーほか著・長谷正人,中村秀之ほか編訳（東京大学出版会） | | |

| | |
|---|---|
| 試験・評価方法 | 授業内で実施するミニレポートと、学期末のレポート試験の総合評価。 |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | |

# 入門文化人類学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知淑徳大学 | 科目コード | 291503 |
| 担当教員 | 藤井　真湖 | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　金曜：2 限（1110～1240）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | 星が丘キャンパス 1 号棟 5 階 15A 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【授業の概要】<br>文化人類学は、今日までその対象を拡張し続けてきたといえます。本講義では、過去 15 年に文化人類学の分野で用いられることが増えてきた最近のトピックを網羅したテキストを用いながら、そのなかでも特に重要な事項を幾つかとりあげて論じます。<br><br>【授業の目標】<br>文化人類学における重要な知見や歴史を知ることを目標とします。<br><br>【授業計画】<br>第 1 回　セクシュアリティーとジェンダー<br>第 2 回　観光人類学<br>第 3 回　医療人類学<br>第 4 回　宗教人類学<br>第 5 回　資源人類学<br>第 6 回　民族誌<br>第 7 回　新しいジャンル<br>第 8 回　人種論<br>第 9 回　進化論<br>第 10 回　機能主義<br>第 11 回　構造主義<br>第 12 回　構造主義以降<br>第 13 回　オリエンタリズムと文化帝国主義<br>第 14 回　先住民<br>第 15 回　まとめ―授業全体を振り返って―<br><br>【授業外学習の指示】<br>一見、常識とは異なる学習内容なので、復習が必要です。 | | |
| テキスト・参考文献 | 【テキスト】<br>適宜配布します。<br><br>【参考文献・資料】<br>山下晋司・船曳 建夫編『文化人類学キーワード 改訂版 』有斐閣双書　2008 年<br>門田岳久『巡礼ツーリズムの民族誌―消費される宗教経験』森活社　2013 年<br>竹沢尚一郎『人類学的思考の歴史』世界思想社　2007 年<br>山下晋司編『文化人類学入門―古典と現代をつなぐ 20 のモデル』弘文堂<br>山下晋司［責任編集］『資源化する文化』資源人類学 02（総合編集　内堀基光）弘文堂<br>稲村務『祖先と資源の民族誌』株式会社メコン,2016 年 | | |
| 試験・評価方法 | 毎回出してもらうミニ・レポートおよび期末試験で判断します。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記 | | | |

| 事項 | |
| --- | --- |

# スポーツと文化

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知淑徳大学 | 科目コード | 291504 |
| 担当教員 | 門間　博 | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　金曜：1 限（930～1100）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | スポーツ・健康・医療 | | |
| 教室 | 長久手キャンパス 8 号棟 2 階 825 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 【授業の概要】<br>スポーツが文化であることを歴史的社会的事実から論証し，スポーツの生成，発展，衰退に関する諸要因について考え，現代社会における「人間性復権」について展望する.<br><br>【授業の目標】<br>スポーツが文化であることを論証し，スポーツの生成，発展，衰退に関する諸要因について考え，現代社会における「人間性復権」について展望する.<br><br>【授業計画】<br>第 1 回　導入，授業の全体について<br>第 2 回　スポーツとは何か（スポーツの起源とその歴史）<br>第 3 回　スポーツの魅力<br>第 4 回　スポーツの魅力<br>第 5 回　スポーツとメディア<br>第 6 回　スポーツとメディア<br>第 7 回　スポーツと商業主義<br>第 8 回　スポーツと商業主義<br>第 9 回　スポーツと政治・経済<br>第 10 回　スポーツと政治・経済<br>第 11 回　スポーツと教育<br>第 12 回　スポーツと教育<br>第 13 回　スポーツと倫理<br>第 14 回　スポーツと倫理<br>第 15 回　まとめ<br><br>【授業外学習の指示】<br>指示をした，次回の授業内容について理解しておくこと. | | |
| テキスト・参考文献 | 【テキスト】<br>使用せず.<br>必要に応じて参考資料を配付し，参考書籍を指示する.<br><br>【参考文献・資料】<br>必要に応じて，資料を配布する. | | |
| 試験・評価方法 | 授業への学習意欲・レポート・単位認定試験によって総合的に評価する. | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# ジェンダーと社会

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知淑徳大学 | 科目コード | 291505 |
| 担当教員 | 中島　美幸 | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　木曜：3 限（1330～1500）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 星が丘キャンパス 1 号棟 3 階 13B 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 【授業の概要】<br>人はその誕生から死まで、社会生活を営むさまざまな場面において、ジェンダーと深く関わりを持って生活している。本講義では、絵本、文学作品、映画などを手がかりにして、歴史的、社会的、心理学的視点からジェンダーと社会のつながりを理解し、自由で多様な生き方のできる社会を探る。<br><br>【授業の目標】<br>「表現」を分析する能力を高めることで、社会の身近なところにさまざまなジェンダー問題が存在することに気づき、自らの生き方を考える機会とする。<br><br>【授業計画】<br>第 1 回　講義概要説明／現在の日本社会<br>第 2 回　〈映画〉とジェンダー<br>第 3 回　〈メディア〉とジェンダー<br>第 4 回　〈ことば〉とジェンダー<br>第 5 回　表現する女性の困難①――イギリス小説誕生の背景<br>第 6 回　表現する女性の困難②――平安女性作家誕生の背景<br>第 7 回　表現する女性の困難③――樋口一葉の挑戦<br>第 8 回　表現する女性の困難④――『青鞜』の女性たち<br>第 9 回　男性作家のジェンダー<br>第 10 回　幼い頃に出会った物語「シンデレラ」<br>第 11 回　ジェンダー・センシティブな絵本<br>第 12 回　教科書のなかのジェンダー<br>第 13 回　〈娘〉の表現――恋愛と自立と<br>第 14 回　〈母〉の表現――母性神話を問う<br>第 15 回　〈家族像〉を描きなおす<br><br>【授業外学習の指示】<br>日常の中で出会うさまざまな「表現」を、ジェンダーの視点で見直してみること。 | | |
| テキスト・参考文献 | 【テキスト】<br>なし。毎回プリントを配布する。<br><br>【参考文献・資料】<br>講義の中でその都度紹介する。 | | |
| 試験・評価方法 | 学期末テストの得点(90%)と、毎回提出のリアクションペーパー(10%)の総合計で評価する。テストは、毎回配布のプリントと自作ノートの持ち込み可。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 地域観光論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知東邦大学 | 科目コード | 291701 |
| 担当教員 | 宮本 佳範（経営学部純教授） | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　水曜日：1 限（900～1030） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 社会・マスコミ・情報 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | 3 年生以上の履修が望ましい。 | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 現在日本は、“観光立国”に取り組んでいます。特に少子高齢化により定住人口が減少する地方では、観光は地域振興の切り札として期待されています。観光立国を実現するには、日本として、地域として新しい魅力を創造し、アピールしていくことが必要となります。そこで、本講義では、観光振興に向けた日本各地の取り組み事例を幅広く紹介するとともに、これからの観光振興の在り方を考えていきます。詳しくは初回のガイダンス時に説明するので“必ず”出席すること。<br><br>1.本講義で何を学ぶのか、概要を説明する。<br>2.なぜ、今観光に熱い視線が注がれているのか、その理由を解説する。<br>3.日本の観光の現状を世界の中で位置付け、説明する。<br>4.地域が観光振興のメリット、可能性などについて解説する。<br>5.温泉観光地で行われている新しい取り組みの事例を紹介する。<br>6.温泉観光地で行われている新しい取り組みの事例を紹介する。<br>7.歴史的町並みを生かした街づくりの事例などを紹介する。<br>8.今、世界から注目されているアニメなどを生かした取り組みを紹介する。<br>9.今、世界から注目されているアニメなどを生かした取り組みを紹介する。<br>10.農村の活性化につながる可能性を秘めたグリーンツーリズムについて解説します。<br>11.ゆるキャラは今や観光資源の一つになるくらい人気です。その成功事例を学びます。<br>12.受講生による発表のための準備をします。<br>13.受講生に観光振興の事例を発表してもらいます。<br>14.受講生に観光振興の事例を発表してもらいます。<br>15.地域と観光振興の意義について全体をふりかえりつつまとめます。 | | |
| テキスト・参考文献 | テキスト：特になし<br>参考文献：佐々木一成『観光振興と魅力あるまちづくり』学芸出版社 | | |
| 試験・評価方法 | 60%(レポート)、40%(授業への参加・貢献度) | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 事前・事後学習：発表するときのために、日常的に観光や地域振興に関する新聞記事などをチェックしておく。 | | |

# 発達心理学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知東邦大学 | 科目コード | 291702 |
| 担当教員 | 橘　廣（人間学部教授） | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　火曜日：５限（1620～1750） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | ２年生以上の履修が望ましい。 | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 社会に適応し、能力を最大限に生かし、生き生きと生活する方法を検討するためには、生涯を見通した広い視野が必要である。この授業では、生涯発達心理学について、胎児期から老年期までの各発達段階の新しい知見や理論を紹介しながら、各発達段階の特徴とその関連性を考察していく。講義では、胎児期から幼児期の発達を基盤とし、脳の発達および活性化、社会適応、虐待、発達障害、自我同一性の発達、心理的危機などを学習する。発達に影響を与える諸要因を理解し、発達をサポートするために必要な事柄の把握を目的とする。以上の内容を講義形式で行う。<br><br>1.生涯発達心理学の考え方、その研究法、授業の方針と全体の流れを理解する。<br>2.胎児期のさまざまな能力、胎児へのタバコやアルコールの影響を知り、理解を深める。また出生時から医療を必要とする新生児の増加について考える。<br>3.ピアジェの発達理論を理解する。急激な脳の発達がみられる乳幼児期における親子のコミュニケーションの重要性について理解を深める。<br>4.乳幼児期の諸発達を促す遊び、特に脳の前頭前野の機能を活性化する遊びについて理解を深め、その遊びを体験する。<br>5.発達障害など障害のある子どもたちの理解と支援を考える。<br>6.虐待を受けると子どもにどのような影響があるのか、脳への影響や心身の発達遅滞を知り、理解を深める。<br>7.メタ認知能力の発達について理解を深める。<br>8.児童期の諸問題、特に学校への適応、劣等感、いじめ、テレビの影響などについて考える。<br>9.エリクソンの発達理論について理解し、特に青年期の課題である自我同一性の獲得について考える。<br>10.青年期の諸問題、特に孤立や社会参加の遅延などについて調査結果より考える。<br>11.配偶者の選択と結婚、家族の機能、家族関係の諸問題、「遠ざかる結婚」現象などについて考える。<br>12.親の養育態度と子どもの性格形成、子育ての楽しさとつらさ、仕事と育児の両立などを考える。<br>13.ストレスと不適応、過剰適応、マズローの欲求の階層説などを理解する。<br>14.中年期から老年期の諸問題、特に自我同一性の再確立、空の巣症候群、自殺、高齢者の犯罪などについて考える。<br>15.本講義のまとめを行う。また理解度のチェックのための試験を行う。 | | |
| テキスト・参考文献 | テキスト：適時資料を配布する。<br>参考文献：無藤隆他編『よくわかる発達心理学』ミネルヴァ書房、内田伸子編『よくわかる乳幼児心理学』ミネルヴァ書房 | | |
| 試験・評価方法 | 60%（筆記試験）、40%（毎回授業時の小テストを含む提出物、授業態度） | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 事前・事後学習：毎回の授業時に前回学習した重要な事柄について小テストを行うので、事前・事後学習をしてよく理解しておいてほしい。ニュース記事などを通して、胎児期から老年期までの各発達段階に抱えやすい心理的な問題に関心をもつ努力をしてほしい。 | | |

# 発達心理学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知東邦大学 | 科目コード | 291703 |
| 担当教員 | 橘　廣（人間学部教授） | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　木曜日：５限（1620～1750） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | ２年生以上の履修が望ましい。 | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 社会に適応し、能力を最大限に生かし、生き生きと生活する方法を検討するためには、生涯を見通した広い視野が必要である。この授業では、生涯発達心理学について、胎児期から老年期までの各発達段階の新しい知見や理論を紹介しながら、各発達段階の特徴とその関連性を考察していく。講義では、胎児期から幼児期の発達を基盤とし、脳の発達および活性化、社会適応、虐待、発達障害、自我同一性の発達、心理的危機などを学習する。発達に影響を与える諸要因を理解し、発達をサポートするために必要な事柄の把握を目的とする。以上の内容を講義形式で行う。<br><br>1.生涯発達心理学の考え方、その研究法、授業の方針と全体の流れを理解する。<br>2.胎児期のさまざまな能力、胎児へのタバコやアルコールの影響を知り、理解を深める。また出生時から医療を必要とする新生児の増加について考える。<br>3.ピアジェの発達理論を理解する。急激な脳の発達がみられる乳幼児期における親子のコミュニケーションの重要性について理解を深める。<br>4.乳幼児期の諸発達を促す遊び、特に脳の前頭前野の機能を活性化する遊びについて理解を深め、その遊びを体験する。<br>5.発達障害など障害のある子どもたちの理解と支援を考える。<br>6.虐待を受けると子どもにどのような影響があるのか、脳への影響や心身の発達遅滞を知り、理解を深める。<br>7.メタ認知能力の発達について理解を深める。<br>8.児童期の諸問題、特に学校への適応、劣等感、いじめ、テレビの影響などについて考える。<br>9.エリクソンの発達理論について理解し、特に青年期の課題である自我同一性の獲得について考える。<br>10.青年期の諸問題、特に孤立や社会参加の遅延などについて調査結果より考える。<br>11.配偶者の選択と結婚、家族の機能、家族関係の諸問題、「遠ざかる結婚」現象などについて考える。<br>12.親の養育態度と子どもの性格形成、子育ての楽しさとつらさ、仕事と育児の両立などを考える。<br>13.ストレスと不適応、過剰適応、マズローの欲求の階層説などを理解する。<br>14.中年期から老年期の諸問題、特に自我同一性の再確立、空の巣症候群、自殺、高齢者の犯罪などについて考える。<br>15.本講義のまとめを行う。また理解度のチェックのための試験を行う。 | | |
| テキスト・参考文献 | テキスト：適時資料を配布する。<br>参考文献：無藤隆他編『よくわかる発達心理学』ミネルヴァ書房、内田伸子編『よくわかる乳幼児心理学』ミネルヴァ書房 | | |
| 試験・評価方法 | 60%（筆記試験）、40%（毎回授業時の小テストを含む提出物、授業態度） | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 事前・事後学習：毎回の授業時に前回学習した重要な事柄について小テストを行うので、事前・事後学習をしてよく理解しておいてほしい。ニュース記事などを通して、胎児期から老年期までの各発達段階に抱えやすい心理的な問題に関心をもつ努力をしてほしい。 | | |

# 学習心理学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知東邦大学 | 科目コード | 291704 |
| 担当教員 | 橘　廣（人間学部教授） | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　月曜日：５限（1620～1750） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | ２年生以上の履修が望ましい。 | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 心理学では、経験によって生じる比較的永続的な行動や知識、態度、考え方などの変化を「学習」と呼んでいる。人間は日常生活の中で絶えず学習をしており、学習のメカニズムを知ることは人間を理解するうえで重要である。この授業では、人や動物の学習行動の基本的なメカニズムを中心に、記憶に関する基本事項、動機づけなどを概説する。情報処理のメカニズムについて理解し、自らの効果的な学習への応用や、学習をサポートするうえで学習指導に応用できることを目的とする。以上の内容を講義形式で行う。<br><br>1.授業の方針と全体の流れを理解する。「学習」の定義について理解し、日常生活での学習、失敗から学習することの意義について考える。<br>2.連合理論から、パブロフの古典的条件づけについて知り、日常生活での例を考える。<br>3.連合理論から、スキナーのオペラント条件づけとプログラム学習について知り、日常生活での例を考える。<br>4.連合理論のソーンダイクの試行錯誤説について理解する。認知理論のケーラーの洞察説について理解する。<br>5.認知理論から、トールマンのサイン・ゲシュタルト説、レヴィンの場の理論を知る。また認知理論の学習指導法であるブルーナーの発見学習を理解する。<br>6.連合理論と認知理論の内容を確認し、その違いを理解する。<br>7.伝統的な学習理論とは異なるバンデューラの社会的学習理論を知り、観察学習を理解する。<br>8.外発的動機づけと内発的動機づけの違いを知り、長期的な動機づけや効果的な学習について理解を深める。<br>9.日常生活の中で行動の結果の原因をどこに求めるか、成功と失敗の原因帰属に関する理論を知り、動機づけを高める方法を考える。<br>10.記憶のメカニズムを知ることで、より効率のよい学習や記憶法について理解を深める。<br>11.創造性とは何か、また集団での創造性開発技法であるブレインストーミングや KJ 法について理解を深める。<br>12.運動技能の学習についての三段階説などを知り、自ら現場で応用できるように理解を深める。<br>13.心身の障がいと学習、その中でも特に学習障害について理解を深める。<br>14.さまざまな学習理論のまとめを行い、教育現場で応用できるよう確認する。<br>15.本講義のまとめを行う。また理解度のチェックのための試験を行う。 | | |
| テキスト・参考文献 | テキスト：適時資料を配布する。<br>参考文献：授業の中で適宜紹介する。 | | |
| 試験・評価方法 | 60%（筆記試験）、40%（毎回授業時の小テストを含む提出物、授業態度） | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 事前・事後学習：学習心理学では重要な心理学用語が多いので事後学習をし、よく理解しておいてほしい。毎回の授業時に前回学習した重要な心理学用語について小テストを行う。また学習心理学で扱う内容は、教員採用試験でもよく出題されるので、教員を目指す者は授業内容に関連する教員採用試験の過去問題を十分に学習しておいてほしい。 | | |

# 心理学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知文教大学 | 科目コード | 291801 |
| 担当教員 | 黒田　敏数　（人文学部講師） | | |
| 学年配当 | 未定 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜春期＞　水曜：３限（1310～1440）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | | | |
| 教室 | 302 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 本講義は心理学の入門レベルのコースであり、主要分野を取り上げながら「心理学とはどのような学問か？」を理解することを目的とする。具体的な内容は以下のとおり。<br>1.授業紹介・心理学とは？<br>2.臨床心理学<br>3.性格心理学<br>4.社会心理学（パート１）<br>5.社会心理学（パート２）<br>6.発達心理学（パート１）<br>7.発達心理学（パート２）<br>8.発達心理学（パート３）<br>9.心理査定（パート１）<br>10.心理査定（パート２）<br>11.認知心理学（パート１）<br>12.認知心理学（パート２）<br>13.行動・学習心理学（パート１）<br>14.行動・学習心理学（パート２）<br>15.心理学の歴史 | | |
| テキスト・参考文献 | 「心理学・入門 心理学はこんなに面白い」有斐閣アルマ　サトウ タツヤ、渡邊 芳之 （著） | | |
| 試験・評価方法 | 平常点，小テスト，試験成績の総合点で評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | ２週目以降，講義の開始時に毎回小テストを行う。 | | |

# 欧米の文化

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知文教大学 | 科目コード | 291802 |
| 担当教員 | 江口　直光　（人文学部教授） | | |
| 学年配当 | 未定 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜春期＞　火曜：４限（1450～1620）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | | | |
| 教室 | 国際交流会館 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 本講義「欧米の文化」では、ドイツ語圏の主要な都市に関連する文化的事象を取り上げ、当該地域の文化に関する基礎的な知識の習得と多角的な理解を目指す。ドイツ語圏を代表する複数の都市にかかわる代表的な文化的事象をテーマとし、社会的・精神史的背景に照らしてその特質を分析・考察する。授業計画は以下のとおり。<br>1. ガイダンスと導入<br>2～3. ミュンヒェン<br>4. ハンブルク<br>5. ケルン<br>6～7. ウィーン<br>8. チューリヒ<br>9～10.ライプツィヒ、ヴァイマル、ドレスデン<br>11. フランクフルト・アム・マイン<br>12. ニュルンベルク<br>13～14. ベルリン<br>15. まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | とくに指定せず、プリントを配布する。 | | |
| 試験・評価方法 | 期末試験（50%）、授業内に随時提出するリアクションペーパー（30%）、平常点（20%） | | |
| 別途必要な経費 | とくになし | | |
| その他特記事項 | とくになし | | |

# 映像文化論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知文教大学 | 科目コード | 291803 |
| 担当教員 | 江口　直光　（人文学部教授） | | |
| 学年配当 | 未定 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜秋期＞　水曜：４限（1450～1620）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | | | |
| 教室 | 国際交流会館 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | ９月 |
| 講義概要 | 本講義「映像文化論」は、音声付き映画（トーキー）が急速に普及した 1930 年頃のドイツ映画の代表的な作品を通じ、このジャンルの特質と社会的・精神史的背景を学ぶことを目的とする。無声映画（サイレント映画）から音声付き映画（トーキー）に切り替わった 1920 年代末から 1930 年代初めにドイツで制作・公開された音声付き映画をいくつか取り上げ、映像資料を視聴しながら、作品の社会的・精神史的背景、映像と音/音楽の関係などの諸側面を多角的に考察する。取り上げる作品は『嘆きの天使』（1930 年）、『M』（1931 年）、『三文オペラ』（1931 年）を中心とする。授業計画は以下のとおり。<br>1. ガイダンスと導入<br>2. 映画の成立から 1930 年頃までのドイツ映画の歴史<br>3. 無声映画（サイレント）から音声付き映画（トーキー）へ<br>4. 映画における音<br>5～7.『嘆きの天使』<br>8～10.『M』<br>11～13.『三文オペラ』<br>14. その他の初期ドイツ音声付き映画（トーキー）<br>15. まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | とくに指定せず、プリントを配布する。 | | |
| 試験・評価方法 | 期末試験（50%）、授業内に随時提出するリアクションペーパー（30%）、平常点（20%） | | |
| 別途必要な経費 | とくになし | | |
| その他特記事項 | とくになし | | |

# 心身健康論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知みずほ大学 | 科目コード | 291901 |
| 担当教員 | 佐藤　?造 | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 |
| 開講日程 | ＜前後期＞　木：1（900～1030） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | スポーツ・健康・医療,人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 一号館 302 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 【授業の概要】<br>・内容<br>以前の大学の共通教育では「保健講義」が必修となっていた。学生に対する共通健康教育の重要性には変わりなく、学生の皆様が卒業後も健康な生活を送っていただくためには、まず心身の健康に関する最新の知識を理解することが必要である。<br><br>・方法<br>講義前には予習を行い、レポート(ワープロで)を作成し、提出下さい。<br>講義中はスマホ厳禁。<br><br>【到達目標】<br>①健康の定義、身体と健康、全般について他人に説明できる。<br>②メンタルヘルスと睡眠の重要性について他人に説明できる。<br>③身体運動が糖尿病など生活習慣病の予防、治療に役立つことを他人に説明できる。<br>④「健康日本 21」、「健康日本 21」(第 2 次)について他人に説明できる。 | | |
| テキスト・参考文献 | 佐藤祐造(編著):テキスト健康科学改訂第 2 版(南江堂) | | |
| 試験・評価方法 | 出席状況(講義の際の質問を含む)、レポート提出と定期試験 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 【履修する上の留意点】<br>授業(講義)の初めに毎回、前回の講義の復習を行い、出席の確認を兼ねて質問します。前回のプリントは必ず持参下さい。「必修」です。必ず出席しましょう。 | | |

# 行動科学概論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知みずほ大学 | 科目コード | 291902 |
| 担当教員 | 安念　保昌 | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 |
| 開講日程 | ＜前期＞　火：3（1300～1430） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 一号館 404 教室 | | |
| 履修条件 | 心理学を学ぶか学生のみ | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【授業の概要】<br>・内容<br>心とはいったい何なのか、行動科学はその心をどの様に捉えようとしているのかを理解することが、この授業の目的である。行動科学は様々な近接領域から影響を受けて、多様な形をなし、まずはその歴史的起源に立ち戻って、基本を押さえる。さらに行動科学のそれぞれの領域で、行動や心をどの様に捉えてきたのかを、実習を交えて講義を行う。そのどの領域にも共通する、身体と行動と心の繋がりを理解する。<br><br>・方法<br>　1）行動科学・心理学の基本的なものの考え方を理解すること、2）それぞれの領域の中で、行動や心がどの様に捉えられているのか理解すること、3）毎回の内容に関する実習やデモンストレーションの意味を理解し、自分の身近な問題として捉えることができること、4）それを簡潔なレポートにまとめることができること。復習は、この簡潔なレポートを作成することにある。<br><br>【到達目標】<br>1）心理学の基本的なものの考え方を理解すること<br>2）それぞれの心理学の領域の中で、心がどの様に捉えられているのか理解すること<br>3）毎回の内容に関する実習やデモンストレーションの意味を理解し、グループワークに積極的に参加する<br>4）毎回の内容を自分の身近な問題として捉えることができ、それを簡潔な文章にまとめることができること | | |
| テキスト・参考文献 | なし。授業資料 PDF をサーバーに乗せるので、それを予習復習のときに参考にすること。 | | |
| 試験・評価方法 | 出席状況(講義の際の質問を含む)、レポート提出と定期試験 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 自学自習(予習)課題を自宅で学んでおき、ワークシートの一問題として出すので、そこにまとめる。予習として、授業資料 PDF をよく読み、心そのものについて、その存在が如何に不思議であるか改めて意識し直してみること。 | | |

# 健康栄養学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 愛知みずほ大学 | 科目コード | 291903 |
| 担当教員 | 土田　満 | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 |
| 開講日程 | ＜前期＞　火：1（900～1030） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | スポーツ・健康・医療,人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 一号館 301 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【授業の概要】<br>・内容<br>３大栄養素やからだの調子を整えるミネラル・ビタミンと健康の関係について、含有する食品や実際の生活のなかの事例、健康問題を取り上げながら基礎的な理解を深めていく。随時話題を提供する。<br><br>・方法<br>パワーポイントを用いて講義を行う。毎回プリントを配布して講義の要点を整理し、講義内容に関する課題をまとめて授業終了後に提出する。毎回、復習したことや予習したことの要点を質問して確認する<br><br>【到達目標】<br>①知識を習得する。<br>②自分自身や家族、また社会の問題として考えることができる。<br>③食と健康についてデスカッションすることができる。 | | |
| テキスト・参考文献 | 授業毎にプリントを配布します。 | | |
| 試験・評価方法 | 出席状況(講義の際の質問を含む)、レポート提出と定期試験 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | | | |

# 家族福祉

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 桜花学園大学 | 科目コード | 292001 |
| 担当教員 | 嶋守　さやか（保育学部） | | |
| 学年配当 | ４年 | 単位数 | １単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　木曜：４時限（1450～1620）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | ５号館 516 教室（予定） | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 家族の多様性や家族福祉における今日的な問題について、家族社会学の視点から考察する。また、現代の家族や家族福祉の理解に役立つ理論および家族療法の基礎理論および基本的な技法を学習する。必要に応じて映像資料の視聴、グループディスカッションなどを行い社会福祉的な視点からの家族支援の理解を深めていく。<br>1 授業オリエンテーション（授業目的、授業の進め方等についての説明）<br>2 家族福祉の定義とその機能<br>3 家族をとりまく社会的状況と家族関係（１）<br>4 家族をとりまく社会的状況と家族関係（２）<br>5 第１回　理解度評価および解説<br>6 家族福祉とは（１）： 家族福祉の定義・対象・重要概念の理解<br>7 家族福祉とは（２）：家族問題を理解するための基礎理論の理解<br>8 子どもと家族（１）：映像資料から理解する家族関係における病理現象①<br>9 子どもと家族（２）：映像資料から理解する家族関係における病理現象②<br>10 第２回　理解度評価および解説<br>11 家族支援の技法（１）：遊びリテーション<br>12 家族支援の技法（２）：回想法の実践<br>13 グループワークによる授業のまとめとふりかえり①<br>14 グループワークによる授業のまとめとふりかえり②（プレゼンテーション）<br>15 第３回　理解度評価および解説<br>16 なし | | |
| テキスト・参考文献 | 授業内で指示します。 | | |
| 試験・評価方法 | 評価は、理解度評価による 60%、グループワークの相互評価 30%、ミニコメントシート（毎授業後のまとめ）10%にて行います。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 授業テーマに即した参考文献については、適宜、授業の中で配布する教材プリント等で紹介します。事後学習として教材プリントを自ら通読し、先行文献等を調査することで理解を深めてください。 | | |

# 国際ボランティア論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 桜花学園大学 | 科目コード | 292002 |
| 担当教員 | 成田　弘成（学芸学部） | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 1 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　月曜：4 時限（1450～1620）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | 7 号館 723 教室（予定） | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 授業概要と方法<br>　国際ボランティアの実像、意義、そして内容についての理解を深め、社会現象としての国際ボランティア活動を学ぶ。国際援助、技術協力の具体的な方法、必要な理論・方法・技術についても学ぶ。また食料援助や感染症対策などの具体的事例を分析しながら、グローバルに変化する時代のボランティアの立場についての理論と実践的知識を修得し、将来に向けた展望を持てることを目指す。<br>1 開発援助の目標：ミレニアム開発目標<br>2 ＯＤＡとＮＧＯ: 日本の JICA を中心に<br>3 プランテーション農業と南北問題<br>4 食料援助ビジネス: アメリカが始めた開発援助の時代<br>5 フェアトレードの可能性 1<br>6 フェアトレードの可能性 2<br>7 貧困とビジネス 1<br>8 貧困とビジネス 2<br>9 貧困と教育: ユニセフのアプローチから<br>10 マザーテレサの精神<br>11 グローバリゼーション、環境、感染症<br>12 災害とボランティア<br>13 開発におけるヒーローたち 1<br>14 開発におけるヒーローたち 2<br>15 まとめ<br>16 なし | | |
| テキスト・参考文献 | 必要に応じ資料を配布する。 | | |
| 試験・評価方法 | 受講者は授業ごとに、内容のまとめと感想を求められ、リフレクションを中心とした教員と受講者の間のコミュニケーションが重視される。またプレゼンテーションを含めた小テストや期末レポートの提出を求める。<br>配点は、「授業への参加態度 30%　小テスト 30%　期末レポート 40%」。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 毎週、予習範囲を指定するので、事前に資料を読み、予備知識を持つこと。授業後は、当日のテーマ内容にそって、出来るだけ多くの関連資料をメディア等で検索し、その成果を発表できるように心掛けること。 | | |

# NGO・NPO論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 桜花学園大学 | 科目コード | 292003 |
| 担当教員 | 成田　弘成（学芸学部） | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 1 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　月曜：2 時限（1040～1210）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | 未定 | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 国際援助におけるNPO・NGOの組織と構造と、運営のあり方について学ぶとともに、国際機関や企業などとの連携のあり方などについても理解を深める。更に国際ボランティア活動への参加の方法・運営に関して必要な知識と実践技術を学ぶ。講義においては国際NGO等の活動の事例を取り上げながら、そのあり方や今後の課題等について学び、学生達が将来の選択肢の一つとして国際NGOを認識することを目指す。<br>1 NGO・NPOの概念と方法<br>2 国際ボランティアとNGO<br>3 バングラデシュのグラミン銀行<br>4 スリランカのサルボダヤ運動<br>5 英国のNGO: オックスファム<br>6 英国のNGO：その他<br>7 米国のNGO<br>8 フランスのNGO:国境なき医師団<br>9 アフリカにおけるNGO活動<br>10 ネパール母の家<br>11 ハイチにおける医療活動<br>12 アフガニスタンにおけるNGO活動<br>13 インドにおけるNGO活動<br>14 タイにおけるNGO活動<br>15 アジアにおけるNGO活動<br>16 なし | | |
| テキスト・参考文献 | 必要に応じ資料を配布する。 | | |
| 試験・評価方法 | 受講者は授業ごとに、内容のまとめと感想を求められ、リフレクションを中心とした教員と受講者の間のコミュニケーションが重視される。またプレゼンテーションを含めた小テストや期末レポートの提出を求める。配点は、「授業への参加態度30%　小テスト30%　期末レポート40%」。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 毎週、予習範囲を指定するので、事前に資料を読み、予備知識を持つこと。授業後は、当日のテーマ内容にそって、出来るだけ多くの関連資料をメディア等で検索し、その成果を発表できるように心掛けること。 | | |

# 観光学概論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 桜花学園大学 | 科目コード | 292004 |
| 担当教員 | 根尾　文彦（学芸学部） | | |
| 学年配当 | 1 年 | 単位数 | 1 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　金曜：2 時限（1040～1210）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 社会・マスコミ・情報 | | |
| 教室 | 7 号館 722 教室（予定） | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 少子高齢化社会の中で、ここ 10 年来、わが国の重要な成長戦略の柱のひとつとなった「観光」について、観光資源、観光産業、観光政策の観点から、その歴史的背景の基礎を学びます。その上でわが国の観光政策に対する理解を深める。講義スタイルが多くなるが、映像（画像）などを多用することにより理解しやすい内容とし、グループ学習も取り入れる。<br>1 観光の定義と概念（観光のもたらす様々な効果）<br>2 観光の歴史（中世～近世～明治～大正時代の観光旅行）<br>3 観光の歴史（昭和～平成の観光旅行）<br>4 観光の歴史（現在の観光旅行）<br>5 世界の観光産業<br>6 わが国における観光の現状と課題（国内旅行）<br>7 わが国における観光の現状と課題（海外旅行）<br>8 わが国における観光の現状と課題（訪日旅行）<br>9 わが国における観光の現状と課題（地域創生、観光まちづくり）<br>10 観光資源①<br>11 観光資源②<br>12 観光政策と観光行政<br>13 観光関連産業（運輸機関）<br>14 観光関連産業（宿泊機関）<br>15 観光関連産業（旅行業）<br>16 定期試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 必要に応じ資料を配布する。 | | |
| 試験・評価方法 | 授業への参加態度（10%）、定期試験（80%）、その他レポート（10%）を総合して評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 新聞、本、ＴＶ等から情報を入手し、社会情勢に対して強い関心を持つ。 | | |

# 日本美術史（1）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 金城学院大学 | 科目コード | 292101 |
| 担当教員 | 龍澤 彩（文学部教授） | | |
| 学年配当 | | 単位数 | |
| 開講日程 | ＜前期＞　月曜日：4 限（～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | |
| 講義概要 | 各時代を横断して美術工芸に関するトピックを掘り下げていく。日本の美術工芸品にしばしばみられる植物や動物などの「モチーフや「画題」をとりあげ、時代やジャンルを超えて、さまざまな作品をとりあげながら、日本文化の中で人々が美術工芸品から何を読み取ってきたのかについて考えていく。授業では画像を用いて説明を行う。<br><br>1.ガイダンス<br>2.桜の美術<br>3.牡丹の美術①<br>4.牡丹の美術②<br>5.燕子花　「燕子花図屏風」と『伊勢物語』<br>6.夕顔　『源氏物語』と七夕<br>7.水①　描かれた海<br>8.水②　「扇流し」という画題<br>9.吉祥のモチーフ①<br>10.吉祥のモチーフ②<br>11.秋草<br>12.展覧会見学<br>13.四季の表現と物語<br>14.モチーフから時代を知る［描かれた工芸品］<br>15.まとめ　総合レポートの作成 | | |
| テキスト・参考文献 | 講義内で資料を配付する。 | | |
| 試験・評価方法 | 小レポート（40%）総合試験（60%）、授業に取り組む姿勢を総合的に判断し、評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 中国語文化入門

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 金城学院大学 | 科目コード | 292102 |
| 担当教員 | 浅井 邦昭（文学部准教授） | | |
| 学年配当 | | 単位数 | |
| 開講日程 | ＜前期＞　月曜日：４限（～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | |
| 講義概要 | 現在の中国世界を理解するために知識について講義する。ふだん目にする中国の情報には、その文化や社会に対する知識がなければ、十分に理解することができないものがある。授業では、ニュースなどで見る中国を理解するために必要な文化的社会的背景について論じていく。<br><br>1.ガイダンス<br>2.中華人民共和国<br>3.中華民国<br>4.中国共産党と中国国民党<br>5.中華人民共和国の建国期<br>6.文化大革命<br>7.文化大革命後の中国世界<br>8.中間試験・中国世界の拡大<br>9.民族という視座<br>10.漢族と中国人<br>11.漢族の伝統<br>12.漢族と少数民族<br>13.少数民族の生活<br>14.中国世界における少数民族<br>15.期末試験・中国世界とのつきあい方 | | |
| テキスト・参考文献 | 授業時にプリントを配布する。参考書はガイダンスにて指示する。 | | |
| 試験・評価方法 | 毎回提出の授業ノート（5%×15 回）、中間試験・期末試験（25%） | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# フランス語文化入門

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 金城学院大学 | 科目コード | 292103 |
| 担当教員 | 北原 ルミ（文学部准教授） | | |
| 学年配当 | | 単位数 | |
| 開講日程 | ＜前期＞　金曜日：３限（～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | |
| 講義概要 | 「フランスはどこにあるのか？」「フランス人と呼ばれるのはどういう人たちか？」「フランス文化とは何なのか？」といった問いに答えていく授業である。<br>まずフランス的なもののイメージを一手に担う首都パリについての紹介からはじめ、革命や戦争の歴史に踏み込む。いくつかの映画も見ながら、「フランス」の記憶に迫る。後半は、南仏地方の例をとりあげ、共和国フランスと地域の歴史や伝統文化の対立を考えるとともに、現代の共和国が抱える新たな問題へ目を向ける。<br><br>1.「フランス」のイメージ<br>2.観光都市パリに刻まれた歴史<br>3.フランス革命と共和政―諷刺画文化<br>4.諷刺画文化：伝統と問題<br>5.ヴィシー政府のユダヤ人政策―共和政の否定<br>6.映画『バティニョールおじさん』―パリ庶民の描き方<br>小レポート①<br>7.映画『バティニョールおじさん』―対独協力と対独抵抗運動<br>8.対独抵抗（レジスタンス）と共和政の復活<br>9.フランス地方の多様性①：ノルマンディー地方<br>10.フランス地方の多様性②：南仏プロヴァンスと映画『マルセルの夏』<br>11.ふたたび歴史へ：第三共和政期のベル・エポック<br>小レポート②<br>12.南仏（Le Midi）文化圏<br>13.映画『サン・ジャックへの道』と現代フランス<br>14.ヨーロッパ中世を透かして見えるフランス 21 世紀<br>15.まとめ、期末試験（記述式） | | |
| テキスト・参考文献 | 適宜プリントを配布する。 | | |
| 試験・評価方法 | 授業コメント文：20%<br>小レポート：40%（20%×2 回）<br>期末試験（記述式）：40% | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# ドイツ語文化入門

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 金城学院大学 | 科目コード | 292104 |
| 担当教員 | 柴﨑 隆（文学部教授） | | |
| 学年配当 | | 単位数 | |
| 開講日程 | ＜前期＞　金曜日：３限（～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | |
| 講義概要 | 前半でドイツ語圏諸国（ドイツ・スイス・オーストリア等）の地理と主要諸都市の紹介を行い、後半では主に１９世紀以降のドイツとオーストリアの政治的関係を中心としたドイツ語圏の歴史を概説する。いずれの場合も、適宜に視覚教材を用いる。<br><br>前半（ドイツ語圏の地理と主要都市）<br>１．：ドイツ語圏諸国および主要河川＋都市の地理的位置の確認。<br>国旗とその由来等。<br>２．：ﾄﾞｲﾂ（旧ﾌﾟﾛｲｾﾝ王国）の首都ﾍﾞﾙﾘﾝと 100 万都市ｹﾙﾝ。<br>３．：ｵｰｽﾄﾘｱ(旧ﾊﾟﾌﾟｽﾌﾞﾙｸ帝国)の都ｳｨｰﾝ。ﾖｰﾛｯﾊﾟ貴族文化の中心地<br>４．：ﾄﾞｲﾂの「文化的な首都」ﾐｭﾝﾍﾝ（旧ﾊﾞｲｴﾙﾝ王国）と「環境首都」ﾌﾗｲﾌﾞﾙｸ。<br>５．：ｽｲｽ最大の都市ﾁｭｰﾘﾋと首都ﾍﾞﾙﾝ。多言語国家ｽｲｽの実態<br>６．：中間試験(主に地理＋都市が対象）と自然文化遺産（スイス・ﾍﾞﾙﾝ高地）<br>後半(ドイツ語圏の歴史と人物）<br>７．：ﾄﾞｲﾂ･ｵｰｽﾄﾘｱ簡略史-1（ｶｰﾙ大帝?神聖ﾛｰﾏ帝国ｼｭﾀｳﾌｪﾝ朝）<br>８．：ﾄﾞｲﾂ･ｵｰｽﾄﾘｱ簡略史-2（ﾊﾟﾌﾟｽﾌﾞﾙｸ家登場?ルター～神聖ﾛｰﾏ帝国滅亡）<br>９．：ｳｨｰﾝ会議後のﾄﾞｲﾂ連邦とﾄﾞｲﾂ統一問題<br>10．：ﾌﾟﾛｲｾﾝ=ﾄﾞｲﾂ帝国の成立とﾊﾟﾌﾟｽﾌﾞﾙｸ帝国の改変<br>11．：第一次世界大戦とハプスブルク帝国の解体<br>12．：混乱の戦間期とﾋﾄﾗｰ=ﾅﾁｽの登場<br>13．：第二世界大戦と戦後の分断国家ﾄﾞｲﾂ<br>14．：ﾍﾞﾙﾘﾝ壁崩壊とﾄﾞｲﾂの再統一＋EU の誕生<br>15．：試験(主に歴史的事件と人物）とまとめ<br>課題／教室外の学習 | | |
| テキスト・参考文献 | プリントにて代用 | | |
| 試験・評価方法 | 試験 70%(35 点の試験 X2 回）と授業参加度等 30% | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 西洋美術史Ａ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 金城学院大学 | 科目コード | 292105 |
| 担当教員 | 山本 敦子（非常勤講師） | | |
| 学年配当 | | 単位数 | |
| 開講日程 | ＜前期＞　木曜日：２限（～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | |
| 講義概要 | 古代から中世の西洋美術の歴史を取り上げます。文明の誕生からヨーロッパ中世までの歴史における美術の役割を見ていきます。パワーポイントを使用します。<br><br>1.先史美術、メソポタミア美術<br>2.エジプト美術<br>3.エーゲ文明、ギリシア美術（1）幾何学様式からアルカイック<br>4.ギリシア美術（2）アルカイックからクラシック<br>5.ギリシア美術（3）ヘレニズム、エトルスク美術<br>6.ローマ美術<br>7.初期キリスト教美術<br>8.ビザンティン美術<br>9.初期中世美術（1）カロリング朝<br>10.初期中世美術（2）ケルトとアングロ＝サクソンの美術、オットー朝<br>11.ロマネスク美術<br>12.ゴシック美術（1）フランスの聖堂<br>13.ゴシック美術（2）各国のゴシック建築<br>14.ゴシック美術（3）イタリアの絵画と彫刻<br>15.ゴシック美術（4）国際ゴシック様式<br>16.試験期間内試験 | | |
| テキスト・参考文献 | なし | | |
| 試験・評価方法 | 試験（100%） | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 金融商品学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 金城学院大学 | 科目コード | 292106 |
| 担当教員 | 古寺 浩（生活環境学部教授） | | |
| 学年配当 | | 単位数 | |
| 開講日程 | ＜後期＞　月曜日：３限（～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | |
| 講義概要 | 金融市場の仕組みや動向、株式や債券を取り入れた資産運用について、現実の市場価格などを取り入れながら学習する。<br>本講義は、野村證券による冠講座である。金融市場の仕組みや動向について学習するとともに、具体的な取引価格を参照しながら株式や債券を取り入れた資産運用について学ぶ。金融業界への就職を目指す上で必要な基本的知識を身につける。また、学科独自の生活者・消費者の視点を持ちながら自らの生涯を通した資産運用能力を育成する。<br><br>1.オリエンテーション・証券の基礎<br>2.経済情報の捉え方<br>3.株式投資コンテスト参加説明・課題提示<br>4.金融市場の役割とその変化<br>5.証券投資のリスク・リターン<br>6.ポートフォリオ・マネジメント<br>7.債券市場の役割と投資の基礎知識（１）<br>8.債券市場の役割と投資の基礎知識（２）<br>9.株券市場の役割と投資の基礎知識（１）<br>10.株券市場の役割と投資の基礎知識（２）<br>11.投資信託の役割とその仕組み<br>12.日本の株式市場の歴史<br>13.資本市場における投資家心理<br>14.資産運用とライフ・プランニング<br>15.授業期間内試験とまとめ | | |
| テキスト・参考文献 | テキスト・参考書は特に指定しない。授業で用いる資料は、野村證券独自のパワーポイント教材をプリントしたものを配布する。 | | |
| 試験・評価方法 | 学習支援システム manaba を介した日常的な学習（10%）、レポート（30%）、授業期間内試験（60%）を対象に総合的に評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 生活と住まい

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 金城学院大学 | 科目コード | 292107 |
| 担当教員 | 加藤 悠介（生活環境学部准教授） | | |
| 学年配当 | | 単位数 | |
| 開講日程 | ＜前期＞　水曜日：1 限（～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 家政・生活 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | |
| 講義概要 | 現代の日本の住まいと生活のスタイルについて住宅に関する歴史的変遷や世界との比較を通して考える。住まいは非常に身近な存在であるが、その成り立ちや役割について改めて考える機会は少ないことから、社会情勢や地域性などを踏まえた上で、住まいや住生活の変遷について学ぶ。<br><br>1.オリエンテーション(授業の概要説明)<br>2.日本の住まいの変遷１　古代?中世<br>3.日本の住まいの変遷２　近世<br>4.日本の住まいの西洋化１　明治以降の洋風化と住生活<br>5.日本の住まいの西洋化２　大正期の洋風化と住生活<br>6.日本の住まいの西洋化３　昭和戦前期の住生活<br>7.戦後の日本の住まい１　住宅供給と住生活<br>8.戦後の日本の住まい２　マスハウジングと公私室型の住生活<br>9.世界の住生活１ アジア<br>10.世界の住生活２ アフリカ・アメリカ<br>11.西洋の住まいの変遷１　原始?古代<br>12.西洋の住まいの変遷２　中世<br>13.西洋の住まいの変遷３　近代<br>14.西洋の住まいの変遷４　現代<br>15.まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | 授業内でプリントを配布する。 | | |
| 試験・評価方法 | 単元ごとの小テスト(30%)、課題プリント(30%)、定期試験(40%)<br>欠席・遅刻の取り扱いは履修要覧に記載のとおりとする。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 生活と衣服

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 金城学院大学 | 科目コード | 292108 |
| 担当教員 | 成瀬 正春（生活環境学部教授） | | |
| 学年配当 | | 単位数 | |
| 開講日程 | ＜後期＞　水曜日：1 限（～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 家政・生活 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | |
| 講義概要 | 衣服の起源、衣服着用の目的、衣服素材とその特徴について概説する。さらに、衣服と健康増進、衣服と皮膚障害について事例紹介する。さらに、衣服のトラブルとその解決方法について述べる。<br><br>1.衣服の起源と、衣服着用の目的<br>2.繊維、糸、布の種類と製造方法<br>3.各種素材の布帛の性質と性能<br>4.綿花から生地ができるまで<br>（トヨタテクノミュージアム見学・詳細は別途案内する）<br>5.温熱生理からみた身体の仕組み<br>6.健康を守る衣服の働き<br>7.健康を支える衣服の役割<br>9.クールビズおよびウォームビズの仕組み<br>10.機能性衣服の仕組み<br>11.衣服による皮膚障害とその対策<br>12.衣服の洗濯<br>13.衣服の管理<br>14.衣服の苦情事例（毛玉、表面フラッシュ）<br>15.まとめ（総合考察） | | |
| テキスト・参考文献 | 資料を授業のはじめに配布します。 | | |
| 試験・評価方法 | 授業期間内に提出する課題①20%、課題②10%、課題③40%、課題④20%、授業中に不定期に出題する小テスト 10%で評価します。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# ファッションの歴史

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 金城学院大学 | 科目コード | 292109 |
| 担当教員 | 青山 喜久子（生活環境学部教授） | | |
| 学年配当 | | 単位数 | |
| 開講日程 | ＜前期＞　水曜日：1 限（～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 家政・生活 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | |
| 講義概要 | 現代の日本の衣生活に関する選択・購入・着装・廃棄の衣服行動について、スライドを用いて講述する。<br>前半は、人間の「衣服の選択および着装」について、主にファッションデザインの要因となるファッショントレンド、ファッションと時代、民族衣装、デザインの基礎、ファッションイメージと人間の心理・行動と関連付けて説明を行う。後半は、「衣服の購入および廃棄」について、ファッションビジネスのしくみ、環境の問題と衣服行動の関係から講述する。<br><br>1.授業の概要・スケジュール<br>2.ファッショントレンド（2017 春/夏　他）<br>3.西洋・古代?中世の時代とファッション<br>4.西洋・近世の時代とファッション<br>5.西洋・近代の時代とファッション<br>6.西洋・現代のファッション<br>7.日本・戦後?現在のファッション<br>8.世界の民族衣装とファッション<br>9.ファッションデザインと心理①（点・線・立体・錯視効果）<br>10.ファッションデザインと心理②（構成原理）<br>11.ファッションデザインと心理③（素材・色）<br>12.ファッションデザインとイメージ<br>13.ファッションビジネスのしくみ（企画ー生産ー流通ー販売）<br>14.ファッションの価格とデザイン<br>15.衣服の廃棄と環境問題<br>16.試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 適宜、プリントを配布する。 | | |
| 試験・評価方法 | 課題 50%、試験 50% | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 生活と科学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 金城学院大学 | 科目コード | 292110 |
| 担当教員 | 今枝 敏彦（生活環境学部教授） | | |
| 学年配当 | | 単位数 | |
| 開講日程 | ＜後期＞　水曜日：２限（～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 家政・生活 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | |
| 講義概要 | 近年、健康について多く語られているが、全人的な意味での「予防医学」はまだ十分に理解されていない。従来西洋医学は、「臨床医学」「基礎医学」「社会医学」に分かれていて、臨床医学が主流であった。しかし「社会医学」の一分野に、「公衆衛生学」があり、その中に疾病を予防するために「予防医学」が存在する。講義では、これまでの疫学という科学的研究を基に明らかにされた予防医学を利用して、生活習慣病や環境障害の予防について学習する。具体的にはいかに病気にならないようにするか一次予防を中心に講義する。途中で中間試験を行い、最後に期末試験を行う。<br><br>1.イントロダクション、Ⅰ　からだの仕組み<br>2.Ⅱ 予防医学<br>3.Ⅲ 生活習慣病（１）肥満<br>4.Ⅲ 生活習慣病（２）脂肪肝、ダイエット、運動<br>5.Ⅲ 生活習慣病（３）高血圧、高脂血症<br>6.Ⅲ 生活習慣病（４）糖尿病<br>7.Ⅲ 生活習慣病（５）骨粗鬆症、貧血、病気予防<br>8.中間試験／まとめ<br>9.Ⅲ 生活習慣病（6）がん予防<br>10.Ⅳ　たばこについて（１）先駆者<br>11.Ⅳ　たばこについて（２）タバコの害<br>12.Ⅴ　環境障害（１）温度環境障害、中毒<br>13.Ⅴ　環境障害（２）その他の環境障害<br>14. Ⅶ　心について, Ⅷ 一次救急<br>15. 期末試験／まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | 江藤敏治著　　病気にならない本　大学教育出版<br>教材は必要に応じて配布する。 | | |
| 試験・評価方法 | 中間試験　50%<br>期末試験　50%<br>積極的な授業態度が見られない場合は減点する。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 中国経済論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 金城学院大学 | 科目コード | 292111 |
| 担当教員 | 中村 岳穂（国際情報学部講師） | | |
| 学年配当 | | 単位数 | |
| 開講日程 | ＜前期＞　火曜日：1 限（～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | |
| 講義概要 | この授業では、中華人民共和国の成立過程および成立後の社会の変遷に焦点をあて、中国経済の特質について考察する。とくに、日本と中国の発展過程の類似点と相違点に着目しながら学習を進める。<br><br>1.中国の特質について考える<br>2.中国経済の諸問題を取り上げ概観する<br>3.中国共産党：その役割と特質<br>4.大躍進政策<br>5.文化大革命<br>6.多民族国家<br>7.国際関係１：台湾との関係<br>8.国際関係２：ソ連との関係<br>9.国際関係３：日本との関係<br>10.改革開放：中国における市場経済の特質<br>11.天安門事件と民主化<br>12.香港：一国二制度<br>13.貧富の格差<br>14.経済大国としての中国：対外インフラ投資政策と外交<br>15.中国経済の未来　／　全体のまとめ | | |
| テキスト・参考文献 | 【参考書】：<br>池上彰［著］『そうだったのか！中国』（集英社文庫、2010 年） 定価（724 円＋税） | | |
| 試験・評価方法 | 毎回の授業で、課題問題を課す。その内訳は以下の割合（%）で評価する。<br>・初回から第５回までの課題問題が各４%。（４%×５回＝20%）<br>・第６回から第 15 回までの課題問題が各８%。（８%×10 回＝80%） | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# ソーシャルビジネス論Ａ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 金城学院大学 | 科目コード | 292112 |
| 担当教員 | 畠山　正人（国際情報学部准教授） | | |
| 学年配当 | | 単位数 | |
| 開講日程 | ＜前期＞　火曜日：２限（～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 社会・マスコミ・情報 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | |
| 講義概要 | 私たちは誰しも、社会の現実に心を痛めたり、疑問を感じたりする瞬間があります。このような現代社会の様々な課題に対峙し社会を変えるための新たな担い手として近年クローズアップされているのが、ソーシャルビジネス（社会的企業）や、その担い手の存在です。ソーシャルビジネス論 A では、彼や彼女たちはどのようにして社会の「間違い」に気づくのか、他者と共感を育むのかといっ た基礎的な議論について、ケースを紹介しながら学んでいきます。<br><br>1. ガイダンス<br>2. ソーシャルビジネスとその担い手<br>3. 開発援助の罠<br>4. リバースイノベーションと共感の形成<br>5. ボランティアについて考える<br>6. 社会を変える人たち ー最初の一歩（DVD 視聴）<br>7. 社会を変える人たち ーフォロワーの存在（DVD 視聴・続き）<br>8. 社会変革はどうやって起こるのか<br>9. 受講生が関心を抱く社会問題について（調査対象の確定）<br>10. 受講生が関心を抱く社会問題について（調査実施）<br>11. ゲストスピーカー講義　※都合上前後する場合がある<br>12. 受講生が関心を抱く社会問題について（リハーサル）<br>13-14. 受講生が関心を抱く社会問題について（チーム発表）<br>15. 授業のまとめ | | |
| テキスト・参考文献 | なし（授業内でレジュメを配布します） | | |
| 試験・評価方法 | 1）ミニレポート（1 回 3%×6 回＝18%）　2）レポート課題（計３回：30%）<br>3）チーム発表準備での貢献度（20%）<br>4）チーム発表の内容・質（20%）<br>5）チーム発表時の他チームへの講評（12%） | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# ポジティブ心理学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 金城学院大学 | 科目コード | 292113 |
| 担当教員 | 安藤 玲子（人間科学部教授） | | |
| 学年配当 | | 単位数 | |
| 開講日程 | ＜前期＞　月曜日：３限（～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | |
| 講義概要 | 近年注目されているポジティブ心理学に関しての解説を行う。ポジティブ心理学の特徴やポジティブな精神状態に関する諸説、ストレッサーに抵抗するための内的・外的要因などに関する実証的な実験や調査研究を概説しながら、より元気に健康に生きるためにはどうしたらいいかを考えていく。<br><br>主に、以下のテーマについて講義を行う予定である<br>1.ポジティブ心理学とは<br>　健康心理学とポジティブ心理学<br>　人間性心理学とポジティブ心理学<br>2.ポジティブな状態<br>　フロー経験<br>3.ストレス理論（定義と主要な理論）<br>4.ストレス理論（ストレスコーピング）<br>5.感情と心理的・生理的反応 1<br>6.感情と心理的・生理的反応 2<br>7.ストレス反応と自己効力感<br>8.ストレス反応と楽観性<br>9.楽観主義と健康<br>10. ストレス反応とタイプ A、B，C 型行動特性<br>11．幸福の源泉（文化的・経済的要因）<br>12．幸福の源泉（対人関係・身体的健康）<br>13．ストレス反応とソーシャルサポート<br>14．互恵性とソーシャル・バンク<br>15. 試験とまとめ<br>※進行状況などにより、授業内容が多少が変わることもありうる | | |
| テキスト・参考文献 | テキストの指定は特になし。必要に応じて資料を配布予定。参考文献は、授業内で適宜紹介する。 | | |
| 試験・評価方法 | 試験 80%、授業態度（授業コメント）・課題 20% | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# NGO・NPO論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 金城学院大学 | 科目コード | 292114 |
| 担当教員 | 柴田 学（人間科学部講師） | | |
| 学年配当 | | 単位数 | |
| 開講日程 | ＜後期＞　火曜日：４限（～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 社会・マスコミ・情報 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | |
| 講義概要 | 今日、社会的に重要な役割を果たしているNPO（非営利組織）およびNGO（非政府組織）について、コミュニティやボランティア・プロボノ等の概念や実践、NGO・NPOの諸理論、法制度、歴史等の様々な視点・観点から学びを深めていく。また近年、NGO・NPOとの関連で注目されているのが、経済活動を通じて社会的課題の解決を目指す「社会的起業」というアプローチである。授業の後半では、社会的起業に関連したトピックスを踏まえながら、市民社会の構築に寄与するNGO・NPOにおける今後の展望についても考察する。なお、授業では国内外におけるNGO・NPOの先進的ケーススタディを多数用いながら、進めて行く予定である。<br><br>1.イントロダクション?新しい公共とNGO・NPO<br>2.NGO・NPOとは何か<br>3.NGO・NPOと資金調達<br>4.ボランティア、プロボノとNGO・NPO<br>5.コミュニティとNGO・NPO<br>6.NPOの諸理論<br>7.ゲストスピーカーによる講義（予定）<br>8.ビジネスとNGO・NPO<br>9.社会的起業とNGO・NPO<br>10.ソーシャル・ビジネス論①<br>11.ソーシャル・ビジネス論②<br>12.コミュニティ・ビジネス論①<br>13.コミュニティ・ビジネス論②<br>14.社会貢献のデザインとNGO・NPO<br>15.今後の展望と総括～開発的視点とNGO・NPO | | |
| テキスト・参考文献 | テキスト：川村暁雄・川本健太郎・柴田学・武田丈編著『これからの社会的企業に求められるものは何かーカリスマからパートナーシップへ』ミネルヴァ書房<br>その他：関連する新聞・雑誌のコピー等の資料、ビデオ教材も使用する。 | | |
| 試験・評価方法 | 中間レポート（課題）　３０％<br>最終レポート（課題）　３０％<br>平常点（発言、質問等積極的な授業参加）　４０％ | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 薬学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 金城学院大学 | 科目コード | 292115 |
| 担当教員 | 林 高弘（オムニバス） | | |
| 学年配当 | | 単位数 | |
| 開講日程 | ＜前期＞　水曜日：1 限（～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | スポーツ・健康・医療 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | |
| 講義概要 | ヒトの健康を守るため、「くすり」は欠かせない存在となっています。そして「くすり」について学ぶことは自分や家族の健康増進に役立てられます。本学では薬学部設置という特色を活かし、薬学部教員５名（林、吉川、中尾、永津、福石）がそれぞれの専門分野の立場から「くすり」のことを分かりやすく解説します。<br><br>1.くすりのことを知る⑴　林<br>2.くすりのことを知る⑵　林<br>3.くすりについて調べる　林<br>4.日常生活で利用するくすり　林<br>5.女性とくすり（女性ホルモン）　林<br>6.くすりとサプリメント　吉川<br>7.医薬品開発の手順と世に送り出すまで 中尾<br>8.医薬品とうまく付き合うために知っておきたいこと　中尾<br>9.天然由来の医薬品について⑴ 永津<br>　薬用植物・生薬・漢方薬の利用の歴史、種類と利用の考え方<br>10.天然由来の医薬品について⑵ 永津<br>　有効成分の抽出から医薬品の開発まで<br>11.アレルギーとくすり 福石<br>12.高血圧とくすり 福石<br>13.妊婦・授乳婦とくすり　林<br>14.小児とくすり　林<br>15.最新のくすり事情　林<br>　総合討論<br>16.レポート試験　林 | | |
| テキスト・参考文献 | 配布資料 | | |
| 試験・評価方法 | ミニテスト（5%×15 回で合計 75%）<br>レポート試験（25%） | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 薬学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 金城学院大学 | 科目コード | 292116 |
| 担当教員 | 授業担当者未定 | | |
| 学年配当 | | 単位数 | |
| 開講日程 | ＜前期＞　水曜日：２限（～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | スポーツ・健康・医療 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | |
| 講義概要 | 医薬品の登録販売者試験は、平成２７年度実施から受験資格がすべて撤廃され、誰でも受験できるようになった。この講義では、医薬品の登録販売者の資格を取得する際の入門編として、試験問題範囲を念頭に病気と薬の関係を中心に易しい講義を行う。<br><br>1.医薬品概論・薬害の歴史<br>2.医薬品の効き目や安全性に影響を与える要因<br>3.人体の構造と働き<br>4.薬が効く仕組み<br>5.副作用<br>6.かぜ薬<br>7.解熱鎮痛薬<br>8.胃腸に作用する薬<br>9.心臓などの器官や血液に作用する薬<br>10.アレルギーの薬<br>11.皮膚に用いる薬<br>12.漢方薬<br>13.公衆衛生用薬<br>14.薬事関係法規・制度<br>15.医薬品の適正使用・安全性対策<br>16.試験期間内試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 特になし | | |
| 試験・評価方法 | ミニレポート（１５回×４　６０％）講義ごとに実施。<br>試験期間内試験（４０％）試験当日に出題される課題に対して解答する。ノートの持ち込み可。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 薬学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 金城学院大学 | 科目コード | 292117 |
| 担当教員 | 青柳 裕（薬学部教授） | | |
| 学年配当 | | 単位数 | |
| 開講日程 | ＜後期＞　月曜日：1 限（～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | スポーツ・健康・医療 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | |
| 講義概要 | 女性が社会でいきいきと活躍するために必要な基礎的薬学知識を習得するために、天然物化学や有機化学をベースとして、医薬品、化粧品、健康食品（サプリメント）、ハーブなど幅広いテーマを取りあげていく予定です。出来るだけわかりやすく、ていねいに解説する予定です。又、クリッカーを使用して学生参加型の学習を行います。<br><br>1.授業オリエンテーション<br>2.薬の常識・非常識<br>3.くすりと法<br>4.セルフメディケーションを実践しよう（1）～基本編<br>5.セルフメディケーションを実践しよう（2）～解熱鎮痛薬、生理痛薬、風邪薬など<br>6.セルフメディケーションを実践しよう（3）～胃腸薬、便秘薬など<br>7.食生活を見直そう<br>8.サプリメントを考えよう（1）～栄養補助食品<br>9.サプリメントを考えよう（2）～ビタミン、サプリメント各論<br>10.ハーブの効用を考えよう（1）～ハーブ各論<br>11.ハーブの効用を考えよう（2）～アロマの上手な使い方<br>12.お肌と美容の科学<br>13.薬物乱用の危険性を考えよう<br>14.漢方薬の基礎知識<br>15.薬の四方山話<br>16.試験期間内試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 特定のテキストはありません。適宜プリントやパワーポイントを使いながら授業を進めます。参考書はその都度紹介します。 | | |
| 試験・評価方法 | 受講態度及び振り返りシートの提出（40%）<br>課題レポート（20%）<br>試験期間内試験（40%） | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 健康心理学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 至学館大学 | 科目コード | 292201 |
| 担当教員 | 笹竹　英穂（健康科学部教授） | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　未定：未定（～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 授業のねらいは、健康心理学の考え方や主要なテーマを学習し，心身ともに健康に生活するための知識や技術を身に付けるというものである。到達目標は、健康心理学の基本的な知識に基づき，日常生活の現象について考察することができるようになることである。<br><br>授業の内容は以下のとおりである。ひとつのテーマを数回にわたって講義をする場合もある。<br>1. 心理テストの考え方～心理学への入り口～心理テストについて，その種類と考え方を解説する。<br>2. 健康の新しい考え方～慢性疾患の人はもう健康になれないのか～健常者だけでなく，慢性疾患の患者などを含んだ「健康」を考える。<br>3. ストレスのしくみ～意識できないストレスはあるのか～ストレスのしくみをモデルを用いて学習する。<br>4. ストレスの過程～人によってストレス反応が違うのはなぜか～ストレスを受けてから対処方法を実行するまでの過程を失恋の場合を取り上げて説明する。<br>5. ストレスの対処行動～ストレスにはどのように対処すればよいか～ストレス対処行動の心理テストを実施して自分の特有のストレス対処行動を理解する。<br>6. 病気と性格～朝登校する時間になると腹痛が襲うわけ～病気と関連しやすい性格特性について説明する。<br>7. ユーモアと健康～ユーモアは健康にどのように役立つのか～医療現場におけるユーモアの実践例や日常生活の活用例を紹介する。<br>8. イメージと健康～イメージの力って本当にあるのか～イメージがどのように活用されているのかの実践例を紹介し、イメージをどのように使えば，日常生活における精神的健康に役立つのかを解説する。<br>9. まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | テキストは本学の売店で販売する。 | | |
| 試験・評価方法 | 評価はレポートよって決める(評価割合 100%)。 | | |
| 別途必要な経費 | なし。 | | |
| その他特記事項 | 最初の講義では、教員の自己紹介や講義のルール説明を行う。 | | |

# スポーツ栄養管理論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 至学館大学 | 科目コード | 292202 |
| 担当教員 | 杉島　有希（健康科学部助教） | | |
| 学年配当 | ３年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　未定：未定（～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | スポーツ選手への栄養マネジメントを行うにあたって、栄養アセスメントを行い、対象者特性（競技種目、血液性状、身体組成、食事状況など）を十分に考慮することが必要不可欠となる。また、監督、コーチ、フィジカルコーチ、トレーナー、ドクター、調理師などの他職種の役割も理解し、連携を図ることが重要である。この授業では、様々な競技種目の特性について知り、実際に選手に対する栄養マネジメントを行うことによって、将来、スポーツや健康増進の現場で即戦力として活躍するための実践能力を養うことをねらいとする。<br><br>① 対象選手に対して栄養アセスメントを実施し、個人の特性について分析・評価することができる。<br>② アセスメント結果をもとに、スポーツ選手に対する栄養セミナーを企画・実施することができる。<br><br>1.導入・スポーツ栄養マネジメントの実際<br>2.スクリーニングの実施<br>3.栄養アセスメントの実施（エネルギー消費量の測定・評価）<br>4.栄養アセスメントの実施（身体的特性の測定・評価）<br>5.スポーツ栄養マネジメント演習：栄養アセスメントの実施（食事内容の測定・評価）<br>6.栄養アセスメント結果の分析・評価<br>7.栄養ケア計画の立案<br>8.栄養ケアの準備（媒体作成）<br>9.栄養ケアの準備（セミナー練習）<br>10.栄養ケア（選手への集団栄養セミナーの実施）<br>11.栄養マネジメントの評価<br>12.競技種目の特性を知る：学外実習（球技系種目：競技特性の把握及びサポート現場の見学）<br>13.競技種目の特性を知る：学外実習（その他種目：競技特性の把握及びサポート現場の見学）<br>14.スポーツの現場で活躍しているスタッフの講話<br>15.講義のまとめと試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 必要に応じてパワーポイントやビデオの使用、資料の配付等を行う。 | | |
| 試験・評価方法 | プレゼンテーション（20%）、小レポート（10%）、期末試験（70%） | | |
| 別途必要な経費 | 学外実習参加のための交通費および参加費 | | |
| その他特記事項 | 予習として、栄養管理論、栄養管理実習、栄養学、運動生理学、生化学を復習<br>し、よく理解しておくこと。 | | |

# 色彩と造形

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 椙山女学園大学 | 科目コード | 292401 |
| 担当教員 | 橋本　雅好<br /><br /><br />（生活科学部准教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　火曜日：1 限（910～1040） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | 星が丘キャンパス生活科学部棟 B110 | | |
| 履修条件 | 女子学生に限る。 | | |
| 募集定員 | 30 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【授業のテーマ】<br>生活の場での色彩が果たす役割<br>【授業の到達目標/育成する能力】<br>色彩学の基礎、物理的・心理的側面からの色彩の特性の知識を得る。〔知識･理解〕<br>【授業内容】<br>色彩と造形は、衣食住の様々な場面で深い関わりがある。そこで本講義では、色彩とは何かという色彩学の基礎、物理的・心理的側面からの色彩の特性、色彩調和などについて幅広く概説する。また併せてカラーコーディネーター・色彩検定試験を意識しながら講義をする。<br>【授業計画】<br>1.ガイダンス　色とは<br>2.色の記録の方法<br>3.色の伝達の方法<br>4.色の混合<br>5.色彩調和(色相、明度、彩度を基準とした配色)<br>6.色彩調和(トーンを基準とした配色)<br>7.配色技法<br>8.色彩の心理(対比、同化)<br>9.色彩の心理(色彩のイメージ)<br>10.色があらわすもの<br>11.色彩と文化<br>12.色彩調和論<br>13.色彩計画<br>14.色彩計画の実際(プロセス)<br>15.まとめ　色とは<br>【授業の進め方】<br>各テーマに沿った講義形式でおこなう。 | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】<br>大井義雄他：カラーコーディネーター入門 色彩 改訂増補版、日本色研事業株式会社<br>【参考書】<br>テーマに合わせてその都度紹介する。 | | |
| 試験・評価方法 | 筆記試験(100%)によって評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 【履修上の注意】<br>・女子学生に限る。<br>・毎回のテーマは、前回のテーマと繋がりがありますので、復習をしっかりとしておくことが大切です。<br>【事前･事後学修】<br>事前学習：教科書の予読。<br>事後学習：配布した資料を基に講義内容をまとめる。 | | |

# 小説創作（習作）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 椙山女学園大学 | 科目コード | 292402 |
| 担当教員 | 堀田　あけみ<br /><br /><br />（国際コミュニケーション学部教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　水曜日：1 限（910～1040） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | 星が丘キャンパス国際コミュニケーション学部棟 421 | | |
| 履修条件 | 女子学生に限る。 | | |
| 募集定員 | 30 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【授業のテーマ】<br>小説の基礎<br>【授業の到達目標/育成する能力】<br>人間の言語活動について、基本的な知識を身につける。オリジナルの作品を完成させるだけの文章力を身につける。〔技能･表現〕<br>【授業内容】<br>人が文章を書くのは、何かを伝える為である。それは具体的な情報であったり、感情であったりする。小説を書くのは、文章の力のみで、架空の世界を作り上げ、そこで展開される物語の筋を適確に伝え、受け手の感情を動かす作業である。この一筋縄ではいかない作業の基礎作りが、本講義の目的となる。まず、文章産出のシステムについて学び、文章を伝達する上で、人が陥り易いトラブルについて考える。科学的に理論を組み立て、分析・理解する心構えが必要とされる。<br>【授業計画】<br>1.小説とは何か<br>2.キャラクターを描く<br>3.人間関係を描く<br>4.心の動き<br>5.言われてみたい・言ってみたいー台詞の書き方<br>6.台詞のキャッチボール、してみよう<br>7.発表<br>8.物語のスキーマ<br>9.言葉のスキーマ<br>10.スキーマの形成<br>11.スキーマの実際ー学校の怪談<br>12.発表<br>13.タイトルを考える<br>14.「伝える」から「語る」へ<br>15.まとめ<br>【授業の進め方】<br>講義を中心とし、随時、課題を出す。 | | |
| テキスト・参考文献 | なし。それぞれが作る作品が教科書であることを自覚し、丁寧な作品の創作、他者の作品に対する敬意を持つよう心がけて欲しい。 | | |
| 試験・評価方法 | レポート 50%。講義中の課題 40%。授業態度 10%。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 【履修上の注意】<br>・女子学生に限る。<br>・大小の課題の準備をきちんとすること。その場で適当につくらないように。<br>【事前･事後学修】<br>作品と意見で授業が成立するものであると認識すること。積極的な参加が求められる。課題を作成し、発表できるようにしておくこと。発表作品への感想をまとめておくこと。 | | |

# 小説創作（発展）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 椙山女学園大学 | 科目コード | 292403 |
| 担当教員 | 堀田　あけみ<br /><br />（国際コミュニケーション学部教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　水曜日：1 限（910～1040） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | 星が丘キャンパス国際コミュニケーション学部棟 421 | | |
| 履修条件 | 女子学生に限る。 | | |
| 募集定員 | 30 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 【授業のテーマ】<br>小説の基礎<br>【授業の到達目標/育成する能力】<br>人間の言語活動について、基本的な知識を身につける。オリジナルの作品を完成させるだけの文章力を身につける。〔技能･表現〕<br>【授業内容】<br>人が文章を書くのは、何かを伝える為である。それは具体的な情報であったり、感情であったりする。小説を書くのは、文章の力のみで、架空の世界を作り上げ、そこで展開される物語の筋を適確に伝え、受け手の感情を動かす作業である。この一筋縄ではいかない作業の基礎作りが、本講義の目的となる。まず、文章産出のシステムについて学び、文章を伝達する上で、人が陥り易いトラブルについて考える。科学的に理論を組み立て、分析・理解する心構えが必要とされる。<br>【授業計画】<br>1.言葉にできることー媒体による違い<br>2.改変の理由ー映像化の実例<br>3.発表<br>4.メディアを超える<br>5.複数の視点<br>6.発表<br>7.シーン描く<br>8.発表<br>9.起承転結<br>10.細部に神は宿るーアイテム編<br>11.細部に神は宿るー台詞編<br>12.細部に神は宿るー仕草編<br>13.フィクションの意味<br>14.物語の完成<br>15.まとめ<br>【授業の進め方】<br>講義を中心とし、随時、課題を出す。 | | |
| テキスト・参考文献 | なし。それぞれが作る作品が教科書であることを自覚し、丁寧な作品の創作、他者の作品に対する敬意を持つよう心がけて欲しい。 | | |
| 試験・評価方法 | レポート 50%。講義中の課題 40%。授業態度 10%。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 【履修上の注意】<br>・女子学生に限る。<br>・大小の課題の準備をきちんとすること。その場で適当につくらないように。<br>【事前･事後学修】<br>作品と意見で授業が成立するものであると認識すること。積極的な参加が求められる。課題を作成し、発表できるようにしておくこと。発表作品への感想をまとめておくこと。 | | |

# エッセイ創作（習作）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 椙山女学園大学 | 科目コード | 292404 |
| 担当教員 | 堀田　あけみ<br /><br /><br />（国際コミュニケーション学部教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　水曜日：2 限（1050～1220） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | 星が丘キャンパス国際コミュニケーション学部棟 421 | | |
| 履修条件 | 女子学生に限る。 | | |
| 募集定員 | 30 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【授業のテーマ】<br>創作と発表<br>【授業の到達目標/育成する能力】<br>エッセイの基本について学び、実際に創作し、他の学生の作品に触れて、より上質な文章の書き手を目指す。〔技能･表現〕<br>【授業内容】<br>自分の気持ちや経験を、言語化したいと感じている人は多い。それは、三つの方向性を持つ。自分自身の為の覚え書きである日記、特定の他者への伝達を目的とした手紙やメール、不特定多数の他者への伝達を目的としたエッセイである。受け手との相互作用が複雑になる分、後者ほど書くことは困難になっていく。その困難の主なものは、発信者の意図と受信者の解釈の「ずれ」である。実際に書き、それを受け手と討論することで、文章表現の技術を磨く。「私」は、本来、ことばでは存在しない。「私」の気持ち・感性・性格・経験・意見。それらを文章化することを目的とする。幾つかのグループを作り、発表と作品に関する討論を、毎回、行う。<br>【授業計画】<br>1.エッセイとは<br>2.小説との違い<br>3.発表　グループ1<br>4.発表　グループ2<br>5.発表　グループ3<br>6.文体を考える<br>7.発表　グループ4<br>8.発表　グループ5<br>9.発表　グループ6<br>10.感情を表現する<br>11.発表　グループ7<br>12.発表　グループ8<br>13.発表　グループ9<br>14.心に残る文章<br>15.まとめ<br>【授業の進め方】<br>講義と、発表。作品に関する討論を中心に進行する。 | | |
| テキスト・参考文献 | なし。それぞれの作品が教科書なので、自分の作品に対する矜持と、他者の作品に対する敬意を忘れないこと。 | | |
| 試験・評価方法 | 発表 50%。レポート 40%。コメント 10%。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 【履修上の注意】<br>・女子学生に限る。<br>・余裕を持って作品を作ることを心がける。<br>【事前･事後学修】<br>発表と討論が中心の講義であることを自覚すること。授業の前に発表者は、作品を用意し、それ | | |

| | |
|---|---|
| | 以外は他者の作品についての意見をまとめてくること。 |

# エッセイ創作（発展）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 椙山女学園大学 | 科目コード | 292405 |
| 担当教員 | 堀田　あけみ<br /><br />（国際コミュニケーション学部教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　水曜日：2 限（1050～1220） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | 星が丘キャンパス国際コミュニケーション学部棟 421 | | |
| 履修条件 | 女子学生に限る。 | | |
| 募集定員 | 30 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 【授業のテーマ】<br>発表と評価<br>【授業の到達目標/育成する能力】<br>より多くの作品を書き、また、触れることによって、書き手・読み手として、より高いレベルを目指す。〔技能･表現〕<br>【授業内容】<br>前期で、エッセイとは何かを考え、体得した上に、更に文章家として上質なノンフィクションの創作を目指す。文体を獲得し、読み手を引き込み、自分の世界を作るにはどうしたらよいかに主眼を置き、とにかく、文章を書く。書いて、討論し、他人の作品に触れ、世界を広げる。<br>【授業計画】<br>1.エッセイの効用<br>2.発表　グループ1<br>3.発表　グループ2<br>4.発表　グループ3<br>5.発表　グループ4<br>6.読み手を引き込む<br>7.発表　グループ5<br>8.発表　グループ6<br>9.発表　グループ7<br>10.どこまで書くか<br>11.発表　グループ8<br>12.発表　グループ9<br>13.発表　グループ 10<br>14.良いエッセイについて<br>15.まとめ<br>【授業の進め方】<br>授業の軸は、発表と討論。幾つかのグループをつくり、各グループ持ち回りで、テーマを決めて作品を発表する。残った時間を、レクチャーにまわすという形式で進める。 | | |
| テキスト・参考文献 | なし。それぞれの作品が教科書代わりなので、自分の作品に対する矜持と、他者の作品に対する敬意を忘れないこと。 | | |
| 試験・評価方法 | 発表 50%。レポート 40%。コメント 10%。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 【履修上の注意】<br>・女子学生に限る。<br>・発表の日には、きちんと作品を準備すること。<br>【事前･事後学修】<br>とにかく書くことに力点を置く。授業前に発表者は作品を必ず用意する。それ以外は、他者の作品へのコメントもきちんと整理すること。作品とコメントについて、毎回まとめておくこと。講義に関する要望があれば、遠慮なく申し出ること。 | | |

# ジェンダー・セクシュアリティ論 B

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 椙山女学園大学 | 科目コード | 292406 |
| 担当教員 | 藤原　直子<br /><br />（人間関係学部教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　金曜日：2 限（1050～1220） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 日進キャンパス 2 号棟 2-402 室 | | |
| 履修条件 | 女子学生に限る。 | | |
| 募集定員 | 30 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 【授業のテーマ】<br>現代社会におけるジェンダー、セクシュアリティをめぐる諸問題<br>【授業の到達目標/育成する能力】<br>現代社会における性をめぐる諸問題を発見し、解決しようとする態度を養う。そのために、ジェンダー、セクシュアリティに関する知識・理解を深めるとともに、じぶんの＜生・性＞の在り方を考える。さらに、ジェンダーの平等とセクシュアリティの多様性という視点を獲得し、性に関わる人権侵害の問題を理解する。〔知識･理解、態度･志向性〕<br>【授業内容】<br>ジェンダーやセクシュアリティをめぐる諸現象を分析し理解を深める。<br>この講義では、これまでに蓄積されたジェンダー論・セクシュアリティ論を理解したうえで、具体的な事象・トピックを取り上げ、現状としてどのような問題が提起されているのかとともに、自分自身の問題として「性」と「生」について考察する。以下のようなトピックを取り上げる予定である。[1]性の多様性という側面から、同性愛/異性愛、セクシュアリティとアイデンティティ形成について考察し、[2]現代社会におけるジェンダー構造という側面から、性差別や性暴力について考え、[3]心身とジェンダーという視点から、性同一性障害について考察する。<br>【授業計画】<br>1.日常生活世界におけるジェンダーの諸相<br>2.性に関する基本的概念を理解する<br>3.ジェンダーの多様性：現代社会における性別二元制<br>4.性同一性障害：性に関するアイデンティティの諸相<br>5.性同一性障害②：現代社会におけるジェンダー体制<br>6.ゲスト・スピーク<br>7.セクシュアリティの多様性：性的指向に関する理解を深める<br>8.セクシュアリティの多様性②：セクシュアル・マイノリティをめぐる諸問題<br>9.ゲスト・スピーク<br>10.同性間のパートナーシップ：現代社会におけるカップルの法的保障<br>11.同性婚をめぐって<br>12.性暴力について考える：デート DV、セクシュアル・ハラスメント<br>13.ゲスト・スピーク：ドメスティック・バイオレンスを考える<br>14.子をもつということ<br>15.まとめ<br>【授業の進め方】<br>講義形式。必要に応じて DVD 教材を使用。 | | |
| テキスト・参考文献 | 参考書は授業中に適宜指示する。 | | |
| 試験・評価方法 | 授業時のコメント用紙への記載内容 40%、定期試験レポート 60% | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 【履修上の注意】<br>・女子学生に限る。<br>・受講希望者数と教室の都合により、同時限開講の吉田先生とクラス分けを行います。 | | |

| | |
|---|---|
| | 【事前·事後学修】<br>授業への意欲的な参加を求めます。授業に関わるテーマについて、新聞等のメディアからの情報をチェックしておくことを心がけてください。普段から考えることで授業の理解がより深くなると思います。 |

# 仕事学概論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 椙山女学園大学 | 科目コード | 292407 |
| 担当教員 | 上嶋　正博（文化情報学部教授）<br /><br /><br>後藤　宗理（看護学部教授） | | |
| 学年配当 | ２年,３年,４年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　月曜日：５限（1640～1810） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 社会・マスコミ・情報 | | |
| 教室 | 星が丘キャンパス文化情報学部メディア棟メ 127 | | |
| 履修条件 | 女子学生に限る。 | | |
| 募集定員 | 30 | 募集時期 | ４月,９月 |
| 講義概要 | 【授業のテーマ】<br>仕事についての考え方と必要とされるスキル等の基礎的習熟<br>【授業の到達目標/育成する能力】<br>社会的・職業的自立のため必要とされる仕事と自身の関係について関心をもち、解決すべき課題を見つけ取り組む志向性を身につけ、現代社会に積極的に参画しようとする態度を醸成する。また、ストレスマネジメント・主体的行動等の自己理解・管理能力を育成するとともにコミュニケーション・問題発見等のスキルを身につける。〔態度･志向性、技能･表現〕<br>【授業内容】<br>社会的・職業的自立のために必要とされる「考え方」・「知識」・「スキル」について、心理学領域・社会学領域２名の教員がオムニバス方式で授業を進める。具体的には、職業の世界への入り方と行動様式を心理学の立場からその手がかりを示すとともに、職業の世界での生きがいと実生活でのバランスを考える手がかりをも提供する。さらに組織の在り方、必要とされる基礎的な法知識や各種スキルについても紹介し、社会・職業への円滑な移行を図る。<br>【授業計画】<br>1.ガイダンス(後藤・上嶋)<br>2.職業に何を求めるか(後藤)<br>3.職業社会化の過程(後藤)<br>4.組織の中での人間(後藤)<br>5.ワークライフバランス(ゲストスピーカーの招聘)(後藤)<br>6.ストレスとカウンセリング、メンタリング(後藤)<br>7.キャリア・アンカーの考え方(後藤)<br>8.働くことの意味をめぐって(上嶋)<br>9.仕事に必要な「知識」Ⅰ<br>　組織の在り方と職位・職務、権限・責任(上嶋)<br>10.仕事に必要な「知識」Ⅱ<br>　職場と仕事の法知識入門(ゲストスピーカーの招聘)(上嶋)<br>　＜予習：事前に配付された資料に眼を通し疑問点・確認点を整理しておく＞<br>11.職場における「コミュニケーションスキル」(上嶋)<br>　＜復習：実習での学び・気づきを整理しておく＞<br>12.職場における「問題発見スキル」(上嶋)<br>　＜復習：実習での学び・気づきを整理しておく＞<br>13.「事例」から学ぶ「仕事の進め方」(上嶋)<br>　＜予習：配付された「事例」に眼を通し疑問点・確認点を整理しておく＞<br>14.私の仕事論(ゲストスピーカーの招聘)(上嶋)<br>15.授業のまとめと整理(後藤・上嶋)<br>【授業の進め方】<br>講義を中心に授業を進めるが、必要に応じ DVD を視聴し、ゲストスピーカーとして実務者の招聘も予定している。またスキルを取り扱う際には簡単な実習を併用する。なお、「振り返りシート」を提出させるので授業への積極的な参加が期待される。 | | |
| テキスト・参考文献 | 【参考書】<br>授業との関連において、その都度指示する。なお、必要な資料はその都度配付する。 | | |
| 試験・評価 | 評価は、100 点満点とし、２名の担当教員が出題する課題 80%・授業参加度 20%のウエイト | | |

| | |
|---|---|
| 方法 | で評価する。 |
| 別途必要な経費 | なし |
| その他特記事項 | 【履修上の注意】<br>・女子学生に限る。<br>・グループワークなどの際には、先ずは自分で考え、そして他の履修生と積極的に意見を交換することを期待する。<br>【事前･事後学修】<br>事前に配付される資料については１時間程度をかけ、眼を通し疑問点・確認点を整理し授業に出席すること。また、授業で出てくる専門用語については、授業後、整理し定着させ、次の授業に出席すること。 |

# 情報社会史

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 椙山女学園大学 | 科目コード | 292408 |
| 担当教員 | 米田　公則<br /><br />（文化情報学部教授） | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　金曜日：1 限（910～1040） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 社会・マスコミ・情報 | | |
| 教室 | 星が丘キャンパス文化情報学部棟 319 | | |
| 履修条件 | 女子学生に限る。 | | |
| 募集定員 | 30 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【授業のテーマ】<br>メディア発達の歴史と社会への影響－－－世界史的視点からのメディアと社会の関係を考える。<br>【授業の到達目標/育成する能力】<br>メディアの発達が社会へどのような影響を与えてきたかについての知識を修得し、メディアと社会の関係を歴史的な観点から理解し、現代におけるメディアの影響を理解する基礎的態度を身につける。〔知識･理解、思考･判断、態度･志向性〕<br>【授業内容】<br>現代社会を表すキーワードの一つとして「情報化」がある。今日「情報」のあり方の変化は、個人の生活のみならず、社会全域に大きな影響を与えている。本講義では、はじめに「情報」「情報化」「コミュニケーション」「メディア」などの基本的概念を考察し、その後、メディアの発達の歴史について概観し、それが社会にどのように関係し、影響を与えてきたのかを解明する。最後に、情報化の進展の中で私たちの生活と社会がどのような影響を受けつつあるのかを検討する。<br>【授業計画】<br>1.情報と情報化<br>2.コミュニケーションとメディア<br>3.メディアの発達史 I(文明の発達とメディア)<br>4.メディアの発達史 II(印刷革命、市民革命と公共圏)<br>5.メディア発達の社会的影響 I(近代とメディア)<br>6.メディアの発達史 III(マスメディア革命)<br>7.メディア発達の社会的影響 II(大衆とメディア)<br>8.メディアの発達史 IV(デジタル・メディア革命)<br>9.メディア発達の社会的影響 III(グローバリゼーションとの関わりで)<br>10.情報社会論の考え方と争点<br>11.情報社会論と世界システム１(世界システム論からの理解)<br>12.情報社会論と世界システム２(現代の位置づけ)<br>13.メディア、情報、コミュニティ<br>14.今日の情報化と社会への影響<br>15.まとめ<br>【授業の進め方】<br>講義を中心に授業を進める。学生の理解を深めるために、随時資料を配付する。 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書は使用しない。<br>授業中に参考文献、資料を紹介する。 | | |
| 試験・評価方法 | 筆記試験。<br>途中でレポートを課す予定。(7回の授業の後を予定)<br>筆記試験とレポートを総合的に評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 【履修上の注意】<br>・女子学生に限る。<br>・座席指定にして、授業を行う。<br>講義内容等についてわからないことや気づいたことがあったら、授業中でも質問をすること。 | | |

| | |
|---|---|
| | 多少、歴史的知識(特に世界史)が必要となると思われる。知識の不足している学生のためになるべく、それを資料などで補いたい。<br>わらかないことは、どんどん質問してほしい。<br>【事前･事後学修】<br>理解を深めるために、授業中に参考文献などを提示する。これにより、より深い理解が進むことが期待できる。<br>事前の学習として、授業計画にある用語について調べ、意味を理解しておくこと。<br>事後の学習としては、授業中に配られた資料で使われている用語の意味と授業で話された内容を、毎回まとめていくこと。 |

# 金融政策論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 椙山女学園大学 | 科目コード | 292409 |
| 担当教員 | 植林　茂<br /><br /><br />（現代マネジメント学部准教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　水曜日：3 限（1320～1450） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 星が丘キャンパス現代マネジメント学部棟 307 | | |
| 履修条件 | 女子学生に限る。 | | |
| 募集定員 | 30 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【授業のテーマ】<br>中央銀行の役割、金融政策<br>【授業の到達目標/育成する能力】<br>中央銀行の役割や金融政策の運営・効果などについて、理論、実際の展開両面から理解することを目標とする。〔思考･判断、態度･志向性〕<br>【授業内容】<br>中央銀行の役割、金融政策の基礎理論、関連知識を把握したうえで、実際の金融政策の展開を学ぶ。<br>【授業計画】<br>1.イントロダクション<br>2.金融政策の基礎理論(1)：信用創造・金融仲介：情報生産、直接金融・間接金融<br>3.金融政策の基礎理論(2)：金融政策の基本的ツール、金融調節、プルーデンス政策<br>4.金融政策の目的、改正日本銀行法<br>5.金融政策の手段と効果<br>6.金融調節と短期金融市場<br>7.資金需給と金融調節<br>8.金融政策の運営(1)：金融政策決定会合、展望レポート<br>9.金融政策の運営(2)：二段階アプローチと誘導型アプローチ、議事要旨、主な意見<br>10.バブルの発生・崩壊と金融政策<br>11.為替レート、通貨制度と金融政策<br>12.金融政策のマクロ経済学(1)：財市場と貨幣市場、IS-LM 分析<br>13.金融政策のマクロ経済学(2)：開放経済での金融政策、トランスミッションメカニズム、<br>14.アベノミクス下での現行金融政策の展開(1)：インフレーションターゲティング、ゼロ金利政策、量的緩和、非伝統的政策<br>15.アベノミクス下での現行金融政策の展開(2)：マイナス金利、長短金利操作付き量的・質的金融緩和<br>【授業の進め方】<br>講義形式(パワーポイントとサマリー配布) | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】<br>酒井良清・榊原健一・鹿野嘉昭[2011]『金融政策(第３版)』有斐閣<br>【参考書】<br>翁邦雄[2013]『日本銀行』ちくま新書 | | |
| 試験・評価方法 | 期間中に求める小レポート 40%、期末試験 60% | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 【履修上の注意】<br>・女子学生に限る。<br>・今、実際に行われている金融政策は、伝統的な金融政策とは大きく異なっており、内容も技術的な部分を含んでいます。日頃から、金融経済に関心を持ち、新聞・ニュースなどに目を通してください。<br>また、現行金融政策はかなり過去に例のないもので、指定教科書で書かれている域を大きく超え | | |

| | |
|---|---|
| | ていますので、疑問点についてはオフィスアワーや E-mail を活用して質問してください。<br>【事前･事後学修】<br>事前学習：教科書の関連部分の予習、新聞、ニュースなど関連金融経済記事に興味を持って目を通すこと。教科書の該当箇所を 45 分程度かけて読むことが望ましい。<br>事後学習：教科書の関連部分の復習、配布資料・講義ノートの復習(45 分程度)。理解できなかったところは、教科書等で復習するか、次回の授業の時に質問できるようにすること。 |

# 経営戦略論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 椙山女学園大学 | 科目コード | 292410 |
| 担当教員 | 石井　圭介<br /><br />（現代マネジメント学部准教授） | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　水曜日：3 限（1320～1450） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 星が丘キャンパス現代マネジメント学部棟 205 | | |
| 履修条件 | 女子学生に限る。 | | |
| 募集定員 | 30 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【授業のテーマ】<br>戦略による組織の環境適応<br>【授業の到達目標/育成する能力】<br>現代の経営戦略論について、体系的知識の習得(理論)と共に事例研究にも取り組み、理論的・実践的知識を習得する。〔知識･理解、思考･判断〕<br>【授業内容】<br>組織(主に企業)が成長・発展を遂げるためには環境変化に適応し、またその変化を先取りするような経営を展開していかなければならない。その企業行動に一定の方向性や指針を提供するものが経営戦略である。本講義では、近年の企業を取り巻く環境変化を視野に、企業はいかにして差別化を図り、競争優位を築き、戦略的な価値を生み出すのかについて考察する。<br>【授業計画】<br>1.ガイダンス<br>2.プロローグ・事例研究：多角化戦略<br>3.現代社会と企業①：社会構造の変化<br>4.現代社会と企業②：企業の内部環境<br>5.経営戦略の概念と体系①：全社戦略<br>6.経営戦略の概念と体系②：競争戦略<br>7.製品市場戦略と多角化<br>8.資源展開戦略とＰＰＭ<br>9.競争戦略と競争優位<br>10.経営戦略の策定プロセス<br>11.事例研究：差別化戦略<br>12.経営戦略と組織<br>13.ネットワーク組織と組織間関係<br>14.事例研究：競争戦略<br>15.総　括<br>【授業の進め方】<br>レジュメを使った講義が中心となるが、コメント用紙(小レポート)などを用いた双方向的な形式も採る。 | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】<br>講義中にレジュメ、資料等を配付する。<br>【参考書】<br>金井一頼他(2006)『経営戦略[新版]』有斐閣アルマ<br>石井圭介(2011)『戦略的価値の創造』標準化研究学会<br>岸田民樹 編著(2009)『組織論から組織学へ』文眞堂 | | |
| 試験・評価方法 | 毎回のコメント用紙による平常点を重視し、総合的に評価を行う。(初回に詳細を説明)平常点 50%、論述式試験 30%、レポート 20% | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 【履修上の注意】<br>・女子学生に限る。<br>・最低限のルールが守れる学生に限る。 | | |

| | |
|---|---|
| | 受講なさる皆さんとは、学生と教員という関係ではあるものの、互いに節度ある社会人として真摯に講義に取り組んでいきたいと考えている。また、皆さんには、特に「考えること」と「表現すること」から“論理的思考力”を身に付けてほしいと思う。きっと一生の財産になるであろう。<br>【事前･事後学修】<br>今、そしてこれからを前向きに取り組もうとする学生であること。<br>事前学習：配布された資料を事前に読み、自分なりの課題を明らかにしておく。<br>事後学習：重要ポイントをまとめ、さらに新聞や雑誌の関連する記事を読んだり、ＰＣで興味ある分野について詳しく調べる。 |

# 環境の科学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 椙山女学園大学 | 科目コード | 292411 |
| 担当教員 | 野﨑　健太郎<br /><br /><br />（教育学部准教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　火曜日：1 限（910～1040） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 地球・環境・エネルギー | | |
| 教室 | 星が丘キャンパス教育学部棟 A301 | | |
| 履修条件 | 女子学生に限る。 | | |
| 募集定員 | 30 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【授業のテーマ】<br>環境問題の現状と課題はどうなっているのか<br>【授業の到達目標】<br>保育者・教員、そして社会人として、21 世紀の世界的課題である環境問題の現状と解決への道筋を子どもたち、家族、友人、地域、世界で説明できるようになる<br>【授業内容】<br>受講生に地域及び地球環境問題がどのような仕組みで生じているのかを理解させ、その解決のためには自分自身がどのような行動を取るべきなのかを考えさせることを目的とする。環境問題に対する意識を高めていくには、受講生自身の生活と環境問題との関係を認識させることが欠かせない。そこで我々が日常消費している資源、エネルギーと、排出しているゴミ、汚染物質の現状から環境問題を解説していく。そして解決策として重要なことは、技術の革新とともに我々の生活態度の改変にあることを結論とする。<br>【授業計画】<br>1.環境問題の本質とは何か～物質循環の視点から環境問題をとらえる(野崎担当)<br>2.水の環境問題-1～安全な飲み水は確保できるのか(野崎担当)<br>3.水の環境問題-2～河川、湖沼や海の汚染(野崎担当)<br>4.農業と環境問題-1～地球は何人養えるのか(受講生)<br>5.農業と環境問題-2～食の安全とは何か(受講生)<br>6.大気汚染と酸性雨～健康被害と自然破壊(受講生)<br>7.オゾン層破壊と紫外線～日本で紫外線は増えているのか(受講生)<br>8.地球温暖化１：温暖化の仕組み(受講生)<br>9.地球温暖化２：温暖化によって引き起こされる被害(受講生)<br>10.地球温暖化３：温暖化は本当なのか(受講生)<br>11.ごみ問題１～現状はどうなのか(受講生)<br>12.ごみ問題２～ごみ減量への道筋(受講生)<br>13.人工化学物質と健康(受講生)<br>14.新しいエネルギー～化石燃料からの転換を目指して(受講生)<br>15.生物の多様性(受講生）<br>【授業の進め方】<br>受講者が確定しだい座席指定とする。学籍番号とは関係ない3～4人で班を組んでもらう。その割り振りは教員が行う。この授業では最初の3回を野崎(担当教員)が中心となって行うが、4回目以降は、受講生(班ごと)が分担し講義を行う。講義を担当しない受講生は講義への質問や補足を行い、授業内容の質の向上に寄与してもらう。 | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】<br>環境学－21 世紀の教養，京都大学で環境学を考える研究者たち編，朝倉書店，2014 年4月発行，定価 2,700 円＋税<br>【参考書】<br>各単元ごとに授業の中で紹介する。 | | |
| 試験・評価方法 | 原則として定期試験の得点で判定する。<br>なお、担当した講義の内容、授業への参加態度を加味する場合がある。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |

| | |
|---|---|
| その他特記事項 | 【履修上の注意】<br>・女子学生に限る。<br>・受け身で講義を聞きたい方には向かない。授業の後半に質疑応答の時間を取ります。積極的な発言をお願いします。環境問題は解決できるはずです。<br>【事前･事後学修】<br>授業方法の欄で説明するが、この授業は受講生の参加によって成り立つ形式をとる。従って、受講生は積極的に資料を調べ、討論に参加してもらう。教員からの情報を一方的に受け取る講義式の授業が良い者には向かない。授業を担当する班は、事前学習として授業で用いる資料、板書案を準備し担当教員と事前に打ち合わせを行う。事後学習は授業内容に関連した課題を出す。 |

# 安全学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 椙山女学園大学 | 科目コード | 292412 |
| 担当教員 | オムニバス | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　土曜：集中（910～1040）集中 10501220 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 地球・環境・エネルギー | | |
| 教室 | 星が丘キャンパス文化情報学部メディア棟メ 001 | | |
| 履修条件 | 女子学生に限る。 | | |
| 募集定員 | 30 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【授業のテーマ】<br>安全学（自然災害）<br>【授業の到達目標】<br>地震や豪雨などの自然災害のリスクを理解し、安全確保や生活支援のできる人材となるため、防災の実践的知識を多方面の分野から修得する。<br>【授業内容】<br>近い将来に発生するであろうと言われている南海トラフ大地震（東海、東南海及び南海地震、あるいはこれらの３連動地震）など大規模な自然災害を想定し、災害に対する科学的な知識を得るとともに、常に防災意識を持ち、災害時に的確な判断と適切な行動ができる能力を身につける。また、演習や実習を通して、いざという時に地域防災に貢献できる専門的な知識やスキルを学ぶものである。<br>【授業計画】<br>1.防災の基本的発想（福和　5月２０日　１限）<br>2.地球温暖化と気象災害（坪木　5月２０日　２限）<br>3.災害と報道～東日本大震災を映像で語り継ぐ～（栃窪　5月２７日　１限）<br>4.公助と防災情報の活用：ハザードマップ、気象情報の読み方（山根　5月２７日　２限）<br>5.①愛知県の災害と防災対策、家庭・地域での備え。<br>②愛知県の災害と防災対策、家庭・地域での備え、地域防災力（演習を含む。）<br>（時岡・早川　6月３日　１・２限）<br>6.災害時の医療（災害医療と救急医療の違いを知る。過去の災害から学んだ教訓。<br>大規模災害に備えて我々に求められること。）（杉浦　6月１０日　１限）<br>7.災害時の心理、行動：正しく恐がるために（山根　6月１０日　２限）<br>8.大規模災害時の食の備え（個人・家庭での備えと公的備蓄）（及川　6月１７日　１限）<br>9.災害に備える衣服（着衣着火・寒さ暑さ、倒壊物から身を守る衣服）（橋本　6月１７日　２限）<br>10.都市インフラと災害情報のあり方について（平山　6月２４日　１限）<br>11.建築の耐震安全性Ⅰ（清水　6月２４日　２限）<br>12.建築の耐震安全性Ⅱ（清水　7月１日　１限）<br>13.被災者の心のケア（李　7月１日　２限）<br>14.災害時における女性の安全・安心学（中嶋　7月８日　１限）<br>15.被災地の学びと教訓を生かすために今できること（浦野　7月８日　２限）<br>【授業の進め方】<br>講義を中心とするが、必要に応じて課題研究やディスカッション等の演習や実習を行い、学生自身が能動的に学習するアクティブラーニング型の授業を行います。 | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】<br>必要に応じ、「授業プリント」を配付します。<br>【参考書】<br>随時、紹介します | | |
| 試験・評価方法 | 毎回の授業後、小レポートを提出し、10 点満点で評価します。<br>全 15 回の合計点を 100 点満点に換算して最終評価とします。学期末の筆記試験は行いません。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |

| | |
|---|---|
| その他特記事項 | 【履修上の注意】<br>・女子学生に限る。<br>・第５回目（６月３日）は、星が丘キャンパスに全員集まってもらい、１・２時限連続で簡単な防災グッズ作成とグループワークを行います。各自、新聞紙、はさみを持参してください。<br>【事前･事後学修】<br>事前学習は、授業計画の各テーマに沿ってインターネットや書籍・新聞などを活用し、積極的にインフォメーション（資料）を集め、問題意識を持って授業に参画できるようにしてください。<br>事後学習は、授業で配付される「授業プリント」を活用し、資料をインテリジェンス（情報）として活用できるようにしてください。 |

# 欧米企業論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 星城大学 | 科目コード | 292501 |
| 担当教員 | 雨宮　康樹（経営学部教授） | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　木：3 限（1300～1430） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 本学キャンパス本館 2301 教室 | | |
| 履修条件 | なし | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 長い歴史と独自の文化を持つ欧州各国の経済や企業について解説する。講義では仏独英を中心に経済・経営の説明に加え文化についても大いに語る予定である。また、アメリカ企業については、欧州各国との対比を通してその特質を明らかにする。数年来ユーロ危機が顕在化しているが、ユーロ経済の将来や現在の危機の本質についても説明を行いたい。この講義を通してヨーロッパの経済や文化をより身近に感じられるようになればうれしい。<br><br>1 欧州とは何か（1） 欧州の歴史と地理上の範囲の変遷　ヨーロッパ諸言語<br>2 欧州とは何か（2） ローマ文化　中世ヨーロッパとキリスト教文化　イスラム文化<br>3 2つの資本主義（1） アングロサクソン型資本主義とライン型資本主義<br>4 2つの資本主義（2） 市場経済の伝統と英米企業　社会民主主義と独仏企業<br>5 EU とユーロ経済圏 欧州経済統合の歴史と共通通貨ユーロ<br>6 フランスの経済 仏の新大統領　中央集権国家とディリシズム　教育制度<br>7 フランス企業（1） 国有企業　仏の重要産業　航空機産業　原子力発電　高速鉄道<br>8 フランス企業（2） ファッション産業　グルメの国フランス　ブランドビジネス<br>9 ドイツの経済 連邦国家と地方分権　東西ドイツ統合　教育制度<br>10 ドイツ企業（1） 社会的市場経済とドイツのコーポレートガバナンス<br>11 復習 前半のまとめと確認<br>12 ドイツ企業（2） 強い製造業と中小企業　分散している産業都市<br>13 英国の経済 市場経済の伝統　サッチャリズムと新自由主義<br>14 英国企業 英国系多国籍企業　衰退する製造業　金融業<br>15 欧州経済の今後 現状の問題点と将来展望<br>16 期末試験 15 コマの復習・確認・総まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | 購入教科書なし | | |
| 試験・評価方法 | 期末試験（80%）および出席（20%）、期末試験を実施する | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 講義開始時に履修上のルールを説明する。 | | |

# シリアスゲーム演習

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 星城大学 | 科目コード | 292502 |
| 担当教員 | 天野　圭二（経営学部教授）<br />×<br />br /><br />野村　淳一（経営学部准教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 1 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　月：4 限（1440～1610） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 本学キャンパス地域交流プラザ | | |
| 履修条件 | 経営学の基礎知識を有する事。 | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 　シリアスゲームとは「教育や社会における問題解決のためにデジタルゲームを開発・利用する取り組み」であり、これを用いて課題解決型の演習を行う。本演習は教材となるハードウェアの物的制約があるため、定員を設ける。<br>　本演習は経営学の体系を体験的に理解することを目的とする科目である。1 年次に学習した基礎 4 科目が身についているかを仮想実践的に再確認し、2 年後期から始まる専門科目で学ぶことになる内容の事前確認を目標とする。<br>演習では「自らがゲーム内で直面する場面を、各科目で教えられている経営学の知識を用いて解決・改善する」ことに重きを置く。本講義の到達目標としては、以下を挙げる。<br>1） 自らが直面する場面を、各科目で教えられている経営学の知識を用いて解決・改善することができる。<br>2） 関連する各科目で教授されている経営学上の概念を自ら説明、活用することができる。<br><br>1 演習概要説明 シリアスゲーム概論、経営学基礎テスト<br>2 必修ゲーム：ゲームプレイ チーム個別指導、クリア要因の考察<br>3 必修ゲーム：発表・解説 クリア要因の発表、経営学による解釈方法<br>4 必修ゲーム：課題設定 チーム個別指導、学習課題設定、関連概念整理、事前レポート<br>5 必修ゲーム：発表・ゲームプレイ 学習課題の発表、チーム個別指導<br>6 必修ゲーム：ゲームプレイ チーム個別指導、関連科目表<br>7 必修ゲーム：報告・評価 プレゼンテーション、ピア評価、事後レポート、経営方針の立案<br>8 必修ゲーム：コンテスト ゲームプレイコンテスト、経営方針の実践<br>9 選択ゲーム：課題設定 学習課題設定、関連概念整理、関連科目表、ゲーム選定<br>10 選択ゲーム：課題設定 学習課題設定、関連概念整理、関連科目表、事前レポート<br>11 選択ゲーム：発表・ゲームプレイ 学習課題の発表、プレゼンテーション、ピア評価、ゲームプレイ<br>12 選択ゲーム：ゲームプレイ 個別指導、関連科目表<br>13 選択ゲーム：中間報告 プレゼンテーション、ピア評価、自己評価、学習課題の修正<br>14 選択ゲーム：ゲームプレイ 個別指導、関連科目表、関連概念再整理<br>15 選択ゲーム：ゲームプレイ 個別指導、関連科目表、プレゼン資料作成<br>16 選択ゲーム：総括報告 プレゼンテーション、ピア評価、事後レポート、経営学基礎テスト | | |
| テキスト・参考文献 | 経営学に関する資料 | | |
| 試験・評価方法 | レポート：20 点×2 回、報告：20 点×2 回、議論への参加度：10 点、コンテスト：5 点、経営学基礎テスト：5 点 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | チームを作っての協調学習であるため、欠席厳禁 | | |

# 中国経済事情

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 星城大学 | 科目コード | 292503 |
| 担当教員 | 日下部　直美（経営学部講師） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　木：2 限（1050～1220） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 本学キャンパス本館 1203 教室 | | |
| 履修条件 | なし | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 1978 年に改革開放政策が始まり、中国経済は驚異的な飛躍を遂げている。2010 年には GDP が日本を追い抜き、世界第 2 位となり、その後も現在に至るまで発展し続けている。日本は、経済大国となった中国と密接な関係にあり、2012 年の尖閣諸島の問題等によって悪化した日中関係も現在は回復しつつある。今後、良好な日中関係を築くためには中国という国と向き合い、冷静に中国を理解することが必要であろう。本講義では、中国経済に関する時の話題を充分に理解できるレベルまで到達することを目指し、その延長で中国経済の発展を多角的に捉えて、動向を把握することができる。<br><br>1 現在の中国経済の概要（1） 世界における中国経済、中国との貿易関係<br>2 現在の中国経済の概要（2） 私達の生活と中国経済との関連、中国に対する輸入依存度<br>3 新中国成立後の中国経済（1） 第二次世界大戦後の中国、資本主義・社会主義・共産主義<br>4 新中国成立後の中国経済（2） 社会主義への転換、人民公社<br>5 新中国成立後の中国経済（3） 大躍進運動における政治・経済、調整政策<br>6 新中国成立後の中国経済（4） 文化大革命における政治・経済<br>7 改革開放政策（1） 鳥籠経済論、先富論、経済特区<br>8 改革開放政策（2） 人民公社解体、郷鎮企業の成立、計画的商品経済<br>9 中間課題 1 回～8 回までの復習・確認<br>10 社会主義市場経済（1） 計画経済と市場経済、南巡講話<br>11 社会主義市場経済（2） 国有企業、国内統一市場の形成<br>12 社会主義市場経済（3） 四つの基本原則、三つの代表<br>13 社会主義市場経済（4） WTO 加盟、GDP の推移<br>14 問題点と今後の課題（1） 貧富の格差（ジニ係数）、シャドーバンキング<br>15 問題点と今後の課題（2） エネルギー問題、環境問題<br>16 期末試験 15 コマの復習・確認、総まとめ・レポート | | |
| テキスト・参考文献 | プリント教材を用いる。<br>参考文献：南亮進・牧野文雄編　『中国経済入門　世界第二位の経済大国の前途』 日本評論社 | | |
| 試験・評価方法 | 講義参加態度、出欠状況、課題・レポートの提出状況などにより総合的に判断する。平常点（出席率・授業に対する積極性等）30%とレポート点（中間課題と期末レポートなど）を 70%として評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 日経ビジネスなどの専門誌やインターネットなどで国際・経済の記事と論評に目を通し、中国及び各国の情勢について理解しておくこと | | |

# 女性経営者論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 星城大学 | 科目コード | 292504 |
| 担当教員 | 赤岡　美津子（経営学部教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　水：3 限（1300～1430） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 本学キャンパス本館 1201 教室 | | |
| 履修条件 | なし | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 社会における女性の役割の重要性が日々喧伝されている。しかし実際に社会に進出し、ワークライフバランスを獲得し、自己実現としての労働を享受するには、未だ壁は厚い。性別役割分業の文化は根強く存在しており、生き方を限定されることも多い。本授業では、女性の辿ってきた歴史を学び、社会での女性の役割や位置づけを捉え直し、活躍している女性達からも学びたい。それを通して各人が今後のキャリアデザインをなし、社会で活躍するための可能性と方向性、具体的な「自分のこれから像」を獲得していくことを目標とする。男性諸君の受講も大いに歓迎である。<br><br>1 総論Ⅰ・女性史　1 オリエンテーション・古代～近世の女性の状況・女大学<br>2 総論Ⅱ・女性史　2 明治～敗戦の女性の状況：良妻賢母主義・青鞜・大戦下の女性<br>3 総論Ⅲ・女性史　3 大戦後の女性の状況：憲法・民法・労働基準法・男女雇用平等法<br>4 総論Ⅳ・ジェンダー論　1 ジェンダーの概念・ジェンダーと言葉・ジェンダーとメディア<br>5 総論Ⅴ・ジェンダー論　2 ジェンダーと教育：男女別学・良妻賢母・男女共学・家庭科共修<br>6 総論Ⅵ・ジェンダー論　3 ジェンダーと労働：性別職務分離・生産労働と家事労働・家族<br>7 中間報告・研究発表 自主的なテーマを設定と、発表・質疑応答<br>8 各論Ⅰ・女性文化論　古典に見る女性キャリアと労働環境：紫式部論・清少納言論<br>9 各論Ⅱ・働く女性の現状と課題 女性の就業構造・特質・均等法の課題・継続就業支援策<br>10 各論Ⅲ・女性のキャリアデザイン ポジティブアクション・非正規雇用・派遣とキャリア形成<br>11 各論Ⅳ・多様な働き方と社会 ファミリーフレンドリー施策・ダイバーシティー<br>12 各論Ⅴ・出産、子育てを巡る状況 保育制度・休業時短制度・経済的支援・目指すべき方向<br>13 各論Ⅵ・女性が働ける社会の展望 「女性」の視点からの働き方の変革・今後の方向性<br>14 事例研究Ⅰ・女性経営者研究１ 女性経営者についてのグループ研究と発表①<br>15 事例研究Ⅱ・女性経営者研究２ 女性経営者についてのグループ研究と発表②<br>16 期末試験 15 コマの復習・確認・総まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | 毎時間作成レジュメや資料を配布する<br>参考書『時代を生きた女達』　著者：総合女性史研究会編　朝日新聞出版・2010 | | |
| 試験・評価方法 | 定期試験 60%・出席点 10%・レポート点 20%・討論や質疑応答への参加点マナー点 10%<br>毎回のレポートは小テストとして扱う。期末に筆記試験を行う | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 日常的に女性労働を初めとする関連情報を積極的に収集し、自己の見解を持ち、授業に活用する | | |

# 建築デザイン論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 大同大学 | 科目コード | 292601 |
| 担当教員 | 佐藤　達生（工学部教授） | | |
| 学年配当 | ３年 | 単位数 | ２ |
| 開講日程 | ＜後期＞　月曜日：1 時限（900～1030） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ９月 |
| 講義概要 | 建築の本質は＜空間＞にあると考えられる。しかし，ここでいう空間とは，均一な広がりをもった数学的な空間，あるいは単なる容積としての物理的な空間のことではない。我々が生活し体験している空間は，場所の持つ様々の＜意味＞によって分節されていると考えられる。建築を設計するという行為は，構築物を造ることによって，場所に新しい意味を与えることだと言ってもよい。そして建築を理解するということは，具体的な造形をとおして,場所に与えられた意味を感じとることである。この講義では，＜意味＞と＜造形＞との関係，即ち建築デザインの＜論理＞を，具体的な建築作品の分析を通して開示してゆく。<br><br>1. 導入：デザインとは何か<br>2. デザインの論理について－(1)<br>「出雲大社庁の舎」（菊竹清則）の場合<br>3. デザインの論理について－(2)<br>フランク・ロイド・ライトの建築にみる「物語性」－1<br>4. デザインの論理について－(3)<br>フランク・ロイド・ライトの建築にみる「物語性」－2<br>5. デザインの論理について－(4)<br>フランク・ロイド・ライトの建築にみる「物語性」－3<br>6. 「設計」と「コンセプト」と「イメージ」<br>7. デザインの論理について－(5)<br>「銀閣寺」と「ファンズワース邸」と<br>「ロンシャン礼拝堂」にみる「物語性」<br>8. 建築の「空間」について<br>9. 建築の原理(「囲うこと」と「支えること」)からみた<br>西洋建築史の流れ：「壁の建築」と「柱の建築」<br>10. 古典系建築とは何か：調和の美<br>11. 古典系建築の発展：オーダーの展開<br>12. 中世系建築はなぜ壁の建築か<br>13. ゴシックの空間-(1)：ロマネスクからゴシックへ<br>14. ゴシックの空間-(2)：ゴシック空間の目指すもの<br>15. ドームの空間<br>16. 期末試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 「建築デザイン論」　＜大同大学建築学科＞　佐藤研究室編　2012 年<br><br>佐藤達生『図説　西洋建築の歴史』河出書房新社　2005<br>佐藤達生・木俣元一『大聖堂物語』河出書房新社　2001 | | |
| 試験・評価方法 | 期末試験の採点結果による。<br>授業への取り組みと各回のレポートをも参考にすることがある。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 環境河川工学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 大同大学 | 科目コード | 292602 |
| 担当教員 | 鷲見　哲也（工学部准教授） | | |
| 学年配当 | ３年 | 単位数 | ２ |
| 開講日程 | ＜前期＞　木曜日：２時限（1040～1210） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 水理学２では、開水路の水理学を学んだ。河川は開水路の流れである。<br>本講義では、堤防に挟まれた川の中の現象について、水の流れだけでなく、土砂や物質を運ぶ現象をまずは学ぶ。そして、洪水や渇水の対策（治水・利水）といった人間社会の問題を扱う一方で、人間や生物にとっての環境の役割についても扱い、これらの役割が互いに作用する問題について学ぶ。海岸までの「水系」の環境学として、以下について学ぶ.<br>・山地から海岸にかけての、水・土砂・物質の動く現象。<br>・河川の持つ自然や人間にとっての諸機能と、河川工学。<br>・都市における河川の役割（河川と都市環境）。<br>・生態系・水質・都市環境の側面から見たときに、上記の機能がそれらをどのように支え、歪めるのか、という関わり。<br>（河川計画に用いる雨から流量に至る流域での過程は、後期の流域水文学において学ぶ。本科目は河道内の問題に限定する。 ）<br><br>[1]ガイダンス・河川の管理目的<br>[2]流域・セグメント・リーチ<br>[3]河道形状の特徴<br>[4]治水（１）<br>[5]治水（２）<br>[6]利水（１）<br>[7]利水（２）<br>[8]土砂輸送と地形（１）<br>[9]土砂輸送と地形（２）<br>[10]人工物や植物による影響と相互作用系<br>[11]河道断面デザインの演習<br>[12]河川の変動と生物の生活史<br>[13]河川動態と生物応答１<br>[14]河川動態と生物応答２・多自然川づくり<br>[15]沿岸環境の劣化と改善<br>[16]期末試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 「河川工学」　＜コロナ社＞　川合茂　他著<br>「河川工学」　＜東京大学出版会＞　高橋裕<br>「構造沖積河川学」　＜山海堂＞　山本晃一 | | |
| 試験・評価方法 | レポート 20%及び期末試験 80%の総合評価 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 流域水文学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 大同大学 | 科目コード | 292603 |
| 担当教員 | 鷲見　哲也（工学部准教授） | | |
| 学年配当 | ３年 | 単位数 | ２ |
| 開講日程 | ＜後期＞　水曜日：３時限（1300～1430） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ９月 |
| 講義概要 | 地球上の水循環を扱う学問を水文学と言うが、この科目では特に、陸上の「流域」の循環を扱う。流域の水の循環・存在状況について、理解できるようにする。その上で、以下について学ぶ。<br>・雨の特徴、流域への影響<br>・雨の時間的な特徴と空間的な広がり、河川流量への影響<br>・流域の山腹に降った降水が、どの様な経路を経て河道に流出するのか。<br>・蒸発散として大気に戻る成分、降ってすぐに川に出てしまう成分、地中に留まって少しづつ流れて普段の川の流れとなる成分、の違い<br>・山地の森林や土壌のあり方が、川に出る水の量に与える影響<br>・雨の量（波形）が川の流量やその波形に変換する計算の考え方と方法<br><br>[1]流域水循環の概論、流域水文学の目的<br>[2]降雨の観測と概要<br>[3]降雨の時空間特性<br>[4]降雨の流域平均雨量（ティーセン法ほか）<br>[5]蒸発散と短期流出、長期流出<br>[6]浸透と有効降雨<br>[7]流域の森林・土壌の管理と緑のダム<br>[8]降雨の確率の整理１<br>[9]降雨の確率の整理２<br>[10]流出解析１：合理式法<br>[11]流出解析２：タンクモデル<br>[12]流出解析３：貯留関数法<br>[13]流出解析４：演習<br>[14]流量の観測と概要<br>[15]まとめ<br>[16]期末試験 | | |
| テキスト・参考文献 | プリント配布<br>「河川水文学」　＜森北出版＞　高瀬信忠　著<br>「水文学」自然地理学講座３　＜大明堂＞　榧根勇　編 | | |
| 試験・評価方法 | レポート（40%）や期末試験（60%）による評価 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 現代物理学１

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 大同大学 | 科目コード | 292604 |
| 担当教員 | 斉田　浩見（教養部准教授） | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２ |
| 開講日程 | ＜前期＞　木曜日：５時限（1620～1750） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 数学・物理・化学 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | アインシュタインの相対性理論の基礎的な講義です。<br>19 世紀までの物理学を支えた理論はニュートン力学です（大同大学では力学１・２・３でその一部を扱っています）。しかし 、19 世紀の終わりから 20 世紀初頭にかけて、ニュートン力学は厳密には正しくないことが、様々な実験によって明らかにされました。20 世紀以降の科学技術で達成可能な精密な実験結果を説明し、自然現象の詳細を理解するために、人類は新たな理論を作らなければならなくなったのです。<br>20 世紀以降に確立された物理学（いわゆる現代物理学）は、大きく分けて２つの理論によって支えられています。「相対性理論 」と「量子力学」です。現代物理学で得られている成果（電子顕微鏡、超伝導半導体、発光ダイオード、レーザービーム、人工衛星を使った精密なカーナビ、星の輝きの原因の説明、ビックバン宇宙論、核兵器などなど）は、この２つの理論が正しいと信じた上で導かれたものです。<br>現代物理１の授業では「相対性理論」を取り上げます。相対性理論は、「特殊」相対論と「一般」相対論の２つに大別されますが、特殊相対論を主に扱います。特殊相対論は「光速（30 万 km/s）はどの観測者から見ても不変である」ということに矛盾しないようにニュートン力学を拡張した理論です。その帰結として、「世の中の最高速は光速である」「人によって時間の進み方が変わる」「人によって長さが変わる」「タイムマシーンは禁止される」「質量はエネルギーに変化する」などの、直感的には不思議な現象を理解することができます。この授業では、この５つを理解することを目指します。<br>また、一般相対論にも触れる予定です。一般相対論は、特殊相対論を拡張して重力も扱えるようにした理論で、この宇宙を現代物理学的に理解する上では欠かせない理論です。一般相対論を正確に理解するには微分幾何学という高度な数学のテクニックをマスターしなければなりませんが、その数学は使わずに、可能な限り大雑把にビックバン宇宙論とブラックホールについて物理的なイメージだけ説明（紹介）することを試みます。<br>なお、講義担当の斉田は、相対性理論とそれを応用した宇宙物理学が専門の研究者です。授業中でも授業以外でも、物理学に関する質問や疑問を投げかけて下さい。現役第一線で研究をしている者として答ます。<br><br>[1] 導入：光、重力そして宇宙 ― ニュートン理論の有効範囲と限界 ―<br>[2] 特殊相対論の原理１：ガリレイの相対性原理<br>[3] 特殊相対論の原理２：光速不変の原理<br>[4] 特殊相対論の時空１：「距離」の概念の重要性<br>[5] 特殊相対論の時空２：ミンコフスキー時空<br>[6] 特殊相対論の帰結１：時間の遅れ、ローレンツ収縮<br>[7] 特殊相対論の帰結２：ローレンツ変換<br>[8] 特殊相対論の帰結３：速度合成則 ― 光速は超えられない ―<br>[9] 特殊相対論の帰結４：因果律とタイムマシーンの禁止[10]特殊相対論の帰結５：質量とエネルギー<br>[11]特殊相対論の限界<br>[12]等価原理<br>[13]一般相対論の原理と重力<br>[14]一般相対論の帰結と限界１：ブラックホール時空と中心特異点<br>[15]一般相対論の帰結と限界２：ビックバン宇宙論と初期特異点 | | |
| テキスト・ | プリント配布 | | |

| | |
|---|---|
| 参考文献 | 参考書：「物理学の基礎」山本邦夫 著、学術図書出版<br>「相対論入門」上・下、バーナード シュッツ 著（江里口 良治、二間瀬 敏史 訳）丸善<br>「観測的宇宙論」池内 了 著、東京大学出版会 |
| 試験・評価方法 | 自由科目（卒業に必要な単位に無関係な科目）なので、興味を持って参加すればOKです。 |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | |

# 現代物理学２

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 大同大学 | 科目コード | 292605 |
| 担当教員 | 斉田　浩見（教養部准教授） | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２ |
| 開講日程 | ＜後期＞　木曜日：５時限（1620～1750） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 数学・物理・化学 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | ９月 |

**講義概要**

原子サイズ以下の極微な物理を正確に記述する、量子力学の基礎的な講義です。
19 世紀までの物理学を支えた理論はニュートン力学です（大同大学では力学１，２，３でその一部を扱っています）。しかし 、19 世紀の終わりから 20 世紀初頭にかけて、ニュートン力学は厳密には正しくないことが、様々な実験によって明らかにされました。20 世紀以降の科学技術で達成可能な精密な実験結果を説明し、自然現象の詳細を理解するために、人類は新たな理論を作らなければならなくなったのです。
20 世紀以降に確立された物理学（いわゆる現代物理学）は、大きく分けて２つの理論によって支えられています。「相対性理論 」と「量子力学」です。現代物理学で得られている成果（電子顕微鏡、超伝導半導体、発光ダイオード、レーザービーム、人工衛星を使った精密なカーナビ、星の輝きの原因の説明、ビックバン宇宙論、核兵器などなど）は、この２つの理論が正しいと信じた上で導かれたものです。
現代物理２の授業では「量子力学」を取り上げます。自然現象を理解する上での考え方としては、相対論よりも量子力学のほうが、人間の直感を遥かに超越した「モノの見方」を要求しています。例えば「粒子の運動（位置と速度）を 100 パーセント正確に予測することは原理的に不可能である（不確定性原理）」というモノの見方です。その帰結として「様々な種類の原子が崩壊せずに安定して存在できる」ことが初めて理解できるのです（ボーアの原子モデル）。この授業では、量子力学がもつ思想（量子論的な自然観）の必要性と内容と説明した上で、ボーアの原子モデルとその応用を理解することを目指します。
また、不確定性原理の別の帰結として「完全に密閉した箱の中に閉じ込めた電子（などの粒子）が壁をすり抜けて外に現れたり、逆に箱の外の電子が壁をすり抜けて中に入ってしまう」という現象が理解できます。この「壁のすり抜け（トンネル効果 ）」は、原子核反応や発光ダイオードの基礎となる現象です。これを理解するためには、複素関数の微積分をマスターする必要がありますが、その数学は可能な限り簡単化して、トンネル効果を説明（紹介）することを試みます。そして、原子核反応を大雑把に説明した上で、太陽のような星の輝きの原因（星がどうやって生まれ、そして死ぬか）などの説明も試みます。なお、講義担当の斉田は、相対性理論とそれを応用した宇宙物理学が専門の研究者です。講義最後の星の話は、宇宙物理学研究者の教養の一旦をみせることになります。授業中でも、授業以外でも、物理学に関する質問や疑問を投げかけて下さい。現役第一線で研究をしている者として答ます。

1. 準備：ニュートン力学の自然観のまとめ ― 粒子と波動 ―
2. 量子力学への導入１：量子の概念 ― 物質波（粒子性と波動性の共存）―
3. 量子力学への導入２：コンプトン散乱 ― 光の粒子性 ―
4. 量子力学への導入３：光電効果 ― 光の粒子性 ―
5. 量子力学への導入４：電子の干渉実験 ― 電子の波動性 ―
6. 量子力学への導入５：ボーアの原子モデルと輝線スペクトル ― 電子の波動性 ―
7. 量子力学の数学：確率、複素関数、ベクトル空間
8. 量子力学の原理１：波動関数と不確定性原理 ― 物質波の確率解釈 ―
9. 量子力学の原理２：波動関数の重ね合わせの原理 ― 基礎方程式を探す手がかり ―
10. 量子力学の基礎方程式：シュレーディンガー方程式 ― 波動関数の運動方程式 ―
11. 量子力学での測定：物理量とその測定による期待値 ― シュレーディンガーの猫 ―
12. 量子力学の練習問題：箱の中の粒子 ― 無限に高い壁と有限な高さの壁 ―
13. 量子力学の帰結１：トンネル効果 ― 電子顕微鏡 ―

| | |
|---|---|
| | 14. 量子力学の帰結２：原子核反応、半減期 ― 物理学の負の産物、核兵器 ―<br>15. 量子力学の帰結３：星の輝きの原因 ― 星の誕生から死まで ― |
| テキスト・参考文献 | プリント配布<br>参考書：「物理学の基礎」山本邦夫 著、学術図書出版<br>「工学系のための量子力学」上羽弘 著、森北出版<br>「量子力学の基本原理」デヴィッド Z.アルバート 著（高橋真理子 訳）、日本評論社<br>「量子力学１」ランダウ、リフシッツ 著（佐々木健、好村滋洋 訳）、東京図書出版 |
| 試験・評価方法 | 自由科目（卒業に必要な単位に無関係な科目）なので、興味を持って参加すればＯＫです。 |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | |

# 哲学Ａ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 大同大学 | 科目コード | 292606 |
| 担当教員 | 服部　文彦（教養部教授） | | |
| 学年配当 | １年 | 単位数 | ２ |
| 開講日程 | ＜前期＞　月曜日：３時限（1300～1430） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | テーマは西洋哲学の古典に親しむ＆自分を知る、です。<br>「西洋哲学史」の講義を中心に、具体的には、古代ギリシアから<br>ヨーロッパ近代までの古典を選び抜き、それぞれの有名な箇所を<br>味読します。そして、「哲学的なものの見方や考え方」あるいは<br>「知恵のある生き方」を確認していきます。また講義の終盤では<br>日本における哲学・思想の流れや現代の哲学についても触れる<br>予定です。全体を通して視聴覚教材もできるだけ取り入れながら<br>進めます。<br><br>1.　シラバス説明＆成績評価基準の確認<br>2.　哲学とは？<br>3.　模倣と創造１<br>4.　模倣と創造２<br>5.　模倣と創造３<br>6.　科学と魔術１<br>7.　科学と魔術２<br>8.　科学と魔術２<br>9.　中間のまとめ（第８週に移動する場合あり）<br>10.　啓蒙の諸相１<br>11.　啓蒙の諸相２<br>12.　啓蒙の諸相３<br>13.　西欧近代哲学の日本における受容<br>14.　哲学の現在<br>15.　全体のまとめ<br>16.　期末試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 必読資料およびプリントを適宜配布する。 | | |
| 試験・評価方法 | ◇成績は以下の３項目を点数化し、配点比率に従って加算し<br>ﾎﾟｲﾝﾄとする。<br>ア）　授業中の小作文　３０％<br>イ）中間テスト　２０％<br>ウ）期末試験　５０％<br>◇詳細は初回のシラバス配布時に各自確認すること。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 哲学Ａ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 大同大学 | 科目コード | 292607 |
| 担当教員 | 服部　文彦（教養部教授） | | |
| 学年配当 | １年 | 単位数 | ２ |
| 開講日程 | ＜前期＞　月曜日：４時限（1440～1610） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | テーマは西洋哲学の古典に親しむ＆自分を知る、です。<br>「西洋哲学史」の講義を中心に、具体的には、古代ギリシアから<br>ヨーロッパ近代までの古典を選び抜き、それぞれの有名な箇所を<br>味読します。そして、「哲学的なものの見方や考え方」あるいは<br>「知恵のある生き方」を確認していきます。また講義の終盤では<br>日本における哲学・思想の流れや現代の哲学についても触れる<br>予定です。全体を通して視聴覚教材もできるだけ取り入れながら<br>進めます。<br><br>1.　シラバス説明＆成績評価基準の確認<br>2.　哲学とは？<br>3.　模倣と創造１<br>4.　模倣と創造２<br>5.　模倣と創造３<br>6.　科学と魔術１<br>7.　科学と魔術２<br>8.　科学と魔術２<br>9.　中間のまとめ（第８週に移動する場合あり）<br>10.　啓蒙の諸相１<br>11.　啓蒙の諸相２<br>12.　啓蒙の諸相３<br>13.　西欧近代哲学の日本における受容<br>14.　哲学の現在<br>15.　全体のまとめ<br>16.　期末試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 必読資料およびプリントを適宜配布する。 | | |
| 試験・評価方法 | ◇成績は以下の３項目を点数化し、配点比率に従って加算し<br>ﾎﾟｲﾝﾄとする。<br>ア）　授業中の小作文　３０％<br>イ）中間テスト　２０％<br>ウ）期末試験　５０％<br>◇詳細は初回のシラバス配布時に各自確認すること。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 哲学B

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 大同大学 | 科目コード | 292608 |
| 担当教員 | 服部　文彦（教養部教授） | | |
| 学年配当 | 1 年 | 単位数 | 2 |
| 開講日程 | ＜後期＞　月曜日：3 時限（1300～1430） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | ９月 |
| 講義概要 | テーマは多様な価値観に触れる、です。哲学の中でも倫理学および<br>人生論を中心に進めます。<br>「なぜ勉強をしなくてはいけないのか」<br>「なぜ働かなければならないのか」など日常生活の身近な疑問から<br>「運命」など人生の諸問題について、古今東西の哲学者たちの思想<br>をふまえて考えてみます。<br><br>1.　シラバス説明と成績評価基準の確認<br>2.　倫理とは？<br>3.　多様な価値観に触れる１<br>4.　多様な価値観に触れる２<br>5.　多様な価値観に触れる３<br>6.　理想と現実１<br>7.　理想と現実２<br>8.　理想と現実３<br>9.　中間のまとめ（第８週に移動する場合あり）<br>10.　おもな倫理思想の流れ<br>11.　日常のさまざまなジレンマ １<br>12.　日常のさまざまなジレンマ ２<br>13.　日常のさまざまなジレンマ ３<br>14.　現代の倫理的課題＆人生論<br>15.　全体のまとめ<br>16.　期末試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 必読資料およびプリントを適宜配布する。 | | |
| 試験・評価方法 | ◇成績は以下の３項目を点数化し、配点比率に従って加算し得点とする。<br>ア）授業中の提出物　３０％<br>イ）中間テスト　２０％<br>ウ）期末試験　５０％<br>◇詳細は初回のシラバス配布時に各自確認すること。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 哲学B

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 大同大学 | 科目コード | 292609 |
| 担当教員 | 服部　文彦（教養部教授） | | |
| 学年配当 | 1 年 | 単位数 | 2 |
| 開講日程 | ＜後期＞　月曜日：4 時限（1440～1610） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | ９月 |
| 講義概要 | テーマは多様な価値観に触れる、です。哲学の中でも倫理学および<br>人生論を中心に進めます。<br>「なぜ勉強をしなくてはいけないのか」<br>「なぜ働かなければならないのか」など日常生活の身近な疑問から<br>「運命」など人生の諸問題について、古今東西の哲学者たちの思想<br>をふまえて考えてみます。<br><br>1.　シラバス説明と成績評価基準の確認<br>2.　倫理とは？<br>3.　多様な価値観に触れる１<br>4.　多様な価値観に触れる２<br>5.　多様な価値観に触れる３<br>6.　理想と現実１<br>7.　理想と現実２<br>8.　理想と現実３<br>9.　中間のまとめ（第８週に移動する場合あり）<br>10.　おもな倫理思想の流れ<br>11.　日常のさまざまなジレンマ １<br>12.　日常のさまざまなジレンマ ２<br>13.　日常のさまざまなジレンマ ３<br>14.　現代の倫理的課題＆人生論<br>15.　全体のまとめ<br>16.　期末試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 必読資料およびプリントを適宜配布する。 | | |
| 試験・評価方法 | ◇成績は以下の３項目を点数化し、配点比率に従って加算し得点とする。<br>ア）授業中の提出物　３０％<br>イ）中間テスト　２０％<br>ウ）期末試験　５０％<br>◇詳細は初回のシラバス配布時に各自確認すること。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 社会学Ａ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 大同大学 | 科目コード | 292610 |
| 担当教員 | 松木　孝文（教養部准教授） | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２ |
| 開講日程 | ＜前期＞　月曜日：３時限（1300～1430） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 社会・マスコミ・情報 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 本講義は社会学の入門編にあたる授業である。<br>「社会」はどこからか取り出して「これだ」と示すことができない。また、立場が違えばその数だけ様々な社会のイメージが存在する。そうした見えない曖昧なものでありながら、個人に与える「社会」の影響は絶大である。そのため、「社会」なるものがどのような構造を持ち、どのような動きを見せるのかを学んでおくことは人生を戦い抜く上での大きな武器になることだろう。<br>授業序盤ではまず、上述の「構造と動き」を把握するために、社会学の「学説史」と「基礎理論」を学ぶ。一見すると堅く 、役に立ちそうに無いという印象を与えるフレーズだが、100 年以上を経て今なお現代社会の現象に納得いく説明を与えてくれる、珠玉の理論ばかりである。<br>中盤では、「身近な社会」の現実を把握するために「家族」を取り上げてみたい。この「家族」は、最も古く、最も強力で 、これまでの人類史上絶えることなく続いてきた集団である（もし家族が失われた時代があったとすれば現代まで人類は続いていない）。この「家族」を社会学的に考えることを通して、受講者各位が人生における様々な困難に冷静に向き合えることを期待している。<br>授業の終盤では、社会における様々なイシューを取り上げ、思考実験をしながら社会学的な思考を身に着けていきたい。考えるべきこと、想像を巡らせると楽しい事は社会の至る所に転がっている。社会学の学習を通じて「世の中なかなか面白く、学ぶ甲斐のある楽しいものである」と感じてもらえれば幸いである。<br><br>[1]- イントロダクション：見えないものを科学する<br>[2]- 近代とは何か<br>[3]- 社会と変動明<br>[4]- 個人と社会できる<br>[5]- 社会関係を分類する<br>[6]- 社会を調査する<br>[7]- 中間まとめ（中間試験を予定）<br>[8]- 家族と社会１<br>[9]- 家族と社会２<br>[10]- 家族と社会３<br>[11]- グローバリゼーションと地域<br>[12]- 集団と組織<br>[13]- 貧困・格差<br>[14]- 日本の社会の今後<br>[15]- 講義まとめ<br>[16]- 期末試験 | | |
| テキスト・参考文献 | レジュメを配布する。 | | |
| 試験・評価方法 | 中間試験（30%）、期末試験（60%）、授業中の発言点（10%）で評価するが、２回の試験の受験を単位認定の条件とする。中間試験および期末試験を正当な理由無く欠席した場合は、単位取得が不可能となるので注意すること。<br>試験については、単に知識を問う問題だけでなく、授業内容をまとめたり自分なりに考察したりする論述問題も出題する予定である。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 社会学Ａ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 大同大学 | 科目コード | 292611 |
| 担当教員 | 松木　孝文（教養部准教授） | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２ |
| 開講日程 | ＜前期＞　月曜日：４時限（1440～1610） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 社会・マスコミ・情報 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 本講義は社会学の入門編にあたる授業である。<br>「社会」はどこからか取り出して「これだ」と示すことができない。また、立場が違えばその数だけ様々な社会のイメージが存在する。そうした見えない曖昧なものでありながら、個人に与える「社会」の影響は絶大である。そのため、「社会」なるものがどのような構造を持ち、どのような動きを見せるのかを学んでおくことは人生を戦い抜く上での大きな武器になることだろう。<br>授業序盤ではまず、上述の「構造と動き」を把握するために、社会学の「学説史」と「基礎理論」を学ぶ。一見すると堅く 、役に立ちそうに無いという印象を与えるフレーズだが、100 年以上を経て今なお現代社会の現象に納得いく説明を与えてくれる、珠玉の理論ばかりである。<br>中盤では、「身近な社会」の現実を把握するために「家族」を取り上げてみたい。この「家族」は、最も古く、最も強力で 、これまでの人類史上絶えることなく続いてきた集団である（もし家族が失われた時代があったとすれば現代まで人類は続いていない）。この「家族」を社会学的に考えることを通して、受講者各位が人生における様々な困難に冷静に向き合えることを期待している。<br>授業の終盤では、社会における様々なイシューを取り上げ、思考実験をしながら社会学的な思考を身に着けていきたい。考えるべきこと、想像を巡らせると楽しい事は社会の至る所に転がっている。社会学の学習を通じて「世の中なかなか面白く、学ぶ甲斐のある楽しいものである」と感じてもらえれば幸いである。<br><br>[1]- イントロダクション：見えないものを科学する<br>[2]- 近代とは何か<br>[3]- 社会と変動明<br>[4]- 個人と社会できる<br>[5]- 社会関係を分類する<br>[6]- 社会を調査する<br>[7]- 中間まとめ（中間試験を予定）<br>[8]- 家族と社会１<br>[9]- 家族と社会２<br>[10]- 家族と社会３<br>[11]- グローバリゼーションと地域<br>[12]- 集団と組織<br>[13]- 貧困・格差<br>[14]- 日本の社会の今後<br>[15]- 講義まとめ<br>[16]- 期末試験 | | |
| テキスト・参考文献 | レジュメを配布する。 | | |
| 試験・評価方法 | 中間試験（30%）、期末試験（60%）、授業中の発言点（10%）で評価するが、２回の試験の受験を単位認定の条件とする。中間試験および期末試験を正当な理由無く欠席した場合は、単位取得が不可能となるので注意すること。<br>試験については、単に知識を問う問題だけでなく、授業内容をまとめたり自分なりに考察したりする論述問題も出題する予定である。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 社会学Ｂ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 大同大学 | 科目コード | 292612 |
| 担当教員 | 松木　孝文（教養部准教授） | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２ |
| 開講日程 | ＜後期＞　月曜日：３時限（1300～1430） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 社会・マスコミ・情報 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | ９月 |
| 講義概要 | 「社会」はどこからか取り出して「これだ」と示すことができない。また、立場が違えばその数だけ様々な社会のイメージが存在する。そうした見えない曖昧なものでありながら、個人に与える「社会」の影響は絶大である。そのため、「社会」なるものがどのような構造を持ち、どのような動きを見せるのかを学んでおくことは人生を戦い抜く上での大きな武器になることだろう。<br>　後期から始まる本講義では、変動のただ中にある日本社会の状況を取り上げる。何故世代によって考え方が違うのか、何故社会は変わっていくのか、どの方向に進むのが正しいのか、あるいは正しいとされているのか、それは何故か。広く外に目を向ければ考える事は沢山ある。<br>　逆に自らの将来に向けて狭く深く想いをはせれば、様々な心配事もあるだろう。自分は就職できるのか？失業せずに定年まで勤められるのか？失敗しても這い上がれるのだろうか？それら妄想も不安も全て得難い社会学的想像力をもたらしてくれる 。是非想像を逞しくして欲しい。<br>　授業の全体を通して、社会における様々なイシューを取り上げ、思考実験をしながら社会学的な思考を身に着けていきたい 。考えるべきこと、想像を巡らせて楽しい事は社会の至る所に転がっている。社会学の学習を通じて「世の中なかなか面白く 、学ぶ甲斐のある楽しいものである」と感じてもらえれば幸いである。<br><br>[1]- イントロダクション<br>[2]- 社会学とはどういう学問か？<br>[3]- 日本の近代化<br>[4]- 戦後日本の社会変動<br>[5]- 環境と社会<br>[6]- 現代日本社会の諸相<br>[7]-　中間まとめ（中間試験）<br>[8]- 貧困と格差１<br>[9]- 貧困と格差２<br>[10]- 地域と社会１<br>[11]- 地域と社会２<br>[12]- グローバリゼーションと日本社会[13]- 情報化と社会１<br>[14]- 情報化と社会２<br>[15]- 講義のまとめ<br>[16]- 期末試験 | | |
| テキスト・参考文献 | レジュメを配布する。 | | |
| 試験・評価方法 | 中間試験（30%）、期末試験（60%）、授業中の発言点（10%）で評価するが、両方の試験の受験を単位認定の条件とする。中間試験および期末試験を正当な理由無く欠席した場合は、単位取得が不可能となるので注意すること。<br>試験については、単に知識を問う問題だけでなく、授業内容をまとめたり自分なりに考察したりする論述問題も出題する予定である。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 社会学Ｂ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 大同大学 | 科目コード | 292613 |
| 担当教員 | 松木　孝文（教養部准教授） | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２ |
| 開講日程 | ＜後期＞　月曜日：４時限（1440～1610） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 社会・マスコミ・情報 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | ９月 |
| 講義概要 | 「社会」はどこからか取り出して「これだ」と示すことができない。また、立場が違えばその数だけ様々な社会のイメージが存在する。そうした見えない曖昧なものでありながら、個人に与える「社会」の影響は絶大である。そのため、「社会」なるものがどのような構造を持ち、どのような動きを見せるのかを学んでおくことは人生を戦い抜く上での大きな武器になることだろう。<br>　後期から始まる本講義では、変動のただ中にある日本社会の状況を取り上げる。何故世代によって考え方が違うのか、何故社会は変わっていくのか、どの方向に進むのが正しいのか、あるいは正しいとされているのか、それは何故か。広く外に目を向ければ考える事は沢山ある。<br>　逆に自らの将来に向けて狭く深く想いをはせれば、様々な心配事もあるだろう。自分は就職できるのか？失業せずに定年まで勤められるのか？失敗しても這い上がれるのだろうか？それら妄想も不安も全て得難い社会学的想像力をもたらしてくれる 。是非想像を逞しくして欲しい。<br>　授業の全体を通して、社会における様々なイシューを取り上げ、思考実験をしながら社会学的な思考を身に着けていきたい 。考えるべきこと、想像を巡らせて楽しい事は社会の至る所に転がっている。社会学の学習を通じて「世の中なかなか面白く 、学ぶ甲斐のある楽しいものである」と感じてもらえれば幸いである。<br><br>[1]- イントロダクション<br>[2]- 社会学とはどういう学問か？<br>[3]- 日本の近代化<br>[4]- 戦後日本の社会変動<br>[5]- 環境と社会<br>[6]- 現代日本社会の諸相<br>[7]-　中間まとめ（中間試験）<br>[8]- 貧困と格差１<br>[9]- 貧困と格差２<br>[10]- 地域と社会１<br>[11]- 地域と社会２<br>[12]- グローバリゼーションと日本社会[13]- 情報化と社会１<br>[14]- 情報化と社会２<br>[15]- 講義のまとめ<br>[16]- 期末試験 | | |
| テキスト・参考文献 | レジュメを配布する。 | | |
| 試験・評価方法 | 中間試験（30%）、期末試験（60%）、授業中の発言点（10%）で評価するが、両方の試験の受験を単位認定の条件とする。中間試験および期末試験を正当な理由無く欠席した場合は、単位取得が不可能となるので注意すること。<br>試験については、単に知識を問う問題だけでなく、授業内容をまとめたり自分なりに考察したりする論述問題も出題する予定である。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 臨床心理学概論 1

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 中京大学 | 科目コード | 292701 |
| 担当教員 | 明翫　光宜（心理学部准教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　火曜日：2 限（1045～1215） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 臨床心理学概論 1 では現在の臨床心理学の基本的知識を解説していく。具体的には、臨床心理学の歴史、心理アセスメント、心理療法について解説する（認知行動療法については臨床心理学概論 2 にて解説を行う）。臨床心理学は、将来心理臨床家を目指す学生だけではなく、すべての学生が人との関わりやこころの病や支援の基本的な考え方などを理解することが望ましい。<br><br>具体的には以下の内容である。<br>1. 臨床心理学の定義 心理学の中の臨床心理学の位置づけ<br>2. 臨床心理学の歴史（1） 臨床心理学の誕生<br>3.臨床心理学の歴史（2） 心理アセスメントの誕生と心理検査の開発<br>4. 臨床心理学の歴史（3） こころ病の考えと心理療法の発展について<br>5. 心理アセスメント（1） 心理アセスメントの定義と類似概念（診断）との関係<br>6. 心理アセスメント（2） 心理検査の定義と分類<br>7. 心理アセスメント（3） 知能の定義と知能検査の発展<br>8. 心理アセスメント（4） 質問紙法の仕組み：信頼性と妥当性<br>9. 心理アセスメント（5） 投映法の仕組み<br>10. 心理療法（1） 心理療法総論：共通仮説<br>11. 心理療法（1） 精神分析療法（1）精神分析の誕生<br>12. 心理療法（2） 精神分析療法（2）転移・解釈<br>13. 心理療法（3） 来談者中心療法（1）ロジャースと技法の発展<br>14. 心理療法（4） 来談者中心療法（2）共感・傾聴・治療的態度<br>15. 心理療法（5） 心理療法のビデオ視聴 | | |
| テキスト・参考文献 | なし | | |
| 試験・評価方法 | 定期試験(60%)　平常点(40%) | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 毎回講義の後半として出席を証明するものとして小レポートを課している。講義内容に関する質問や自分なりの考えをまとめることを求め、基準に達していないと出席として扱わない。4 回の欠席を超えると受験資格を失う。<br>また遅刻は原則認めない。特に 30 分を超える遅刻は欠席として扱うので注意が必要である。 | | |

# 親と子の発達心理学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 中京大学 | 科目コード | 292702 |
| 担当教員 | 小島　康生（心理学部教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　水曜日：2 限（1045～1215） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 本講義では，ヒトの子育てにおける生物学的背景や乳幼児期の諸発達について概観したのち，「子どもを育てること」とはどういうことなのかを歴史的，文化的背景にも言及しながら解説する。具体的な講義内容は以下の通りである。<br>1．ガイダンス 講義のねらい，全体のスケジュール等について説明<br>2．生物学的な視点からみたヒトの子育て 他の霊長類とヒトの子育ての比較<br>3．乳児期から幼児期にかけての諸発達（1） 認知，コミュニケーションの発達<br>4．乳児期から幼児期にかけての諸発達（2） 身体運動の発達<br>5．歴史的な視点からみたわが国の子育て 子どもの価値，育児書，子育て法などにみる親役割の歴史的変遷<br>6．親になるプロセス 親になるプロセスでの心理変化や家族役割の変化<br>7．親の育ち，子の育ちにかかわる理論の紹介 発達的ニッチ理論，生態学的システム理論など<br>8．文脈横断的な視点の導入 「場?ひと?もの」の交叉により子どもの発達をみる<br>9．子どもをとりまく「場?ひと?もの」（1）具体的な研究の紹介（1）<br>10．子どもをとりまく「場?ひと?もの」（2）具体的な研究の紹介（2）<br>11．子どもをとりまく「場?ひと?もの」（3）具体的な研究の紹介（3）<br>12．親から子への否定的感情 ひとり育てとふたり育ての比較から背景要因を探る<br>13．さまざまな子育て支援の実際 具合的な実践の紹介<br>14．子どもを育てることとはどういうことか 子どもを育てることの基本的な意味を考える<br>15．総まとめ 本講義で学んだことの総復習 | | |
| テキスト・参考文献 | とくに指定しない。講義中に適宜，参考文献を紹介する。 | | |
| 試験・評価方法 | 定期試験(90%)，課題・レポート(10%) | | |
| 別途必要な経費 | 特になし。 | | |
| その他特記事項 | 講義では，パワーポイントを提示して解説を行う。<br>また，同じ内容のものをプリント資料でも配布する。 | | |

# 臨床心理学概論２

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 中京大学 | 科目コード | 292703 |
| 担当教員 | 明翫　光宜（心理学部准教授） | | |
| 学年配当 | ２年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　火曜日：２限（1045～1215） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 本講義である臨床心理学概論２では、子どものこころや育ちの臨床についての基礎知識を概説する。本講義で取り上げる話題は、子どもの症状の意味、情緒障害、愛着障害といったこころの問題、臨床心理学的援助についてはプレイセラピー、認知行動療法（認知行動療法の歴史、応用行動分析、ペアレント・トレーニング）などである。<br><br>具体的な内容は以下の通りである。<br><br>1. 発達臨床心理学 子どものこころの危機と臨床現場<br>2. 子どもの精神症状の意味 子どものこころの危機の意味を理解する<br>3. こころの危機（１） 情緒障害：神経症習癖<br>4. こころの危機（２） 情緒障害：選択性緘黙<br>5. こころの危機（３） 情緒障害：分離不安<br>6. こころの危機（４） 情緒障害：チック<br>7. こころの危機（５） トラウマ・PTSD<br>8. 臨床心理学的支援（１） 子どもの心理療法の特徴<br>9. 臨床心理学的支援（２） プレイセラピー<br>10. 臨床心理学的支援（３） プレイセラピー：アクスラインの８原則<br>11. 臨床心理学的支援（４） 表現療法・箱庭療法<br>12. 臨床心理学的支援（５） 認知行動療法の歴史<br>13. 臨床心理学的支援（６） 応用行動分析<br>14. 臨床心理学的支援（７） ペアレントトレーニング<br>15. まとめ 発達臨床心理学の最近の話題 | | |
| テキスト・参考文献 | なし | | |
| 試験・評価方法 | 定期試験(60%)　平常点(40%) | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 毎回講義の後半として出席を証明するものとして小レポートを課している。講義内容に関する質問や自分なりの考えをまとめることを求め、基準に達していないと出席として扱わない。４回の欠席を超えると受験資格を失う。<br>また遅刻は原則認めない。特に 30 分を超える遅刻は欠席として扱うので注意が必要である。 | | |

# パーソナリティ心理学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 中京大学 | 科目コード | 292704 |
| 担当教員 | 神谷　栄治（心理学部教授） | | |
| 学年配当 | ３年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　火曜日：２限（1045～1215） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 本講義は、性格・パーソナリティについて、精神医学的・臨床心理学的観点から検討していく授業である。パーソナリティとは行動の個人差に関する概念であるが、この概念について、発達的観点・臨床心理学的観点・精神医学的観点から、検討していく。学際的な領域なので、あつかう情報量が多いため、主に講義形式で行う。<br>　主な内容は以下の通り<br>1. パーソナリテイとは パーソナリティの基礎概念<br>2. 心理学的な諸機能 現実検討・思考過程・対人関係性<br>3. パーソナリティの障害入門 パーソナリティ障害の定義と総覧<br>4. パーソナリティ類型１ パラノイド・パーソナリティ障害<br>5. パーソナリティ類型２ スキゾイド・パーソナリティ<br>6. パーソナリティ類型３ スキゾタイパル・パーソナリティ<br>7. パーソナリティ類型４ アンチ・ソーシャル・パーソナリティ<br>8. パーソナリティ類型５ 境界性パーソナリティ<br>9. パーソナリティ類型６ 演技性パーソナリティ<br>10. パーソナリティ類型７ 自己愛性パーソナリティ<br>11. パーソナリティ類型８ 回避性・依存性・強迫性パーソナリティ<br>12. パーソナリティと遺伝環境１ 遺伝と環境、気質等、基礎概念の理解<br>13. 遺伝と環境の影響 研究方法と遺伝要因と環境要因の影響の多様性の検討<br>14. トラウマとパーソナリティ トラウマの概念と過程<br>15. トラウマのパーソナリティへの影響 トラウマがパーソナリティに及ぼす影響 | | |
| テキスト・参考文献 | テキスト；なし　参考文献；パーソナリティ障害の診断と治療　創元社 | | |
| 試験・評価方法 | 授業期間中の小レポートと、期末レポート課題による | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 特になし | | |

# 組織心理学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 中京大学 | 科目コード | 292705 |
| 担当教員 | 松本　友一郎（心理学部准教授） | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　水曜日：2 限（1045～1215） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 組織心理学は主に職場をフィールドとしている。しかし、学生であってもその一端は体験をしているはずである。たとえば、大学という大きな組織のことを皆さんはどれほど知っているであろうか？そして、大学（組織）全体の中で皆さんはどのように位置づけられるのであろうか？大きな組織の中で個人は一見小さな存在のようにも思える。この授業では、組織の中で個人はどのように行動し、適応するのか、また、組織は個人の集まりという以上にどのような意味があるのか、過去の知見を説明しながら考えていく。各回の内容は以下のとおりである。<br>1. 組織心理学とは？：授業で扱うテーマ全体の概説<br>2. 社会化とキャリア：組織への適応と組織における成長<br>3. モチベーション：組織においてやる気が出る（出なくなる）原因<br>4. 組織ストレス 1：組織におけるストレスの理論<br>5. 組織ストレス 2：組織におけるストレスへの対応<br>6. 生産性と人間性：組織としての効率と個人としてのやりがい<br>7. 自律性：組織としての管理と個人としての自律性<br>8. コミュニケーションと意思決定：組織における情報伝達と意思決定の歪み<br>9. インフォーマル・グループ：組織の中で形成される仲間集団<br>10. 対人葛藤：組織にとって葛藤はすべて悪なのか？<br>11. 勢力：組織内で影響力を持つ者、持たない者<br>12. リーダーシップ 1：リーダーは生まれながらの才能か？<br>13. リーダーシップ 2：リーダーはどんな組織にも万能か？<br>14. 組織文化：組織の規範や雰囲気の形成と個人への影響<br>15. まとめ：授業で扱ったテーマ全体を通しての振り返り | | |
| テキスト・参考文献 | 講義中に資料を配布するが、参考文献として以下の 2 点を挙げておく。<br>・「現代社会の産業心理学」福村出版<br>・「産業・組織心理学エッセンシャルズ　改訂三版」ナカニシヤ出版 | | |
| 試験・評価方法 | レポート 70%、平常点 30% | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | ・レポートの課題は、自分なりに調べて考えなければできないものを出す。レポートの課題は初回の授業で告知する。<br>・事前学習として、現実の組織やそれを取り巻く環境に関する新聞の記事などに目を通しておくこと。事後学習として、講義で用いたノートに欄を設けて自分の意見を記入すること。 | | |

# 体育・スポーツ史

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 中京大学 | 科目コード | 292706 |
| 担当教員 | 來田　享子（スポーツ科学部教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　月曜日：3 限（1310～1440） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | スポーツ・健康・医療 | | |
| 教室 | 豊田キャンパス | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 本講義の目的は、様々な時代・地域・社会の中で人間が発展させてきた身体文化（身体運動・体育・スポーツ）について、⑴身体的な遊びの世界が近代スポーツへと発展するプロセスおよびそこでのスポーツ指導者の役割、⑵教育としての体育の成立と時代の要請に伴う変化、を中心に概説する。<br>具体的な内容は以下のとおり。<br>1. ガイダンス（体育・スポーツ史を学ぶ意味、授業の進め方）<br>2. 競技的なスポーツの発展⑴（古代ギリシャの体育・スポーツと古代オリンピア競技）<br>3. 競技的なスポーツの発展⑵（古代アスリートの生活とトレーニング）<br>4. 競技的なスポーツの発展⑶（スポーツの近代化）<br>5. 競技的なスポーツの発展⑷（クーベルタンとオリンピック・ムーブメント）<br>6. 身体活動と教育⑴（スポーツ指導者の誕生と活躍）<br>7. 身体活動と教育⑵（国民国家の成立と体育）<br>8. 身体活動と教育⑶（近代教育思想と体育）<br>9. 身体活動と教育⑷（諸外国における体育の発展）<br>10. 身体活動と教育⑸（日本における近代体育の成立）<br>11. 身体活動と教育⑹（日本における体育教師の養成）<br>12. オリンピックの歴史（近代オリンピック 120 年）<br>13. 日本とオリンピック・ムーブメント（嘉納治五郎のスポーツしそうとオリンピック）<br>14. スポーツ・フォー・オールをめざして（スポーツ・マイノリティとスポーツの歴史）<br>15. まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】木村吉次編著「体育・スポーツ史概論（改訂第 3 版）」市村出版（2015 年）その他については講義中に指示する | | |
| 試験・評価方法 | 小レポート（2 回程度）20%、定期試験（80%）の総合点で評価する | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 中京大学の授業支援システム（MANABO）を利用して講義資料を配布するため、スポーツ科学部学生以外が受講する場合は初回講義時に資料入手方法について担当教員と相談してください。 | | |

# 体育・スポーツ史

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 中京大学 | 科目コード | 292707 |
| 担当教員 | 來田　享子（スポーツ科学部教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　月曜日：2 限（1045～1215） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | スポーツ・健康・医療 | | |
| 教室 | 豊田キャンパス | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 本講義の目的は、様々な時代・地域・社会の中で人間が発展させてきた身体文化（身体運動・体育・スポーツ）について、⑴身体的な遊びの世界が近代スポーツへと発展するプロセスおよびそこでのスポーツ指導者の役割、⑵教育としての体育の成立と時代の要請に伴う変化、を中心に概説する。<br>具体的な内容は以下のとおり。<br>1. ガイダンス（体育・スポーツ史を学ぶ意味、授業の進め方）<br>2. 競技的なスポーツの発展⑴（古代ギリシャの体育・スポーツと古代オリンピア競技）<br>3. 競技的なスポーツの発展⑵（古代アスリートの生活とトレーニング）<br>4. 競技的なスポーツの発展⑶（スポーツの近代化）<br>5. 競技的なスポーツの発展⑷（クーベルタンとオリンピック・ムーブメント）<br>6. 身体活動と教育⑴（スポーツ指導者の誕生と活躍）<br>7. 身体活動と教育⑵（国民国家の成立と体育）<br>8. 身体活動と教育⑶（近代教育思想と体育）<br>9. 身体活動と教育⑷（諸外国における体育の発展）<br>10. 身体活動と教育⑸（日本における近代体育の成立）<br>11. 身体活動と教育⑹（日本における体育教師の養成）<br>12. オリンピックの歴史（近代オリンピック 120 年）<br>13. 日本とオリンピック・ムーブメント（嘉納治五郎のスポーツしそうとオリンピック）<br>14. スポーツ・フォー・オールをめざして（スポーツ・マイノリティとスポーツの歴史）<br>15. まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】木村吉次編著「体育・スポーツ史概論（改訂第 3 版）」市村出版（2015 年）その他については講義中に指示する | | |
| 試験・評価方法 | 小レポート（2 回程度）20%、定期試験（80%）の総合点で評価する | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 中京大学の授業支援システム（MANABO）を利用して講義資料を配布するため、スポーツ科学部学生以外が受講する場合は初回講義時に資料入手方法について担当教員と相談してください。 | | |

# 体育・スポーツ原論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 中京大学 | 科目コード | 292708 |
| 担当教員 | 近藤　良享（スポーツ科学部教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　月曜日：2 限（1045～1215） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | スポーツ・健康・医療 | | |
| 教室 | 豊田キャンパス | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | この授業では、まず基礎として、体育、スポーツ、プレイ、ゲームといった基本概念について、その語源、歴史を踏まえ把握する。ここでは、体育とは何か、スポーツは何かといった原理的な問いがされる。次に、それらの概念が現代社会でどのように展開、継承されているかを理解しつつ、価値相対主義の中、様々な価値観を相対化して正しく評価できるような能力を身につけようとする。具体的には、現代の体育･スポーツに関する実際的な現実問題(体育観、体育の目標、ドーピング、環境、ジェンダー、メディア、判定、体罰など）への諸論を精査していく中で、体育やスポーツに関する自らの価値観を形成していこうとする。<br>具体的内容は以下のとおり。<br>1.オリエンテーション・・・授業の説明、進め方<br>2.体育とスポーツの基礎概念（1）・・・体育とは何か、教育概念、関係概念<br>3.体育とスポーツの基礎概念（2）・・・スポーツとは何か、競争性、遊戯性、組織性、身体性<br>4.体育とスポーツの関係概念・・・プレイ、ゲーム、運動、レジャー、レクリエーションとの差異、連関<br>5.現代体育・スポーツの諸問題・・・競技場外と競技場内の問題、日本と諸外国との文化的差異<br>6.スポーツ倫理研究の意味・・・自律・自立したスポーツ参加者の形成<br>7.ドーピング問題（1）・・・ドーピングの定義、問題史<br>8.ドーピング問題（2）・・・日本と世界のドーピング防止運動<br>9.運動部活動（1）・・・運動部をめぐる問題、指導者論<br>10.運動部活動（2）・・・運動部活動の光と影<br>11.子どもとスポーツ・・・もろ刃の剣の子どもスポーツ<br>12.フェアプレイ・・・意図的ルール違反、無気力試合、八百長<br>13.スポーツ倫理の今（1）・・・大相撲問題、組織改革、ガバナンス<br>14.スポーツ倫理の今（1）・・・競技参加資格問題<br>15.スポーツ倫理の今（1）・・・体罰、懲戒権、学校教育法第１１条 | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書・教材】近藤良享(著）スポーツ倫理、不昧堂出版、2012 年<br>【参考文献】スポーツ倫理を問う　スポーツ倫理の探究 | | |
| 試験・評価方法 | 定期試験(70%)　課題・レポート(20%)　小テスト(10%) | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 特になし | | |

# 体育・スポーツ原論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 中京大学 | 科目コード | 292709 |
| 担当教員 | 近藤　良享（スポーツ科学部教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　月曜日：3 限（1310～1440） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | スポーツ・健康・医療 | | |
| 教室 | 豊田キャンパス | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | この授業では、まず基礎として、体育、スポーツ、プレイ、ゲームといった基本概念について、その語源、歴史を踏まえ把握する。ここでは、体育とは何か、スポーツは何かといった原理的な問いがされる。次に、それらの概念が現代社会でどのように展開、継承されているかを理解しつつ、価値相対主義の中、様々な価値観を相対化して正しく評価できるような能力を身につけようとする。具体的には、現代の体育･スポーツに関する実際的な現実問題(体育観、体育の目標、ドーピング、環境、ジェンダー、メディア、判定、体罰など）への諸論を精査していく中で、体育やスポーツに関する自らの価値観を形成していこうとする。<br>具体的内容は以下のとおり。<br>1.オリエンテーション・・・授業の説明、進め方<br>2.体育とスポーツの基礎概念（1）・・・体育とは何か、教育概念、関係概念<br>3.体育とスポーツの基礎概念（2）・・・スポーツとは何か、競争性、遊戯性、組織性、身体性<br>4.体育とスポーツの関係概念・・・プレイ、ゲーム、運動、レジャー、レクリエーションとの差異、連関<br>5.現代体育・スポーツの諸問題・・・競技場外と競技場内の問題、日本と諸外国との文化的差異<br>6.スポーツ倫理研究の意味・・・自律・自立したスポーツ参加者の形成<br>7.ドーピング問題（1）・・・ドーピングの定義、問題史<br>8.ドーピング問題（2）・・・日本と世界のドーピング防止運動<br>9.運動部活動（1）・・・運動部をめぐる問題、指導者論<br>10.運動部活動（2）・・・運動部活動の光と影<br>11.子どもとスポーツ・・・もろ刃の剣の子どもスポーツ<br>12.フェアプレイ・・・意図的ルール違反、無気力試合、八百長<br>13.スポーツ倫理の今（1）・・・大相撲問題、組織改革、ガバナンス<br>14.スポーツ倫理の今（1）・・・競技参加資格問題<br>15.スポーツ倫理の今（1）・・・体罰、懲戒権、学校教育法第１１条 | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書・教材】近藤良享(著）スポーツ倫理、不昧堂出版、2012 年<br>【参考文献】スポーツ倫理を問う　スポーツ倫理の探究 | | |
| 試験・評価方法 | 定期試験(70%)　課題・レポート(20%)　小テスト(10%) | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 特になし | | |

# スポーツ医学 A

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 中京大学 | 科目コード | 292710 |
| 担当教員 | 光山　浩人（スポーツ科学部教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　金曜日：1 限（900～1030） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | スポーツ・健康・医療 | | |
| 教室 | 豊田キャンパス | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | スポーツなどの身体活動は人の健康維持や疾病からの回復と密接な関係がある。また、一方ではスポーツなどの身体活動が障害や外傷を発生させ、疾病を増悪させる因子となり、時には死に至らしめることさえある。<br>本講義では、スポーツにおける様々な医学的課題を解説していく。スポーツ傷害の予防のみならず、健康づくりやスポーツパフォーマンスの向上に利する知識を獲得し専門性を高められるよう進めていく。具体的な内容は以下のとおりである。<br>1.スポーツ医学概説<br>2.スポーツにおける健康管理Ⅰ・内科的メディカルチェック<br>3.スポーツにおける健康管理Ⅱ・整形外科的メディカルチェック<br>4.発育期におけるスポーツ医学の課題<br>5.中高年におけるスポーツ医学の課題<br>6.女性のスポーツ医学の課題<br>7.疾病の運動療法・内科的疾患Ⅰ<br>8.疾病の運動療法・内科的疾患Ⅱ<br>9.疾病の運動療法・整形外科的疾患<br>10.スポーツと栄養・食事・飲料<br>11.スポーツによる病的現象・精神的障害<br>12.ドーピングの医学<br>13.スポーツと環境Ⅰ<br>14.スポーツと環境Ⅱ<br>15.総括（テストと解説） | | |
| テキスト・参考文献 | 特に指定はしない。必要な資料は講義前に配布する。 | | |
| 試験・評価方法 | テスト(80%)平常点(20%) | | |
| 別途必要な経費 | 特になし。 | | |
| その他特記事項 | 医学的内容を理解するためには、解剖学、生理学などの知識が不可欠である。<br>それらの知識を復習して受講することが望ましい。 | | |

# スポーツ医学 A

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 中京大学 | 科目コード | 292711 |
| 担当教員 | 光山　浩人（スポーツ科学部教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　金曜日：2 限（1045～1215） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | スポーツ・健康・医療 | | |
| 教室 | 豊田キャンパス | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | スポーツなどの身体活動は人の健康維持や疾病からの回復と密接な関係がある。また、一方ではスポーツなどの身体活動が障害や外傷を発生させ、疾病を増悪させる因子となり、時には死に至らしめることさえある。<br>本講義では、スポーツにおける様々な医学的課題を解説していく。スポーツ傷害の予防のみならず、健康づくりやスポーツパフォーマンスの向上に利する知識を獲得し専門性を高められるよう進めていく。具体的な内容は以下のとおりである。<br>1.スポーツ医学概説<br>2.スポーツにおける健康管理Ⅰ・内科的メディカルチェック<br>3.スポーツにおける健康管理Ⅱ・整形外科的メディカルチェック<br>4.発育期におけるスポーツ医学の課題<br>5.中高年におけるスポーツ医学の課題<br>6.女性のスポーツ医学の課題<br>7.疾病の運動療法・内科的疾患Ⅰ<br>8.疾病の運動療法・内科的疾患Ⅱ<br>9.疾病の運動療法・整形外科的疾患<br>10.スポーツと栄養・食事・飲料<br>11.スポーツによる病的現象・精神的障害<br>12.ドーピングの医学<br>13.スポーツと環境Ⅰ<br>14.スポーツと環境Ⅱ<br>15.総括（テストと解説） | | |
| テキスト・参考文献 | 特に指定はしない。必要な資料は講義前に配布する。 | | |
| 試験・評価方法 | テスト(80%)平常点(20%) | | |
| 別途必要な経費 | 特になし。 | | |
| その他特記事項 | 医学的内容を理解するためには、解剖学、生理学などの知識が不可欠である。<br>それらの知識を復習して受講することが望ましい。 | | |

# 現代文化論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 中京大学 | 科目コード | 292712 |
| 担当教員 | 森　有礼（国際英語学部教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　金曜日：3 限（1310～1440） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 本講義は、いわゆる「古典的」或いは「高踏的」文化に対する、「現代的」かつ「大衆的」文化を題材として、その研究の起源と歴史について、現代科学と政治的言説との関連に焦点を当てつつ、特にその表象について分析・考察します。<br>具体的には、特に映画、マンガ、アニメーションといった、非文字表現に富んだ表象媒体の特質と発達を各時代の技術的・文化的文脈において比較検証しつつ解説すると共に、広く文化表象の特質についても歴史的な概説を試みることで、科学技術がどのように表象され、またそれがどんな政治性を帯びているかについて検証してゆきます。なお、本講義は秋学期開催の「エンターテインメント文芸」とテーマ的に連結します。<br>本講義は、マンガやアニメーション映画を、歴史的・社会的文脈の中に開いてゆくことで、文化表象とテクノロジーとのイデオロギー的関連性についての理解が深まります。また、現代批評理論を援用して、現代の表象文化の諸現象分析の実際的方法についても講義します。 | | |
| テキスト・参考文献 | 毎回ハンドアウトを配布し、それに基づいて授業を進めます。<br>【参考文献】斉藤環著『生き延びるためのラカン』 | | |
| 試験・評価方法 | 課題・レポート(70%)　小テスト(30%) | | |
| 別途必要な経費 | 特にありません。 | | |
| その他特記事項 | 講義に関する質問などは、火曜の 2 時限目に 14 号館の森研究室にてオフィス・アワーで直接教員が対応します。また、E メールで、適宜質問を受け付けます。メールアドレスは初回授業時にお知らせします。 | | |

# 演劇文化論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 中京大学 | 科目コード | 292713 |
| 担当教員 | 細川　眞（国際英語学部教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　木曜：3 限（1310～1440）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | イギリス演劇を代表するウイリアム・シェイクスピア(1564-1616)の生涯、作品、思想、その時代の社会的、文化的背景、現代的影響を、伝記を縦軸に、作品を横軸にして概説し、テーマが関連していると思われる作品群についてはやや詳しくそれぞれの作品論を当時の演劇的、文化的、政治的背景から論じる。'milliard-minded Shakespeare'と称されたシェイクスピアの作品は、読む人、見る人によって,又時代によって多面的に意味を持つ特色を持っているので、講義を通して自己のあり方と共に、現代、未来の世界の諸問題を考えさせる。特に有名な場面の台詞は、普遍的な深い意味を帯びているので、ビデオを見ながら原文を読んで解説し、幾つか暗唱させる。シェイクスピアの英語はブランクバースという音楽的な美しい詩によって書かれていることから、その英語の習得は英語コミュニケーションに有効である。天動説から地動説へと宇宙観が変化した西洋文明の端境期に位置したシェイクスピアを学ぶことは、西洋文化の相対性を知る機会ともなるだろう。天動説に基づく宇宙観、小宇宙の人間観から、宇宙の地動説、自律した人間観へと変遷した西洋文化の中で、彼の作品群には宗教、人間、世界、人種、ジェンダー、恋愛・結婚等の近代的文化諸価値の変遷が書き込まれていることを理解させる一方、近代西洋文化が女性、他民族・宗教に差別的だったこと、又、近代化した日本も追随していたことも認識させる。 | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書・教材】プリント<br>【参考文献】細川眞著『虚と実の狭間でーシェイクスピアのディスガイズの系譜』（英宝社） | | |
| 試験・評価方法 | 平常点(10%)　小テスト(10%)　定期試験(80%) | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 特になし | | |

# パワーエレクトロニクスA

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 中部大学 | 科目コード | 292801 |
| 担当教員 | 長谷川　勝 | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　火：34（1115～1245） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | 未定 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | パワーエレクトロニクスは電力用半導体素子（パワートランジスタ，サイリスタ，パワーMOSFET，IGBT）等を用いて電圧や電流を制御する技術分野である。高性能な技術を必要とする最近の制御分野はこれらの技術が多く見受けられる。具体例を交え，基礎的知識を学ぶ。この科目は省エネルギー，創エネルギー化時代のキーテクノロジーをカバーしている。企業の要望も強く，この技術を習得した技術者が広く期待されている。<br>【第 1 回】パワーエレクトロニクスの学び方(序章)，基本回路と電力制御への応用(1 章)<br>〔授業外学修〕パワーエレクトロニクスの定義と応用についてまとめる。<br>【第 2 回】パワーエレクトロニクス回路におけるL の役割とスイッチングによる電力制御<br>〔授業外学修〕インダクタについて復習し、パワーエレクトロニクスに使われるL の性質についてまとめる。<br>【第 3 回】パワーエレクトロニクス回路におけるC の役割とスイッチングによる電力制御<br>〔授業外学修〕キャパシタについて復習し、パワーエレクトロニクスに使われるC の性質についてまとめる。<br>【第 4 回】パワー半導体デバイスの基本特性(3 章)<br>DC-DC コンバータの原理と特性ー降圧チョッパー(9 章)<br>〔授業外学修〕スイッチングによる電力変換の特徴についてまとめる。降圧チョッパの基礎的演習を行う。<br>【第 5 回】DC-DC コンバータの原理と特性ー昇圧チョッパ，昇降圧チョッパー(9 章)<br>〔授業外学修〕昇圧チョッパ、昇降圧チョッパの基礎的演習を行う。<br>【第 6 回】DC-DC コンバータの原理と特性ー降圧チョッパ，昇圧チョッパの実際ー<br>〔授業外学修〕DC-DC コンバータを製作し、その実際についてまとめる。<br>【第 7 回】DC-DC コンバータの原理と特性ーリアクトル抵抗を考慮した出力計算ー(9 章)<br>〔授業外学修〕チョッパ回路の内部損失について、回路計算演習を行う。<br>【第 8 回】DC-DC コンバータの原理と特性 ーパワー半導体デバイスの損失と計算(4 章)<br>〔授業外学修〕チョッパ回路のスイッチング損失について、回路計算演習を行う。<br>【第 9 回】DC-DC コンバータの原理と特性 ーフルブリッジ回路と DC モータ制御への応用ー(3 章)<br>〔授業外学修〕フルブリッジ回路を製作し、その実際についてまとめる。<br>【第 10 回】インバータの原理と特性 ーRLC 回路の過渡現象と高周波インバーターー<br>〔授業外学修〕RLC 共振回路を復習し、パワーエレクトロニクスへの応用方法についてまとめる。<br>【第 11 回】インバータの原理と特性ー高周波インバータの実際と応用ー<br>〔授業外学修〕高周波インバータを製作し、その実際についてまとめる。<br>【第 12 回】インバータの原理と特性 ーひずみ波の取り扱い，総合ひずみ率ー（2 章)<br>〔授業外学修〕インバータの基本動作を復習し、出力波形に含まれる高調波特性についてまとめる。<br>【第 13 回】インバータの原理と特性ーパルス幅制御法と特定高調波除去法ー(12 章)<br>〔授業外学修〕出力波形から特定の高調波成分を除去する方法についてまとめる。<br>【第 14 回】インバータの原理と特性ーPWM 制御による出力波形の改善ー(12 章)<br>〔授業外学修〕出力波形から多数の高調波成分を除去する方法についてまとめる。<br>【第 15 回】インバータの原理と特性ー三相インバータ，三相 PWM インバーターー（13 章)<br>〔授業外学修〕三相インバータの基本回路と各部波形の計算方法についてまとめる。<br>【第 16 回】定期試験。大学が指定する定期試験日に実施する。 | | |

| | |
|---|---|
| テキスト・参考文献 | 教科書<br>『パワーエレクトロニクス』堀　孝正　編 OHM 社 2,300 円＋税 978-4-274-20627-6<br>参考文献<br>『パワーエレクトロニクスノート ～工作と理論～』古橋 武コロナ社 2,600 円＋税 978-4-339-00795-4<br>『基礎からくわしいパワーエレクトロニクス回路』島村 茂オーム社 2,700 円＋税 978-4-274-50366-5 |
| 試験・評価方法 | 成績の評価方法<br>成績は期末試験の結果で評価する。<br>成績の評価基準<br>成績結果は期末試験結果（１００点満点）で判定する。６０点以上を合格とする。 |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | |

# 電気エネルギー変換機器Ⅰ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 中部大学 | 科目コード | 292802 |
| 担当教員 | 廣塚　　功 | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　月：34（1115～1245） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | 未定 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ９月 |
| 講義概要 | 電気エネルギーは現代文明を支える最も重要なエネルギーであり，その発生，変換，利用のほとんどは発電機，変圧器，電動機などの電気エネルギー変換機器（電気機器とも言う）でなされている。 従って，電気エネルギー変換機器は電気に係るいかなる分野においても基幹となる重要な科目と位置付けられている。<br>【第１回】電気エネルギー変換機器の基礎（1）<br>・授業概要説明<br>・主として，電気機器の歴史と分類，電気機器の構成要素<br>〔授業外学修〕配布プリントにより，電気機器の歴史，分類，使用材料を復習する。<br>【第２回】電気エネルギー変換機器の基礎（2）<br>・主として，電磁現象の法則と概要（電流による磁界,電磁力）<br>〔授業外学修〕配布プリントにより，電流による磁界について復習する。<br>【第３回】電気エネルギー変換機器の基礎（3）<br>・主として，電磁現象の法則と概要（電磁誘導,起電力,磁気目路）<br>〔授業外学修〕配布プリントにより，インダクタンスについて復習する。<br>【第４回】電気エネルギー変換機器の基礎（4）<br>・主として，回転機械系の方程式，電気機器の特性を表わす方法<br>〔授業外学修〕配布プリントにより，電磁エネルギーについて復習する。<br>【第５回】変圧器（1）<br>・主として，理想変圧器<br>〔授業外学修〕配布プリントにより，電検三種の問題を解答してくる。<br>【第６回】変圧器（2）<br>・主として，変圧器の構造<br>〔授業外学修〕配布プリントにより，変圧器の磁束などについて復習する。<br>【第７回】変圧器（3）<br>・主として，実際の変圧器とその等価回<br>〔授業外学修〕配布プリントにより，変圧器に関する各種問題を解答してくる。<br>【第８回】変圧器（4）<br>・主として，変圧器の特性，変圧器の結線と並行運転<br>〔授業外学修〕配布プリントにより，変圧器に関する問題を解答してくる。<br>【第９回】変圧器（5）<br>・主として，変圧器の結線と並行運転，特殊変圧器<br>〔授業外学修〕配布プリントにより，変圧器の結線などについて復習する。<br>【第 10 回】誘導機（1）<br>・主として，三相誘導電動機の原理，構造<br>〔授業外学修〕配布プリントにより，誘導電動機の滑りについて復習する。<br>【第 11 回】誘導機（2）<br>・主として，三相誘導電動機の理論<br>〔授業外学修〕配布プリントにより，回転磁界について復習する。<br>【第 12 回】誘導機（3）<br>・主として，三相誘導電動機の等価回路と特性算定式，諸特性<br>〔授業外学修〕配布プリントにより，等価回路と定数について復習する。<br>【第 13 回】誘導機（4）<br>・主として，三相誘導電動機の始動法，速度制御法 | | |

| | |
|---|---|
| | 〔授業外学修〕配布プリントにより，運転範囲における特性を復習する。<br>【第 14 回】誘導機（5）<br>・主として，特殊かご形誘導電動機，各種単相誘導電動機<br>〔授業外学修〕配布プリントにより，各種誘導電動機の復習を行う。<br>【第 15 回】総復習<br>〔授業外学修〕期末試験範囲の復習を行う。 |
| テキスト・参考文献 | 教科書<br>『エレクトリックマシーン＆パワーエレクトロニクス[第２版]』坪井和男を含む１４名森北出版 2800+税 978-4-627-74242-0 C3054<br>参考文献<br>『電気機器学基礎論』多田隈　進、石川　芳博、常広　譲オーム社 2800+税 ISBN 4-88686-247-0<br>『インターユニバーシティ　電気機器学』松井信行オーム社 2300+税 ISBN 4-274-13205-6<br>『基本を学ぶ電気機器』西方正司オーム社 2500+税 ISBN978-4-274-21138-6 |
| 試験・評価方法 | 期末定期試験結果（80%程度）および課題などの提出状況（最終成績の 20%程度）で評価する。 |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | |

# 電力応用システム

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 中部大学 | 科目コード | 292803 |
| 担当教員 | 山本　和男 | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　月：78（1520～1650） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | 未定 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 9 月 |
| 講義概要 | 現代社会では、電気は幅広い分野でエネルギーとして利用される様になっている。この科目では、電気エネルギーの重要な応用分野である「照明」と「電熱」について、電気エネルギーを光や熱に変換する方法やその応用技術を学ぶ。<br>【第 1 回】この授業を履修する意義、狙いを理解する。<br>照明工学は、われわれの眼で感じることができる電磁波の一部「可視光」のエネルギーの「発生」「伝播」「面密度」などに関する学問であることを理解する。<br>〔授業外学修〕教科書 P3?10 を予習しておく。<br>【第 2 回】照明の基礎用語、「光度」、「光束」、「照度」の関係と、その単位を理解する。<br>〔授業外学修〕前回授業の復習をすると共に，教科書 P10?13 を予習しておく。<br>【第 3 回】照度の距離の逆 2 乗の法則、入射角の余弦の法則、輝度と完全拡散面、配光曲線について学ぶ。<br>〔授業外学修〕前回授業の復習をすると共に，教科書 P13?21 を予習しておく。<br>【第 4 回】照明の基礎について理解を深めるため、演習問題を行う。<br>〔授業外学修〕前回授業の復習をすると共に，教科書 P21?22 を予習しておく。<br>【第 5 回】光源の光度、光束を測定する原理を学ぶ。<br>〔授業外学修〕前回授業の復習をすると共に，教科書 P23?29 を予習しておく。<br>【第 6 回】光度、光束の測定方法の理解を深めるため、演習を行う。<br>〔授業外学修〕前回授業の復習をすると共に，教科書 P29?30 を予習しておく。<br>【第 7 回】白熱電球についての発光原理を学ぶ。<br>〔授業外学修〕前回授業の復習をすると共に，教科書 P31?46 を予習しておく。<br>【第 8 回】蛍光灯や高圧放電管の発光原理を学ぶ。<br>〔授業外学修〕前回授業の復習をすると共に，教科書 P46?76 を予習しておく。<br>【第 9 回】LED や有機 EL の発光原理を学ぶ。<br>〔授業外学修〕前回授業の復習をすると共に，配布プリント 1 を予習しておく。<br>【第 10 回】代表的な幾何学的光源について、配光曲線、光度、光束を求める計算法を学ぶ。<br>〔授業外学修〕前回授業の復習をすると共に，配布プリント 2 を予習しておく。<br>【第 11 回】配光曲線、光度、光速を求める計算法の理解を深めるため、演習を行う。<br>〔授業外学修〕前回授業の復習をすると共に，配布プリント 3 を予習しておく。<br>【第 12 回】照明の実用について学ぶ。<br>電熱の基礎について学ぶ。熱エネルギーと電気エネルギーの関係を学ぶ。<br>〔授業外学修〕前回授業の復習をすると共に，教科書 P147?155 を予習しておく。<br>【第 13 回】代表的な電気加熱の方式、原理、特徴などを学ぶ。<br>〔授業外学修〕前回授業の復習をすると共に，教科書 P156?162 を予習しておく。<br>【第 14 回】物質の昇温、融解などに必要な熱量と電気エネルギーの計算方法の理解を深めるため、演習を行う。<br>〔授業外学修〕前回授業の復習をすると共に，配布プリント 4 を予習しておく。<br>【第 15 回】これまでに学んだ内容の要点を復習し、期末試験に備える。<br>〔授業外学修〕これまでのノートを基に期末試験に向けた準備を始める。 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書<br>『照明・電熱』佐藤　清史東京電機大学出版局 2600 円＋税 ISBN4-501-01570-5 | | |
| 試験・評価方法 | 成績の評価方法<br>1.光度、光束、照度の関係が理解できているか<br>2.代表的な照明について、照度計算ができるか | | |

| | |
|---|---|
| | 3.熱量と電気エネルギーとの関係が理解できているか<br>4.代表的な電気加熱方式について、必要な電気エネルギーが計算できるか<br>を中間試験，期末試験，小テスト，およびレポートを課して評価する。<br>成績の評価基準<br>中間・期末試験 80%，小テスト，レポート 20%で評価する。100 点満点中 60 点以上を合格とする。 |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | |

# 監査論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 中部大学 | 科目コード | 292804 |
| 担当教員 | 田中　智徳 | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　月：56（1335～1505） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 未定 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 会計情報は投資判断等において極めて重要な役割を果たしている。しかし残念ながら、企業は必ずしも正しい会計情報を公表するとは限らない。自社に都合が良いように会計情報を操作したり、都合の悪いことを隠して会計情報を偽る行為、いわゆる粉飾を行うことがある。こうした行為を防止し、経済の健全な発展に寄与するために、公認会計士は企業が公表した会計情報について検証を行い、企業が公表する会計情報の信頼性に関する保証業務を行っている。これを財務諸表の監査という。<br>しかし実際には、粉飾等による企業不正は後を絶たず、公認会計士による監査には多くの課題が残されている。そこで本授業では、公認会計士による監査の基礎を学び、情報の信頼性の担保、保証という概念について理解を得ることを目的とする。<br>【第 1 回】ガイダンスー監査とは何か<br>〔授業外学修〕特になし<br>【第 2 回】監査の基礎　ドラマ「監査法人」の視聴と感想<br>〔授業外学修〕ドラマ「監査法人」を見て疑問に思った点について調べてみる。<br>【第 3 回】監査の生成と発展　①監査の歴史、②会社法監査制度の歴史、③金融商品取引法監査制度の歴史、④会計・監査制度<br>〔授業外学修〕会社法および金融商品取引法の下での監査制度の歴史について復習する<br>【第 4 回】監査の目的と二重責任　①監査の定義と成立条件、②監査基準、③監査の目的<br>〔授業外学修〕監査の成立条件、監査基準の性格および構成、監査の目的において示されている事項について復習する<br>【第 5 回】監査人の適格性　①監査人の独立性、②正当な注意と職業的懐疑心、③職業資格とCPE<br>〔授業外学修〕独立性の 2 つの概念およびその必要性、職業的懐疑心の意義、CPE の意義とその必要性について復習する<br>【第 6 回】監査の実施プロセス 1ー監査の開始　①監査プロセス、②監査契約、③監査報酬、④監査計画<br>〔授業外学修〕監査プロセスの全体像、リスク・アプローチの概念について復習する。監査報酬にまつわる問題について調べてみる。<br>【第 7 回】監査の実施プロセス 2ー監査の実施　①監査証拠、②監査要点と監査手続、③監査調書<br>〔授業外学修〕監査目標と監査要点の関係、監査手続について復習する。授業で学習した以外の監査手続を調べてみる。<br>【第 8 回】監査の実施プロセス 3ー監査判断　①監査判断、②実質的判断、③監査意見<br>〔授業外学修〕監査意見の種類と除外事項の関係について復習する。無限定適正意見以外の監査報告書を探してみる。<br>【第 9 回】監査報告書　①監査意見と監査報告書、②監査報告書の記載事項、③追記情報、④継続企業の前提<br>〔授業外学修〕監査報告書の特徴、監査報告書の記載事項について復習する。監査報告書において継続企業の前提に関する記載が示された企業について調べてみる。<br>【第 10 回】公認会計士試験制度　①公認会計士試験制度の歴史、②現在の公認会計士試験制度、③会計専門職大学院、④公認会計士試験制度の課題<br>〔授業外学修〕公認会計士試験制度の概要について復習する。公認会計士試験制度が抱える課題について、解決策を考えてみる。<br>【第 11 回】監査関連問題、内部統制　①監査関連問題、内部統制 | | |

| | |
|---|---|
| | 〔授業外学修〕監査役設置会社、監査等委員会設置会社、指名委員会等設置会社の特徴、内部統制の目的、構成要素、限界について復習する。監査役、会計監査人および内部監査人の連携について考えてみる。<br>【第 12 回】企業不祥事　①米国における会計不祥事とわが国への影響、②わが国における会計不祥事<br>〔授業外学修〕企業不祥事と監査人の対応について考える。<br>【第 13 回】各論　①監査法人、②品質管理、③四半期レビュー制度、④第三者委員会<br>〔授業外学修〕監査法人の歴史について調べてみる。品質管理の望ましい方法について考えてみる。四半期レビュー制度および第三者委員会の意義と課題について考えてみる。<br>【第 14 回】財務諸表監査と不正　①監査基準の改訂および監査における不正リスク対応基準の設定、②不正への対応<br>〔授業外学修〕監査人は不正に対してどのような対応を取るべきかを考える。不正のトライアングルを用いて身近な不正とその防止策を考えてみる。<br>【第 15 回】不正対応の新局面　①公認不正検査士協会、②CFE の資格と役割、③不正検査、④不正の現状と課題<br>〔授業外学修〕不正検査の意義とその内容について復習する。企業不正に対してどのような対応策があるか考える。<br>【第 16 回】期末試験 |
| テキスト・参考文献 | 教科書<br>なし<br>参考文献<br>『逐条解説で読み解く監査基準のポイント』八田進二町田祥弘同文舘出版 3,80097844951988 17<br>『ベーシック監査論（七訂版）』伊豫田隆俊他同文舘出版 4104978449518 2571 |
| 試験・評価方法 | 成績の評価方法<br>期末試験、確認小テスト・小レポートを基に評価する。<br>成績の評価基準<br>期末試験（70%）、確認小テスト・小レポート（30%） |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | 会計に関連する授業であるため、会計や簿記に関する基本的な知識があったほうが理解が進むと思われるが、専門的な用語については平易な説明を心がけているため、会計や簿記が苦手な学生でも、十分に理解することは可能であると思われる。 |

# 国際会計論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 中部大学 | 科目コード | 292805 |
| 担当教員 | 阿部　　仁 | | |
| 学年配当 | ３年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　火：34（1115～1245） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 未定 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 企業活動の国際化や資金調達の国際化によって，企業を取り巻く利害関係者は国内だけにとどまらず，全世界に広がっている。そのため各国で異なっている会計基準を統一しようとする動きが世界的に主流となっており，国際財務報告基準と呼ばれるグローバル基準が世界 100 か国以上で使用されている。<br>本講義ではそのような現状をふまえ，会計国際化の歴史・最新の動向を理解するとともに，日本の会計基準がどのように国際基準と収斂してきたかを明らかにしながら，日本の会計を取り巻く諸問題について考えてみたい。<br>【第１回】ガイダンス　企業の国際化と会計制度<br>〔授業外学修〕企業が国際化する理由をまとめ、その結果が会計に与える影響を整理する。<br>【第２回】国際会計の歴史１　国際会計基準の誕生<br>〔授業外学修〕国際基準が生まれた経緯と時代背景、その発展のプロセスを文章で説明する。<br>【第３回】国際会計の歴史２　国際財務報告基準（IFRS）の誕生<br>〔授業外学修〕IAS から IFRS に変更した理由、その後の IFRS の発展についてまとめる。<br>【第４回】会計基準をめぐる欧州の動向１<br>〔授業外学修〕EU が誕生した経緯、EU の経済政策と会計との関係について調べてみる。<br>【第５回】会計基準をめぐる欧州の動向２　同等性評価問題<br>〔授業外学修〕同等性評価の意味と結果、同等性評価が世界各国の会計政策に与えた影響についてレポートにまとめる。<br>【第６回】会計基準をめぐるアメリカの動向<br>〔授業外学修〕アメリカが国際基準とどのように対峙してきたのか、アメリカの会計政策は時代とともにどのように変化しているのか、レポートにまとめる。<br>【第７回】会計基準をめぐる日本の動向<br>〔授業外学修〕日本が国際基準とどのように対峙してきたのか、国際基準の適用に踏み切った理由は何か、レポートにまとめる。<br>【第８回】ＩＦＲＳと日本基準１　財務報告制度の変化<br>〔授業外学修〕IFRS を採用することによって、日本企業の財務諸表はどのように変化したのか、実例を見ながらレポートにまとめる。<br>【第９回】ＩＦＲＳと日本基準２　ＩＦＲＳの適用事例<br>〔授業外学修〕IFRS 適用会社の財務諸表を入手し、その特徴点について調べてみる。<br>【第 10 回】ＩＦＲＳと日本基準３　資産の部の変化<br>〔授業外学修〕日本基準と IFRS を比較した場合、資産の部ではどのような相違点があるのか、また実務に影響を与える点はどこなのか、レポートにまとめる。<br>【第 11 回】ＩＦＲＳと日本基準４　負債の部の変化<br>〔授業外学修〕日本基準と IFRS を比較した場合、負債の部ではどのような相違点があるのか、また実務に影響を与える点はどこなのか、レポートにまとめる。<br>【第 12 回】ＩＦＲＳと日本基準５　費用・収益<br>〔授業外学修〕日本基準と IFRS を比較した場合、収益・費用についてどのような相違点があるのか、また実務に影響を与える点はどこなのか、レポートにまとめる。<br>【第 13 回】ＩＦＲＳと日本基準６　企業集団と連結財務諸表<br>〔授業外学修〕日本基準と IFRS の連結に関する考え方の相違、また実務に影響を与える点はどこなのか、レポートにまとめる。<br>【第 14 回】ＩＦＲＳと日本基準７　表示と開示<br>〔授業外学修〕日本基準と IFRS を比較した場合、財務諸表の表示にはどのような相違点がある | | |

| | |
|---|---|
| | のか、レポートにまとめる。<br>【第 15 回】ＩＦＲＳのこれからと日本基準<br>〔授業外学修〕日本は IFRS をアドプションするべきなのか、それとも他の方法を選択するべきなのか、授業を通して得た知識から自分なりの解答をレポートとしてまとめる。 |
| テキスト・参考文献 | 教科書<br>『IFRS 国際会計論の基礎（第 4 版）』平松一夫中央経済社 2800<br>参考文献<br>『国際財務報告論』平松一夫中央経済社 3400978-4-502-27700-9 |
| 試験・評価方法 | 成績の評価方法<br>国際会計を取り巻く諸問題に対して，各自がどのような問題意識を持ち，それに対して理論的に解答を導けるかどうかを授業時のショートレポート，中間レポートおよび期末試験（記述式）で評価する。<br>成績の評価基準<br>ショートレポート（30%），中間レポート（20%），期末試験（50%）で評価し 60%以上で合格とする。 |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | |

# 経営組織論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 中部大学 | 科目コード | 292806 |
| 担当教員 | 辻村　宏和 | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　火：78（1520～1650） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 未定 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 9 月 |
| 講義概要 | 組織づくりのハード面（組織構造論）を取り扱う。これから起業する者をイメージし、経営の根幹に当たる組織づくりがいかに大切で、どれほどデンジャラスなものかをいくつかの事例を交えながら組織の病理を伝える。<br>【第 1 回】序論<br>経済学と経営学、そして経営組織論<br>〔授業外学修〕ノートと教科書＆配布プリントとの照合をし、体系的なつながりを確認しておくこと。<br>【第 2 回】組織論のスタイル<br>職場組織の病理と2つのアプローチ<br>〔授業外学修〕ノートと教科書＆配布プリントとの照合をし、体系的なつながりを確認しておくこと。<br>【第 3 回】組織力の比較<br>組織力の比較の手法<br>〔授業外学修〕ノートと教科書＆配布プリントとの照合をし、体系的なつながりを確認しておくこと。<br>【第 4 回】組織のかく乱要因<br>非公式組織の意義<br>〔授業外学修〕ノートと教科書＆配布プリントとの照合をし、体系的なつながりを確認しておくこと。<br>【第 5 回】非公式組織の応用１）<br>会議制の功罪<br>〔授業外学修〕ノートと教科書＆配布プリントとの照合をし、体系的なつながりを確認しておくこと。<br>【第 6 回】非公式組織の応用２）<br>組織内情報の功罪<br>〔授業外学修〕ノートと教科書＆配布プリントとの照合をし、体系的なつながりを確認しておくこと。<br>【第 7 回】強い組織の原理<br>日本的経営と能力成果主義<br>〔授業外学修〕ノートと教科書＆配布プリントとの照合をし、体系的なつながりを確認しておくこと。<br>【第 8 回】組織づくり<br>組織づくりの基礎概念<br>〔授業外学修〕ノートと教科書＆配布プリントとの照合をし、体系的なつながりを確認しておくこと。<br>【第 9 回】組織づくりの病理１）<br>職務・権限・責任と均等原則<br>〔授業外学修〕ノートと教科書＆配布プリントとの照合をし、体系的なつながりを確認しておくこと。<br>【第 10 回】組織づくりの病理２）<br>職務権限の委譲<br>〔授業外学修〕ノートと教科書＆配布プリントとの照合をし、体系的なつながりを確認しておくこと。 | | |

| | |
|---|---|
| | 【第 11 回】組織づくりの病理３）<br>目標による管理の意義<br>〔授業外学修〕ノートと教科書＆配布プリントとの照合をし、体系的なつながりを確認しておくこと。<br>【第 12 回】組織づくりの病理４）<br>ライン＆スタッフ組織の意義<br>〔授業外学修〕ノートと教科書＆配布プリントとの照合をし、体系的なつながりを確認しておくこと。<br>【第 13 回】組織づくりの病理５）<br>権威中心組織と責任感中心組織<br>〔授業外学修〕ノートと教科書＆配布プリントとの照合をし、体系的なつながりを確認しておくこと。<br>【第 14 回】組織づくりの病理６）<br>誘因（動機づけ）理論<br>〔授業外学修〕ノートと教科書＆配布プリントとの照合をし、体系的なつながりを確認しておくこと。<br>【第 15 回】総括<br>経営組織論の全体系の効用<br>〔授業外学修〕ノートと教科書＆配布プリントとの照合をし、体系的なつながりを確認しておくこと。 |
| テキスト・参考文献 | 教科書<br>『組織のトラブル発生図式』辻村宏和成文堂 3,0004-7923-4136-1 |
| 試験・評価方法 | 成績の評価方法<br>試験の成績と取り組み姿勢（受講態度など）にもとづいて評価する。<br>1.期末試験の成績<br>2.出席状況<br>3.受講態度<br>成績の評価基準<br>授業内容の範囲内で、上述した達成目標とその小項目がどれだけ達成できているかを、期末試験により点数化し、定められた成績評定基準・単位認定基準（S：90 点以上、A：80 点以上、B：70 点以上、C：60 点以上）に従って成績評価を行う。<br>授業中に投げかける質問に対する回答回数・スコアも成績に加味する。 |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | |

# 国際経済学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 中部大学 | 科目コード | 292807 |
| 担当教員 | 山口　直樹 | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　月：56（1335～1505） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 未定 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 9 月 |
| 講義概要 | 経済活動のグローバル化が急速に進展している今日の世界では，国際経済関係が経済問題の中で大きな比重を占めている。この授業では，国際経済関係を経済学的に理解するための基礎を学習し，現実の国際経済問題についての理解を深めることを目的とする。<br>1．国際経済学の方法と対象（1 週）<br>〔授業外学修〕国際経済学の考え方について復習する。<br>2．貿易の仕組みと貿易利益ーなぜ貿易が行われ，どのような貿易利益が生じるかー<br>（1）比較生産費原理（2，3 週）<br>〔授業外学修〕比較生産費の基本的な考え方に理解できたか，復習する。<br>2．貿易の仕組みと貿易利益ーなぜ貿易が行われ，どのような貿易利益が生じるかー<br>（1）比較生産費原理（2，3 週）<br>〔授業外学修〕比較生産費についての授業中の練習問題ができるようになったか，確認する。<br>2．貿易の仕組みと貿易利益ーなぜ貿易が行われ，どのような貿易利益が生じるかー<br>（2）貿易利益（4，5 週）<br>〔授業外学修〕特化と交換の利益とは何かが説明できるようにする。<br>2．貿易の仕組みと貿易利益ーなぜ貿易が行われ，どのような貿易利益が生じるかー<br>（2）貿易利益（4，5 週）<br>〔授業外学修〕貿易利益についての授業中の練習問題ができるようになったか，確認する。<br>3．貿易パターンの決定因ー貿易のパターンはどのように決定されるかー<br>（1）ヘクシャー＝オリーン理論（6，7 週）<br>〔授業外学修〕ヘクシャー・オリーンモデルが理解できたか確認する。<br>3．貿易パターンの決定因ー貿易のパターンはどのように決定されるかー<br>（1）ヘクシャー＝オリーン理論（6，7 週）<br>〔授業外学修〕ヘクシャー・オリーンモデルの授業中の練習問題ができるようになったか，確認する。<br>3．貿易パターンの決定因ー貿易のパターンはどのように決定されるかー<br>（2）レオンチェフ・パラドクス（8 週）<br>〔授業外学修〕貿易モデルを現実の貿易に当てはめて考えてみる。<br>3．貿易パターンの決定因ー貿易のパターンはどのように決定されるかー<br>（3）産業内貿易（9 週）<br>〔授業外学修〕産業内貿易モデルについて復習する。<br>4．貿易政策ーなぜ保護貿易政策を取るのかー<br>（1）保護貿易の論拠（10，11 週）<br>〔授業外学修〕貿易政策の実際の制度について確認しておく。<br>4．貿易政策ーなぜ保護貿易政策を取るのかー<br>（1）保護貿易の論拠（10，11 週）<br>〔授業外学修〕保護貿易の考え方について復習する。<br>4．貿易政策ーなぜ保護貿易政策を取るのかー<br>（2）日本の貿易政策（12 週）<br>〔授業外学修〕日本の関税政策の歴史と現状について復習する。<br>5．海外直接投資ーなぜ企業は海外生産を行うのかー<br>（1）企業の多国籍化と直接投資の理論（13 週）<br>〔授業外学修〕直接投資の考え方を復習する。<br>5．海外直接投資ーなぜ企業は海外生産を行うのかー | | |

| | |
|---|---|
| | （2）アジアにおける直接投資の展開（14 週）<br>〔授業外学修〕わが国企業の直接投資の現状について復習する。<br>まとめ<br>〔授業外学修〕1 年のふり返りを行なう。 |
| テキスト・参考文献 | |
| 試験・評価方法 | 成績の評価方法<br>授業中に行う中間・期末テストの結果により評価する。ただし、授業に対する取り組み状況などにより加点・減点を行う場合がある。<br>成績の評価基準<br>合否の判断基準は，経済学のツールを用いて，基本的な貿易問題を分析する考え方が理解できたかどうかである。 |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | |

# 国際機構

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 中部大学 | 科目コード | 292808 |
| 担当教員 | 加々美康彦 | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　月：78（1520～1650） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | 未定 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 現代国際社会の重要な特徴の一つは、その急速な「組織化」にあるといえる。なぜ国家は国際機構を生成するのか？そうした問題意識の下で、国際連合をはじめとする国際機構の構造、機能などを探索し、国際関係の理解を深める<br>【第 1 週】イントロダクション：　講義の進め方や、評価方法の説明<br>〔授業外学修〕<br>・国際機構に関する文献を自分で探しておく<br>・国際機構に関する新聞記事などの情報を探してみる<br>【第 2 週】スライドで見る国連ツアー<br>〔授業外学修〕<br>・「国連広報センター」のウェブサイトを閲覧し、基本情報を調べておく<br>・日本にある国連関係機関を探し、どのような分野を担当する機関か調べてみる<br>【第 3 週】国際機構が生まれる：　戦争・革命が国際機構を生む<br>〔授業外学修〕<br>・19 世紀から 20 世紀までの欧州の歴史について調べておく<br>・参考文献の第 1 章をよく読み、分からないタームを見つけ、調べてみる<br>【第 4 週】国際連盟⑴：　第一次世界大戦と国際連盟、連盟の組織<br>〔授業外学修〕<br>・第 1 次世界大戦について、基本情報を調べておく<br>・国際連盟時代に生じた紛争について調べてみる<br>【第 5 週】国際連盟⑵：　国際連盟の活動<br>〔授業外学修〕<br>・国際連盟の活動について、自分で文献を探して読んでみる<br>・ここまで配布されたレジュメを基に、内容を文章で説明できるようにする<br>【第 6 週】第 1 回小テスト及びこれまでの振り返り<br>〔授業外学修〕<br>・第 2 次世界大戦について、基本情報を調べておく<br>・参考文献の第 2 章をよく読み、分からないタームを見つけ、調べてみる<br>【第 7 週】国際連合⑴：　成立の経緯、創設当初の特徴<br>〔授業外学修〕<br>・国際連合について、自分で文献を探して読んでおく<br>・冷戦について調べてみる<br>【第 8 週】国際連合⑵：　集団安全保障体制、冷戦期の変化<br>〔授業外学修〕<br>・国連の集団安全保障体制について、基本情報を調べておく<br>・国連の PKO について、調べてみる<br>【第 9 週】国際連合⑶：　冷戦終焉後の錯綜<br>〔授業外学修〕<br>・湾岸戦争について、自分で文献を探して読んでおく<br>・参考文献の第 3 章をよく読み、分からないタームを見つけ、調べてみる<br>【第 10 週】国連改革：　国連改革とは何か、改革論の軌跡と系譜<br>〔授業外学修〕<br>・日本政府の主張する国連改革案とその問題点を調べてみる<br>・ここまで配布されたレジュメを基に、内容を文章で説明できるようにする | | |

| | |
|---|---|
| | 【第 11 週】第２回小テスト及びこれまでの振り返り<br>〔授業外学修〕<br>・ウエストファリア体制について、自分で文献を探して読んでおく<br>・参考文献の第５章をよく読み、分からないタームを見つけ、調べてみる<br>【第 12 週】国際機構創設の動因(1)：　共通利益 対 国益<br>〔授業外学修〕<br>・NGO について、自分で文献を探して読んでおく<br>・配布レジュメを基に、内容を文章で説明できるようにする<br>【第 13 週】国際機構創設の動因(2)：　創設動因の具体的類型<br>〔授業外学修〕<br>・地域的機関について、自分で文献を探して読んでおく<br>・配布レジュメを基に、内容を文章で説明できるようにする<br>【第 14 週】国際機構の構造・機能・意思決定<br>〔授業外学修〕<br>・国際連合についてこれまでの授業で学んだことを復習しておく<br>・ここまで配布されたレジュメを基に、内容を文章で説明できるようにする<br>【第 15 週】第３回小テスト及び全体の振り返り<br>〔授業外学修〕<br>・国際機構はなぜ設立されるのか、授業で学んだタームを使いながら説明文章を作成する |
| テキスト・参考文献 | 参考文献<br>『国際機構論』最上敏樹東京大学出版会 |
| 試験・評価方法 | 期間中に数回実施する小テスト及び授業への取組み(質問・発言等)に基づき総合的に評価する。<br>任意レポートの提出も評価に加味する |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | |

# フィールドワーク論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 中部大学 | 科目コード | 292809 |
| 担当教員 | 和崎　春日 | | |
| 学年配当 | ２年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　火：78（1520～1650） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | 未定 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ９月 |
| 講義概要 | 文化人類学は、比較文化の学である。本授業は、文化人類学の考え方の基本のなかの基本を学ぶ授業である。私たちが住んでいる産業発展した「北側」社会ではない社会からむしろ積極的に学んで、われわれの社会と比較し、活用する。そのために、文化人類学は、他（異）文化をフィールドワークする。他文化というのは、地球の「南側」世界、発展途上国、「未開」社会、新興国の文化のことであり、世代で言えば幼少や壮老の中核世代ではない「おばあちゃんの知恵袋」であり、辺境やストリートや貧困地や金持ちではない民衆文化のことである。欧米を学ぶならニューヨークの「黒人」街やパリのイスラーム街を含んで欧米を学ぶ。日本なら、福島や阪神淡路や熊本への視点をもちながら、発展した東京・大阪を学ぶ。他文化に住み込んで、そこにある合理性、科学性をすくい上げる。<br>【第１回】文化人類学がめざすもの―偏見と固定観念を乗り超える<br>〔授業外学修〕「すっかり、これだけが正しい」と思っていたことを列挙しよう<br>【第２回】他文化フィールドワークの考え方ー「未開」や「発展途上」国の文化は「劣って」いるのか<br>〔授業外学修〕貧乏地域の深い知恵、被災地域の高い志を確認しよう<br>【第３回】他文化フィールドワークによる比較文化ー「未開」と文明<br>〔授業外学修〕「未開」って何なのさ？整理しよう<br>【第４回】他文化フィールドワークによる比較文化ー文化比較と文化接触<br>〔授業外学修〕世界は結構つながっていることを確認しておこう<br>【第５回】比較文化の方法と人類学の分野―文化人類学（他民族フィールドワーク）と民俗学（自民族フィールドワーク）<br>〔授業外学修〕国際比較と国内比較を整理しておこう<br>【第６回】文化は何のためにあるのかー個人に焦点をあてたフィールドワーク<br>〔授業外学修〕個人救済の心理的人類学を理解しておこう<br>【第７回】文化は何のためにあるのかー集団の共同生活に焦点をあてたフィールドワーク<br>〔授業外学修〕個人ではない集団がうまくいかないと花ｓｈ９位にならない、という考え方を整理しよう<br>【第８回】心理人類学ーアメリカ人人類学者による日本人の「社会化としつけ」フィールドワーク<br>〔授業外学修〕「しつけ」によって国民性がちがってくるのか、整理しよう<br>【第９回】言語人類学ーアフリカ言語フィールドワーク実践<br>〔授業外学修〕辞書のない社会に飛び込むトレーニングと構えを整理しておく<br>【第 10 回】文化の表層と文化の深層―「他文化と表面は違っても」という考え方<br>〔授業外学修〕表面が同じで意味が違う事象を列挙してお<br>【第 11 回】文化の外在的理解と内在的理解ーアフリカに住んで、科学か生活か<br>〔授業外学修〕そこの文化をすくいあげることの重要性を国際協力の例で考えておく<br>【第 12 回】文化の外在的理解と内在的理解ーフィールドでの生活態度が問われる<br>〔授業外学修〕信頼関係がなければ文化理解などありえないことを例証しておこう<br>【第 13 回】文化の科学的理解と主観的理解をつなぐ道<br>〔授業外学修〕心が通いながら科学的文化理解が可能となる道を、あれやこれやと模索しておくー試験で問います<br>【第 14 回】他文化理解の理論とフィールド生活実感をむすぶもの<br>〔授業外学修〕異文化で生活を共にすることに尽力しながら科学的理解を可能にすることを模索しておく | | |

| | |
|---|---|
| | 【第 15 回】フィールドで他者への偏見を乗り越える―質疑応答を中心に<br>〔授業外学修〕科学知と民衆知という用語を整理しておこう<br>【第 16 回】期末試験―自らフィールドワークをやってみたことや自己体験を記述してみる、理論とフィールド体験を結びつける |
| テキスト・参考文献 | 教科書<br>なし<br>参考文献<br>『アフリカに暮らして』多摩アフリカセンター春風社１６００978-4-86110-3124<br>『アフリカ研究』宮本正興・赤坂賢・日野舜也世界思想社１９５04-7907-0472-6 C3336 |
| 試験・評価方法 | 成績の評価方法<br>出席態度　60%（毎回あるいは数回、出席者には自らの生活事象をふまえ講義内容に関連した考察文を提出してもらう）、出席態度には受講マナー（本講義ではＳＮＳ不使用でテーブル上に置かない、ドリンクもテーブル上に置かない、トイレは授業前に行っておく、寝るようだと他の学生の集中力のジャマになるので退室してもらう）も重要で、熱意と誠意をもって学びましょう。<br>定期試験　40%。<br>成績の評価基準<br>フィールドワークを基礎とした文化人類学の基本的な考え方・倫理・スタンスの理解の程度を評価する。他者や他文化を見るスタンスや方法を一つ一つ学んでいき、それを自らの身の回りにある生活事象や体験、事件、出来事などと結び付けて（つまりフィールドワークして）考えることが期待される。60 点以上で合格とする。 |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | 講義を中心に。挙手による個人的意見の表出やコメントや質問を歓迎する。ときに英字新聞などを資料として、そのときの国際情勢とリンクさせながら、国際関係を学ぶことがある。英語によるキーワード習得も視野に入れて講義を行う。 |

# 観光人類学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 中部大学 | 科目コード | 292810 |
| 担当教員 | 杓谷　茂樹 | | |
| 学年配当 | ３年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　月：78（1520～1650） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 社会・マスコミ・情報 | | |
| 教室 | 未定 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ９月 |
| 講義概要 | 文化人類学とは、文字通り文化を扱う学問である。そこではしばしば、西欧の影響により消滅しようとしている「未開」社会固有の文化が対象として考えられてきたが、近年こういった文化も、固定的でただ消滅してゆくのを待っているわけではなく、様々な文脈の中で操作され、変容し、ときに新たに生み出されているのだという視点で見られるようになってきた。そんな文化のあり方を我々に端的に見せてくれる文脈のひとつに観光がある。この講義では、観光を巡る様々な問題を通して、そこに立ち上がってくる文化の変容・生成について考えてゆく。<br>【第１回】イントロダクション ?観光とは?<br>〔授業外学修〕自らの観光経験をふりかえりながら授業で扱った内容について再度考える。<br>【第２回】観光の歴史<br>〔授業外学修〕自らの観光経験をふりかえりながら授業で扱った内容について再度考える。<br>【第３回】観光人類学の論点<br>〔授業外学修〕自らの観光経験をふりかえりながら授業で扱った内容について再度考える。<br>【第４回】植民地主義と観光<br>〔授業外学修〕自らの観光経験をふりかえりながら授業で扱った内容について再度考える。<br>【第５回】国際観光開発の歴史とリゾート開発の問題点<br>〔授業外学修〕自らの観光経験をふりかえりながら授業で扱った内容について再度考える。<br>【第６回】マスツーリズムの反省とオルタナティブツーリズム<br>〔授業外学修〕自らの観光経験をふりかえりながら授業で扱った内容について再度考える。<br>【第７回】事例研究、小テスト<br>〔授業外学修〕自らの観光経験をふりかえりながら授業で扱った内容について再度考える。<br>【第８回】エコツーリズム<br>〔授業外学修〕自らの観光経験をふりかえりながら授業で扱った内容について再度考える。<br>【第９回】ヘリテージツーリズム<br>〔授業外学修〕自らの観光経験をふりかえりながら授業で扱った内容について再度考える。<br>【第 10 回】文化現象としての観光<br>〔授業外学修〕自らの観光経験をふりかえりながら授業で扱った内容について再度考える。<br>【第 11 回】文化の商品化と真正性<br>〔授業外学修〕自らの観光経験をふりかえりながら授業で扱った内容について再度考える。<br>【第 12 回】観光文化とは<br>〔授業外学修〕自らの観光経験をふりかえりながら授業で扱った内容について再度考える。<br>【第 13 回】文化の客体化とイメージ<br>〔授業外学修〕自らの観光経験をふりかえりながら授業で扱った内容について再度考える。<br>【第 14 回】事例研究、小テスト<br>〔授業外学修〕自らの観光経験をふりかえりながら授業で扱った内容について再度考える。<br>【第 15 回】まとめ<br>〔授業外学修〕自らの観光経験をふりかえりながら授業で扱った内容について再度考える。 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書は使用しない。<br>受講者は自らがこれまで旅行した際の体験などを本講義における議論に関連づける努力をしてほしい。 | | |
| 試験・評価方法 | 成績の評価方法<br>授業への出席態度、および毎回書いてもらう感想文の内容　70%<br>２回実施する小テストの内容　30%<br>成績の評価基準 | | |

| | |
|---|---|
| | 観光人類学の基本的な考え方の理解の程度を評価する。60 点以上を合格とする。 |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | |

# 古典文学講読A

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 中部大学 | 科目コード | 292811 |
| 担当教員 | 岡本　　聡 | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　月：56（1335～1505） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | 未定 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 服部土芳が松尾芭蕉からの伝聞、蕉門での論議、俳諧の心構え等をまとめた俳諧論書『三冊子』をくずし字で読解していく。 「赤冊子」「白冊子」「黒冊子」から成る。1702 年（元禄 15 年）頃成立したとみられる。蕉風の根本問題に触れた批評が多く蕉門の俳論書として良くまとまっている。<br>【第 1 回】芭蕉の俳論書<br>〔授業外学修〕次回範囲予習<br>【第 2 回】『三冊子』読解<br>〔授業外学修〕次回範囲予習<br>【第 3 回】『三冊子』読解<br>〔授業外学修〕次回範囲予習<br>【第 4 回】『三冊子』読解<br>〔授業外学修〕次回範囲予習<br>【第 5 回】『三冊子』読解<br>〔授業外学修〕次回範囲予習<br>【第 6 回】『三冊子』読解<br>〔授業外学修〕次回範囲予習<br>【第 7 回】『三冊子』読解<br>〔授業外学修〕次回範囲予習<br>【第 8 回】『三冊子』読解<br>〔授業外学修〕次回範囲予習<br>【第 9 回】『三冊子』読解<br>〔授業外学修〕次回範囲予習<br>【第 10 回】『三冊子』読解<br>〔授業外学修〕次回範囲予習<br>【第 11 回】『三冊子』読解<br>〔授業外学修〕次回範囲予習<br>【第 12 回】『三冊子』読解<br>〔授業外学修〕次回範囲予習<br>【第 13 回】『三冊子』読解<br>〔授業外学修〕次回範囲予習<br>【第 14 回】『三冊子』読解<br>〔授業外学修〕次回範囲予習<br>【第 15 回】到達度判定試験<br>〔授業外学修〕復習 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書<br>『三冊子』中村俊定編笠間書院 971978-4-305-00121-4 | | |
| 試験・評価方法 | 成績の評価方法<br>授業時間内に行う試験と出席により評価<br>成績の評価基準<br>試験 70%　平常点 30% | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 古典文学講読B

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 中部大学 | 科目コード | 292812 |
| 担当教員 | 岡本　　聡 | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　月：34（1115～1245） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | 未定 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 9 月 |
| 講義概要 | 服部土芳が松尾芭蕉からの伝聞、蕉門での論議、俳諧の心構え等をまとめた俳諧論書『三冊子』をくずし字で読解していく。 「赤冊子」「白冊子」「黒冊子」から成る。1702 年（元禄 15 年）頃成立したとみられる。蕉風の根本問題に触れた批評が多く蕉門の俳論書として良くまとまっている。<br>【第 1 回】芭蕉の俳論書<br>〔授業外学修〕次回範囲予習<br>【第 2 回】『三冊子』読解<br>〔授業外学修〕次回範囲予習<br>【第 3 回】『三冊子』読解<br>〔授業外学修〕次回範囲予習<br>【第 4 回】『三冊子』読解<br>〔授業外学修〕次回範囲予習<br>【第 5 回】『三冊子』読解<br>〔授業外学修〕次回範囲予習<br>【第 6 回】『三冊子』読解<br>〔授業外学修〕次回範囲予習<br>【第 7 回】『三冊子』読解<br>〔授業外学修〕次回範囲予習<br>【第 8 回】『三冊子』読解<br>〔授業外学修〕次回範囲予習<br>【第 9 回】『三冊子』読解<br>〔授業外学修〕次回範囲予習<br>【第 10 回】『三冊子』読解<br>〔授業外学修〕次回範囲予習<br>【第 11 回】『三冊子』読解<br>〔授業外学修〕次回範囲予習<br>【第 12 回】『三冊子』読解<br>〔授業外学修〕次回範囲予習<br>【第 13 回】『三冊子』読解<br>〔授業外学修〕次回範囲予習<br>【第 14 回】『三冊子』読解<br>〔授業外学修〕次回範囲予習<br>【第 15 回】到達度判定試験<br>〔授業外学修〕復習 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書<br>『三冊子』中村俊定編笠間書院 971978-4-305-00121-4 | | |
| 試験・評価方法 | 成績の評価方法<br>授業時間内に行う試験と出席により評価<br>成績の評価基準<br>試験 70%　平常点 30% | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 地球環境学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 中部大学 | 科目コード | 292813 |
| 担当教員 | 南　　基泰 | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　火：78（1520～1650） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 地球・環境・エネルギー | | |
| 教室 | 未定 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 本講義ではローカルな視点から身近な生態系を理解した後，グローバルな視点から地球規模での生態系を理解する．生物学・生態学・景観学を横断的に駆使し，生物多様性の最もマクロなレベルである生態系について理解する．<br>【第 1 回】ローカルな生態系 1（中部大学近郊の植生の現状と過去の変遷）<br>〔授業外学修〕教科書「4-4 里山の定義と重要性」を予習し，講義内容をまとめておく<br>【第 2 回】ローカルな生態系 2（愛知県と中心とした中部圏の植生の現状と過去の変遷）<br>〔授業外学修〕教科書「4-4 里山の定義と重要性」を予習し，講義内容をまとめておく<br>【第 3 回】ローカルな生態系 3（日本の里山構造とその変遷の歴史）<br>〔授業外学修〕教科書「4-4 里山の定義と重要性」を予習し，講義内容をまとめておく<br>【第 4 回】ローカルな生態系 4（都市の生物多様性）<br>〔授業外学修〕教科書「4-4 里山の定義と重要性」を予習し，講義内容をまとめておく<br>【第 5 回】ローカルな生態系 5（生態系ネットワーク）<br>〔授業外学修〕教科書「4-4 里山の定義と重要性」を予習し，講義内容をまとめておく<br>【第 6 回】ローカルな生態系 6（日本の植生の種類）<br>〔授業外学修〕教科書「4-3-3 日本の植物相」を予習し，講義内容をまとめておく<br>【第 7 回】ローカルな生態系 1-6 の総括と試験）<br>〔授業外学修〕ローカルな生態系 1-6 を復習しておく<br>【第 8 回】グローバルな生態系 1（中部圏と東アジア地域の植生の関係）<br>〔授業外学修〕教科書「4-3-3 日本の植物相」を予習し，講義内容をまとめておく<br>【第 9 回】グローバルな生態系 2（黒船の果たした役割）<br>〔授業外学修〕教科書「4-3-3 日本の植物相」を予習し，講義内容をまとめておく<br>【第 10 回】グローバルな生態系 3（周北極圏要素植物）<br>〔授業外学修〕教科書「4-3 植生の種類」を予習し，講義内容をまとめておく<br>【第 11 回】グローバルな生態系 4（ケッペンの気候区分と植生の関係，熱帯から温帯）<br>〔授業外学修〕教科書「4-3 植生の種類」を予習し，講義内容をまとめておく<br>【第 12 回】グローバルな生態系 5（ケッペンの気候区分と植生の関係，冷帯から寒帯）<br>〔授業外学修〕教科書「4-3 植生の種類」を予習し，講義内容をまとめておく<br>【第 13 回】グローバルな生態系 6（高山帯の植物）<br>〔授業外学修〕教科書「4-3 植生の種類」を予習し，講義内容をまとめておく<br>【第 14 回】グローバルな生態系 7（極地の植物）<br>〔授業外学修〕教科書「4-3 植生の種類」を予習し，講義内容をまとめておく<br>【第 15 回】グローバルな生態系 1-7 の総括と試験<br>〔授業外学修〕グローバルな生態系 1-7 を復習しておく | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書<br>『環境生物科学序論改訂版』南基泰，上野薫，山木昭平風媒社 2800978-4-8331-4121-5 | | |
| 試験・評価方法 | 成績の評価方法<br>講義中に実施する 2 回の試験<br>成績の評価基準<br>講義中に実施する 2 回の試験の平均点が 60 点以上を合格とする． | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 微生物遺伝学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 中部大学 | 科目コード | 292814 |
| 担当教員 | 愛知真木子 | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　月：56（1335～1505） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 生物 | | |
| 教室 | 未定 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ９月 |
| 講義概要 | 分子生物学の基礎的知見は，大腸菌とファージをはじめとする微生物の遺伝現象の発見と解析から得られたといっても過言ではない。本講義では、遺伝現象の発見、遺伝現象に関わる実体の解明、遺伝子解析、遺伝現象の応用などにつき明らかにされた過程を、細菌で得られた成果を中心に学習し、その現象および機構の多くは真核微生物、高等真核生物においても原理的に共通であり、進化の過程においても関与してきたことを理解する。<br>【第１回】原核生物の細胞構造<br>〔授業外学修〕各事項について，授業の予習およびライブラリ上での授業後課題レポートと小テストに取り組むこと．（以下同様）<br>【第２回】遺伝現象の発見<br>【第３回】微生物における遺伝現象と遺伝子本体の発見<br>【第４回】ＤＮＡの構造の発見と半保存的複製の証明<br>【第５回】岡崎フラグメントの発見<br>【第６回】プラスミドの発見<br>【第７回】前半の復習+理解度確認テスト１<br>【第８回】ウィルスの発見<br>【第９回】部位特異的変異とバクテリアの交雑<br>【第 10 回】突然変異と一遺伝子一酵素説<br>【第 11 回】突然変異の誘発と修復<br>【第 12 回】バクテリアの遺伝子発現制御<br>【第 13 回】バクテリアの翻訳後制御<br>【第 14 回】逆遺伝学<br>【第 15 回】総復習+理解度確認テスト２ | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書<br>『分子遺伝学入門ー微生物を中心にしてー』東江　昭夫裳華房 2600＋税 978-4-7853-5212-7<br>参考文献<br>『微生物学[上][下]』R.Y.スタニエ他培風館 5800＋税<br>『Essential 細胞生物学』中村桂子・松原謙一南江堂 8000 | | |
| 試験・評価方法 | 成績の評価方法<br>小テスト，小レポートおよび２回の理解度確認テストによって評価する。<br>成績の評価基準<br>生命の基本である遺伝現象が、どのように分子のレベルで理解されてきたか、その背景となる考え方と実際の研究成果について説明できる。授業中に行う２回の理解度確認テストおよびライブラリ上にて行う課題レポートと小テストの取り組みによって評価する。合計点が 60 点以上を合格とする。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 動物細胞工学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 中部大学 | 科目コード | 292815 |
| 担当教員 | 中川　　大 | | |
| 学年配当 | ３年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　木：12（930～1100） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 生物 | | |
| 教室 | 未定 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ９月 |
| 講義概要 | 生物の最小構成単位である細胞を基礎研究および医療，産業に応用する細胞工学の技術は、21 世紀における科学技術の中でも重要な技術の一つである。この授業では、関連科目において学習した基礎知識が動物細胞工学の技術の中でどのような形で応用されているかについて理解をし、創造力を養う礎を築くことを目指す。<br>【第１回】動物細胞工学とは<br>・動物細胞工学の概念について学ぶ<br>〔授業外学修〕動物細胞工学について、学問としての位置付けについて説明できるようにしておく<br>【第２回】動物細胞とその培養、培養技術<br>・動物細胞の培養の歴史を理解し、基本的な培養法から現在繁用されている種々の培養法まで、その目的と利点、改善すべき点について学習する。<br>〔授業外学修〕培養方法の種類と特徴について説明できるようにしておく<br>【第３回】細胞の構造と機能<br>・原核細胞と真核細胞の構造および機能を学習し、細胞で起こる生命現象にたいする理解を深める<br>〔授業外学修〕原核細胞と真核細胞の構造および機能について説明できるようにしておく<br>【第４回】動物細胞の機能の発現<br>・遺伝情報に対する理解を深める<br>〔授業外学修〕遺伝情報について説明できるようにしておく<br>【第５回】動物細胞の機能の発現<br>・遺伝情報の制御機構を学習し、細胞が発現する機能の制御機構に対する理解を深める<br>〔授業外学修〕遺伝情報の制御機構について説明できるようにしておく<br>【第６回】動物細胞工学に用いられる基礎技術<br>・遺伝子への変異の導入について学習する<br>〔授業外学修〕遺伝子への変異の導入について説明できるようにしておく<br>【第７回】動物細胞工学に用いられる基礎技術<br>・遺伝子のクローニングについて学習する<br>〔授業外学修〕遺伝子のクローニングについて説明できるようにしておく<br>【第８回】動物細胞工学に用いられる基礎技術<br>・細胞への遺伝子導入，細胞融合について学習する<br>〔授業外学修〕細胞への遺伝子導入，細胞融合について説明できるようにしておく<br>【第９回】生体の防御機構<br>・生体防御機構の一つである免疫と異物代謝について復習し、疾患の予防や治療における応用例について学習する<br>〔授業外学修〕免疫と異物代謝について説明できるようにしておくと共に、疾患の予防や治療における免疫細胞の応用例について紹介できるようにしておく<br>【第 10 回】復習（中間試験）と解説<br>・第９回までに学習したことを復習し、理解度を確認する<br>〔授業外学修〕理解が不十分であった点を把握し、期末試験で回答できるようにしておく<br>【第 11 回】細胞の分化<br>・細胞の分化と初代培養細胞を用いた細胞の分化方法について学習し、細胞を用いた生理活性物質探索法と薬剤開発にたいする理解を深める<br>〔授業外学修〕細胞の分化について回答できるようにしておく | | |

| | |
|---|---|
| | 【第 12 回】幹細胞<br>・幹細胞の特徴を学習すると共に ES 細胞, iPS 細胞の特徴を学習し、理解する<br>〔授業外学修〕幹細胞の特徴を回答できるようにしておく<br>【第 13 回】再生医療<br>・再生医療の現状と今後の課題に対する理解を深める<br>〔授業外学修〕再生医療における課題について回答できるようにしておく<br>【第 14 回】遺伝子改変動物<br>・遺伝子改変動物の作製方法について学習し、その用途に対する理解を深める<br>〔授業外学修〕・遺伝子改変動物の作製方法について回答できるようにしておく<br>【第 15 回】遺伝子治療<br>・遺伝子治療について学習し、遺伝子治療の現状と今後の課題に対する理解を深める<br>〔授業外学修〕・遺伝子治療について回答できるようにしておくと共に、遺伝子治療の現状と今後の課題について回答できるようにしておく<br>【第 16 回】総復習（期末試験）<br>・授業で学習したことに対する理解度を確認する<br>〔授業外学修〕理解が不十分であった点について把握して復習し、その内容について説明できるようにしておく |
| テキスト・参考文献 | 教科書<br>なし<br>参考文献<br>『基礎から学ぶ遺伝子工学』田村隆明羊土社 3400978-4-7581-2035-7<br>『改訂 細胞工学』永井和夫講談社 39909784061398306<br>『基礎からしっかり学ぶ生化学』成田 央羊土社 2900978-4758120500 |
| 試験・評価方法 | 成績の評価方法<br>課題、授業中に実施する試験（小テストおよび期末試験）<br>成績の評価基準<br>授業内容に対する理解度および考察力の有無を評価する。<br>中間試験 50 点、期末試験 50 点、合計 100 点満点とし、60 点以上で合格とする。 |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | |

# 基礎食品科学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 中部大学 | 科目コード | 292816 |
| 担当教員 | 和田　俊夫 | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　水：12（930～1100） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 家政・生活 | | |
| 教室 | 未定 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ９月 |
| 講義概要 | 食品科学とは食品の栄養成分や機能成分について科学的に解明を加え、また加工、貯蔵、流通における技術開発を行う際に必要とされる分野である。また、消費者として食品を「正しく」理解するために身につけておくべき内容でもある。<br>【第１回】食品科学とは<br>〔授業外学修〕教科書の「序」を読み、現代における「食品科学」の概要を理解しておく<br>【第２回】食物質の構成１　水分<br>【第３回】食物質の構成２　炭水化物①<br>【第４回】食物質の構成３　炭水化物②<br>【第５回】食物質の構成４　脂質<br>【第６回】食物質の構成５　タンパク質<br>【第７回】食物質の構成５　ビタミン<br>【第８回】食物質の構成６　ミネラル　　前半のまとめ、中間テスト<br>【第９回】食物質の構成７　食品のおいしさ要因①<br>【第 10 回】食物質の構成８　食品のおいしさ要因②<br>【第 11 回】食物質の構成９　食品のおいしさ要因③<br>【第 12 回】食成分の変化１　加熱・酸化<br>【第 13 回】食成分の変化２　微生物と酵素・成分間反応<br>【第 14 回】食生活と健康<br>【第 15 回】後半のまとめ、期末テスト | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書<br>『食品の科学』上野川修一　他東京化学同人 2700 予習、復習に活用することが必要 | | |
| 試験・評価方法 | 成績は２回のテストおよび、ブリーフレポート、受講態度を合わせて評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 睡眠医学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 中部大学 | 科目コード | 292817 |
| 担当教員 | 野田　明子 | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　火：78（1520～1650） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | スポーツ・健康・医療 | | |
| 教室 | 未定 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 社会の２４時間化、高齢化社会を背景に睡眠医学・睡眠医療は目覚ましい発展をとげつつある。心身の健康維持に必須である睡眠について理解する。各種疾病の病態生理および疾病診断・治療のための臨床検査の知識を深める。<br><具体的達成目標><br>睡眠の役割・睡眠障害について知識を深め、自己の健康管理に役立てる。また、睡眠障害およびその合併症の評価法を理解し、臨床検査技師国家試験に必要な臨床生理学の基礎知識を習得する。<br>【第１回】睡眠の役割<br>〔授業外学修〕健康と睡眠との関係について調べる。<br>【第２回】睡眠の基礎知識<br>〔授業外学修〕睡眠評価法について調べる。<br>【第３回】睡眠生理・循環生理<br>〔授業外学修〕心機能について理解を深める。<br>【第４回】呼吸生理・神経生理<br>〔授業外学修〕換気機能と自律神経活動について調べる。<br>【第５回】自己評価と睡眠衛生<br>〔授業外学修〕快眠のための睡眠・食事・運動について調べる。<br>【第６回】睡眠問題　討論会<br>〔授業外学修〕睡眠と疾病の関係について知識を深める。<br>【第７回】質問票、睡眠日誌、アクチグラフィ、簡易睡眠呼吸障害検査<br>〔授業外学修〕簡易臨床検査について調べる。<br>【第８回】反復睡眠潜時検査、覚醒維持検査、睡眠ポリグラフ検査<br>〔授業外学修〕睡眠段階評価法について知識を深める。<br>【第９回】睡眠障害関連の臨床生理検査<br>〔授業外学修〕臨床生理学検査について調べ、理解する。<br>【第 10 回】不眠と過眠の病態生理<br>〔授業外学修〕不眠と過眠について知識を深める。<br>【第 11 回】睡眠呼吸障害の病態生理と臨床検査<br>〔授業外学修〕睡眠時無呼吸症候群について調べ、理解する。<br>【第 12 回】概日リズム睡眠障害、睡眠時随伴症、睡眠関連運動障害<br>〔授業外学修〕神経疾患について調べる。<br>【第 13 回】睡眠関連てんかん、緊急対応<br>〔授業外学修〕緊急検査の知識を深める。<br>【第 14 回】精神科疾患・神経内科疾患の診断治療と臨床生理学検査<br>〔授業外学修〕脳波検査について調べ、理解する。<br>【第 15 回】生活習慣病・循環器疾患・呼吸器疾患の診断治療と臨床生理学検査<br>〔授業外学修〕心電図および肺機能検査について調べ、理解する。 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書<br>『基礎からの睡眠医学』野田明子、他名古屋大学出版 5800978-4-8158-0638-5<br>『臨床検査学講座　第３版　生理機能検査学』大久保善朗、他医歯薬出版株式会社 7128978-4-263-22310-9 | | |
| 試験・評価方法 | 成績の評価方法<br>具体的達成目標にあげた知識が得られたかどうかを小テスト、レポートおよび学期末試験により | | |

| | |
|---|---|
| | 評価する。 |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | |

# 公衆衛生学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 中部大学 | 科目コード | 292818 |
| 担当教員 | 城　　憲秀 | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　金：34（1115～1245） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | スポーツ・健康・医療 | | |
| 教室 | 未定 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 9 月 |
| 講義概要 | わが国は、いまや世界でも有数の長寿国であり、人口の高齢化がきわめて進んでいる。その中では、従来型の医療のみでは、国民の健康レベルの向上を図ることはできず、健康日本 21 のような 1 次予防を考慮した保健活動、すなわち公衆衛生学が目指してきた活動が重要な時代となっている。<br>公衆衛生学は、「人びとの健康を保持・増進」することを目的としており、医療のみならず保健・福祉・工学・社会科学など多領域にわたる科学技術を統合した学問体系である。授業では、疾病予防・健康づくりを考えるにあたって必要となる　1)健康事象の因果関係や疫学・統計手法などの基本的な事項、2)法令や組織などの社会的な健康増進サポートシステム、3)公衆衛生的観点に基づく社会的な健康問題へのアプローチ手法について学習する。<br>【第 1 週】公衆衛生学総論　ー意義と目的<br>〔授業外学修〕公衆衛生に関わる施設や制度を自身で探る。<br>【第 2 週】環境保健　ー基礎と生活環境<br>〔授業外学修〕環境保健の基礎について教科書等の関連部分を熟読する<br>【第 3 週】環境保健　ー基礎と生活環境<br>〔授業外学修〕環境保健の基礎について教科書等の関連部分を熟読する<br>【第 4 週】環境保健　ー基礎と生活環境<br>〔授業外学修〕生活環境と健康に関して教科書等の関連部分を熟読する<br>【第 5 週】環境汚染　ー公害など環境汚染の歴史と対策<br>〔授業外学修〕公害の歴史と対応に関して教科書等を読み、自身で対応策を検討する<br>【第 6 週】環境汚染　ー地球環境汚染への対応<br>〔授業外学修〕地球環境汚染問題について教科書等を読み、自身で対応策を検討する<br>【第 7 週】疫学　ー疫学手法の意義と利用法<br>〔授業外学修〕疫学の手法について教科書等を探り、具体例から理解を図る<br>【第 8 週】保健統計　ー保健統計の意味と現状<br>〔授業外学修〕保健統計指標を「読み」、わが国の健康問題について検討する<br>【第 9 週】感染症　ー現状と予防<br>〔授業外学修〕感染症の現状と対策に関して教科書等を用いて十分に勉強する<br>【第 10 週】産業保健　ー仕事と健康の関連・予防<br>〔授業外学修〕産業保健の現状と対策に関して教科書等を用いて十分に勉強する<br>【第 11 週】地域保健　ー地域での保健活動<br>〔授業外学修〕地域保健と医療制度について教科書等を用いて十分に勉強する<br>【第 12 週】ハンディキャップを負った人々の保健　ー高齢者や障がい者のための保健活動<br>〔授業外学修〕高齢者や障がい者の保健活動について教科書等を用いて十分に勉強する<br>【第 13 週】ハンディキャップをおった人々の保健　ー高齢者や障がい者のための保健活動<br>〔授業外学修〕高齢者や障がい者の保健活動について教科書等を用いて十分に勉強する<br>【第 14 週】母子保健・学校保健　ー母子・学童の健康管理<br>〔授業外学修〕母子保健や学校保健など子供をめぐる健康活動について教科書等を用いて十分に勉強する<br>【第 15 週】国際保健と健康づくり　ー世界における保健活動と超高齢社会における健康づくり<br>〔授業外学修〕国際保健活動の実情とわが国の健康づくりについて教科書等を用いて十分に勉強する<br>【第 16 週】試験 | | |
| テキスト・ | 教科書 | | |

| | |
|---|---|
| 参考文献 | 『エビデンスにもとづく　公衆衛生学＝WEB 連動テキスト』武田眞太郎監修培風館 |
| 試験・評価方法 | 成績の評価方法<br>1.授業に対する真摯な学習態度<br>2.要求される基本的知識の保持状況<br>3.社会健康問題の発見能力<br>4.健康問題への対応策立案能力<br>などの観点から、基礎的知識に関する事項と健康問題対応に関する事項の 2 つの視点から構成する筆記試験、社会健康問題に関するレポートとその発表能力、ならびに日常的な授業態度から成績を評価する。<br>成績の評価基準<br>期末テスト（100 点満点）、日常的な授業態度や自主的学習状況（出席および質疑・発表など授業への積極的参加、自主的なノート作成などを意味する。成績には、全体の 20%程度を加味する）の総合得点で 60 点以上を合格とする。 |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | |

# 障害児の発達と理解

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 中部大学 | 科目コード | 292819 |
| 担当教員 | 武藤　久枝 | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　水：12（930～1100） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 未定 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 障碍のある幼児の心身の発達や心理的特徴について理解する。まず、基本的な障碍である、視覚障碍、聴覚障碍、知的障碍、運動障碍、自閉スペクトラム症、重症心身障碍、およびＡＤＨＤなどを障碍別にとりあげて乳幼児期の発達の特徴、心理的特徴、行動特徴について学ぶ。次に、発達段階の見方、心理検査の方法、それに応じた発達支援の概略について学ぶ。最後に、障碍のある乳幼児の集団保育における行動特徴を理解して、幼児教育に必要な保育者としての専門的対応を修得する。また、保護者へ対応として障碍児をもった母親や家族の障碍受容の心理的な過程についても理解する。<br>【第 1 回】障碍の概念と早期療育<br>〔授業外学修〕事後：テキスト 14 章と配布資料を中心に障害の概念を理解する。<br>【第 2 回】特別支援教育、障碍児保育の現状<br>〔授業外学修〕事後：テキスト 13 章と配布資料を中心に現状を理解する。<br>【第 3 回】視覚障碍児の行動と心理的特徴、学習過程の特徴<br>〔授業外学修〕事後：テキスト 1 章、授業ノートを中心に講義で得た知識を確認する。<br>【第 4 回】聴覚障碍児の行動と心理的特徴、学習過程の特徴<br>〔授業外学修〕事後：テキスト 2 章、授業ノートを中心に講義で得た知識を確認する。<br>【第 5 回】知的障碍児の行動と心理的特徴、幼稚園・保育所での行動特徴、学習過程の特徴<br>〔授業外学修〕事後：テキスト 5 章、授業ノートを中心に講義で得た知識を確認する。<br>【第 6 回】自閉スペクトラム症児の行動と心理的特徴<br>〔授業外学修〕事後：テキスト 6 章、授業ノートを中心に講義で得た知識を確認する。<br>【第 7 回】自閉スペクトラム症児の幼稚園・保育所での行動特徴、学習過程<br>〔授業外学修〕事後：テキスト 6 章、授業ノートを中心に講義で得た知識を確認する。<br>【第 8 回】運動障碍児、重症心身障碍児の行動と心理的特徴、幼稚園・保育所での行動特徴と学習過程<br>〔授業外学修〕事後：テキスト 4 章、11 章、授業ノートを中心に講義で得た知識を確認する。<br>【第 9 回】注意欠如多動性障碍児の行動、心理的特徴、幼稚園、保育所での行動特徴と対応<br>〔授業外学修〕事後：テキスト 7 章、授業ノートを中心に講義で得た知識を確認する。<br>【第 10 回】幼児期の発達段階と発達検査、知能検査、心理検査 （概論）<br>〔授業外学修〕事後：配布資料を中心に講義で得た知識を確認する。<br>【第 11 回】幼児期の発達段階と発達検査、知能検査、心理検査（発達支援）<br>〔授業外学修〕事後：配布資料を中心に講義で得た知識を確認する。<br>【第 12 回】障碍児の集団における行動と保育者の対応<br>〔授業外学修〕事後：配布資料を中心に講義で得た知識を確認する。<br>【第 13 回】家族の障碍受容と保護者への対応Ⅰ（母親へのカウンセリング）<br>〔授業外学修〕事後：テキスト 16 章、配布資料、授業ノートを中心に講義で得た知識を確認する。<br>【第 14 回】家族の障碍受容と保護者への対応Ⅱ（地域との連携）<br>〔授業外学修〕事後：テキスト 16 章、配布資料、授業ノートを中心に講義で得た知識を確認する。<br>【第 15 回】総括<br>〔授業外学修〕事後：教科書、今までの配布資料をよく読んで理解を深める。 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書<br>『障害者の心理・『こころ』-育ち、成長、かかわり-』池田勝昭他編学術図書出版社<br>2300978-4-7806-0062-9 | | |

| | |
|---|---|
| | 参考文献<br>『特別支援教育における教育実践の方法』管野敦他編ナカニシヤ出版<br>『障碍児保育ワークブック』星山麻木萌文書林 1900978-4-89347-170-3<br>『保育所保育指針解説書』厚生労働省フレーベル社 190978-4-577-81242-6<br>『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』内閣府・文部科学省・厚生労働省フレーベル社 249978-4-577-81373-7<br>『幼稚園教育要領解説』文部科学省フレーベル社 190978-4-577-81245-7 |
| 試験・評価方法 | 授業への参加態度と小レポート 20%、学期末のレポート 80%で総合的に評価する。 |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | |

# 多文化共生と教育

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 中部大学 | 科目コード | 292820 |
| 担当教員 | 宮川　秀俊 | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　月：78（1520～1650） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 未定 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 多文化共生と教育に係わる基本的事項について学ぶと共に、課題研究（調べ学習）を通して、これからのグローバル社会における課題の発見・集約と解決のリテラシーを身に付ける。そして、将来の教育に係わる職業人としての基礎的能力を育成する。<br>【第 1 回】オリエンテーション、本授業に係わる学習レディネスの調査、多文化共生と教育に係わる基礎用語について<br>〔授業外学修〕<br>・「多文化共生と教育に係わる基礎用語」に関する情報を収集し、自分の考えを持つ。<br>・授業で学んだ「多文化共生と教育」に係わる基礎用語を、ポートフォリオにまとめ、復習する。<br>【第 2 回】多文化共生の教育の基礎：我が国の現状と課題について<br>〔授業外学修〕<br>・「多文化共生と教育：我が国の現状と課題」に係わる情報を収集し、自分の考えを持つ。<br>・授業で学んだ事項を、ポートフォリオに整理してまとめ、復習する。<br>【第 3 回】多文化共生と教育の基礎：愛知県の現状と課題について<br>〔授業外学修〕<br>・「多文化共生と教育の基礎：愛知県の現状と課題」に係わる情報を収集し、自分の考えを持つ。<br>・授業で学んだ事項を、ポートフォリオに整理してまとめ、復習する。<br>【第 4 回】多文化共生と教育の理解：東アジアの現状と課題の探究<br>〔授業外学修〕<br>・「多文化共生と教育の理解：東アジアの現状と課題」に係わる情報を収集し、自分の考えを持つ。<br>・授業で学んだ事項を、ポートフォリオに整理してまとめ、復習する。<br>【第 5 回】多文化共生と教育の理解：西アジアの現状と課題の探究<br>〔授業外学修〕<br>・「多文化共生と教育の理解：西アジアの現状と課題」に係わる情報を収集し、自分の考えを持つ。<br>・授業で学んだ事項を、ポートフォリオに整理してまとめ、復習する。<br>【第 6 回】多文化共生と教育の理解：南アジアの現状と課題の探究<br>〔授業外学修〕<br>・「多文化共生と教育の理解：南アジアの現状と課題」に係わる情報を収集し、自分の考えを持つ。<br>・授業で学んだ事項を、ポートフォリオに整理してまとめ、復習する。<br>【第 7 回】多文化共生と教育の理解：アフリカの現状と課題の探究<br>〔授業外学修〕<br>・「多文化共生と教育の理解：アフリカの現状と課題」に係わる情報を収集し、自分の考えを持つ。<br>・授業で学んだ事項を、ポートフォリオに整理してまとめ、復習する。<br>【第 8 回】多文化共生と教育の理解：ヨーロッパの現状と課題の探究<br>〔授業外学修〕<br>・「多文化共生と教育の理解：ヨーロッパの現状と課題」に係わる情報を収集し、自分の考えを持つ。<br>・授業で学んだ事項を、ポートフォリオに整理してまとめ、復習する。 | | |

| | |
|---|---|
| | 【第９回】多文化共生と教育の理解：南北・中央アメリカの現状と課題の探究<br>〔授業外学修〕<br>・「多文化共生と教育の理解：南北・中央アメリカの現状と課題」に係わる情報を収集し、自分の考えを持つ。<br>・授業で学んだ事項を、ポートフォリオに整理してまとめ、復習する。<br>【第 10 回】多文化共生と教育に関わる課題発表と討議：社会グループの発表を通して共有<br>〔授業外学修〕<br>・「多文化共生と教育に関わる課題発表と討議：社会グループ」に係わる情報を収集し、自分の考えを持つ。<br>・授業で学んだ事項を、ポートフォリオに整理してまとめ、復習する。<br>【第 11 回】「多文化共生と教育に関わる課題発表と討議：歴史グループの発表と通して共有<br>〔授業外学修〕<br>・「多文化共生と教育に関わる課題発表と討議：歴史グループ」に係わる情報を収集し、自分の考えを持つ。<br>・授業で学んだ事項を、ポートフォリオに整理してまとめ、復習する。<br>【第 12 回】多文化共生と教育に関わる課題発表と討議：産業グループの発表を通して共有<br>〔授業外学修〕<br>・「多文化共生と教育に関わる課題発表と討議：産業グループ」に係わる情報を収集し、自分の考えを持つ。<br>・授業で学んだ事項を、ポートフォリオに整理してまとめ、復習する。<br>【第 13 回】多文化共生と教育に関わる課題発表と討議：文化グループの発表を通して共有<br>〔授業外学修〕<br>・「多文化共生と教育に関わる課題発表と討議：文化グループ」に係わる情報を収集し、自分の考えを持つ。<br>・授業で学んだ事項を、ポートフォリオに整理してまとめ、復習する。<br>【第 14 回】多文化共生と教育に関わる課題発表と討議：スポーツグループの発表を通して共有<br>〔授業外学修〕<br>・「多文化共生と教育に関わる課題発表と討議：スポーツグループ」に係わる情報を収集し、自分の考えを持つ。<br>・授業で学んだ事項を、ポートフォリオに整理してまとめ、復習する。<br>【第 15 回】これからの多文化共生と教育に向けて：ＥＳＤ活動・ユネスコスクールについて<br>〔授業外学修〕<br>・「ＥＳＤ活動・ユネスコスクール」に係わる情報を収集し、自分の考えを持つ。<br>・授業で学んだ事項を、ポートフォリオに整理してまとめ、復習する。 |
| テキスト・参考文献 | 教科書<br>なし<br>参考文献<br>『世界の産業技術教育―開発途上国３９カ国の現状と課題―』宮川秀俊編集「産業技術教育」国際教育協力研究会ー<br>『続・国際競争力を高めるアメリカの教育戦略』―技術的素養の育成をめざして―』宮川秀俊編集日本産業技術教育学会国際関係委員会 1,500 円 |
| 試験・評価方法 | 成績の評価方法<br>授業の時に課すレポート、課題発表に係わる内容と方法、授業への参加度、全授業後に提出する学習ポートフォリオ等を総合的に評価する。<br>成績の評価基準<br>レポート２０%、課題発表２０%、授業参加度２０%、ポートフォリオ４０%で評価し６０%以上を合格とする。 |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | |

# 多文化共生と教育

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 中部大学 | 科目コード | 292821 |
| 担当教員 | 宮川　秀俊 | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　月：56（1335～1505） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 未定 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 多文化共生と教育に係わる基本的事項について学ぶと共に、課題研究（調べ学習）を通して、これからのグローバル社会における課題の発見・集約と解決のリテラシーを身に付ける。そして、将来の教育に係わる職業人としての基礎的能力を育成する。<br>【第 1 回】オリエンテーション、本授業に係わる学習レディネスの調査、多文化共生と教育に係わる基礎用語について<br>〔授業外学修〕<br>・「多文化共生と教育に係わる基礎用語」に関する情報を収集し、自分の考えを持つ。<br>・授業で学んだ「多文化共生と教育」に係わる基礎用語を、ポートフォリオにまとめ、復習する。<br>【第 2 回】多文化共生の教育の基礎：我が国の現状と課題について<br>〔授業外学修〕<br>・「多文化共生と教育：我が国の現状と課題」に係わる情報を収集し、自分の考えを持つ。<br>・授業で学んだ事項を、ポートフォリオに整理してまとめ、復習する。<br>【第 3 回】多文化共生と教育の基礎：愛知県の現状と課題について<br>〔授業外学修〕<br>・「多文化共生と教育の基礎：愛知県の現状と課題」に係わる情報を収集し、自分の考えを持つ。<br>・授業で学んだ事項を、ポートフォリオに整理してまとめ、復習する。<br>【第 4 回】多文化共生と教育の理解：東アジアの現状と課題の探究<br>・「多文化共生と教育の理解：東アジアの現状と課題」に係わる情報を収集し、自分の考えを持つ。<br>・授業で学んだ事項を、ポートフォリオに整理してまとめ、復習する。<br>【第 5 回】多文化共生と教育の理解：西アジアの現状と課題の探究<br>〔授業外学修〕<br>・「多文化共生と教育の理解：西アジアの現状と課題」に係わる情報を収集し、自分の考えを持つ。<br>・授業で学んだ事項を、ポートフォリオに整理してまとめ、復習する。<br>【第 6 回】多文化共生と教育の理解：南アジアの現状と課題の探究<br>〔授業外学修〕<br>・「多文化共生と教育の理解：南アジアの現状と課題」に係わる情報を収集し、自分の考えを持つ。<br>・授業で学んだ事項を、ポートフォリオに整理してまとめ、復習する。<br>【第 7 回】多文化共生と教育の理解：アフリカの現状と課題の探究<br>〔授業外学修〕<br>・「多文化共生と教育の理解：アフリカの現状と課題」に係わる情報を収集し、自分の考えを持つ。<br>・授業で学んだ事項を、ポートフォリオに整理してまとめ、復習する。<br>【第 8 回】】多文化共生と教育の理解：ヨーロッパの現状と課題の探究<br>〔授業外学修〕<br>・「多文化共生と教育の理解：ヨーロッパの現状と課題」に係わる情報を収集し、自分の考えを持つ。<br>・授業で学んだ事項を、ポートフォリオに整理してまとめ、復習する。<br>【第 9 回】多文化共生と教育の理解：南北・中央アメリカの現状と課題の探究 | | |

| | |
|---|---|
| | 〔授業外学修〕<br>・「多文化共生と教育の理解：南北・中央アメリカの現状と課題」に係わる情報を収集し、自分の考えを持つ。<br>・授業で学んだ事項を、ポートフォリオに整理してまとめ、復習する。<br>【第 10 回】多文化共生と教育に関わる課題発表と討議：社会グループの発表を通して共有<br>〔授業外学修〕<br>・「多文化共生と教育に関わる課題発表と討議：社会グループ」に係わる情報を収集し、自分の考えを持つ。<br>・授業で学んだ事項を、ポートフォリオに整理してまとめ、復習する。<br>【第 11 回】「多文化共生と教育に関わる課題発表と討議：歴史グループの発表と通して共有<br>〔授業外学修〕<br>・「多文化共生と教育に関わる課題発表と討議：歴史グループ」に係わる情報を収集し、自分の考えを持つ。<br>・授業で学んだ事項を、ポートフォリオに整理してまとめ、復習する。<br>【第 12 回】多文化共生と教育に関わる課題発表と討議：産業グループの発表を通して共有<br>〔授業外学修〕<br>・「多文化共生と教育に関わる課題発表と討議：産業グループ」に係わる情報を収集し、自分の考えを持つ。<br>・授業で学んだ事項を、ポートフォリオに整理してまとめ、復習する。<br>【第 13 回】多文化共生と教育に関わる課題発表と討議：文化グループの発表を通して共有<br>〔授業外学修〕<br>・「多文化共生と教育に関わる課題発表と討議：文化グループ」に係わる情報を収集し、自分の考えを持つ。<br>・授業で学んだ事項を、ポートフォリオに整理してまとめ、復習する。<br>【第 14 回】多文化共生と教育に関わる課題発表と討議：スポーツグループの発表を通して共有<br>〔授業外学修〕<br>・「多文化共生と教育に関わる課題発表と討議：スポーツグループ」に係わる情報を収集し、自分の考えを持つ。<br>・授業で学んだ事項を、ポートフォリオに整理してまとめ、復習する。<br>【第 15 回】これからの多文化共生と教育に向けて：ＥＳＤ活動・ユネスコスクールについて<br>〔授業外学修〕<br>・「ＥＳＤ活動・ユネスコスクール」に係わる情報を収集し、自分の考えを持つ。<br>・授業で学んだ事項を、ポートフォリオに整理してまとめ、復習する。 |
| テキスト・参考文献 | 教科書<br>特になし<br>参考文献<br>『世界の産業技術教育―開発途上国３９カ国の現状と課題―』宮川秀俊編集「産業技術教育」国際教育協力研究会－<br>『続・国際競争力を高めるアメリカの教育戦略』―技術的素養の育成をめざして―』宮川秀俊編集日本産業技術教育学会国際関係委員会 1,500 円 |
| 試験・評価方法 | 成績の評価方法<br>授業の時に課すレポート、課題発表に係わる内容と方法、授業への参加度、全授業後に提出する学習ポートフォリオ等を総合的に評価する。<br>成績の評価基準<br>レポート２０%、課題発表２０%、授業参加度２０%、ポートフォリオ４０%で評価し６０%以上を合格とする。 |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | |

# 保育の心理学Ａ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 中部大学 | 科目コード | 292822 |
| 担当教員 | 武藤　久枝 | | |
| 学年配当 | １年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　木：34（1115～1245） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 未定 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ９月 |
| 講義概要 | 保育実践において子どもの発達を理解する意義を学び、心理学の知識を習得する。子どもの発達にかかわる心理学の基礎（感情、認知、言葉、社会性など）を習得して、子どもへの理解を深める。また、人との相互的かかわりを通した発達について基本的信頼感の獲得や社会的相互作用などから具体的に理解する。新生児期から老年期までの生涯発達と発達支援の視点にたって乳幼児期の発達を理解する。乳幼児期の発達の特徴を初期経験の重要性と関連させながら理解する。胎児期、新生児期、乳児期、幼児期前期、幼児期後期のそれぞれの時期における発達を理解する。また、学童期、青年期、成人期、老年期の発達を理解する。<br>【第１回】子どもの発達を理解する意義・保育実践の心理的評価<br>〔授業外学修〕事後学習：テキスト１章、２章と授業ノートを中心に講義で得た知識を確認する。<br>【第２回】発達観、子ども観、保育観と発達の諸理論<br>〔授業外学修〕事後学習：テキスト３章、15 章と授業ノートを中心に講義で得た知識を確認する。<br>【第３回】乳幼児の発達と環境（初期経験）<br>〔授業外学修〕事後学習：テキスト４章と授業ノート、配布資料を中心に講義で得た知識を確認する。<br>【第４回】乳幼児期の情動と自我・自己の発達<br>〔授業外学修〕事後学習：テキスト５章と授業ノートを中心に愛着の形成について理解を深める。<br>【第５回】乳幼児期の身体機能と運動機能の発達<br>〔授業外学修〕事後学習：テキスト６章と授業ノート、配布資料を中心に講義で得た知識を確認する。<br>【第６回】乳幼児期の知覚と認知の発達<br>〔授業外学修〕事後学習：テキスト７章と授業ノートを中心に認知の発達について講義で得た知識を確認する。<br>【第７回】乳幼児期の言葉の発達と社会性<br>〔授業外学修〕事後学習：テキスト８章と授業ノートを中心に言語発達について得た知識を確認する。<br>【第８回】人との相互的かかわりと子どもの発達<br>〔授業外学修〕事後学習：テキスト９章と授業ノートを中心に講義で得た知識を確認する。<br>【第９回】発達のつまずき（発達支援）<br>〔授業外学修〕事後学習：テキスト 10 章と授業ノートを中心に講義で得た知識を確認する。<br>【第 10 回】生涯発達と乳幼児期の発達（胎児期、新生児期、乳児期）<br>〔授業外学修〕事前学習：テキスト 11 章と今までの授業資料から乳児期までの発達をまとめる。<br>【第 11 回】生涯発達と乳幼児期の発達（幼児期前期）<br>〔授業外学修〕事前学習：テキスト 11 章と今までの授業資料から幼児期前期までの発達をまとめる。<br>【第 12 回】生涯発達と乳幼児期の発達（幼児期後期）<br>〔授業外学修〕事前学習：テキスト 11 章と今までの授業資料から幼児期後期の発達をまとめる。<br>【第 13 回】生涯発達と児童期の発達<br>〔授業外学修〕事後学習：テキスト 12 章と授業ノートを中心に授業で得た知識を確認する。 | | |

| | |
|---|---|
| | 【第 14 回】生涯発達と青年期、成人期、老年期の発達<br>〔授業外学修〕事後学習：テキスト 13 章と授業ノートを中心に授業で得た知識を確認する。<br>【第 15 回】総括<br>〔授業外学修〕事後学習：これまでの講義の内容を総復習する。 |
| テキスト・参考文献 | 教科書<br>『保育の心理学Ⅰ』　成田朋子他編福村出版 2100 円 978-4-571-11028-3<br>参考文献<br>『保育の心理学Ⅰ・Ⅱ』本郷一夫編建帛社 2310 円 978-4-7679-3284-2<br>『幼稚園教育要領解説』文部科学省フレーベル社 190978-4-577-81245-7<br>『保育所保育指針解説書』厚生労働省フレーベル社 190978-4-577-81242-6<br>『保育の心理学Ⅰ』井戸ゆかり編著萌文書林 18009784893471635<br>『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』内閣府・文部科学省フレーベル社 249978-4-577-81373-7 |
| 試験・評価方法 | 授業時の受講態度と小レポート 20%、学期末のレポート 80%によって総合的に評価する。 |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | |

# 共生人間論Ⅰ（ブッダと法然）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 東海学園大学 | 科目コード | 292901 |
| 担当教員 | 齋藤 蒙光（共生文化研究所 講師） | | |
| 学年配当 | 1 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　月曜：1 限（900～1030） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス　教室は初回講義時に教務課にて連絡 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 15 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【授業概要】<br>21 世紀は共生の世紀といわれる。 しかし、 世界情勢や国内の諸問題を見るとき、また自然環境の破壊や汚染の状況を見るとき、あまりにも反共生的な現実に溢れている。こうした現実を真正面から見詰め、その背景にある思想・価値観を捉え直す。これからの人類の生き方を仏教の開祖ブッダ・浄土宗の開祖法然の生涯と思想を踏まえながら、佛教理解とあわせて本学の教育理念、人材養成の根幹でもある、「共生」と「勤倹誠実」の理解を深め、本学で学ぶ意義を主体的に捉えることを中心とする。<br><br>【到達目標】<br>①我々の置かれている現実を見つめることが出来る。②その背景にある考え方を取り出すことができる。③その問題点を解決する新たな考え方（ここでは共生思想）の理念の枠組みを理解できる。④本学で学ぶことの意義と建学の精神が理解できる。⑤ブッダと法然の生涯と基本思想が理解できる。⑥人間形成の仕組みを行為と心の観点から理解できる。<br><br>【授業計画】<br>第 1～3 週：受講にあたっての留意点①聞く態度を養う。②よく考えること。③ノートを用意する。など受講にあたっての留意点と授業の進め方、評価の方法について説明。本学の建学の理念（「共生」「勤倹誠実」）の解説「共生」理解に資するための学園の歴史と沿革について(自校教育)<br>課題：本学はどのような人材養成を目指しているか<br><br>第 4～5 週： 共生についての概略。「共生」という語の意味するところの歴史的変遷。現代のおける「共生」思想。<br>課題：共生の概念の理解と、現代における必要性を理解する。<br><br>第 6～10 週：共生理解のために（1）ブッダの生涯と思想。共生思想の基底に流れる仏教の開祖であるブッダの生涯を通して、仏教の基本的立場と共生思想の考え方との関係性を探る。Ⅰ仏教興起時代の社会事情　Ⅱブッダの生涯の事績　Ⅲ仏教の基本的立場Ⅳ歴史的展開と変遷<br>課題：共生と仏教(そして宗教)との不可分の関係を知る。<br><br>第 11～14 週：共生理解のために（2）法然の生涯とその思想。真に日本的風土に適応した鎌倉新仏教のパイオニアである浄土宗の宗祖法然上人の生涯と思想を通して、共生を考える。Ⅰ日本仏教史上の法然の位置　Ⅱ法然の生涯　Ⅲ彼の思想と共生<br>課題：法然の思想と共生の関係性を知る。<br><br>第 15 週：「共生人間論Ⅰ（ブッダと法然）」のまとめ<br>課題：受講して最も関心を持ち考えたことをまとめる。 | | |
| テキスト・参考文献 | 特に使用しない。適宜講義の進みにあわせて文献を紹介する。 | | |
| 試験・評価方法 | ①受講態度（10%）②課題提出（30%）③ノート（10%）④定期試験（50%）で評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし。 | | |

| | |
|---|---|
| その他特記事項 | ①主体的な取り組みを求める。<br>②ノートをしっかり取る。<br>③きちんと講義を聴く姿勢を身につける。<br>④講義内容を自己の現実・問題と合わせてよく考える。 |

# 共生人間論Ⅰ（ブッダと法然）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 東海学園大学 | 科目コード | 292902 |
| 担当教員 | 齋藤 蒙光（共生文化研究所 講師） | | |
| 学年配当 | 1 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　月曜：2 限（1040～1210） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス　教室は初回講義時に教務課にて連絡 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 15 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【授業概要】<br>21 世紀は共生の世紀といわれる。 しかし、 世界情勢や国内の諸問題を見るとき、また自然環境の破壊や汚染の状況を見るとき、あまりにも反共生的な現実に溢れている。こうした現実を真正面から見詰め、その背景にある思想・価値観を捉え直す。これからの人類の生き方を仏教の開祖ブッダ・浄土宗の開祖法然の生涯と思想を踏まえながら、佛教理解とあわせて本学の教育理念、人材養成の根幹でもある、「共生」と「勤倹誠実」の理解を深め、本学で学ぶ意義を主体的に捉えることを中心とする。<br><br>【到達目標】<br>①我々の置かれている現実を見つめることが出来る。②その背景にある考え方を取り出すことができる。③その問題点を解決する新たな考え方（ここでは共生思想）の理念の枠組みを理解できる。④本学で学ぶことの意義と建学の精神が理解できる。⑤ブッダと法然の生涯と基本思想が理解できる。⑥人間形成の仕組みを行為と心の観点から理解できる。<br><br>【授業計画】<br>第 1～3 週：受講にあたっての留意点①聞く態度を養う。②よく考えること。③ノートを用意する。など受講にあたっての留意点と授業の進め方、評価の方法について説明。本学の建学の理念（「共生」「勤倹誠実」）の解説「共生」理解に資するための学園の歴史と沿革について(自校教育)<br>課題：本学はどのような人材養成を目指しているか<br><br>第 4～5 週： 共生についての概略。「共生」という語の意味するところの歴史的変遷。現代のおける「共生」思想。<br>課題：共生の概念の理解と、現代における必要性を理解する。<br><br>第 6～10 週：共生理解のために（1）ブッダの生涯と思想。共生思想の基底に流れる仏教の開祖であるブッダの生涯を通して、仏教の基本的立場と共生思想の考え方との関係性を探る。Ⅰ仏教興起時代の社会事情　Ⅱブッダの生涯の事績　Ⅲ仏教の基本的立場Ⅳ歴史的展開と変遷<br>課題：共生と仏教(そして宗教)との不可分の関係を知る。<br><br>第 11～14 週：共生理解のために（2）法然の生涯とその思想。真に日本的風土に適応した鎌倉新仏教のパイオニアである浄土宗の宗祖法然上人の生涯と思想を通して、共生を考える。　Ⅰ日本仏教史上の法然の位置　Ⅱ法然の生涯　Ⅲ彼の思想と共生<br>課題：法然の思想と共生の関係性を知る。<br><br>第 15 週：「共生人間論Ⅰ（ブッダと法然）」のまとめ<br>課題：受講して最も関心を持ち考えたことをまとめる。 | | |
| テキスト・参考文献 | 特に使用しない。適宜講義の進みにあわせて文献を紹介する。 | | |
| 試験・評価方法 | ①受講態度（10%）②課題提出（30%）③ノート（10%）④定期試験（50%）で評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし。 | | |

| | |
|---|---|
| その他特記事項 | ①主体的な取り組みを求める。<br>②ノートをしっかり取る。<br>③きちんと講義を聴く姿勢を身につける。<br>④講義内容を自己の現実・問題と合わせてよく考える。 |

# 共生人間論Ⅰ（ブッダと法然）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 東海学園大学 | 科目コード | 292903 |
| 担当教員 | 南 清隆（共生文化研究所 教授） | | |
| 学年配当 | 1 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　水曜：1 限（900～1030） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 三好キャンパス　教室は初回講義時に教務課にて連絡 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 15 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【授業概要】<br>21 世紀は共生の世紀といわれる。 しかし、 世界情勢や国内の諸問題を見るとき、また自然環境の破壊や汚染の状況を見るとき、あまりにも反共生的な現実に溢れている。こうした現実を真正面から見詰め、その背景にある思想・価値観を捉え直す。これからの人類の生き方を仏教の開祖ブッダ・浄土宗の開祖法然の生涯と思想を踏まえながら、佛教理解とあわせて本学の教育理念、人材養成の根幹でもある、「共生」と「勤倹誠実」の理解を深め、本学で学ぶ意義を主体的に捉えることを中心とする。<br><br>【到達目標】<br>①我々の置かれている現実を見つめることが出来る。②その背景にある考え方を取り出すことができる。③その問題点を解決する新たな考え方（ここでは共生思想）の理念の枠組みを理解できる。④本学で学ぶことの意義と建学の精神が理解できる。⑤ブッダと法然の生涯と基本思想が理解できる。⑥人間形成の仕組みを行為と心の観点から理解できる。<br><br>【授業計画】<br>第 1～3 週：受講にあたっての留意点①聞く態度を養う。②よく考えること。③ノートを用意する。など受講にあたっての留意点と授業の進め方、評価の方法について説明。本学の建学の理念（「共生」「勤倹誠実」）の解説「共生」理解に資するための学園の歴史と沿革について(自校教育)<br>課題：本学はどのような人材養成を目指しているか<br><br>第 4～5 週： 共生についての概略。「共生」という語の意味するところの歴史的変遷。現代のおける「共生」思想。<br>課題：共生の概念の理解と、現代における必要性を理解する。<br><br>第 6～10 週：共生理解のために（1）ブッダの生涯と思想。共生思想の基底に流れる仏教の開祖であるブッダの生涯を通して、仏教の基本的立場と共生思想の考え方との関係性を探る。Ⅰ仏教興起時代の社会事情　Ⅱブッダの生涯の事績　Ⅲ仏教の基本的立場Ⅳ歴史的展開と変遷<br>課題：共生と仏教(そして宗教)との不可分の関係を知る。<br><br>第 11～14 週：共生理解のために（2）法然の生涯とその思想。真に日本的風土に適応した鎌倉新仏教のパイオニアである浄土宗の宗祖法然上人の生涯と思想を通して、共生を考える。　Ⅰ日本仏教史上の法然の位置　Ⅱ法然の生涯　Ⅲ彼の思想と共生<br>課題：法然の思想と共生の関係性を知る。<br><br>第 15 週：「共生人間論Ⅰ（ブッダと法然）」のまとめ<br>課題：受講して最も関心を持ち考えたことをまとめる。 | | |
| テキスト・参考文献 | 特に使用しない。適宜講義の進みにあわせて文献を紹介する。 | | |
| 試験・評価方法 | ①受講態度（10%）②課題提出（30%）③ノート（10%）④定期試験（50%）で評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし。 | | |

| | |
|---|---|
| その他特記事項 | ①主体的な取り組みを求める。<br>②ノートをしっかり取る。<br>③きちんと講義を聴く姿勢を身につける。<br>④講義内容を自己の現実・問題と合わせてよく考える。 |

# スポーツ科学概論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 東海学園大学 | 科目コード | 292904 |
| 担当教員 | 島 典広（スポーツ健康科学部 准教授） | | |
| 学年配当 | 1 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　月曜：1 限（900～1030） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | スポーツ・健康・医療 | | |
| 教室 | 三好キャンパス　教室は初回講義時に教務課にて連絡 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 15 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【授業概要】<br>近年、様々なスポーツ種目での競技力向上が見られるが、その理由の一つとして、スポーツを科学的に分析し合理的なトレーニングや動作の指導が行えるようになったことが考えられる。本講義では、スポーツ選手や指導者が身につけておくべきスポーツ科学の基礎を習得することを目的とする。<br><br>【到達目標】<br>本講義で学んだ知識を活用して、個人にあったトレーニング方法やスポーツ動作を理解し、さらに実践現場でも応用する能力を養うことができる。<br><br>【授業計画】<br>1. 神経の構造と機能、反射、反応、随意運動<br>（神経の構造と機能、反射、反応、随意運動について復習する）<br>2. 筋組織の構造と機能、骨格筋の収縮機構<br>（筋組織の構造と機能、骨格筋の収納機構について復習する）<br>3. 骨格筋のタイプとスポーツ<br>（骨格筋のタイプとスポーツについて復習する）<br>4. エネルギー供給系と運動パフォーマンスとの関係<br>（エネルギー供給系と運動パフォーマンスとの関係について復習する）<br>5. 筋疲労と筋肉痛のメカニズム<br>（筋疲労と筋肉痛のメカニズムについて復習する）<br>6. 立つ動作のバイオメカニクス<br>（立つ動作から身体重心について理解し復習する）<br>7. 歩く・走る動作のバイオメカニクス<br>（歩く・走る動作と速度と加速度との関係を理解し復習する）<br>8. 跳ぶ動作のバイオメカニクス<br>（跳ぶ動作と力、力積、パワーとの関係を理解し復習する）<br>9. 打つ・蹴る動作のバイオメカニクス<br>（打つ・蹴る動作と回転、慣性モーメントとの関係を理解し復習する）<br>10. 投げる動作のバイオメカニクス<br>（投げる動作と運動連鎖や放物線との関係を理解し復習する）<br>11. トレーニングの原理と原則<br>（トレーニングの原理と原則について復習する）<br>12. 筋力増強のトレーニング<br>（筋力増強のトレーニングについて復習する）<br>13. スピード・パワー・瞬発性のトレーニング<br>（スピード・パワー・瞬発力のトレーニングについて復習する）<br>14. 持久力のトレーニング<br>（持久力のトレーニングについて復習する）<br>15. トレーニングの計画法<br>（トレーニングの計画法について復習する） | | |
| テキスト・参考文献 | なし。 | | |

| | |
|---|---|
| 試験・評価方法 | 定期試験（100%）の結果で評価する。 |
| 別途必要な経費 | なし。 |
| その他特記事項 | 資料を配付し、それによって講義を行う。<br>クラスを３つに分け、運動生理学（1～5）、バイオメカニクス（6～10）、トレーニング科学（11～15）を異なる順序で受講する。 |

# 仏教と生命倫理

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 同朋大学 | 科目コード | 293001 |
| 担当教員 | 田代　俊孝 | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　未定：未定（～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス成徳館 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | ９月 |
| 講義概要 | 授業のテーマは生命倫理を考える。学習内容は以下の通り。<br>遺伝子治療・移植医療・終末医療・生殖医療・再生医療・薬の治験など医療における生命倫理、環境における生命倫理、福祉における生命倫理など、さまざまなところで生命倫理がとわれている。この問題は、専門家だけの問題でなく、市民一人ひとりの問題である。専門家はむしろ、問われる立場である。優生主義化、ビジネス化の中でいのちの尊厳が失われていく。この問題を仏教の価値観を中心に考えてみたい。医学部の倫理委員会で課題になっていることをビデオなどを使って、リアルタイムに考えていきたい。<br><br>1. 仏教の死生観<br>2. 生命倫理とは(インフォームドコンセント・人権・倫理基準)<br>3. 生命倫理委員会の現状<br>4. 脳死・臓器移植(ビデオ使用)<br>5. 脳死・臓器移植の問題点<br>6. 安楽死・尊厳死<br>7. 安楽死・尊厳死の問題点(ビデオ使用)<br>8. リビングウィルと安楽死裁判<br>9. 遺伝子・ＤＮＡ・ゲノム解析と情報管理<br>10. 遺伝子治療の倫理的課題（ビデオ使用）<br>11. 遺伝子の選択と優生思想<br>12. 生命操作・出生前診断・生殖補助医療の課題<br>13. 代理母・代理出産<br>14. 薬の臨床試験と薬害（ビデオ使用）<br>15. まとめ<br>自分の死生観に基づいて | | |
| テキスト・参考文献 | 書籍名：『仏教とビハーラ運動ー死生学入門』、出版社：法蔵館、販売先：田代研究室、備考：￥2600 | | |
| 試験・評価方法 | 授業内試験（７割）小レポート・平常点（３割） | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 授業中に配布した資料は綴じて保存しておくこと。 | | |

# 仏教史（インド）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 同朋大学 | 科目コード | 293002 |
| 担当教員 | 福田　琢 | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　未定：未定（～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス成徳館 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 9 月 |
| 講義概要 | 授業のテーマは、インド仏教の歴史。学習内容は以下の通り。<br>仏教が、その発祥の地であるインドにおいてどのような展開をみせたか、その過程を歴史的な流れに沿って概観する。ゴータマ・ブッダという思想家はどのような歴史的要請に応えて登場したか、彼の滅後、僧団（サンガ）はなぜ分裂したか、そして大乗仏教はどこから興ったか、という問題を、背景となるインドおよび周辺諸地域の歴史・社会・文化との関わりに留意しながら考察する。<br>1. インド仏教史研究の問題点<br>2. 古代インドの社会と宗教<br>3. ゴータマ・ブッダの歴史的実像<br>4. 結集と分裂<br>5. マウリヤ朝とアショーカ王<br>6. インド・ギリシア王朝と仏教<br>7. シャカ・パフラヴァ時代からクシャーナ朝へ<br>8. カニシカ王とゾロアスター教<br>9. 造形表現と大乗仏教<br>10. ヒンドゥイズムの展開と大乗仏教<br>11. シャータヴァーハナ王朝と南インドの仏教<br>12. グプタ王朝と仏典の発展<br>13. パーラ王朝と密教の隆盛<br>14. イスラム教と仏教の衰退<br>15. まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | 授業時に指示 | | |
| 試験・評価方法 | 出席（3 割）と授業中に行なう小テストもしくはレポート（7 割）で評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 授業時間中に行なう小テストの実施にあたっては、自筆ノートの持ち込みを許可するので、各自講義の内容をノートにまとめて準備しておくこと。 | | |

# 仏教史（日本）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 同朋大学 | 科目コード | 293003 |
| 担当教員 | 安藤　弥 | | |
| 学年配当 | １年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　未定：未定（～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス成徳館 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | ９月 |
| 講義概要 | 歴史学の視座に基づき日本仏教史を研究する基礎的な力を養うことを目標とし、<br>授業計画にしたがって日本史・宗教史・仏教史の最新の研究成果をふまえて講義する。<br>１．導入「日本仏教史学」の課題<br>２．飛鳥仏教―仏教伝来<br>３．奈良仏教―大仏建立<br>４．特論①日本仏教の成立<br>５．平安仏教―御霊信仰と浄土信仰<br>６．鎌倉仏教―顕密体制論と鎌倉仏教<br>７．室町仏教―顕密の変容と五山禅宗<br>８．戦国仏教―顕密の崩壊と宗教一揆<br>９．特論②日本仏教の変容<br>10．近世仏教と幕藩体制<br>11．近世仏教と民衆信仰<br>12．明治仏教―維新政府の宗教政策<br>13．大正仏教―近代仏教のあゆみ<br>14．現代仏教の諸課題<br>15．総括（まとめ・理解度の確認） | | |
| テキスト・参考文献 | なし－板書が基本で資料プリントを配布することもあります） | | |
| 試験・評価方法 | 平常点（受講姿勢など）50%・レポート 50% | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 板書の多い講義です。当たり前のことですが、講義中の私語・携帯電話等は禁止です。 | | |

# 宗教と人間(親鸞と現代)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 同朋大学 | 科目コード | 293004 |
| 担当教員 | 伊東　恵深 | | |
| 学年配当 | 1 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　未定：未定（～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス成徳館 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 9月 |
| 講義概要 | 授業のテーマは、親鸞の生涯と教え。学習内容は以下の通り。<br>同朋大学は、親鸞聖人（1173-1262）の「同朋（どうぼう）」精神と聖徳太子（574-622）の「和敬（わきょう）」の精神を「建学の理念」とする大学である。<br>その親鸞聖人の生涯と教えについて、まずは基本的な知識を習得する。そのことを通して、「人間とは何か」「人として生きる（人生）とはどういうことか」ということについて考えていきたい。<br>大学に入って、これからどのような学びを進めるにしても、自分自身を問うということは根本的な課題である。親鸞聖人の生涯と教えを学ぶことを通して、人間存在について、また私自身の生き方・あり方について、主体的に考える力を養いたいと思う。<br>1. 授業のガイダンス<br>2. 親鸞の生涯と教えに「何を」学ぶのか<br>3. 親鸞の生涯①―誕生と出家―<br>4. 親鸞の生涯②―比叡山での修行と六角堂参籠―<br>5. 親鸞の生涯③―法然との出遇い―<br>6. 親鸞の生涯④―流罪と越後での生活―<br>7. 親鸞の生涯⑤―関東での生活―<br>8. 親鸞の生涯⑥―帰洛とその晩年―<br>9. 親鸞の教え①―凡夫、悪人とは何か―<br>10. 親鸞の教え②―師教との出遇いとは何か―<br>11. 親鸞の教え③―同朋精神とは何か―<br>12. 親鸞の教え④―本願、他力とは何か―<br>13. 親鸞の教え⑤―浄土真宗の救いとは何か―<br>14. 親鸞と現代―現代の諸問題を通して―<br>15. 総括（まとめ・テスト） | | |
| テキスト・参考文献 | 特になし（板書と配布資料によって行う） | | |
| 試験・評価方法 | ①平常点（受講態度など）50%、②小レポート・感想文（授業時に数回）20%、③期末試験（筆記またはレポート）30% | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 外国史（西洋）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 同朋大学 | 科目コード | 293005 |
| 担当教員 | 古川　桂 | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　未定：未定（～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス成徳館 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 9 月 |
| 講義概要 | グローバル化が進む一方で保守派が台頭し、ヨーロッパの統合を掲げる EU もイギリスの脱退など大きな岐路に立ってきている。こういった現代の諸問題との関連性を見出しながら、ヨーロッパの歴史を中心としつつ、現在のヨーロッパやアメリカがどのように成立したのか、重要事項を踏まえながらを大きな歴史の流れを解説していく。<br>1. ガイダンス<br>2. 古代オリエント<br>3. ギリシア世界<br>4. ローマ帝国の興亡<br>5. 中世カトリック世界の成立<br>6. 中世ヨーロッパの社会<br>7. 宗教改革<br>8. 大航海時代<br>9. 産業革命<br>10. 市民革命<br>11. アメリカ合衆国の成立と拡大<br>12. 帝国主義の時代<br>13. ２つの大戦<br>14. 大戦後のヨーロッパ<br>15. 総括・質問 | | |
| テキスト・参考文献 | 特になし。 | | |
| 試験・評価方法 | 平常点（不定期の小レポート 30%）　筆記試験（70%） | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 私語、携帯電話の使用は禁止します。注意後に改善が見られない場合は厳しく対処します。 | | |

# 中国芸能

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 同朋大学 | 科目コード | 293006 |
| 担当教員 | 渡辺　幸彦 | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　未定：未定（～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス成徳館 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | ９月 |
| 講義概要 | 台湾では近年、19 世紀半ばに大陸から伝えられたとされる民間芸能の一つである「布袋戯」（ポテヒ・指人形芝居）の伝統を継承し発展させていこうという取り組みが官民一体となって進められており、若者にも大いに受け入れられている。<br>もともと大陸で生まれたこの一芸能が、台湾でいかに発展を遂げてきたか、文献資料等でその歴史をたどった上で、現在行われている様々な取り組みを紹介してみたい。<br>写真やビデオ、実際の人形なども用いつつ講義を進める予定である。<br>1. ガイダンス<br>2. 人形劇の分類<br>3. 民間芸能における布袋戯の位置づけ<br>4. １９世紀以降の台湾<br>5. 布袋戯の起源<br>6. 大陸における布袋戯の展開<br>7. 台湾布袋戯の系統<br>8. 人形師李天禄について<br>9. 日本占領下の台湾と布袋戯<br>10. 黄氏一族の戦略<br>11. 金光戯など<br>12. テレビ布袋戯<br>13. 現在の取り組み<br>14. 主要演目紹介<br>15. まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | 講義時に配布 | | |
| 試験・評価方法 | 平常点 10 割。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 毎回授業時に課題（レポート）の提出を求める。 | | |

# 生活と福祉

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 同朋大学 | 科目コード | 293007 |
| 担当教員 | 鶴田　禎人 | | |
| 学年配当 | １年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　未定：未定（～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス成徳館 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | ９月 |
| 講義概要 | 授業のテーマは、生活について理解し、福祉の役割を学ぶ。現代の日本において、社会環境が変化する中でどのような生活問題が起きているのかを理解する。その上で福祉が果たすべき役割・課題を理解した上で、福祉のしくみを体系的に学ぶ。講義の流れとしては、まず講義参加者を４～5 人のグループに分け、それぞれに講義テーマに応じた課題を与える。その上で、講義時間および課外時間を利用し、期日までに課題を仕上げることを指定する。そして、アカデミック・スキルの習得も兼ねて、パワーポイントによる全体発表、他の学生による質問・感想、担当教員による講評・補足、講義などを行う。<br>以上のようなアクティブラーニングに位置付けられる方法によって、主体的・能動的な講義への参加、授業外における学習の喚起、社会に対する興味・関心の向上を図る。<br><br>第１回　ガイダンス、課題提示<br>第２～４回　グループワーク<br>第５回　健康と医療①発表<br>第６回　健康と医療②講義<br>第７回　高齢者の生活と介護①発表<br>第８回　高齢者の生活と介護②講義<br>第９回　人口問題と年金①発表<br>第 10 回　人口問題と年金②講義<br>第 11 回　貧困の拡大と生活保護①発表<br>第 12 回　貧困の拡大と生活保護②講義<br>第 13 回　障がいと福祉①発表<br>第 14 回　障がいと福祉②講義<br>第 15 回　まとめ<br>第 16 回　期末試験 | | |
| テキスト・参考文献 | テキストは特に指定せず、講義は随時資料等を配布する。 | | |
| 試験・評価方法 | グループワーク 40 点、期末試験 60 点<br>グループワーク参加を単位認定の条件とする | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 認知症の理解１

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 同朋大学 | 科目コード | 293008 |
| 担当教員 | 下山　久之 | | |
| 学年配当 | １年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　未定：未定（～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス成徳館 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 授業のテーマは、認知症に対する基礎的知識を習得する。学習内容は、以下の通り。<br>認知症の人の体験を理解する。<br>認知症ケアの歴史を理解する。<br>認知症ケアの理念と視点について理解する。<br>認知症の人を医学・行動・心理的に理解する。<br><br>≪前期≫<br>1. 認知症を取り巻く状況ー認知症ケアのこれまでとこれから：①認知症とは何か<br>2. 認知症を取り巻く状況ー認知症ケアのこれまでとこれから：②認知症ケアの歴史<br>3. 認知症を取り巻く状況ー認知症ケアのこれまでとこれから：③認知症ケアの理念と視点<br>4. 認知症の人の医学・行動・心理的理解：①認知症の人の行動・心理症状<br>5. 認知症の人の医学・行動・心理的理解：②脳のしくみ<br>6. 認知症の人の医学・行動・心理的理解：③認知症の原因疾患<br>7. 認知症の人の医学・行動・心理的理解：④認知症の診断と治療、認知症の予防<br>8. 認知症の人の医学・行動・心理的理解：⑤認知症の人の心理的理解<br>9. 認知症の人の体験の理解：①認知症の人の介護をしていくために、認知症の人の体験<br>10. 認知症の人の体験の理解：②本人本位の視点を確かなものに<br>11. 認知症の人の生活理解：①認知機能の変化が生活に及ぼす影響<br>12. 認知症の人の生活理解：②環境の力<br>13. 認知症の人の生活理解：③生活を続ける<br>14. 認知症の人の生活理解：④若年性認知症の人の生活の理解と支援<br>15. 授業内試験：まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | 新・介護福祉士養成講座「認知症の理解」介護福祉士養成講座編集委員会、中央法規 | | |
| 試験・評価方法 | 課題 20%、小テスト 20%、試験 60% | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 認知症の理解２

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 同朋大学 | 科目コード | 293009 |
| 担当教員 | 下山　久之 | | |
| 学年配当 | １年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　未定：未定（～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス成徳館 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | ９月 |
| 講義概要 | 授業のテーマは、認知症ケアを理解する。学習内容は以下の通り。<br>認知症の人の生活障害について理解する。<br>認知症の人の生活支援の視点について理解する。<br>認知症の人の家族が体験することについて理解する。<br>≪後期≫<br>1. 認知症の人に対する介護：①認知症の人へのかかわりの基本<br>2. 認知症の人に対する介護：②認知症への気づきーおかしいなと思ったら<br>3. 認知症の人に対する介護：③認知症の人の介護過程<br>4. 認知症の人に対する介護：④認知症の進行に応じた介護<br>5. 認知症の人に対する介護：⑤人が生きることを支えるということ<br>6. 地域の力を活かすー連携と協働：①地域におけるサポート体制<br>7. 地域の力を活かすー連携と協働：②チームアプローチ<br>8. 家族の力を活かす：①介護者自身の体験<br>9. 家族の力を活かす：②家族へのレスパイトケア<br>10. 家族の力を活かす：③家族へのエンパワメント<br>11. 家族の力を活かす：④家族会と介護教室<br>12. 認知症に関する制度・関係機関など：①認知症対策と介護保険制度<br>13. 認知症に関する制度・関係機関など：②その他の施策<br>14. 認知ケアと回想法<br>15. 授業内試験<br>まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | 新・介護福祉士養成講座１２「認知症の理解」介護福祉士養成講座編集委員会、中央法規 | | |
| 試験・評価方法 | 課題 20%、小テスト 20%、試験 60% | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 国際社会福祉論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 同朋大学 | 科目コード | 293010 |
| 担当教員 | 中神　洋子 | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　未定：未定（～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス成徳館 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | テーマは、地球規模で絵考える福祉（Ｗｅｌｌ-ｂｅｉｎｇ）と実践。学習内容は以下の通り。人間の持つ内面的な問題から、貧困・内線・テロ・地球環境汚染の問題まで、幅広く話題を取り入れながら、その中におかれている異なった国々や地域の人々、特に女性や子供たちの問題や彼らの苦難、そしてその背景をグローバルな視点を持ちながら掘り下げる。少しでも、平和で安全で、健康で幸せな生活が送ることができるための条件や状況を考える。一人ひとりの人権が保障され、校正で平等な社会、自分が自分らしく生きることができるしゃかいの実現のために私たちは以下に係って生きるべきか、何ができるか等を模索していく。<br>1.国際社会福祉総論<br>2.『世界人権宣言』の意義と問題点<br>3.戦争・民族紛争・テロリズム～人はなぜにくしみ合うのか？～<br>4.戦争の影響江お受ける子どもたちと難民問題<br>5.平和とは何か～積極的平和と消極的平和<br>6.児童労働とは？～その実態と背景<br>7.児童労働各論（ストリートチルドレン、債務労働、児童買春・商業的性的詐取、農業労働、工場労働、家事労働など）<br>8.貧困とその背景<br>9.世界をむしばむドラッグ・人身売買・マフィアの暗躍<br>10.変化するそして多様化する「家族」の姿<br>11.家族に関連した様々な社会問題<br>12.「女性」に例をとる差別、不平等、そして暴力（例:DV）<br>13.「男」とは「女」とはなにか（性同一性障がいの問題なども含む）<br>14.偏見と差別～「エイズ」「ハンセン病」などを例に<br>15.「世界ゲーム」で国際問題を考える～前期のまとめにかえて | | |
| テキスト・参考文献 | それぞれのトピックスに適した資料等を授業中に配布する | | |
| 試験・評価方法 | 各トピックスに対する個々人の活発な意見（60%）、前期の授業中に与えるレポートで（40%）、総合評価する | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 力学１および演習

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 豊田工業大学 | 科目コード | 293101 |
| 担当教員 | 竹内　秀夫　特任教授 | | |
| 学年配当 | １年 | 単位数 | ３単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　月曜日：1 限（850～1020）2 限 10301200 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 数学・物理・化学 | | |
| 教室 | 未定 | | |
| 履修条件 | なし | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 【授業の目的・方針】<br>力学は、理工系学生が将来各自の専門分野に進むための入り口となる科目であり、大学初年次に十分にその物理的内容とそれを展開するための数学的手法を習得しておくことが大切である。「力学１および演習」では、質点の力学について、必須となる内容の講義を行い、並行して思考力と計算力を強化するための演習を行う。十分な時間をとって自学自習（予習、復習）を行い、与えられた課題をよく考え、基礎力とともに応用力をもつけるよう努力する必要がある。初等力学としては、質点系および非慣性系の運動を扱う「力学 2a，2b」までで内容が完結するので、これらを合わせて履修することが望ましい。<br>【授業計画】<br>1.質点の運動学 物理学の展望、テイラー展開<br>2.質点の運動学 双曲線関数、ベクトルの性質<br>3.質点の運動学 ベクトルの時間微分<br>4.質点の運動学 極座標<br>5.質点の運動学、運動の法則 接線・法線加速度、運動の法則、落下運動<br>6.運動の法則 放物運動、抵抗力を受ける放物体<br>7.運動の法則、振動 抵抗力を受ける放物体、単振動<br>8.振動 外力を受ける振動、減衰振動、強制振動<br>9.振動、運動とエネルギー 連成振動、束縛運動、偏微分<br>10.運動とエネルギー 保存力とポテンシャル・エネルギー<br>11.運動とエネルギー 運動可能領域、仕事とエネルギーの単位、微分形で表した力学的エネルギー保存の法則<br>12.中心力 惑星の運動、万有引力の法則、中心力を受けた物体の運動<br>13.中心力 万有引力を受ける天体の軌道<br>14.中心力、角運動量 空間分布質量による万有引力、角運動量と中心力<br>15.角運動量 平面運動における角運動量<br>16.定期試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】<br>1.竹内秀夫著「基礎から学ぶ力学」（現代数学社）2013 年 ISBN978-4-7687-0428-8<br>2.竹内秀夫著「セミナーで学ぶ力学入門」（現代数学社）2015 年 ISBN978-4-7687-0441-7<br>【参考書】<br>1.山内恭彦・末岡清市編「大学演習　力学」（裳華房）2000 年 ISBN978-4-7853-8011-3<br>2.後藤、山本、神吉著「詳解　力学演習」（共立出版）1971 年 ISBN978-4-320-03025-1 | | |
| 試験・評価方法 | 定期試験 :80%　　課題:20% | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | ・講義は、教科書に従って行う。『基礎から学ぶ力学』、『セミナーで学ぶ力学入門』（演習書）をよく予習・復習すること。演習では作成教材を使用する。<br>・与えられた課題は期限までに提出すること。 | | |

# 熱力学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 豊田工業大学 | 科目コード | 293102 |
| 担当教員 | 鈴木　健伸　准教授 | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　月曜日：２限（1030～1200） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | 未定 | | |
| 履修条件 | なし | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 【授業の目的・方針】<br>熱力学は莫大な数の微視的な粒子から構成される系の平衡状態をたった数個の巨視的な状態量で記述し、巨視的な状態量間に見られる普遍的な関係を取り扱う基礎物理学の一分野である。本講義では、日常的でありふれた事象の奥にある熱力学の普遍的な法則を抽出し、基本的な事例への応用を学ぶ。<br>【授業計画】<br>1.序論、温度 概要、熱平衡、温度目盛<br>2.状態方程式 状態方程式、気体の状態方程式、示量変数と強度変数<br>3.熱力学第１法則(1) エネルギーの保存、準静的過程、理想気体の内部エネルギー<br>4.熱力学第１法則(2) 熱容量と比熱、理想気体の断熱変化<br>5.熱力学第２法則(1) 第２種永久機関、カルノーサイクル<br>6.熱力学第２法則(2) 熱力学第２法則、可逆変化と不可逆変化、熱機関の効率<br>7.中間試験<br>8.エントロピー(1) クラウジウスの不等式、エントロピーⅠ<br>9.エントロピー(2) エントロピーⅡ、エントロピー増大の原理<br>10.エントロピー(3) 不可逆過程とエントロピー、混合のエントロピー、孤立系の平衡条件<br>11.エントロピー(4) 熱機関とエントロピー、熱力学第３法則、エントロピーの解釈<br>12.熱力学関数(1) 自由エネルギー、熱力学恒等式、熱力学関数<br>13.熱力学関数(2) マクスウェルの関係式、粒子数が変化する系<br>14.平衡と準安定状態 可能な変化と不可能な変化、熱平衡の条件、平衡の安定性、準安定状態<br>15.まとめ まとめ<br>16.定期試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】<br>三宅哲著「熱力学」（裳華房）1989、ISBN No.978-4785320355<br>【参考書】<br>1.三宅哲著「基礎演習シリーズ　熱力学」（裳華房）1989、ISBN No.978-4785381127<br>2.久保亮五著 「大学演習　熱学・統計力学 ［修訂版］」(裳華房) 1998、ISBN No.978-4785380328<br>3.田崎晴明著 「熱力学 =現代的な視点から」(培風館) 2000、ISBN No.978-4563024321 | | |
| 試験・評価方法 | 定期試験 50%、中間試験 30%、宿題・レポート 10%、クイズ 10% | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 本科目を理解するには積み重ねが重要であるので、毎回かならず復習を十分に行うこと。 | | |

# 力学３

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 豊田工業大学 | 科目コード | 293103 |
| 担当教員 | 高野　健一　教授 | | |
| 学年配当 | ３年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　月曜日：３限（1300～1430） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 数学・物理・化学 | | |
| 教室 | 未定 | | |
| 履修条件 | 理工系大学初年次の標準的な力学と微分積分学を理解していること | | |
| 募集定員 | 20 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 【授業の目的・方針】<br>力学系は，Hamilton の原理にしたがって運動し，作用の１次の変化が０になるように実現する．Hamilton の原理では，位置を指定する任意の変数を広く座標（一般化座標）として使用でき，拘束条件がない場合には，Lagrange の運動方程式を導出する．Hamilton の原理と一般化座標を用いた記述は，複雑にみえる力学の問題を簡単にするだけでなく，力学系の本質，特に対称性をあらわに考察することを可能にする．さらに，Hamilton の原理は，一般化座標と一般化運動量を同等に扱う正準形式の変分原理へと発展する．これにより，Hamilton の正準方程式，Poisson 括弧，保存則，正準変換，Hamilton-Jacobi の方程式へと力学の理論は展開していく．このように展開された解析力学の適切な局面を利用することによって，力学の多くの問題は見通しよく解くことができるようになる．さらには，これらの理論展開によってさまざまな対象や現象に対して深い洞察を得ることができ，近代では量子力学の発見と定式化にもつながった．ただし，解析力学の理論自体は量子力学と無関係であり，直接的には，Newton の運動法則を進化させた理論として，巨視的な物体の運動の解析や制御に用いられる．<br>【授業計画】<br>1.力学の基礎： 解析力学の意義，物理系と質点系，拘束条件，自由度 （板書）<br>2.汎関数と変分法： 汎関数の定義，積分型の汎関数，汎関数の変分，停留条件，Euler の方程式 （資料２章）<br>3.Descartes 座標の Lagrangian 形式１： 質点系の運動，仮想変位，Lagrangian，作用，デカルト座標系の Hamilton の原理 （資料３章）<br>4.Descartes 座標の Lagrangian 形式２： 自由粒子，弾性反射，デカルト座標系における Lagrangian の運動方程式，Newton の運動方程式の導出 （資料３章）<br>5.デカルト座標系で見る保存則： 空間の一様性と運動量保存則，空間の等方性と角運動量保存則，時間の一様性とエネルギー保存則 （資料４章）<br>6.一般化座標の Lagrangian 形式： 一般化座標，配位空間，Hamilton の原理， Lagrange の運動方程式，極座標による運動の記述，回転座標系 （資料５章）<br>7.一般化座標の変換と Lagrangian 形式における保存則： 一般化座標の変換，循環座標と保存則，Noether の定理，Lagrangian の変数分離 （資料６章(7 章は使用しない)）<br>8.正準形式１： Hamilton の原理の別の表現，正準形式の変分原理，Hamilton の正準運動方程式 （資料８章）<br>9.正準形式２： 極座標による Hamiltonian と運動方程式，相空間，シンプレクティック変数，Liouville の定理 （資料８章）<br>10.Poisson 括弧： Poisson 括弧，Jacobi の恒等式，角運動量の Poisson 括弧，Poisson 括弧と保存則 （資料９章）<br>11.Legendre 変換： Legendre 変換の定義，Legendre 変換と正準運動方程式 （資料 10 章）<br>12.正準変換： 正準変換の定義，正準変換の母関数，母関数による正準変換の導出，Poincar?変換， （資料 11 章）<br>13.正準不変性と無限小正準変換： II 型の母関数，時間によらない正準変換，Lagrange 括弧，無限小正準変換，生成子と保存則 （資料 12 章）<br>14.力学変数としての作用と Hamilton-Jacobi の理論： Hamilton の主関数，Hamilton-Jacobi の方程式，Hamilton-Jacobi の理論 （資料 13 章）<br>15.時間によらない作用関数と作用変数・角変数： アイコナール近似，Schr?dinger 方程式，作用変数・角変数 （資料 14 章） | | |

| | |
|---|---|
| | 16.定期試験 |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】<br>冊子状の資料（分冊）を配付する<br>【参考書】<br>1.ゴールドスタイン著「古典力学 上・下」（吉岡書店）2005 年，ISBN978-4-8427-0336-7/978-4-8427-0350-3<br>2.ランダウ・リフシッツ著「力学」（東京図書）1974 年，ISBN978-4-489-01160-3<br>3.江沢洋著「解析力学」（新物理学シリーズ 36）（培風館）2007 年，ISBN978-4-563-02436-9<br>4.小出昭一郎著「解析力学」（物理入門コース２）（岩波書店）1983 年，ISBN978-4-00-007642-5 |
| 試験・評価方法 | 定期試験 60%、レポート 40% |
| 別途必要な経費 | なし |
| その他特記事項 | 【予備知識】<br>初等的な力学微分積分学と線形代数を既知とする．<br>【学習について】<br>授業は独自に構成した資料に基づいて行われる．予習においては，資料の授業に関連ある部分とその前後を読み，どのように話が発展していくかを頭に入れておくことが望ましい．予習の段階で内容を深く理解することは，多くの場合困難であり，必ずしも求められていない．復習では，授業で行われた式変形を自分で再現でき，その結果，内容を理解できるようになることが望まれる．解析力学は力学の１つの到達点であり，修得することは必ずしも簡単ではない．講義内容を納得するためには，何度も資料や講義ノートを読み返し，計算をなぞり，考察する必要がある．掲載した参考書などから，自分にあったものを１つ選んで通読することも有用である．ただし，定評のある解析力学の本の構成や内容は，どの著者も個性的であり，相互にも異なり，講義とも同じではない． |

# 伝熱工学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 豊田工業大学 | 科目コード | 293104 |
| 担当教員 | 高野　孝義　特任准教授 | | |
| 学年配当 | ３年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　火曜日：３限（1300～1430） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 工学・建築・技術 | | |
| 教室 | 未定 | | |
| 履修条件 | なし | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 【授業の目的・方針】<br>熱力学では平衡系の状態変化に必要な熱エネルギーの大きさを考えるのに対し、「伝熱工学」では熱エネルギーの移動の時間による変化や熱移動を支配する温度の分布を考える。熱移動現象は、身近な日常生活から、工学的には発電所や空調システム、自動車、電子機器の設計をはじめとする非常に広い分野に関係しており、今日、伝熱工学が果たす役割はますます重要になっている。この講義では、熱移動の基本的な形態やそれらを支配する法則等を理解し、温度や熱物性値などの条件に応じて形成される温度場や伝達される熱量の大きさを定量的に解析する方法について学ぶ。授業内容は、熱伝導、対流熱伝達、熱ふく射、および沸騰・凝縮熱伝達からなる。本授業では、熱移動現象の理解と応用に有効な、身近で具体的なテーマを取り上げていくこととする。<br>【授業計画】<br>1. 熱伝導(1)：フーリエの法則、固体･液体･気体の熱伝導率、熱伝導方程式、第１種･第２種･第３種境界条件、熱伝導方程式の無次元化<br>2. 熱伝導(2)：平板の定常熱伝導、熱抵抗と熱通過率、多層平板、接触熱抵抗、内部発熱を伴う熱伝導<br>3. 熱伝導(3)：円筒および多層円筒の定常熱伝導、球･球殻･多層球殻の定常熱伝導、フィン付き伝熱面（拡大伝熱面）<br>4. 熱伝導(4)：非定常熱伝導、ビオ数と集中熱容量モデル、半無限固体内の過渡熱伝導<br>5. 熱伝導(5)：熱伝導の数値解法、熱伝導方程式の差分表示、定常および過渡熱伝導問題の数値解<br>6. 第１回小テスト：『熱伝導』に関する小テスト<br>対流熱伝達(1)：熱伝達率と境界層、対流熱伝達の基礎方程式、非圧縮性流体に対する基礎方程式、境界層近似と無次元数<br>7. 対流熱伝達(2)：平行平板間および円管内流れの層流強制対流熱伝達、水平平板からの層流強制対流熱伝達<br>8. 対流熱伝達(3)：乱流対流熱伝達、円管内乱流強制対流熱伝達、平板からの乱流強制対流熱伝達、強制対流熱伝達の相関式<br>9. 対流熱伝達(4)：自然対流熱伝達、基礎方程式とグラスホフ数、垂直平板からの層流および乱流自然対流熱伝達<br>10. ふく射伝熱(1)：ふく射伝熱のメカニズム、黒体放射とプランクの法則、ステファン・ボルツマンの法則、放射率とキルヒホッフの法則、黒体と灰色体、実在面のふく射特性<br>11. ふく射伝熱(2)：ふく射熱流束、ふく射強度、形態係数、閉空間系におけるふく射伝熱<br>12. 第２回小テスト：『対流熱伝達』に関する小テスト<br>相変化を伴う伝熱(1)：相変化と伝熱、過熱度と過冷度、プール沸騰、沸騰様式と沸騰特性曲線、核沸騰<br>13. 相変化を伴う伝熱(2)：限界熱流束、膜沸騰、流動沸騰伝熱と流動様式、凝縮の分類とメカニズム、層流膜状凝縮、水平円管表面の膜状凝縮、滴状凝縮<br>14. 伝熱の応用ー熱交換器(1)：熱交換器の形式、熱通過率、熱交換器の熱解析、対数平均温度差<br>15. 伝熱の応用ー熱交換器(2)：温度効率と伝熱単位数(NTU)、実際の熱交換器とその特徴、熱交換器の設計<br>16.定期試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】<br>日本機械学会編「伝熱工学」（日本機械学会）2005 ISBN4-88898-120-5 | | |

| | |
|---|---|
| | 【参考書】<br>Y.A.Cengel, Heat and Mass Transfer (SI Units): A Practical Approach, 3rd ed.”, McGraw-Hill, 2006, ISBN007125739X |
| 試験・評価方法 | 定期試験 60%、小テスト 30%、宿題 10% |
| 別途必要な経費 | なし |
| その他特記事項 | ・第 1 回の授業に臨むにあたり、教科書第 1 章 1.3 節と 1.4 節(pp.5-11)を参考にして、伝導伝熱、対流熱伝達、ふく射伝熱の意味を理解しておくこと。<br>・授業計画に示された教科書の範囲を予習したうえで毎回の授業に出席すること。<br>・第 6 回目と第 12 回目授業内の一部の時間を利用して計 2 回の小テストを実施する。<br>・授業内容に密接に関連する演習問題を宿題として課す。次回の授業開始前までにレポートとして提出すること。 |

# 論理学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 豊田工業大学 | 科目コード | 293105 |
| 担当教員 | 浅野　幸治　准教授 | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　水曜日：1 限（850～1020） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 未定 | | |
| 履修条件 | なし | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【授業の目的・方針】<br>現代における論理学の中心は記号論理学であり、本科目はそれの入門である。<br>記号論理学の考え方を理解し、実際に命題論理学と述語論理学を学ぶ。自然言語との<br>関係やコンピュータとの関係も視野に入れて講義をしていきたい。<br>【授業計画】<br>1. 序論 論理学とは何か<br>2. 第1章 形式化 P.1～P.25<br>3. 第3章 規則と証明1 P.39～P.52<br>4. 第4章 規則と証明2 P.53～P.69<br>5. 第5章 否定 P.71～P.83<br>6. 第6章 証明の方法と双条件法 P.85～P.97<br>7. 同上 同上 同上<br>8. 第2章 量化子 P.27～P.38<br>9. 第7章 量化の規則1 P.99～P.109<br>10. 第8章 量化の規則2 P.111～P.121<br>11. 同上 同上 同上<br>12. 第9章 量化の規則と制約 P.123～P.132<br>13. 同上 同上 同上<br>14. 第 10 章 同一性と記述 P.133～P.140<br>15.第 11 章 反例と妥当性 P.141～P.149<br>16.定期試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】<br>金子洋之著「記号論理入門」（産業図書）1994 年 ISBN 4782802013<br>【参考書】<br>戸田山和久「論理学をつくる」（名古屋大学出版会）2000 年　ISBN 978-4815803902 | | |
| 試験・評価方法 | 宿題2回 20%　中間試験 30%　定期試験 50% | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | ・記号論理学は電子計算機の基礎にあるものなので、電子情報分野に関心のある学生は受講したほうがよい。<br>・科目の性格上、どうしても記号の操作と証明の技術を身に着ける必要があるので、練習問題を課していく。ほぼ毎週課される練習問題は、きちんと自分で解いてくることが必要である。 | | |

# 統計力学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 豊田工業大学 | 科目コード | 293106 |
| 担当教員 | 神谷　格　教授 | | |
| 学年配当 | ３年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　水曜日：２限（1030～1200） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 数学・物理・化学 | | |
| 教室 | 未定 | | |
| 履修条件 | 学部 1，２年レベルの熱力学を履修し、微積分、統計学、量子力学の基礎がある事が講義を理解する上で欠かせない | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 【授業の目的・方針】<br>統計力学は熱力学の理論的裏づけを行っている学問であり、また電磁気学・量子力学と共に物性物理学の柱の一本である。光・電子物性の微視的現象を議論するための基礎的な手法を習得すると共に、マクロな現象との繋がりを体得して貰う。統計力学の基本原理を押さえる事に主眼を置きながら、数学的な取り扱い・物性物理学との関連も学ぶ。<br>【授業計画】<br>1. 統計力学の基礎 確率と統計、熱力学と統計力学 ・・・・・・・・第１章<br>2. 〃 統計力学の考え方、量子状態、状態数、等確率の原理とエントロピー、スターリングの公式 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・第１章<br>3. 〃 エルゴード仮説、理想気体 ・・・・・・・・・・・・第１章、第２章<br>4. ミクロカノニカル分布とエントロピー 量子状態、状態数、ボルツマン定数の導出 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・第２章<br>5. 〃 ボルツマン分布、平均自由行程、理想気体の速度分布 ・・・第２章<br>6. カノニカル分布と自由エネルギー カノニカル分布、エネルギーのゆらぎ、分配関数、自由エネルギー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・第３章<br>7. 古典統計力学の近似 量子論と古典論、古典統計力学、エネルギー等分配則、不完全気体 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・第４章<br>8. 低温と量子効果 熱力学第三法則、磁性体のエントロピー ・・・第５章<br>9. 〃 ２原子分子気体、空洞放射、固体の格子振動、比熱 ・・・・第５章<br>10. 開いた系と化学ポテンシャル 開いた系、化学ポテンシャル、相平衡 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・第６章<br>11. 〃 化学平衡、グランドカノニカル分布・・・・・・・・・・・・第６章<br>12. フェルミ統計とボース統計 フェルミ粒子とボース粒子・・・・第７章<br>13. 〃 理想フェルミ気体・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・第７章<br>14. 〃 理想ボース気体・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・第７章<br>15. ２次の相転移 イジングモデルと強磁性体・・・・・・・・・・第８章<br>16. 定期試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】<br>長岡洋介著「統計力学」（岩波書店）1994 年 ISBN 4-00-007927-1<br>【参考書】<br>1.岡部　豊著「統計力学」（裳華房）2000 年 ISBN 4-7853-2095-8<br>2.久保亮五著「大学演習　熱学・統計力学」（裳華房）1998 年 ISBN 4-7853-8032-2<br>3.都筑卓司著「なっとくする統計力学」（講談社）1993 年 ISBN 4-06-154502-7 | | |
| 試験・評価方法 | 定期試験 85%、宿題 15% | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 予習、復習を徹底し、適宜質問する事。　利用教科書は良くまとまった、物性物理と関連した基礎的内容が一通り網羅された良い書籍である。ただ科目の特性上、数学の自学が欠かせない。授業中補足説明はするが、授業に先立ち参考書３を、また、演習書として２を読む事を強く勧める。　更に、講義ノートを Moodle で公開するので、必ず予習をする事。 | | |

# 力学２ａ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 豊田工業大学 | 科目コード | 293107 |
| 担当教員 | 竹内　秀夫　特任教授 | | |
| 学年配当 | １年 | 単位数 | １単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　月曜日：２限（1030～1200） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 数学・物理・化学 | | |
| 教室 | 未定 | | |
| 履修条件 | なし | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 【授業の目的・方針】<br>「力学１および演習」で学んだ質点の力学を前提として、大きさをもつ現実的な物体すなわち質点の集団を取り扱う物理学の方法（質点系の力学）について講義を行う。十分な時間をとって自学自習（予習、復習）を行い、与えられた課題をよく考え、基礎力とともに応用力をもつけるよう努力する必要がある。他の物理学科目や専門科目との関連が深いので、どの分野に進む学生も履修しておくことが望ましい。<br>【授業計画】<br>「力学２ａ」<br>1.質点系の運動 質点系の運動を特徴づける物理量<br>2.質点系の運動 質点系の並進運動の方程式、重心の運動、二体問題<br>3.質点系の運動（９月 30 日(土)２限に行う）鎖の運動、質点系の回転運動<br>4.剛体の運動 剛体の運動方程式、慣性モーメント<br>5.剛体の運動 代表的剛体の慣性モーメント<br>6.剛体の運動 固定軸のまわりを回転するベクトル，固定軸のまわりの運動<br>7.剛体の運動 慣性テンソル、慣性主軸<br>8.剛体の運動 剛体の運動エネルギー(0.5 回分)<br>9.定期試験（試験は 11 月６日(月)２限に行う） | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】<br>1.竹内秀夫著「基礎から学ぶ力学」（現代数学社）2013 年 ISBN978-4-7687-0428-8<br>2.竹内秀夫著「セミナーで学ぶ力学入門」（現代数学社）2015 年 ISBN978-4-7687-0441-7<br>【参考書】<br>1.山内恭彦・末岡清市編「大学演習　力学」（裳華房）2000 年 ISBN978-4-7853-8011-3<br>2.後藤、山本、神吉著「詳解　力学演習」（共立出版）1971 年 ISBN978-4-320-03025-1 | | |
| 試験・評価方法 | 定期試験:80%　課題:20% | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 講義は、教科書に従って行う。『基礎から学ぶ力学』、『セミナーで学ぶ力学入門』（演習書）をよく予習・復習すること。<br>・与えられた課題は期限までに提出すること。<br>・第３回目の授業は９月 30 日(土)２限に行う予定である。・第８回目の授業は 0.5 回分を行う。・定期試験は 11 月６日に行う。 | | |

# 力学２ｂ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 豊田工業大学 | 科目コード | 293108 |
| 担当教員 | 竹内　秀夫　特任教授 | | |
| 学年配当 | １年 | 単位数 | １単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　月曜日：２限（1030～1200） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 数学・物理・化学 | | |
| 教室 | 未定 | | |
| 履修条件 | なし | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 【授業の目的・方針】<br>「力学１および演習」、「力学 2a」で学んだ質点の力学および質点系の力学の法則を用いて球などの剛体の運動を取り扱う方法、慣性系に対して並進運動や回転運動している座標系にのってみたときの質点の運動を記述する方法について講義を行う。これらをもとに、地上に固定された座標系で観測される現象や固定点のまわりの剛体の運動についての講義を行う。十分な時間をとって自学自習（予習、復習）を行い、与えられた課題をよく考え、基礎力とともに応用力をもつけるよう努力する必要がある。この科目で工学の基礎となる「力学 1,2a,2b」の一続きの内容が完結するので、どの分野に進む学生も履修しておくことが望ましい。「力学 2b」の後は、進む工学分野によらず、それまで学んできた力学を数学的に整備した「解析力学」を、「力学３」で修得することが望ましい。<br>【授業計画】<br>「力学２ｂ」<br>1.剛体の平面運動 瞬時回転中心、一様な重力場中の運動、水平面上の球の運動<br>2.剛体の平面運動（11 月 18 日(土)2 限に行う） 平らな斜面上の球の運動、固定球面に接した球の運動<br>3.非慣性系における運動 並進座標系における運動、回転座標系における運動方程式<br>4.非慣性系における運動,地球表面に固定した座標系 一定な角速度で回転している座標系、地球表面で観測される運動<br>5.地球表面に固定した座標系、固定点のまわりの剛体の運動 落体の運動、フーコー振り子、大気の運動、オイラーの角<br>6.固定点のまわりの剛体の運動 オイラーの運動方程式、剛体の自由回転運動<br>7.固定点のまわりの剛体の運動 テニスラケットの定理、こまの運動<br>8.固定点のまわりの剛体の運動 こまの運動(0.5 回分)<br>9.定期試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】<br>1.竹内秀夫著「基礎から学ぶ力学」（現代数学社）2013 年 ISBN978-4-7687-0428-8<br>2.竹内秀夫著「セミナーで学ぶ力学入門」（現代数学社）2015 年 ISBN978-4-7687-0441-7<br>【参考書】<br>1.山内恭彦・末岡清市編「大学演習　力学」（裳華房）2000 年 ISBN978-4-7853-8011-3<br>2.後藤、山本、神吉著「詳解　力学演習」（共立出版）1971 年 ISBN978-4-320-03025-1 | | |
| 試験・評価方法 | 定期試験:80%　課題:20% | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | 講義は、教科書に従って行う。『基礎から学ぶ力学』、『セミナーで学ぶ力学入門』（演習書）をよく予習・復習すること。<br>・与えられた課題は期限までに提出すること。・第２回目の授業は 11 月 18 日(土)2 限(1 回分)に行う予定である。・第８回目の授業は 0.5 回分を行う。・定期試験は通常試験期間中に行う。 | | |

# 世界の歴史

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 豊田工業大学 | 科目コード | 293109 |
| 担当教員 | 浅野　幸治　准教授 | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　木曜日：2 限（1030～1200） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | 未定 | | |
| 履修条件 | なし | | |
| 募集定員 | 20 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【授業の目的・方針】<br>西洋の近現代史を概観する。それを、政治や経済、社会や思想の歴史を中心として、何故、どのようにして西洋の諸国が強大となったのか、また普遍的な価値をどのように発見し発展させてきたのか、という観点から見る。<br>【授業計画】<br>1.序論 近代の前――中世<br>2.近代の幕開け 大航海時代<br>3.近代国家の成立 フランスの絶対王政<br>4.イギリスの市民革命1 清教徒（ピューリタン）革命 「権利請願」<br>5.イギリスの市民革命2 名誉革命 「権利章典」、ロック『市民政府論』第 2 章、第 3 章 16～17 節、第 8 章 95 節、第 9 章、第 13 章 149 節<br>6.アメリカの植民 植民とその発展 クレヴクール「アメリカ農夫の手紙」<br>7.アメリカ独立戦争 独立戦争に至る経緯 トマス・ペイン『コモン・センス』資料、「独立宣言」<br>8.フランス革命1 フランス革命の始まり ルソー『社会契約論』第 1 編第 1～9 章<br>9.フランス革命2 フランス革命の展開 「人および市民の権利宣言」<br>10.資本主義の発達 資本主義の制度と精神 ベンジャミン・フランクリン『自伝』資料他<br>11.産業革命 繊維産業、蒸気機関、製鉄など<br>12.社会主義 労働者の窮状と剰余価値 マルクス、エンゲルス『共産党宣言』資料、マルクス『賃銀・価格および利潤』資料<br>13.帝国主義的発展 帝国主義とは何か レーニン『帝国主義論』<br>14.第 1 次世界大戦へ ドイツ帝国の躍進<br>15.第 1 次世界大戦 大量殺戮の完成 映像資料<br>16.定期試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】<br>レーニン著（角田安正訳）「帝国主義論」（光文社古典新訳文庫）2006 年 ISBN 4334751121<br>【参考書】<br>1. 大下尚一他著「西洋の歴史――近現代編」（ミネルヴァ書房）1998 年 ISBN 4623028747<br>2. J・ロック著（鵜飼信成訳）「市民政府論」（岩波文庫）1968 年 ISBN 4003400771<br>3. M・ヴェーバー著（大塚久雄訳）「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」（岩波文庫）1989 年 ISBN 4003420934<br>4. B・フランクリン著（松本慎一・西川正身訳）「フランクリン自伝」（岩波文庫）1957 年 ISBN 4003230116<br>5. K・マルクス、F・エンゲルス著（大内兵衛・向坂逸郎訳）「共産党宣言」（岩波文庫）1971 年 ISBN 4003412451<br>6. K・マルクス著（長谷部文雄訳）「賃銀・価格および利潤」（岩波文庫）1981 年 ISBN 4003412486 | | |
| 試験・評価 | 小論文 40%、定期試験 60% | | |

| | |
|---|---|
| 方法 | |
| 別途必要な経費 | なし |
| その他特記事項 | 西洋近現代史の流れ、およびその意味を自分で述べられるように、よく理解してもらいたい。歴史の意味を理解するためには、資料を熟読することが重要である。授業で配布する資料をよく読むこと。 |

# 「経営ビジネス講座」

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 豊橋創造大学 | 科目コード | 293201 |
| 担当教員 | 佐藤　勝尚（経営学部長 | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　金曜：３限（1310～1440） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 豊橋創造大学キャンパス | | |
| 履修条件 | ２年生以上の履修が望ましい | | |
| 募集定員 | 30 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 「講義の概要」<br>現在の日本の経済・産業は、グローバル化に中で大きな変貌をとげつつある。本講座では、ふだんの講義では聴けない、生きた学問を、日々企業活動に取り組まれている方がたからお話を伺うことにより、現実の企業・産業について理解を深めることを目的としている。外部からお招きする講師がたずさわっておられる業種分野は種々様々であるが、特長ある企業あるいは経営方式がユニークである企業の方に講師をお願いしている。<br>この講義は、次の二つの講義がワンセットとして構成される。<br>①教師がお招きする講師の企業や業界,あるいは関連する知識について講義をする。教師の講義の狙いは、企業や業界、さらに関連する経営知識について予備知識を与え、問題意識を持たせることである。<br>②講師から直接にお話を聞き、企業経営や業界の諸問題　について理解を深める。また、質疑応答の時間を設けているので積極的に質問することを強く要請する。<br>３人の教師が分担してＡ社からＦ社までの合計６社の学習を通して授業を展開する。<br>第１回　ガイダンス<br>第２回　Ａ社の事前学習ゼミナール<br>第３回　Ａ社のお話と質疑応答<br>第４回　Ｂ社の事前学習ゼミナール<br>第５回　Ｂ社のお話と質疑応答<br>第６回　Ｃ社の事前学習ゼミナール<br>第７回　Ｃ社のお話と質疑応答<br>第８回　Ｄ社の事前学習ゼミナール<br>第９回　Ｄ社のお話と質疑応答<br>第１０回　Ｅ社の事前学習ゼミナール<br>第１１回　Ｅ社のお話と質疑応答<br>第１２回　Ｆ社の事前学習ゼミナール<br>第１３回　Ｆ社のお話と質疑応答<br>第１４回　経営者に学ぶ企業経営の諸問題<br>第１５回　経営者と企業経営<br>都合により、変更することがあります。 | | |
| テキスト・参考文献 | テキスト：毎回、教師が資料を用意し、配布する。<br>参考文献：なし | | |
| 試験・評価方法 | 以下の２項目により、総合的に評価をする。<br>①１各時間において、課せられるレポートの内容<br>②テストの成績 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | | | |

# 音楽と人生Ⅰ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋音楽大学 | 科目コード | 293301 |
| 担当教員 | 未定 | | |
| 学年配当 | 未定 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　未定：未定（～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | 未定 | | |
| 履修条件 | 未定 | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | ４月,９月 |
| 講義概要 | 未定 | | |
| テキスト・参考文献 | 未定 | | |
| 試験・評価方法 | 未定 | | |
| 別途必要な経費 | 未定 | | |
| その他特記事項 | 未定 | | |

# 音楽と人生Ⅱ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋音楽大学 | 科目コード | 293302 |
| 担当教員 | 未定 | | |
| 学年配当 | 未定 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　未定：未定（～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | 未定 | | |
| 履修条件 | 未定 | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | ４月,10 月 |
| 講義概要 | 未定 | | |
| テキスト・参考文献 | 未定 | | |
| 試験・評価方法 | 未定 | | |
| 別途必要な経費 | 未定 | | |
| その他特記事項 | 未定 | | |

# 西洋音楽史Ｂ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋音楽大学 | 科目コード | 293303 |
| 担当教員 | 未定 | | |
| 学年配当 | 未定 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　未定：未定（～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | 未定 | | |
| 履修条件 | 未定 | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | ４月,11 月 |
| 講義概要 | 未定 | | |
| テキスト・参考文献 | 未定 | | |
| 試験・評価方法 | 未定 | | |
| 別途必要な経費 | 未定 | | |
| その他特記事項 | 未定 | | |

# 中東アフリカ研究Ｂ（アフリカ）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋外語語大学 | 科目コード | 293401 |
| 担当教員 | 佐藤　都喜子（現代国際学部教授） | | |
| 学年配当 | ２年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　月曜日：５限（1640～1810） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | ガイダンス時に連絡 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ４月,9 月 |
| 講義概要 | 【授業概要】：植民地時代にサハラ以南アフリカが受けた様々な苦難を明らかにした上で、植民地支配から放たれたサハラ以南アフリカがたどった道と現在直面する問題について学ぶ。また、未来を見据えて歩んでいるアフリカ諸国についても学習する。【学習目標】：歴史的観点からサハラ以南アフリカ地域の現在をながめることにより、本地域の直面する課題と未来についての理解を深めることをめざす。<br>【準備学習】：１．推薦図書、討論資料などを事前に行動すること（平均して週あたり６０分）<br>２．授業を振り返って、学んだことをまとめること（週６０分）【目標達成のための授業方法】<br>講義と演習を織り交ぜた授業とする。演習では、臨場感を持たせるために視聴覚教材を使っての討論をはかる。<br><br>【授業計画】<br>１回目：授業内容の説明と計画<br>２回目：アフリカの地理<br>３回目：アフリカ文明の曙<br>４回目：川世界の歴史形成―ナイル川、ニジェール川、ザイール川、ザンベジ・リンポポ川<br>５回目：外世界交渉のダイナミズム、ヨーロッパのアフリカ進出<br>・推薦図書：『緑の魔界の探検者：リビングストン発見記』<br>６回目：奴隷貿易、植民地支配<br>７回目：抵抗と独立、試験前の振り返り<br>８回目：中間試験（30 分）、ウガンダ・マラウイ訪問記<br>９回目：独立後のアフリカの苦悩ーアフリカの暴力、犯罪、貧困<br>・映像：「"破綻国家"衝撃の潜入ルポ～混迷するソマリア・南スーダン」<br>・推薦図書：『ルポ　資源大陸アフリカ』<br>１０回目：グループ討論:「なぜ男はアフリカを離れたかったのか？」<br>・討論資料：『空から降ってきた男』<br>１１回目：前回の討議内容の発表<br>１２回目：TICAD（アフリカ開発会議）―日本企業の動き―アフリカで成功した日本人企業家（ケニア・ナッツ）<br>・映像：ナイジェリアを事例としたアフリカの現状と国際支援の在り方（49：06）<br>１３回目：グループ討議：　「アフリカの未来」<br>・１）アフリカに援助は必要か？<br>・２）どのような方法でアフリカ諸国は「低開発国」という汚名から脱出できるか？<br>・推薦図書：ダンビザ・モヨ、小浜裕之訳（2010）『援助じゃアフリカは発展しない』東洋経済新報社<br>１４回目：前回のグループ討論結果の発表<br>１５回目：授業の振り返り | | |
| テキスト・参考文献 | 必要に応じて、適宜プリントや資料を配布する。 | | |
| 試験・評価方法 | 授業への取り組み　（20 点）<br>中間試験　（40＝40 点）：　回答用紙返却後に解説あり。<br>各グループで討議した内容を発展・まとめたレポートを各自で提出　各 1200 字　（20 点x２＝40 点）：　提出されたレポートへのフィードバックあり。 | | |

| | |
|---|---|
| 別途必要な経費 | なし |
| その他特記事項 | なし |

# 中国ビジネス特殊講義

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋外語語大学 | 科目コード | 293402 |
| 担当教員 | 真家　陽一（外国語学部教授） | | |
| 学年配当 | ２年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　火曜日：４限（1500～1630） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | ガイダンス時に連絡 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ４月,9 月 |
| 講義概要 | 【授業概要】社会に出て中国関連のビジネスに従事すると、実際にはどんなことに取り組むことになるのでしょうか。この質問については、実務経験がないと、なかなか答えられないことです。本授業では、中国ビジネスの第一線で活躍した経験豊かな実務家を招き、オムニバス方式で、実践的な講義を行います。これにより、統計やデータといった理論だけにとどまらず、現場での実例やケーススタディも加えて、出来るだけ実務的かつ総合的に中国ビジネスを理解する視点を養うことで、理論と実務の両面に優れた人材を育成していくことを目指します（なお、以下の授業計画は 2016 年度のものであり、2017 年度は２０１６年度の授業の状況も踏まえ、学生のみなさんのニーズ等も勘案しつつ、より有意義な授業が行えるように、業界や講師の選定を進めていきますので、今後変更もあり得ます）。<br>【目標達成のための授業方法】中国でのビジネス経験のある企業関係者等を授業に招へいして、体験談を講演してもらうだけでなく、日本の政府機関で日本企業の海外ビジネス支援業務に従事してきた担当教員からの解説も加えることで、中国ビジネスに対する理解を多面的に深めるとともに、学生の卒業後の進路の参考に資するようにします。<br><br>【授業計画】<br>１回：授業の概要説明および中国ビジネスの見方<br>２回：総論（等身大の中国理解）<br>３回:商社から見た中国ビジネス（1）中国経済･貿易の特徴<br>４回：商社から見た中国ビジネス中国（2）仕事の進め方・考え方の違い<br>５回：物流業から見た中国ビジネス中国（1）物流ビジネスを成功させるには<br>６回：物流業から見た中国ビジネス（2）異文化コミュニケーション<br>７回：製造業から見た中国ビジネス（1）中国製造業の特徴<br>８回：製造業から見た中国ビジネス（2）中国製造業の今後の課題<br>９回：製造業から見た中国ビジネス（3）日中の医薬品産業の違い<br>１０回：製造業から見た中国ビジネス（4）日本本社への対応<br>１１回：食品工業から見た中国ビジネス（1）日中の食品流通の違い<br>１２回：食品工業から見た中国ビジネス（2）中国における商習慣<br>１３回：建材業から見た中国ビジネス建材<br>１４回：華僑ビジネスに学ぶ華人との接し方<br>１５回：全体のまとめ | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書は使用せず、外部講師が作成したプリントや資料をその都度配布します。 | | |
| 試験・評価方法 | 授業に対する取り組み状況やレポートの内容などから総合的に判断します。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | なし | | |

# 地域商業まちづくり学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋学院大学 | 科目コード | 293501 |
| 担当教員 | 水野晶夫・濵満久・井澤知旦 | | |
| 学年配当 | １年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　月曜：２限（1055～1225）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス白鳥学舎曙館２０１教室 | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 本講義は、商店街を中心にそれに関連する地域コミュニティを対象として、講義形式で商店街の歴史や施策、現況やそれを取り巻く環境を概説し、地域活性化の方向性や社会的意義の基本的理解を得ることを目的とする。<br>特に、コミュニティビジネス（ソーシャルビジネス）やまちづくり施策との関連性を中心にその成功事例を取り上げて、商店街活性化に必要な資源や施策について考察する。また、名古屋学院大学が実践する COC 事業の学習を進めるとともに、事業参加の機会についても検討したい。※ COC 地域志向科目<br>1. （水野１）ガイダンス（名古屋学院大学 COC 事業との関連も含めて）<br>2. （水野２）極点社会と地域創生・まちづくり<br>3. （水野３）事例研究：熱田にぎわいまちづくり<br>4. （水野４）事例研究：名古屋市中央卸売市場とまちづくり<br>5. （井澤１）商店街とまちづくり　円頓寺商店街<br>6. （井澤２）商店街とまちづくり　大須商店街<br>7. （井澤３）商店街とまちづくり　金山商店街<br>8. （井澤４）都心商業地とまちづくり　栄のオープンカフェと日曜遊歩道<br>9. （水野５）地域活性化ワークショップ（学生にできること・学生に期待されること）<br>10. （濱１） 商業の外部性と商店街<br>11. （濱２） 中小小売業の歴史と商店街<br>12. （濱３） 商店街とまちづくり政策<br>13. （濱４） 商業集積のマネジメント<br>14. （水野６）まちづくりプランを考えようワークショップ<br>15. （水野７）まとめ<br>16. 定期試験期間 | | |
| テキスト・参考文献 | 【参考書】<br>『商店街はいま必要なのか』 満薗勇 講談社現代新書 2015<br>『稼ぐまちが地方を変える』 木下斉 NHK 出版新書 2015 | | |
| 試験・評価方法 | 小テスト、授業態度の総合評価 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 【学習到達目標】<br>地域商業・商店街についての基本的な理解を深めるとともに、地域商業と社会貢献の関係性やまちづくり活動との関連性について理解できる人材を育成することを目標とします。<br>【履修上の注意】<br>適宜授業中に小テストを実施するが、範囲は、当日のほかに前回までの授業内容を含んでいます。復習を必ずしておくこと。なお、一部のまちづくり実践活動は、有志での活動となり、授業時間外で実施します。<br>【事前事後学習】<br>毎授業中に小テストを実施するが、範囲は、当日のほかに前回までの授業内容を含んでいます。復習を必ずしておくこと。 | | |

# 歴史観光まちづくり学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋学院大学 | 科目コード | 293502 |
| 担当教員 | 田中　智麻 | | |
| 学年配当 | 1 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　水曜：2 限（1055～1225）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス白鳥学舎曙館３０２教室 | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 本講義は、観光地あるいは観光資源を有する地域におけるまちづくりを対象として、観光の社会的意義や観光の歴史、国内外の観光の実態等の基礎を学びます。また、最近注目されている新しいツーリズムから、名古屋にも関係する都市観光や歴史観光を取り上げ、身近な観光資源の活用を考えます。<br>なお、講義によっては、より理解を深めるために、実務者をゲストに招いた講義を行います。※COC 地域志向科目<br>1. 授業ガイダンス　ー今なぜ観光が注目されているか<br>2. 日本人と観光　ー江戸時代から現代旅行への変遷<br>3. 観光産業　ー観光を取り巻く産業、旅行会社<br>4. 宿泊施設　ー世界のホテルと日本旅館<br>5. サービスとホスピタリティ　ー観光地のおもてなし<br>6. 観光地と交通　ー観光地に必要な交通サービス<br>7. 観光情報、世界の旅行<br>8. 観光資源と着地型観光　ー外国人の見た日本<br>9. 名古屋の観光資源と今後の活用　（ゲスト）<br>10. 観光地マーケティングと地域のブランド力<br>11. 観光資源の保護　ーエコツーリズム・観光の発展と地球環境<br>12. 観光と地域経済活性化　ー産業都市名古屋と MICE<br>13. 熱田の資源と名古屋の文化　（ゲスト）<br>14. 観光まちづくり　ー持続可能な地域づくりと注目のニューツーリズム<br>15. まとめ　ーこれからの名古屋の地域づくり<br>16. 定期試験期間 | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】<br>講義の都度、講義内容の資料を配布します。 | | |
| 試験・評価方法 | 授業で学んだことを記述する小テストを平常点（30 点）評価とし、定期試験（70 点）とあわせて評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 【学習到達目標】<br>歴史観光まちづくりの体系的な基本学習を通じて、身近なところにある地域資源を発見し、まちづくりを考えることのできる人材を育成することを目標とします。<br>【履修上の注意】<br>観光は聞いて理解するものではなく、自分で見て体験していくうちに、実感していくものです。時間が許す限り、多くのところに出歩いて見聞を深めましょう。<br>なお、秋学期の歴史観光まちづくり演習の受講を希望される場合は、できる限り本講義に望んでください。<br>【事前事後学習】<br>日常的にテレビ・新聞・雑誌で本テーマとかかわる記事やニュースを入手しておいてください。そうすると講義の理解も深まります。 | | |

# 減災福祉まちづくり学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋学院大学 | 科目コード | 293503 |
| 担当教員 | 越智 祐子 | | |
| 学年配当 | 1 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　木曜：3 限（1320～1450）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス白鳥学舎曙館１０３教室 | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 今後発生が予想される南海トラフ地震や大型台風・集中豪雨に対し、災害をできるだけ減少させるまちづくりの取り組みである「減災まちづくり」、および社会的に弱い立場にある人々への日常的な取組みとしての「福祉まちづくり」を併せ持った「減災福祉まちづくり」を対象とします。<br>本講義は、これまでの災害史と被災の実態、および減災にむけた対策、コミュニティ再生と福祉やボランティア、さらには地域情報の習得など、減災福祉まちづくりの概念と基礎を学ぶとともに、とりわけ「減災まちづくり情報システム（ISDM）」（名古屋都市センターと名古屋大学減災連携研究センターとが連携して開発しているもの）を活用した災害への備えと、災害の影響は社会的弱者に大きいことから、福祉的視点をとりいれたまちづくりを学んでいきます。<br>なお、それぞれの講義テーマに応じ、名古屋都市センター、レスキューストックヤード、名古屋市防災危機管理局の協力を得ながら、一層理解が深まる講義を実施します。※COC 地域志向科目<br>1. 減災福祉まちづくりとは何か（概論）<br>2. 日本の災害史とまちづくりー地震・大火災・台風・集中豪雨等ー<br>3. 被災するということ①地震<br>4. 被災するということ②風水害<br>5. 人はなぜ逃げないか<br>6. 被災に備えてー南海トラフ大地震の被害想定ー<br>7. 減災にむけた行政の取り組みー震災対策と風水害対策ー<br>8. 減災に向けた企業の取り組みー事業継続計画（BCP）等ー<br>9. 減災に向けた地域の取り組みー消防団活動や防災訓練等ー<br>10. コミュニティ再生と福祉まちづくり①ー災害時と要支援者ー<br>11. コミュニティ再生と福祉まちづくり②ー地縁組織の活動ー<br>12. 災害時における社会福祉の役割<br>13. 災害時におけるボランティア活動の役割<br>14. 減災福祉まちづくりに向けてー減災まちづくり情報システム（ISDM）を使って地域を知ろうー<br>15. 減災福祉まちづくりに向けて私たちは今から何をしたらよいのか<br>16. 定期試験期間 | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】<br>『被災者がいちばん伝えたいこと』 レスキューストックヤード編著 2014<br>『避難所運営の知恵袋』 レスキューストックヤード編著 2015<br>教科書の販売についての案内を初回の授業でおこないますので、出席してください。<br>【参考書】<br>『防災学講座　第4巻　防災計画論』 京都大学防災研究所 編 山海堂 2003<br>『三連動地震迫る』　木股文昭 中日新聞社 2011<br>『震災と情報』 徳田雄洋 岩波書店 2011<br>『人が死なない防災』 片田敏孝 集英社 2012<br>『3・11 複合被災』 外岡秀俊 岩波書店 2012<br>『災害ソーシャルワーク入門―被災地の実践知から学ぶ』　上野谷加代子監修　日本社会福祉士養成校協会　中央法規出版　2013 | | |
| 試験・評価方法 | 毎回授業で学んだことを記述する小テストを平常点（40 点）評価とし、定期試験（60 点）とあわせて評価する。 | | |
| 別途必要な | 特になし | | |

| | |
|---|---|
| 経費 | |
| その他特記事項 | 【学習到達目標】<br>減災福祉まちづくりの体系的な基本学習を通じて、日常的な減災まちづくりへの取り組みや社会的弱者への配慮（福祉）といった基本を理解できる人材を育成することを目標とします。<br>【履修上の注意】<br>非常に身近なテーマであり、他人事でなく自分のこととしてとらえ、発災時にどう行動するか常日頃考えていることが重要です。そのためには、住んでいるところ、通学ルート、大学及びその界隈がどういう状況になっているのか、情報を持っていてください。<br>専門用語が授業中に出てきますので、不明の言葉の意味を調べるなどして、理解を深めておいてください。<br>※本講義は座学ですが、実践を強く志向しています。このため、可能な限りグループワークやディスカッションの機会を設けたいと考えています。受講生には積極的な参加を求めます。一方、受講生全員の学習機会を守るため、担当者講義中の私語は禁止します。<br>【事前事後学習】<br>下記の参考文献や日常的にテレビ・新聞・雑誌で本テーマとかかわる記事やニュースを入手しておいてください。そうすると講義の理解も深まります。 |

# 資源経済学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋学院大学 | 科目コード | 293504 |
| 担当教員 | 木船　久雄 | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　月曜：２限（1055～1225）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス白鳥学舎曙館１０３教室 | | |
| 履修条件 | ２年生以上 | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 『資源の無い国ニッポン』。かつて，そんなタイトル本が書店を飾った。日本の食糧自給率は既に４割，エネルギーのそれは１割にも満たない。生活や経済活動の生命線を外国に委ねているのが現在の日本の姿である。<br>市場メカニズムが貫徹されるグローバリゼーションの時代にあって，今さら食糧安全保障だのエネルギー安全保障の時代でもあるまい。国の防衛すら米国に依存しているのだから…，といった論もある。だからといって，現実に目をつぶって良いということにはならない。現実を正しく認識し謙虚に考察することが，未来への第一ステップなのだから。<br>本講座では，天然資源を経済学的な立場から捉える。経済活動に必要な資源の多くは，製品の原材料やエネルギー源として利用される。原材料が無ければ携帯電話や自動車は製品化できないし，エネルギーが無ければこれら機器は利用できない。しかし，そんな天然資源の存在やその多くを海外に依存していること，ましてやそこに国際政治や経済的動機が潜んでいることなど一般には認識されていない。経済活動に不可欠な天然資源は，天然であるがゆえに賦存量に限界がある。しかも，地球上どこにでもある訳ではない。それが資源の価格や市場構造を特徴づけ，興味深い経済分析の対象となる。<br>本講座では，天然資源一般に共通する経済理論および市場特性を中心に講義する。具体的には，資源量の評価，資源価格の決定メカニズム，資源の市場構造，資源と経済発展，といったテーマで話を進めてゆく。<br>1. 資源経済学とは<br>2. 資源量の評価<br>3. 源問題と古典派経済学<br>4. 資源価格決定の理論<br>5. 資源経済の基礎理論（復習）<br>6. 資源保有国の経済発展<br>7. 資源市場の組織化<br>8. 資源貿易の理論<br>9. 成長・市場・貿易（復習）<br>10. 資源と地球環境問題<br>11. 地球温暖化への国際的な取組<br>12. 温暖化問題に対する日本の対応<br>13. 温暖化対策と経済理論<br>14. 資源と環境（復習）<br>15. 資源経済学の要点<br>16. 定期試験期間 | | |
| テキスト・参考文献 | 【参考書】<br>『エネルギー政策の新展開』 木船・野村・西村共編著 晃洋書房 2017<br>『低炭素社会のビジョンと課題』 木船・野村・西村共編著 晃洋書房 2010<br>『環境・資源経済学』 時政　勗 中央経済社 2001 | | |
| 試験・評価方法 | 学期末試験が 100%（試験で 60 点以上とれば「合格」）。<br>ただし、以下を平常点として最大 50 点分を「加点材料」として考慮する。それらは、①小テストの成績、②授業アンケート提出状況や内容、③「自学自習」の答案練習実績、である。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記 | 【学習到達目標】 | | |

| | |
|---|---|
| 事項 | 「学習到達目標」としては，資源に関する基礎的な経済理論の修得と国際的な資源市場の特異性に関する知見を深めることである。<br>【履修上の注意】<br>①講義内容の理解度を確認するため，CCS を利用した「授業アンケート」を行う。授業参加者は授業の終了後に回答を提出すること。<br>②学期末試験のほかに，学期中に２～３回小テストを行う。小テスト実施のタイミングは、前週の授業中で告知するとともに CCS から「授業連絡」で案内する。<br>③授業進度に合わせて CCS 上の「自学自習」に問題集を開放してゆく。この問題を繰り返し解き，解説文を読むことで，知識を定着させ理解を深めて欲しい。<br>【事前事後学習】<br>授業当日に配布する資料は，前日までに CCS にアップロードするので，事前に目を通しておくこと。<br>授業当日の内容に関連する問題集を CCS 上の「自学自習」に開放するので，事前に問題を解いてくること。 |

# 資源・エネルギー政策

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋学院大学 | 科目コード | 293505 |
| 担当教員 | 木船　久雄 | | |
| 学年配当 | ３年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　月曜：３限（1320～1450）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス白鳥学舎曙館１０１教室 | | |
| 履修条件 | ３年生以上 | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 朝の目覚まし時計。起きがけにブルっと震えてストーブの栓をカチリ。パンを焼くトースター。時計代わりに点けたテレビ。通学にはバスと電車あるいはバイクや車。全てはエネルギー無しには動かない。身につけている化繊のジャケットや靴下。食卓に並んだ季節を忘れた野菜や果物。エアコンの効いた快適な住空間。これまた全てエネルギーの恩恵である。<br>我々の生活にはことごとくエネルギーが密接に絡んでいる。空気や水のごとく、在ってあたりまえ、無い状態など想像できないくらい、その存在を認識せずに消費している。エネルギーを消費することによって我々は便利さや快適さを確保し、時間を買うことさえ可能とした。<br>ところがエネルギーの確保や消費には様々な問題が伴うことを忘れてはならない。まず、日本には経済的なエネルギー資源がほとんど存在しない。そのため、海外からの輸入に依存する。そこで、どのようにエネルギーを確保するかという経済安全保障の問題が出てくる。経済活動に不可欠であるという商品特性や世界的な資源賦存が地理的に遍在していることから、この商品は歴史上常に戦略商品となってきた。「戦争の歴史はエネルギー確保の歴史」であったといっても過言ではない。<br>本講座の内容は，大きく３部で構成される。１部はエネルギーの基礎知識，２部はエネルギーと経済，３部はエネルギー政策，である。<br>講義は全てプロジェクターとスクリーンを利用して行う。スクリーンに映し出されたパワーポイントのスライドは，授業の折にプリントして配布する（ただし，空欄があるので学生は授業中にその穴埋めをする）。また，授業中に用いた資料は，できるだけ CCS にアップする予定である。　エネルギーが現代の社会経済にいかに影響を及ぼしているか，実際のデータやトピックスを折りませながら，優しく丁寧に解説していくつもりである。<br>1. エネルギーとは<br>2. エネルギー問題の重要性<br>3. エネルギーバランス表の読み方<br>4. エネルギー問題の基本的な知見（復習）<br>5. エネルギーと経済活動<br>6. エネルギーの需要分析<br>7. エネルギーの供給分析<br>8. エネルギー政策の経済<br>9. エネルギーの経済分析（復習）<br>10. 国際石油市場と石油産業<br>11. 電気事業と政策<br>12. ガス事業と政策<br>13. 原子力政策<br>14. 再生可能エネルギー政策<br>15. 資源エネルギー政策の要点（全体の復習）<br>16. 定期試験期間 | | |
| テキスト・参考文献 | 【参考書】<br>『エネルギー政策の新展開』 木船・野村・西村共編著 晃洋書房 2017 年<br>『エネルギー白書』 経済産業省資源エネルギー庁 政府刊行物 2016 年<br>『エネルギー問題入門』 リチャード・ムラー 樂工社 2014 年 | | |
| 試験・評価方法 | ・学期末試験（60%）と平常点（40%）<br>・平常点は授業内での報告，課題レポート | | |

| | |
|---|---|
| 別途必要な経費 | 特になし |
| その他特記事項 | 【学習到達目標】<br>学習到達目標は、国際的な視野からエネルギー問題への理解を深め，我が国のエネルギー政策に対して，自らの考えを持ち，他者とディスカッションできるようになること。<br>【履修上の注意】<br>・すべての講義に出席すること。<br>・履修生には，エネルギー問題にかかわるニュースについて発表（報告）して貰うことがある。<br>・エネルギー問題に関わるレポート提出を求めることがある。<br>・個別テーマについてケースメソッドとして討論会を行うことがある（その場合には事前に自分の意見を準備しておくこと）。<br>【事前事後学習】<br>・次回の授業範囲を予習し，専門用語の意味を理解しておくこと。<br>・ケースメソッドを行う前の週に課題を出すので，当日までに自分の考えをまとめておくこい(A4 1 枚程度，課題提出)。 |

# 現代産業論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋学院大学 | 科目コード | 293506 |
| 担当教員 | 十名　直喜 | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　金曜：１限（910～1040）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス白鳥学舎曙館１０３教室 | | |
| 履修条件 | ２年生以上 | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 産業は、労働・生活と深く関わり、日々、誰もが体験し接する社会的な営みで、その動向は人々の将来をも左右する。それゆえ、現代産業論は、普遍的な学問である。<br>これまでの産業論は、生産・供給という機能的側面に光をあててきたが、人々が職場や地域で織りなす働き様や生き様、そこで培われた文化やノウハウなどの文化的側面は、対象外とされてきた。ひとづくり、まちづくりの概念も入っていないため、現代の複雑かつ多様な産業・地域像を深く包括して捉えることができない。<br>本講義では、上記の課題に正面から向き合う。生産と地域の現場に根ざし、有形財と無形財にまたがり、ものづくり・ひとづくり・まちづくりを三位一体化し産業システムとして捉える、国際的にも比類のないオリジナルな現代産業論を提示する。<br>それによって、現代産業と地域の多様かつ複雑な諸相と課題を、理論と実証の両面から有機的に把握できるようにする。さらに、人間観、宇宙観、生命観を問い直し、人の働き方と暮らし方を見直す。<br>以上をふまえ、それを可能とする 21 世紀型の産業システムへの視点と知恵を育みたい。<br>教材は、テキストをベースに、理解を深め視野を広げる資料を毎回配布している。授業は、テキストおよび（キーワードを空白にした）講義レジメを軸に進め、必要に応じて各種図表や新聞記事なども提示する。<br>1. 現代産業論への招待<br>2. 地球環境の創造と産業基盤<br>3. 鉄からみた環境・文明史<br>4. 現代産業へのアプローチ<br>5. 産業システム論の基本的枠組み<br>6. 産業の３分割と基本分類<br>7. 近代産業文明の自然観・人間観<br>8. 日本文明の自然観・人間観<br>9. 20 世紀型産業システムとは何か<br>10. 21 世紀型産業システムへの視座<br>11. ものづくり産業の技術と経営―自動車<br>12. ものづくり産業の技術と経営―工作機械<br>13. グローバル経営とひとづくり<br>14. 地域産業と企業経営<br>15. 持続可能な産業・地域づくり<br>16. 定期試験期間 | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】<br>『地域創生の産業システム』 十名直喜　編著 水曜社 2015 年<br>教科書を軸に、レジメおよび各種資料を使い、授業を進める。<br>【参考書】<br>『ひと・まち・ものづくりの経済学』 十名直喜　著 法律文化社 2012 年 | | |
| 試験・評価方法 | 平常点 25%、学期末試験 75%。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 【学習到達目標】<br>現代産業と地域の多様かつ複雑な諸相と課題を、理論と実証の両面から理解する。ものづくり、 | | |

| | |
|---|---|
| | ひとづくり、まちづくりを、個々バラバラにではなく三位一体的に、産業システムとして捉え直し、有機的に把握できるようにする。<br>人間観、宇宙観、生命観を問い直し、人の働き方と暮らし方を見直して、それを可能とする21世紀型の産業システムへの視点と知恵を育みたい。<br>【履修上の注意】<br>授業マナーの徹底を心がける。<br>【事前事後学習】<br>教科書を揃えておく。 |

# メディア論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋学院大学 | 科目コード | 293507 |
| 担当教員 | 野尻　洋平 | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　木曜：４限（1505～1635）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 社会・マスコミ・情報 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス白鳥学舎曙館３０３教室 | | |
| 履修条件 | ２年生以上 | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | メディア研究（＝広義のメディア論）は社会学のみならず、さまざまなアプローチ（理論と方法）によって探究される学際的な学問領域である。本講義では「メディアはいかにして社会的なリアリティを構成するか？」という問題意識を出発点として、メディアをめぐる理論、歴史、現状と課題について学ぶ。<br>講義は大きく分けて三つのパートから構成される。１．基礎概念および思考、２．マス・コミュニケーション、３．インターネットである。具体的には、マクルーハンをはじめとする（狭義の）メディア論の理論的源泉に触れたのち、宗教改革と印刷技術、大衆とマスコミ、メディアイベントといったテーマを扱う。また、SNS と友人関係、アラブの春、ネット右翼、フラッシュモブといった近年のメディア現象を取り上げ、そこで生起する人びとの意識や社会変容について考察する。<br>本講義は、現代社会学部ディプロマポリシーの「知識・理解」における社会学の基礎知識とそれらを含む幅広い基礎的教養の獲得、および「思考・判断」における現代社会の諸側面に対する洞察力の習得をめざす。また、現代社会学部カリキュラムポリシーに掲げる基本分野の一つである＜人間社会と心理＞の理解を深めることを目的とする。<br>1. オリエンテーション<br>2. メディア研究の射程<br>3. メディアとコミュニケーション<br>4. メディアと近代<br>5. 大衆社会とマス・コミュニケーション<br>6. メディアとプロパガンダ<br>7. メディアと世論<br>8. 中間試験<br>9. メディアとジャーナリズム<br>10. メディアイベント<br>11. ソーシャルメディアと社会運動<br>12. フラッシュモブをどう捉えるか<br>13. フィルターバブルとパーソナライゼーション<br>14. 現代社会と広告メディア<br>15. 全体の振り返り<br>16. 定期試験期間 | | |
| テキスト・参考文献 | 【参考書】<br>参考文献は適宜、講義中に紹介する。 | | |
| 試験・評価方法 | 授業への参加度（40%）、中間試験（30%）、最終試験（30%）による総合評価。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 【学習到達目標】<br>・メディア論の思考とその系譜について説明することができる。<br>・近代社会におけるマスコミュニケーションの社会的機能や役割、その重要性について説明することができる。<br>・インターネットをはじめとする近年のメディア現象について社会科学的に説明することができる。<br>【履修上の注意】 | | |

| | |
|---|---|
| | ・講義中の私語は一切認めない。注意を受け入れない場合は退室を命じる。<br>・単位認定は、出席回数が総授業回数の３分の２以上であることを要件とし、これを満たさない場合は「不可」となる。<br>・遅刻は原則として「欠席」扱いとする。<br>・グループワーク、ペアワークを実施することがある。<br>・原則として毎回、コメントペーパーもしくは課題の提出をもとめる。<br>・小テスト（理解度確認テスト）を実施することがある。<br>【事前学習】<br>毎日、新聞に目を通し、各回の講義テーマに関連する記事を切り抜いてストックすること（90分）。<br>【事後学習】<br>講義で学んだ概念や理論について、普段の生活のなかで応用し、知識の定着をはかること（90分）。 |

# マーケティング論１

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋学院大学 | 科目コード | 293508 |
| 担当教員 | 清水 良郎 | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　木曜：３限（1320～1450）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス白鳥学舎曙館２０１教室 | | |
| 履修条件 | ２年生以上 | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 新時代のビジネスリーダーにとってマーケティングの本質を理解することはもはや常識となっている。効率生産のみに力をいれていた企業も消費者ニーズに目を向け始めたが、その先の行動の指針が見えないというのがビジネス現場の実態である。さらに、急速な情報化と国際化により、マーケティングも日々刻々と変化し、ビジネス環境は複雑化している。本講義では、現場感覚を重視し、顧客視点からマーケティングの本質を捕らえることに重きを置く。そして、マーケティング基本戦略および商品、価格、流通、販促戦略を自ら企画構築できる実践力を養成する。また最新の IT 技術、メディア事情、などマーケティングに大きな影響を及ぼす現象をとらえ、現在のマーケティングビジネスに即したタイムリーな講義を行う。つまり「現場ビジネス」に役立つ講義をに力点を置く。★マーケティングは日に日に変化してゆくものであり、企業のビジネス現場でおこったニュースを実践的に講義に加えてゆく。昨年度は燃料電池自動車の概要とその市場動向、日本のスマホ電子部品メーカーの活躍、PB 商品活性化の背景などを講義で取り上げた。<br>1. 講義概要説明とマーケティングへのイントロダクション（お客様に喜んでもらうには）<br>2. マーケティングの定義とその基本理念、および顧客の重要性<br>3. マーケティングの３C の概要と基本<br>4. マーケティングコンセプトの変遷と現場ビジネス<br>5. CSR（企業の社会的責任）とステークホルダー、ISO について<br>6. マーケティング基本戦略とマーケティングミックス　基本編→顧客志向の徹底<br>7. マーケティング基本戦略とマーケティングミックス　応用編→戦略作成の実際<br>8. セグメンテーション、ターゲッティングの基本と実際<br>9. ポジショニングの基本と実際（PET ボトル日本茶、ブランドバッグ、白鶴まるの実例をとおして）<br>10. CS と CRM：その概要と実際<br>11. プロダクト・ポートフォリオ・マネジメントの基本と実際　富士フィルムの例をとおして<br>12. SWOT 分析の概要とビジネスへの活用<br>13. アンゾフの企業成長ベクトルとその具体例について<br>14. マーケティングリサーチ：その概要と実際<br>15. 講義のポイントの確認と総復習<br>16. 定期試験期間 | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】<br>『知識ゼロからのマーケティング入門』 前田信弘 幻冬舎 2009<br>適宜、プリント等の資料を配布する | | |
| 試験・評価方法 | 評価基準：筆記試験を中心に平常点、授業態度を加味して評価する | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 【学習到達目標】<br>・顧客視点に立ったマーケティングの本質理解<br>・マーケティング基本戦略およびマーケティングミックス戦略の理解と応用、実践力養成<br>・ビジネスの最新情報をベースにしたマーケティングセンスを身につける<br>・インターネットのマーケティングへの活用<br>・企業、組織の社会的責任と法令順守経営の理解<br>【履修上の注意】<br>受講条件は特に設けない。教員は、受講生が興味を持って積極的に理解できるように講義するこ | | |

| | |
|---|---|
| | とを心がける。ただし、講義中の私語、携帯電話の使用、他の受講者の迷惑となる行為を取る者に対しては、厳しい態度で臨む。講義中、頻繁に受講生諸君の席をまわり、授業内容についての質問をする対話型講義を行う。<br>【事前事後学習】<br>ビジネス現場の状況に即応した講義を行います。新聞、インターネット等でビジネスや経済の基本的動向を調べて講義にのぞんでください。少しでも企業のことに興味を持って講義を受けてください。 |

# 流通論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋学院大学 | 科目コード | 293509 |
| 担当教員 | 濵　満久 | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　水曜：２限（1055～1225）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス白鳥学舎希館２０１教室 | | |
| 履修条件 | ２年生以上 | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 流通は、私たちの生活にとってきわめて身近な存在です。ほとんどの人たちは小売業と接した経験を有しているはずです。しかし、それだけ存在が身近だといっても、流通のことを十分に理解できるわけではありません。通常、流通とはメーカーが生産した製品が、私たち消費者によって消費されるまでのすべての過程を指します。したがって私たちが普段接している小売業は流通の一部分にすぎません。つまり、流通を理解するにはその全体にまで視野を広げることが必要になります。そこで講義ではその理解のために大きく前半と後半にわけて議論します。前半は社会における流通の役割など基礎的な内容について議論します。後半はそれを踏まえた事例など、より具体的な議論をします。※COC 地域志向科目<br>1. イントロダクション－流通システムで何を学ぶか<br>2. 流通・商業のはたらき<br>3. 商業の存立根拠：商業の社会性<br>4. 商業の存立根拠：流通費用の視点から<br>5. 商業の存立根拠：複数存在について<br>6. 小売商業の構造：流通費用と商品分類<br>7. 日本の小売商業の構造<br>8. 日本の小売商業の構造変化：愛知県を事例として<br>9. 日本の中小小売業と商業集積：名古屋市を事例として<br>10. 小売業態の基礎理論<br>11. 日本における小売業態の発展<br>12. 卸売商業の構造<br>13. 卸売商業の機能<br>14. 情報化の進展と流通システム：情報化の浸透<br>15. 情報化の進展と流通システム：流通への影響<br>16. 定期試験期間 | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】<br>『ベーシック流通と商業＜新版＞』 原田英生・渡辺達朗・向山雅夫 有斐閣 2010<br>【参考書】<br>『流通論をつかむ』 渡辺達朗・原頼利・遠藤明子・田村晃二 有斐閣 2008 | | |
| 試験・評価方法 | 試験　８０％　　発言など授業貢献　２０％ | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 【学習到達目標】<br>社会における流通の基本的な役割や性質を理解する。<br>具体的な事例をとおして、商業だけでなくメーカーとの関係やその変化などより広い視点をもつ。<br>「まちづくり」など、従来の枠組みでは捉えられない新たな課題についての視点をもつ。<br>あらためて「当たり前」を問う視点をもつ。<br>【履修上の注意】<br>欠席した場合の情報収集は自身の責任において行うこと。<br>自身の買い物行動や店頭のあり方など日々の流通現場においてどのような変化があるか意識して疑問を感じること。<br>【事前事後学習】 | | |

| | |
|---|---|
| | テキストを読んでおくこと。<br>日ごろの買い物などで身近な商品などがどのようにして、流通されているのかということに考えを巡らせる習慣をもつことが大事。 |

# 情報社会論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋学院大学 | 科目コード | 293510 |
| 担当教員 | 伊藤 昭浩 | | |
| 学年配当 | ３年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　火曜：２限（1055～1225）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 社会・マスコミ・情報 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス白鳥学舎曙館５０２教室 | | |
| 履修条件 | ３年生以上 | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 「情報」という言葉は極めて曖昧であるが、「情報技術（Information Technology）」の高度な応用、象徴的にはデジタル化とネットワーク化をその基盤とする「情報社会」は着実に進展しつつある。<br>その変化の早さ、激しさは「革命」と言うに相応しく、生活、経済、産業、教育、行政、文化等々、あらゆる面での変化を促している一方、こうした「革命」は種々の問題も引き起こしており、いわゆる「影」の部分も多く生み出している。情報社会特有の「犯罪」や「社会不安」も次第に増加し、更には「IT を使える者」と「使えない者」つまり「デジタルディバイド」の問題も深刻化しようとしている。<br>本講義ではこうした情勢を理解し、「光」と「影」を正しく認識した上で、情報社会に生き、かつ、その健全な発展に寄与できる「常識人としての知恵」の基盤を醸成しながら、その理論や実際に対する理解を深めていく。※COC 地域志向科目<br>1. 授業の概要と進め方、　情報システム概論<br>2. 情報社会への理論的アプローチ１「情報の非対称性」<br>3. 情報社会への理論的アプローチ２「取引費用論」<br>4. 情報社会への理論的アプローチ３「ネットワーク外部性」<br>5. 情報社会への理論的アプローチ４「標準化」<br>6. 情報化の現状と動向１　パソコンとインターネット、携帯電話の普及と発展<br>7. 情報化の現状と動向２　企業での情報活用の形態、企業間ネットワークの発展<br>8. 情報化の現状と動向３　インターネットのインパクト<br>9. IT 革命とその影響１　情報化と経済<br>10. IT 革命とその影響２　情報通信政策<br>11. IT 革命とその影響３　情報教育、デジタル・デバイド　-愛知県を事例とした考察-<br>12. 情報化社会の危険性１　著作権問題、プライバシー問題<br>13. 情報化社会の危険性２　暗号・電子署名・認証　不正アクセス<br>14. 情報化社会の危険性３　情報セキュリティの概念と特徴<br>15. まとめ<br>16. 定期試験期間 | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】<br>後日指定 | | |
| 試験・評価方法 | レポート３０%，学期末テスト５０%，平常点２０% | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 【学習到達目標】<br>急速に進展する「IT 革命」の「光」と「影」を理解し、健全な「情報社会」の担い手として行動する為の、基礎的な「気づき」と「理解」を深める。<br>【履修上の注意】<br>テーマごとに実際の事例を紹介しながら講義していくため、高い出席率とともに積極的な授業参加を求める。なお、本講義は「地(知)の拠点整備事業」に関する地域志向型科目である。<br>【事前事後学習】<br>講義ごとに告知される次回テーマについて、文献およびインターネットを用いて基礎的知識および理解を高めておくよう、各人が事前準備しておくこと。 | | |

# 知的財産法

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋学院大学 | 科目コード | 293511 |
| 担当教員 | 菱沼　剛 | | |
| 学年配当 | ３年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　金曜：１限（910～1040）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス白鳥学舎翼館３０２教室 | | |
| 履修条件 | ３年生以上 | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 「知的財産権」とは、「特許権、実用新案権、育成者権、意匠権、著作権、商標権その他の知的財産に関して法令により定められた権利又は法律上保護される利益に係る権利」をいう（知的財産基本法）。21 世紀における経済社会において、知的財産はもっとも重要な競争力の源泉である。本講義では、特許権や著作権をはじめとした各権利について、それぞれの保護対象・要件、取得手続、帰属、効力、侵害に対する救済方法といった特色を概観する。また、各権利の活用方法についても可能な限り扱う。<br>1. 知的財産法総説<br>2. 特許法⑴対象・要件<br>3. 特許法⑵　取得手続・帰属<br>4. 特許法⑶　効力・侵害と救済<br>5. 特許法⑷　活用<br>6. 実用新案法<br>7. 商標法⑴　登録要件・取得手続<br>8. 商標法⑵　効力・侵害と救済<br>9. 意匠法<br>10. 不正競争防止法<br>11. 著作権法⑴　要件・帰属<br>12. 著作権法⑵　著作者人格権・著作隣接権<br>13. 著作権法⑶　効力・侵害と救済<br>14. 著作権法⑷　著作権・著作物の利用<br>15. その他の制度<br>16. 定期試験期間 | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】<br>『知的財産法入門』 木棚照一（編） 法律文化社 2017<br>『知的財産法入門』 小泉直樹 岩波新書 2010<br>『知的財産法入門』（木棚照一編　法律文化社　2017 年）は５月下旬出版の予定。『知的財産権制度入門』（特許庁、2015 年）の「Ⅰ　概要編」も適宜参照するので用意しておくこと。（https://www.jpo.go.jp/torikumi/ibento/text/h27_syosinsya.htm）。<br>【参考書】<br>『知的財産法入門』 茶園成樹 有斐閣 2013<br>知的財産権六法も参照する。知的財産法の範囲は広いので、参考書を適宜指示する。特許権等の活用に興味のある者は、『産業財産権標準テキスト　流通編』（工業所有権情報・研修館 2008 年）等も参照するとよい。 | | |
| 試験・評価方法 | 定期試験の成績による。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 【学習到達目標】<br>知的財産制度の基礎知識を取得するとともに、各自のキャリアに合わせて様々な局面で用いることができることを目標とする。様々な種類の知的財産権を活用したり、また他人の知的財産権を侵害するリスクを避けるために必要な知見を取得する。<br>【履修上の注意】<br>実社会における利用、保護のための手続の流れ、自由利用とのバランスのために用いられた制度 | | |

| | |
|---|---|
| | に留意しながら、各制度を学習する。また、民法など他の科目との関連や、各自のキャリアパスも意識しながら、主体的に学ぶことが重要である。<br>【事前事後学習】<br>全体像を把握するため、講義の早い段階で、さらに知識の整理に講義の終了近くに、教科書を通読することが望ましい。また、配布された資料も読んでおくこと。 |

# 国際知的財産法

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋学院大学 | 科目コード | 293512 |
| 担当教員 | 菱沼　剛 | | |
| 学年配当 | ３年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　金曜：２限（1055～1225）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス白鳥学舎翼館３０２教室 | | |
| 履修条件 | ３年生以上 | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 本講義は、教科書の「第１部　国際知的財産法総論」を中心に説明する。知的財産権の国際性を踏まえた上で、知的財産権の国際的保護にかかわる代表的な国際法源の沿革、基本原則や今後の方向性を扱う。その他の国際法源についても概観する。また、国家間の国際的知的財産紛争の解決方法についても触れる。そして、国際法源と国内法との関係、知的財産権にかかわる私人間の国際的な紛争解決方法について、具体的な事例を交えつつ学習していく。<br>1. 知的財産権概念の登場、知的財産権の国際性、国際知的財産法の法源<br>2. 知的財産保護の特徴と知的財産摩擦<br>3. 知的財産権の基本的国際法源（１）　工業所有権の国際的保護に関するパリ条約<br>4. 知的財産権の基本的国際法源（２）　著作権の保護に関するベルヌ条約<br>5. 知的財産権の基本的国際法源（３）　知的所有権の貿易関連の側面に関する協定<br>6. 国際法源展開の今後の可能性<br>7. 国際法源における基本原則<br>8. 基本的国際法源とその他国際法源との関係<br>9. 国際法源における各種知的財産権保護と日本法（１）　特許権および実用新案権<br>10. 国際法源における各種知的財産権保護と日本法（２）　商標権、地理的表示および意匠権<br>11. 国際法源における各種知的財産権保護と日本法（３）　著作権および著作隣接権<br>12. 知的財産権に関する渉外紛争の特徴とその解決方法<br>13. 国際法源の現状と国際私法の必要性、各国国際私法規則の調整・調和<br>14. 知的財産紛争に関する国際裁判管轄<br>15. 知的財産紛争の準拠法<br>16. 定期試験期間 | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】<br>『国際知的財産法』 木棚照一 日本評論社 2009<br>『国際知的財産法』が標準教科書である。<br>【参考書】<br>『国際知的財産侵害訴訟の基礎理論』 木棚照一 経済産業調査会 2003<br>『国際工業所有権法の研究』 木棚照一 日本評論社 1989<br>参考資料を適宜指示する。 | | |
| 試験・評価方法 | 定期試験の成績による。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 【学習到達目標】<br>知的財産権の国際的保護のための国際法源や関連する日本法についての基礎知識と、国際的知的財産紛争の解決のために必要な知識と法的思考力を習得する。<br>【履修上の注意】<br>実社会における利用、保護のための手続の流れ、情報の自由な流通とのバランスを念頭において、制度を理解する。また、民法など他の科目との関連や各自のキャリアパスも意識しながら、関連するニュースや公開情報との関連に注意するなど、主体的に学ぶことが望ましい。<br>【事前事後学習】<br>配布資料・教科書のほか、『外国産業財産権制度情報』（特許庁ウェブサイト）や『著作権関係条約』（著作権情報センター・ウェブサイト）の関連箇所（和訳）も、適宜参照することが望ましい。 | | |

# 国際企業法務

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋学院大学 | 科目コード | 293513 |
| 担当教員 | 三浦　哲男 | | |
| 学年配当 | ３年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　木曜：２限（1055～1225）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス白鳥学舎翼館３０３教室 | | |
| 履修条件 | ３年生以上 | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 国際企業法務は企業法務の一分野であるが、企業法務の中でも“国際的な企業活動”や“企業の国際的な対応”の側面を取り扱っていきます。春学期に開講される「国際取引法」の応用講義（各論の内容）と理解してほしい。ただ、より”現場感覚”で実務をイメージできるように講義を進めます。例えば、貿易取引ではどんな書類（信用状、荷為替手形、B・L（船済証券）等）がどんなタイミングでやり取りされ、そこにどんな法律問題が生まれるのかというような点です。その意味で、事例を使って説明を行っていきます。銀行、信用金庫等の金融機関、商社や貿易会社等で海外関係の仕事に興味を持っている方、あるいはメーカーや販売会社（店）で貿易・海外事業関係の業務や法務・総務、経理関係の仕事を目指している方は基礎的な知識を修得するためにも受講することをお勧めします。なお、本講義は応用科目ですので、商法、会社法、国際取引法等の基本的知識を理解していると、本講義が一層判り易くなると思います。<br>1. 国際企業法務の現状と課題<br>2. 国際契約に共通の問題<br>3. 国際売買契約（1）<br>4. 国際売買契約（2）<br>5. 販売店契約＆代理店取引と契約形態<br>6. フランチャイズ・ビジネスと契約形態<br>7. 知的財産権（IPーIndustrial　Property）（1）<br>8. IP 取引とライセンス契約<br>9. 製造物責任と企業取引<br>10. 通商問題（アンチ・ダンピング調査、セーフガード等）と企業取引<br>11. FTA,TPP 等の通商協定に対する企業の対応<br>12. 海外事業投資<br>13. 合弁会社と契約形態<br>14. 国際企業活動と企業責任（グローバル・ビジネスとリスク）<br>15. 国際的な企業買収<br>16. 定期試験週間 | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】<br>『企業取引法の実務〈補訂版〉』 花水征一・三浦哲男 （株）商事法務 2011 年<br>各講義で配布するプリントと照らし合わせて理解するよう努めること。 | | |
| 試験・評価方法 | 原則として、期末試験による。講義期間中、簡単な理解度チェック試験を４－５回程度実施し、その評点も加味して最終評価を行います。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 【学習到達目標】<br>国際企業法務のベースとなる各種国際契約（輸出契約、販売代理店契約、ライセンス契約、合弁会社契約等）の基礎的な考え方や項目を充分に理解してもらうことが基準となります。<br>【履修上の注意】<br>毎回の講義で説明プリントを配布します。とくに説明資料に記載される項目および重要語句をよく理解することが大事です。単にノートをとることだけではなく、考え方・概念を理解しようと務めることが大事です。<br>【事前事後学習】<br>事前学習としては、国際的な商取引に関する話題を新聞、ネット等で調べる努力をして頂きたい。本講義では事後学習のほうが重要だと思いますので、まず、企業取引で使われる法律概念・ | | |

| | |
|---|---|
| | 用語をきちっと理解することがポイントです。これは、皆さんが企業や公務員を目指す上でも知識として重要になると思います。 |

# 比較政治学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋学院大学 | 科目コード | 293514 |
| 担当教員 | 鈴木　隆 | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　木曜：２限（1055～1225）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス白鳥学舎翼館３０２教室 | | |
| 履修条件 | ２年生以上 | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 本講義は、比較政治学の基本的分析枠組みを理解し、その分析手法を修得することを目的に、比較政治学の諸理論、およびその理論的動向について検討する。<br>具体的には、諸外国の政治行動と政治の仕組みに関し、その類似点と相違点を探ることで一般的理論を構築する比較政治の手法を習得するために、とりわけ国際社会に多様な形で存在する政治制度、政府形態、政治体制（非民主的体制と現代民主政）、あるいは近年の政治変容を、特に欧米主要国と私たちの暮らす東アジア諸国とを中心に比較検討する。<br>1. イントロダクション<br>2. 比較政治とは何か<br>3. 比較政治の枠組み<br>4. 国家形成の仕組み<br>5. グローバル化と政治の変容<br>6. 現代国家の変遷Ⅰ：国家国民統合<br>7. 現代国家の変遷Ⅱ：開発<br>8. 現代国家の変遷Ⅲ：民主化<br>9. ケーススタディⅠ：マレーシア<br>10. ケーススタディⅡ： シンガポール<br>11. 国家：対内主権と対外主権<br>12. 非民主的体制：全体主義体制と権威主義体制<br>13. 民主的体制:民主主義のジレンマとアポリア<br>14. 政治制度<br>15. 政党と政党制<br>16. 定期試験期間 | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】<br>『東アジア国際関係の新展開』 鈴木隆 志學社 2017 年<br>教科書がカバーしていないテーマについては、適宜、レジュメを配布する。<br>【参考書】<br>『安全保障と国際関係』 鈴木隆ほか 内外出版 2016 年<br>『比較政治学』 岩崎美紀子 岩波書店 2012 年<br>『東アジア統合の国際政治経済学：ASEAN 地域主義から自立的発展モデルへ』 鈴木隆 国際書院 2011 年<br>『日本外交と国際関係』 鈴木隆ほか 内外出版 2009 年<br>上記以外については講義の中で適宜紹介する。 | | |
| 試験・評価方法 | 期末の試験と講義の進捗に合わせて適宜実施する小テストとの結果を総合して判断する。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 【学習到達目標】<br>本講義は、比較政治学の基本的分析枠組みを理解し、その分析手法を修得することを目標とする。それにより、比較政治学のスキルを用いて、諸外国の多様な現実政治を複眼的な視座から実証的に分析できるようになることを目指す。<br>【履修上の注意】<br>本講義は、各回の講義計画（講義テーマ）に関して、適宜、時事問題を取り上げながら解説していく。そのため、日本はもちろんのこと、諸外国の出来事などについても問題意識を持つこと、 | | |

| | |
|---|---|
| | 日頃より新聞に眼を通す癖をつけること、私たちを取り巻く情報や社会の変容に常にアンテナを張るようにすること、などが求められる。<br>【事前事後学習】<br>本講義は、政治学の基礎知識、および理論的枠組みを理解していることを前提に進める。よって受講生は、事前に参考書などで上記を再確認のうえ、当該講義計画（講義テーマ）の内容周辺を予習したうえで講義に出席することが望まれる。また、事後には、講義内容を復習・整理し、次回講義に向けて理解を定着させておくことが望まれる。 |

# 国際政治

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋学院大学 | 科目コード | 293515 |
| 担当教員 | 鈴木　隆 | | |
| 学年配当 | ３年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　月曜：２限（1055～1225）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス白鳥学舎曙館３０１教室 | | |
| 履修条件 | ３年生以上 | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 本講義は、国際政治の歴史・理論の基本事項を講義する。第一に、国際社会の誕生から二度の世界大戦をへて冷戦、ポスト冷戦へと至る国際政治史を概観する。第二に、世界大戦を契機に確立された国際政治学の理論について、基本的アプローチとしてのリアリズムとリベラリズムを解説し、併せてその他の代表的諸理論を解説する。<br>1. イントロダクション<br>2. 国際社会の形成：グローバリゼーション<br>3. 国際政治理論の思想的背景Ⅰ：リベラリズム<br>4. 国際政治理論の思想的背景Ⅱ：リアリズム<br>5. リベラリズム<br>6. リアリズム<br>7. コミュニケーション理論とゲーム理論<br>8. 合理的行為者・組織過程・政府内政治<br>9. 相互依存モデル・従属論・世界システム論<br>10. ネオリアリズム<br>11. ネオリベラル制度主義<br>12. 国際政治の課題Ⅰ：内戦型紛争と国際テロリズム<br>13. 国際政治の課題Ⅱ：核抑止・核拡散・核軍縮<br>14. 国際政治の課題Ⅲ：人権と人道的介入<br>15. 国際政治の課題Ⅳ：人間の安全保障<br>16. 定期試験期間 | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】<br>『東アジア国際関係の新展開』 鈴木隆 志學社 2017 年<br>教科書がカバーしていないテーマについては、適宜、レジュメを配布する。<br>【参考書】<br>『安全保障と国際関係』 鈴木隆ほか 内外出版 2016 年<br>『国際関係論講義』 山影進 東京大学出版会 2012 年<br>『東アジア統合の国際政治経済学』 鈴木隆 国際書院 2011 年<br>『グローバル社会の国際関係論』 山田高敬・大矢根聡 有斐閣 2011 年<br>『国際政治学をつかむ』 村田晃嗣・君塚直隆・石川卓・栗栖薫子・秋山信将 有斐閣 2009 年<br>『日本外交と国際関係』 鈴木隆ほか 内外出版 2009 年<br>上記以外については講義の中で適宜紹介する。 | | |
| 試験・評価方法 | 期末の試験と講義の進捗に合わせて適宜実施する小テストとの結果を総合して判断する。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 【学習到達目標】<br>国際政治学とは、国際関係全体の中の主権国家間の政治現象が、国際社会の中で持つ意味あるいは機能などについて検討する学問である。そのため、現代の国際政治を理解し、その動向を見極めるためには、現代の国際政治で生じている様々な問題の歴史的背景を理解し、分析ツールとしての基本的な国際政治理論を知ることが必要条件である。よって本講義は、国際政治の歴史・理論の基本事項を解説し、現代国際政治の全体像を理解することを目標とする。<br>【履修上の注意】<br>本講義は、国際政治の歴史や理論について、適宜、時事問題を取り上げながら解説していく。そ | | |

| | |
|---|---|
| | のため、現代国際社会と日本社会との相関に問題意識を持つこと、日頃より新聞などに眼を通す癖をつけること、私たちを取り巻く情報や社会の変容に常にアンテナを張るようにすること、などが求められる。<br>【事前事後学習】<br>本講義は、政治学の基礎知識、および世界史の基本的流れを理解していることを前提に進める。よって受講生は、事前に参考書などで上記を再確認のうえ、当該講義計画（講義テーマ）の内容周辺を予習したうえで講義に出席することが望まれる。また、事後には、講義内容を復習・整理し、次回講義に向けて理解を定着させておくことが望まれる。 |

# ことばの世界

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋学院大学 | 科目コード | 293516 |
| 担当教員 | 八亀 五三男 | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　火曜：３限（1320～1450）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス白鳥学舎曙館３０４教室 | | |
| 履修条件 | ２年生以上 | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 「ことば」を研究する分野は「文学」，「歴史」，「哲学」などに較べると、まだまだ馴染みが薄い。言語を実用目的で学ぶ「語学」においては、国際語である英語が優先される。しかしながら、言語学的には全ての言語（英語であれ、ドイツ語であれ、タガログ語であれ、何語であっても）は同等と見なさなければならない。たとえ言語Ａの使用人口が 10 億人で言語Ｂが 100 人だとしても、「言語Ａと言語Ｂは異なっている」以上のことは言えない、また言ってはならない（×「言語Ａは言語Ｂよりすぐれている」）。この大原則を踏まえて講義を進めていく。前半は、「ことば（言語）」とはどのような性質（多様性、多面性）を持っているのか、「ことば」を分析するにはどのような基準を用いればよいのか、ことばのルールはどのような原理に基づいているのか、構造・比較・変種などの概念を中心にその本質に迫りたい。後半では、具体的な言語に焦点を絞り、個々の言語が「ことば」としてどのような原理の上に成り立っているのかを探っていく。日本語・漢字、ポルトガル語・ラテン語、デンマーク語・アイスランド語がそれぞれワンセットになっている。<br>1. 序<br>2. ことばの多面性<br>3. ことばのルール<br>4. ことばの構成<br>5. ことばの比較<br>6. ことばの変種<br>7. 日本語の構造<br>8. 漢字の音訓<br>9. ポルトガル語のはなし<br>10. ラテン語のはなし<br>11. デンマーク語のはなし<br>12. アイスランド語のはなし<br>13. ことばへの深層<br>14. 「ことばへの興味」から「ことばの世界」へ<br>15. まとめ<br>16. 定期試験期間 | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】<br>こちらで準備します。 | | |
| 試験・評価方法 | 試験７０%、平常点３０% | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 【学習到達目標】<br>一般的に言語とはどのような特徴を持っているのか、どのようなメカニズムででき上がっているのかについて、明確な考えを持つことができるようになる。<br>【履修上の注意】<br>個々の言語についてかなり詳しい説明をしますので、言語的・文法的な現象に非常に興味のある学生だと得るものがたくさんあると思います。集中力を必要とします。<br>【事前事後学習】<br>ヨーロッパではどんな言語が話されているのか、もう一度復習しておいて下さい。 | | |

# アジア言語入門１

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋学院大学 | 科目コード | 293517 |
| 担当教員 | 佐伯　奈津子 | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | １単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　月曜：５限（1645～1815）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス白鳥学舎曙館４０４教室 | | |
| 履修条件 | ２年生以上 | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 「人はおらん（orang）」<br>「ご飯はなし（nasi）」<br>「魚はいかん（ikan）」<br>「菓子を食え（kue）」<br>アルファベットで表記し、発音しやすいインドネシア語は、短期間でマスターしやすい言語です。もともとはマレー社会（現在のインドネシア、マレーシア、シンガポール、ブルネイ、タイ南部、フィリピン南部）の交易語であり、共通語として学ばれ、話されていたため、時制の変化や格（主格・所有格・目的格）の区別がないなど、文法が比較的簡単だからです。<br>視聴覚資料などを教材に、インドネシアの暮らしを学びつつ、旅行でつかえるインドネシア語を身につけます。<br>1. 文字と発音、基本のあいさつ<br>2. 自己紹介する<br>3. 機内にて<br>4. 空港にて<br>5. 両替所にて<br>6. タクシーにて<br>7. ホテルにて<br>8. レストランにて<br>9. 映画鑑賞<br>10. エステにて<br>11. ショッピングモールにて<br>12. 電話をかけたい！<br>13. 道に迷った！<br>14. 病気になった！<br>15. スマホが盗まれた！<br>16. 定期試験期間 | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】<br>授業中に適宜指示する。<br>【参考書】<br>『旅の指さし会話帳②インドネシア　インドネシア語』 武部洋子 情報センター出版局 2011<br>『最新インドネシア語小辞典』 佐々木重次 2013<br>『最新インドネシア語小辞典』は、書店では購入できないため、希望者の分をまとめて注文する。 | | |
| 試験・評価方法 | 授業態度（40%）、学期中小テスト（60%） | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 【学習到達目標】<br>・インドネシア語で最低限の日常会話ができるようにする。<br>【履修上の注意】<br>2017 年度は「アジア言語入門 1」で会話、「アジア言語入門 2」で文法を学びます。<br>語学は日々の積み重ねなので、1 回でも欠席すると、授業についていくのがたいへんです。毎回出席するようにしてください。 | | |

| | |
|---|---|
| | インドネシア中長期留学を検討している学生は、必ず履修してください。<br>愛知県は、日本でもっとも多くのインドネシア人が住む地域です。授業以外にも、インドネシア人と交流したり、インドネシアの文化に触れる機会を設けるので、積極的に参加してください。<br>【事前事後学習】<br>授業で出てきた新しい単語をその週のうちに覚えられるよう、少ない時間でも毎日、インドネシア語に触れる。 |

# アジア言語入門２

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋学院大学 | 科目コード | 293518 |
| 担当教員 | 佐伯　奈津子 | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | １単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　月曜：５限（1645～1815）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス白鳥学舎曙館４０４教室 | | |
| 履修条件 | ２年生以上 | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 「人はおらん（orang）」<br>「ご飯はなし（nasi）」<br>「魚はいかん（ikan）」<br>「菓子を食え（kue）」<br>アルファベットで表記し、発音しやすいインドネシア語は、短期間でマスターしやすい言語です。もともとはマレー社会（現在のインドネシア、マレーシア、シンガポール、ブルネイ、タイ南部、フィリピン南部）の交易語であり、共通語として学ばれ、話されていたため、時制の変化や格（主格・所有格・目的格）の区別がないなど、文法が比較的簡単だからです。<br>視聴覚資料などを教材に、インドネシアの暮らしを学びつつ、旅行でつかえるインドネシア語を身につけます。<br>1. 文字と発音、基本のあいさつ<br>2. 文をつくってみる<br>3. 動詞、助動詞、前置詞<br>4. 形容詞<br>5. 疑問詞①<br>6. 数字<br>7. 疑問詞②<br>8. 命令・勧誘・依頼<br>9. 映画鑑賞<br>10. 関係代名詞<br>11. 接続詞<br>12. 接頭辞 ber-<br>13. 接頭辞 me-<br>14. 受動態<br>15. 名詞<br>16. 定期試験期間 | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】<br>授業中に適宜指示する。<br>【参考書】<br>『旅の指さし会話帳②インドネシア　インドネシア語』 武部洋子 情報センター出版局 2011<br>『最新インドネシア語小辞典』 佐々木重次 2013<br>『最新インドネシア語小辞典』は、書店では購入できないため、希望者の分をまとめて注文する。 | | |
| 試験・評価方法 | 授業態度（40%）、学期中小テスト（60%） | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 【学習到達目標】<br>基礎的なインドネシア語の能力（読み、書き）を身につける。<br>【履修上の注意】<br>2017 年度は「アジア言語入門 1」で会話、「アジア言語入門 2」で文法を学びます。<br>語学は日々の積み重ねなので、1 回でも欠席すると、授業についていくのがたいへんです。毎回出席するようにしてください。 | | |

| | |
|---|---|
| | インドネシア中長期留学を検討している学生は、必ず履修してください。<br>愛知県は、日本でもっとも多くのインドネシア人が住む地域です。授業以外にも、インドネシア人と交流したり、インドネシアの文化に触れる機会を設けるので、積極的に参加してください。<br>【事前事後学習】<br>授業で出てきた新しい単語をその週のうちに覚えられるよう、少ない時間でも毎日、インドネシア語に触れる。 |

# キリスト教文化論１

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋学院大学 | 科目コード | 293519 |
| 担当教員 | 黒柳　志仁 | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　水曜：２限（1055～1225）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス白鳥学舎希館４０６教室 | | |
| 履修条件 | ２年生以上 | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 人類の歴史において、音楽と宗教は密接な関係を保っている。音楽には感情を増幅させる働きもあり、宗教を伝える言葉もまた、本来は音声である。声に出して読み、語り伝えるためには、発声、発音、アクセント、リズムなどの音声表現に付随する韻律要素を含んでいる。キリスト教はそのルーツであるユダヤ教と同じように神を賛美し、歌うことを重視してきた。祈りは歌へと通じ、旧約聖書には様々な楽器が登場し、出エジプト記にある「主に向かって歌え」(15:21)は、弦楽器が奏でる詩編の祈りを経て、J.S.バッハに至る賛美の歌の原点にもなっている。嬉しい時も悲しい時も、神に向かって歌った歴史もキリスト教の文化を作り上げてきたのである。本科目では、旧約聖書、新約聖書の内容を伝えるために、音楽がどのように用いられてきたか、礼拝のテーマに基づいて教会音楽を分類し、その役割や機能について学ぶ。<br>1. オリエンテーション　音楽がもたらすもの<br>2. 聖書と音楽の関わり　　旧約聖書と楽器<br>3. 楽譜の情報<br>4. ローマ教会とグレゴリオ聖歌　　ラテン語聖歌の伝統<br>5. 中世ポリフォニーと宗教歌曲　　音楽劇と典礼劇<br>6. ルネサンスにおける表現の自由　　新譜法とミサ曲<br>7. 初期ルネサンスの教会音楽　　器楽の発達<br>8. ルネサンス隆盛期の教会音楽　　教会建築と音響効果<br>9. ドイツの宗教改革とその波及　　コラールの展開<br>10. 宗教改革における表現の自由　　聖書のみ、信仰のみ、万人祭司<br>11. バロックへの道　　オルガンの発達と通奏低音の役割<br>12. バロック期のイタリア<br>13. バロック期のフランスとイングランド<br>14. バロック期のドイツ<br>15. 日本と西洋音楽<br>16. 定期試験期間 | | |
| テキスト・参考文献 | 【参考書】<br>『グレゴリオ聖歌』 水嶋　良雄 音楽之友社 1966 年<br>『詩篇の音楽』 寺本　まり子 音楽之友社 2004 年<br>『キリスト教音楽の歴史／初代教会から J.S.バッハまで』 金澤　正剛 日本キリスト教団出版局 2005 年<br>『キリスト教と音楽／ヨーロッパ音楽の源流をたずねて』 金澤　正剛 音楽之友社 2007 年<br>講義内で適宜紹介する。 | | |
| 試験・評価方法 | 授業への主体的参加と発言：20 点<br>毎回授業で配布するコメントペーパーの内容：30 点<br>レポート：50 点 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 【学習到達目標】<br>キリスト教音楽に影響を及ぼした表現の変遷を学ぶこと。<br>音楽史を概観できるようになること。<br>【履修上の注意】<br>初回の講義で、評価方法や出欠の取り方などを含めた履修上の注意事項を説明する。<br>講義内で配布したプリントはすべて CCS の教材 BOX にアップロードする。やむを得ない理由で | | |

| | |
|---|---|
| | 講義を欠席した場合、あるいは復習のために活用すること。<br>【事前事後学習】<br>図書館（名古屋キャンパス・瀬戸キャンパス）に所蔵されている音楽史に関する書籍を通読すること。 |

# キリスト教文化論２

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋学院大学 | 科目コード | 293520 |
| 担当教員 | 黒柳　志仁 | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　水曜：２限（1055～1225）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス白鳥学舎希館４０６教室 | | |
| 履修条件 | ２年生以上 | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 人はこれまで、言葉や絵、文字にはじまり、紙、印刷、写真、録音、映像といったメディア技術の進歩に応じて情報伝達をしてきた。西洋のキリスト教芸術はそもそもの始めから、超越的な神や聖なる存在を、眼に見える形や色彩で表現しうるか、という大きな課題から出発している。キリスト教は、絵の具などの物質的な材料で不可視の霊性をとらえることの不可能性を自覚しつつも、信徒の教化や徳の養成に、芸術や聖堂建築を積極的に利用し作品として生み出していった。中世から近世の作品に描写されている芸術表現の歴史を辿ることで、そこにはリアリズムを求める立体的表現、円環的に配される群像、高度な遠近法が用いられる背景など、絵画技術の進歩をキリスト教芸術から学び知ることができる。本科目ではキリスト教芸術の主題や図像について聖書から学ぶとともに、作品表現の様式的な変化を生じさせた時代背景や要因について紹介する。<br>1. オリエンテーション　　絵画がもたらすもの<br>2. 画材の歴史<br>3. 古代ギリシア美術　　幾何学様式<br>4. アルカイック美術　　エジプトの大彫刻<br>5. 古代ローマ美術　　写実的肖像彫刻、肖像画<br>6. 初期キリスト教美術　　精神と神秘の装飾<br>7. ビザンティン美術　　東ローマ帝国のモザイクと聖像<br>8. ロマネスク美術　　修道院の美術<br>9. ゴシック美術(1)　　写本のミニアチュール、板絵祭壇画の自然主義的表現<br>10. ゴシック美術(2)　　着色ガラスと聖堂のステンドグラス<br>11. 初期ルネサンス　　人間の精神と肉体、神話画と遠近法<br>12. 盛期ルネサンス　　均整と調和の古典主義芸術<br>13. ヴェネチア派　　豊麗な色彩と詩的暗示的表現<br>14. 北方ルネサンス　　精密・正確な描写　（北方ヨーロッパ）の写実的表現<br>15. マニエリスム　　反自然主義的美<br>16. 定期試験期間 | | |
| テキスト・参考文献 | 【参考書】<br>適宜講義内で紹介する。 | | |
| 試験・評価方法 | 授業への主体的参加と発言：20 点<br>毎回授業で配布するコメントペーパーの内容：30 点<br>レポート：50 点 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 【学習到達目標】<br>聖書の内容とキリスト教絵画に表現された意味を理解できるようになること。<br>キリスト教絵画に影響を及ぼした表現の変遷を学ぶこと。<br>【履修上の注意】<br>初回の講義で、評価方法や出欠の取り方などを含めた履修上の注意事項を説明する。<br>講義内で配布したプリントはすべて CCS の教材 BOX にアップロードする。やむを得ない理由で講義を欠席した場合、あるいは復習のために活用すること。<br>【事前事後学習】<br>図書館（名古屋キャンパス・瀬戸キャンパス）に所蔵されている西洋絵画史に関する書籍を通読すること。 | | |

# 文化人類学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋学院大学 | 科目コード | 293521 |
| 担当教員 | 宮坂　清 | | |
| 学年配当 | １年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　木曜：４限（1505～1635）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス白鳥学舎希館４０５教室 | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 本講義では、人類にとっての世界観の問題を取り上げる。人類は、自分たちが生きている世界をどのように認知、あるいは想像しているのか。この問題を文化人類学的に考えるため、まず身近な事例を通して私たちが世界に向けるまなざしのあり方を問い直し、次に世界の外側へ向かうまなざしについてケガレ、死、シャーマニズムといったテーマを介して学ぶ。<br>1. オリエンテーション:講義内容・評価方法について<br>2. 人類と世界観⑴:文化の作られ方<br>3. 人類と世界観⑵:環境と文化の関係<br>4. 人類と世界観⑶:人の行動と文化<br>5. 人類と世界観⑷:人は色をどう見ているのか<br>6. 人類と世界観⑸:人は音をどう聞いているのか<br>7. 人類と世界観⑹:なぜ美しい風景は美しいのか<br>8. 人類と世界観⑺:食、味覚と文化<br>9. 人類と世界観⑻:なぜ美人は美人なのか<br>10. 人類と世界観⑼:美しいとはどういうことか<br>11. 異界へのまなざし⑴:境界性とケガレ<br>12. 異界へのまなざし⑵:死者のゆくえ<br>13. 異界へのまなざし⑶:葬送の文化<br>14. 異界へのまなざし⑷:シャーマニズム<br>15. 異界へのまなざし⑸:ラダックのシャーマニズム<br>16. 定期試験期間 | | |
| テキスト・参考文献 | 【参考書】<br>『目からウロコの文化人類学入門 ―人間探検ガイドブック』 斗鬼正一 ミネルヴァ書房 2003年 | | |
| 試験・評価方法 | 平常点（40%）、期末試験（60%）により評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 【学習到達目標】<br>文化人類学が蓄積してきた、人類の世界観のあり方を理解するための方法を身につける。人類に共通してみられる側面に注目することで、文化の隔たりを越えた人類の理解を目指す。<br>【履修上の注意】<br>講義内容を理解するだけでなく、問題意識をもちそれを展開する積極的な態度を求める。 | | |

# 開発社会学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋学院大学 | 科目コード | 293522 |
| 担当教員 | 佐竹 眞明 | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　火曜：３限（1320～1450）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス白鳥学舎曙館５０３教室 | | |
| 履修条件 | ２年生以上 | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 日本は国際社会において、いわゆる先進工業国として、政府や民間団体（NGO）が発展途上国に対して、協力援助を提供してきている。政府開発援助では日本の経済的利益や「国益」を強調する議論もあるが、あくまで援助を必要とする人々を対象に人道的援助を続けるべきであるという主張もある。本講義ではそうした状況を踏まえ、日本の国際協力を核に据えて、国際社会の状況や日本と国際社会との関係を考える。<br>まず、世界の現状を途上国の貧困、開発問題などに触れて、考える。アフリカのコーヒー農園、世界が 100 人の村だったら、インドネシアにおける森林破壊など、具体的な事例を紹介しながら、途上国の現状を検証する。日本との関係も考える。そして、国際協力の定義に触れる。それから、日本による政府開発援助（ODA)の概要、問題点（環境・住民強制移転）を紹介する。他方、青年海外協力隊の活動も紹介し、ODA による貢献にも触れる。　その後、民間団体（NGO）による国際協力について、名古屋 NGO センター作成によるテキストを用いて、検討する。最後にまとめとして、国際協力の意義、課題を整理する。<br>国際協力の在り方について、理解を深め、できうることを考えてもらう。<br>DVD を上映したり、ゲストスピーカーを招待し、国際協力に関して、臨場感をもって、理解してもらうようにする。なお、本授業は外国学部開講科目「国際社会と日本」をも兼ねる。※COC 地域志向科目<br>1. イントロ　ガーナのそのこ<br>2. 南北格差　世界が１００人の村だったら<br>3. 低開発とは　インドの働く子どもたち<br>4. 南北問題と私たち 1.　インドネシアのオランウータン<br>5. 国際協力とは<br>6. 日本の政府開発援助（ODA）　概略<br>7. 環境と住民移転問題<br>8. 続編　対応策<br>9. 青年海外協力隊<br>10. 民間の国際協力　NGO とは？[14-21] JANIC/ 名古屋 NGO センター<br>11. 地域の NGO　アジア保健研修所[34]・多文化共生リソースセンター東海[4-7]<br>12. ホンネ座談会[22-29]<br>13. 子ども支援[６－９]―子ども権利条約に触れつつ<br>14. インターン、スタディツアー[38-41]―平和学的視点を含めつつ<br>15. 国際協力再考　まとめ<br>16. 定期試験期間 | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】<br>『はじめよう　NGO』 名古屋 NGO センター 名古屋 NGO センター 2014<br>【参考書】<br>『徹底検証ニッポンの ODA』 村井吉敬 コモンズ 2006<br>『脱「国際協力」：開発と平和構築を超えて』 越田清和他 新評論 2011<br>『小さな民のグローバル学―共生の思想と実践をもとめて』 甲斐田真智子・佐竹眞明・長津一史・幡谷則子　共編著 上智大学出版 2016<br>『NGO の発展の軌跡：国際協力 NGO の発展とその専門性』 重田博康 明石書店 2005<br>『フェアトレード@ライフ』 藤原千尋 春秋社 2007<br>【指定図書】<br>『脱「国際協力」』 藤岡美恵子, 越田清和, 中野憲志編 新評論 2011.9 | | |

| | |
|---|---|
| 試験・評価方法 | 平常点 30%、コメントペーパーその他１０%、レポート試験６０%。 |
| 別途必要な経費 | 特になし |
| その他特記事項 | 【学習到達目標】<br>発展途上国の経済的状況について理解する。<br>日本による国際協力の概要、課題を理解する。<br>【履修上の注意】<br>授業の３分の１以上欠席した場合、単位を認定しない。私語厳禁。遅刻厳禁。<br>コメントペーパーを通じて、授業内容について、回答を求めることもあるので、積極的に授業に参加し、理解に努めるようにすること。<br>【事前事後学習】<br>国際協力に関して、新聞やテレビの報道に注目し、読み、視聴するようにしてください。<br>また、発展途上国に関して、同様に関心を払ってください。 |

# アジア政治論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋学院大学 | 科目コード | 293523 |
| 担当教員 | 佐伯　奈津子 | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　火曜：１限（910～1040）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス白鳥学舎曙館４０５教室 | | |
| 履修条件 | ２年生以上 | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 第二次世界大戦後に政治的な独立を達成したアジアの国ぐにの多くは、ふたつの政治的課題に直面してきました。<br>第一に、アジアの国境線は、植民地支配や東西連戦によって「人為的」に引かれたものです。多様な民族・宗教が共存するアジアの国ぐには、「人為的」に国家統一や国民統合を進めなくてはなりませんでした。<br>第二に、アジアの国ぐには政治的な独立につづいて、経済的な自立を目指しましたが、経済開発のために、外国資本や援助に依存しなくてはならないというジレンマもありました。<br>国家統一、経済開発の過程では、人権や自由が制限されたり、紛争が発生したりすることも少なくありません。アジア政治論では、東南アジアを中心に、このようなアジアの国ぐにの政治状況、歴史的背景、そして日本との関係を、視聴覚資料を通じて考えます。<br>1. 東南アジアを知る①　多様な民族、宗教、文化<br>2. 東南アジアを知る②　東南アジアの植民地化と独立<br>3. 東南アジアと日本の関わり①　日本軍政<br>4. 東南アジアと日本の関わり②　戦争賠償<br>5. 東南アジアの開発と日本①　日本の政府開発援助（ODA）の特徴<br>6. 東南アジアの開発と日本②　訴えられた ODA<br>7. 東南アジアの紛争①　アチェ紛争と天然ガス開発<br>8. 東南アジアの紛争②　パプア鉱山開発と先住民族<br>9. 東南アジアの紛争③　21 世紀最初の「独立国」東ティモール<br>10. 東南アジアの紛争④　ビルマ軍事政権と民主化<br>11. 東南アジアのイスラーム①　東南アジアの「テロ・ネットワーク」<br>12. 東南アジアのイスラーム①　タイ深南部の紛争<br>13. 東南アジアのイスラーム②　ミンダナオ紛争<br>14. 東南アジアのイスラーム③　漂流するロヒンギャ民族<br>15. 総括（秋学期の振り返り）<br>16. 定期試験期間 | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】<br>授業中に適宜指示する。<br>【参考書】<br>明石書店エリア・スタディーズ『（国名）を知るための〇〇章』は、その国について幅広く紹介しているので、関心のある国だけでも読むことを勧める。 | | |
| 試験・評価方法 | リアクションペーパー（40%）、期末レポート（60%） | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 【学習到達目標】<br>・アジア（とくに東南アジア）の政治を考える際の基礎的な知識を身につけ、現在のアジア情勢を分析する力を養う。<br>・自身がアジア（とくに東南アジア）で起きているさまざまな問題と切り離せない存在であることを理解する。<br>【履修上の注意】<br>とくに東南アジア圏（インドネシア、タイ、フィリピン）への中長期留学を検討している学生は、必ず履修してください。 | | |

| | |
|---|---|
| | 【事前事後学習】<br>アジア（とくに東南アジア）の政治に関心をもち、つねに新聞やテレビなどで情報の収集に努めること。 |

# 日本の民俗学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋学院大学 | 科目コード | 293524 |
| 担当教員 | 宮坂　清 | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　金曜：１限（910～1040）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス白鳥学舎希館４０３教室 | | |
| 履修条件 | ２年生以上 | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 民俗学は、習俗、民間伝承、祭りなど、現代まで人々により受け継がれてきた営みを取り上げ、現代から過去へとさかのぼり、古きを訪ねる学問である。本講義では、とりわけ民俗学者・谷川健一の思索に寄り添い、古代日本における「神と自然と人間の交渉」がどのようなものであったかについて考えていく。<br>1 オリエンテーション:講義内容・評価方法について<br>2. 民俗学の基礎⑴:柳田國男と民俗学<br>3. 民俗学の基礎⑵:民俗学の見方<br>4. 古代人の世界観⑴:古代における「時間」<br>5. 古代人の世界観⑵:世界のはじまり<br>6. 古代人の世界観⑶:現世と他界<br>7. 古代人の世界観⑷:他界からの来訪神<br>8. 民俗学を観る⑴:ドキュメンタリー鑑賞<br>9. 古代人の世界観⑸:循環する世界<br>10. 古代人の世界観⑹:生まれがえり<br>11. 日本の神⑴:アニミズム<br>12. 日本の神⑵:かしこきもの<br>13. 日本の神⑶:白鳥信仰<br>14. 日本の神⑷:タマ<br>15. 日本の神⑸:タマシイ<br>16. 定期試験期間 | | |
| テキスト・参考文献 | 【参考書】<br>『民俗学の愉楽』 谷川健一 現代書館 2008 年 | | |
| 試験・評価方法 | 平常点（40%）、期末試験（60%）により評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 【学習到達目標】<br>日本の習俗や民間伝承、祭りに底流する水脈をたどることで、日本文化の原初のありようを理解する。<br>【履修上の注意】<br>講義内容を理解するだけでなく、問題意識をもちそれを展開する積極的な態度を求める。<br>【事前事後学習】<br>指示された参考書を読むことが望まれる。 | | |

# 中国文化社会論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋学院大学 | 科目コード | 293525 |
| 担当教員 | 黄　名時 | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　木曜：４限（1505～1635）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス白鳥学舎希館４０４教室 | | |
| 履修条件 | ２年生以上 | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 明治の脱亜入欧から 100 年有余を経た今日、日中間では経済、科学技術、教育、文化など多方面にわたって曾てない人的物的交流が幅広く行われている。親日の爆買が急増し、中国が意識として再び身近な存在になっている。講義では、ダイナミックな多様性を特色とする巨大中国の様々な文化事象と社会様相を紹介する。特に、歴史と文化、国家と社会、中央と地方などの中華世界の諸問題を中心に、中国の文化・社会の歴史的変容と現代的課題について考察する。<br>悠久の絢爛たる文化を有する歴史の国―中国。恐らくその中国はほとんどの学生にとってとても遠い存在であると同時に、しかし何かと気になる隣国でもあろう。日本と中国とは古来、一衣帯水の隣人、つまりお隣同士の間柄であり、今や漢字の筆談でコミュニケーションを図ることができるのは世界広しといえども唯一中国人と日本人しかいない。<br>今日、欧米諸国以外では唯一中国のみが国連常任理事国であり、中国語は国連公用語の一つにもなっている。東アジアの歴史は古代から現代にいたるまで常に中国を中心に展開してきた。中国文化圏に属する周辺の日本や朝鮮・琉球およびベトナムその他東南アジア・南太平洋などの国々は、時に衛星国として政治的にも文化的にもその影響を強く受け続けてきた。秦漢時代に中国を宗主国とする朝貢・冊封体制が構築され、これが、以後二千年間にわたって継承された華夷秩序として知られるものである。<br>超大国中国は多民族国家であり、今も 56 もの民族が暮らしている。北京や上海など富裕層が集る大都会もあれば、雲南省や甘粛省など貧困な人々の多く住む地方もある。<br>授業では中国の地理・歴史のほか、衣・食・住、教育、余暇・レジャー、社交、冠婚葬祭、伝統行事、信仰・宗教、少数民族、ジェンダー、学生生活、就活・婚活、少子高齢化の問題など、今日の中国の生活実態やライフスタイルについて幅広く講授する。<br>中国とはどのような国なのか、中国の言語とはどのような言葉なのか、悠久の歴史と雄大な国土の中で育まれてきた大陸文化の特質を解説し、今日の中国社会に対する理解を深めていきたい。<br>1. 中国の文化＆社会へのアプローチ<br>2. 中国　―力の王朝の歴史―<br>3. 日中文化交渉史　―唐長安城と遣唐使―<br>4. 中国文明の進化と停滞<br>5. 中国文化の特質　―円卓を囲んで―<br>6. 日中の懸け橋(1) `火鍋`＆エリート教育<br>7. 日中の懸け橋(2) カリスマブロガー＆建築家<br>8. 新人類バーリンホゥ＆中国ブランド<br>9. 中国への日本企業のアウトソーシング<br>10. ジェンダーと社会の課題　―ワーキングプア＆女性の貧困―<br>11. 中国の婚活＆結婚事情　―新旧社会３世代の比較―<br>12. 中国の女性　―億万長者・料理人・スポーツ選手―<br>13. 中国雲南省の少数民族と地域開発ブーム<br>14. 中国の人気ファッション<br>15. スーパーパワー中国の復興<br>16. 定期試験期間 | | |
| テキスト・参考文献 | 【参考書】<br>『中国文化史大事典』 黄名時ほか 大修館書店<br>『現代中国の社会とくらし』 姜波ほか 大学教育出版<br>『中国の暮らしと文化を知るための 40 章』 東洋文化研究会 明石書店<br>『中国の衝撃』 溝口雄三 東京大学出版会 | | |

| | |
|---|---|
| | 『日中逆転　膨張する中国の真実』 日本経済新聞社 日本経済新聞出版社<br>『漢民族と中国社会』 橋本萬太郎　山川出版社 |
| 試験・評価方法 | 授業態度と毎回の小テスト評点（50%）および学期末テスト（50%）の成績でもって評価する。<br>毎週講義の最後に小テストを課し、授業内容について受講生に感想・意見・論評・質問等を答案用紙に書いてもらい文章力を評価する。 |
| 別途必要な経費 | 特になし |
| その他特記事項 | 【学習到達目標】<br>昨今の中国大陸では、14 億人の力が突然解き放たれたかのように、全土が活力に満ち溢れた様相を呈している。講義ではいくつかのテーマに分け、勢いの凄まじい中国の現状を一つ一つ理解できるように工夫をしていきたい。<br>受講生が、中国の伝統文化と風俗習慣・日常生活および最新の社会事情について全般的な基礎知識が得られることを学習の目標とする。<br>教室では折を見て、中国の社会環境や街角・暮らしぶり・人々の素顔など中国現地の最新状況を映した VTR のビジュアル映像資料を用い、目と耳からの情報で現在の生きた中国の姿を感じ取ることができるようにしていきたい。<br>【履修上の注意】<br>出欠は教室のカードリーダーで読み取り CCS で集計するので、受講生は必ず学生証を携帯し自己責任で管理すること。学生証を忘れた場合は当日申し出ること。過去形の出席の届け出は認められない。<br>遅刻３回で欠席一回とする。30 分以上の遅刻は欠席扱い。1/3 以上の授業欠席で失格となるため特に注意をすること。<br>講義ではレジュメ資料と VTR 映像を見るとともに、毎回、講義後にレポートを書くことにより講義内容がきちんと把握できるようにする。<br>＊中国人にとって日本は異郷の地、なのに懐かしく親しみを感じる国という。日本に触れて安堵するのはなぜか。それは懐かしい故郷と重なり、中国の古い記憶が日本の地に溢れ息づいているから、という。中国人のこのような感触を理解するために、チャンスがあれば彼らとのコミュニケーションを進めていくことは中国の文化社会を深く学習する上で極めて重要かつ効果的である。<br>【事前事後学習】<br>下記【参考書】の中から少なくとも１冊を選んで読み、中国の文化と社会に対して一定の知識を得ておくこと。<br>なお、中国の文化・社会に関連する講義として他に NGU 教養スタンダード科目があり、春学期に「中国文化入門」を開講し、秋学期には「考古学入門　―古代の中国とその文化遺産―」を講授している。中国の文化社会に関心のある学生は、この２科目も合わせて履修するとよい。<br>＊中国では秦漢時代以降（前３世紀～）朝貢・冊封体制が構築され、日本もかつては「中華世界」と深くかかわる時代が長くつづいた。受講にあたって、日本の中国文化受容と日中交流史について、事前・事後に知識と情報を得ておくことが望ましい。 |

# 現代アジア文化社会論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋学院大学 | 科目コード | 293526 |
| 担当教員 | 佐竹 眞明 | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　火曜：４限（1505～1635）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス白鳥学舎曙館３０３教室 | | |
| 履修条件 | ２年生以上 | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 東南アジアの隣国、フィリピン共和国を取り上げる。<br>近年、フィリピンは比較的安定した政権の下、経済成長を遂げてきた。最も近い東南アジアの国として、日本との関係も深い。では、フィリピンとはどのような国なのだろうか。<br>本講義では、フィリピンの歴史的背景を踏まえつつ、現代フィリピンの社会・文化理解に努める。<br>日本との関係にも触れ、楽しく授業を進めていきたい。<br>具体的には次のような事項を取り上げる。<br>フィリピンの概要、民族的多様性、言語・教育、留学体験、歴史（比日関係を含む）、文化的価値観、女性と家族、国際関係（比中関係、在日フィリピン人）などである。<br>適宜、授業の最後にリアクションペーパーに記入してもらい、授業の理解度を確認する。<br>受講生にはフィリピンの文化社会について理解を深めていただきたい。<br>1. フィリピンの概要①イントロダクション：　フィリピンの概要[はじめに][1][25]<br>2. ②民族的多様性：民族音楽と民族的心　グレース・ノノ[40]<br>3. ③フィリピンの言語・教育[13]<br>4. ④留学体験<br>5. 歴史と日比関係⑤スペイン植民地支配（16～19 世紀）[4]<br>6. ⑥アメリカ植民地（20 世紀初頭）[43]<br>7. ⑦日本による占領（1942－45）[8]<br>8. ⑧戦後＋日本との関係[9][57]<br>9. 文化的価値観　⑨恥・恩・付き合い[11]<br>10. ⑩近所付き合い：母が出稼ぎの家庭[11][55]<br>11. ⑪女性と家族：女性 [20][及び配布資料]<br>12. ⑫同：家族[11][及び配布資料]<br>13. 国際関係⑬フィリピンと中国[41][54]<br>14. ⑭同：在日フィリピン人[60][61]　　（[ ]内は教科書の該当章）<br>15. ⑮まとめ<br>16. 定期試験期間 | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】<br>『現代フィリピンを知るための６１章』 大野拓司・寺田勇文 明石書店 2011<br>教科書はほぼ毎回言及、参考にするので、かならず購入してください。<br>【参考書】<br>『物語フィリピンの歴史』 鈴木静夫 中公新書 1997<br>『ジェンダーの政治経済学　フィリピンにおける女性と性的分業』 エリザベス・ウイ・エヴィオータ（佐竹・稲垣訳） 明石書店 2000<br>『フィリピンと日本の戦後関係』 リディア・ユー・ホセ（佐竹眞明他訳） 明石書店 2011<br>『フィリピンの地場産業ともう一つの発展論』 佐竹眞明 明石書店 1998<br>『フィリピンのことがマンガで３時間でわかる本』 鈴木紘司・坂本直哉 明日香出版社 2014<br>『フィリピン・日本国際結婚―移住と多文化共生』 佐竹眞明、メアリアンジェリンダアノイ めこん 2006<br>『イラスト会話ブック　フィリピン』JTB　2006　出口雅子『フィリピンと出会おう』国土社、2002 はおすすめ<br>【指定図書】<br>『現代フィリピンを知るための 61 章』 大野拓司, 寺田勇文編著 明石書店 2009.9 | | |

| | |
|---|---|
| | 『フィリピンと日本の戦後関係』 リディア・N.ユー・ホセ編著 ; 佐竹眞明, 小川玲子, 堀芳枝訳 明石書店 2011.12 |
| 試験・評価方法 | 平常点３０、ﾘｱｸｼｮﾝﾍﾟｰﾊﾟｰ10、レポート６０。 |
| 別途必要な経費 | 特になし |
| その他特記事項 | 【学習到達目標】<br>①受講生はフィリピンの歴史・社会・文化などを説明できる。<br>②フィリピンの文化社会を理解し、日本と比較して考えることができる。<br>②受講生は日本とフィリピンとのつながりを説明できる。<br>【履修上の注意】<br>継続的に授業に出席すること。<br>総授業回数の３分の２以上を出席すること。<br>私語・遅刻厳禁<br>【事前事後学習】<br>テキストを購入し、「はじめに」を読んでおいてください。日本アセアンセンターや外務省のウェブサイトなどを見て、フィリピンの情報にふれておいてほしい。また日頃から、フィリピンに関する新聞記事やニュースなどを確認しておいてほしい。 |

# 南アジア文化社会論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋学院大学 | 科目コード | 293527 |
| 担当教員 | 宮坂　清 | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　金曜：１限（910～1040）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス白鳥学舎希館４０３教室 | | |
| 履修条件 | ２年生以上 | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 本講義では、南アジアの多様かつ豊かな文化・社会の諸相を、宗教文化、とりわけヒンドゥー教文化に注目しつつ学ぶ。まず、地域を概観して大まかなイメージをつかみ、続いてヒンドゥー教について、世界観、時間論と宇宙論、神々と祭り、といったテーマを考察し、最後にインドの歴史を学ぶ。広くアジアの精神文化の源泉となってきたインドの宗教文化を適切に理解するための視点を身につける。<br>1. オリエンテーション:講義内容・評価方法について<br>2. インドへの誘い⑴:インドの自然と大地<br>3. インドへの誘い⑵:恵まれた大地と無所有の思想<br>4. ヒンドゥー教とは何か⑴:呼称、信者、歴史<br>5. ヒンドゥー教とは何か⑵:「食」に息づく生命への想い<br>6. ヒンドゥー教とは何か⑶:食物のタブー<br>7. ヒンドゥー教とは何か⑷:苦行から世界平和へ<br>8. ヒンドゥー教の時間論と宇宙論⑴:輪廻する時間、輪廻する宇宙<br>9. ヒンドゥー教の時間論と宇宙論⑵:カルマンからの離脱<br>10. ヒンドゥー教の神々と祭り⑴:ヴィシュヌとシヴァ<br>11. ヒンドゥー教の神々と祭り⑵:聖なる力への信仰<br>12. ヒンドゥー教の神々と祭り⑶:女神の祭礼<br>13. インド史⑴:古代?中世<br>14. インド史⑵:近世?近代<br>15. インド史⑶:近代?現代<br>16. 定期試験期間 | | |
| テキスト・参考文献 | 【参考書】<br>『ヒンドゥー教 ―インドという謎』 山下博司 講談社 2004 年 | | |
| 試験・評価方法 | 平常点（40%）、期末試験（60%）により評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 【学習到達目標】<br>南アジア地域の文化・社会に関する基礎的な知識を身につけ、特にそれらを宗教文化という点から理解する方法を身につける。<br>【履修上の注意】<br>講義内容を理解するだけでなく、問題意識をもちそれを展開する積極的な態度を求める。 | | |

# ＮＰＯ・ＮＧＯ論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋学院大学 | 科目コード | 293528 |
| 担当教員 | 佐伯　奈津子 | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　月曜：４限（1505～1635）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | 名古屋キャンパス白鳥学舎曙館３０３教室 | | |
| 履修条件 | ２年生以上 | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 国際化、グローバル化がますます進む現在、開発、環境、貧困、飢餓、人権、戦争・紛争、労働、女性、子どもの問題は、一国内にとどまらない地球的問題（グローバル・イシュー）であり、国際的に協力して取り組むことが必要となっています。<br>このような地球的問題に国家、企業、市民社会などが取り組んでいますが、NPO・NGO 論では、国家や企業の利益に縛られず、問題解決に取り組む存在として注目されている NPO（非営利組織）や NGO（非政府組織）について紹介します。<br>NPO・NGO の歴史、その役割と課題を、実際の活動を通じて学びます。なお、名古屋で活動する NPO・NGO スタッフをゲストスピーカーとして招く予定です。<br>1. わたしたちの住む世界を理解する<br>2. 国際協力の必要性<br>3. 世界の NGO の歴史<br>4. 日本の NGO の歴史<br>5. 開発と経済成長をめぐる議論<br>6. さまざまな NGO の活動①　開発・環境問題<br>7. グローバル化をめぐる議論（労働）<br>8. さまざまな NGO の活動②　反「搾取工場」運動<br>9. さまざまな NGO の活動③　定住外国人支援<br>10. グローバル化をめぐる議論（自由化）<br>11. さまざまな NGO の活動④　児童労働<br>12. さまざまな NGO の活動⑤　フェアトレード<br>13. 個人的 NGO 体験から①　紛争地で活動する<br>14. 個人的 NGO 体験から②　自然災害後の緊急支援と復興支援<br>15. 総括（秋学期の振り返り）<br>16. 定期試験期間 | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】<br>授業中に適宜指示する。<br>【参考書】<br>授業中に適宜指示する。 | | |
| 試験・評価方法 | リアクションペーパー（40%）、期末レポート（60%） | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 【学習到達目標】<br>・地球的問題を学び、国際協力の必要性を理解する。<br>・NPO・NGO による国際協力の特徴、国際機関・政府、企業による国際協力の違いを理解する。<br>・自身ができる国際協力をイメージする。<br>【履修上の注意】<br>将来、国際協力に携わりたいと考えている学生だけでなく、世界のさまざまな問題に対してどのような試行錯誤が重ねられてきたのかを知ることで、新たな価値観や知見、問題解決能力を身につけたいと考えている学生は、ぜひ履修ください。<br>【事前事後学習】<br>国際協力に携わる民間団体の活動やボランティア活動について、つねに新聞やテレビなどで情報の収集に努めること。 | | |

# 演劇の世界

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋学芸大学 | 科目コード | 293601 |
| 担当教員 | 田尻　紀子(管理栄養学部教授) | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　水曜日：4 限（1535～1705） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | ＜授業のテーマ及び到達目標＞<br>テーマ ： 浄瑠璃の成立と古典演劇の展開<br>「文楽」として親しまれている人形浄瑠璃の成立と展開をたどりながら、浄瑠璃・歌舞伎の歴史について学び、代表的な作品を鑑賞できるようになるとともに、現代の日本文化への影響も含めて考察し、古典芸能や日本文化についての理解を深めることを目標とする。<br><br>＜授業の概要＞<br>浄瑠璃は、江戸時代に「語り」と伴奏を伴った人形劇として完成されたが、その源流は、中世の『平家物語』（平曲）にまで遡る。<br>本講義では、浄瑠璃成立までの歴史的展開をたどった後、大人気を博した近松門左衛門の世話浄瑠璃作品を紹介し、その特色について考察する。また、作品を鑑賞しながら、歌舞伎との関わりや、時代物の三大名作『菅原伝授手習鑑』『義経千本桜』『仮名手本忠臣蔵』についても言及し、近世に流行した演劇や近世文化が現代に与えた影響について考察する。<br><br>＜授業計画（回数ごとの内容、授業技法等）＞<br>第 01 回　オリエンテーション・芸能の起源<br>第 02 回　時代の特色―中世―<br>第 03 回　『平家物語』と「語り」の成立<br>第 04 回　平曲の衰退と早物語『浄瑠璃物語』の流行<br>第 05 回　浄瑠璃節と人形浄瑠璃の成立<br>第 06 回　歌舞伎と浄瑠璃<br>第 07 回　古浄瑠璃と新浄瑠璃<br>第 08 回　近松門左衛門について<br>第 09 回　世話物の世界―『曽根崎心中』について―<br>第 10 回　世話物の世界―『冥途の飛脚』について―<br>第 11 回　作品鑑賞 1<br>第 12 回　時代物の世界―時代物三代名作―<br>第 13 回　『義経千本桜』について<br>第 14 回　作品鑑賞 2<br>第 15 回　試験・まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | 必要に応じて資料を配付する。 | | |
| 試験・評価方法 | 期末の試験の成績（約 80%）や作品鑑賞時等のレポート（約 20%）によって総合的に評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | ＜自己学習（予習・復習等）の内容・時間＞<br>作品鑑賞に際しては、資料を事前に配付するので、授業の前に目を通したうえで、あらすじや特色など、作品に対する基礎知識をつけておくこと。 | | |

# 国際社会の動き

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋学芸大学 | 科目コード | 293602 |
| 担当教員 | 加藤　英明(メディア造形学部教授) | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　火曜日：3 限（1350～1520） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | ＜授業のテーマ及び到達目標＞<br>現代の社会生活において、国際的な知識、発想を有することは大きな財産といえよう。本講義は、日々最新の国際事情を解説して、受講者の理解に供するのみならず、それらのよって来たる歴史的淵源を考察することで、将来を展望する。すなわち学問としての「国際社会の動き」を、つとめて平易に講ずるものである。<br>ニュースに距離感なく接し、つねに世界地図を頭に浮かべられる国際志向を身につける。<br><br>＜授業の概要＞<br>まず考察の基礎として、国際社会における重要な要素である民族･文化（言語･宗教）･国家（政治）について、ヨーロッパとシナ（中国）を中心に解説する。世界の盟主としての地位が揺らいではいるが、なお相対的にはナンバーワンであり続けるアメリカについても、わが国と対照しつつ考察する。<br>受講者の希望に応じ、随時時事問題をとりあげる。新聞が苦労なく読めることを目標とするので、時事教養を身に付けたい者で、意欲ある学生が受講せよ。<br><br>＜授業計画（回数ごとの内容、授業技法等）＞<br>第 01 回　教養とは何か　何のために教養科目を学ぶのか。<br>第 02 回　国際社会とは　「国際社会」とは、単なる「世界」という意味ではない。その違いを学ぶ。<br>第 03 回　アジアの国々　アジア諸国を、地理的、文化的に分類する。<br>第 04 回　ヨーロッパの国々と諸民族　ヨーロッパ諸国を、歴史的、民族的、文化的に分類する。<br>第 05 回　地理と歴史の重要性　3・4 回の学習を踏まえ、国際事情における地理と歴史の重要性を理解する。<br>第 06 回　地理と歴史の重要性（続）　同<br>第 07 回　民族とは何か　民族問題は現今の国際社会が抱える大きな課題である。民族とは何か考える。<br>第 08 回　言語と世界　インド・ヨーロッパ語を中心に、言語と国家の関係を考える。<br>第 09 回　宗教と世界　国際社会が抱えるもう一つの課題、宗教についてユダヤ教、キリスト教、イスラムを中心に考える。<br>第 10 回　宗教と世界（続）　同<br>第 11 回　国家と世界 7 - 10 回の学習を踏まえ、今日の世界における国家の諸問題をとりあげる。<br>第 12 回　アメリカと世界　第 2 次大戦後「世界の警察官」として君臨してきたアメリカは，オバマ政権ではその地位から離れつつあった。トランプ新政権でどうなるのか、アメリカの過去を学び、将来を展望する。<br>第 13 回　中華人民共和国と世界　　国際社会の重要なプレイヤーとなった中華人民共和国について、その歴史から導かれる思考・行動性向を学ぶ。<br>第 14 回　日本と世界　講義のまとめとして、世界における日本を考える。 | | |

| | |
|---|---|
| | 第 15 回　筆記試験と解説（90 分） |
| テキスト・参考文献 | 『今がわかる時代がわかる世界地図』2017 年版　成美堂出版<br>『世界史年表・地図』吉川弘文館 |
| 試験・評価方法 | 学期末に行う筆記試験の成績を基本とし（パーセンテージでいえば 100%）、これに平常の受講態度などを加味して採点する。試験では、国際社会の動きへの関心度、基本的概念の理解度を主に問う。 |
| 別途必要な経費 | 特になし |
| その他特記事項 | ＜自己学習（予習・復習等）の内容・時間＞<br>講義を理解するための復習・予習は勿論として、日頃、新聞･テレビなどの国際情報に触れ、地図や年表で確認する習慣を身につけること。そうすれば国際的素養は短期間で飛躍的に向上するであろう。（週 180 分） |

# デザイン論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋学芸大学 | 科目コード | 293603 |
| 担当教員 | 木村　一男(メディア造形学部教授)<br /><br /><br />他オムニバス形式 | | |
| 学年配当 | １年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　火曜日：３限（1350～1520） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | ＜授業のテーマ及び到達目標＞<br>デザインの幅広い領域について、その実務や生活、社会、産業との関わり、社会的使命などについて解説する。現代における広範なデザイン活動の全容を知るとともに、これからの専攻コース選択のための一助とする。<br><br>＜授業の概要＞<br>前半において、デザインの役割、分野、展開手法や社会・産業等との関わりについて講義し、後半はオムニバス形式でデザインの各分野について担当の教員が述べる。<br><br>＜授業計画（回数ごとの内容、授業技法等）＞<br>第０１回　デザインを学ぶに際して<br>第０２回　デザインのめざすもの<br>第０３回　デザインの領域<br>第０４回　デザインの展開手法<br>第０５回　デザインと生活<br>第０６回　デザインと社会<br>第０７回　デザインと産業<br>第０８回　◆ビジュアル・デザインⅠ（尹）<br>第０９回　◆ビジュアル・デザインⅡ（梶田）<br>第１０回　◆スペース・デザインⅠ（金）<br>第１１回　◆スペース・デザインⅡ（平光）<br>第１２回　◆プロダクト・デザインⅠ（黄）<br>第１３回　◆プロダクト・デザインⅡ（川原）<br>第１４回　◆デザインプロデュース（冨安）<br>第１５回　これからのデザイン<br>◆＝オムニバス | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書は使用しない。<br>参考図書：「現代デザイン事典」（平凡社 刊）、デザイン関係の雑誌 | | |
| 試験・評価方法 | 授業への参画態度（30%）と期末に提出するレポート（70%、テーマの選び方・論旨の独自性、すぐれた叙述、丁寧さ／誤字脱字の諸点について採点）により評価する。レポートの採点結果をフィードバックする。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | ＜自己学習（予習・復習等）の内容・時間＞<br>広いデザインの領域に視野を拡げ、あらゆる事象に常に強い関心を持って観察し、それを分析、評価する行為を続けること。 | | |

# ヒューマンケア論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋学芸大学 | 科目コード | 293604 |
| 担当教員 | オムニバス形式 | | |
| 学年配当 | 1 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　木曜日：3 限（1350～1520） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | スポーツ・健康・医療 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | ＜授業のテーマ及び到達目標＞<br>当講座は 4 年間のスタートに当たり学ぶべき当学部の象徴科目である。その目標は、「人間」そのものについて、そしてそのケアの真のあり方についてよく考え、自分なりの基本イメージを持つことができるようになることである。<br><br>＜授業の概要＞<br>当講座は、ヒューマンケア学部の象徴科目であり、医学、看護学、心理学、栄養学などの領域から多面的にヒューマンケアのあり方が論じられる。オムニバス方式で運営される。<br>＜授業計画（回数ごとの内容、授業技法等）＞<br>4 名の教員がそれぞれ専門の立場から 3(4)時間講義する。具体的な内容は以下の通りである。<br>第 01 回　ガイダンス（釜賀雅史）<br>第 02 回　杉浦康夫 …… 基礎医学の立場から人間の健康問題を取り<br>上げつつ広くケアについて考える。<br>第 03 回　杉浦康夫 …… 第 2 回の続き<br>第 04 回　杉浦康夫 …… 第 3 回の続き<br>第 05 回　杉浦康夫 …… 第 4 回の続き<br>第 06 回　黒田美保 …… 臨床心理学の立場から現代人のこころと<br>そのケアのあり方を考える。<br>第 07 回　黒田美保 …… 第 6 回の続き<br>第 08 回　黒田美保 …… 第 7 回の続き<br>第 09 回　浅野妙子 …… 看護学の立場からケアのあり方を考える。<br>第 10 回　浅野妙子 …… 第 9 回の続き<br>第 11 回　管理栄養学部教員(和泉) …… 栄養学の立場から現代人の<br>健康問題を論じるとともにケアのあり方を考える。<br>第 12 回　管理栄養学部教員(五十里) …… 第 11 回の続き<br>第 13 回　管理栄養学部教員(田村) …… 第 12 回の続き<br>第 14 回　[ディスカッション]ヒューマンケアに関するテーマでの<br>ディスカッション（釜賀雅史）<br>第 15 回　まとめ（釜賀雅史） | | |
| テキスト・参考文献 | テキストは使用しない。配布教材・資料に基づき講義する。 | | |
| 試験・評価方法 | 各担当教員が課すレポート課題の成績の合計点で評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | ＜自己学習（予習・復習等）の内容・時間＞<br>（授業の理解を深めるために）受講後の復習をしっかりすること。また、担当者ごとに課題が課されるので、それにしっかり取り組むこと。 | | |

# 演劇の世界

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋学芸大学 | 科目コード | 293605 |
| 担当教員 | 田尻　紀子(管理栄養学部教授) | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　月曜日：3 限（1350～1520） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 9 月 |
| 講義概要 | ＜授業のテーマ及び到達目標＞<br>テーマ ： 浄瑠璃の成立と古典演劇の展開<br>「文楽」として親しまれている人形浄瑠璃の成立と展開をたどりながら、浄瑠璃・歌舞伎の歴史について学び、代表的な作品を鑑賞できるようになるとともに、現代の日本文化への影響も含めて考察し、古典芸能や日本文化についての理解を深めることを目標とする。<br><br>＜授業の概要＞<br>浄瑠璃は、江戸時代に「語り」と伴奏を伴った人形劇として完成されたが、その源流は、中世の『平家物語』（平曲）にまで遡る。<br>本講義では、浄瑠璃成立までの歴史的展開をたどった後、大人気を博した近松門左衛門の世話浄瑠璃作品を紹介し、その特色について考察する。また、作品を鑑賞しながら、歌舞伎との関わりや、時代物の三大名作『菅原伝授手習鑑』『義経千本桜』『仮名手本忠臣蔵』についても言及し、近世に流行した演劇や近世文化が現代に与えた影響について考察する。<br><br>＜授業計画（回数ごとの内容、授業技法等）＞<br>第 01 回　オリエンテーション・芸能の起源<br>第 02 回　時代の特色―中世―<br>第 03 回　『平家物語』と「語り」の成立<br>第 04 回　平曲の衰退と早物語『浄瑠璃物語』の流行<br>第 05 回　浄瑠璃節と人形浄瑠璃の成立<br>第 06 回　歌舞伎と浄瑠璃<br>第 07 回　古浄瑠璃と新浄瑠璃<br>第 08 回　近松門左衛門について<br>第 09 回　世話物の世界―『曽根崎心中』について―<br>第 10 回　世話物の世界―『冥途の飛脚』について―<br>第 11 回　作品鑑賞 1<br>第 12 回　時代物の世界―時代物三代名作―<br>第 13 回　『義経千本桜』について<br>第 14 回　作品鑑賞 2<br>第 15 回　試験・まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | 必要に応じて資料を配付する。 | | |
| 試験・評価方法 | 期末の試験の成績（約 80%）や作品鑑賞時等のレポート（約 20%）によって総合的に評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | ＜自己学習（予習・復習等）の内容・時間＞<br>作品鑑賞に際しては、資料を事前に配付するので、授業の前に目を通したうえで、あらすじや特色など、作品に対する基礎知識をつけておくこと。 | | |

# 国際社会の動き

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋学芸大学 | 科目コード | 293606 |
| 担当教員 | 加藤　英明(メディア造形学部教授) | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　金曜日：1 限（940～1110） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 9 月 |
| 講義概要 | ＜授業のテーマ及び到達目標＞<br>現代の社会生活において、国際的な知識、発想を有することは大きな財産といえよう。本講義は、日々最新の国際事情を解説して、受講者の理解に供するのみならず、それらのよって来たる歴史的淵源を考察することで、将来を展望する。すなわち学問としての「国際社会の動き」を、つとめて平易に講ずるものである。<br>ニュースに距離感なく接し、つねに世界地図を頭に浮かべられる国際志向を身につける。<br><br>＜授業の概要＞<br>まず考察の基礎として、国際社会における重要な要素である民族･文化（言語･宗教）･国家（政治）について、ヨーロッパとシナ（中国）を中心に解説する。世界の盟主としての地位が揺らいではいるが、なお相対的にはナンバーワンであり続けるアメリカについても、わが国と対照しつつ考察する。<br>受講者の希望に応じ、随時時事問題をとりあげる。新聞が苦労なく読めることを目標とするので、時事教養を身に付けたい者で、意欲ある学生が受講せよ。<br><br>＜授業計画（回数ごとの内容、授業技法等）＞<br>第 01 回　教養とは何か　何のために教養科目を学ぶのか。<br>第 02 回　国際社会とは　「国際社会」とは、単なる「世界」という意味ではない。その違いを学ぶ。<br>第 03 回　アジアの国々　アジア諸国を、地理的、文化的に分類する。<br>第 04 回　ヨーロッパの国々と諸民族　ヨーロッパ諸国を、歴史的、民族的、文化的に分類する。<br>第 05 回　地理と歴史の重要性　3・4 回の学習を踏まえ、国際事情における地理と歴史の重要性を理解する。<br>第 06 回　地理と歴史の重要性（続）　同<br>第 07 回　民族とは何か　民族問題は現今の国際社会が抱える大きな課題である。民族とは何か考える。<br>第 08 回　言語と世界　インド・ヨーロッパ語を中心に、言語と国家の関係を考える。<br>第 09 回　宗教と世界　国際社会が抱えるもう一つの課題、宗教についてユダヤ教、キリスト教、イスラムを中心に考える。<br>第 10 回　宗教と世界（続）　同<br>第 11 回　国家と世界 7 - 10 回の学習を踏まえ、今日の世界における国家の諸問題をとりあげる。<br>第 12 回　アメリカと世界　第 2 次大戦後「世界の警察官」として君臨してきたアメリカは，オバマ政権ではその地位から離れつつあった。トランプ新政権でどうなるのか、アメリカの過去を学び、将来を展望する。<br>第 13 回　中華人民共和国と世界　　国際社会の重要なプレイヤーとなった中華人民共和国について、その歴史から導かれる思考・行動性向を学ぶ。<br>第 14 回　日本と世界　講義のまとめとして、世界における日本を考える。 | | |

| | |
|---|---|
| | 第 15 回　筆記試験と解説（90 分） |
| テキスト・参考文献 | 『世界史年表・地図』吉川弘文館 |
| 試験・評価方法 | 学期末に行う筆記試験の成績を基本とし（パーセンテージでいえば 100%）、これに平常の受講態度などを加味して採点する。試験では、国際社会の動きへの関心度、基本的概念の理解度を主に問う。 |
| 別途必要な経費 | 特になし |
| その他特記事項 | ＜自己学習（予習・復習等）の内容・時間＞<br>講義を理解するための復習・予習は勿論として、日頃、新聞･テレビなどの国際情報に触れ、地図や年表で確認する習慣を身につけること。そうすれば国際的素養は短期間で飛躍的に向上するであろう。（週 180 分） |

# 消費者法

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋経済大学 | 科目コード | 293701 |
| 担当教員 | 田口 義明（経済学部教授） | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | |
| 開講日程 | ＜前期＞　木曜：3 限（1320～1450） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 未定 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 消費者法の考え方と体系を消費者基本法により包括的にみた上で、消費者が直面する取引被害や安全問題に対応するための主要な法律や被害救済手段について学ぶ。<br>講義に当たっては、具体的な事例や問題を踏まえながら、実践的な生きた知識が身につくよう努める。<br><br>第１回　消費者法とはどのようなものか？<br>第２回　消費者法の体系と消費者の権利：消費者基本法<br>第３回　消費者の取引被害と契約の基本<br>第４回　取引被害から消費者を守る<br>第５回　不意打ちの契約から消費者を守る：クーリングオフ制度<br>第６回　不当な勧誘や契約条項を取り消す：消費者契約法<br>第７回　サービス契約に関する消費者保護：特定商取引法<br>第８回　IT 社会のトラブルから身を守る：特定商取引法<br>第９回　マルチ商法の儲け話には乗らない：特定商取引法<br>第 10 回 クレジットのトラブルから身を守る：割賦販売法<br>第 11 回 消費者金融と多重債務問題：利息制限法、貸金業法など<br>第 12 回 競争を通じて消費者の利益を守る：独占禁止法<br>第 13 回 不当表示や誇大広告を規制する：景品表示法<br>第 14 回 欠陥商品による被害を救済する：製造物責任法<br>第 15 回 まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | プリントを配布する。 | | |
| 試験・評価方法 | ・出席、授業への参加姿勢（約 30%）　・期末テスト（約 70%） | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | | | |

# 地域政策

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋経済大学 | 科目コード | 293702 |
| 担当教員 | 佐藤正之（経済学部准教授） | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | |
| 開講日程 | ＜後期＞　火曜：2 限（1110～1240） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 未定 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 地域政策の全体像について理解を進める。「地域政策」の範疇は、国土計画から都市計画、産業政策、農山村振興等の公共政策、インフラ整備等の自治体の施策やまちづくり、住民や地域コミュニティ、NPO，企業の社会貢献まで幅広い。本講義では地域政策の多様な現状を、その固有の地域問題とともに理解することを目的とする。<br><br>第１回 イントロダクション?なぜ地域政策なのか<br>第２回 日本の政策１（国土計画の誕生：戦後復興～産業基盤整備）<br>第３回 日本の政策２（国土を形成してきた国土計画：高度成長と格差是正～定住）<br>第４回 日本の政策３（国土計画の転換：国際化～企業活動）<br>第５回 日本の政策４（平成の市町村合併：福祉国家から分権型への移行）<br>第６回 地域政策の視点１（地方自治体の総合計画の位置づけ）<br>第７回地域政策の視点２（福祉国家から分権型福祉社会へ?地域格差への対応）<br>第８回 地域政策の視点３（量から質へ?均一化・成熟化社会への対応）<br>第９回 地域政策の視点４（地域特性の活用?まちづくり条例）<br>第１０回 地域政策の視点５（自治基本条例・地域自治区?地域再生）<br>第１１回 地域政策の視点６（リスク管理?地域防災・コミュニティ防災）<br>第１２回 地域政策の担い手１（首長：マニフェスト、行政評価・事業評価、住民会議）<br>第１３回 地域政策の担い手２（ＰＦＩ、住民協働、ボランティア、NPO、ソーシャルビジネス）<br>第１４回 現在の政策と地域政策（まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議）<br>第１５回 地域政策の今日的意味 | | |
| テキスト・参考文献 | 毎回の講義内容に応じて内容を記載したプリントがテキストとなる。 | | |
| 試験・評価方法 | 講義のなかで求める課題（リアクションペーパー（30%）、中間レポート（30%）、最終レポート（40%））で評価する。ただしレポートの未提出が 1 回でもあれば不合格とする。無断欠席は 4 回以上で不合格とする。なお、欠席した場合も次の講義で課題を提出すること。なお「欠席届」の提出は無効である。講義開始後 25 分を越えての入室は認めない。講義の妨げになると判断した場合、退出させることがある。<br>講義資料の提示およびレポート作成と提出については、学内 WEB サービスの利用を予定している。電子データでのレポート作成と大学のメールアドレスへのレポート添付などの PC 操作ができるように準備しておくこと。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | | | |

# 情報システムの理論と実際

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋経済大学 | 科目コード | 293703 |
| 担当教員 | 柴田 良一（経営学部教授） | | |
| 学年配当 | ３年,4 年 | 単位数 | |
| 開講日程 | ＜前期＞　金曜：２限（1110～1240） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 社会・マスコミ・情報 | | |
| 教室 | 未定 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 身近な情報システムの例から情報システムの概要を理解し、次に情報システムの発達の様子を見ることにより理解を深める。情報システムのより深い理解を得るのには、情報システムがどのように作られているかを見ることが近道である。そのため、システムライフサイクル、情報システムのモデル化などを学ぶ。最後に、情報システムを支える技術としてデータベースとデータ管理そして情報資源管理について学ぶ。<br>授業内容（シラバス）に関する質問は担当教員のオフィスアワーの時間にしてください。<br><br>第１回　情報システムと社会の変遷<br>第２回　情報システムとは？システム、情報、データについて<br>第３回　情報システムの事例１　コンビニ<br>第４回　情報システムの事例２　宅配便<br>第５回　情報システムの事例３　ネットワークビジネス<br>第６回　情報システムのモデル　情報システムの構造化<br>（システムの動作順位の設定）<br>第７回　情報システム設計開発　物作りと情報システム設計開発<br>（ワークフローの作成と開発工程の積算）<br>第８回　コンピュータの変遷１　コンピュータの基礎と歴史<br>（情報量と通信速度の演習）<br>第９回　コンピュータの変遷２　パソコンの基礎と歴史<br>（各種メディアのデータ量の比較）<br>第１０回　ノーランのステージ論など<br>第１１回　情報システムの変遷１　第１世代から第３世代の情報システム<br>第１２回　情報システムの変遷２　第４世代から現在に至る情報システム<br>第１３回　データベースと情報資源管理<br>第１４回　情報システムの信頼性<br>（従来型暗号に関する演習）<br>第１５回　補足とまとめ | | |
| テキスト・参考文献 | なし | | |
| 試験・評価方法 | 評価は期末試験（60%）と小テストなどの通常点(40%)によって行う。欠席が５回以上のものは失格とする。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | | | |

# ビジネスモデル

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋経済大学 | 科目コード | 293704 |
| 担当教員 | 矢野 良太（経営学部准教授） | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 1 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　火曜：1 限（930～1100）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 未定 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 日本の有名企業のビジネスモデルを学び、なぜ今日の成功があるのか考える。<br>＜質問への対応＞<br>メールあるいはオフィスアワーにおいて対応します。<br><br>第 1 回　ガイダンス: 授業内容および成績評価の説明等<br>第 2～5 回　教科書第 1 部: 羽織から背広へ――勃興する市場と模索する企業<br>第 6～9 回　教科書第 2 部:　今日よりも豊かな明日――成長する市場と挑戦する企業<br>第 10～13 回　教科書第 3 部:　「真似ぶ」時代を過ぎて――成熟する市場と創造する企業<br>第 14 回　期末レポート作成準備: 対象企業の決定と期末レポート作成方法の検討<br>第 15 回　期末レポート作成 | | |
| テキスト・参考文献 | 加藤 健太・大石 直樹(2013)『ケースに学ぶ日本の企業 - ビジネス・ヒストリーへの招待』有斐閣。 | | |
| 試験・評価方法 | 出席点:20%　期末レポート:80% | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | | | |

# 家族法

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋経済大学 | 科目コード | 293705 |
| 担当教員 | 近藤 久雄（法学部教授） | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | |
| 開講日程 | ＜後期＞　金曜：2 限（1110～1240） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 未定 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 憲法第 24 条の『個人の尊厳と両性の本質的平等』の精神を具体化した現行家族法は、50 年余りを経過しましたが、現在、大きな変化の中にあります。96 年 2 月に公表された「民法改正要項案」では、⑴男女間に区別のある婚姻最低年齢を 18 歳とする、⑵女性についてのみ適用される再婚禁止期間の短縮、⑶選択的夫婦別氏の導入、⑷離婚原因の明確化（積極的破綻主義を導入し、5 年の別居で離婚を認める）、⑸非嫡出子の相続分の同等化など、があげられています。さらに、人工授精子、体外受精子を含めた、子の法的地位の安定のため、家族法の改正が論議されています。<br>改正の前提には、価値観の多様化した社会にあって、家族をめぐる状況が変化してきたことがあげられます。高学歴化、共働きの増加、晩婚化、少子化、高齢化、離婚の社会的承認、生殖医療技術・遺伝子解析技術の発達などが、それです。この前提にたって、改正論議が行なわれていますが、このような問題は基本的には家族というものがどうあるべきか、ということにかかっているといえます。<br>本講義では、家族の一人一人が個人として尊重され、男女が伝統的な役割分担にとらわれず、対等な立場で生活できる家族社会を作ることを考えてもらえればと思います。<br>講義の進め方<br>事例問題を中心に講義を進めますので、多少の法的基礎知識を備えている必要があります。夫婦別氏、生殖医療と親子関係などについては現状をビデオで見てもらい法的問題を検討する予定です。<br>適宜出席を採り、講義の途中にクイズ（小テスト）を実施することがあります。<br>関連条文を参照しながら講義をしますから、六法は必ず持参して下さい。<br>質問への対応<br>質問には随時対応します。また、ゆっくり話をしたい場合には、オフイスアワーを利用して研究室を訪ねて下さい。<br><br>1.家族法の理念と家族法改正の動向<br>2.婚姻⑴　なぜ法は結婚に介入するのか。婚姻の成立<br>3.婚姻⑵　非婚（事実婚・同性・同棲）カップルの保護<br>4.婚姻⑶　夫婦の氏、夫婦の財産関係<br>5.離婚⑴ 婚姻の解消・離婚の方式<br>6.離婚⑵ 離婚原因 破綻主義離婚の考え方（諸外国の立法例を参考に）<br>7.離婚⑶ 夫婦の財産関係の清算<br>8.実親子関係⑴（婚内子）<br>9.実親子関係⑴（婚外子）、養親子関係、生殖医療による子<br>10.相続（なぜ相続という制度が認められるか）相続制度の歴史と現代の相続<br>11.相続人と相続分　代襲相続<br>12.特別受益者の相続分　寄与分<br>13.遺言　自筆証書遺言・公正証書遺言・秘密証書遺言、公序良俗違反の遺言<br>14.遺産分割<br>15.遺留分　遺留分減殺請求権 | | |
| テキスト・参考文献 | テキストは指定しませんが図書館等で参考書は必ずチェックして下さい。<br>（参考書）<br>二宮周平『家族法　第 4 版」(新法学ライブラリ 9) 新世社<br>親族と相続に関する基本的な法制度を中心に、判例、戸籍席例などの取り扱い、主要な争点に | | |

| | |
|---|---|
| | 関する学説をまとめた教科書です。著者の研究者としての主張（家族を個人の幸福追求の場、自己実現を支援する場として捉え直す。勿論他人への配慮を伴ったうえで）がよくあらわれた本です。この点を理解したうえで読んで下さい。<br>『民法 IV 補訂版親族・相続』東京大学出版<br>　判例をもとに具体的な事例を作成し、この事例をもとに問題提起をして、解決方法を検討するという形式をとっているので、わかりやすくよみやすくなっています。特に相続分野の、著者の専門分野からの指摘は参考になります。そろそろ新版がほしいところですが。<br>水野 紀子編『民法判例百選 3 親族・相続』（別冊ジュリスト No.225）有斐閣<br>　家族法の代表的な判例を 100 件、収録してます。講義に出て来た判例は必ずチェックして下さい。 |
| 試験・評価方法 | 　期末試験により評価します。評価を受けるには授業の 3 分の 2 以上の出席が必要です。遅刻は 30 分までとします。以後も入室は認めますが、出席にはなりません。2 回の遅刻で 1 回の欠席となります。受講態度・クイズの点数を考慮しますから、欠席すれば当然不利になります。 |
| 別途必要な経費 | なし |
| その他特記事項 | |

# 労働法

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋経済大学 | 科目コード | 293706 |
| 担当教員 | 榊原 嘉明（法学部教授） | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | |
| 開講日程 | ＜後期＞　木曜：2 限（1110～1240） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 未定 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 労働法は、雇用の場で遭遇するさまざまな問題を規律する法の総体である。そして、その基本的なものの考え方を理解し、これを実際に活用できるようになることは、労働者として自らの身を守る上でも、経営者として労務管理等を適切に遂行する上でも、大変重要となる。<br>そこで、本講義では、雇用の場で遭遇しうる典型的かつ身近な法的トラブルを具体的事例として挙げながら、どのようにその解決策を法的な視点から導き出すべきかを教室全体で議論するという共同作業を通じて、受講生各自において労働法の基本的なものの考え方及びその活用スキルの修得を目指すこととする。<br><br>第 1 回　労働法の現在<br>第 2 回　労働法の歴史と現行法体系<br>第 3 回　労働（契約）関係の当事者と基本的権利義務<br>第 4 回　小まとめ：労働法の全体像<br>第 5 回　労基法上の「賃金」概念と賃金支払い 4 原則<br>第 6 回　労基法上の「労働時間」概念と規制原則<br>第 7 回　休憩・休日、年次有給休暇<br>第 8 回　労働災害の予防・補償と法<br>第 9 回　小まとめ：労基法による労働条件規制<br>第 10 回　労働（契約）関係の終了<br>第 11 回　労働（契約）関係の成立<br>第 12 回　使用者の懲戒権と労働者の損害賠償責任<br>第 13 回　小まとめ：労契法における基本ルール<br>第 14 回　労働憲章と雇用差別の禁止<br>第 15 回　職業生活と家庭生活の調和 | | |
| テキスト・参考文献 | 特に使用しない。 | | |
| 試験・評価方法 | 課題提出・授業参加：85%、出席：15%で評価する。なお、不正行為（剽窃行為など）については、厳正に対処する。 。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | | | |

# 食品機能学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋経済大学 | 科目コード | 293707 |
| 担当教員 | 太田 和徳（人間生活科学部准教授） | | |
| 学年配当 | ３年,4 年 | 単位数 | |
| 開講日程 | ＜後期＞　火曜：５限（1640～1810） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 家政・生活 | | |
| 教室 | 未定 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | ４月,9 月 |
| 講義概要 | 食品には、生命活動維持に不可欠な栄養素以外にも疾病予防や健康増進といった生体調節作用を示す機能性成分が含まれている。本講義では、これらを作用別に分類し、どの食品にどのような機能性成分が含まれているのか、どのように作用しているのかについて学習する。また特定保健用食品の制度と取扱いをはじめ、その科学的根拠（エビデンス）に基づいた機能について検討する。<br><br>第１回　機能性の科学ー基本的な考え方と評価手法<br>第２回　機能性食品とは<br>第３回　健康機能性を有する成分・素材（アミノ酸、たんぱく質、ペプチド）<br>第４回　健康機能性を有する成分・素材（糖質、食物繊維、オリゴ糖）<br>第５回　健康機能性を有する成分・素材（脂質、脂肪酸、ビタミン、ミネラル）<br>第６回　栄養・健康表示の制度と科学（特定保健用食品、栄養機能食品）<br>第７回　栄養・健康表示の制度と科学（機能性表示食品、栄養成分表示）<br>第８回　機能性表示の科学（整腸作用、血糖調節作用）<br>第９回　機能性表示の科学（脂質代謝調節作用、体重調節作用）<br>第１０回　機能性表示の科学（抗酸化作用、免疫調節作用）<br>第１１回　機能性表示の科学（心臓血管調節作用、脳精神調節作用）<br>第１２回　機能性表示の科学（骨の健康維持作用、歯の健康維持作用）<br>第１３回　機能性表示の科学（皮膚の健康維持作用）<br>第１４回　機能性表示の科学（身体能力維持作用）<br>第１５回　総括 | | |
| テキスト・参考文献 | 改訂 食品機能学（建帛社） | | |
| 試験・評価方法 | 出席と授業態度、レポート、定期試験等から総合的に評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | | | |

# 教育心理学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋経済大学 | 科目コード | 293708 |
| 担当教員 | 楯　誠（人間生活科学部教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | |
| 開講日程 | ＜後期＞　火曜：1 限（930～1100） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 未定 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 教育心理学は、古典的には「発達」、「教授・学習」、「パーソナリティと適応」、「測定・評価」という４つの領域を取り扱ってきた。特に本科目では、後者３領域を重点的に学び、近年取り上げられることの多い発達障害についても検討していく。<br><br>第１回　ガイダンス<br>第２回　発達（１）　発達の定義、発達を規定する要因<br>第３回　発達（２）　発達と教育の関係<br>第４回　教授・学習（１）　学習とは何か、学習の形態（条件づけ理論）<br>第５回　教授・学習（２）　学習の形態（観察学習、概念学習）<br>第６回　教授・学習（３）　記憶のメカニズム<br>第７回　教授・学習（４）　学習意欲と好奇心<br>第８回　測定・評価（１）　測定法と評価法<br>第９回　測定・評価（２）　知能と発達の測定と評価<br>第 10 回　測定・評価（３）　測定と評価における諸問題、測定の実際<br>第 11 回　パーソナリティと適応（１）　パーソナリティとは何か、パーソナリティの理論<br>第 12 回　パーソナリティと適応（２）　パーソナリティの形成因、適応と不適応<br>第 13 回　パーソナリティと適応（３）　葛藤、欲求不満とストレス、適応機制<br>第 14 回　発達の障害（１）　発達障害とは、自閉症スペクトラム（ASD）<br>第 15 回　発達の障害（２）　ADHD、LD<br>定期試験 | | |
| テキスト・参考文献 | 改訂 食品機能学（建帛社） | | |
| 試験・評価方法 | 持ち込み不可の試験による(100%)　出席は、期末試験受験資格の有無を判定する際に使用する。<br>20 分以上の遅刻は原則，欠席と見なす。<br>私語や大きな音を立てての途中退室は授業妨害と見なす。複数回の警告を受けた者は、失格とする。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | | | |

# 音楽心理学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋芸術大学 | 科目コード | 293801 |
| 担当教員 | 久保田　進子(音楽学部教授) | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　火曜：3 限（1310～1440）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 東キャンパス | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 9 月 |
| 講義概要 | ◆授業の到達目標<br>音楽の人への作用としては大きく三つに分けられる。一つは心理的作用、次に生理的作用、そして社会的作用である。音楽と心の関係、また音楽が生理心理学的にどのような状態をもたらすのか、音楽の社会的機能とは何かを先行研究を紹介しながら考察する。<br>◆授業計画と内容（通年３０回：１５文字×３０回）<br>1. 音楽心理学とは<br>2. 先行研究（音楽心理学的）の紹介と考察１<br>3. 先行研究（音楽心理学的）の紹介と考察２<br>4. 音楽心理学の研究方法について<br>5. 「脳の不思議」鑑賞（DVD)<br>6. 音楽におけるリズムの解説<br>7. 日本人のリズム特性について（伝統芸能、祭り）<br>8. リズム（音楽）に関した文献研究の紹介<br>9. 打楽器を用いたドラミング体験<br>11. 10 回目に取り上げられた研究より数題選択し、考察を行う<br>12. 日常生活の中での音楽について（音楽の効用）<br>13. 音楽の効用についての意見をまとめる<br>14. 意見の発表と討論<br>15. まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | 特に使用しない | | |
| 試験・評価方法 | 各自の発表内容と授業への参加度を総合評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 人と音楽あるいは音の関係について書かれた本を読んでおくこと。 | | |

# 木彫技法

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋芸術大学 | 科目コード | 293802 |
| 担当教員 | 岩井　義尚（美術学部　教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　木曜日：5 時限（1630～1800） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | 西キャンパス | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | ◆授業目標<br>提示されたテーマ（与えられたテーマ）に沿った形態を考え、素材である木に置き換えることにより、プロセス（段階）を使うことを知り、造形を考え、素材と形態の関係を認識することを目標とする。合わせて技術（砥ぐ・彫る）を修得することを目的とする。（彫る…刃物によって出来る素材の木の変化を体験する）<br>◆授業計画と内容<br>1. オリエンテーション テーマ選択：アイディアスケッチ①<br>2. アイディアスケッチ② 形の決定（2～3アイディア）<br>3. 模型及び完成予想図①<br>4. 模型及び完成予想図② いろいろな角度からのスケッチ（A）<br>5. 素材の選択、道具類の扱い方<br>6. 制作① 荒彫り1<br>7. 制作② 荒彫り2（B）<br>8. 制作③ 中彫り1<br>9. 制作④ 中彫り2<br>10. 制作⑤ 中彫り3<br>11. 制作⑥ 中彫り4（C）<br>12. 制作⑦ 仕上げ彫り1<br>13. 制作⑧ 仕上げ彫り2<br>14. 制作⑨ 仕上げ彫り3<br>15. （合評会）採点。撮影（D） | | |
| テキスト・参考文献 | 特になし。 | | |
| 試験・評価方法 | アイディアの多様さ、独創さ。模型（スケッチ）と制作作品の比較。プロセスが使用できたか。技術の修得。自己評価。（A）・（B）・（C）・（D）の総合評価で行う。 | | |
| 別途必要な経費 | スケッチブック（A4サイズ以上）と平叩きノミ（18～24mm1本）は必ず用意すること。その他各自必要と思う物。作業進度により独自に持ちたくなった物の費用。 | | |
| その他特記事項 | 作品完成までは非常に時間がかかる作業です、強い意志と持続力を必要とします。（完成作品は学内において年度末に展示を試みます。） | | |

# 木彫技法

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋芸術大学 | 科目コード | 293803 |
| 担当教員 | 岩井　義尚（美術学部　教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　木曜：5 時限（1630～1800）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | 西キャンパス | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 9 月 |
| 講義概要 | ◆授業目標<br>提示されたテーマ（与えられたテーマ）に沿った形態を考え、素材である木に置き換えることにより、プロセス（段階）を使うことを知り、造形を考え、素材と形態の関係を認識することを目標とする。合わせて技術（砥ぐ・彫る）を修得することを目的とする。（彫る…刃物によって出来る素材の木の変化を体験する）<br>◆授業計画と内容<br>1. オリエンテーション テーマ選択：アイディアスケッチ①<br>2. アイディアスケッチ② 形の決定（2～3アイディア）<br>3. 模型及び完成予想図①<br>4. 模型及び完成予想図② いろいろな角度からのスケッチ（A）<br>5. 素材の選択、道具類の扱い方<br>6. 制作① 荒彫り1<br>7. 制作② 荒彫り2（B）<br>8. 制作③ 中彫り1<br>9. 制作④ 中彫り2<br>10. 制作⑤ 中彫り3<br>11. 制作⑥ 中彫り4（C）<br>12. 制作⑦ 仕上げ彫り1<br>13. 制作⑧ 仕上げ彫り2<br>14. 制作⑨ 仕上げ彫り3<br>15. （合評会）採点。撮影（D） | | |
| テキスト・参考文献 | 特になし。 | | |
| 試験・評価方法 | アイディアの多様さ、独創さ。模型（スケッチ）と制作作品の比較。プロセスが使用できたか。技術の修得。自己評価。（A）・（B）・（C）・（D）の総合評価で行う。 | | |
| 別途必要な経費 | スケッチブック（A4サイズ以上）と平叩きノミ（18～24mm1本）は必ず用意すること。その他各自必要と思う物。作業進度により独自に持ちたくなった物の費用。 | | |
| その他特記事項 | 作品完成までは非常に時間がかかる作業です、強い意志と持続力を必要とします。（完成作品は学内において年度末に展示を試みます。） | | |

# デザイン史

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋芸術大学 | 科目コード | 293804 |
| 担当教員 | 長田　謙一（美術学部　教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　金曜日：1 時限（900～1030） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | 西キャンパス | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 9 月 |
| 講義概要 | ◆授業目標<br>デザインの歴史上の諸段階および諸課題を、その理念とともに代表的作品上の諸達成を知り、現代のデザインの立脚点を知る。<br>◆授業計画と内容<br>1. はじめに〈デザイン／史〉について<br>2. 産業革命・万国博・工芸博物館・工芸学校・歴史主義<br>3. ウィリアム・モリスとアーツ&クラフツ運動<br>4. アール・ヌーヴォー<br>5. 日本の近代化と図案 輸出工芸からアールヌーヴォー<br>6. ドイツ工作連盟<br>7. バウハウス<br>8. ロシア・アヴァンギャルド、デ・スティル<br>9. アール・デコ<br>10. アメリカのインダストリアル・デザイン<br>11. 日本のモダン・デザイン<br>12. 民芸運動<br>13. ナチスとデザイン<br>14. 戦後世界とデザイン ２１世紀デザインの地平へ<br>15. 総括 | | |
| テキスト・参考文献 | 教科書：『世界デザイン史』阿部公正他 出版社：美術出版社<br>参考文献：『日本近代デザイン史』（美学出版）等長田の著書・論文をはじめ諸文献を講義中に適宜紹介する。 | | |
| 試験・評価方法 | ①出席状況（３分の２以上の出席で基礎資格） ②途中ミニレポートを課す ③期末に試験を行う：以上を総合して評価。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 教科書の該当箇所を事前によんでおくとともに、普段からデザインにかかわる展覧会等を通して数多くのデザインに触れ、デザインについて考えるよう努めること。 | | |

# 都市環境と防災

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋産業大学 | 科目コード | 293901 |
| 担当教員 | 菅井径世<br /><br />（現代ビジネス学部教授） | | |
| 学年配当 | | 単位数 | |
| 開講日程 | ＜未定＞　未定：未定（～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | |
| 講義概要 | 未定 | | |
| テキスト・参考文献 | 未定 | | |
| 試験・評価方法 | 未定 | | |
| 別途必要な経費 | 未定 | | |
| その他特記事項 | 未定 | | |

# 大気循環論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋産業大学 | 科目コード | 293902 |
| 担当教員 | 岡村聖<br /><br />（現代ビジネス学部教授） | | |
| 学年配当 | | 単位数 | |
| 開講日程 | ＜未定＞　未定：未定（～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | |
| 講義概要 | 未定 | | |
| テキスト・参考文献 | 未定 | | |
| 試験・評価方法 | 未定 | | |
| 別途必要な経費 | 未定 | | |
| その他特記事項 | 未定 | | |

# ビジネスプランニング実践

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋商科大学 | 科目コード | 294001 |
| 担当教員 | 亀倉　正彦 | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　月曜：3 限（1340～1520）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 社会・マスコミ・情報 | | |
| 教室 | 日進キャンパス IS ビル 8201 教室 | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 1.本学の Mission Statement との関わり<br>●起業家育成のための基本的なスキルや発想法の訓練をします。<br>2.講義の意義、背景、内容、重要性<br>●「名古屋商科大学の周辺地域の魅力を発信する」<br>●本科目の目標(Goal)は、「新たなビジネス創造に関わる企画書の立案」ができるようになることである。<br>●まずは対象を定め、情報収集して、ニーズとシーズの検討を行い、企画の目的と方向性を明確にする。<br>●次に、チームのメンバーと目的を共有し議論するとともに、自分の役割を明確にし、適切に遂行する。<br>●そして、指定テキストを理解し、企画立案に結びつけられる。<br>●こうして①自分の得意分野をつくり、②チーム作業をおこない、③目的を達成することができるような「産業界で活躍する人材を育成する」ことが本科目の狙いである。<br>3.カリキュラム体系での位置付け<br>●本科目は、全学部学科の基礎的知識を応用・展開する共通主専攻の科目群に位置する。<br>4. 名古屋商科大学ＮＵＣＢフロンティア力<br>●基盤力（学ぶ力）<br>●実践的思考力（考え抜く力）<br>5. 名古屋商科大学 / Learning Goals<br>LG-1　Critical thinking for frontier spirit（批判的思考）<br>LG-4　Analytical decision making skills（分析的意思決定）<br>LG-5　Effective communication skills（効果的なコミュニケーション）<br><br>※各週の内容は２月末段階での素案。実際にはやや異なる可能性がある。<br>・第 1 週 オリエンテーション<br>チーム分けし、各チームの割り当て地域と、課題トピックを発表する。今後の学びの大まかな方向性を示す。チーム内で今後の計画を話し合う。<br>・第 2 週 アンケート調査とヒアリング調査に関する指導<br>アンケート調査とヒアリング調査はどのようなものか、これを具体的にどのように進めていくのかについて指導する。各チームとも今後の計画に活かしていく。チームメンバー全員のスケジュールを確認し、アポイントメントをさっそく取ってみる。<br>・第 3 週 予備プレゼン<br>次週の学外ゲストを迎えてのプレゼンに向けて、まずは公表資料やネット等で得られた情報を基にして、自分たちチームが「だれ（＝ターゲット）にたいして何をどう魅力的に打ち出すか（＝コンセプト）」の仮説を立て、プレゼンする。同時に、これを検証するアンケート調査とヒアリング調査の計画もプレゼンする。<br>・第 4 週 学外関係者を迎えてのプレゼン<br>地域や産業界などの学外関係者が来学し、各チームの現段階での進捗状況や到達度の確認をするとともに、今後に向けての修正点や方向性について出来栄えを確認し、アドバイスをする。<br>・第 5 週 現地調査１（準備・実施・報告作成）<br>各チームとも現地調査のための準備をし、実施をし、これを終えたら報告作成をする。現地調査は各チームとも原則として１回とする。各地域の状況により、現地調査の実施日は決まるものとする（先方の都合も考慮して）。 | | |

| | |
|---|---|
| | ・第６週 現地調査２（準備・実施・報告作成）<br>　各チームとも現地調査のための準備をし、実施をし、これを終えたら報告作成をする。現地調査は各チームとも原則として１回とする。各地域の状況により、現地調査の実施日は決まるものとする（先方の都合も考慮して）。<br>・第７週 現地調査３（準備・実施・報告作成）<br>　各チームとも現地調査のための準備をし、実施をし、これを終えたら報告作成をする。現地調査は各チームとも原則として１回とする。各地域の状況により、現地調査の実施日は決まるものとする（先方の都合も考慮して）。<br>・第８週 予備プレゼン<br>　現地でのヒアリングやアンケート調査を実施した内容が現段階でどの程度の理解度があるのか、さらに深みのある考察が必要な状態なのかを確認するため、現状で把握できた考察内容を各グループがプレゼンをする。現地調査を踏まえて、自分たちチームが「だれ（＝ターゲット）にたいして何をどう魅力的に打ち出すか（＝コンセプト）」の仮説を立て、プレゼンする。<br>・第９週 各グループの分析作業<br>　前の週で実施した予備プレゼンの結果の不足点を確認するとともに、今後の各チームの最終成果報告に向けてどのような方向性で進むかを最終的に決定する場になる。<br>・第 10 週 中間プレゼンのための準備作業<br>　地域でのアンケートやヒアリング実施をベースにして、各グループの主張を裏付けする作業をしたり、さらに深みのある考察を実施する。自習に控えた中間プレゼンに向けての準備作業を行う。<br>・第 11 週 中間プレゼン・報告<br>　地域でのアンケートやヒアリング実践をベースにして、各グループの主張の裏付けやさらに深みのある検討作業を実施し、これをまずは学生グループの力としてプレゼンをする。これは担当者による指導を受ける。<br>・第 12 週 最終成果報告会のための準備作業<br>　前の週の中間プレゼンで受けた周囲の評価を元にして、最終報告会のためのプレゼンと報告書の手直し作業を実施する。ここではグループ作業が中心になる。<br>・第 13 週 最終成果報告会（成果の公開＝プレゼン）<br>　地域の魅力を発信する授業で各グループが作成に取り組んできた報告書を最終的に完成させ、学外関係者にも提供できるようにし、公開プレゼンを実施する。<br>・第 14 週 総括<br>　この半期間を振り返り、どんな学びを得たのかを最終確認する。 |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】<br>電通 abic project (編集) 『地域ブランド・マネジメント［単行本］』有斐閣, 2009 年, ISBN-10: 4641163405<br><br>【参考文献】<br>[1]編集の学校監修『1 週間でマスター 編集をするための基礎メソッド』雷鳥社, 2003 年, ISBN-10: 4844134140<br>[2]日本エディタースクール編集『日本語表記ルールブック［単行本］』日本エディタースクール出版部, 2012 年, ISBN-10: 4888883971<br>[3]加藤 晴之『働く、編集者―これで御代をいただきます。［単行本］』宣伝会議, 2007 年, ISBN-10: 4883351750<br>[4]菅付雅信『はじめての編集［単行本］［単行本］』アルテスパブリッシング、2012 年、ISBN-10: 4903951480<br>[5]白潟敏朗『仕事の「5 カ」』中経出版、2008 年、ISBN-10: 4806129771 |
| 試験・評価方法 | グループ最終成果物３０%、プロセス２０%、最終個人報告書５０%<br>●成果物はグループごとに一律の評価を実施する。<br>●プロセスは「グループの活動雰囲気（統率や孤立）」「グループ報告等の提出状況」などを評価する。「他人任せの態度」には特に厳しめの評価を与える。<br>●最終報告書は「平素のグループへの活動・貢献」「グループメンバーとの協調や議論」などを評価する。自分の立ち位置と役割を明確にすること。 |
| 別途必要な経費 | 現地調査に必要な諸経費 |
| その他特記事項 | ●本科目は定期試験はありません。その代わりに現地調査などを実施します。<br>●各チームごとに数回プレゼン等をしてもらう。これをレポート代わりとする。 |

| | |
|---|---|
| | ●「マニュアル人間」「指示待ち人間」「一匹狼」はこれから出ていく社会で通用しません。自分で考え、自分で行動できる、そして多くの人々との関わりを大切にできるように心掛けることが、最大の学修方法です。<br>●プレゼンが頻繁にあるため、基本的にチーム作業時にコンピュータの使用が必要になる。<br>●報告レポート作成の必要があるため、ここでもコンピュータの使用が必要になる。 |

# 中部地域の都市計画

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋商科大学 | 科目コード | 294002 |
| 担当教員 | 亀倉　正彦 | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　水曜：2 限（1120～1300）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 社会・マスコミ・情報 | | |
| 教室 | 日進キャンパス CGC 棟 7201 教室 | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月,9 月 |

**講義概要**

1.本学の Mission Statement との関わり
　●中部地域の都市計画やビジネス界の仕組みの基本を学修します。
2.講義の意義、背景、内容、重要性
　●本科目の目標(Goal)は、「名古屋商科大学の周辺地域を理解すること」である。
　●協力予定行政は、尾張旭市、瀬戸市、東郷町、豊明市、豊田市、長久手町、名古屋市、日進市、みよし市の９市町である。
　●これからの地方分権化と厳しい就職状況を考えると「官学による地域活性化」は非常に大きなテーマである。地域発展には企業の力も欠かせないので、広くは「産官学による地域活性化」といって良い。
　●こうして「地域で活躍する人材を地域の力で育成する」ことが本科目の狙いである。このようなことに意識の高い学生はもちろん、そうでない学生も研鑽のために受講を推奨する。
3.カリキュラム体系での位置付け
　●本科目は、関連分野についての基本的な知識を習得するための教養科目群に位置する。
　●本科目で学んだ基礎を踏まえて、より実践的な「地域活性化関連授業ＩＩ ビジネスプランニング実践（産官学連携・半期・２年次推奨）」と「地域活性化関連授業ＩＩＩ ＮＵＣＢフロンティア力育成講座（産官学連携・通年・３年次推奨）」に発展していく。
4.育成する NUCB フロンティア力
　●基盤力（行動の基盤となる様々な知識を積極的に学習する力）
　●実践的思考力（学習内容を現実の問題等に応用して実践的に考える力）
5.対応する学修目標 / Learning Goals
LG-1　Critical thinking for frontier spirit（批判的思考）
LG-2　Diversity awareness（多様性の意識）

・第１週　オリエンテーション
　本科目の趣旨説明。教科書を説明。各回の担当市町についての詳細は当日に発表する。地域を理解する際のポイントについて、いくつか解説する。
・第２週　担当地域ａ
　地域の現状を市町の職員・担当者から学ぶ。市町の現況と今後の政策についての話に加え、今後の市町の発展について、担当者の考え等を学ぶ。最後は質疑応答時間を設ける。
・第３週　担当地域ｂ
　地域の現状を市町の職員・担当者から学ぶ。市町の現況と今後の政策についての話に加え、今後の市町の発展について、担当者の考え等を学ぶ。最後は質疑応答時間を設ける。
・第４週　担当地域ｃ
　地域の現状を市町の職員・担当者から学ぶ。市町の現況と今後の政策についての話に加え、今後の市町の発展について、担当者の考え等を学ぶ。最後は質疑応答時間を設ける。
・第５週　テキスト学習１
　テキストの議論を整理しながら、地域の発展とは何かについて学習を深める。まずは筆者の問題意識や基本的な語句の定義、関連する議論の問題背景などをみていく。授業では関連する諸章の予習を指示することがある。
・第６週　担当地域ｄ
　地域の現状を市町の職員・担当者から学ぶ。市町の現況と今後の政策についての話に加え、今後の市町の発展について、担当者の考え等を学ぶ。最後は質疑応答時間を設ける。
・第７週　担当地域ｅ

| | |
|---|---|
| | 地域の現状を市町の職員・担当者から学ぶ。市町の現況と今後の政策についての話に加え、今後の市町の発展について、担当者の考え等を学ぶ。最後は質疑応答時間を設ける。<br>・第８週　担当地域ｆ<br>地域の現状を市町の職員・担当者から学ぶ。市町の現況と今後の政策についての話に加え、今後の市町の発展について、担当者の考え等を学ぶ。最後は質疑応答時間を設ける。同じ担当地域が２週に渡り続く場合には、もう１回分は、地域の発展を支えているようなＪＡや商工会などの団体から担当者が来て話をする。<br>・第９週　テキスト学習２<br>テキストの議論を整理しながら、地域の発展とは何かについて学習を深める。２回目は都市計画や福祉国家の問題に言及し、本題に入っていく。資本主義や社会主義の問題も考えながら、社会システムの問題を考えていく。<br>・第 10 週　担当地域ｇ<br>地域の現状を市町の職員・担当者から学ぶ。市町の現況と今後の政策についての話に加え、今後の市町の発展について、担当者の考え等を学ぶ。最後は質疑応答時間を設ける。同じ担当地域が２週に渡り続く場合には、もう１回分は、地域の発展を支えているようなＪＡや商工会などの団体から担当者が来て話をする。<br>・第 11 週　担当地域ｈ<br>地域の現状を市町の職員・担当者から学ぶ。市町の現況と今後の政策についての話に加え、今後の市町の発展について、担当者の考え等を学ぶ。最後は質疑応答時間を設ける。同じ担当地域が２週に渡り続く場合には、もう１回分は、地域の発展を支えているようなＪＡや商工会などの団体から担当者が来て話をする。<br>・第 12 週　担当地域ｉ<br>地域の現状を市町の職員・担当者から学ぶ。市町の現況と今後の政策についての話に加え、今後の市町の発展について、担当者の考え等を学ぶ。最後は質疑応答時間を設ける。同じ担当地域が２週に渡り続く場合には、もう１回分は、地域の発展を支えているようなＪＡや商工会などの団体から担当者が来て話をする。<br>・第 13 週　総復習<br>教科書に関する総まとめのレクチャーを中心にして、知識の定着を図るとともに、グループ作業を行い、自分にとっての学びと今後の発展についての検討をする。これは、次週の最終授業につながっていくステップになる。<br>・第 14 週　クロージング・授業内小テスト<br>半期間の授業を振り返りながら、各市町の取組みを総括し、今後の発展に向けての展望を総括する。また、各学生の今後の学びについて、教科書を基にしてヒントと示唆を与え、授業のまとめとする。授業内小テストを実施する。 |
| テキスト・参考文献 | 未来(ちくま新書) [新書]』筑摩書房、2009 年,  ISBN-10: 4480065016<br><br>【参考文献】<br>[1]ジェイン・ジェイコブズ『発展する地域 衰退する地域: 地域が自立するための経済学 (ちくま学芸文庫) [文庫]』筑摩書房, 2012 年, ISBN-10: 4480095020<br>[2]根本祐二『「豊かな地域」はどこがちがうのか: 地域間競争の時代 (ちくま新書) [新書]』筑摩書房, 2013 年, ISBN-10: 4480066918<br>[3]香坂 玲『地域再生――逆境から生まれる新たな試み (岩波ブックレット) [単行本（ソフトカバー）]』岩波書店, 2012 年, ISBN-10: 4002708519<br>[4]中根雅夫『地域を活性化するマネジメント―「地域力」を強くする３つの視点 [単行本]』同友館、2010 年、ISBN-10: 4496046598<br>[5]久繁 哲之介『地域再生の罠 なぜ市民と地方は豊かになれないのか？ (ちくま新書) [新書]』筑摩書房、2010 年、ISBN-10: 4480065628 |
| 試験・評価方法 | 授業内小テスト４０%、各回アンケート３５%、受講態度・発言など平常素点２５%<br>●積極的なアンケート協力や質問は加点します。遅刻は減点します。<br>●最終授業の授業内小テストに出席しない場合、単位放棄したものと見なします。<br>●各回アンケートは、出席しなくても提出可能であり、かつ評価対象とします。 |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | ●地域担当者から話が合った翌週（ほぼ毎週）に、小さなアンケート程度のレポートを提出する。<br>●通常の講義科目で実施するような半期１度の大きなレポートはない。 |

| | |
|---|---|
| | ●自分自身が将来、地元等で社会貢献するイメージを思い描き、問題意識を持って授業に臨んでほしい。<br>●この科目に定期試験はない、その代わりに最終授業で小テストがある。<br>●地域の担当者が毎回のように入れ替わる。名商大の学生としての自覚と緊張感をもって授業に臨んでほしい。<br>●毎回の授業に関する簡単なアンケート・レポートを次回授業時に提出する。<br>●今後、自分自身が当地の地域活性化（あるいは自分自身の地元地域）に何らかの形で関わるとき、ここでの学びをどう活用するかを常日頃から考える習慣を身につける。<br>●こうした狙いに沿って、授業の内容は当市町の現況と今後の政策方針施策をただ紹介するだけにとどまらず、今後の当市町の発展課題はどこにあると担当者が考えているのかを明確に示してもらう予定である。<br>●これらの話を自分自身の中で十分に解釈・吟味して、社会で活躍する自分自身の職業的・社会的な自立に向けて、第一歩を踏み出す意識を高めて欲しい。 |

# キャリア形成総合講座２

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋商科大学 | 科目コード | 294003 |
| 担当教員 | 植村　猛 | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　金曜：3 限（1340～1520）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 社会・マスコミ・情報 | | |
| 教室 | 日進キャンパス CGC 棟 7302 教室 | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 本年度の総合講座は、「グローバルな舞台から伝えたいメッセージ」をテーマとし、各界で活躍している名商大の卒業生が在学中に CAPI や FSP に参加し、その経験が現在どのように活きているかを講演して頂きます。<br><br>本講義を通してグローバル化する世界で生きる上で必要とされる、政治、経済、社会、文化など、幅広い教養とグローバルな視点から物事を考察する力を修得することを目的としています。<br><br>受講生の皆さんは次のような資質や能力を養うことができます。<br><br>多彩な分野の教養を身につけ、自らの視野を広げることができます。<br>グローバルな世界で活躍している先輩のお話からは、自らの今後の進路を考える上でのヒントを得ることができます。<br>日本の政治、経済、社会、文化などをグローバルな観点からお話される講師の方からは、本学での学修内容を多面的に捉えることの重要性を学びます。<br>以上のように、本講座では受講生の皆さんが毎回の講義を真剣に傾聴すると同時に、毎回講師の方々に質問することを心がけることによって学びを深めることを強く求めるものです。 | | |
| テキスト・参考文献 | 未定 | | |
| 試験・評価方法 | 未定 | | |
| 別途必要な経費 | 未定 | | |
| その他特記事項 | | | |

# 調理学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋女子大学 | 科目コード | 294101 |
| 担当教員 | 小出　あつみ（家政学部教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　金曜：1.2 限（900～1030）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 家政・生活 | | |
| 教室 | 南 3 号館　304 教室 | | |
| 履修条件 | 女子学生に限る | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 調理とは、安全・栄養・嗜好を考慮し、食品を美味しく食べるための課程であるが、食に係わるには、食事摂取対象者に求められる個人の食事摂取基準の設定に関する知識や、調理操作による食材の組織・物性ならびに食感、栄養価、生体利用性、生理機能性の変化に関する知識が求められる。幅広い知識を学ぶことにより、次世代の食生活の担い手となりえる力を習得し、実践できる応用力を身につけることを目的とする。<br><br>1. 食物の持つ可能性、調理学の目的と意義<br>2. 食事計画(食事構成・献立作成)、食文化<br>3. 食べ物の嗜好性ー美味しさの仕組み、調理操作<br>4. 調理操作と調理器具ー非加熱調理・加熱調理<br>5. 調理操作(調味と調味料)・調理器具(冷蔵庫、新調理システム)<br>6. 植物食品の調理性・米の調理<br>7. 植物食品の調理性・小麦の調理<br>8. 植物食品の調理性・いも類・豆類の調理<br>9. 植物食品の調理性・野菜類、果物類の調理<br>10. 植物食品の調理性・種実類、キノコ類、藻類の調理<br>11. 動物性食品の調理・魚介類の調理<br>12. 動物性食品の調理・肉類の調理<br>13. 動物性食品の調理・卵の調理<br>14. 動物性食品の調理・牛乳と乳製品の調理<br>15. 抽出食品の調理性・砂糖、油脂、寒天、ゼラチンの調理 | | |
| テキスト・参考文献 | 最新　調理学ー基礎と応用　高木節子・加田静子編　朝倉書店 | | |
| 試験・評価方法 | アクティブラーニングによる結果を示す課題レポート（10 点×3 回）、期末試験(50 点)。ポートフォリオに十分な内容を記録する(20 点)、合計 100 点として SABC 評価は大学の基準による。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | | | |

# インテリアデザイン論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋女子大学 | 科目コード | 294102 |
| 担当教員 | 青柳　由佳（家政学部講師） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　火曜：9.10 限（1620～1750）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 家政・生活 | | |
| 教室 | 南 4 号館　204 教室 | | |
| 履修条件 | 女子学生に限る | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ９月 |
| 講義概要 | 本講義は主に住宅のインテリアを対象としてインテリアデザインの基礎的知識を<br>習得し、自らの創造力と表現力を養うための基礎を身につけることを目的とする。<br>具体的にはインテリアの構成要素を理解し、インテリア設計に必要な寸法体系や<br>表現方法の習得を目指す。各回の講義内容を以下に示す。<br>第１回インテリアデザインとは<br>第２回インテリアデザインの歴史とスタイル<br>第３回人間の動作空間と寸法<br>第４回インテリアと寸法（自分の部屋の間取図と展開図）<br>第５回空間（床・壁・天井）<br>第６回内装仕上げに使われる材料<br>第７回開口部（建具・ドア・窓）<br>第８回インテリアの安全と健康<br>第９回家具<br>第 10 回和風造作、収納<br>第 11 回照明<br>第 12 回色彩<br>第 13 回インテリアと設備<br>第 14 回インテリアの計画１（自分の部屋の改修計画）<br>第 15 回インテリアの計画２（自分の部屋のパース作成） | | |
| テキスト・参考文献 | 図解テキストインテリアデザイン/小宮容一他/株式会社井上書院 | | |
| 試験・評価方法 | 小テスト・・・50 点、レポート（自分の部屋の間取図、改修案・パース）・・40 点、予習・復習等授業への取り組み（ポートフォリオ）・・・10 点<br>計 100 点で評価する。S、A、B、C、不合格は大学の評価基準による。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | | | |

# 衣環境学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋女子大学 | 科目コード | 294103 |
| 担当教員 | 間瀬　清美（家政学部教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　水曜：3.4 限（1040～1210）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 家政・生活 | | |
| 教室 | 南 3 号館　304 教室 | | |
| 履修条件 | 女子学生に限る | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 外環境の暑さ、寒さから、人体を守るための被服の着用の仕方を考える。人体 - 被服 - 環境の関連を人間の着用快適性を主眼において講述し、不快感が少なくなるよう環境に対応した被服のあり方を解説していく。人体生理を理解し、その上で人体と温熱環境、被服による気候調節を配慮したより良い着心地を得るための着用の特性について考える。具体的な内容は以下のとおりである。<br>1.衣環境学の意義と目的　2.被服と人体生理<br>3.体温調節のしくみ　4.皮膚の構造と機能<br>5.人体と温熱環境<br>6.温熱測定と評価<br>7.被服による気候調節・被服気候<br>8.被服の運動機能性<br>9.乳幼児や高齢者の衣環境<br>10. 被服の人体影響（衣服圧、細菌汚染等）<br>11. 被服の人体影響（皮膚、肌着の汚染、皮膚障害、静電気等）<br>12. 各種の被服（スポーツウエア等）<br>13. 各種の被服（農作業服、特殊服等）<br>14. 下着・寝衣の役割と条件<br>15. アパレルと環境（クールビズ、ウォームビズ、熱中症等） | | |
| テキスト・参考文献 | 「衣環境の科学」田村照子編著（建帛社） | | |
| 試験・評価方法 | 小試験(60%)、レポート(20%)、学修ポートフォリオによる予習・復習（10%)、授業参加態度(10%)で計 100%とする。 | | |
| 別途必要な経費 | 「特になし」 | | |
| その他特記事項 | 「特になし」 | | |

# ものづくりの法律入門（創作と権利）R

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋造形大学 | 科目コード | 294201 |
| 担当教員 | 下尾　邦之（造形学部教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　火曜：1 限（920～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | テーマ：知的財産法の理解と実践（著作権）<br>到達目標：三級知的財産技能士レベルの知財スキルを習得する<br>概要：知財人材が広いジャンルで求められている今日の社会では、理系・文系を問わずそれぞれの専門性に関わる知財知識と実践スキルを有した人材の育成が求められている。<br>特に創作活動を主軸とする芸術系大学生にとっては、知識のみならず自らの創作に密接した知財スキルを持つことが必須であり、それは創作者として社会的な責任でもある。<br>本科目では、ものづくりに関わる美大生に求められる正しい知的財産権の知識と理解を深め、知財スキルを備えたクリエイターの育成を目的とする。特に全てのコースに係わる著作権の理解を深める。<br><br>第 1 回ガイダンス：授業の目的と方法およびルールの説明。評価基準の確認。<br>第 2 回知的財産権の概要<br>第 3 回著作物・著作者・著作権<br>第 4 回特殊な著作物<br>第 5 回著作者人格権<br>第 6 回著作財産権と自由利用 1<br>第 7 回著作財産権と自由利用 2<br>第 8 回著作財産権と自由利用 3<br>第 9 回著作財産権と自由利用 4<br>第 10 回著作財産権と自由利用 5<br>第 11 回保護期間<br>第 12 回著作隣接権 1<br>第 13 回著作隣接権 2<br>第 14 回著作権の譲渡・登録・侵害<br>第 15 回まとめ（全体の復習と今後の制作活動にあたって） | | |
| テキスト・参考文献 | 使用しない.参考書および参考資料は、授業にて紹介または配布する。 | | |
| 試験・評価方法 | 授業レポートＡおよびＢは、（100 点満点×提出数）÷15 で採点する。<br>遅刻･欠席においては、事前連絡を基本とし授業態度としてレポートＡ評価に反映させる。総合評価点は、［レポートＡ20%］＋［レポートＢ40%］＋［定期試験 40%］とし、総合点で 60 点以上を及第点とする。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 毎授業で回収するレポートＡに書かれた質問等に対するコメントの記述、および<br>受講生共通の問題として判断できるものについては、次回の授業の冒頭にて受講生<br>全員に紹介しコメントする。 | | |

# ものづくりの法律入門（創作と権利）S

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋造形大学 | 科目コード | 294202 |
| 担当教員 | 下尾　邦之（造形学部教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　火曜：2 限（1100～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | テーマ：知的財産法の理解と実践（著作権）<br>到達目標：三級知的財産技能士レベルの知財スキルを習得する<br>概要：知財人材が広いジャンルで求められている今日の社会では、理系・文系を問わずそれぞれの専門性に関わる知財知識と実践スキルを有した人材の育成が求められている。<br>特に創作活動を主軸とする芸術系大学生にとっては、知識のみならず自らの創作に密接した知財スキルを持つことが必須であり、それは創作者として社会的な責任でもある。<br>本科目では、ものづくりに関わる美大生に求められる正しい知的財産権の知識と理解を深め、知財スキルを備えたクリエイターの育成を目的とする。特に全てのコースに係わる著作権の理解を深める。<br><br>第 1 回ガイダンス：授業の目的と方法およびルールの説明。評価基準の確認。<br>第 2 回知的財産権の概要<br>第 3 回著作物・著作者・著作権<br>第 4 回特殊な著作物<br>第 5 回著作者人格権<br>第 6 回著作財産権と自由利用 1<br>第 7 回著作財産権と自由利用 2<br>第 8 回著作財産権と自由利用 3<br>第 9 回著作財産権と自由利用 4<br>第 10 回著作財産権と自由利用 5<br>第 11 回保護期間<br>第 12 回著作隣接権 1<br>第 13 回著作隣接権 2<br>第 14 回著作権の譲渡・登録・侵害<br>第 15 回まとめ（全体の復習と今後の制作活動にあたって） | | |
| テキスト・参考文献 | 使用しない.参考書および参考資料は、授業にて紹介または配布する。 | | |
| 試験・評価方法 | 授業レポートＡおよびＢは、（100 点満点×提出数）÷15 で採点する。<br>遅刻･欠席においては、事前連絡を基本とし授業態度としてレポートＡ評価に反映させる。総合評価点は、［レポートＡ20%］＋［レポートＢ40%］＋［定期試験 40%］とし、総合点で 60 点以上を及第点とする。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 毎授業で回収するレポートＡに書かれた質問等に対するコメントの記述、および<br>受講生共通の問題として判断できるものについては、次回の授業の冒頭にて受講生<br>全員に紹介しコメントする。 | | |

# 環境生態学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋造形大学 | 科目コード | 294203 |
| 担当教員 | 岡田　憲久（造形学部特任教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　金曜：1 限（920～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 地球・環境・エネルギー | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | テーマ：「人間と自然の新たな関係のあり方」を問う。ランドスケープデザイン原論。<br>目標：自然がどのように壊されてきたかを文明史の視点で理解し、次の時代を考える<br>概要：自然とは何か。我々人間の諸活動は、どこでどのように自然への対し方を誤った方向に変換してきたのかを、歴史的に考察し、共生の環境計画のあり方をさぐる。<br><br>第１回　ガイダンス<br>第２回　自然の概念<br>第３回　環境史（自然と文明の関係 西欧）<br>第４回　環境史（自然と文明の関係 日本）<br>第５回　日本庭園史概説（その１）<br>第６回　日本庭園史概説（その２）<br>第７回　ヨーロッパ庭園史概説（その１）<br>第８回　ヨーロッパ庭園史概説（その２）<br>第９回　ランドスケープデザインの事例とその手法（その１）<br>第 10 回　ランドスケープデザインの事例とその手法（その２）<br>第 11 回　ランドスケープデザインの事例とその手法（その３）<br>第 12 回　私の作品<br>第 13 回　新たな新たなるランドスケープデザインの方向を求めて（その１）<br>第 14 回　新たな新たなるランドスケープデザインの方向を求めて（その 2）<br>第 15 回　新たな新たなるランドスケープデザインの方向を求めて（その 3） | | |
| テキスト・参考文献 | 配布資料 | | |
| 試験・評価方法 | 平常点 30%　期末試験 50%　授業態度 20% | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 自らの専門分野との関係の視点からの理解を求む | | |

# 景観デザイン論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋造形大学 | 科目コード | 294204 |
| 担当教員 | 伊藤　豊嗣（造形学部教授） | | |
| 学年配当 | ３年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　火曜：２限（1100～1100）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | テーマ：コミュニケーションとデザイン<br>目標：「風景」「眺め」の中に「人」の存在や関わり方が問われるのが「景観」。生活の中で景観はどうあるべきかについて、各自が意識を持つことを目指す<br>概要：景観デザインについて、視覚伝達デザイン、 建築、ランドスケープデザインなどの専門分野の教員がオムニバス形式で講義を行なう。<br><br>第１回　全体解説、 屋外環境の視覚伝達デザインの種類〈伊藤〉<br>第２回　屋外環境の色彩（色彩の基本、色彩の実例）　〈伊藤〉<br>第３回　屋外環境の文字（文字の基本、文字の実例）　〈伊藤〉<br>第４回　図形化について（表示、標識、ピクト・サイン）〈伊藤〉<br>第５回　マーク、ロゴタイプからCI・VIまで〈伊藤〉<br>第６回　景観と屋外広告〈伊藤〉<br>第７回　国内外の景観事例（1）〈伊藤〉<br>第８回　国内外の景観事例（2）〈伊藤〉<br>第９回　景観と建築（1）PV・マンガに見られる景観：ユニバーサルとヴァナキュラー〈渡辺〉<br>第１０回　景観と建築（2）景観と社会の関係：地域とコミュニティ〈渡辺〉<br>第１１回　景観と建築（3）景観オン・マイ・マインド〈渡辺〉<br>第１２回　景観とランドスケープデザイン（1）美しかった日本を再び／歴史的環境保全の法制度<br>／新たな視点での環境保全や創造の法制度〈岡田〉<br>第１３回　景観とランドスケープデザイン（2）ランドスケープデザインの景観整備事例〈岡田〉<br>第１４回　景観の問題提起〈伊藤〉<br>第１５回　全体のまとめ〈伊藤〉 | | |
| テキスト・参考文献 | 配布資料 | | |
| 試験・評価方法 | 平常点（30%）、レポートの提出状況と内容（70%）<br>欠席することなく、各回の講義を受講すること。中間と最後の２回出題されるレポートに取り組むこと。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | レポートの返却の際に教員からのコメントを記入する。 | | |

# コミュニケーションデザイン論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋造形大学 | 科目コード | 294205 |
| 担当教員 | 東仲　雅明（造形学部教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　火曜：5 限（1640～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | テーマ：コミュニケーションとデザイン<br>目標：基礎のパートでは、ノンバーバル（言葉によらない）コミュニケーションの基礎知識について、続くデザイン構成要素のパートでは個々が持つ特性について学ぶ。さらに実例のパートで媒体ごとに多様な具体的デザイン表現内容を学び、クリエイティブに活かせるコミュニケーションとデザインの関係についての知識を獲得する。<br>概要：視覚に訴えるデザイン領域はもちろんのこと、デザイン全般にも通底するコミュニケーション（伝える・伝わる・伝えあう）の概念について、基礎認識を深めるため関連する諸領域にも視野を広げた講義をまず行う。つぎにコミュニケーションのデザインを構成する視覚的諸要素について講義をしたのち、実際の社会に現れているコミュニケーションデザインについて、広告各媒体や書籍、パッケージ、企業の視覚イメージ統合計画であるビジュアルアイデンティティを取り上げた講義を行う。<br><br>第 1 回　概説、コミュニケーションデザイン基礎　言語と伝達［東仲］<br>第 2 回コミュニケーションデザイン基礎　ノンバーバルコミュニケーション［東仲］<br>第 3 回コミュニケーションデザイン基礎　プロクシミクス［東仲］<br>第 4 回コミュニケーションデザイン基礎　記号論［東仲］<br>第 5 回コミュニケーションデザイン構成要素　文字［伊藤］<br>第 6 回コミュニケーションデザイン構成要素　図形［伊藤］<br>第 7 回コミュニケーションデザイン構成要素　イラストレーション［村越］<br>第 8 回コミュニケーションデザイン実例　広告①ポスター［伊藤］<br>第 9 回コミュニケーションデザイン実例　広告②新聞、雑誌［村田］<br>第 10 回コミュニケーションデザイン実例　広告③Web［渡邊］<br>第 11 回コミュニケーションデザイン実例　広告④テレビコマーシャル［津田］<br>第 12 回コミュニケーションデザイン実例　広告⑤アプリケーション［津田］<br>第 13 回コミュニケーションデザイン実例　パッケージ［東仲］<br>第 14 回コミュニケーションデザイン実例　書籍［東仲］<br>第 15 回コミュニケーションデザイン実例　ビジュアルアイデンティティ［東仲］ | | |
| テキスト・参考文献 | 必要に応じて教員が作成するテキストを授業毎に配布 | | |
| 試験・評価方法 | ①出席状況（30%）②毎回の小レポート（30%）　③期末レポート（40%）により評価を行う。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 期末レポートに対するコメントと採点結果を記入し返却する。 | | |

# ホスピタリティ論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋文理大学 | 科目コード | 294301 |
| 担当教員 | 蔵冨　幹 | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　水曜：２限（1040～1210）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | サービス業を中心に幅広く日本の企業に取り入れられいる「ホスピタリティ」の本質を学ぶ。お客様との関係でホスピタリティはどのように生かされているのか。また、トップレベル企業におけるホスピタリティはどのようなものか。その実例を学ぶことにより、より良い人間関係、顧客満足ための実践力を養うことを目的とする。<br><br>１オリエンテーション、ホスピタリティとは<br>２ホスピタリティの基本<br>３ホスピタリティ・マナー　１<br>４ホスピタリティ・マナー　２<br>５ホスピタリティの原点<br>６ホスピタリティの実践　１<br>７ホスピタリティの実践　２<br>８ホスピタリティとコミュニケーション<br>９ホスピタリティと顧客満足<br>10 ホスピタリティ・企業と社会<br>11 ホスピタリティ・箸の文化<br>12 ホスピタリティと職場環境<br>13 ホスピタリティと文化<br>14 ホスピタリティを生かす<br>15 まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | 『プリントを配布する』 | | |
| 試験・評価方法 | 前期末試験７０％　授業態度、課題レポート提出３０％ | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# チェーンストアシステム研究

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋文理大学 | 科目コード | 294302 |
| 担当教員 | 河木　智規 | | |
| 学年配当 | ３年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　：（～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月,９月 |
| 講義概要 | 大多数の人々の日常生活に欠くことのできなくなった、チェーンストアの本質と今後の可能性について解説する。<br>チェーンストアを支える広範な分業システム、標準化の重要性、商品づくりを実際の企業をケーススタディとして取り上げ研究する。<br>1、ガイダンス（講義全体の流れ、授業のすすめ方、レポートの提出方法、評価の仕方を説明する）チェーンストアの理解（１）チェーンストアの定義<br>2、チェーンストアの理解（２）チェーンストアの歴史、チェーンの種類とフランチャイズチェーン<br>3、マス・マーチャンダイジング・システムづくりの解説（１）事例研究「サイゼリヤ」<br>4、マス・マーチャンダイジング・システムづくりの解説（２）事例研究「ニトリ」<br>5、マス・マーチャンダイジング・システムづくりの解説（３）事例研究「良品計画」<br>6、マス・マーチャンダイジング・システムづくりの解説（４）事例研究「しまむら」<br>7、マス・マーチャンダイジング・システムづくりの解説（５）事例研究「セブンイレブン」<br>8、チェーンストアの商品の考え方（１）ナショナルブランドとプライベートブランド<br>9、チェーンストアの商品の考え方（２）ナショナルブランドとプライベートブランド<br>10、チェーンストアの体験価値（１）ストアコンパリゾンと商品構成グラフ<br>11、チェーンストアの体験価値（２）ストアコンパリゾンと商品構成グラフ<br>12、チェーンストア経営の本質（１）チェーンストアの絶対原則・社会貢献<br>13、チェーンストア経営の本質（２）チェーンストアの組織と人財育成<br>14、チェーンストアの業態・フォーマットフォーマットの考え方・アメリカのチェーンストア<br>15、まとめ（これからのチェーンストア） | | |
| テキスト・参考文献 | 適宜紹介 | | |
| 試験・評価方法 | 試験結果・課題レポート・受講態度により総合的に評価 | | |
| 別途必要な経費 | 無し | | |
| その他特記事項 | | | |

# フードサービス実務研究

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋文理大学 | 科目コード | 294303 |
| 担当教員 | 田中　司朗 | | |
| 学年配当 | ３年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　：（～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月,９月 |
| 講義概要 | フードサービス業のスペシャリストになるためには、まず第一線の店長や料理長になることが登竜門となる。そのための実務を中心とした店長のマネジメント知識と技術を、フードサービスの現役コンサルタントが成功事例を解説しながら分かりやすく講義していく<br>１オリエンテーション（フードサービス業の社会的使命・理念）<br>２店舗運営技術　　（１）店長の主要機能<br>３店舗運営技術　　（２）マニュアル・作業システム<br>４店舗運営技術　　（３）繁盛店づくりとＱＳＣ<br>５人事管理　　（１）組織・コミュニケーション<br>６人事管理　　（２）パート・アルバイトの育成<br>７外食業の計数管理（１）フードサービス業の計数管理の基礎<br>８外食業の計数管理（２）ＰＬとコストコントロール<br>９対人対応技術　　（１）フードサービス業のリーダーシップ<br>10 対人対応技術　　（２）モチベーションアップの方法論<br>11 衛生管理の基本<br>12 クレーム対応の技術<br>13ＳＷＯＴ分析と不振店対策<br>14 企業研究（フードサービス・ブランド企業）マクドナルド・スターバックス・ミスタードーナツ・壱番屋・ワタミ・モスバーガー　その他<br>15 企業研究　　東京ディズニーリゾート・ザ･リッツカールトンホテル・ノードストローム・六花亭・サウスウエスト航空 | | |
| テキスト・参考文献 | プリントを配布する。テーマによっては画像による解説も行う。 | | |
| 試験・評価方法 | 学期末試験　７０％　レポート・受講態度　３０％ | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 商業立地研究

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋文理大学 | 科目コード | 294304 |
| 担当教員 | 蔵冨　幹 | | |
| 学年配当 | ３年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　：（～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月,９月 |
| 講義概要 | 起業、開業に必ず必要となる「立地」について、歴史的推移も含めて学ぶ。広義、狭義における商圏の捉え方、最適立地とはどういう立地か、また留意すべきポイントはなにかを理解する。起業（アントレプレナー）についても、合わせて学ぶ。<br>１オリエンテーション　　立地の価値、立地戦略について<br>２立地競争について<br>３まちづくり三法・店舗立地・商圏について<br>４商業集積地の立地について<br>５中小企業と商業集積について<br>６立地分析について<br>７実査とその原則について<br>８アントレプレナー・起業について<br>９店舗レイアウトの実際<br>10 店舗レイアウトの実際<br>11 実査のポイント（ＴＧ）について<br>12 実査のポイント（動線・視界性）について<br>13 建物制約・ロードサイドについて<br>14 新たな立地開発について<br>15 まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | プリントを配布する | | |
| 試験・評価方法 | 学期末試験　７０％、授業態度、課題レポート提出　３０％ | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# フードサービス経営論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋文理大学 | 科目コード | 294305 |
| 担当教員 | 蔵冨　幹 | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　：（～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月,９月 |
| 講義概要 | フードビジネスの醍醐味は自らのオリジナリティを生かした飲食店舗を立ち上げ、お客様に喜んでいただく店舗を経営するところにある。本講座は、新規に店舗をオープンさせるまでのプロセスを多くの事例をもとに学習する。経営のスキルアップのため、店舗設計実習及びインテリアコーディネーター、キッチンスペシャリストの資格もあわせて紹介する。<br>１オリエンテーション　企業倫理とは、サービスとは<br>２フードビジネスマーケティング　マーケティングとは<br>３出店戦略、ストアコンセプトの考え方<br>４商品戦略、商品コンセプトの考え方<br>５商品開発のポイント<br>６立地について<br>７店舗設計、厨房設計のポイント<br>８デザイナーズチェア・インテリアスタイルについて<br>９店舗調査のポイント<br>10 出店のための計数管理<br>11 採用、教育、研修の実務<br>12 販売促進・酒類について<br>13 フードサービスの関連法規<br>14 事業計画の策定について<br>15 フードサービス　まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | プリントを配布する | | |
| 試験・評価方法 | 学期末試験　７０%、授業態度、課題レポート提出　３０% | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# フードサービス商品論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋文理大学 | 科目コード | 294306 |
| 担当教員 | 蔵冨　幹 | | |
| 学年配当 | ３年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　火曜：２限（1040～1210）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | フードビジネスの商品（食材）に関し、商品コンセプトをもとに商品の開発方法を学ぶ。商品戦略としてのメニュー構成、メニューミックスなどの手法を用い、ビジネスとしての損益に貢献できる力を学ぶ。<br>１オリエンテーション　商品コンセプトについて<br>２商品開発について<br>３商品戦略について<br>４心理的価格戦略について<br>5ABC 分析について①<br>6ABC 分析について②<br>７和食文化（麹）について<br>８商品発想法について<br>９商品管理（棚卸）について<br>10 商品管理（発注）について<br>11 損益分岐点について<br>12 メニューミックスについて<br>13 ロス管理について<br>14 食器（ワイングラス）について<br>15 分析・まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | プリントを配布する | | |
| 試験・評価方法 | 学期末試験　７０%、　授業態度、課題レポート提出　３０% | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# ＭＩＤＩ制作演習Ⅰ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋文理大学 | 科目コード | 294307 |
| 担当教員 | 柴山　一幸 | | |
| 学年配当 | １年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　：（～） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 社会・マスコミ・情報 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月,９月 |
| 講義概要 | 音楽制作ソフト GarageBand を使って、楽譜をもとに MIDI の打ち込みを行います。楽器ができなくても、マウスで入力するだけでフルオーケストラの曲の制作も可能です。本科目では、コンピュータミュージックの入門・初歩として、主にピアノロールウィンドウでの作業を行います。<br>１コンピュータミュージック入門：ガイダンス、著作権の注意、授業に準備するもの。<br>２打ち込みの基礎知識：音符の長さ、ソフトの紹介、ファイルの設定、基本的な音符の打ち込み方、裏拍、タイで繋がった音符、シャープやフラットの音符。<br>３練習曲(1)：「piece of my love」ドラムの打ち込み ver.1(基本パターンの打ち込み)<br>４練習曲(2)：「piece of my love」ドラムの打ち込み ver.2(ゴーストノートの打ち込み)<br>５練習曲(3)：「piece of my love」ボーカル、コーラスパートの打ち込み<br>６練習曲(4)：「piece of my love」ベースの打ち込み<br>７練習曲(5)：「piece of my love」ピアノの打ち込み<br>８練習曲(3)：「piece of my love」アコースティックギターの打ち込み<br>９練習曲(6)：「piece of my love」エレキギターの打ち込み(ピッチベンドの活用含む)<br>10 練習曲(7)：「piece of my love」ストリングス(バイオリン、チェロ)の打ち込み<br>11 期末課題の制作(1)：「piece of my love」の別の部分の譜面を渡します。それを参考にし各自打ち込みを行う。<br>12 期末課題の制作(2)：前回に引き続き、楽譜の打ち込みを行います。<br>13 期末課題の制作(3)：前回に引き続き、楽譜の打ち込みを行います。<br>14 期末課題の制作(4)：前回に引き続き、楽譜の打ち込みを行います。<br>15 期末課題の制作(5)：期末課題提出期限。 | | |
| テキスト・参考文献 | 特になし。譜面はこちらで用意します。 | | |
| 試験・評価方法 | 授業への参加状況 20%、平常課題 30%、期末課題 50%で評価します。<br>期末課題の提出がない場合は試験に欠席の扱いとなります。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 広告概論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋文理大学 | 科目コード | 294308 |
| 担当教員 | 江草 普二 | | |
| 学年配当 | ２年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　水曜：４限（1440～1610） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 社会・マスコミ・情報 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 朝起きて夜寝るまで、どれだけの広告と出会い、どれを認識し、何を記憶しているのか。広告は消費生活の貴重な情報源だが、同時に浪費でもあり、時に害悪でさえある。報道や文化や娯楽の供給源として生活に欠かせないマスメディアは、一方で膨大な広告の供給源でもある。講義では、広告メディアとしてのマスメディアのメカニズムを解明し、どのようなプロセスを経て広告が制作され消費者の元に届けられるのか概説する。<br>１「広告とは何か（１）」広告の定義/広告の目的/広告とブランド/ＰＲとプロパガンダ/広告市場の現況<br>２「広告とは何か（２）」前週のつづき<br>３「広告とメディア」メディアとは何か/メディアの種類と役割/広告メディアの現況<br>４「新聞と広告」新聞の概要/新聞市場の現況/新聞広告の特性<br>５「雑誌と広告」雑誌の概要/出版市場の現況/雑誌広告の特性<br>６「テレビと広告（１）」テレビの概要/テレビ市場の現況/ＣＭとは何か<br>７「テレビと広告（２）」視聴率の仕組み/テレビＣＭの特性<br>８「ラジオと広告」ラジオの概要/ラジオ市場の現況/ラジオＣＭの特性<br>９「インターネットと広告」インターネットの概要/インターネット市場の現況/インターネット広告の種類と特性<br>10「広告計画―基本戦略（１）」戦略と戦術/マーケティングとは何か/ポジショニングとターゲット<br>11「広告計画―基本戦略（２）」前週のつづき<br>12「広告計画―クリエイティブ戦略（１）」コンセプト開発/広告のタイプと種類/クリエイティブの手法<br>13「広告計画―クリエイティブ戦略（２）」前週のつづき<br>14「広告計画―メディア戦略」各メディアの特性比較/メディアプランニング/メディアミックスとクロスメディア<br>15「広告計画―ＳＰ戦略」ＳＰとは何か/プッシュ戦略とプル戦略/クロスマーチャンダイジング/景品と懸賞/行動ターゲティングとショッパーズマーケティング | | |
| テキスト・参考文献 | 特になし | | |
| 試験・評価方法 | 期末試験における小論文と用語説明 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 現代メディア論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名古屋文理大学 | 科目コード | 294309 |
| 担当教員 | 栗林　芳彦 | | |
| 学年配当 | 1 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　水曜：1 限（900～1030） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 社会・マスコミ・情報 | | |
| 教室 | | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 約 20 年前のインターネットの登場により、我々を取り巻くメディア環境は大きく変化した。旧来のマスメディアは次第にその存在感を失いつつあるが、形を変えて生き残りをもくろんでいる。このようなメディア環境の変化の中で、我々はメディアをどうとらえ、どのように評価すべきなのか。また、インターネットははたして「最強」のメディアであるのか。一緒に考えて行きたい。<br>1、イントロダクション・メディアとはなにか<br>2、・日本人のメディア接触　ＮＨＫ生活時間調査をもとに<br>3、コミュニケーションとメディアの役割・コミュニケーションとはなにか・マスコミュニケーションの変遷<br>4、新聞について（1）・起源・歴史的な役割<br>5、新聞について（2）・新聞の社会的役割・コンテンツメーカーとしての新聞<br>6、新聞について（3）・ネットとの共存は可能か<br>7、出版メディアについて（1）・出版メディアとはなにか・日本人と読書<br>8、出版メディアについて（2）・出版流通をめぐる課題<br>9、出版メディアについて（3）・インターネットの普及と雑誌メディア<br>10、テレビについて（1）・テレビ局とクロスオーナーシップ<br>11、テレビについて（2）・広告媒体としてのテレビ<br>12、インターネットについて（1）・特性・歴史・インターネットがもたらしたリアル社会での変化<br>13、インターネットについて（2）・ウェブコンテンツとウェブコミュニケーション・生活者はすぐれたコンテンツメーカーか？<br>14、メディアの社会的責任と役割・現在、メディアに期待されることは何か・まとめサイトの意味<br>15、メディアのこれから | | |
| テキスト・参考文献 | 使用しない | | |
| 試験・評価方法 | 定期試験により評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 日ごろからインターネットだけでなく、テレビ、新聞など様々なメディアに対して関心を持つこと。 | | |

# ラテン語Ⅰ文法１

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294401 |
| 担当教員 | 井上　淳（人文学部教授 ） | | |
| 学年配当 | １年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | １単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　月曜,木曜：３限（1330～1500）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | FB1 教室 | | |
| 履修条件 | 文法・講読を同時に受講できる人に限定。秋学期のみの受講も不可。<br />教科書（3,456 円）と辞書（6,480 円）のため、１万円近くの教材費がかかる（価格は 2016 年 11 月現在）。 | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 【授業概要】<br>この授業は講義形式で行われる。<br>「ラテン語Ⅰ文法・講読」はラテン語を学び始める人のための入門的な講義であり、ラテン語の基礎知識の習得を目指す。「ラテン語Ⅱ文法・講読」はその第二段階であり、より詳しいラテン語文法を学び、ラテン語読解の基礎的技術の習得を目指す。<br><br>【到達目標】<br>1. ラテン語の文法的知識と解読法を一通り習得している。<br>2. ラテン語原典を文法書と辞典を用いて読めるようになっている。<br><br>【授業計画】<br>1. ローマ数字と暦<br>2. アルファベット、発音、名詞の主格および対格<br>3. 疑問詞<br>4. 奪格<br>5. 名詞の性<br>6. 形容詞<br>7. 奪格支配の前置詞<br>8. 対格支配の前置詞<br>9. 受動文<br>10. 複数形<br>11. 属格<br>12. コプラ<br>13. 与格<br>14. 原典解読<br>15. 原典解読<br><br>【授業時間外の学習 （準備学習等）】<br>授業で配布された資料や教科書、ノート等によって学習したことを復習し、次の授業の理解に備えておくこと。 | | |
| テキスト・参考文献 | テキスト：<br>M.アモロス『ラテン語の学び方』（南窓社）約 3,500 円<br>水谷智洋『羅和辞典』改訂版（研究社）約 6,500 円 | | |
| 試験・評価方法 | 小テストを２回行ないます。授業参加度（40%）、小テスト（30%）、原典読解レポート（30%）で評価します。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 毎回の授業に必ず教科書と辞典を持ってくること。 | | |

# ラテン語Ⅱ文法１

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294402 |
| 担当教員 | 井上　淳（人文学部教授 ） | | |
| 学年配当 | １年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | １単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　月曜,木曜：３限（1330～1500）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | FB2 教室 | | |
| 履修条件 | 文法・講読を同時に受講できる人に限定。秋学期のみの受講も不可。<br />教科書（3,456 円）と辞書（6,480 円）のため、1 万円近くの教材費がかかる（価格は 2016 年 11 月現在）。 | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | ４月,9 月 |
| 講義概要 | 【授業概要】<br>この授業は講義形式で行われる。<br>「ラテン語Ⅰ文法・講読」はラテン語を学び始める人のための入門的な講義であり、ラテン語の基礎知識の習得を目指す。「ラテン語Ⅱ文法・講読」はその第二段階であり、より詳しいラテン語文法を学び、ラテン語読解の基礎的技術の習得を目指す。<br><br>【到達目標】<br>1. ラテン語の文法的知識と解読法を一通り習得している。<br>2. ラテン語原典を文法書と辞典を用いて読めるようになっている。<br><br>【授業計画】<br>1. これまでの復習<br>2. 変位動詞<br>3. 受動態の命令法<br>4. 非人称動詞<br>5. 動詞的中性名詞<br>6. 動詞的形容詞<br>7. 過去形<br>8. 時をあらわす文<br>9. 半過去<br>10. 原因文<br>11. 未来<br>12. 比較文<br>13. 大過去<br>14. 原典解読<br>15. 原典解読<br><br>【授業時間外の学習 （準備学習等）】<br>授業で配布された資料や教科書、ノート等によって学習したことを復習し、次の授業の理解に備えておくこと。 | | |
| テキスト・参考文献 | テキスト：<br>M.アモロス『ラテン語の学び方』（南窓社）約 3,500 円<br>水谷智洋『羅和辞典』改訂版（研究社）約 6,500 円 | | |
| 試験・評価方法 | 小テストを２回行ないます。授業参加度（40%）、小テスト（30%）、原典読解レポート（30%）で評価します。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 毎回の授業に必ず教科書と辞典を持ってくること。 | | |

# ラテン語Ⅰ文法２

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294403 |
| 担当教員 | 松根　伸治（人文学部教授 ） | | |
| 学年配当 | １年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | １単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　月曜,木曜：４限（1515～1645）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | L13 教室 | | |
| 履修条件 | 文法・講読を同時に受講できる人に限定。秋学期のみの受講も不可。<br />教科書（3,456 円）と辞書（6,480 円）のため、１万円近くの教材費がかかる（価格は 2016 年 11 月現在）。 | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 【授業概要】<br>この授業は講義および演習形式で行われます。ラテン語はかつてヨーロッパで広く用いられていた言語で、今日のイタリア語・スペイン語・ポルトガル語・フランス語などの祖先にあたります。現在では日常生活でこの言語を使う人はいませんが、多くのすぐれた文学や思想がラテン語で書かれて私たちに残されています。この科目ではラテン語文法の基礎を初歩から丁寧に学びます。授業では課題の確認（答えあわせ）を中心に教科書を順に進みます。西洋文化に関心のある人、多くの言語を身につけたい人、大学で少し珍しいことを勉強しておきたい人など、興味とやる気があれば誰でも歓迎します。<br><br>【到達目標】<br>・名詞・形容詞の基本的変化を身につけている。<br>・動詞の現在形人称変化を身につけている。<br><br>【授業計画】<br>1. イントロダクション（初回は予習の必要なし）<br>2. 発音とアクセント<br>3. 格の用法（主格・対格・奪格）1<br>4. 格の用法（主格・対格・奪格）2<br>5. 形容詞 1<br>6. 形容詞 2<br>7. 前置詞<br>8. 受動態<br>9. 名詞・形容詞の複数形 1<br>10. 名詞・形容詞の複数形 2<br>11. 格の用法（属格）<br>12. 格の用法（与格）<br>13. 不定法<br>14. 動詞の人称変化のまとめ 1<br>15. 動詞の人称変化のまとめ 2<br><br>【授業時間外の学習 （準備学習等）】<br>次回範囲の予習と変化表の暗唱が必須。 | | |
| テキスト・参考文献 | 「文法」と「講読」共通で、一年間通して使用します。<br>［教科書］M. アモロス『ラテン語の学び方』（南窓社）：初回授業までに教科書を準備しておくこと。<br>［辞書］水谷智洋編『羅和辞典　改訂版』（研究社）：辞書は他のものでも可。 | | |
| 試験・評価方法 | 授業参加度（50%）と期末試験（50%） | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# ラテン語Ⅱ文法２

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294404 |
| 担当教員 | 松根　伸治（人文学部教授 ） | | |
| 学年配当 | １年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | １単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　月曜,木曜：４限（1515～1645）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | L13 教室 | | |
| 履修条件 | 文法・講読を同時に受講できる人に限定。秋学期のみの受講も不可。<br />教科書（3,456 円）と辞書（6,480 円）のため、１万円近くの教材費がかかる（価格は 2016 年 11 月現在）。 | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | ４月,9 月 |
| 講義概要 | 【授業概要】<br>この授業は講義および演習形式で行われます。「ラテン語Ⅰ（文法・講読）」で身につけた知識を前提として、教科書後半を進みます。この学期でラテン語文法の基本をひととおり学び終えます。とくに、動詞のさまざまな変化に習熟してラテン語の世界を広げましょう。<br><br>【到達目標】<br>・動詞変化の全体を身につけている。<br>・接続法の用法を理解している。<br><br>【授業計画】<br>1. これまでの見直し<br>2. 動詞的中性名詞（教科書・第 19 章）<br>3. 動詞的形容詞 １<br>4. 動詞的形容詞 ２<br>5. 過去形 １<br>6. 過去形 ２<br>7. 半過去・未来 １<br>8. 半過去・未来 ２<br>9. 大過去・先立未来 １<br>10. 大過去・先立未来 ２<br>11. 接続法 １<br>12. 接続法 ２<br>13. 接続法 ３<br>14. 復習問題 １<br>15. 復習問題 ２<br><br>【授業時間外の学習 （準備学習等）】<br>次回範囲の予習と変化表の暗唱が必須。 | | |
| テキスト・参考文献 | 「文法」と「講読」共通で、一年間通して使用します。<br>［教科書］M. アモロス『ラテン語の学び方』（南窓社）：初回授業までに教科書を準備しておくこと。<br>［辞書］水谷智洋編『羅和辞典　改訂版』（研究社）：辞書は他のものでも可。<br><br>［参考文献］<br>・逸身喜一郎『ラテン語のはなし：通読できるラテン語文法』（大修館書店）<br>・小林標『ラテン語の世界：ローマが残した無限の遺産』（中公新書）<br>・野津寛編著『ラテン語名句小辞典』（研究社） | | |
| 試験・評価方法 | 授業参加度（50%）と期末試験（50%） | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# ラテン語Ⅰ講読１

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294405 |
| 担当教員 | 井上　淳（人文学部教授 ） | | |
| 学年配当 | １年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | １単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　月曜,木曜：３限（1330～1500）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | FB1 教室 | | |
| 履修条件 | 文法・講読を同時に受講できる人に限定。秋学期のみの受講も不可。<br />教科書（3,456 円）と辞書（6,480 円）のため、１万円近くの教材費がかかる（価格は 2016 年 11 月現在）。 | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 【授業概要】<br>この授業は講義形式で行われる。<br>「ラテン語Ⅰ文法・講読」はラテン語を学び始める人のための入門的な講義であり、ラテン語の基礎知識の習得を目指す。「ラテン語Ⅱ文法・講読」はその第二段階であり、より詳しいラテン語文法を学び、ラテン語読解の基礎的技術の習得を目指す。<br><br>【到達目標】<br>1. ラテン語の文法的知識と解読法を一通り習得している。<br>2. ラテン語原典を文法書と辞典を用いて読めるようになっている。<br><br>【授業計画】<br>1. 不定法<br>2. 動詞の人称変化<br>3. 所有形容詞<br>4. 命令法および呼格<br>5. 指示代名詞・形容詞<br>6. 不定代名詞・形容詞<br>7. 関係代名詞<br>8. 現在分詞・過去分詞<br>9. 未来分詞・目的分詞<br>10. 現在分詞を用いた奪格別句<br>11. 過去分詞を用いた奪格別句<br>12. 比較級<br>13. 最上級<br>14. 原典解読<br>15. 原典解読<br><br>【授業時間外の学習 （準備学習等）】<br>授業で配布された資料や教科書、ノート等によって学習したことを復習し、次の授業の理解に備えておくこと。 | | |
| テキスト・参考文献 | テキスト：<br>M.アモロス『ラテン語の学び方』（南窓社）約 3,500 円<br>水谷智洋『羅和辞典』改訂版（研究社）約 6,500 円 | | |
| 試験・評価方法 | 小テストを２回行ないます。授業参加度（40%）、小テスト（30%）、原典読解レポート（30%）で評価します。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 毎回の授業に必ず教科書と辞典を持ってくること。 | | |

# ラテン語Ⅱ講読１

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294406 |
| 担当教員 | 井上　淳（人文学部教授 ） | | |
| 学年配当 | １年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | １単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　月曜,木曜：３限（1330～1500）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | FB2 教室 | | |
| 履修条件 | 文法・講読を同時に受講できる人に限定。秋学期のみの受講も不可。<br />教科書（3,456 円）と辞書（6,480 円）のため、１万円近くの教材費がかかる（価格は 2016 年 11 月現在）。 | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | ４月,9 月 |
| 講義概要 | 【授業概要】<br>この授業は講義形式で行われる。<br>「ラテン語Ⅰ文法・講読」はラテン語を学び始める人のための入門的な講義であり、ラテン語の基礎知識の習得を目指す。「ラテン語Ⅱ文法・講読」はその第二段階であり、より詳しいラテン語文法を学び、ラテン語読解の基礎的技術の習得を目指す。<br><br>【到達目標】<br>1. ラテン語の文法的知識と解読法を一通り習得している。<br>2. ラテン語原典を文法書と辞典を用いて読めるようになっている。<br><br>【授業計画】<br>1. 先立未来<br>2. 大過去と未来の受動形<br>3. 条件文<br>4. 不定法の過去<br>5. 不定法の未来<br>6. 接続法<br>7. Ut + 接続法<br>8. 間接疑問<br>9. 事情や時をあらわす cum<br>10. 原因をあらわす cum<br>11. 接続法をとる条件文<br>12. 譲歩文<br>13. 結果文<br>14. 原典解読<br>15. 原典解読<br><br>【授業時間外の学習 （準備学習等）】<br>授業で配布された資料や教科書、ノート等によって学習したことを復習し、次の授業の理解に備えておくこと。 | | |
| テキスト・参考文献 | テキスト：<br>M.アモロス『ラテン語の学び方』（南窓社）約 3,500 円<br>水谷智洋『羅和辞典』改訂版（研究社）約 6,500 円 | | |
| 試験・評価方法 | 小テストを２回行ないます。授業参加度（40%）、小テスト（30%）、原典読解レポート（30%）で評価します。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 毎回の授業に必ず教科書と辞典を持ってくること。 | | |

# ラテン語Ⅰ講読２

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294407 |
| 担当教員 | 松根　伸治（人文学部教授 ） | | |
| 学年配当 | １年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | １単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　月曜,木曜：４限（1515～1645）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | L13 教室 | | |
| 履修条件 | 文法・講読を同時に受講できる人に限定。秋学期のみの受講も不可。<br />教科書（3,456 円）と辞書（6,480 円）のため、１万円近くの教材費がかかる（価格は 2016 年 11 月現在）。 | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 【授業概要】<br>この授業は講義および演習形式で行われます。「ラテン語Ⅰ文法」で身につけた知識を前提として教科書を進みます。学期の最後にはラテン語で書かれた短い文章の抜粋を読み、読解の基本的な方法を学びます。<br><br>【到達目標】<br>・分詞の用法を身につけている。<br>・ラテン語の文章読解の基本的手順を理解している。<br><br>【授業計画】<br>1. 代名詞類 1<br>2. 代名詞類 2<br>3. 関係代名詞 1<br>4. 関係代名詞 1<br>5. 現在分詞<br>6. 過去分詞<br>7. 奪格別句 1<br>8. 奪格別句 2<br>9. 比較 1<br>10. 比較 2<br>11. 変位動詞<br>12. これまでの復習<br>13. 文章読解の基礎練習 1<br>14. 文章読解の基礎練習 2<br>15. 文章読解の基礎練習 3<br><br>【授業時間外の学習 （準備学習等）】<br>次回範囲の予習と変化表の暗唱が必須。 | | |
| テキスト・参考文献 | 「文法」と「講読」共通で、一年間通して使用します。<br>［教科書］M. アモロス『ラテン語の学び方』（南窓社）：初回授業までに教科書を準備しておくこと。<br>［辞書］水谷智洋編『羅和辞典　改訂版』（研究社）：辞書は他のものでも可。 | | |
| 試験・評価方法 | 授業参加度（50%）と期末の翻訳レポート（50%） | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# ラテン語Ⅱ講読２

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294408 |
| 担当教員 | 松根　伸治（人文学部教授 ） | | |
| 学年配当 | １年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | １単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　月曜,木曜：４限（1515～1645）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | L13 教室 | | |
| 履修条件 | 文法・講読を同時に受講できる人に限定。秋学期のみの受講も不可。<br />教科書（3,456 円）と辞書（6,480 円）のため、１万円近くの教材費がかかる（価格は 2016 年 11 月現在）。 | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ４月,9 月 |
| 講義概要 | 【授業概要】<br>この授業は講義および演習形式で行われます。文法の見直しをしながら、カエサル、キケロー、セネカ、プリーニウスなど、実際にラテン語で書かれた文章の抜粋を読みます。テキストの背景となっている古代ローマの歴史や文化についても学び、2000 年前の人が書いた言葉を読み解く楽しさを味わってみましょう。<br><br>【到達目標】<br>辞書を引きながら平易なラテン語文を訳すことができる。<br><br>【授業計画】<br>1. イントロダクション<br>2. 文章読解の実践練習 １<br>3. 文章読解の実践練習 ２<br>4. 文章読解の実践練習 ３<br>5. 文章読解の実践練習 ４<br>6. これまでの復習<br>7. 文章読解の実践練習 ５<br>8. 文章読解の実践練習 ６<br>9. 文章読解の実践練習 ７<br>10. 文章読解の実践練習 ８<br>11. これまでの復習<br>12. 文章読解の実践練習 ９<br>13. 文章読解の実践練習 10<br>14. 文章読解の実践練習 11<br>15. 文章読解の実践練習 12<br><br>【授業時間外の学習 （準備学習等）】<br>次回範囲の予習が必須。 | | |
| テキスト・参考文献 | 「文法」と「講読」共通で、一年間通して使用します。その他に必要な文章抜粋などは授業で配布。<br>［教科書］M. アモロス『ラテン語の学び方』（南窓社）<br>［辞書］水谷智洋編『羅和辞典　改訂版』（研究社）：辞書は他のものでも可。<br><br>［参考文献］<br>・逸身喜一郎『ラテン語のはなし：通読できるラテン語文法』（大修館書店）<br>・小林標『ラテン語の世界：ローマが残した無限の遺産』（中公新書）<br>・野津寛編著『ラテン語名句小辞典』（研究社） | | |
| 試験・評価方法 | 授業参加度（50%）と期末の翻訳レポート（50%） | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 宗教に見る人間の尊厳 1

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294409 |
| 担当教員 | 佐藤　啓介（人文学部准教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　火曜,金曜：3限（1330～1500）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | M2 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月 |

**講義概要**

【副題】
悩みと苦しみの宗教史

【授業概要】
この授業は講義形式で行われる。
人は自らの弱さや道徳的な悪さに悩んだり、幸福を願ったりするなかで、時に宗教を信じてきた。そして、そのなかで救われたと感じたり、また逆に、かえって悩み苦しむこともあったが、その体験のなかで自分を超えたもの（神や仏）にわずかなりとも出会った、と信じてきた。こうした宗教体験のなかには、「弱さ」や「悪さ」、「無力さ」といったかたちで、人間の「負の側面」が様々にあらわれている。だが、おそらくそれらは恥じるべき負の側面ではなく、人間が人間である以上まぬがれない、本質的な要素であり、それらもまた「人間の尊厳」を裏側から構成している重要な要素のはずである。宗教とは、人間の尊厳をその（できれば見たくない）負の面という裏側から照らし出す入口ではないだろうか。
こうした問題意識から、本講義では、宗教の「ありがたい教え」を説くのではなく、等身大の「悩み」や「苦しみ」をもって宗教と関わった人々の体験や思想を西洋・東洋を問わず取り上げ、その体験のなかに鈍く蓄積している人間の尊厳と呼びうるものを掘り起こしていきたい。

【到達目標】
1. 悩みや苦しみを中心とする多様な宗教現象・宗教思想を学ぶことで、人間の弱さや悪さを考えることの意義を理解する
2. 人間の弱さや悪さという裏面から照射される、人間の大切さ、人間の尊厳とは何かを理解する

【授業計画】
1. イントロダクション：　何を宗教から学ぶのか
2. 宗教・悩み・苦しみ
3. 悪と欲望の悩み（1）　分かっているのにやめられない
4. 悪と欲望の悩み（2）　悪い自分に言い訳したい
5. 悪と欲望の悩み（3）　どうしたら善くなれるのか分からない
6. 不幸の苦しみ（1）　なぜ自分だけがこんな目に遭わないといけないのか
7. 不幸の苦しみ（2）　苦しいうえに孤独でつらい
8. 弱さと無力さの悩み（1）　自分の弱さを見たくない
9. 弱さと無力さの悩み（2）　自分だけがこんなにも無力なのか
10. 生きることの苦しみ（1）　他を犠牲にしないといけないのがつらい
11. 生きることの苦しみ（2）　人に負い目を感じてつらい
12. 生きることの苦しみ（3）　みんな死んでつらい
13. 信じることの悩み（1）　信じればいいというけど、何も信じられない
14. 信じることの悩み（2）　信じることはただの思い込みではないのか
15. 宗教からみる、弱さや悪を抱えた人間の尊厳

【授業時間外の学習　（準備学習等）】
講義で紹介する本や配布した資料をじっくり読み、また自分の関心に応じて参考図書に目を通してください。

| | |
|---|---|
| テキスト・参考文献 | 資料を配布します。<br>【参考文献】<br>佐藤啓介『死者と苦しみの宗教哲学』、晃洋書房、2017 年 |
| 試験・評価方法 | レポート 60%（2,000 字程度）、講義内で数回実施する小テスト 40%で評価します。 |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | |

# 宗教に見る人間の尊厳２

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294410 |
| 担当教員 | 山田　望（総合政策学部教授） | | |
| 学年配当 | ２年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　火曜,金曜：３限（1330～1500）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | G27 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 【授業概要】<br>キリスト教人間観は、「神の似姿」として創造された者として人間は被造物の中でも特異な存在であるという理解と、しかも同時に自然の一部として「泥」から 創造され「泥」に帰る存在でもあるという一見矛盾した理解の上に成り立っている。ユダヤ教以来のこの人間観を、イエスの内に受肉したキリストが取り持つ神 と人との新たな契約関係に移し変えたところにキリスト教人間観の特徴がある。人は「泥」としての弱さ・限界を備えつつも、むしろそれを個の固有性として積 極的にとらえ直すことにより、キリストによって「神の似姿」を霊的に具現する者と成っていく。そこに、人が「人にふさわしく飾られ る」（dignitas）という意味の「人間の尊厳」のキリスト教的理解がある。<br><br>【到達目標】<br>・創世記に始まりアブラハム、イサク、ヤコブ、ヨセフといった旧約の族長物語の中に、神と人とのどのような関わりが描かれているかを理解し、自分の言葉で説明ができるようになる。<br>・「『神の似姿』であり『泥』でもある人間」、「霊的成長を遂げる存在としての人間」、「歴史的存在としての人間」、「真の自由を求める存在と しての人間」といった人間の諸側面に照らした理解を深め、自分の言葉で説明ができるようになる。<br>・イエスの「神の国」について、「善きサマリアの人の譬」、「放蕩息子の譬」、「ぶどう園の労働者の譬」などの譬話や「山上の説教」を取り上げ、そこに描かれる「ドラマ」の内容と聴き手に語られているメッセージを理解し、自分の言葉で説明ができるようになる。<br><br>【授業計画】<br>1. 創造神話の二面的人間観：「神の似姿」と「土の塵」。<br>2. 神話的原因譚とイサク奉献の物語。<br>3. ヨセフ物語と夢解き：摂理と人間。<br>4. 十戒と本当の自由：自由を求める人間像<br>5. 降誕物語に見る「信仰」：絶望の中の灯火。<br>6. イエスと「神の国」思想ー逆転の人間観。<br>7. イエスの教えと癒し<br>8. イエスの譬話（１）<br>9. イエスの譬話（２）<br>10. イエスの受難<br>11. イエスの復活<br>12. パウロの人間観（１）<br>13. パウロの人間観（２）<br>14. 私の宗教体験と人間観（１）<br>15. 私の宗教体験と人間観（２）<br><br>【授業時間外の学習 （準備学習等）】<br>授業中の指示に従うこと。毎回課題を提示する。 | | |
| テキスト・参考文献 | 適宜、その都度、プリント資料を配布する。 | | |
| 試験・評価 | 授業取組度 30%、定期試験 70%で評価する。 | | |

| | |
|---|---|
| 方法 | |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | 講義は、さまざまな文献史料のみならず、ヴィデオやスライドなどの視聴覚資料をも併用しながら進められる。 |

# キリスト教哲学 A

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294411 |
| 担当教員 | 松根　伸治（人文学部教授 ） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　月曜,木曜：3限（1330～1500）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | G26 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【副題】<br>七つの罪源をめぐる思想史<br><br>【授業概要】<br>この授業は講義形式で行われる。七つの罪源（いわゆる七つの大罪）という考え方は、ダンテの『神曲』や映画「セブン」などを通じてよく知られている。この思想が成立した歴史的いきさつを学び、それぞれの悪徳について哲学史的観点から考える。それらがキリスト教的な人間観において深刻な悪徳と見なされるのはなぜか、また、それぞれの名称で私たちが思い浮かべる内容と古代・中世における意味にはどんな違いがあるかに注目する。<br><br>【到達目標】<br>1. 七つの罪源に関わる主要な論点を理解している。<br>2. 哲学史的理解を通じて、自分の欲望や苦悩について考える視点を得る。<br><br>【授業計画】<br>1. イントロダクション<br>2. 七つの罪源の成立史：東方から西方へ<br>3. 倦怠：なぜ深刻な悪徳なのか<br>4. 高慢：「すべての悪の根」<br>5. 原罪と天使の罪<br>6. 嫉妬：ねたみのエネルギー？<br>7. キリスト教思想と徳倫理 1：枢要徳の系譜<br>8. キリスト教思想と徳倫理 2：名誉か謙遜か<br>9. 罪や悪徳を分類する視点の整理<br>10. 怒り：勇気と怒りの関係<br>11. 強欲：商業と利子をめぐって<br>12. 貪食：飲食のモラル<br>13. 色欲：種の保存と「歪んだ」欲望<br>14. 現代の悪徳<br>15. まとめと補遺<br><br>【授業時間外の学習 （準備学習等）】<br>予習は必要なし。講義で紹介する本や配布資料をじっくり読む時間をとってください。 | | |
| テキスト・参考文献 | ハンドアウトを配布。関連書籍は図書館の指定図書コーナーにもあります。<br>［参考文献］<br>・U. ガリンベルティ『七つの大罪と新しい悪徳』多木陽介訳、青土社、2004 年.<br>・J. ドリュモー『罪と恐れ：西欧における罪責意識の歴史／十三世紀から十八世紀』佐野泰雄他訳、新評論、2004 年. | | |
| 試験・評価方法 | ・期末試験（40%）：用語・事項の説明を中心に授業内容の理解を問う。<br>・レポート（40%）：2,000 字程度の論述。<br>・講義メモ（20%）：講義で疑問点や要約などを書いて提出。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# キリスト教哲学Ｂ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294412 |
| 担当教員 | 佐藤　啓介（人文学部准教授） | | |
| 学年配当 | ２年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　火曜,金曜：３限（1330～1500）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | K21 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | ４月,9 月 |
| 講義概要 | 【副題】<br>西洋近代・現代におけるキリスト教と哲学<br><br>【授業概要】<br>この授業は講義形式でおこなわれます。<br>近代以降、西洋の哲学はキリスト教から自立し、むしろ理性の立場からキリスト教を批判する潮流が生まれました。そうしたなかで、思想としてのキリスト教に今なお何を学ぶべきことがあるのか。また、哲学者たちはキリスト教の何を批判し、何を評価しているのか。そうした問題を、キリスト教内外の思想家を取り上げながら考えていきたいと思います。特に、20 世紀後半における「ヨーロッパ」とキリスト教思想の関わりや、価値観のゆらぐ現代社会における倫理に対するキリスト教の関わりといった主題を取り上げます。<br><br>【到達目標】<br>1. 近代以降の西洋世界において、キリスト教思想がもつ哲学的な意義を理解する<br>2. 近代以降におけるキリスト教思想の変容とその背景を理解する<br>3. 現代世界を他者とともに生きるうえで求められる価値観や態度を学ぶ<br><br>【授業計画】<br>1. 近代以降におけるキリスト教哲学<br>2. 哲学におけるキリスト教批判（1）　17～18 世紀<br>3. 哲学におけるキリスト教批判（2）　19 世紀<br>4. 世俗化・無神論・現代世界<br>5. 現代のキリスト教哲学（1）　罪と悪の思想<br>6. 現代のキリスト教哲学（2）　災禍の思想<br>7. 現代のキリスト教哲学（3）　赦しの思想<br>8. 現代のキリスト教哲学（4）　赦しえないものの思想<br>9. 現代のキリスト教哲学（5）　他者と暴力の思想<br>10. 現代のキリスト教哲学（6）　隣人愛再考<br>11. 現代のキリスト教哲学（7）　戦争の思想<br>12. 現代のキリスト教哲学（8）　死者の思想<br>13. 現代世界とキリスト教（1）　ヨーロッパの脱構築<br>14. 現代世界とキリスト教（2）　多宗教との対話<br>15. まとめ<br><br>【授業時間外の学習　（準備学習等）】<br>講義で紹介する本や配布した資料をじっくり読み、また自分の関心に応じて参考図書に目を通してください。 | | |
| テキスト・参考文献 | 資料を配布します。 | | |
| 試験・評価方法 | レポート 60%（2,000 字程度）、講義内で数回実施する小テスト 40%で評価します。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# キリスト教芸術 A(美術)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294413 |
| 担当教員 | TRUFAS, Ileana（人文学部教授 ） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　火曜,金曜：2限（1105～1235）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | S47 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【副題】<br>東方キリスト教芸術<br><br>【授業概要】<br>この授業は講義形式で行われる。<br>芸術は、ある特定の時代や社会を支配している思想や霊性の鏡だと言われるが、このことは東方キリスト教芸術に対しても大いに当てはまる。東方キリスト教芸術――とりわけイコン、フレスコ、モザイク、聖堂建築、典礼的音楽など――は、東方教会にキリスト教への固有な理解、つまりその神学から切り離すことができず、その忠実な表現なのである。本授業では上述のような芸術作品を紹介し、それらの意味および、支えとなっているキリスト教の教えについて考察する。さらに、こうした芸術作品の特徴をより深く把握するため、必要性に応じて西方キリスト教芸術との比較を行う。<br><br>【到達目標】<br>1. 東方キリスト教芸術の特徴を理解こと。<br>2. 東方キリスト教芸術に関する幅広い知識を得ること。<br>3. 東方キリスト教それ自体の特徴をよりよく理解する。<br><br>【授業計画】<br>1. オリエンテーション――キリスト教における聖なる美術と宗教的美術とは<br>2. イコンの歴史と特徴<br>3. キリストのイコン（1）<br>4. キリストのイコン（2）<br>5. 「聖骸布」（DVD）<br>6. 聖母マリアのイコン<br>7. 執り成しのイコン（デイシス）とイコノスタシス<br>8. ロシア・ブルガリアの典礼的音楽<br>9. １２大祭のイコン（1）<br>10. １２大祭のイコン（2）<br>11. １２大祭のイコン（3）<br>12. １２大祭のイコン（4）<br>13. 他のイコン（天使、聖人、三位一体など）<br>14. ビザンティン典礼的音楽<br>15. まとめと試験の準備<br><br>【授業時間外の学習 （準備学習等）】<br>東方キリスト教芸術に関する書物、写真集などにできるだけ目を通しておくこと。 | | |
| テキスト・参考文献 | テキスト<br>授業資料を配布する。カラーイメージの場合、白黒の資料に加えてプロジェクターを使用する。<br>参考文献<br>ジョヴァナ・ムジ著、大森正樹訳　『美の信仰――イコンによる観想――』（新世社、1994年）。 | | |

| | |
|---|---|
| | ミシェル・クノー著、高野禎子訳　『魂に触れるイコン――絶対者に向けて開かれた窓――』（せりか書房、1995 年）。 |
| 試験・評価方法 | （授業参加度を含む）リアクションペーパーの記入内容３０%、定期試験７０%により評価する。 |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | 授業終了前の十分間程度に、その日の授業内容の要点や質問・感想などをリアクションペーパーに記入し、提出すること。 |

# キリスト教芸術 B(典礼音楽)I

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294414 |
| 担当教員 | 西脇　純 （人文学部教授 ） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 1 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　金曜：5限（1700～1830）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉,芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | M1 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 【副題】<br>クリスマス・キャロルを歌いましょう<br><br>【授業概要】<br>この授業は実技形式で行われます。<br>キリスト教は音楽をとても大切にする宗教です。ミサや他の礼拝のなかで音楽によって祝い、祈る音楽は「典礼音楽」と呼ばれ、キリスト教の枠を越えて、世界中の人々に愛されています。この授業では、キリスト教典礼音楽の演奏（合唱）を実際に体験することによって、宗教音楽の根幹である「音楽によって祝い、祈ること」への理解を深めます。<br><br>【到達目標】<br>「音楽（合唱）によって祝い、祈ること」への理解が深まっています。<br><br>【授業計画】<br>1. キリスト教典礼音楽とは？<br>2. 発声のしくみ／声部分け<br>3. キャロルの練習（発声訓練・音取り・アンサンブル）その 1<br>4. キャロルの練習（発声訓練・音取り・アンサンブル）その 2<br>5. キャロルの練習（発声訓練・音取り・アンサンブル）その 3<br>6. キャロルの練習（発声訓練・音取り・アンサンブル）その 4<br>7. キャロルの練習（発声訓練・音取り・アンサンブル）その 5<br>8. まとめ（小テスト）<br><br>＊主にドイツ語、ラテン語、英語によるキャロルを練習いたします。作品の練習と同時に、随時テキストの解説も行ないます。練習したキャロルは、毎年 12 月中旬以降（Q4）に神言神学院大聖堂およびロゴスセンターにて開催される「南山大学降誕祭」の中で演奏いたします。<br><br>【授業時間外の学習 （準備学習等）】<br>授業で取り組むキャロルを自主的に練習しておいてください。 | | |
| テキスト・参考文献 | 適宜プリントを配布いたします。 | | |
| 試験・評価方法 | ◆出席および授業態度 75%、レポート 25%により判断いたします。<br>◆合唱は集団行動という側面を持っており、各人が積極的に課題に取り組む姿勢が問われます。したがって、出席と授業態度を重視いたします。<br>◆単位取得のためには、授業への積極的な取り組みに加え、3 分の 2 以上の出席と、期末レポートの提出が求められます。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | ◆「キリスト教芸術Ｂ（典礼音楽）Ⅰ」だけでは講義内容は完結いたしません。あらかじめ「Ⅱ」も登録しておかれることをおすすめいたします。<br>◆共同で歌い祈るという典礼音楽の性格上、「溶け合う声」の修得のための発声練習を行いますが、事前の知識は特に必要ありませんし、合唱経験も問いません。基礎から学びますので、どなたでも参加できます。 | | |

| | |
|---|---|
| | ◆実践を通して学ぶ体験型の授業です。南山生との交流の機会にもなります。大学時代の良き思い出にぜひどうぞ。 |

# キリスト教芸術 B(典礼音楽)II

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294415 |
| 担当教員 | 西脇　純 （人文学部教授 ） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 1 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　金曜：5限（1700～1830）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉,芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | M1 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 【副題】<br>クリスマス・キャロルを歌いましょう<br><br>【授業概要】<br>この授業は実技形式で行われます。<br>キリスト教は音楽をとても大切にする宗教です。ミサや他の礼拝のなかで音楽によって祝い、祈る音楽は「典礼音楽」と呼ばれ、キリスト教の枠を越えて、世界中の人々に愛されています。この授業では、キリスト教典礼音楽の演奏（合唱）を実際に体験することによって、宗教音楽の根幹である「音楽によって祝い、祈ること」への理解を深めます。<br><br>【到達目標】<br>「音楽（合唱）によって祝い、祈ること」への理解が深まっています。<br><br>【授業計画】<br>1. キャロルの練習（発声訓練・音取り・アンサンブル）その 6<br>2. キャロルの練習（発声訓練・音取り・アンサンブル）その 7<br>3. キャロルの練習（発声訓練・音取り・アンサンブル）その 8<br>4. キャロルの練習（発声訓練・音取り・アンサンブル）その 9<br>5. キャロルの練習（発声訓練・音取り・アンサンブル）その 10<br>6. 南山大学降誕祭において演奏<br>7. まとめ<br>8. レポート作成<br><br>＊主にドイツ語、ラテン語、英語によるキャロルを練習いたします。作品の練習と同時に、随時テキストの解説も行ないます。練習したキャロルは、毎年 12 月中旬以降（Q4）に神言神学院大聖堂およびロゴスセンターにて開催される「南山大学降誕祭」の中で演奏いたします。<br><br>【授業時間外の学習 （準備学習等）】<br>授業で取り組むキャロルを自主的に練習しておいてください。 | | |
| テキスト・参考文献 | 適宜プリントを配布いたします。 | | |
| 試験・評価方法 | ◆出席および授業態度 75%、レポート 25%により判断いたします。<br>◆合唱は集団行動という側面を持っており、各人が積極的に課題に取り組む姿勢が問われます。したがって、出席と授業態度を重視いたします。<br>◆単位取得のためには、授業への積極的な取り組みに加え、3 分の 2 以上の出席と、期末レポートの提出が求められます。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | ◆「キリスト教芸術Ｂ（典礼音楽）Ｉ」の内容を前提として授業を進めてまいります。あらかじめ「Ｉ」を履修しておかれることをおすすめいたします。<br>◆共同で歌い祈るという典礼音楽の性格上、「溶け合う声」の修得のための発声練習を行いますが、事前の知識は特に必要ありませんし、合唱経験も問いません。基礎から学びますので、どな | | |

| | |
|---|---|
| | たでも参加できます。<br>◆実践を通して学ぶ体験型の授業です。南山生との交流の機会にもなります。大学時代の良き思い出にぜひどうぞ。 |

# 言語学概論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294416 |
| 担当教員 | 青柳　宏（人文学部教授 ） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　火曜,金曜：3限（1330～1500）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | MB2 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月,9 月 |

**講義概要**

【副題】
世界のさまざまな言語と普遍文法

【授業概要】
この授業は講義形式で行われる。
ヒトという種が生得的知識として普遍文法(Universal Grammar)を有するという生成文法の仮説をもとに言語類型論を考える。
その数が 3,000 とも 5,000 とも、場合によっては、10,000 ともいわれる世界の言語は、それぞれが特徴を持っている一方、系統的に関係がなくても、その歴史的変化や統語構造に驚くほどの類似点がみられる場合がある。本講義では、可能な限りさまざまな言語の実態に触れながら、このような類似点をどう見つけ出し、どう説明するかを考える。

【到達目標】
1. 日本語や英語といった身近な言語だけでなく、他のさまざまな特徴を持った言語があることが理解できる。
2. 世界の言語には多様性があるばかりか、系統的に無関係な言語間にも普遍性があることを理解できる。

【授業計画】
1. 世界の言語の数（言語と方言）
2. 音韻のバリエーション（その１）
3. 音韻のバリエーション（その２）
4. 音韻のバリエーション（その３）
5. 音韻のバリエーション（その４）
6. 音韻のバリエーション（その５）
7. 言語の歴史的変化（その１）
8. 言語の歴史的変化（その２）
9. 言語の歴史的変化（その３）
10.言語の歴史的変化（その４）
11.言語の再建（その１）
12.言語の再建（その２）
13.言語と文字（その１）
14.言語と文字（その２）
15.まとめ

【授業時間外の学習 （準備学習等）】
以下の参考文献や逐次 webclass にアップロードされる参考資料を熟読し、授業で取り上げる世界の言語の諸相について理解を深める。
1. 『世界言語文化図鑑』　バーナード・コムリー、他　東洋書林.
2. 『言語学百科事典』　ディビッド・クリスタル　大修館書店.
3. 『世界の言語と日本語』　角田太作　くろしお出版.
4. 『世界の言語ガイドブック１、２』　東京外大語学研究所（編）　三省堂.

| | |
|---|---|
| テキスト・参考文献 | 必要に応じて参考資料等をプリントして配布するか、※webclass に掲示する。 |
| 試験・評価方法 | 期末試験 100% |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | ※この科目は南山大学のアカウント取得が必要です。授業時間外に１時間ほどガイダンスを実施します。 |

# 人類文化学特殊講義(縄紋文化論)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294417 |
| 担当教員 | 大塚　達朗（人文学部教授 ） | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　月曜,木曜：4限（1515～1645）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | FB2 教室、人類学博物館 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 2 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 【副題】<br>縄紋文化の見直し<br><br>【授業概要】<br>この授業は講義形式でおこなわれる。<br>縄紋文化は、日本列島内で独特・固有な変遷を示す縄紋土器を育んだ文化という了解に加えて、農耕に依存しないが、高度な定住性を示す狩猟民による特異な文化と理解されるようになった。列島外の諸先史文化とは没交渉で列島内に高度で特異な内容の単一な新石器文化であることが強調されてきた。はたして、縄紋文化は単一で固有な文化といいきれるのか、むしろ複雑な由来の多文化的複合の可能性があることをデータの解説と人類学博物館の所蔵資料とから解説する。<br><br>【到達目標】<br>1. 縄紋文化研究の歴史を理解している。<br>2. 型式編年研究成果から土器型式の広がりの意味を理解している。<br>3. 食料獲得行動のモデルを理解している。<br>4. ドングリ利用の意義を理解している。<br>5. 古環境データから文化の見直しを行う方法を理解している。<br><br>【授業計画】<br>1. なぜ縄紋文化を見直す必要があるのか（講議全体のガイダンス：人類学博物館に必ず集合すること）<br>2. 縄紋文化の定義（縄紋土器によって定義される土器文化）<br>3. 縄紋文化論の系譜（日本文化論と北方文化論と南島文化論）<br>4. 短期編年と長期編年との年代観の違い（交差編年と炭素年代法）<br>5. 縄紋文化の起源論の問題点（サケ・マス論）<br>6. 更新世の土器と狩猟採集民（遊動から定住へ）<br>7. 定住社会論1（5−10 キロモデルとコレクターモデル）<br>8. 定住社会論2（遺跡数と人口）<br>9. 定住社会論3（越冬と生業）<br>10. 縄紋土器の今日的評価1（土器製作のメカニズム）<br>11. 縄紋土器の今日的評価2（土器型式論と階層化社会）<br>12. 北東アジア先史社会からの視点（環日本海狩猟採集民の世界）<br>13. 縄紋文化の再構築（階層化された狩猟採集民の社会）<br>14. 縄紋文化から弥生文化への移行の再検討<br>15. 縄紋文化研究の今後の課題（講義のまとめ）<br><br>【授業時間外の学習 （準備学習等）】<br>1. 人類学博物館を日ごろ見学しておくこと。<br>2. 予習すべきことは、授業中に指示する。<br>3. 復習すべきことは、授業中に指示する。 | | |
| テキスト・参考文献 | 必要に応じて配布する。 | | |
| 試験・評価 | 授業参加度 10%、小レポート（「サケ・シカ・イノシシ」レポート、「ドングリ」レポート） | | |

| | |
|---|---|
| 方法 | 40%、定期試験 50%で評価する。 |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | 受講生に、縄紋文化の見直しに興味を抱いてもらいたいことと縄紋土器に親しみをもってもらいたいことのために、縄紋文化のコレクションで著名な人類学博物館の、その縄紋土器展示物を検討することも授業に組み込まれているので、受講生は真摯な態度で参加することが求められている。 |

# 科学コミュニケーション

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294418 |
| 担当教員 | 横山　輝雄 （人文学部教授 ） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　火曜,金曜：3限（1330～1500）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 社会・マスコミ・情報 | | |
| 教室 | E11 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【副題】<br>コミュニケーションと科学・文化<br><br>【授業概要】<br>この授業は、講義形式で行われる。<br>コミュニケションと文化をめぐる問題を科学技術を中心に検討する。<br><br>【到達目標】<br>コミュニケションと科学・文化をめぐる問題にたいする観点を理解できている。<br><br>【授業計画】<br>1. はじめに<br>2. コミュニケションと科学・文化<br>3. 声の文化と文字の文化<br>4. メディア革命と知覚の近代<br>5. 新聞と近代ジャーナリズム<br>6. 電信ケーブルと世界の一体化<br>7. 電話の誕生<br>8. 映画と映像メディア<br>9. ラジオとテレビ<br>10. 携帯からケータイへ<br>11. パソコンとネットワーク社会<br>12. 科学報道<br>13. リスクコミュニケーション<br>14. 科学リテラシー<br>15. まとめ<br><br>【授業時間外の学習 （準備学習等）】<br>1. 授業の前準備として、他の授業で学んだ関連事項を復習しておくこと。<br>2. 第２週以降は、上記の授業計画を参考にして、資料などを読んでおくこと。 | | |
| テキスト・参考文献 | 適宜紹介する。 | | |
| 試験・評価方法 | 定期試験（１００パーセント）で評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 人間関係概論 1

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294419 |
| 担当教員 | 中村　和彦　（人文学部教授 ） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　水曜：1 限（920～1050）2限 11051235 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | D51 教室、R63 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【副題】<br>人間関係を自らの体験から学ぶ（ラボラトリー方式の体験学習入門）<br><br>【授業概要】<br>この授業は実習および講義形式で行われる。人間関係を学ぶ際には、先人が見出した理論から学ぶ方法（心理学や社会学などの学問から学ぶ）と、自らの体験から自分自身の人間関係を学ぶ方法（体験学習）があります。前者は、普遍的な人間関係の原理を整理するために役立ち、後者は自分自身の人間関係の持ち方について、直接的にふりかえり、気づき、自己の成長につなげることが可能となります。この授業では、人間関係に関わる実習を授業で実施し、その体験を通して自分自身の他者との関わり方の理解に取り組みます。<br><br>【到達目標】<br>・体験から学ぶという学び方が理解できている。<br>・自分自身のコミュニケーションやグループの中での他者との関わり方の特徴に気づいている。<br>・行動目標を設定し、それに取り組むことを通して、自己成長に取り組むことができている。<br><br>【授業計画】<br>この授業は２コマ連続（縦置き）で実施されます。<br>授業は、（１）人間関係の「実習の体験」、（２）その実習での自分や他者の言動・影響関係についての「ふりかえり」、（３）学びを促進するための「小講義」、から構成されています。実習形式を中心に進めていきます。なお、この授業では、「コーチング・トリオ」を実施します。「コーチング・トリオ」は、あらかじめ割り当てられた３人がこの授業の中で３～４回集まり、お互いに成長を支援しあうものです。<br>各回の授業内容は以下の通りです。<br>第１回　１．イントロダクション（この授業の特徴について）<br>　　２．体験学習を体験する（典型的なグループ実習の実施）<br>第２回　３．コーチング・トリオづくり<br>　　４．小講義「体験学習とは」、この授業での各自のねらいの設定<br>第３回　５．コミュニケーション実習<br>　　６．小講義「コミュニケーションのプロセス」<br>第４回　７．小講義「フィードバックの留意点」<br>　　８．コーチング・トリオ実習<br>第５回　９．グループでの問題解決実習⑴［グループワークの実施］<br>　　10．グループでの問題解決実習⑵［ふりかえり］<br>第６回　11．小講義と実習「ラボラトリー方式の体験学習をより理解するために」<br>　　12．コーチング・トリオ実習<br>第７回　13．グループでのコンセンサス実習⑴［課題の実施］<br>　　14．グループでのコンセンサス実習⑵［ふりかえり］<br>第８回　15．この授業のまとめ<br><br>【授業時間外の学習 （準備学習等）】<br>テキストの指定された章を熟読してくること。次週までに読む必要がある章はその前の週の授業時に伝えます。 | | |

| | |
|---|---|
| テキスト・参考文献 | 津村俊充・山口真人（編）　人間関係トレーニング（第２版）――私を育てる教育への人間学的アプローチ――　ナカニシヤ出版 |
| 試験・評価方法 | 授業および実習への参加度（50%）、レポートの内容（50%）によって評価します。評価は PF 方式によって行います。なお、体験学習で進めるため、実習への体験を重要視します。そのため、欠席が全授業数の１／６を超えた場合は、体験の不足を補うための追加課題の提出を求めます。 |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | この講義は、初回授業後にクラス分けを行います。<br>体験学習方式は、学生の皆さんが主体的に参加し、自ら学ぶ教育方法です。ふりかえりの際には、他の学生からあなた自身の特徴についてフィードバックを受ける機会もあります。他者との関わりの中での自分を見つめたい方に最適です。 |

# 人間関係概論２

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294420 |
| 担当教員 | 土屋　耕治（人文学部講師 ） | | |
| 学年配当 | １年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　水曜：１限（920～1050）2限 11051235 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | D51 教室、R63 教室（※初回授業は D51 教室の予定） | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ４月 |

**講義概要**

【副題】
人間関係を自らの体験から学ぶ（ラボラトリー方式の体験学習入門）

【授業概要】
この授業は実習および講義形式で行われる。人間関係を学ぶ際には、先人が見出した理論から学ぶ方法（心理学や社会学などの学問から学ぶ）と、自らの体験から自分自身の人間関係を学ぶ方法（体験学習）があります。前者は、普遍的な人間関係の原理を整理するために役立ち、後者は自分自身の人間関係の持ち方について、直接的にふりかえり、気づき、自己の成長につなげることが可能となります。この授業では、人間関係に関わる実習を授業で実施し、その体験を通して自分自身の他者との関わり方の理解に取り組みます。

【到達目標】
・体験から学ぶという学び方が理解できている。
・自分自身のコミュニケーションやグループの中での他者との関わり方の特徴に気づいている。
・行動目標を設定し、それに取り組むことを通して、自己成長に取り組むことができている。

【授業計画】
この授業は２コマ連続（縦置き）で実施されます。
授業は、（１）人間関係の「実習の体験」、（２）その実習での自分や他者の言動・影響関係についての「ふりかえり」、（３）学びを促進するための「小講義」、から構成されています。実習形式を中心に進めていきます。なお、この授業では、「コーチング・トリオ」を実施します。「コーチング・トリオ」は、あらかじめ割り当てられた３人がこの授業の中で３～４回集まり、お互いに成長を支援しあうものです。
各回の授業内容は以下の通りです。
第１回　１．イントロダクション（この授業の特徴について）
　　２．体験学習を体験する（典型的なグループ実習の実施）
第２回　３．コーチング・トリオづくり
　　４．小講義「体験学習とは」、この授業での各自のねらいの設定
第３回　５．コミュニケーション実習
　　６．小講義「コミュニケーションのプロセス」
第４回　７．小講義「フィードバックの留意点」
　　８．コーチング・トリオ実習
第５回　９．グループでの問題解決実習⑴［グループワークの実施］
　　10．グループでの問題解決実習⑵［ふりかえり］
第６回　11．小講義と実習「ラボラトリー方式の体験学習をより理解するために」
　　12．コーチング・トリオ実習
第７回　13．グループでのコンセンサス実習⑴［課題の実施］
　　14．グループでのコンセンサス実習⑵［ふりかえり］
第８回　15．この授業のまとめ

【授業時間外の学習 （準備学習等）】
テキストの指定された章を熟読してくること。次週までに読む必要がある章はその前の週の授業時に伝えます。

| | |
|---|---|
| テキスト・参考文献 | 津村俊充・山口真人（編）　人間関係トレーニング（第２版）――私を育てる教育への人間学的アプローチ――　ナカニシヤ出版 |
| 試験・評価方法 | 授業および実習への参加度（50%）、レポートの内容（50%）によって評価します。評価は PF 方式によって行います。なお、体験学習で進めるため、実習への体験を重要視します。そのため、欠席が全授業数の１／６を超えた場合は、体験の不足を補うための追加課題の提出を求めます。 |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | この講義は、初回授業後にクラス分けを行います。<br>体験学習方式は、学生の皆さんが主体的に参加し、自ら学ぶ教育方法です。ふりかえりの際には、他の学生からあなた自身の特徴についてフィードバックを受ける機会もあります。他者との関わりの中での自分を見つめたい方に最適です。 |

# 教育課程論 1

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294421 |
| 担当教員 | 山﨑　智子（教職センター講師） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　火曜,金曜：5限（1700～1830）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | Q313 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【授業概要】<br>この授業は講義形式で行われる。<br>この授業では、日本の学校におけるカリキュラムの歴史的な変遷とその特徴について、系統主義／経験主義という軸を理解しつつ、そうした対立軸を超えるような視点（カリキュラム・イノベーション）も取り入れながら学習する。<br><br>【到達目標】<br>1. 日本の学校におけるカリキュラムの変遷とその特徴を説明できる。<br>2. カリキュラムに関する重要な概念を説明できる。<br>3. カリキュラムをめぐる諸課題について、根拠を示しながら自らの考えを述べることができる。<br><br>【授業計画】<br>1. オリエンテーション<br>2. カリキュラムを捉える視点<br>3. 系統主義と経験主義<br>4. 戦前の教育内容<br>5. 自由教育<br>6. 学習指導要領（試案）<br>7. 1958 年学習指導要領改訂<br>8. 新学力観<br>9. 総合的な学習の時間<br>10. 生きる力<br>11. 2008 年学習指導要領改訂<br>12. 次期学習指導要領改訂の方向性<br>13. 国際的な動向<br>14. カリキュラム・マネジメントとカリキュラム・イノベーション<br>15. 総括および補足<br><br>【授業時間外の学習 （準備学習等）】<br>1. テキストを熟読し、次回の授業に備える（予習）。<br>2. 授業の内容について復習する。 | | |
| テキスト・参考文献 | 授業の際に配布する。 | | |
| 試験・評価方法 | 全講義の 2/3 以上の出席を満たさない者は不可とする。評価は、授業参加度（60%）、試験・レポート・提出物（40%）により行う。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 教育課程論２

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294422 |
| 担当教員 | 山﨑　智子（教職センター講師） | | |
| 学年配当 | ２年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　火曜,金曜：５限（1700～1830）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | Q501 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | ４月,9 月 |
| 講義概要 | 【授業概要】<br>この授業は講義形式で行われる。<br>この授業では、日本の学校におけるカリキュラムの歴史的な変遷とその特徴について、系統主義／経験主義という軸を理解しつつ、そうした対立軸を超えるような視点（カリキュラム・イノベーション）も取り入れながら学習する。<br><br>【到達目標】<br>1. 日本の学校におけるカリキュラムの変遷とその特徴を説明できる。<br>2. カリキュラムに関する重要な概念を説明できる。<br>3. カリキュラムをめぐる諸課題について、根拠を示しながら自らの考えを述べることができる。<br><br>【授業計画】<br>1. オリエンテーション<br>2. カリキュラムを捉える視点<br>3. 系統主義と経験主義<br>4. 戦前の教育内容<br>5. 自由教育<br>6. 学習指導要領（試案）<br>7. 1958 年学習指導要領改訂<br>8. 新学力観<br>9. 総合的な学習の時間<br>10. 生きる力<br>11. 2008 年学習指導要領改訂<br>12. 次期学習指導要領改訂の方向性<br>13. 国際的な動向<br>14. カリキュラム・マネジメントとカリキュラム・イノベーション<br>15. 総括および補足<br><br>【授業時間外の学習 （準備学習等）】<br>1. テキストを熟読し、次回の授業に備える（予習）。<br>2. 授業の内容について復習する。 | | |
| テキスト・参考文献 | 授業の際に配布する。 | | |
| 試験・評価方法 | 全講義の 2/3 以上の出席を満たさない者は不可とする。評価は、授業参加度（60%）、試験・レポート・提出物（40%）により行う。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 人間関係プロセス論(ファシリテーション・アプローチ)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294423 |
| 担当教員 | 中村　和彦 （人文学部教授 ）池田　満（人文学部講師 ） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 3 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　月曜,金曜：3限（1330～1500）4限 15151645 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | R63 教室 | | |
| 履修条件 | ・月曜 3～4 限：9/16～11/10　　・金曜 3～4 限：11/17～1/27 | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 【授業概要】<br>この授業は実習および講義形式で行われる。<br>人間関係の中でも小グループの中で生じる人間関係のダイナミックスを理解する。特に、ラボラトリー方式の体験学習における実習に参加しながら、グループ・ダイナミックスの理論とグループワークの実際とを統合的に学ぶ。同時に、グループプロセスに働きかける力（ファシリテーション能力）を養うことを目指す。２コマ続きで行う。<br><br>【到達目標】<br>・グループプロセスとは何かを理解している。<br>・グループプロセスのファシリテーション（グループプロセスに気づき、意識的にグループやメンバーに働きかけること）の基礎的な理論とスキルが身に付いている。<br>・フィードバックを伝え、もらうことを通して自分を成長させるとともに、相手の成長に自分を役立てることを体験的に理解し、実践できている。<br><br>【授業計画】<br>1. 体験学習を体験する（前半グループでの活動①）：問題解決実習と小講義「体験学習とは何か」<br>2. プロセスに目を向ける（前半グループでの活動②）：グループでの実習<br>3. グループプロセスを観る（前半グループでの活動③）：プロセスを観察する<br>4. グループプロセスに気づく（前半グループでの活動④）：実習「ＰＯＰＯ①」<br>5. グループプロセスに気づく（前半グループでの活動⑤）：実習「ＰＯＰＯ②」<br>6. グループプロセスに気づき働きかける（前半グループでの活動⑥）：実習「ブロックモデル」<br>7. グループの変化成長をふりかえる（前半グループでの活動⑦）：実習「グループの変化成長」<br>8. 新しいグループでの関係づくり（後半グループ①）：実習「持ち寄りホームパーティ」<br>9. ファシリテーターの体験から学ぶ（後半グループ②）：ファシリテーター実習①<br>10. ファシリテーターの体験から学ぶ（後半グループ③）：ファシリテーター実習②、③<br>11. 働きかけを考える（後半グループ④）：実習「プロセスへの働きかけを考える」<br>12. ファシリテーターの体験から学ぶ（後半グループ⑤）：ファシリテーター実習④、⑤<br>13. ファシリテーターの体験から学ぶ（後半グループ⑥）：ファシリテーター実習⑥（制作型実習）<br>14. プロセスに気づき働きかける（後半グループ⑦）：コンセンサス実習<br>15. グループの変化成長に気づく：グループの変化成長のあとづけとフィードバック・セッション<br><br>【授業時間外の学習 （準備学習等）】<br>グループプロセスやファシリテーションに関する理論を理解するための課題が数回提示されるので、それに取り組み、提出する必要がある。 | | |
| テキスト・参考文献 | 津村俊充・山口眞人（編）「人間関係トレーニング（第２版）」ナカニシヤ出版 | | |
| 試験・評価方法 | 授業参加度（30%）、課題の提出（40%）、期末レポート（30%）から評価する。評価は PF 方式によって行う。なお、体験学習で進めるため、実習への体験を重要視する。そのため、欠席 | | |

| | |
|---|---|
| | が全授業数の１／６を超えた場合は、体験の不足を補うための追加課題の提出を求める。 |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | |

# 日本文化史Ｂ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294424 |
| 担当教員 | 松田　京子 （人文学部教授 ） | | |
| 学年配当 | ２年,3 年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　月曜,木曜：２限（1105～1235）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | E11 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 【副題】<br>海を渡った「日本文化」、日本社会のなかの「異文化」<br><br>【授業概要】<br>この授業は講義形式で行われる。<br>19 世紀後半以降の「世界」は、さまざまな交通・通信手段の発達により、いわば「距離」が縮まり、それぞれの地域の経験の相互関連性が、一段と強くなったと言われています。「日本」、「日本文化」もその例外ではありません。近代期の日本は移民を送り出していた国の一つで、多くの人々が、日本の非勢力圏であったハワイや南北アメリカ大陸、また勢力圏であった台湾や朝鮮半島、中国東北部（「満州」）といった諸地域に移り住みました。また逆に、日本社会内部にも異なる文化的背景を持つ人々が定住するようになり、とりわけ 1920 年代には東京や大阪といった都市部を中心に、朝鮮半島出身の人々が集住地区を形成するようになります。<br>このような、いわば日本社会のなかの「異文化」は、周囲の人々にどのような影響を与え、交流や葛藤を生み出していったのでしょうか。また海を渡った「日本文化」は、移出先の社会にどのような影響を与え、交流や軋轢を生み出していったのでしょうか。本講義では、このような問題を、特に映像作品などを素材として、考えていきます。<br><br>【到達目標】<br>・人の移動という観点からみた、近代期の「文化」交流に関する歴史的知識を習得している。<br>・映像資料の視聴により、過去の出来事や状況について具体的に想起する力（歴史的想像力）を習得している。<br><br>【授業計画】<br>第１回　序⑴ 海を渡った「日本文化」－日本から海を渡った人々－<br>第２回　序⑵ 日本社会のなかの「異文化」－日本へやって来た人々－<br>第３回 日本社会のなかの「異文化」⑴ 前近代の「異文化」交流－VTR「江戸時代の朝鮮通信使」などの視聴より－<br>第４回　日本社会のなかの「異文化」⑵ 在日朝鮮・韓国人社会形成史－大阪「猪飼野」を中心に―<br>第５回　日本社会のなかの「異文化」⑶ 阪神間モダニズムと人の移動<br>第６回　日本社会のなかの「異文化」⑷「文化」の交流・葛藤－落語「代書」などの視聴より－<br>第７回　　小括<br>第８回　海を渡った「日本文化」⑴ 非勢力圏への移民、勢力圏への移民<br>第９回　海を渡った「日本文化」⑵ 在米日本人社会形成史<br>第 10 回　海を渡った「日本文化」⑶ 1920 年代の在米日本人社会<br>第 11 回　海を渡った「日本文化」⑷ 戦争の時代の在米日系人社会－DVD「映像の世紀」などの視聴より－<br>第 12 回　海を渡った「日本文化」⑸ 「満州」移民と小説『大日向村』・映画「大日向村」<br>第 13 回　海を渡った「日本文化」⑹ 日本人移民と「満州」での生活－DVD「想ひでの満州」などの視聴より－<br>第 14 回　海を渡った「日本文化」⑺ 引揚げ体験と記憶の中の「満州」<br>第 15 回　　総括 | | |

| | |
|---|---|
| | 【授業時間外の学習 （準備学習等）】<br>第２回以降のプリントや授業で扱う資料は事前に配布します。授業中に行う指示に従って、それらの配布物を読み予習してください。 |
| テキスト・参考文献 | プリントを配布する予定。参考文献については、講義中に適宜、紹介します。 |
| 試験・評価方法 | 授業参加度（30%）、筆記試験（70%） |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | |

# 近現代小説研究

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294425 |
| 担当教員 | 細谷　博 （人文学部教授 ） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　火曜,金曜：2限（1105～1235）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | HB1 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 4 月 |

**講義概要**

【副題】
小説の面白さ、人間模様と＜人間理解のかたち＞

【授業概要】
　この授業は講義形式で行われる。
　近代・現代小説の傑作をとりあげて、具体的にその面白さをよく味わい、さらに、小説とは何か、小説を読むという行為にはどのような意味や問題があるのかを考察する。
　谷崎潤一郎の長編『細雪』は、家庭内外の人間関係を様々な出来事の推移の中で表現した小説である。その日々を生きる人間たちの生の持続の感触をすぐれてあらわした表現の具体的検討を行うことで、あらためて見出された＜人間理解のかたち＞としての文学について考察する。映画化作品との比較検討も行う。

【到達目標】
1. 自分の読み方を点検しつつ読解できる着実な鑑賞ができる。
2. 作品の表現や構成の特質を理解し分析することができる。
3. 多様な解釈の可能性を理解し検討することができる。

【授業計画】
1.　導入　〈読み〉の意識化について
2. 作品の読解分析、批評(1)
3. 作品の読解分析、批評(2)
4. 作品の読解分析、批評(3)
5. 作品の読解分析、批評(4)
6. 作品の読解分析、批評(5)
7. 作品の読解分析、批評(6)
8. 作品の読解分析、批評(7)、映画化作品との比較検討(1)
9. 作品の読解分析、批評(8)、映画化作品との比較検討(2)
10. 作品の読解分析、批評(9)
11. 作品の読解分析、批評(10)
12. 作品の読解分析、批評(11)
13. 作品の読解分析、批評(12)
14. 作品の読解分析、批評(13)
15. 作品の読解分析、批評(14)、まとめ

【授業時間外の学習　（準備学習等）】
1. 授業の前準備として、次回にやる部分を読んでおくこと。
2. 作品の全体をつかむために読み進めていくこと。

**テキスト・参考文献**

テキスト：
谷崎潤一郎『細雪』上・中・下、新潮文庫、新潮社
参考文献：
細谷博『凡常の発見　漱石・谷崎・太宰』明治書院

| | |
|---|---|
| | ジェーン・オースティン（小山太一訳）『自負と偏見』新潮文庫、新潮社 |
| 試験・評価方法 | 総合評価（授業参加度 20%、定期試験 80%）。但し、欠席過多は適用しない。<br>６回以上欠席した者は、成績評価を１ランク下げる。A+→A　A→B　B→C（C は D に下げず） |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | |

# 日本民俗文化論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294426 |
| 担当教員 | 濱田　琢司（人文学部教授 ） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　火曜,金曜：1 限（920～1050）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | MB11 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【副題】<br>民俗文化の発見と文化的消費<br><br>【授業概要】<br>　この授業は，講義形式で行われます。<br>　現在、私たちが、文化的価値のあるものとして認識している事柄には、近代以降に「発見」され価値づけられたものが多くあります。講義では、第一に、様々な形で行われたこの「文化の発見」と民俗との関わりについて考えていきます。特に知識人が地方文化を価値付けていくプロセスに注目します。具体的には、民俗芸能や民具，あるいは民家といった、日本のフォークカルチャーをめぐる事項について、日本民俗学や民具学などの成り立ちろともに考えます。第二に、この「文化の発見」を、地域の人々がどのように受け入れていったのか、そして観光振興や地域おこしなどにどのように活用していったかを検討します。さらに「新しい」伝統文化・産業の創造といった近年の地方行政における文化政策などについても、上記の事柄と関連づけながら考えていくことにします。<br><br>【到達目標】<br>・現在の民俗文化の成り立ちと、その価値付けの過程を理解できている。<br>・多様な成り立ちを持つ民俗文化を、客観的に捉え、分析する視点を獲得できている。<br>・日本民俗学、民具学について、基礎的な知識を獲得できている。<br>・講義を通して得られた知見を、より広く近現代の民俗文化・地域文化の分析に敷衍できる。<br><br>【授業計画】<br>1. 文化的価値付けの構造<br>2. 民俗文化発見の草創―『遠野物語』(1)―<br>3. 民俗文化発見と地域アイデンティティー―『遠野物語』(2)―<br>4. 柳田国男と地方文化<br>5. 日本民俗学の発生とその周辺<br>6. 民間習俗の価値づけ<br>7. 「ナマハゲ」の流通と消費<br>8. 「身辺卑近」を価値付ける―民具への注目(1)―<br>9. 渋沢敬三と民具学―民具への注目(2)―<br>10. 生活の場への関心―民家(1)―<br>11. 今和次郎の民家研究―民家(2)―<br>12. 趣味的対象としての民俗文化―郷土玩具(1)―<br>13. 民俗文化の創生―郷土玩具(2)―<br>14. フォークロリズムとしての民俗文化<br>15. 民俗文化の将来を考える<br><br>【授業時間外の学習　（準備学習等）】<br>・「日本文化学入門」を履修していた場合は、その内容を復習・再確認しておくこと。<br>・2回目以降の講義については、毎回、前回の講義内容を再確認しておくこと。<br>・事前にテキストを配布し、予習を促す回もある。その折は必ず指示に従うこと。 | | |
| テキスト・ | プリント等配布。参考文献は、適宜指示します。 | | |

| | |
|---|---|
| 参考文献 | |
| 試験・評価方法 | 定期試験が 80%、講義期間中課題が 20%（※WebClass を通して数回のミニレポートを課す） |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | ※この科目は南山大学のアカウント取得が必要です。授業時間外に１時間ほどガイダンスを実施します。 |

# 漢文学概論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294427 |
| 担当教員 | 西岡　淳（人文学部教授 ） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　火曜,金曜：3限（1330～1500）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | B21 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【副題】<br>漢文読解入門<br><br>【授業概要】<br>この授業は講義および演習形式で行われる。<br>中国古典、日本漢文のうち、散文を中心に訓読法による読解力を培うことを主眼とし、漢語の成立と歴史、漢文法（訓読法を含む）の概要を含めて講ずる。毎回資料を配布し、自分で辞書を引きながらそれを解釈するので、漢和辞典を毎回持参すること。作品選読に際しては、履修者の漢詩文読解力に応じて毎回選定し、読解の意欲を高めるべく配慮する。<br><br>【到達目標】<br>解釈書等に頼らず、漢文を直接読むことができる。<br>辞書を用いて漢文を読む「技術」を体得している。<br><br>【授業計画】<br>1. 導入（授業に必要な工具書や資料の説明）<br>2. 資料読解演習：先秦・前漢編（1）<br>3. 資料読解演習：先秦・前漢編（2）<br>4. 資料読解演習：先秦・前漢編（3）<br>5. 資料読解演習：魏晋南北朝編（1）<br>6. 資料読解演習：魏晋南北朝編（2）<br>7. 資料読解演習：魏晋南北朝編（3）<br>8. 資料読解演習：唐宋編（1）<br>9. 資料読解演習：唐宋編（2）<br>10. 資料読解演習：唐宋編（3）<br>11. 資料読解演習：唐宋編（4）<br>12. 資料読解演習：唐宋編（5）<br>13. 資料読解演習：明清編（1）<br>14. 資料読解演習：明清編（2）<br>15. まとめ<br><br>【授業時間外の学習 （準備学習等）】<br>1. これまでに学習した漢文の教科書を見直して、基本的な語法等を学習しておくこと。<br>2. 授業で使用した資料の読解ができるようにしておくこと。 | | |
| テキスト・参考文献 | 毎回コピーを用いる。 | | |
| 試験・評価方法 | レポート（毎回提出）60%、定期試験 40% | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 日本文化学入門

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294428 |
| 担当教員 | 濱田　琢司（人文学部教授 ） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　火曜,金曜：3限（1330～1500）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | G28 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 4 月 |

**講義概要**

【副題】
芸術・音楽における表現と「日本らしさ」

【授業概要】
　この授業は講義形式で行われます。
　日本文化学には、例えば、「日本文化」とは何か？、「日本文化」の本質とは何か？、といったことを考えるというアプローチも存在します。一方で、そうした本質論ではなく、様々な場において、「日本文化」や「日本らしさ」の名のもとに、どのようなことが語られているのか？という点を考えるというアプローチも存在します。
　本講義は、後者のアプローチを採用し、近代における伝統文化の取り扱い、近現代の日本の芸術表現、ポピュラーミュージックも含む音楽表現等を事例とし、例えば、モダニズム建築の設計思想のなかにすり込まれた「日本的伝統」や古典音楽の近代化の過程、あるいはロックの日本語化の過程で検討された「日本らしさ」とは、いったいどのようなものであったのか？を考えます。こうした考察を通して、比較的卑近な事例の中に偏在する日本文化学の「始点」を意識し、また、対象に対して、どのような視点からアプローチすれば、それを日本文化学として分析することができるのかも同時に学びます。

【到達目標】
・日本文化に関わる事象を学術的見地に立って検討することができる。
・芸術や音楽における表現と「日本らしさ」の関わりについて、多面的に理解することができる。
・「日本文化学」における、様々な考察の視点やその手法を把握できている。
・自身の日常の中に「日本らしさ」を巡る分析の様々な端緒があることを理解できている。

【授業計画】
1. 学問対象としての「日本文化」―イントロダクション―
2. 文化・芸術的表現と「日本らしさ／伝統性」についての研究を考える
3. 「無用ノ長物」としての名古屋城―名古屋城の価値づけをめぐって(1)―
4. 「日本的なもの」の価値化―名古屋城の価値づけをめぐって(2)―
5. 南山大学から考える日本文化―アントニン・レーモンド(1)―
6. モダニズム建築と「日本らしさ」―アントニン・レーモンド(2)―
7. 擬洋風建築と闖入者としての「日本的もの」
8. 伝統邦楽の改良と「日本らしさ」―邦楽の近代(1)―
9. 「新日本音楽」の試みと「日本らしさ」―邦楽の近代(2)―
10. 「日本らしさ」の再発見―邦楽の近代(3)―
11. 新時代の文化創造と日本的伝統―近代期の宝塚歌劇―
12. 「日本語ロック論争」をめぐって―はっぴいえんどと「日本語ロック」(1)―
13. 邦楽と言葉―はっぴいえんどと「日本語ロック」(2)―
14. はっぴいえんどの「日本語ロック」から考える―はっぴいえんどと「日本語ロック」(3)―
15. 「日本文化学」とは何か？

【授業時間外の学習　（準備学習等）】
・初回講義までに、文化・芸術的表現に関する問題と「日本文化学」の関わりについて考えてお

| | |
|---|---|
| | くこと。<br>・２回目以降の講義については、毎回、前回の講義内容を再確認しておくこと。<br>・事前にテキストを配布し、予習を促す回もある。その折は必ず指示に従うこと。 |
| テキスト・参考文献 | プリントを配布します。<br>必要な参考文献については、適宜指示します。 |
| 試験・評価方法 | 定期試験が 80%、講義期間中課題が 20%（※WebClass を通して数回のミニレポートを課す） |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | ※この科目は南山大学のアカウント取得が必要です。授業時間外に１時間ほどガイダンスを実施します。 |

# 近現代文学研究

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294429 |
| 担当教員 | 細谷　博（人文学部教授 ） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　水曜：1 限（920～1050）2限 11051235 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | KB2 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 【副題】<br>小説を通して人間を考える、〈読むこと〉と〈問うこと〉<br><br>【授業概要】<br>　この授業は講義形式で行われる。<br>　様々な人間と世界を描き、生の持続や断絶の感触をいきいきとあらわした近代・現代文学のすぐれた表現を読解し分析することによって、〈人間理解のかたち〉としての文学をあらためて見出し、その現代における意義を考察する。<br>　夏目漱石の遺作『明暗』はともすれば重い意味づけを付されてきた長編である。それを、極めてよくできた面白い小説として読み直しつつ、文学における〈読むこと〉そして〈問うこと〉の奥行きと可能性をさぐる。<br><br>【到達目標】<br>1. 自分の読み方を点検しつつ読解できる着実な鑑賞ができる。<br>2. 作品の表現や構成の特質を理解し分析することができる。<br>3. 多様な解釈の可能性を理解し検討することができる。<br><br>【授業計画】<br>1. 導入　〈読み〉の意識化について<br>2. 作品の読解分析、批評(1)<br>3. 作品の読解分析、批評(2)<br>4. 作品の読解分析、批評(3)<br>5. 作品の読解分析、批評(4)<br>6. 作品の読解分析、批評(5)<br>7. 作品の読解分析、批評(6)<br>8. 作品の読解分析、批評(7)<br>9. 作品の読解分析、批評(8)<br>10. 作品の読解分析、批評(9)<br>11. 作品の読解分析、批評(10)<br>12. 作品の読解分析、批評(11)<br>13. 作品の読解分析、批評(12)<br>14. 作品の読解分析、批評(13)<br>15. 作品の読解分析、批評(14)、まとめ<br><br>【授業時間外の学習　（準備学習等）】<br>1. 授業の前準備として、次回にやる部分を読んでおくこと。<br>2. 作品の全体をつかむために読み進めていくこと。 | | |
| テキスト・参考文献 | テキスト：<br>夏目漱石『明暗』新潮文庫、新潮社<br>参考文献：<br>細谷博『凡常の発見　漱石・谷崎・太宰』明治書院<br>細谷博『所与と自由　近現代文学の名作を読む』勉誠出版 | | |

| | |
|---|---|
| | 水村美苗『続明暗』新潮文庫<br>大岡昇平『小説家夏目漱石』ちくま文庫<br>ジェーン・オースティン（小山太一訳）『自負と偏見』新潮文庫、新潮社 |
| 試験・評価方法 | 総合評価（授業参加度 20%、定期試験 80%）。但し、欠席過多は適用しない。<br>６回以上欠席した者は、成績評価を１ランク下げる。A+→A　A→B　B→C（C は D に下げず） |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | |

# 英文法論＜国際科目群＞

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294430 |
| 担当教員 | 鈴木　達也（外国語学部教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　火曜,金曜：1 限（920～1050）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | F12 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【副題】<br>Scientific Study of Human Language<br><br>【授業概要】<br>This course will be delivered using a lecture style.<br>This course explains how generative grammar has developed from its birth to the current model, the Minimalist Program, through a theoretically significant turning point in the early 1980s. Generative grammar was born in the mid 20th century, when American Structural Linguistics enjoyed its prosperity. A young American linguist, Noam Chomsky, proposed a revolutionary, new linguistic theory in the mid 1950s. The new theory based on rationalism showed how to study human language scientifically. The course reviews the challenges of the linguistic science that has been trying to reveal our linguistic competence as a biological endowment over a half-century.<br><br>【到達目標】<br>1. Understanding differences between empiricist linguistics and rationalist linguistics.<br>2. Understanding important basic concepts of generative grammar.<br>3. Understanding the theoretical development of generative grammar.<br><br>【授業計画】<br>Lecture 1 Introduction to generative grammar I<br>Lecture 2 Introduction to generative grammar II<br>Lecture 3 From empiricist linguistics to rationalist linguistics<br>Lecture 4 Early days (1950s - mid 1960s): Toward Standard Theory I<br>Lecture 5 Early days (1950s - mid 1960s): Toward Standard Theory II<br>Lecture 6 Early days (1950s - mid 1960s): Toward Standard Theory III<br>Lecture 7 Development (late 1960s-1970s): Revising Standard Theory I<br>Lecture 8 Development (late 1960s-1970s): Revising Standard Theory II<br>Lecture 9 Development (late 1960s-1970s): Revising Standard Theory III<br>Lecture 10 Turning point (1980s - mid 1990s): Principles-and-Parameters Approach I<br>Lecture 11 Turning point (1980s - mid 1990s): Principles-and-Parameters Approach II<br>Lecture 12 Turning point (1980s - mid 1990s): Principles-and-Parameters Approach III<br>Lecture 13 Toward the next leap (mid 1990s and after): The Minimalist Program I<br>Lecture 14 Toward the next leap (mid 1990s and after): The Minimalist Program II<br>Lecture 15 Toward the next leap (mid 1990s and after): The Minimalist Program III<br><br>【授業時間外の学習　（準備学習等）】<br>1. Make sufficient preparations and reviews making use of the lecture handout pdf to be downloaded from Proself. | | |

| | |
|---|---|
| | 2. Make sufficient preparations for upcoming lectures making use of designated books in the library and/or related materials. |
| テキスト・参考文献 | Classes will be taught based on the handouts to be distributed each week. |
| 試験・評価方法 | Final examination 100% |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | This is offered as an ICC (International Course Category) course. |

# 政治とコミュニケーション

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294431 |
| 担当教員 | 花木　亨（外国語学部教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　月曜,木曜：１限（920～1050）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営,社会・マスコミ・情報 | | |
| 教室 | R49 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【副題】<br>バラク・オバマの演説と現代アメリカ社会<br><br>【授業概要】<br>この授業は講義形式で行われる。<br>この授業では、第４４代アメリカ合衆国大統領バラク・オバマの演説について多角的に考察する。また、その作業をとおして、現代アメリカ社会の諸側面についての理解を深める。<br><br>【到達目標】<br>1. バラク・オバマの演説の特徴を理解すること。<br>2. 現代アメリカ社会についての理解を深めること。<br>3. 大統領の演説やその他の政治的メッセージを分析できるようになること。<br><br>【授業計画】<br>1. 導入<br>2. 大統領と演説<br>3. 2004 年民主党全国大会基調演説<br>4. 2004 年民主党全国大会基調演説<br>5. 2008 年大統領選における演説<br>6. 2008 年大統領選における演説<br>7. 人種<br>8. 人種<br>9. 医療<br>10. 医療<br>11. 移民<br>12. 移民<br>13. 銃<br>14. 銃<br>15. まとめ<br><br>【授業時間外の学習 （準備学習等）】<br>1. 配布資料、参考文献などを読んで理解しておくこと。<br>2. オバマの演説を視聴しておくこと。 | | |
| テキスト・参考文献 | 購入しなければいけない文献<br>1. 花木亨（2015）『大統領の演説と現代アメリカ社会』大学教育出版。<br><br>参考文献<br>1. アリストテレス（戸塚七郎訳）（1992）『弁論術』岩波書店。<br>2. Karlyn Kohrs Campbell & Kathleen Hall Jamieson. (2008). "Presidents Creating the Presidency: Deeds Done in Words". University of Chicago Press. | | |
| 試験・評価 | 定期試験 100%。 | | |

| | |
|---|---|
| 方法 | |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | |

# 英米文学特殊研究 A＜国際科目群＞

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294432 |
| 担当教員 | PURCELL，William（外国語学部教授） | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　月曜,木曜：3限（1330～1500）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | H24 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【副題】<br>Literature and the British Empire: Postcolonial African Fiction in English<br><br>【授業概要】<br>This course will combine lecture and student-teacher discussion.<br>We will examine the impact upon the peoples and cultures of Africa of the colonial encounter with Europe. We will start with postcolonial theory and the issues with which it is concerned we will examine a selection of short stories by representative Anglophone authors from various African countries. Examinations of the stories will be against the particular historic and cultural background of the country/cultural group concerned.<br><br>【到達目標】<br>The purpose of the course is three-fold: to teach the students to read fiction more perceptively and reflectively, noting in particular the relationship between the text and the historic and cultural context which produced it; to raise in the students a greater awareness of and appreciation for the peoples, cultures, and countries of Africa; and to gain a deeper understanding of the consequences of European colonialism for both the colonizer and the colonized.<br><br>【授業計画】<br>1. Introduction and course outline: What/When/Where/Who is the Postcolonial?<br>2. Africa and Europe: A Colonial History<br>3. Ama Ata Aido: “Certain Winds from the South”<br>4. Odun Balogu: “The Apprentice”<br>5. David Owoyele: “The Will of Allah”<br>6. Chinua Achebe: “Civil Peace”<br>7. Jomo Kenyatta: “The Gentleman of the Jungle”<br>8. Grace Ogot: “The Green Leaves”<br>9. Leonard Kibera: “The Spider's Web”<br>10. Ngugi wa Thiong'o: “Minutes of Glory”<br>11. Ezekiel Mphalele: “The Coffee-Cart Girl” /Nadine Gordimer: “The Bridegroom”<br>12. Ahmed Essop: “The Betrayal” /Bessie Head: “Snapshots of a Wedding”<br>13. Dambudzo Marechera: “Protista”<br>14. Mafika Gwala: “Reflections in a Cell”<br>15. Review<br><br>【授業時間外の学習 （準備学習等）】<br>1. From the third class students will be required to read one story per class, averaging about 7 pages per story. Students will also answer assigned comprehension questions and submit them via the WebClass site prior to class. | | |
| テキスト・ | Chinua Achebe and C.L. Innes, Ed. African Short Stories. Oxford: Heinemann, 1987. | | |

| | |
|---|---|
| 参考文献 | |
| 試験・評価方法 | Grades will be determined by class participation (50%), submission of weekly assignments (30%), and a final on-line test (20%). Note: all assignments AND the final on-line test MUST be submitted to receive credit. Failure to hand in an assignment and/or failure to do the on-line test will result in a failing grade. Attendance : Students will be expected to attend every class. |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | This is offered as an ICC (International Course Category) course. |

# 英米文学特殊研究 B＜国際科目群＞

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294433 |
| 担当教員 | PURCELL，William （外国語学部教授） | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　月曜,木曜：3限（1330～1500）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | F11 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【副題】<br>Literature and the British Empire: The World of Chinua Achebe<br><br>【授業概要】<br>In this course we will read short stories by the Nigerian writer, Chinua Achebe<br><br>【到達目標】<br>This course will combine lecture and student-teacher discussion.<br>The purpose of the course is three-fold: to teach the students to read fiction more perceptively and reflectively, noting in particular the relationship between the text and the historic and cultural context which produced it; to raise in the students a greater awareness of and appreciation for the peoples, cultures, and countries of Africa; and to gain a deeper understanding of the consequences of European colonialism for both the colonizer and the colonized.<br><br>【授業計画】<br>1. Introduction and course outline<br>2. Africa and Europe: a colonial and postcolonial history<br>3. "Marriage is a Private Affair"<br>4. "Dead Men's Path"<br>5. "Chike's School Days"<br>6. "The Sacrificial Egg"<br>7. "The Madman"<br>8. "Akueke"<br>9. "The Voter"<br>10. "Uncle Ben's Choice"<br>11. "Vengeful Creditor"<br>12. "Civil Peace"<br>13. "Sugar Baby"<br>14. "Girls at War"<br>15. Review<br><br>【授業時間外の学習 （準備学習等）】<br>1. From the third class students will be required to read one story per class, averaging about 7 pages per story. Students will also answer assigned comprehension questions and submit them via the WebClass site prior to class | | |
| テキスト・参考文献 | Chinua Achebe, Girls at War and Other Stories | | |
| 試験・評価方法 | Grades will be determined by class participation (50%), submission of weekly assignments (30%), and a final on-line test (20%). Note: all assignments AND the final on-line test MUST be submitted to receive credit. Failure to hand in an assignment and/or failure to do the on-line test will result in a failing grade. | | |

| | |
|---|---|
| | Attendance : Students will be expected to attend every class. |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | This is offered as an ICC (International Course Category) course. |

# 作家作品研究(アメリカ文学)A＜国際科目群＞

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294434 |
| 担当教員 | PURCELL，William（外国語学部教授） | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　月曜,木曜：3限（1330～1500）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | F11 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 【副題】<br>Japanese American Writers: Toshio Mori's "Yokohama, California"<br><br>【授業概要】<br>This course will combine lecture and student-teacher discussion.<br>The course will begin with an overview of the history of Japanese immigration to the United States and particularly to Japanese settlement in California. We will then examine the development of the Nikkei communities in California and life in these communities. We will then read Toshio Mori's "Yokohama, California," concentrating on what these stories reveal about life in these communities and how these Nikei Americans saw themselves.<br><br>【到達目標】<br>The purpose of this course is to introduce the students to the writing of Toshio Mori, an American fiction writer of Japanese descent. By reading Mori's stories we will gain insights into life in the the Japanese American communities of central California in the pre-war years of the 1930s. Hopefully we will gains insights into how these people understood themselves and what it meant to them to be Americans.<br><br>【授業計画】<br>1. Introduction and course explanation<br>2. Background: Japanese American History<br>3. Introduction to Toshio Mori<br>4. "Tomorrow is Coming, Children" and "The Woman who Makes Swell Doughnuts"<br>5. "The Seventh Street Philosopher" and "My Mother Stands on her Head"<br>6. "Toshio Mori" and "The End of the Line"<br>7. "Say it with Flowers" and "Akira Yano"<br>8. "Lil' Yokohama" and "The Finance over at Doi's"<br>9. "Three Japanese Mothers" and ""The All-American Girl"<br>10. "The Chessmen" and "Nodas in America"<br>11. "The Eggs of the World" and "He Who has the Laughing Face"<br>12. "Slant-eyed Americans" and "The Trees"<br>13. "The Six Rows of Pompons" and "Business at Eleven"<br>14. "The Brothers" and "Tomorrow and | | |

| | |
|---|---|
| | Today"<br>15. Conclusion<br><br>【授業時間外の学習 （準備学習等）】<br>Students are expected to read the stories before each class. Each week's reading assignment is about 12 to 14 pages. |
| テキスト・参考文献 | Toshio Mori, "Yokohama, California." Seattle: U of Washington Press |
| 試験・評価方法 | Grades will be determined by class participation (50%), submission of weekly assignments (30%), and a final on-line test (20%). Note: all assignments AND the final on-line test MUST be submitted to receive credit. Failure to hand in an assignment and/or failure to do the on-line test will result in a failing grade. Attendance : Students will be expected to attend every class. |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | This is offered as an ICC (International Course Category) course. |

# スペイン文学 A

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294435 |
| 担当教員 | 佐竹　謙一（外国語学部教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　火曜,金曜：2限（1105～1235）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | H31 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【副題】<br>スペイン文学史の概説<br><br>【授業概要】<br>この授業は講義形式で行う。中世から現代に至るまでのスペイン文学から、主な作家を複数とり上げ、代表作といわれる傑作を中心に分析する。<br><br>【到達目標】<br>『スペイン文学案内』（岩波文庫）にそって、スペイン文学を俯瞰し、さらにテクスト（邦訳）の一部を読むことによって、他のヨーロッパ文学とはひと味ちがうスペイン文学を味わうことができ、理解を深めることができる。<br><br>【授業計画】<br>1. 授業の方針、参考文献について<br>2. 中世のスペイン文学（1）<br>3. 中世のスペイン文学（2）<br>4. 黄金世紀のスペイン文学（1）<br>5. 黄金世紀のスペイン文学（2）<br>6. 黄金世紀のスペイン文学（3）<br>7. １８世紀のスペイン文学<br>8. スペイン文学に関するビデオ鑑賞<br>9. １９世紀のスペイン文学（1）<br>10. １９世紀のスペイン文学（2）<br>11. スペイン現代文学（1）<br>12. スペイン現代文学（2）<br>13. スペイン現代文学（3）<br>14. スペイン現代文学（4）<br>15. まとめ<br><br>【授業時間外の学習　（準備学習等）】<br>毎回、授業の終わりに次回読む作品の案内をして、それを学生に読んできてもらう。 | | |
| テキスト・参考文献 | 佐竹謙一『スペイン文学案内』（岩波文庫）、２０１３年（本書を毎回使用する）。<br>そのほか必要な資料は、毎回授業中に配付する。 | | |
| 試験・評価方法 | 最終レポート（５０%）、定期試験（５０%） | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# ラテンアメリカの文化と社会 A

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294436 |
| 担当教員 | 加藤　隆浩（外国語学部教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　火曜,金曜：4限（1515～1645）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史,芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | G27 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【副題】<br>ラテンアメリカの社会・文化の諸相<br><br>【授業概要】<br>ラテンアメリカの大部分で見られる文化は、先住民文化とスペイン文化とが融合して成立したものである。この講義では、スペイン文化を軸に、それがラテンアメリカの先住民文化とどのように折り合いをつけながら変貌を遂げてきているのかを具体的に検証し、分析をすすめる。なお、この授業は講義形式で行う。<br><br>【到達目標】<br>1. ラテンアメリカの社会文化現象をオムニバス形式で論じ、その多様性を学ばせる。<br>2. この地域の社会・文化についての研究法の基礎知識を習得させる。<br><br>【授業計画】<br>1. 失敗した援助（その１）<br>2. 失敗した援助（その２）<br>3. 失敗した援助（その３）<br>4. 捏造された喰人（その１）<br>5. 捏造された喰人（その２）<br>6. 捏造された喰人（その３）<br>7. 絵文字を解読する（その１）<br>8. 絵文字を解読する（その２）<br>9. 絵文字を解読する（その３）<br>10. 喧嘩から戦争へ（その１）<br>11. 喧嘩から戦争へ（その２）<br>12. 喧嘩から戦争へ（その３）<br>13. 聖母マリアのお告げ（その１）<br>14. 聖母マリアのお告げ（その２）<br>15. 聖母マリアのお告げ（その３）<br><br>【授業時間外の学習　（準備学習等）】<br>ラテンアメリカ全般に関して幅広い知識を身につけるよう努力すること。図書館で大いに本を読んでほしい。 | | |
| テキスト・参考文献 | なし。 | | |
| 試験・評価方法 | 学期末に課される試験による。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 比較文化論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294437 |
| 担当教員 | 加藤　隆浩（外国語学部教授） | | |
| 学年配当 | ３年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　火曜,金曜：４限（1515～1645）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | G27 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ４月,9 月 |
| 講義概要 | 【副題】<br>文化を相対化する<br><br>【授業概要】<br>近年、異文化理解、多文化共生と声高らかに謳われ、それが容易に達成できるかのように考えられがちである。しかし、異文化との共存、目指すべき多文化主義の前提には、複数の文化が想定されており、文化を比較するという所作が暗黙の裡に組み込まれていることが、見落とされている場合が少なくない。そこで、この授業では、まずは、文化を比較するとはどういうことかを考える。また、比較するための参照枠にどのようなものがあるかを具体的に示していく。なお、この授業は講義形式で行う。<br><br>【到達目標】<br>1. 異文化、文化比較、国民性の違い、、、など、日常でよく耳にする言い回しの中身を検討させる。<br>2. 上記の言い方が、どのような仕掛けで発せられているかを考えさせる<br>3. よりきめの細かな比較にはどのような手立てがあるかを考えさせる。<br><br>【授業計画】<br>第１回　比較文化の範囲と区分：比較できることとできないこと<br>第２回　人種と民族：背が高くスポーツマン。情熱的でお金持ち。理想の男性は何処にいるか。<br>第３回　文化化：南洋の「イクメン」世界<br>第４回　文化：「文化人」の「文化」を文化人類学が認めない理由<br>第５回　文化唯物論：たんぱく質のためにヒトはヒトを食べるのか。<br>第６回　エコシステムの多様性：アウトドア・ライフの先輩の教え：逆境を生き延びる方法<br>第７回　古典的進化論（その１）：「おなじない症候群」の背景：まことしやかな「まじない」の作り方。<br>第８回　古典的進化論（その２）：母の姉妹は母という世界<br>第９回　伝播論：花咲爺のふるさと<br>第１０回　心性：誰でもなれる「よいお医者さん」<br>第１１回　説明と機能（その１）：１脚５ドル、５脚で５０ドル：５×５＝５０の不思議な椅子の話<br>第１２回　説明と機能（その２）：幽霊の子を身ごもる「やさしい」女性の話<br>男になって子どもを産ませる女性の話<br>第１３回　説明と機能（その３）：あなたの首が欲しい<br>第１４回　フィールドワーク：誰でもなれる「絵はがき人類学者」<br>第１５回　まとめ<br><br>【授業時間外の学習　（準備学習等）】<br>さまざまな事象に関心を持ち、図書、視聴覚資料を大いに利用し、自分の知らない世界と常に接するように心がけてほしい。 | | |
| テキスト・ | なし。 | | |

| | |
|---|---|
| 参考文献 | |
| 試験・評価方法 | 学期末テスト（100%）で評価する |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | |

# フランス文学史

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294438 |
| 担当教員 | 吉澤　英樹（外国語学部教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　火曜,金曜：1 限（920～1050）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | MB1 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 【授業概要】<br>この授業は講義形式で行われる。フランスの中世から現代に至るまでの文学史を概観する。それぞれの時代の代表的作品や批評または論争などに焦点を当てながら、詩・演劇・小説・エセーと多岐にわたる文学という営みの変遷を考察する。<br><br>【到達目標】<br>フランスにおける文学の歴史についての基本的知識を身につける。<br>文学という芸術ジャンルに関心を持ち、作品を実際に手にとり、味わいながら読むことができる。<br><br>【授業計画】<br>1. はじめに<br>2. 中世文学<br>3. 16 世紀　ルネサンス文学<br>4. 17 世紀　古典期<br>5. 18 世紀 1　啓蒙思想<br>6. 18 世紀 2　小説・自伝文学<br>7. 19 世紀 1 ロマン主義文学<br>8. 19 世紀 2 自然主義文学<br>9. 19 世紀 3 象徴主義文学<br>10. 20 世紀 1　ベルエポック<br>11. 20 世紀 2 ダダ・シュルレアリスム・前衛的古典主義<br>12. 20 世紀 3 実存主義と不条理の文学<br>13. 20 世紀 4　ヌーヴォーロマン、オートフィクション<br>14. 現代　ポストコロニアル文学とフランス語圏<br>15. まとめ<br><br>【授業時間外の学習 （準備学習等）】<br>各回対象となる期間のフランスの歴史をあらかじめ学習しておく。<br>授業中にとったノートを元に復習し、作品の書かれた時代背景を参照しながら、作品を実際に手にとり読むこと。 | | |
| テキスト・参考文献 | 参考文献は授業内で適宜指示する。 | | |
| 試験・評価方法 | 授業参加度 30% 学期末試験 70% | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# フランスの文化

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294439 |
| 担当教員 | 丸岡　高弘（外国語学部教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　水曜：1 限（920～1050）2限 11051235 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | K25 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【副題】<br>フランスの文学、劇、絵画、映画<br><br>【授業概要】<br>この授業は講義形式で行われる。<br>フランスの文学作品、劇作品、絵画、映画などを紹介しながら、解説する<br><br>【到達目標】<br>フランスの文化について全般的な知識をえる<br><br>【授業計画】<br>1. はじめに<br>2. フランスの文学（１７世紀）<br>3. フランスの文学（１８世紀）<br>4. フランスの文学（１９世紀１）<br>5. フランスの文学（１９世紀２）<br>6. ランスの文学（２０世紀１）<br>7. フランスの文学（２０世紀２）<br>8. フランスの絵画（１８世紀）<br>9. フランスの絵画（１９世紀）<br>10. フランスの絵画（２０世紀）<br>11. フランスの映画１<br>12. フランスの映画２<br>13. フランスの映画３<br>14. フランスの映画４<br>15. まとめ<br><br>【授業時間外の学習　（準備学習等）】<br>可能な限り幅広く、フランスの文学作品や映画を見るように心がけること | | |
| テキスト・参考文献 | 適宜プリントを配布する | | |
| 試験・評価方法 | 授業への参加（３０%）、期末試験（７０%） | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# フランスの歴史

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294440 |
| 担当教員 | 真野　倫平 （外国語学部教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　月曜,木曜：1 限（920～1050）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | S22 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【副題】<br>フランス史概観<br><br>【授業概要】<br>この授業は講義形式で行われる。<br>本講義ではジャンヌ・ダルクやナポレオンを生んだフランスの歴史について概観する。古代から現代にいたるフランスの歴史を通時的に追いつつ、それぞれの時代の特徴について説明する。政治、社会、人種、言語、宗教などの側面に注目することで、フランス史の全体像をできるかぎり立体的に提示する。同時に、各時代に関する歴史家の見解を適宜紹介することで、歴史理論についても学習する。<br><br>【到達目標】<br>1. フランス史についての基礎知識を身につける。<br>2. 歴史学におけるさまざまな理論を修得する。<br><br>【授業計画】<br>1. はじめに<br>2. ガロ・ローマ時代<br>3. フランク王国：メロヴィング朝・カロリング朝<br>4. カペー朝<br>5. ヴァロワ朝、百年戦争<br>6. ルネサンス・宗教戦争<br>7. 絶対王政<br>8. フランス革命<br>9. ナポレオン・ボナパルト<br>10. 王政復古から第二帝政の終焉まで<br>11. 第三共和政成立から第一次世界大戦まで<br>12. 第二次世界大戦<br>13. 戦後の世界 1<br>14. 戦後の世界 2<br>15. まとめ<br><br>【授業時間外の学習 （準備学習等）】<br>毎回の授業内容について復習し、授業の中で出された「問題」について考察しておくこと。 | | |
| テキスト・参考文献 | 教材はプリントを配付する。参考文献は適宜指示する。 | | |
| 試験・評価方法 | 定期試験 100%。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# フランスの社会

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294441 |
| 担当教員 | 小林　純子（外国語学部准教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　月曜,木曜：1 限（920～1050）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 社会・マスコミ・情報 | | |
| 教室 | Q103 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【副題】<br>比較社会論<br><br>【授業概要】<br>この授業は講義および演習形式で行われる。現代社会はグローバル化にともない人口、家族、宗教、教育、労働、文化、政治などのさまざまな分野で格差、貧困、不寛容など共通の課題を抱えている。この授業では、フランス社会を事例にこれらの課題について考察し、他国との比較を通じてフランス社会の特徴を把握するとともに、諸課題の関係について考察する。<br><br>【到達目標】<br>1. 現代フランス社会における諸課題とその背景を理解している。<br>2. 現代フランス社会における諸課題の相互関係を理解している。<br><br>【授業計画】<br>1. イントロダクション<br>2. 人口①：子ども<br>3. 家族①：さまざまな家族のかたち<br>4. 家族②：子育て支援<br>5. 労働①：男女格差<br>6. 人口②：移民・外国人<br>7. 宗教：ライシテとフランス社会<br>8. 教育：学歴と格差<br>9. 労働②：雇用と失業<br>10. これまでのまとめ<br>11. 政治①：若者世代<br>12. 政治②：テロと排除<br>13. 文化①：文化実践の格差と文化政策<br>14. 文化②：食と健康<br>15. まとめ<br><br>【授業時間外の学習　（準備学習等）】<br>配布された資料や授業中に提示する参考文献を読み、授業やレポートに備える。 | | |
| テキスト・参考文献 | 資料を配布する。 | | |
| 試験・評価方法 | 授業中に課される小レポート（50%）、レポート（50%） | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# フランスの国際関係＜国際科目群＞

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294442 |
| 担当教員 | COURRON，David（外国語学部教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　月曜,木曜：1 限（920～1050）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | Q313 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 【副題】<br>Introduction to Constitutional Law in the European Union<br>- Recent trends in Europe constitutional developments from a comparative, political and historical perspective -<br><br>【授業概要】<br>This course will be delivered using the lecture style (with learner-centered practices and learners active involvement).<br>Over more than 60 years, France domestic and foreign policies as well as political decision-making processes have been heavily relying on its EU partners and European policies implemented by EU institutions whose decisions and legal mechanisms have deeply reshaped France fields and degrees of intervention. Therefore to be aware of the most recent trends in Europe constitutional developments is of utmost importance to understand each EU Member State political decision.<br>This course provides a survey of the 28 UE Member States latest constitutional issues and developments, with an emphasis on matters such as drafting process of constitutions, emergency regimes, human rights protection, freedom of religion, property rights. It examines the key themes and challenges for EU constitutionalism from a pluralistic perspective: historical, political and legal. It also focuses on the importance of France's relations with such key actors. This course is designed for both a Japanese and a foreign audience interested in learning how to analyze constitutional frameworks in context and also in developing a deeper understanding of complex events involving intertwined political, economic, social and cultural dimensions in early 21st century Europe.<br><br>【到達目標】<br>In this course students will<br>1) master key issues of constitutionalism such as sources of constitutional law, form of state, form of government and political system, government powers and their limits, vertical division of powers, the judiciary, and fundamental rights,<br>2) be able to understand European countries institutional decision-making processes,<br>3) be able to identify key domestic issues and actors, and<br>4) be able to assess France's relations with prominent European countries and other regional institutions.<br><br>By the end of the course students will:<br>1. Understand key concepts in constitutional and comparative constitutional law;<br>2. Be able to apply those concepts to specific countries and cases;<br>3. Be acquainted with historical aspects and recent political evolutions in major European countries;<br>4. Be able to think more critically about any international event reported in the news involving European countries; | | |

| | |
|---|---|
| | 【授業計画】<br>Class 1. Introduction to the course: assignments allocation and explanations on what to do and how<br>Presentation of comparative constitutional law key concepts - Meaning and features of<br>"constitutionalism" in Europe<br>Class 2. The French Republic - The Republic of Malta<br>Class 3. The Federal Republic of Germany - The Republic of Austria<br>Class 4. The Italian Republic - The Grand Duchy of Luxembourg<br>Class 5. The United Kingdom - The Republic of Cyprus<br>Class 6. The Kingdom of Spain - The Portuguese Republic<br>Class 7. Belgium - The Republic of Latvia<br>Class 8. The Kingdom of the Netherlands - The Republic of Slovenia<br>Class 9. Ireland - The Republic of Bulgaria<br>Class 10. The Kingdom of Denmark - The Hellenic Republic (Greece)<br>Class 11. Czech Republic - The Slovak Republic<br>Class 12. The Republic of Finland - The Republic of Estonia<br>Class 13. The Republic of Poland - The Kingdom of Sweden<br>Class 14. Romania - The Republic of Croatia<br>Class 15. Hungary - The Republic of Lithuania<br>Class 16. Report to be submitted (as final examination)<br><br>【授業時間外の学習 （準備学習等）】<br>Students will be expected to read widely (newspapers and magazines) and take part in student-led discussions.<br>All students will be expected to speak only in English and to make a significant contribution to each class through group oral presentations.<br>Students are advised to keep up with current events related to the countries being dealt with in this course.<br><br>More specifically,<br><br>- Each student will prepare a 2-3 minute presentation about a topic of political, economical, social, legal interest related to any EU or non-EU European country reported in the news during the week (each class);<br>- Each group (2 to 4 students) will prepare a 15 minute presentation (Powerpoint slides) about the most characteristic features of the constitutional system of the country of the day (according to schedule; at least twice in the term);<br>- Each student will have to submit a topic related to this course main theme to be validated as the end-of-term written report's theme (end-of-term); |
| テキスト・参考文献 | Materials will be handed out as topics require<br><br>Further reading:<br>1. L. Besselink, P. Bovend'Eert, H. Broeksteeg, R. de Lange, W. Voermans, Eds., "Constitutional Law of the EU Member States", 2014, Kluwer<br>2. R. Garner, P. Ferdinand, S. Lawson, "Introduction To Politics" (2nd ed.), 2012, Oxford University Press<br>3. H. Patrick Glenn, "Legal Traditions of the World. Sustainable Diversity in Law" (4th ed.), 2010, Oxford University Press<br>4. A. Heywood, "Political Ideologies. An Introduction" (5th ed.), 2012, Palgrave Macmillan<br>5. J. Baylis, S. Smith, P. Owens, "The Globalization of World Politics. An Introduction to International Relations" (5th ed.), 2011, Oxford University Press |

| | |
|---|---|
| | 6. M. ヘルデーン（著）「EU 法」、2013 年、ミネルヴァ書房<br>7. 安西文雄、青井未帆（編著）「憲法学の現代的論点」第２版、2009 年、有斐閣 |
| 試験・評価方法 | Grades for the course will be determined by:<br><br>1. In-class performance (participation in discussions) (10%)<br>2. Group oral presentations (40%)<br>3. An end-of-term written report (50%)<br><br>ATTENTION:<br>1. Students are expected to attend class every week. Attendance means taking in every class (3 classes missed gets an F; more than 1/3 of the total number of classes missed gets an S for excessive absences, as stated in the university attendance guidelines).<br>2. Plagiarism will not be tolerated. Plagiarized reports will find no favour and will get grade F.<br>3. The use of translation software is not authorized. Reports written with the help of such tools will receive grade F. |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | This course is offered as an ICC (International Course Category).<br>Therefore be aware that this is not an English class but a topic-focussed course taught in English.<br>Classes, assigments and final examination being all conducted in English, enrollment in this course implies a good command of this language at upper- intermediate or advanced level (TOEFL-iBT 70, TOEFL-PBT 530, IELTS 6.0, TOEIC 750, Eiken pre-level 1). |

# ドイツ語圏異文化コミュニケーション論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294443 |
| 担当教員 | BAYERLEIN, Oliver（外国語学部教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　月曜,木曜：1 限（920～1050）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学,社会・マスコミ・情報 | | |
| 教室 | R54 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 3 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 【副題】<br>Sprache und Kultur in D-A-CH<br><br>【授業概要】<br>This course will be delivered using the lecture style.<br>In dem Kurs werden sprachliche Strukturen und interkulturelle Fertigkeiten einge?bt, die die Teilnehmer bef?higen sollen, in dem deutschsprachigen Kulturkreis erfolgreich zu interagieren.<br><br>【到達目標】<br>Die Teilnehmer sollen im deutschsprachigen Kulturkreis erfolgreich sprachlich und interpersonell handeln k?nnen.<br><br>【授業計画】<br>1. Einf?hrung und Auswahl der Themen<br>2. Kontakte: per E-Mail Bitten ?u?ern,<br>3. Kontakte: E-Mails korrekt beantworten<br>4. Kontakte: Briefe schreiben, Briefumschl?ge beschriften<br>5. ?ffentliche Verkehrsmittel: Z?ge unterscheiden und nach Reiseziel ausw?hlen, Fahrkartentypen unterscheiden, Fahrpl?ne verstehen<br>6. ?ffentliche Verkehrsmittel: Fahrkarten online und im Reisezentrum kaufen<br>7. Geld: Geld in Europa - Euro und Schweizer Franken; die Eurozone<br>8. Geld: ein Konto er?ffnen; Dauerauftrag und Einzugserm?chtigung<br>9. Einkaufen: im Supermarkt Produkte ausw?hlen; Verhalten an der Kasse<br>10. Einkaufen: Kleidung kaufen; reklamieren und umtauschen<br>11. Einkaufen: Gesch?fte ohne Selbstbedienung - B?ckerei, Metzgerei, Buchhandlung<br>12. Essen und Trinken: Typen von Restaurants; Speisekarten verstehen<br>13. Essen und Trinken: Essen im Tagesablauf; das richtige Getr?nk; Kaffeeh?user<br>14. Wohnen: eine Wohnung suchen und mieten; Hausordnung<br>15. Wohnen: Einrichtung und Zimmer; das Wohnzimmer, Leben in einer WG<br><br>【授業時間外の学習　（準備学習等）】<br>Die Studierenden ben?tigen einige Zeit, evtl. auch au?erhalb der Unterrichtszeit f?r Hausaufgaben. | | |
| テキスト・参考文献 | Vorlagen zum Download und Selbstausdruck | | |
| 試験・評価方法 | 1. Abschlusspr?fung (80%)<br>2. aktive Mitarbeit im Unterricht (20%) | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | Die Studierenden sollen die Bereitschaft zur Verwendung von Moodle mitbringen. | | |

# ドイツの経済

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294444 |
| 担当教員 | 中屋　宏隆（外国語学部准教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　月曜,木曜：1 限（920～1050）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | HB2 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 3 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【副題】<br>統一後のドイツ経済を学ぶ<br><br>【授業概要】<br>この授業は講義形式で行われる。講義では、統一以降のドイツ経済の発展を、ヨーロッパ統合と関連させながら分析していく。<br><br>【到達目標】<br>・学生は、情報を整理し分析する力を習得することができる。<br>・学生は、ドイツ経済の基本的な構造を理解することができる。<br>・学生は、ヨーロッパ統合についても理解することができる。<br><br>【授業計画】<br>第１回　導入<br>第２回　第二次石油ショックから新自由主義の時代へ<br>第３回　構造化する失業問題と東ドイツの変遷（1）<br>第４回　構造化する失業問題と東ドイツの変遷（2）<br>第５回　20 世紀のドイツ統一<br>第６回　冷戦後の独仏関係<br>第７回　東西ドイツ統一後のライプツィヒ（ドキュメンタリー）<br>第８回　統一後のドイツ経済動向（1）<br>第９回　統一後のドイツ経済動向（2）<br>第 10 回　マルクからユーロへ（1）<br>第 11 回　マルクからユーロへ（2）<br>第 12 回　ユーロ危機とドイツの復活（1）<br>第 13 回　ユーロ危機とドイツの復活（2）<br>第 14 回　ヨーロッパ統合とドイツ経済の行方<br>第 15 回　まとめ<br><br>【授業時間外の学習　（準備学習等）】<br>特に必要ない。講義に集中すること。 | | |
| テキスト・参考文献 | 初回に指示する。 | | |
| 試験・評価方法 | 中間テスト（30%）と期末試験（70%）で評価する。試験は、当然論述形式である。講義中、質問などが投げかけられるので、それに答える積極性と学習意欲も評価の対象となる。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# ドイツ歴史研究

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294445 |
| 担当教員 | SZIPPL，Richard（外国語学部教授） | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　水曜：1 限（920～1050）2限 11051235 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | Q101 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 3 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【副題】<br>20 世紀のドイツ史<br><br>【授業概要】<br>この授業は講義形式で行われる。<br>　ドイツの近代史は、大変激しい政治・社会・経済の変化に特長つけられている。特に、20 世紀のナチス党の独裁政治と国際政策、第２次世界大戦、敗戦後の分割と再統一を通して、ヨーロッパの歴史だけではなく、世界の歴史にも大きな影響を及ぼしたものである。<br>　本講義の主なテーマとしては、ワイマル共和国時代、ナチス独裁時代、第２次世界大戦後のドイツ、東西両ドイツの統一のそれぞれの特徴と主な動きなどをとりあげ、考察する。<br><br>【到達目標】<br>1. 第一世界大戦から東西ドイツ再統一までのそれぞれの時代の主な動きと特徴を知っている。<br>2. 20 世紀のイツの歴史の流れを理解している。<br>3. 現代のドイツの事情を理解し、関心を持っている。<br><br>【授業計画】<br>第１回　ドイツ帝国の崩壊<br>第２回　ワイマル共和国の成立<br>第３回　ワイマル共和国の政治<br>第４回　ワイマル共和国の社会<br>第５回　ワイマル共和国の経済<br>第６回　ワイマル共和国の崩壊とナチス党の台頭<br>第７回　ナチスの権力掌握と独裁政治の確立<br>第８回　ナチス期ドイツの社会、反体制・抵抗運動<br>第９回　ナチス期ドイツのダヤ人迫害・虐殺；外交政策<br>第 10 回　第２次世界大戦、敗戦、占領下のドイツ<br>第 11 回　ドイツの東西分割<br>第 12 回　ドイツ連邦共和国（西ドイツ）の歩み<br>第 13 回　ドイツ民主共和国（東ドイツ）の歩み<br>第 14 回　1989 年の東ドイツにおける「革命」<br>第 15 回　東西ドイツの統一<br>第 16 回　定期試験<br><br>【授業時間外の学習　（準備学習等）】<br>最初の授業中に配布する「講義予定表」に指定されたテキストの部分を読んで予習しておくこと。<br>学期中のレポートは、授業で指示された文献表のなかから一冊の本を読み、内容を要約しながら感想をまとめたレポートを提出すること。学期中のレポートの準備と作成は、授業時間外に行うこと。 | | |
| テキスト・参考文献 | 若尾裕司／井上茂子　編著『近代ドイツの歴史―18 世紀から現代まで―』ミネルヴァ書房 | | |

| | |
|---|---|
| 試験・評価方法 | 学期中提出一回のレポート 30%、定期試験 70%によって評価する。 |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | |

# 中国語学研究

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294446 |
| 担当教員 | 周　錦樟（外国語学部教授） | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　水曜：1 限（920～1050）2限 11051235 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | R44 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 【授業概要】<br>この授業は講義及び実習形式で行われる。中国語の音声学、音韻論、並びに発音表記等について学習する。<br><br>【到達目標】<br>1. 中国語の音声学並びに音韻論の基礎知識を身につける。<br>2. 中国語学研究を進める上で必要なスキルを習得する。<br><br>【授業計画】<br>1. 中国語の音節と音節構造①<br>2. 中国語の音節と音節構造②<br>3. 漢語ピンイン、中国語の表音文字①<br>4. 漢語ピンイン、中国語の表音文字②<br>5. 漢語ピンイン、中国語の表音文字③<br>6. 音素体系と母音・韻母の組織①<br>7. 音素体系と母音・韻母の組織②<br>8. 音素体系と母音・韻母の組織③<br>9. 声母①<br>10. 声母②<br>11. 声母③<br>12. 韻母①<br>13. 韻母②<br>14. 韻母③<br>15. まとめ<br><br>【授業時間外の学習　（準備学習等）】<br>言語学の入門書を事前に読むこと。 | | |
| テキスト・参考文献 | プリント配布 | | |
| 試験・評価方法 | 授業参加度 40%、定期レポート 60%。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 中国文化研究

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294447 |
| 担当教員 | 蔡　毅 （外国語学部教授） | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　水曜：1 限（920～1050）2限 11051235 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | E21 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 【授業概要】<br>この授業は講義および実習形式で行われる。<br>中国文化の代表としての古典詩歌、いわゆる漢詩の歴史と作法に関する基本知識を紹介するとともに、代表的な作品の分析によって、中国文化の特徴を検討する。なお、日本漢詩も比較の対象として適宜に取り上げる。<br><br>【到達目標】<br>中国文化と文学の全体像を把握するとともに、中国古典詩（漢詩）の基本知識を身につけること。<br><br>【授業計画】<br>1. 中国文化概説<br>2. 中国文化と文学の関係<br>3. 中国文学のジャンル<br>4. 漢詩概説（1）<br>5. 漢詩概説（2）<br>6. 漢詩概説（3）<br>7. 漢詩概説（4）<br>8. 漢字と漢詩（1）<br>9. 漢字と漢詩（2）<br>10. 中国の愛情詩（1）<br>11. 中国の愛情詩（2）<br>12. 中国の山水詩（1）<br>13. 中国の山水詩（2）<br>14. 日本漢詩<br>15. まとめ<br><br>【授業時間外の学習 （準備学習等）】<br>上の【授業計画】を参照して、配られた漢詩作品の該当部分の予習（発音と読解）をしておくこと。 | | |
| テキスト・参考文献 | プリントを配る。 | | |
| 試験・評価方法 | 授業参加度（50%）、レポート（50%）によって総合的に評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 中国社会研究

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294448 |
| 担当教員 | 松戸　庸子 （外国語学部教授） | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　火曜,金曜：1 限（920～1050）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 社会・マスコミ・情報 | | |
| 教室 | S48 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【副題】<br>中国の社会構造と社会問題<br><br>【授業概要】<br>この授業は講義および演習形式で行われる。<br>様々の面で大国化する中国社会について、その国力や社会実態を理解するために、「社会問題」という視点から、できるだけ多くの多様かつ具体的な事象や事件を取り上げて分析する。また具体的な事例の選択に当たっては、相互に隣国であるという視点も重視して、日本との比較や、我が国にとっての重要性も判断材料として考慮するが、現象の紹介と分析を通じて、その背景にある社会構造（社会の仕組み）の理解に資する授業を目指す。<br><br>【到達目標】<br>1. 中国理解のための予備知識としての日中関係の推移について、概略を理解できるようになる。<br>2. 中国社会に関して多角的な視点から分析する態度の必要性を修得する。<br>3. 中国語で書かれた雑誌や新聞記事をフォローすることで、等身大の現代中国社会像に接近する。<br>4. 政治社会学的な視点から、現代中国が直面する社会問題を分析する力を身につける。<br>5. 中国語の読解能力を挙げるために中国語で書かれた資料を多く使う。<br><br>【授業計画】<br>1. ガイダンス：テーマ解題<br>2. 中国の大国性について<br>3. 日中国交正常化と歴史問題①<br>4. 日中国交正常化と歴史問題②<br>5. 中国の国内事情と対日感情の推移①<br>6. 中国の国内事情と対日感情の推移②<br>7. 中国の政治状況概説①ー統治機構<br>8. 総括：共産党支配の特性<br>9. 中国の政治状況概説②ー陳情制度を中心として<br>10. 社会保障制度概説<br>11. 格差拡大と社会の不安定化<br>12. 大学の大衆化<br>13. 大学卒業生のと就業難：”蟻族"問題を中心として<br>14. 環境保全と経済成長の矛盾①<br>15. 総括討論と質疑応答<br>定期試験<br><br>【授業時間外の学習 （準備学習等）】<br>受講後に毎回復習をして、次回の授業の時に質問する箇所を探しておく。<br>中国に関する時事ニュースを集め理解しておく。 | | |
| テキスト・参考文献 | 適宜プリントを配布する | | |

| | |
|---|---|
| 試験・評価方法 | 業参加度（小テストと講義への貢献度 30%と期末筆記試験 70%により評価する。 |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | |

# 中国近現代史研究

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294449 |
| 担当教員 | 宮原　佳昭 （外国語学部准教授） | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　火曜,金曜：2限（1105～1235）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | MB12 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【授業概要】<br>この授業は講義形式で行われる。<br>広大な土地、多数の人口、多様な民族からなる中国においては、すべてが中央政府の主導によって動いてきたわけではない。現代中国の国内情勢を理解するうえでは、「中央と地方」や「政府と民衆」との関係に対する視野を身につけておくことが肝要である。<br>この視野を養うためのアプローチとして、本講義では近現代の中国における政治・経済などの歴史の流れを、「中央と地方」や「政府と民衆」の関係に焦点を当てて講義する。<br>あわせて、中国に関する最新の新聞記事を紹介することで、近現代の中国と最近の中国がどのような点で連続し、また変化しているかにも焦点を当てる。<br><br>【到達目標】<br>・近現代の中国における重要事件や人物、各政権のイデオロギーを理解している。<br>・それぞれの事件や数字の表面的な丸暗記ではなく、根底にある「中央と地方」「政府と民衆」それぞれの論理とパワーバランスを理解している。<br>・平素より、中国に関する最新情報を積極的に収集し、その内容を理解している。<br><br>【授業計画】<br>1. ガイダンス　―中華人民共和国憲法を読む―<br>2. 中国人の世界観　―中国古代史の知識から―<br>3. 中国伝統の政治思想　―儒教―<br>4. 中国の封建社会　―官・紳・民―<br>5. 辛亥革命・中華民国の成立<br>6. 中華人民共和国の成立<br>7. 中国の民族問題（1）―清朝・中華民国の民族政策―<br>8. 中国の民族問題（2）―中華人民共和国の民族政策―<br>9. 文化大革命<br>10. 六四天安門事件（1）―事件の背景―<br>11. 六四天安門事件（2）―鄧小平を中心に―<br>12. 台湾の歴史（1）―「族群」を中心に―<br>13. 台湾の歴史（2）―民主化と憲法改正―<br>14. 現代の中国大陸と台湾<br>15. まとめ<br><br>【授業時間外の学習 （準備学習等）】<br>・配布したレジュメを読んで予習・復習しておくこと。<br>・平素より、中国に関する最新情報を新聞・書籍・インターネット・テレビなどで収集しておくこと。 | | |
| テキスト・参考文献 | 毎回、授業プリントを配布する。 | | |
| 試験・評価方法 | 授業参加度 30%、期末レポートの成績 70%により評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# インドネシア社会研究

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294450 |
| 担当教員 | 小林　寧子（外国語学部教授） | | |
| 学年配当 | ３年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　火曜,金曜：３限（1330～1500）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 社会・マスコミ・情報 | | |
| 教室 | F12 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | 【授業概要】<br>この授業は講義形式で行われる。インドネシアは多くの言語、宗教、エスニック・グループを擁する多様性の国である。この社会はいかにして成立したのか、また人々はどのようにして生活を成り立たせているのか、さらに日本はそこの人々とどのように交流してきたのかを考える。前半は歴史に重点をおき、何が現在のインドネシアを形づくってきたのかを考える。後半はインドネシアが現在抱える民主化、国民統合、経済開発等の問題について考える。<br><br>【到達目標】<br>1. 「地域研究」の方法論を修得する。<br>2. 通史の重要性を理解する。<br>3. 習得した外国語（インドネシア語）への理解を深める。<br><br>【授業計画】<br>1. 多様性の国インドネシア<br>2. 東西文明の十字路<br>3. 東南アジア社会の再編成――自立性の喪失<br>4. 植民地支配――従属と抵抗<br>5. 西洋の「衝撃」と自己革新<br>6. 民族主義運動と「想像の共同体」<br>7. 日本軍政のインパクト――宣撫、動員、独立準備<br>8. 国民国家の形成<br>9. 冷戦の中のインドネシア：９・30 事件の衝撃<br>10. 日本とインドネシア――デビ夫人、エビ、ＯＤＡ<br>11. 開発の光と影（１）<br>12. 開発の光と影（２）<br>13. 民主化時代のインドネシア<br>14. 再生への試練<br>15. ムスリム民主主義大国の課題<br><br>【授業時間外の学習　（準備学習等）】<br>大学の図書館にあるインドネシア語の新聞・雑誌を利用すること。特に、『じゃかるた新聞』に習慣的に目を通すこと。 | | |
| テキスト・参考文献 | プリント配布。 | | |
| 試験・評価方法 | レポート 30%、定期試験 70%により評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# インドネシア文化研究

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294451 |
| 担当教員 | 間瀬　朋子 （外国語学部准教授） | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　火曜,金曜：3限（1330～1500）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | F11 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 【授業概要】<br>この授業は講義および演習形式でおこなわれる。<br>インドネシアの人びとが後天的に学び、継承してきた認識と実践の体系としての文化のなかでも衣食住に注目して、たくさんの民族グループが存在してそれぞれが異なる価値観や生活様式を有する多様性と、経済発展・グローバル化・中間層化のなかで進む文化の画一化現象について考察する。履修生は授業で指定されたインドネシア文化に関する基本的な文献を読んだうえで、各自で具体的なトピックを設定し、それについて情報を集め、自分なりの議論をつくりあげて発表する<br><br>【到達目標】<br>・インドネシアの多様性を具体的に知る。<br>・インドネシアの文化がいま次第に変容している様相やその背景を理解する。<br><br>【授業計画】<br>1. オリエンテーション<br>2. 食文化に関する基本的な説明（1）（「インドネシア料理」とは?、主食となる作物の多様性、さまざまな食材・調味料・調理法、祭事食、食をめぐるマナー、食と宗教―各種禁忌、ファストフードの出現、栄養に対する知識など）<br>3. 食文化に関する基本的な説明（2）<br>4. 食文化に関する文献講読（1）<br>5. 食文化に関する文献講読（2）<br>6. 衣文化に関する基本的な説明（1）（気候と衣服、祭事と衣服、宗教と衣服、各民族グループの衣装、ファッション産業、ファッション市場としてのインドネシアなど）<br>7. 衣文化に関する基本的な説明（2）<br>8. 衣文化に関する文献講読（1）<br>9. 衣文化に関する文献講読（2）<br>10. 食文化に関する履修生による発表（1）<br>11. 食文化に関する履修生による発表（2）<br>12. 住文化に関する基本的な説明（気候と住居、民族グループと住居、伝統家屋の消失と保存、家族構成と居住形態の変化、都市における高層住宅の出現など）<br>13. 住文化に関する文献講読<br>14. 衣文化に関する履修生による発表<br>15. 住文化に関する履修生による発表<br><br>【授業時間外の学習 （準備学習等）】<br>授業時間内に指定した文献のほか、できるかぎりほかの参考文献も読む。各自で設定したトピックに関する情報を収集し、発表の準備を進める。 | | |
| テキスト・参考文献 | 授業時間内に指示する。 | | |
| 試験・評価方法 | 授業への積極的な参加（25%）、発表（25%）、レポート（50%） | | |

| | |
|---|---|
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | |

# 財政学 A

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294452 |
| 担当教員 | 西森　晃（経済学部准教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　火曜,金曜：2限（1105～1235）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | G28 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【副題】<br>租税に関する理論分析<br><br>【授業概要】<br>この授業は講義形式で行われる。<br>この講義の目的は、租税について考えることである。<br>税の原則や税がもたらす歪みについて、ミクロ経済学の理論を用いて分析し、<br>消費税・所得税・法人税などの特徴や問題点を明確にする。<br><br>【到達目標】<br>・政府の役割について理解する。<br>・租税の意義と影響について理解する。<br>・消費税、所得税、法人税の特徴と問題点を理解し、あるべき税体系の姿について自分の意見を述べられるようになる。<br><br>【授業計画】<br>1. イントロダクション<br>2. 政府の役割<br>3. ミクロ経済学の復習：消費者の行動<br>4. ミクロ経済学の復習：生産者の行動<br>5. ミクロ経済学の復習：市場の効率性<br>6. 租税の三原則<br>7. 日本の税制<br>8. 租税の理論：従量税<br>9. 租税の理論：従価税<br>10. 租税の理論：一般均衡分析<br>11. 租税の理論：最適課税論<br>12. 所得税の特徴と問題点<br>13. 消費税の特徴と問題点<br>14. 法人税の特徴と問題点<br>15. まとめ<br><br>【授業時間外の学習　（準備学習等）】<br>教科書の該当範囲をあらかじめ読んでくる。<br>配布される練習問題を利用して復習をする。 | | |
| テキスト・参考文献 | 小川光・西森晃 著「公共経済学【ベーシック＋】」中央経済社、2015 年（予習・復習用：講義中に使用する予定はない） | | |
| 試験・評価方法 | 期末試験 100%。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 産業組織論 A

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294453 |
| 担当教員 | 上田　薫（経済学部教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　月曜,木曜：1 限（920～1050）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | DB1 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 【副題】<br>企業間競争の経済分析<br><br>【授業概要】<br>講義形式の授業である。多くの企業は、販売する商品や価格を決定する際に、自分と類似した商品を扱うライバル企業の存在を意識している。こうした企業間の競争を理解するために有用な、寡占と戦略的行動の理論を説明する。<br><br>【到達目標】<br>寡占の分析について、必要なミクロ経済学およびゲーム理論の知識を理解し、基本的な分析を行うことが出来る。<br><br>【授業計画】<br>1. イントロダクション<br>2. ミクロ経済学からの準備：企業と費用<br>3. ミクロ経済学からの準備：市場需要と収入<br>4. ミクロ経済学からの準備：単純な独占<br>5. ゲーム理論からの準備：戦略形<br>6. ゲーム理論からの準備：ナッシュ均衡<br>7. クールノー複占モデル：基本的設定<br>8. クールノー複占モデル：競争の効果<br>9. クールノー寡占モデル：均衡の導出<br>10. クールノー寡占モデル：価格支配力と技術的効率性<br>11. ゲーム理論からの準備：展開形<br>12. ゲーム理論からの準備：部分ゲーム完全均衡<br>13. 参入阻止行動：基本的分析<br>14. 参入阻止行動：第三段階<br>15. 参入阻止行動：第二段階と第一段階<br><br>【授業時間外の学習　（準備学習等）】<br>配布プリントによる授業の予習復習および練習問題 | | |
| テキスト・参考文献 | 特に定めない。 | | |
| 試験・評価方法 | 期末試験の成績で評価する（100%）。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 数式を多用するので、これを負担に感じない者の受講を勧める。 | | |

# 自己とキャリアの形成

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294454 |
| 担当教員 | 近藤　仁　（経済学部教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　月曜,木曜：3限（1330～1500）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | EB1 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月,9 月 |

**講義概要**

【副題】
キャリア形成のための自己の向上

【授業概要】
本授業は、講義形式で行われる。
本講義は、大学生活の早い時期に、将来設計という観点からのキャリアに関する意識を高め、自分の能力を向上させることを考究させることを目的とする。特に、自己を見つめ、自己の特性を把握し、自己表現やコミュニケーションの向上を目指す。さらに、企業の人事担当者を講師とする講義を３回行う。

【到達目標】
将来設計という観点から、自己分析を基礎に、自己表現力やコミュニケーション力、創造力を高めることができるようになる。

【授業計画】
講義は、以下の内容で行う。
1. ガイダンス（キャリアとは）
2. 社会人基礎力とキャリア形成
3. 自己分析と自己表現力
4. 自己分析と自己表現力（学生レポートの学生による評価）
5. プレゼンテーション力
6. プレゼンテーション力（学生によるプレゼンテーション）
7. 企業の人事担当者による講義（人材とキャリア育成）1
8. 観点の多様性と分析力
9. キャリア形成と分析
10. 文章表現力（ビジネス文書，メール文書）
11. 企業の人事担当者による講義（人材とキャリア育成）2
12. コミュニケーション力
13. コミュニケーション力（学生によるグループディスカッション）
14. 企業の人事担当者による講義（人材とキャリア育成）3
15. 人生設計とキャリア形成

・毎回の授業で、授業内容に関する「振り返りシート（リアクションペーパー）」の提出を課す。
・授業では、学生の「振り返りシート」をまとめたものを取り上げ、フェードバックを行う。
・講義中に、受講生の発表を求め，それに対する他の学生からのコメントを聞いたり、実際に、初対面でのコミュニケーションやグループでの戦略提案、あるいは他のテーマでのロールプレイングを多く実施したりする参加型の講義であるので、その意識を持って受講することが必要である。
・業種の異なる企業の人事担当（経験）者による講義は、担当者の予定により、日程は不確定である。

【授業時間外の学習　（準備学習等）】

| | |
|---|---|
| | ・講義でアナウンスされた次回講義に対する準備を行うこと。<br>・毎回の振り返りシートを、コピーしておき、講義でのフィードバックを参考に、読みなおして、改善しておくこと。 |
| テキスト・参考文献 | 資料を配布する。 |
| 試験・評価方法 | 授業への参加度（発言・振り返りシート）（40%）および定期試験（60%）で評価する。 |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | 積極的に挑む姿勢のある学生に限る。他人の前で発表することやコメントを望まない消極的な学生は履修を遠慮してもらいたい。 |

# 組織心理学 A

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294455 |
| 担当教員 | 中尾　陽子（経営学部准教授） | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜春学期＞　月曜,木曜：4限（1515～1645）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | Q314 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【授業概要】<br>この授業は講義および演習形式で行われる。<br>組織心理学 A では，主に『組織』あるいは『組織の中の集団』で起こる人間の行動に焦点をあてながら，それらの行動が社会，組織，集団そして個人にどのような影響を及ぼすのかについて考察していく。<br><br>【到達目標】<br>『組織』『集団』を対象とした組織心理学の研究領域に関して,<br>・各分野の概要を理解している<br>・基礎的な事項について説明できる<br>・生活の諸側面における具体的事象と心理学的知識を関連づけることができる<br><br>【授業計画】<br>1. オリエンテーション<br>2. 組織心理学研究の歴史<br>3. 組織の中の集団：フォーマル・インフォーマル集団<br>4. 組織の中の集団：社会的促進・抑制<br>5. 組織の中のコミュニケーション：集団意思決定（1）<br>6. 組織の中のコミュニケーション：集団意思決定（2）<br>7. 組織の中のコミュニケーション：集団思考<br>8. 組織の中のコミュニケーション：コンフリクト<br>9. リーダーシップ研究の歴史とリーダーシップの諸要素（1）<br>10. リーダーシップ研究の歴史とリーダーシップの諸要素（2）<br>11. リーダーシップ研究の歴史とリーダーシップの諸要素（3）<br>12. 組織のデザインと管理（1）<br>13. 組織のデザインと管理（2）<br>14. 組織のデザインと管理（3）<br>15. 授業のまとめ<br><br>【授業時間外の学習 （準備学習等）】<br>1. ※Web Class に載せる授業資料を毎回の授業前に確認し、予習および必要な準備を行う。<br>2. 授業で提示された事前課題に取り組む。<br>3. 自分の日常生活，新聞，ニュースなどを通して授業テーマに関する様々な情報を収集する。また，それらを心理学的知識と関連づけ，理解することに取り組む。 | | |
| テキスト・参考文献 | 特に指定しない。 | | |
| 試験・評価方法 | 定期試験：50%、授業への参加度：50%<br>＊授業参加度については、その他欄の内容をよく読んでください。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記 | ※この科目は南山大学のアカウント取得が必要です。授業時間外に 1 時間ほどガイダンスを実施 | | |

| | |
|---|---|
| 事項 | します。<br>この授業では、毎回の授業で受講生同士のディスカッションを取り入れます。また、授業でとりあげるテーマを自分の身近な現象と関連づけながら理解するため、予習を兼ねたショートレポートの提出を不定期に求めます。授業参加度は、毎回の授業で行うディスカッションへの参加度、授業終了時に提出するコメントカードの記述内容、授業時に問いかける質問への発言回数と内容、ショートレポートの記述内容、授業後半で実施するグループ発表の内容から評価していきます。<br>毎回の授業の中で“受け身ではない態度と行動”と“それらの積み重ね”が常に必要になりますので、それを覚悟した上で受講してください。 |

# 組織心理学Ｂ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294456 |
| 担当教員 | 中尾　陽子　（経営学部准教授） | | |
| 学年配当 | ３年,4 年 | 単位数 | ２単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　火曜,金曜：４限（1515～1645）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | R49 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | ５ | 募集時期 | ４月,9 月 |
| 講義概要 | 【授業概要】<br>この授業は講義および演習形式で行われる。<br>組織心理学Ｂでは，主に『組織の中の個人』に焦点をあて，個人の思考や行動が対人間や集団にどのような影響を及ぼすのか，また，個人の成長にどのような影響を及ぼすのかについて考察していく。<br><br>【到達目標】<br>組織における『個人』を対象とした組織心理学の研究領域に関して，<br>・各分野の概要を理解している<br>・基礎的な事項について説明できる<br>・生活の諸側面における具体的事象と心理学的知識を関連づけることができる<br><br>【授業計画】<br>1. オリエンテーション<br>2. 組織の中の個人：自己の諸側面（１）<br>3. 組織の中の個人：自己の諸側面（２）<br>4. 組織の中の個人：キャリアの発達と開発（１）<br>5. 組織の中の個人：キャリアの発達と開発（２）<br>6. やる気の諸側面：モチベーションとは（１）<br>7. やる気の諸側面：モチベーションとは（２）<br>8. やる気の諸側面：モチベーションの維持と向上<br>9. やる気の諸側面：組織へのコミットメント<br>10. ストレス：精神的疲弊のメカニズム<br>11. ストレス：対処法とメンタルヘルス<br>12. 対人関係：人間関係トレーニングの視点から<br>13. 対人関係：仕事と人間関係（１）<br>14. 対人関係：仕事と人間関係（２）<br>15. 授業のまとめ<br><br>【授業時間外の学習　（準備学習等）】<br>1. ※Web Class に載せる授業資料を毎回の授業前に確認し、予習および必要な準備を行う。<br>2. 授業で提示された事前課題に取り組む。<br>3. 自分の日常生活，新聞，ニュースなどを通して授業テーマに関する様々な情報を収集する。また，それらを心理学的知識と関連づけ，理解することに取り組む。 | | |
| テキスト・参考文献 | 特に指定しない。 | | |
| 試験・評価方法 | 定期試験：50%、授業への参加度：50%<br>＊授業参加度については、その他欄の内容をよく読んでください。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記 | ※この科目は南山大学のアカウント取得が必要です。授業時間外に１時間ほどガイダンスを実施 | | |

| | |
|---|---|
| 事項 | します。<br>この授業では、毎回の授業で受講生同士のディスカッションを取り入れます。また、授業でとりあげるテーマを自分の身近な現象と関連づけながら理解するため、予習を兼ねたショートレポートの提出を不定期に求めます。授業参加度は、毎回の授業で行うディスカッションへの参加度、授業終了時に提出するコメントカードの記述内容、授業時に問いかける質問への発言回数と内容、ショートレポートの記述内容、授業後半で実施するグループ発表の内容から評価していきます。<br>毎回の授業の中で“受け身ではない態度と行動”と“それらの積み重ね”が常に必要になりますので、それを覚悟した上で受講してください。 |

# マーケティング・コミュニケーションB

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294457 |
| 担当教員 | 川北　眞紀子（経営学部教授） | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　月曜,木曜：2限（1105～1235）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | MB2 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 【副題】<br>広報・PR 論：パブリック・リレーションズの理論と実際<br><br>【授業概要】<br>この授業は講義形式で行われる。一部、学生からの発表も行う。<br>組織が多様なステークホルダーと良好な関係を築くために行う様々なコミュニケーションについて、総合的に理解をする。その上で実際の広報活動について事例を踏まえながら考えていく。また、メディアへ自社の情報を提供していくためのプレスリリースを制作することを通じて、広報の意味を考えていく。PR の現場で働くゲスト講師を招聘する予定。<br><br>【到達目標】<br>・広報・PR についての基礎的な理論を理解できる。<br>・プレスリリースを書くことができる。<br>・多くのステークホルダーの視点から組織を見ることができる。<br><br>【授業計画】<br>1. ガイダンス　パブリック・リレーションズとは<br>2. ステークホルダーと組織の社会的責任<br>3. 組織のレピュテーション、<br>4. 組織と広報・PR<br>5. メディアとメディア・リレーションズ<br>6. マーケティング PR（1）<br>7. 企業の PR 部門（ゲスト講師：食品メーカーの広報マン）<br>8. マーケティング PR（2）<br>9. ニュースリリースの実際：中間課題出題（ゲスト講師：PR エージェントの方）<br>10. インターネットと広報・PR<br>11. インターネットを使ったコミュニケーション（ゲスト講師：プロブロガーの方）<br>12. インベスター・リレーションズ<br>13. ニュースリリース課題の発表と講評（ゲスト講師：PR エージェントの実務家）<br>14. インターナル・リレーションズ<br>15. 危機管理広報<br>16. テスト<br><br>【授業時間外の学習 （準備学習等）】<br>・ミニ課題 2 つ以上、中間課題（リリースを書く）を提出し、一部の方には発表していただく。<br>・プレスリリースを書くために、対象企業（または組織）について調査する時間が必要である。<br>・ゲストが来る時には、ゲストへのコメントを書いていただくためにその企業や組織について下調べが必要となる。<br>・普段からマスメディアのニュース、SNS などに興味を持って接していただかないと理解が難しいだろう。 | | |
| テキスト・参考文献 | テキスト必須：『広報・PR 論』　2014　伊吹・川北・北見・関谷・薗部著　有斐閣 | | |
| 試験・評価 | テスト 50%　課題（ミニ課題、中間課題など）50% | | |

| | |
|---|---|
| 方法 | |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | 実務家のゲストを招聘するため、きちんと講義に向き合える方の参加を望みます。<br>ゲスト講師の時には特に、感謝の気持ちを持って失礼のないように受講してください。 |

# 少年法

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294458 |
| 担当教員 | 丸山　雅夫（法務専攻教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　月曜,木曜：2限（1105～1235）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | S22 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 上限なし | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 【副題】<br>少年法の基礎理論を学ぶ<br><br>【授業概要】<br>教科書を前提として、少年法について講義形式で解説する。<br>　前半は、少年法の基本的な考え方、その歴史について検討する。特に、欧米および日本の少年法の特徴がどのような歴史に基づいて、形成されてきたのかを考察する。その後、具体的な少年法に基づく少年審判や手続の概要、理論的問題について検討を加えてゆく。特に、判例の動向についても目配りする。そして、少年法の将来的展望についても扱うこととする。<br><br>【到達目標】<br>少年法の基礎理論を学び理解する。<br>わが国の現行少年法の構造と運用について、正確に理解する。<br>少年法の動向と将来の展望について、単なる印象や感想ではなしに、基本知識を前提として適切な考え方を形成する。<br><br>【授業計画】<br>教科書を前提として、以下の内容を扱う。かっこ内は、教科書の該当部分である。<br>1. 欧米および我が国における少年司法システムの独立とその背景（1～6頁、7～24頁）<br>2. わが国における非行の現状と社会的反応（34～54頁）<br>3. 少年司システムの理念と特徴（25～33頁、55～63頁）<br>4. 現行少年法の構造と基本原理（63～82頁）<br>5. 少年法の対象（83～100頁）<br>6. 非行（少年）の発見（101～129頁）<br>7. 家庭裁判所の受理と観護措置（129～155頁）<br>8. 家庭裁判所の調査（156～192頁）<br>9. 少年審判①（193～226頁、245～257頁）<br>10. 少年審判②、試験観察（226～237頁、237～266頁）<br>11. 社会内処遇（272～287頁）<br>12. 施設収容処遇（287～306頁）<br>13. 少年の刑事裁判①（319～338頁）<br>14. 少年の刑事裁判②（339～349頁）<br>15. 少年法の将来（350～370頁）<br><br>【授業時間外の学習　（準備学習等）】<br>講義は教科書の予習を前提として、適宜、省略や詳述して行う。各回に参加する前に、上記の教科書の該当部分をよく読み込んでおくこと。 | | |
| テキスト・参考文献 | 丸山雅夫『少年法講義［第３版］』（2016 年、成文堂、３３００円） | | |
| 試験・評価方法 | 定期試験で評価を行う（100%）。 | | |
| 別途必要な | | | |

| | |
|---|---|
| 経費 | |
| その他特記事項 | 出席はとらないが、講義は濃密で採点も厳格に行うから、上級生等の無責任な「簡単に単位が取れる」という言動を盲信して登録してはならない。講義中に他人の迷惑となる行為（私語等）や不適切な行為（メールの送受信等）については、警告を与えた後、改善が見られない者は退出させる。 |

# OR 概論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294459 |
| 担当教員 | 鈴木　敦夫 （理工学部教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　月曜,木曜：1 限（920～1050）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 数学・物理・化学 | | |
| 教室 | S22 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 上限なし | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 【授業概要】<br>この授業は講義形式で行われる。<br>企業などの組織における種々の意思決定のための手法について平易に解説する OR の入門コースであり、線形計画法、非線形・整数計画法、シミュレーションなど OR 領域の関係科目の基礎となる科目である。問題解決のための数量的分析方法と現実の問題を数理モデルとして定式化する手順や考え方の基本を理解することを目的とする。主として社会での問題解決によく用いられるモデルを中心に、線形計画法、 待ち行列，シミュレーションについて解説する。<br><br>【到達目標】<br>1. OR の手法を用いた問題解決の手順を知っている。<br>2. 実際問題をモデリングする方法を知っている。<br>3. OR の基本を理解している。<br>4. OR の基本的な手法を用いて，抽象化された小規模な問題を解決することができる。<br><br>【授業計画】<br>第 1 回　OR の起源<br>第 2 回　OR の現状と今後<br>第 3 回　線形計画法（1）定式化<br>第 4 回　線形計画法（2）シンプレックス法<br>第 5 回　線形計画法（3）シンプレックス法の行列表現<br>第 6 回　線形計画法（4）双対問題<br>第 7 回　線形計画法の問題演習<br>第 8 回　待ち行列（1）ケンドールの記号、リトルの公式<br>第 9 回　待ち行列（2）M／M／1 の待ち行列<br>第 10 回　待ち行列（3）M／M／s の待ち行列<br>第 11 回　シミュレーション（1）一様乱数と指数乱数の発生，M／M／1 のシミュレーション<br>第 12 回　シミュレーション（2）ブートストラップ法<br>第 13 回　待ち行列の問題演習,シミュレーションの問題演習<br>第 14 回　線形計画法のケーススタディー<br>第 15 回　シミュレーションのケーススタディー<br><br>【授業時間外の学習 （準備学習等）】<br>第3回以降、予習復習問題を出すので、これを解くこと。 | | |
| テキスト・参考文献 | ※WebClass 上に毎回の教材を掲示する。 | | |
| 試験・評価方法 | 現実の問題を OR の問題として定式化できること、線形計画法、待ち行列、シミュレーションの手法を用いた問題解決の基礎を理解していること、これらの知識を応用して、抽象化された小規模な問題を解くことができることを合格の基準とする。<br>定期試験 70%、授業中に行うレポート 30%によって評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | ※この科目は南山大学のアカウント取得が必要です。授業時間外に 1 時間ほどガイダンスを実施します。 | | |

# 統計的方法

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 南山大学 | 科目コード | 294460 |
| 担当教員 | 松田　眞一（理工学部教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜秋学期＞　火曜,金曜：4限（1515～1645）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 数学・物理・化学 | | |
| 教室 | S22 教室 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 上限なし | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 【授業概要】<br>　この授業は講義形式で行われる。<br>　統計データの記述法から始め、推測統計学の基礎理論とその応用までを講義する。統計的なものの見方や考え方を身につけるとともに、確率と統計モデルに基づく推測統計学の基礎を理解し、実際問題への適用の仕方について学ぶ。統計学の発展科目や統計学以外の分野での統計学の応用に際しての基礎科目となるものである。<br><br>【到達目標】<br>1. 記述統計における平均、分散、相関、回帰などの基本的概念を理解している。<br>2. 統計データからその特徴を示す統計値を計算でき、統計的な考察ができる。<br>3. 確率論における確率、確率変数、平均、分散などの基本事項を理解している。<br>4. 推測統計（推定、検定）の考え方を理解している。<br>5. 基本的な問題をモデル化し、推定・検定問題として考察できる。<br><br>【授業計画】<br>1. 統計的方法とその意義<br>2. 代表値<br>3. 散らばりの指標、その他の指標<br>4. 相関と回帰<br>5. 確率・確率変数と期待値<br>6. 主な確率変数<br>7. 標本分布<br>8. 点推定<br>9. 区間推定<br>10. 検定の基礎<br>11. 平均の検定（1 標本）<br>12. 対応のある場合の平均の検定、比率の検定（1 標本）<br>13. 2標本問題<br>14. 適合度検定と分割表<br>15. 総括<br><br>【授業時間外の学習　（準備学習等）】<br>以下の項目に関して平均週 2 時間程度の時間外の学習を要す。<br>・教科書の該当箇所を読むなどの事前学習<br>・前回の授業の復習<br>・レポートの作成 | |
| テキスト・参考文献 | 「統計解析入門」白旗慎吾著、共立出版 | | |
| 試験・評価方法 | ・基準<br>　記述統計や確率について理解し、データからの統計量の計算を通じて推定や検定が行なえ、統計的問題について考察できることを合格の基準とする。<br>・方法<br>　7回のレポートの合計 20%、定期試験 80%で評価する。 | | |

| | |
|---|---|
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | |

# 赤十字原論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 日本赤十字豊田看護大学 | 科目コード | 294501 |
| 担当教員 | 森正尚（非常勤講師） | | |
| 学年配当 | １年 | 単位数 | １単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　金曜：３限（1300～1430）４限 14401610 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 豊田キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | Ⅰ　授業目的<br>　日本では、赤十字の名前やマークは知られているが、実際の活動は「病院と献血」、そして義援金を受付ける団体であるという以外、ほとんど知られていない。赤十字とは何か？本講義では、このように身近でありながら、今ひとつ正確に理解されていない赤十字について、その歴史的背景、理念や基本原則、そして国際人道法という観点から考え、150 年の歴史と経験を積み重ねた「国際赤十字・赤新月運動」の根源にあるものに迫りたい。<br><br>Ⅱ　到達目標<br>1.赤十字の歴史と基本的なしくみについて理解する。<br>2.赤十字の活動の背景にある赤十字の基本原則と、国際人道法について理解する。<br><br>Ⅲ　授業内容及び計画<br>1.赤十字の歴史（１）赤十字誕生（２）日本赤十字社誕生と歴史<br>2.赤十字のしくみと理念（１）国際赤十字のしくみ（２）赤十字の活動資金<br>3.赤十字の理念と基本原則１<br>4.赤十字の基本原則２、赤十字と国際人道法<br>5.国際人道法（１）基本的な知識（２）ジュネーブ条約<br>6.国際人道法（３）赤十字と国際人道法<br>7.赤十字の標章<br>8.世界と日本の赤十字～国際救援の現場から見えてくるもの～ | | |
| テキスト・参考文献 | ・『新版　世界と日本の赤十字』桝居孝・森正尚著　東信堂<br>・『赤十字のしくみと活動』日本赤十字社　日赤会館<br>・『赤十字と国際人道法　普及のためのハンドブック』日本赤十字社　日赤会館 | | |
| 試験・評価方法 | レポート（100%）。ただし欠席および授業態度の状況は、減点の対象になるので注意すること。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 特になし | | |

# 赤十字と活動

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 日本赤十字豊田看護大学 | 科目コード | 294502 |
| 担当教員 | 小林洋子（看護学部教授）ほか | | |
| 学年配当 | １年 | 単位数 | １単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　集中講義：３限（1300～1430）４限 14401610 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 豊田キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | ４月 |
| 講義概要 | Ⅰ　授業目的<br>日本赤十字社は国際活動、救護活動、医療事業、看護師等養成事業、血液事業、社会福祉事業、青少年赤十字など幅広い活動を行っている。本授業では、これらの活動について、「赤十字原論」で学習した赤十字の思想、基本原則、歴史を念頭におきながら、理解を深める。<br><br>Ⅱ　到達目標<br>1.日本赤十字社の諸活動について理解することができる。<br>2.日本赤十字社の諸活動の重要性を理解し日常生活における活動を考えることができる。<br><br>Ⅲ　授業内容及び計画<br>1.ガイダンス，日本赤十字社の諸活動<br>2.日本赤十字社の諸活動を考える①　日本赤十字社の国際活動<br>3.日本赤十字社の諸活動を考える②　日本赤十字社の救護活動<br>4.日本赤十字社の諸活動を考える③　日本赤十字社の社会福祉事業<br>5.日本赤十字社の諸活動を考える④　看護師等養成事業<br>6.日本赤十字社の諸活動を考える⑤　日本赤十字社の血液事業<br>7.日本赤十字社の諸活動を考える⑥　日本赤十字社の医療事業<br>8.まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | ・新版『世界と日本の赤十字』桝居孝・森正尚著　東信堂<br>・『赤十字のしくみと活動』日本赤十字社　日赤会館<br>・『赤十字と国際人道法　普及のためのハンドブック』日本赤十字社　日赤会館 | | |
| 試験・評価方法 | レポート：個人レポート（60%），グループワーク課題（30%），参加状況（10%）。<br>欠席および授業参加態度の状況は、減点する。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 特になし | | |

# 環境と開発Ⅰ・Ⅱ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 日本福祉大学 | 科目コード | 294601 |
| 担当教員 | 千頭聡<br /><br />（国際福祉開発学部教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　火曜日：5 限（1600～1730）6 限 17401910 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 地球・環境・エネルギー | | |
| 教室 | 東海キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | テーマ<br>持続可能な開発とは？part1<br>＜キーワード＞<br>持続可能な開発　環境共生　環境学習　ESD<br><br>＜内容の要約＞<br>地球温暖化問題が宇宙船地球号の未来にとって緊迫した課題であることが世界共通の認識になっています。 本講義は、地球と地域という空間と、食料やエネルギーなどの資源の世界的なつながりを基本としつつ、自然的・社会的・人的側面から持続可能な開発のあり方を考えます。特に、ヨーロッパやアジアにおいて取り組まれている環境共生型の地域づくりの先進事例を学ぶとともに、日本における伝統的な自然共生型の暮らしを振り返ります。また、人づくりの側面にも重点を置き、市民 NPO の役割、環境学習のしくみづくりなどについても述べます。<br>＜学習目標＞<br>・環境問題や、 私たちの暮らしと環境とのかかわりについての基本的な理解が進む。<br>・持続可能な開発とは何かを理解できる。<br>・アジアおよびヨーロッパの環境共生の先進事例を学び、視野を世界に向けることができる。<br>・日本の地域開発と環境とのせめぎあいの実情を理解し、 これからの開発のあり方を考えることができる。<br>・NPO の社会的意味について理解が進む。<br><授業のながれ><br>ガイダンス<br>都市と環境－ヨーロッパの自然共生型まちづくり１・２<br>持続可能な発展のために大切なこと１・２<br>日本の地域開発と環境１・２<br>レビューシート１－何を学んできたかを再確認するために<br>日本の伝統的な自然共生型の暮らしを振り返る<br>中山間地域が生き残る道筋<br>環境学習とひとづくり<br>持続可能な開発のための教育（ＥＳＤ）<br>市民による環境都市づくり１・２<br>レビューシート２－全体の振り返り | | |
| テキスト・参考文献 | レジュメを使用する | | |
| 試験・評価方法 | 課題・小テスト　30%程度、 定期試験　70%程度 （最終試験はレポートに代えることがある。） | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | | | |

# 現代福祉

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 日本福祉大学 | 科目コード | 294602 |
| 担当教員 | 吉村輝彦教授<br /><br />（国際福祉開発学部教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　金曜日：1 限（1420～1550） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉,社会・マスコミ・情報 | | |
| 教室 | 東海キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | テーマ<br>境界を越えて考える「福祉開発」入門<br>＜キーワード＞<br>ふくし　福祉社会開発　国際福祉　社会開発<br>＜内容の要約＞<br>日本や多くの国々に共通する福祉的問題とそれに対する現代的アプローチについての入門講義です。視聴覚教材を取り入れ、１年生にも分かりやすい具体的なトピックを扱います。各分野の第一線に立つ他学部の教員や学外の活動家・専門家も含めたリレー講義とします。現代世界における「福祉」領域の広がりを、とくに、「ふくし」や「福祉開発」の視点から概観するものです。既存の福祉制度の利用だけでなく、誰もがふくしを向上させることができる仕組みそのものを築くところまで視野に入れるのが「福祉開発」です。<br><br>＜学習目標＞<br>・伝統的な「福祉」や「開発」の概念とともに、さらに広い「ふくし」や「福祉開発」の考え方を身につけることができる。<br>・地域をベースにした様々な取り組みから自分ごとの「ふくし」の考え方を身につけることができる。<br>・「ふくし」の実現に向けて、地域をベースに、自ら考え、行動するきっかけにしていくことができる。<br>・日本から多くの途上国世界を、また、途上国から日本を見る視点を身につけることができる。<br>＜授業のながれ＞<br>イントロダクション：「福祉開発」の考え方<br>国際福祉開発の概念とアプローチ<br>知多半島の NPO と地域づくり<br>Next Nippon No-leader?：高浜市の取り組み<br>人にやさしいまちづくりの取り組み<br>長久手市の取り組み<br>東海市の健康施策：いきいき元気推進事業の取組み<br>高浜市における「ざっくばらんなカフェ」の取り組み<br>アート×福祉の取り組み<br>アジアの障がい者の現状<br>地域内“志金”循環モデルへの挑戦<br>コミュニティ創成×福祉～参加のデザイン技術で、地域ケアを支援する～<br>生命福祉コミュニティとしての「まちの縁側」<br>多文化共生から考える福祉<br>まとめ：境界を越えて考える「福祉開発」 | | |
| テキスト・参考文献 | レジュメを使用する | | |
| 試験・評価方法 | 日常の学習の積極性（感想・コメントの提出）と最終レポートの内容とを合わせて評価する。<br>（概ね、平常点３０点、学習の積極性３０点、レポート４０点） | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 特になし | | |

# 環境経済学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 日本福祉大学 | 科目コード | 294603 |
| 担当教員 | 西村一彦<br /><br />（経済学部教授） | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 4 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　月曜日,金曜日：4 限（1420～1550）1 限 9201050 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 地球・環境・エネルギー | | |
| 教室 | 東海キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | テーマ<br>環境問題への経済学からのアプローチを学ぶ<br>＜キーワード＞<br>環境問題　ミクロ経済学<br>＜内容の要約＞<br>グローバルな目標とローカルな行動を整合させることができるのかという観点から，環境問題に対する，社会科学的アプローチを学ぶ。 とくに経済主体の意思決定と環境との関係を考える手法を学ぶことで、環境問題に対する制度設計や社会的意思決定の方法を応用できるようになることを目標とする。<br>＜学習目標＞<br>・環境問題を経済学の理論で説明できる。<br>・市場メカニズムの性能と限界を説明できる。<br>・環境の計測に関わる諸問題を説明できる。<br>＜授業のながれ＞<br>イントロダクション：　環境経済学の概観<br>負の財：汚染<br>負の財：環境リスク<br>負の財：不確実性<br>負の財：リスク<br>負の財：プロスペクト<br>エントロピー：環境と資源<br>エントロピー：エネルギー<br>エントロピー：熱力学<br>エントロピー：統計力学<br>エントロピー：枯渇性資源<br>CVM：質と属性<br>CVM：仮想市場<br>CVM：ヘドニック<br>CVM：ロジット<br>CVM：オプション<br>CVM：ゴミ問題<br>CVM：リサイクル<br>CVM：結合生産<br>CVM：産業連関分析<br>CVM：ライフサイクル分析<br>エコロジー：動学的最適化<br>エコロジー：世代間衡平<br>エコロジー：最適人口<br>エコロジー：生態動学<br>エコロジー：人口動態<br>エコロジー：持続可能性<br>エコロジー：生物多様性 | | |

| | |
|---|---|
| | エコロジー：グローバルとローカル<br>まとめ |
| テキスト・参考文献 | レジュメを使用する |
| 試験・評価方法 | 中間テストと定期試験の結果で成績を付ける。 |
| 別途必要な経費 | 特になし |
| その他特記事項 | 特になし |

# 高齢社会論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 日本福祉大学 | 科目コード | 294604 |
| 担当教員 | 吉田直美<br /><br />（経済学部准教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　水曜日：4 限（1420～1550） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉,社会・マスコミ・情報 | | |
| 教室 | 東海キャンパス | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | 若干名 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | ＜テーマ＞<br>高齢者を取り巻く社会状況を踏まえ、高齢者の生活問題と諸制度について考える<br>＜キーワード＞<br>少子高齢社会　　社会保障制度　生きがい<br>＜内容の要約＞<br>まず、高齢者の特性や、高齢者の生活実態についてのイメージを、その置かれている社会経済的状況及び歴史的背景を学ぶことで理解を深める。また、現行の高齢者福祉の理念を学び、 高齢者福祉とその関連施策について、法制度及び実践の現状を概観し、今後の課題とあるべき方向性について考えていく。<br>＜学習目標＞<br>・高齢者（保健）福祉サービスの体系と内容について理解できる。<br>・高齢者への援助の現状を理解できる。<br>・高齢者の生きがいの多様性と普遍性について理解できる。<br>＜授業のながれ＞<br>高齢社会を取り巻く社会保障の概観<br>高齢者の生活実態１・２<br>トピックス<br>高齢者の所得問題<br>高齢者の医療問題<br>トピックス<br>高齢者の介護問題１・２・３<br>高齢者の雇用問題<br>高齢社会の住宅問題<br>生きがいについて１・２<br>まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | レジュメを使用する | | |
| 試験・評価方法 | 講義時間中に実施するチェックシート及び課題シートと、定期試験の成績で評価する。但し、出席状況が芳しくない者については、S評価はしない。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし | | |
| その他特記事項 | 特になし | | |

# 環境リスク概論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 人間環境大学 | 科目コード | 294701 |
| 担当教員 | 谷地　俊二（人間環境学部助教） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　火曜日：1 限（910～1040） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 地球・環境・エネルギー | | |
| 教室 | 岡崎キャンパス教室未定 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【科目のテーマ】<br>地球環境問題への対応やその解決においては、科学的知見を得ると共に、問題への柔軟な解釈と策を見出す能力が求められる。このことから、環境問題や科学的なものの考え方を踏まえた上で、科学的判断ツールとしてリスクの概念を理解し、多角的で合理的な思考法を身に付けることが本講義の目的である。<br>【科目の概要】<br>地球環境問題の個別テーマは、別途開講科目である『地球環境問題概説』で取り上げる。本講義では、それらの個別の知識を統合化することによって初めて“現場での”環境問題に対処できることを、実例及び考え方から紹介するとともに、実際の環境問題やデータ、及び例示するデータを用いて、参加学生と議論を行ないその理解を深める。<br>【科目のキーワード】<br>①地球環境　②科学　③環境リスク　④多角的視点　⑤熟慮　⑥複雑さ<br>【授業の計画】<br>1. 概論（本講義の進め方）<br>2. 安全について<br>3. 環境とリスク<br>4. 環境問題とは何か<br>5. 環境（問題）の見方<br>6. 科学的なものの捉え方，考え方<br>7. リスクという考え方<br>8. まとめ<br>9. 身のまわりのリスク<br>10. 環境リスク～食のリスク<br>11. 環境リスク～農薬のリスク<br>12. 環境リスク～重金属のリスク<br>13. グループディスカッション<br>14. グループ発表<br>15. 環境問題の複雑さ | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】なし<br>【参考文献】講義中にその都度提示する。 | | |
| 試験・評価方法 | 期末試験による（100%）。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | なし | | |

# 環境経済学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 人間環境大学 | 科目コード | 294702 |
| 担当教員 | 山根　卓二（人間環境学部教授） | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　月曜：1 限（910～1040）00 | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 岡崎キャンパス教室未定 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 【科目のテーマ】<br>経済社会は、物質的に豊かになることを目標として発展してきたはずであるが、現代の不況や格差、環境問題を目の当たりにすると、その目標は十分に達成されているとは言えない。経済と環境の両面から豊かさを実現するために必要な基礎知識として、現在の経済社会がいかにして形成されたかについて学ぶ。<br>【科目の概要】<br>以下のような経済社会の形成過程をたどりながら、人間がどう豊かになり、どう貧しくなったのかを考えていく。「市場が経済生活の表舞台に登場→産業革命→経済成長の始まり→大恐慌→戦後の黄金時代→現代の緩やかな不況」<br>【科目のキーワード】<br>生産と分配、分業、市場、貨幣化、生産要素、利潤動機、資本、生産性、貯蓄、投資、消費、技術進歩、規模の経済、不況、国民所得、ニューディール、貿易、コーポラティズム、インフレーション、所得格差、新自由主義、ニューエコノミー、など<br>【授業の計画】<br>1. 経済問題とは何か？<br>2. 市場経済以前<br>3. 市場経済の登場<br>4. 産業革命<br>5. 工業技術のインパクト<br>6. 大恐慌<br>7. 公共部門の登場<br>8. 前半の復習<br>9. ヨーロッパにおける現代資本主義の登場<br>10. 資本主義の黄金時代<br>11. 黄金時代の終わり<br>12. 経済生活のグローバル化<br>13. なぜ貧しいままの国があるのか<br>14. 情報化経済の形成<br>15. 後半の復習 | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】なし<br>【参考文献】ロバート・ハイルブローナー/ウィリアム・ミルバーグ著　菅原歩訳 『経済社会の形成（原書第１２版）』ピアソン | | |
| 試験・評価方法 | 期末試験 100% | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | なし | | |

# 学校心理学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 人間環境大学 | 科目コード | 294703 |
| 担当教員 | 坂本　真也（人間環境学部助教） | | |
| 学年配当 | 3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　木曜日：2 限（1050～1220） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 人間・心理・教育・福祉 | | |
| 教室 | 岡崎キャンパス教室未定 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 【科目のテーマ】<br>現在，学校現場では，子どもたちの抱える問題が深刻化し，どのように対応していくか求められている。よって，子どもたちの抱えるさまざまな問題を理解し，心理学の視点から学校現場について考えていくことを目指していく。<br>【科目の概要】<br>学校では，学習面の教育だけではなく，人間関係を学んでいる。本講義では，学校の中で人間関係を形成していく教育相談のあり方について学び，体験学習，グループワークなどに積極的に参加することが望ましい。<br>【科目のキーワード】<br>①スクールカウンセリング　②自己理解　③他者理解　④相互理解　⑤学校臨床心理学<br>【授業の計画】<br>1. 学校心理学の概要Ⅰ<br>2. 学校心理学の概要Ⅱ<br>3. エンカウンターグループの理論<br>4. エンカウンターグループのグループワークⅠ（自己理解）<br>5. エンカウンターグループのグループワークⅡ（他者理解）<br>6. 学校現場における子どもの問題<br>7. 学校現場における子どもの問題への予防的アプローチ<br>8. 学校現場でのアセスメントⅠ<br>9. 学校現場でのアセスメントⅡ<br>10. 子どものこころの理解と発達課題<br>11. 学校現場における取り組みの事例 （効果的な連携による援助について）<br>12. カウンセリングの基礎知識<br>13. カウンセリング実習Ⅰ （技法と応答訓練）<br>14. カウンセリング実習Ⅱ （カウンセリング体験実習とシェアリング）<br>15. まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】なし<br>【参考文献】石隈利紀『学校心理学』誠信書房　A. Michael Dougherty：Casebook of Psychological Consultation and Collaboration in School and Community Settings. Brooks/Cole Pub Co; 6 版 | | |
| 試験・評価方法 | 学校現場における子どもの発達課題や問題の理解度および体験実習によるアプローチの方法についてレポート課題により評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | なし | | |

# 日本近世史

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 人間環境大学 | 科目コード | 294704 |
| 担当教員 | 川口　雅昭（人間環境学部教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　木曜日：2 限（1050～1220） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | 岡崎キャンパス教室未定 | | |
| 履修条件 | | | |
| 募集定員 | | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | 【科目のテーマ】<br>江戸という時代は、我が国の歴史上において、初めて社会全体が経済化した時代である。それは、四代家綱から五代綱吉の時代であった。それ以後、老中体制、つまり、身分制体制という剛構造と、側用人政治という柔構造の併用が行われた。本講ではこの側用人を中心として、現在という時代の基礎を形成した江戸という時代を考える。<br>【科目の概要】<br>高校時代までに日本史を学んだ学生が少ないので、基礎的な知識の確認を第一として、その関連知識、また、専門的な知識を習得し、それの定着を図る。<br>【科目のキーワード】<br>①元禄　②側用人　③綱吉　④吉宗　⑤田沼意次<br>【授業の計画】<br>1. オリエンテーション、授業の進め方<br>2. 元禄という時代１<br>3. 元禄という時代２<br>4. 側用人の登場１<br>5. 側用人の登場２<br>6. 綱吉政治とは何であったのか１<br>7. 綱吉政治とは何であったのか２<br>8. 家宣・家継時代と剛構造新井白石の政治１<br>9. 家宣・家継時代と剛構造新井白石の政治２<br>10. ８代将軍吉宗と側用人政治１<br>11. ８代将軍吉宗と側用人政治２<br>12. 江戸社会の再建作業１<br>13. 江戸社会の再建作業２<br>14. 田沼意次<br>15. 田沼意次の諸政策の功罪 | | |
| テキスト・参考文献 | 【教科書】なし<br>【参考文献】大石信三郎編「新書　江戸時代」①から④講談社学術新書 | | |
| 試験・評価方法 | 試験のみ。 | | |
| 別途必要な経費 | なし | | |
| その他特記事項 | なし | | |

# 安全救急法

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 藤田保健衛生大学 | 科目コード | 294801 |
| 担当教員 | 羽田道信（医療科学部教授） | | |
| 学年配当 | 1 年 | 単位数 | 1 単位 |
| 開講日程 | ＜前期<br /><br /><br />又は<br /><br /><br />後期＞　火曜日：2限（1040～1210） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | スポーツ・健康・医療 | | |
| 教室 | 生涯教育研修センター2 号館 4 階 414 講義室<br /><br /><br />医療科学部 7 号館 5 階 505 実習室 | | |
| 履修条件 | ー | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月,9 月 |
| 講義概要 | ＜科目概要＞<br>安全救急法を学ぶ最大の目的は、予防である。また、不慮の事故や災害時における応急手当や救助・救護の知識と技術を身に付け、日常生活において自他共にそれらを実践し、安全安心で健康的な生活を築くことができるようにする。さらに、地域や職場などにおいて、習得した防災や救急法の知識と技術を活かして、健康安全の普及に貢献することが望まれる。<br>＜到達目標＞<br>1）けがや病気、自然災害に対する予防や備えの必要性・重要性について説明できる。<br>2）不慮の事故や災害時における応急手当や救助・救護の知識と技術を身に付け、もしもの時に実践できる。<br>3）関心・意欲的な取り組みから、事故や災害をイメージ（想定）し、課題を抽出できる。<br>4）安全安心で健康的な生活を築くための課題解決策について説明できる。 | | |
| テキスト・参考文献 | 医療科学部「防災・減災ハンドブック」<br>羽田道信『防災・救急に役立つ日用品活用法＆ロープワーク』風媒社 | | |
| 試験・評価方法 | 演習での評価（50%）、授業期間中のレポート（30%）、受講態度（20%）を総合して評価する。<br>実技・演習実施後に確認・回答を行なう。到達目標の理解度・習得度を計るため防災・安全についてレポートを作成する。適時実施する小テスト、レポートは模範解答を解説する。 | | |
| 別途必要な経費 | 特になし。 | | |
| その他特記事項 | ＜準備学習＞<br>演習でうまくできなかったところを重点的に復習を行なうこと。次回の演習内容について予習し、専門用語等を理解しておくこと。<br>＜履修上の注意点＞<br>体験学習の効果は、実践が伴わなければ期待できない。意欲的な受講参加が望まれる。また、安全確保や学習の効果の面などから、指示された約束事を守ることが単位を認める条件となる。 | | |

# （特Ⅰ）起業講座

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名城大学 | 科目コード | 294901 |
| 担当教員 | 西山　賢一（経済学部　教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　水曜日：6 限（1810～1940） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | 天白キャンパス共通講義棟北 N101 講義室 | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 30 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 【授業の概要と目的】<br>平成 29 年（2017 年）度の起業講座のテーマは、「世界一の『発酵』大国、日本～『発酵』は、人を集め、街を創り、未来を切り拓く～」である。「発酵」とは、「微生物の働きによって物質が変化し、人間にとって有益に作用すること」（日本発酵文化協会）とされている。ご存じのように、日本の味である、味噌、醤油、酒、酢、みりんなどは、麹(こうじ)を用いて「発酵」させた食品である。麹(こうじ)を用いない発酵食品も多数あり、おふくろの味、ふるさとの味も、発酵食品と深く関わっている。世界に目を向けると、ワインやチーズ、ヨーグルトは発酵食品であり、パンも紅茶もチョコレートも、発酵の過程がなければ得られない食品である。それぞれの地域で育まれた食の文化は、発酵と深く関わっており、発酵を担った企業が、それぞれの地域で地域づくりの核となってきたのである。この発酵は、食品だけでなく、エネルギーにも深く関連している。発酵によるエネルギーづくりで、地域に必要なエネルギーを賄うこともできるのである。<br>今回の起業講座は、『発酵』に焦点を当て、発酵によってもたらされる、人づくり、街づくりなど、いかに人間が恩恵を受けてきたか、発酵でどんな展望が開けるか、を発酵に関わりの深い企業・組織の代表者に語っていただく。<br><br>【授業計画】<br>1.本学教員　経済学部：井内尚樹<br>「平成 29 年度起業講座」ガイダンス<br>2.企業･団体代表者による講義<br>内容については調整中<br>3.企業･団体代表者による講義<br>内容については調整中<br>4.企業･団体代表者による講義<br>内容については調整中<br>5.企業･団体代表者による講義<br>内容については調整中<br>6.企業･団体代表者による講義<br>内容については調整中<br>7.企業･団体代表者による講義<br>内容については調整中<br>8.企業･団体代表者による講義<br>内容については調整中<br>9.企業･団体代表者による講義<br>内容については調整中<br>10.企業･団体代表者による講義<br>内容については調整中<br>11.企業･団体代表者による講義<br>内容については調整中<br>12.企業･団体代表者による講義<br>内容については調整中<br>13.企業･団体代表者による講義<br>内容については調整中 | | |

| | |
|---|---|
| | 14.企業･団体代表者による講義<br>内容については調整中<br>15.本学教員　経済学部：西山賢一<br>まとめ<br>【到達目標】<br>様々な企業および組織における革新的経営手法を学ぶことが目標である。革新的経営手法の中から、起業のヒントはもちろんのこと、日々直面する諸問題の解決のためのアイデアも得られる。 |
| テキスト・参考文献 | テキスト：使用しない |
| 試験・評価方法 | 毎回の事前調査（準備）および感想等のレポートなどから総合評価する。定期試験は（現段階では）予定していない。なお、授業回数の３分の１以上を欠席した場合は欠格とする。 |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | 【履修上の留意】<br>起業講座の特質は、実際に起業された方、あるいは企業・組織の代表者として活躍されている方々を講師にお迎えし、直接お話を伺うことによって実践的な組織運営の理念や方法を学ぶことにある。<br>本講義は公開講座であり、他大学の学生や一般市民の方も数多く受講される。<br>本学の学生が、私語・スマホ・ケータイ・飲食等の「学生としてのマナーを逸脱する行為」は一切禁止する。<br>最後に講師との質疑応答の時間（約１０分間）を設ける。ぜひ質問を準備なり、その都度メモをし、積極的に聞いて、理解を深めることが望ましい。講師側もそうした質問を実は歓迎している（反応や疑問を知りたいので）。<br>【事前学習・事後学習】<br>毎回の講義内容について、レポートを準備してくることを課題とする。講義内容について調べたことを、事前にワープロで A4 用紙（半分程度）に記述し、講義中、講義内容を A4 用紙続きの部分にメモするとともに、講義終了時に講義の感想等のコメントを裏まで記入して提出してもらう。<br>【受講者へのメッセージ】<br>事前によく調べて、自分の質問を準備することが望まれる。そのことによって、ポイントが整理され、講師の話の重要な点がよく把握されるようになる。 |

# 欧米文化論Ⅰ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名城大学 | 科目コード | 294902 |
| 担当教員 | 宮北　惠子（理工学部　教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　木曜日：1 限（910～1040） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | 天白キャンパス共通講義棟東 H602 講義室 | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 5 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | イギリスが世界に及ぼした影響は、政治・宗教・科学・産業等々の面だけでなく、文化的発信力の大きさは現在も変わらない。本講義は、神話・歴史・文化・宗教・環境といった視点からイギリスのヘリテッジ文化とその意義について学ぶ。<br>1.イントロダクション<br>2.イギリス王室とページェント<br>3.イギリス王室とページェント<br>4.アーサー王を巡る旅<br>5.アーサー王を巡る旅<br>6.王権獲得の旅(イングランド、ウェールズ征服の旅、ほか)<br>7.前半の講義のまとめ<br>8.王権獲得の旅<br>9.メディア操作の達人、エリザベス一世<br>10.メディア操作の達人、エリザベス一世<br>11.孤島からの脱出――女王メアリー逃避の旅<br>12.イギリス諜報機関<br>13.開かれた王室――ダイアナ神話の構築と今<br>14.多民族国家イギリスのゆくえ<br>15.授業のまとめ | | |
| テキスト・参考文献 | 宮北惠子・平林美都子『イギリス・ヘリテッジ文化を旅する』(彩流社、2016) | | |
| 試験・評価方法 | 中間試験（４０%）、定期試験（４０%）、レポート提出（２０%）により評価する。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 食物文化論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名城大学 | 科目コード | 294903 |
| 担当教員 | 小原　章裕（農学部　教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　月曜日：1 限（910～1040） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 家政・生活 | | |
| 教室 | 天白キャンパス共通講義棟北 N203 講義室 | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 30 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | 食べ物に含まれる成分の科学やその加工技術の方法や歴史について勉強し，食品に対する総合的な知識を修得する。また，世界各地の気候，地理的，人的な要因によって形成された食生活の成り立ちについても理解し，我々が現在おかれている食の環境について理解を深め，実際の食生活における利点や問題点を考える。<br>1.オリエンテーション，食と生命の関わり<br>2.東西に分化したコムギ圏とコメ，雑穀<br>3.日本型食生活のできるまで<br>4.現代の日本人の食生活<br>5.日本人の好きなもの<br>6.我が国の食糧事情について（東海農政局の方にお願いしています）<br>7.野菜を社会に安定的に供給するために（東海農政局の方にお願いしています）<br>8.農薬の適正使用について（東海農政局の方にお願いしています）<br>9.食の 6 次産業化と輸出戦略（東海農政局の方にお願いしています）<br>10.食と健康<br>11.食とアレルギー・感染症の予防<br>12.食と骨粗鬆症の予防<br>13.食とガン予防<br>14.食とガン予防（2）<br>15.まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | 新版　基礎食品学　アイ・ケイコーポレーション<br>必要に応じてハンドアウト配布 | | |
| 試験・評価方法 | 授業の最後にミニッツカードで理解度をチェック（30 点）と，学期末試験（70 点）で評価します。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | 第 6 講～第 9 講は，連携協定を締結している農林水産省東海農政局のご担当者に講義をお願いしている。 | | |

# アジアを学ぶ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名城大学 | 科目コード | 294904 |
| 担当教員 | アーナンダ　クマーラ（外国語学部　教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　月曜日：4 限（1450～1620） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | ナゴヤドーム前キャンパス北館 DN301 講義室 | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | [概要と目的]<br>日本を含む多くの先進国は、購買力の低さや、貧困、インフラストラクチャーの弱さなどの側面からアジア諸国をみており、欧米の先進国と比べて魅力の低い地域だと評価していた過去があったことは事実でしょう。しかし、最近、このアジア地域の目覚ましい経済発展がきっかけで、世界から注目を浴びるようになってきています。当授業では、民族、宗教、言語などに加え、経済・社会開発の側面から見て、アジアの魅力とは何かを理解することを目的とします。<br><br>[到達目標]<br>1.アジア諸国の文化的特質を理解できること<br>2.特に、南アジア、東南アジアの社会と文化について理解できること<br>3.アジア諸国と日本との関わり合いについて理解できること。<br><br>[授業計画]<br>1.イントロダクション<br>2.アジア諸国の概要全般<br>3.東南アジアの特色と地理<br>4.マレーシアの過去と現在、そして未来について<br>5.シンガポールの文化と社会、そして経済開発と工業化戦略について<br>6.インドネシアの文化と社会、そして多様性について<br>7.スリランカと日本のかかわりについて<br>8.グループワークと発表会<br>9.南アジアの特色と、言語、そして民族について<br>10.娯楽や歴史、宗教からみる南アジア<br>11.パキスタン、そしてバングラデシュ<br>12.フィリピンの魅力とは？<br>13.「一生涯の 511000 のカレー食」と南アジアの食文化について<br>14.グループワークと発表会<br>15.総括とディスカッション | | |
| テキスト・参考文献 | 特になし。必要に応じて適宜資料配布します。 | | |
| 試験・評価方法 | 授業態度・小テスト４０%、グループワーク１０%、定期試験は５０% | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 現代に生きる

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名城大学 | 科目コード | 294905 |
| 担当教員 | アーナンダ　クマーラ（外国語学部　教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　月曜日：5 限（1630～1800） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 地球・環境・エネルギー,文化・地理・歴史,法律・政治・経済・経営 | | |
| 教室 | ナゴヤドーム前キャンパス北館 DN302 講義室 | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | [授業の概要と目的]<br>現代について正しく理解することは、将来の自分のあり方を見出す手がかりとなります。本講義は、社会科学、人文科学、自然科学の分野における現代社会が直面している様々な課題について学びながら、学習への動機づけを促し、自ら学ぶ意欲を醸成するとともに、外国語学部の教養教育の導入として、基礎的なものごとの捉え方や考え方を身につけ、主体的な学びの礎を養うことを目的とします。<br><br>[到達目標]<br>現代社会における様々な課題の中から（1）「グローバル化・国際化」（2）「地球温暖化」（3）「日本人・その文化の特色」の3つを選び、それらの課題に対する理解を高めることを目標とします。<br><br>[授業計画]<br>1.「グローバル化時代について」（アーナンダ　クマーラ）<br>2.「若者の国際協力活動について考える」（アーナンダ　クマーラ）<br>3.「国際協力と NPO 活動」（アーナンダ　クマーラ）<br>4.「超国家時代の企業活動について」（アーナンダ　クマーラ）<br>5.「インフラストラクチャーと住民生活について考える」（アーナンダ　クマーラ）<br>6.「地球温暖化のメカニズム」（大野　栄治）<br>7.「地球温暖化の影響（1）」（大野　栄治）<br>8.「地球温暖化の影響（2）」（大野　栄治）<br>9.「地球温暖化の影響（3）」（大野　栄治）<br>10.「地球温暖化の対応戦略」（大野　栄治）<br>11.「演技する人間」（岩井　眞實）<br>12.「演技のアプローチ」（岩井　眞實）<br>13.「『型』の文化」（岩井　眞實）<br>14.「民族と日本人」（岩井　眞實）<br>15.「娯楽と日本人」（岩井　眞實） | | |
| テキスト・参考文献 | 特になし。必要に応じて適宜資料配布します。 | | |
| 試験・評価方法 | （ア）授業態度・小テストは 40%（イ）レポート試験は 60%をもとに総合的に評価を行います。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 日本とグローバル人材

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名城大学 | 科目コード | 294906 |
| 担当教員 | アーナンダ　クマーラ（外国語学部　教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　水曜日：2 限（1050～1220） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 国際・語学 | | |
| 教室 | ナゴヤドーム前キャンパス北館 DN301 講義室 | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | [授業の概要と目的]<br>企業、事業所、組織などでグローバルに活躍する方々をゲストスピーカーとして招き、社会のグローバル化が日本とどのような関わりを持ちながら、実社会において進展しているかについて理解を深めます。グローバル化した社会を身近な現実として認識させることにより、言語の習得をはじめ、将来必要となる幅広い分野に対する学習意欲の向上を図る。また、企業や地方自治体など実際の現場で求められる「グローバル人材」の資質についての認識を深め、自らの行動や将来のキャリアの可能性を考察するための一助とすることを目的とします。<br><br>[到達目標]<br>1.グローバル人材とは何かについての理解を深めること<br>2.グローバル人材に求められる能力やその特質について理解すること<br>3.大学生活の中で、自らがこれから工夫するべきことについて理解すること<br><br>[授業計画]<br>1.「グローバル人材時代とは何か」（アーナンダ　クマーラ）<br>2.「私のグローバル人生―世界はおもしろい―」」（福岡大学客員教授、グローバル人材育成教育学会 会長　小野　博）<br>3.「海外で活躍する日本人」（ラジオ DJ/JICA 中部なごや地球ひろばオフィシャルサポーター、チャイルドボディセラピスト　空木　マイカ）<br>4.「企業からのグローバル人材への期待」（一般社団法人　GLOBAL88会長　八木　智裕）<br>5.「内なるグローバル社会という歴史の転換点に立って思うこと」（アバンセコーポレーション代表取締役　林　降春）<br>6.「日本の政府開発援助の概要と JICA」（JICA 中部国際センター所長）（予定）<br>7.「国際労働移動からみるグローバル人材」（アーナンダ　クマーラ）<br>8.「日本企業が海外企業の傘下になった時にどう行動すべきか」（住友理工株式会社　CSR・社会貢献室長 ㈱住理工ジョイフル　代表取締役社長　戸成　司朗）<br>9.「グローバル化の中の多文化共生の意味とは」（調整中）<br>10.「発展途上国における飲み水」（日本ヒューム　顧問、名古屋環未来研究所代表理事、名古屋市立大学特任教授　山田　雅雄）<br>11.「地球とのフェアトレード～地域と世 界を、そして今と未来をつなぐ～」（フェアトレード名古屋ネットワーク FTNN 代表、一般社団法人　日本フェアトレード・フォーラム理事、JICA 中部オフィシャルサポーター　原田　さとみ）<br>12.「グローバル人材になるために、一人一人がこれから考えるべきこと」（アーナンダ　クマーラ）<br>13.「グローバル時代における地方自治体の国際連携」（名古屋市市長室　国際交流課　国際連携課長　伊藤　毅）<br>14.「持続可能な世界を一緒に作っていきましょう」（国際連合地域開発センター所長　高瀬　千賀子）<br>15.「グローバル化と高等教育」（東京工業大学 国際教育研究協働機構 国際連携推進部門　特任教授　太田　絵里） | | |
| テキスト・参考文献 | 特になし。必要に応じて適宜資料配布します。 | | |
| 試験・評価 | 各講義の後に、レポート（テスト扱い）を提出してもらいます。（ア）授業態度 40%（イ）小 | | |

| | |
|---|---|
| 方法 | レポート 20 点（ウ）期末レポート 40%で、総合的に考慮して成績評価を行います。 |
| 別途必要な経費 | |
| その他特記事項 | |

# 日本の伝統文化

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名城大学 | 科目コード | 294907 |
| 担当教員 | 岩井　眞實（外国語学部　教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　月曜日：1 限（910～1040） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | ナゴヤドーム前キャンパス北館 DN302 講義室 | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | [授業の概要と目的]<br>日本の伝統文化、特に伝統芸能について学ぶ。日本文化の最大の特徴は「文化の重層性」であり、それゆえに日本は西洋から"Treasure Island"（宝の島）と称されている。個々の伝統芸能について深く理解し、「文化の重層性」の意味を外国人にも伝えることができる能力を涵養することがこの授業のねらいである。<br><br>[到達目標]<br>1.日本文化の特徴について他者に説明することができる。<br>2.古文で書かれた伝統芸能の台本を辞書・参考書なしで読むことができる。<br>3.日本の伝統芸能について、英語で紹介することができる。<br><br>[授業計画]<br>1.オリエンテーションおよび演劇・芸能ジャンルテスト<br>2.文化の重層性<br>3.日本伝統芸能史概観 1<br>4.日本伝統芸能史概観 2<br>5.能・狂言入門<br>6.歌舞伎入門<br>7.人形浄瑠璃（文楽）入門<br>8.歌舞伎を読む 1<br>9.歌舞伎を読む 2<br>10.歌舞伎を読む 3<br>11.歌舞伎を観る 1<br>12.歌舞伎を観る 2<br>13.日本の伝統芸能を英語で紹介する 1<br>14.日本の伝統芸能を英語で紹介する 2<br>15.まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | 1.『英語で話す「日本の伝統芸能」』・小玉祥子・講談社バイリンガルブックス<br>2.その他プリントを配布する。 | | |
| 試験・評価方法 | 授業への貢献度 50%、定期試験 50%。授業回数の３分の２以上の出席に満たない場合は欠格とする。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 歴史と文化

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名城大学 | 科目コード | 294908 |
| 担当教員 | 岩井　眞實（外国語学部　教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　月曜日：2 限（1050～1220） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | ナゴヤドーム前キャンパス北館 DN301 講義室 | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | [授業の概要と目的]<br>歴史家の述べる「史実」と、これを題材とした文芸・芸能との関係について学ぶ。「史実」がどのような史料をもとに形成されるかを検証し、さらにこれを文芸・芸能がどのような手続き・手法で作品化するかについて学ぶ。具体的には、いわゆる「忠臣蔵事件」（元禄赤穂事件）と、これを劇化した「忠臣蔵」を中心的題材とする。その分析を通して、文芸・芸能が「史実」の先にある「真実」に至る過程を学び、あわせて日本人の精神史について深く理解することが目的である。<br><br>[到達目標]<br>史料を読む能力と文芸・演劇・映画を解釈する能力を身につけ、日本文化の特徴を他者に説明することができる。<br><br>[授業計画]<br>1.オリエンテーション<br>2.江戸時代とは<br>3.元禄赤穂事件（1）<br>4.元禄赤穂事件（2）<br>5.元禄赤穂事件（3）<br>6.映画を観る（1）<br>7.映画を観る（2）<br>8.『仮名手本忠臣蔵』を読む（1）<br>9.『仮名手本忠臣蔵』を読む（2）<br>10.『仮名手本忠臣蔵』を読む（3）<br>11.『仮名手本忠臣蔵』を読む（4）<br>12.『仮名手本忠臣蔵』を読む（5）<br>13.落語を聴く<br>14.映画を観る（3）<br>15.まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | 1.これが本当の「忠臣蔵」・山本博文・小学館<br>2.その他プリントを配布する。 | | |
| 試験・評価方法 | 平常点（毎回の小テスト 50%）と試験（50%）の合計で評価する。授業回数の３分の２以上の出席に満たない場合は欠格とする。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 日本文学研究

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名城大学 | 科目コード | 294909 |
| 担当教員 | 岩井　眞實（外国語学部　教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　木曜日：2 限（1050～1220） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 芸術・文学・表現 | | |
| 教室 | ナゴヤドーム前キャンパス北館 DN302 講義室 | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | [授業の概要と目的]<br>日本文化の特徴として、形式的には漢字・仮名という特殊な文字とこれを媒体に定着させる技術（印刷・製本）が、また内容的には日本語固有の音数律・韻律・修辞法が挙げられる。本授業の目的は、形式・内容の両面から日本文学の特徴を学ぶことにある。具体的な作品を味読するが、その際にくずし字と英語訳を併用する。二つの言語の運用に習熟することも目的の一つである。<br><br>[到達目標]<br>1.日本文学の特徴について、西洋との比較において説明することができる。<br>2.くずし字（変体仮名）を読むことができる。<br>3.日本文学の特徴について、英語で外国人に説明することができる。<br><br>[授業計画]<br>1.オリエンテーション<br>2.日本文学のジャンルと歴史<br>3.くずし字入門<br>4.メディアとしての日本文学<br>5.「おくのほそ道」を活字で読む１<br>6.「おくのほそ道」を活字で読む２<br>7.「おくのほそ道」を活字で読む３<br>8.「おくのほそ道」をくずし字で読む１<br>9.「おくのほそ道」をくずし字で読む２<br>10.「おくのほそ道」をくずし字で読む３<br>11.「おくのほそ道」を英語で読む１<br>12.「おくのほそ道」を英語で読む２<br>13.「おくのほそ道」を英語で読む３<br>14.俳諧を実践する<br>15.まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | 『英文収録　おくのほそ道』・松尾芭蕉、ドナルド・キーン訳・講談社学術文庫 | | |
| 試験・評価方法 | 授業への貢献度 50%、定期試験 50%。授業回数の３分の２以上の出席に満たない場合は欠格とする。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 日本の経済

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名城大学 | 科目コード | 294910 |
| 担当教員 | 堅田　義明（外国語学部　教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　木曜日：2 限（1050～1220） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | ナゴヤドーム前キャンパス北館 DS303 講義室 | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | [授業の概要と目的]<br>卒業後、社会で活躍・貢献しうる資質養成のためにも現代の経済社会の理解は不可欠である。学生にはこの授業で日本経済を戦後史のみならず世界経済の観点からも把握することを求める。<br><br>[到達目標]<br>現代の日本経済を歴史的かつグローバルな視点から把握し、社会人になっても適用可能な社会事象に対する明晰な解釈力の錬磨に努めること。<br><br>[授業計画]<br>1.オリエンテーション<br>2.連合軍による占領政策と日本経済<br>3.東西冷戦と日本経済<br>4.戦後復興<br>5.1960 年代の高度経済成長<br>6.日本の高度経済成長とアメリカ<br>7.日本の高度経済成長とアジア<br>8.1970 年代の日本経済<br>9.バブル経済の出現<br>10.東西冷戦の終結と日本経済<br>11.バブル崩壊とその後の経済不況<br>12.グローバリゼーションの進展と日本経済<br>13.世界経済の変化と日本<br>14.今後の日本と世界<br>15.まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | [テキスト]<br>グローバル経済史入門・杉山伸也・岩波書店<br>[参考文献]<br>1.国家はなぜ衰退するのか（上・下）・ダロン・アセモグル・早川書房<br>2.近代日本の軍産学複合体・畑野勇・創文社<br>3.人口の世界史・マッシモ・リヴィバッチ・東洋経済新報社<br>4.入門経済学（第2版）・グレゴリー・マンキュー・東洋経済新報社<br>5.新・世界経済入門・西川潤・岩波書店 | | |
| 試験・評価方法 | レポート２５パーセント、中間テスト２５パーセント、期末テスト５０パーセントで評価する。<br>また、授業態度が極めて悪い場合は大幅に減点する。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 日本近現代史

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名城大学 | 科目コード | 294911 |
| 担当教員 | 堅田　義明（外国語学部　教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜前期＞　金曜日：1 限（910～1040） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | ナゴヤドーム前キャンパス北館 DS304 講義室 | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | [授業の概要と目的]<br>本講義の目的は日本近現代史を政治・経済・文化等の多面的観点から考察することにより、受講者の健全な批判能力と国際的な視野を育成することである。特に、グローバル化の顕著な現在、単なる一国史ではなくグローバルヒストリーの文脈で日本史を考察したい。その際、考察対象の現象面だけではなく背後にある本質的な要素にも注目したい。<br><br>[到達目標]<br>日本近現代史の基本的知識を習得した上で歴史的解釈能力を育成し、社会の多様な現象を客観的且つ理性的に把握可能にする。その結果修得された能力が受講者の将来の社会生活における実践的行動指針に貢献するものとしたい。<br><br>[授業計画]<br>1.イントロダクション<br>2.19 世紀前半の日本における経済的・社会的変容<br>3.アジアにおける帝国主義勢力の台頭と徳川幕府の終焉<br>4.明治維新と初期近代化<br>5.日本近代化と農村<br>6.大日本帝国憲法と天皇制国家の成立<br>7.帝国主義国家としての日本<br>8.第一次世界大戦と急激な経済成長<br>9.国際協調と海軍軍縮<br>10.大恐慌と対中軍事進出<br>11.日本海軍と太平洋戦争勃発<br>12.連合軍の対日占領政策と東西冷戦<br>13.戦後日本経済の「奇跡」と日米安全保障条約<br>14.戦後日本の経済発展<br>15.21 世紀の日本 | | |
| テキスト・参考文献 | [テキスト]<br>日本海軍とアメリカ・堅田義明・日本評論社<br>[参考文献]<br>1.日本経済史・杉山伸也・岩波書店<br>2.組織と戦略の時代・佐々木聡、中林真幸・ミネルバ書房<br>3.日本外交史・池井優・慶応通信<br>4.１９３０年代のアジア国際秩序・秋田茂、籠谷直人編・渓水社<br>5.なぜ、いまアジア太平洋戦争か・倉沢愛子他編・岩波書店 | | |
| 試験・評価方法 | 定期試験６０%、レポート２０%、中間試験２０% | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 日本の政治

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名城大学 | 科目コード | 294912 |
| 担当教員 | 堅田　義明（外国語学部　教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　火曜日：2 限（1050～1220） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | ナゴヤドーム前キャンパス北館 DS301 講義室 | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | [授業の概要と目的]<br>卒業後、各人が社会で活躍・貢献しうる資質養成のためには現代政治の理解は必須事項である。学生にはこの授業を通して日本の政治を歴史的かつ国際的観点からもしっかり理解して頂きたい。<br><br>[到達目標]<br>現代日本の政治を歴史的かつグローバルな視点から把握し、一社会人として健全かつ責任ある政治的判断を下せる資質の向上を図る。<br><br>[授業計画]<br>1.オリエンテーション<br>2.連合軍による日本占領<br>3.日本の独立と東西冷戦<br>4.東西冷戦初期における日本外交<br>5.1960 年代日本のアジア外交<br>6.1960 年代の日米関係<br>7.東西冷戦下の日本の国内政治<br>8.ニクソン訪中とブレトンウッズ体制の終焉<br>9.自由民主党と派閥<br>10.プラザ合意とバブル経済<br>11.東西冷戦終結と日本政治<br>12.グローバリゼーションと日本政治<br>13.日本人と政治文化<br>14.21 世紀における日本と世界<br>15.まとめ | | |
| テキスト・参考文献 | [テキスト]<br>日本政治史・北岡伸一・有斐閣<br>[参考文献]<br>1.日本政治思想史・渡辺浩・東京大学出版会<br>2.日本近代史・板野潤治・筑摩書房<br>3.戦後政治史・石川真澄・岩波書店<br>4.それでも日本人は「戦争」を選んだ・加藤陽子・新潮社<br>5.帝国という幻想・ピーター・ドウス・青木書店 | | |
| 試験・評価方法 | レポート２５パーセント、中間テスト２５パーセント、期末テスト５０パーセントで評価する。また、授業態度が常識を超えて悪い場合は大幅に減点する。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 地域研究論

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名城大学 | 科目コード | 294913 |
| 担当教員 | 津村　文彦（外国語学部　教授） | | |
| 学年配当 | 1 年,2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　月曜日：2 限（1050～1220） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | ナゴヤドーム前キャンパス北館 DN302 講義室 | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | [授業の概要と目的]<br>グローバル化が活発化するなか、自他の地域を適切に理解するために、多角的な視点から地域の固有論理を見出す視角を獲得することを目指す。具体的には、現代世界における地域について世界単位論の視点から主に東南アジア地域を事例に学んだのち、日本の事例を取り上げながら、世界単位としての日本の位置づけを学ぶ。<br><br>[到達目標]<br>1.現代世界を成り立たせている諸条件（歴史、文化、社会、宗教など）について理解し説明できる。<br>2.「どこかよその国のこと」でなく、私たちとのつながりのもと世界を理解する。<br><br>[授業計画]<br>1.はじめに　地域研究とはなにか？<br>2.地域研究の歴史　オリエンタリズムとポストコロニアリズム<br>3.自然環境と世界単位１　森の広がり<br>4.基本的な知識の確認　東南アジアの白地図から学ぶ<br>5.自然環境と世界単位２　砂漠の広がり<br>6.自然環境と世界単位３　草原の広がり<br>7.自然環境と世界単位４　野の広がり１<br>8.自然環境と世界単位５　野の広がり２<br>9.基本的な知識の確認　王権の正当化<br>10.自然環境と世界単位６　海の広がり<br>11.日本と世界のつながり１　世界単位としての日本<br>12.日本と世界のつながり２　カミサマの姿<br>13.日本と世界のつながり３　七福神の来た道<br>14.日本と世界のつながり４　コメはどこから来たか？<br>15.日本と世界のつながり５　お雑煮とおせち料理 | | |
| テキスト・参考文献 | [テキスト]<br>毎回の授業では配布プリントを使用する。<br>[参考文献]<br>『世界単位論』・髙谷好一・京都大学学術出版会 | | |
| 試験・評価方法 | 授業内で行う課題(40%)、学期末試験（60%）により、世界単位論と地域研究についての理解の習熟度を評価する。ただし一定数の課題を未提出の場合は欠格とする。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |

# 文化人類学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設大学 | 名城大学 | 科目コード | 294914 |
| 担当教員 | 津村　文彦（外国語学部　教授） | | |
| 学年配当 | 2 年,3 年,4 年 | 単位数 | 2 単位 |
| 開講日程 | ＜後期＞　月曜日：4 限（1450～1620） | | |
| ｼﾗﾊﾞｽｶﾃｺﾞﾘｰ | 文化・地理・歴史 | | |
| 教室 | ナゴヤドーム前キャンパス北館 DS302 講義室 | | |
| 履修条件 | 特になし | | |
| 募集定員 | 10 | 募集時期 | 4 月 |
| 講義概要 | [授業の概要と目的]<br>本講義では、日常的な世界のさまざまな事象を相対的に観察し、自己の文化と他者の文化を比較しながら、個々の文化がもつ独自の論理を見出す視角を獲得する。具体的な民族誌を参照しながら、世界の諸民族の生活世界を事例として取り上げる。<br><br>[到達目標]<br>1.文化人類学の基本的な概念を理解する。<br>2.異なる文化と自らの文化を比較する枠組みについて理解する。<br><br>[授業計画]<br>1.はじめに　文和ｋ人類学とは何か<br>2.民族誌とフィールドワーク<br>3.人類と言語<br>4.生業と経済<br>5.性と婚姻<br>6.人種と民族<br>7.法と政治<br>8.人間の一生<br>9.宗教と世界観<br>10.儀礼と伝統<br>11.医療と文化<br>12.人間と死<br>13.環境と技術<br>14.人類の移動<br>15.開発と文化 | | |
| テキスト・参考文献 | [テキスト]<br>毎回の授業では配布プリントを使用する。<br>[参考文献]<br>1.『よくわかる文化人類学』・綾部恒雄、桑山敬己（編）・ミネルヴァ書房<br>2.『文化人類学［カレッジ版］第三版』・波平恵美子（編）・医学書院 | | |
| 試験・評価方法 | 授業内で行う課題(40%)、学期末試験（60%）により、文化人類学についての理解の習熟度を評価する。ただし一定数の課題を未提出の場合は欠格とする。 | | |
| 別途必要な経費 | | | |
| その他特記事項 | | | |